原田第1・2・40・41号墓地

上　巻

―― 原田駅前土地区画整理事業地内埋蔵文化財発掘調査報告 1 ――

筑紫野市文化財調査報告書

第77集



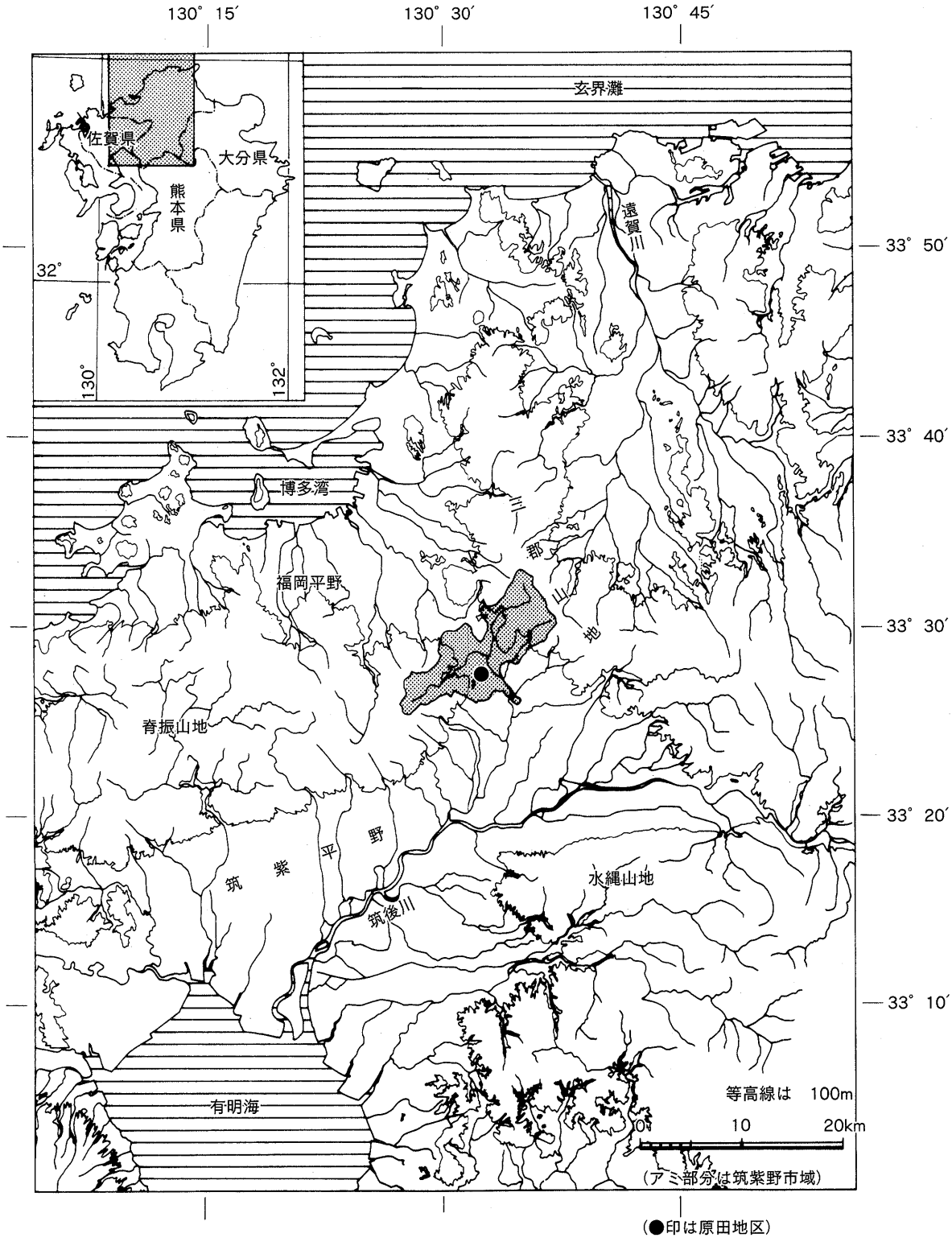
2003

筑紫野市教育委員会

原田第1・2・40・41号墓地

上巻

—— 原田駅前土地区画整理事業地内埋蔵文化財発掘調査報告 1 ——



序

筑紫野市教育委員会は、原田駅前土地区画整理事業に伴い、昭和63年度から平成12年度にかけて事業地内の埋蔵文化財発掘調査を実施して参りました。

本書は、そのうちの昭和63年度から平成３年度にかけて調査を実施した江戸・明治時代の墓地の調査成果であり、「原田駅前土地区画整理事業地内埋蔵文化財発掘調査報告　1」としてとりまとめたものです。

江戸時代国境の宿場町であった原田も、近年の交通体系の整備や福岡・久留米間のベッドタウン化とともに、大きく様変わりしました。その町並みの変化とともに失われようとした原田の文化財を、本書に記録し将来に伝えられることは、誠に喜ばしいことであります。

本書が、市民の方々の学習・研究の一助となり、文化財保護への理解が高まれば幸いに存じます。

なお、発掘調査にあたっては、多くの地元住民の方々および本市建設経済部区画整理課をはじめとした施行関係各位より、多大なるご理解とご協力を頂きました。ここに深く感謝し、心よりお礼申し上げます。

筑紫野市教育委員会
教育長　髙嶋正武

例　　言

1．　本書は、筑紫野市施行原田駅前土地区画整理事業地内埋蔵文化財発掘調査のうち、昭和63年度から平成３年度にかけて筑紫野市教育委員会が実施した、原田第1・2・40・41号墓地の発掘調査報告書である。

2．　本書は、調査成果のうち遺構を主としたものであり、「原田駅前土地区画整理事業内埋蔵文化財発掘調査報告　1」にあたる。

3．　本書で報告する遺跡は、従来「原田地区遺跡第40地点ＢH2615・ＢH2628」および「原田地区遺跡第41地点ＢH40・ＢH42」と仮称していたものである。しかし、本書においては、明治22年作成の『墓籍地図』・『墓籍』に記録された原田地区内の墓地に付された通し番号を採用し、それぞれ「原田第40号墓地」・「原田第41号墓地」および「原田第１号墓地」・「原田第２号墓地」とした。

4．　『墓籍地図』・『墓籍』の公開については、所有者である伯東寺の理解・協力を得た。

5．　遺構の写真撮影および実測は、森山栄一が行った。

6．　墓石の現況写真撮影は森山が行い、墓石の拓本は森山の指導のもと現場作業員全員で行った。

7．　墓石の現況配置測量図と個別実測図は写測エンジニアリング(株)が写真測量によって作成した。

8．　人骨の実測・取り上げは、九州大学医学部土肥直美（現琉球大学助教授）・中橋孝博（現九州大学教授）が大半を行い、両氏指導のもと一部を森山が行った。

9．　遺構の実測図・写真は、遺構番号順に配列することを基本としたが、墓石の実測図・拓影図だけは年代の古い順に配列した。

10．　製図は、遺構と墓石の一部を高松幸子が行い、墓石・人骨を森山が行った。

11．　挿図で使用する方位は、遺構個別実測図は磁北であり、他は座標北である。

12．　座標は、日本測地系第Ⅱ平面直角座標系である。

13．　墓石の石質は、唐木田芳文氏の鑑定によるものであり、花崗岩（　）内は岩体区分を示す。

14．　墓碑の解読では、鷺山智英氏の協力を得た。

15．　本書の執筆および編集は、森山が行った。

16．　写真・実測図・出土品などの調査資料は、新旧両遺跡を併記することを原則としたが、直接註記した遺物は旧遺跡名のままで保管している。

17．　表紙の題字は田中範隆前市長（原田駅前土地区画整理事業施行代表者）によるものである。

『原田第１・２・40・41号墓地　－上巻－』正誤表

頁	誤	正
12頁　12行目	東側約1／3	東側約2／3
35頁　5行目	東側約1／3	東側約2／3
66頁　38行目	寛永から慶応	嘉永から慶応
228頁　25行目	蔵骨器・	蔵骨器3・
報告書抄録　主な遺物	銭貸	銭貨

本　文　目　次

第Ⅰ章　調査の経過と組織 …… 1
　第１節　調査に至る経過 …… 1
　第２節　調査の組織 …… 1
第Ⅱ章　位置と環境 …… 3
　第１節　位置の概要 …… 3
　第２節　歴史的環境 …… 3
第Ⅲ章　調査の概要 …… 6
　第１節　遺跡名の変更 …… 6
　第２節　調査の概要 …… 10
第Ⅳ章　遺構調査の内容 …… 12
　第１節　原田第１号墓地の調査 …… 12
　　１．墓石の調査 …… 12
　　２．墓壙の調査 …… 35
　　３．その他の遺構 …… 58
　　４．『墓籍地図』・『墓籍』の調査 …… 61
　　５．まとめ …… 66
　第２節　原田第２号墓地の調査 …… 69
　　１．墓石の調査 …… 70
　　２．墓壙の調査 …… 72
　　３．その他の遺構 …… 76
　　４．『墓籍地図』・『墓籍』の調査 …… 76
　　５．まとめ …… 78
　第３節　原田第40号墓地の調査 …… 80
　　１．墓石の調査 …… 80
　　２．墓壙の調査 …… 107
　　３．その他の遺構 …… 146
　　４．『墓籍地図』・『墓籍』の調査 …… 148
　　５．まとめ …… 152
　第４節　原田第41号墓地の調査 …… 156
　　１．墓石の調査 …… 156
　　２．墓壙の調査 …… 186
　　３．その他の遺構 …… 218
　　４．『墓籍地図』・『墓籍』の調査 …… 224
　　５．まとめ …… 228
第Ⅴ章　遺構調査の総括 …… 232

挿　図　目　次

第１図　原田地区周辺遺跡分布図（S=１/10,000）…… 4
第２図　『墓籍地図』表紙（原図のS＝１/６）…… 7
第３図　明治22年時の原田地区墓地分布図（S=１/10,000）…… 8
第４図　原田第１・２・40・41号墓地位置図（S=１/2,500）…… 9
第５図　原田第１・２号墓地周辺現況地形測量図（S=１/1,000）…… 12
第６図　原田第１号墓地　墓石現況測量図（S=1/100）…… 13･14
第７図　原田第１号墓地　墓石対比図（S=1/30・1/300）…… 15
第８図　原田第１号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=１/10）　①…… 17
第９図　原田第１号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=１/10）　②…… 19
第１０図　原田第１号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=１/10）　③…… 20
第１１図　原田第１号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=１/10）　④…… 22
第１２図　原田第１号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=１/10）　⑤…… 23
第１３図　原田第１号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=１/10）　⑥…… 25
第１４図　原田第１号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=１/10）　⑦…… 27
第１５図　原田第１号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=１/10）　⑧…… 28
第１６図　原田第１号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=１/10）　⑨…… 29
第１７図　原田第１号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=１/10）　⑩…… 31
第１８図　原田第１号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=１/10）　⑪…… 33
第１９図　原田第１号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=１/10）　⑫…… 34
第２０図　原田第１号墓地　遺構配置図（S=１/100）…… 36
第２１図　原田第１号墓地　第１～４号墓実測図（S=１/30）…… 37
第２２図　原田第１号墓地　第５～８号墓実測図（S=１/30）…… 39
第２３図　原田第１号墓地　第９～12号墓実測図（S=１/30）…… 41
第２４図　原田第１号墓地　第13～16号墓実測図（S=１/30）…… 42
第２５図　原田第１号墓地　第17・18・21号墓実測図（S=１/30）…… 43
第２６図　原田第１号墓地　第22～25号墓実測図（S=１/30）…… 45
第２７図　原田第１号墓地　第26～29号墓実測図（S=１/30）…… 47
第２８図　原田第１号墓地　第30～33号墓実測図（S=１/30）…… 49
第２９図　原田第１号墓地　第34～36号墓実測図（S=１/30）…… 50
第３０図　原田第１号墓地　第37・38号墓実測図（S=１/30）…… 51
第３１図　原田第１号墓地　第39～42・44号墓実測図（S=１/30）…… 53
第３２図　原田第１号墓地　第43・45～47号墓・第2号蔵骨器実測図（S=１/30）…… 55
第３３図　原田第１号墓地　第48～50・52号墓実測図（S=１/30）…… 56
第３４図　原田第１号墓地　第20・54・55・58号墓実測図（S=１/30）…… 57
第３５図　原田第１号墓地　第19・51・53・56・57・59号墓実測図（S=１/30）…… 59
第３６図　原田第１号墓地　第1～５号胞衣容器出土状態実測図（S＝1／10）…… 60
第３７図　原田第１号墓地　『墓籍地図』（原図のS=1/３）…… 62
第３８図　原田第１号墓地　『墓籍地図』祭主別墓標分布図…… 63
第３９図　原田第１号墓地　墓石・墓壙・『墓籍地図』対比図…… 67
第４０図　原田第２号墓地　墓石現況測量図（S=１/100）…… 69
第４１図　原田第２号墓地　墓石対比図（S=1/30・1/300）…… 70
第４２図　原田第２号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=1/10）…… 71
第４３図　原田第２号墓地　遺構配置図（S=１/100）…… 72
第４４図　原田第２号墓地　第1～3・10号墓実測図（S=1/30）…… 73
第４５図　原田第２号墓地　第4～6号墓実測図（S=１/30）…… 75
第４６図　原田第２号墓地　第7～9号墓実測図（S=１/30）…… 76
第４７図　原田第２号墓地　『墓籍地図』（原図のS=１/３）…… 77
第４８図　原田第２号墓地　墓石・墓壙・『墓籍地図』対比図…… 79
第４９図　原田第40・41号墓地周辺現況地形測量図（S=１/1,000）…… 80
第５０図　原田第40号墓地　墓石現況測量図（S＝１/100）…… 81･82

第５１図　原田第40号墓地　墓石対比図（S＝1/30・1/300）…… 83･84
第５２図　原田第40号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S＝1/10）①…… 86
第５３図　原田第40号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S＝1/10）②…… 87
第５４図　原田第40号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S＝1/10）③…… 89
第５５図　原田第40号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S＝1/10）④…… 91
第５６図　原田第40号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S＝1/10）⑤…… 93
第５７図　原田第40号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S＝1/10）⑥…… 94
第５８図　原田第40号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S＝1/10）⑦…… 96
第５９図　原田第40号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S＝1/10）⑧…… 97
第６０図　原田第40号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S＝1/10）⑨…… 99
第６１図　原田第40号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S＝1/10）⑩…… 100
第６２図　原田第40号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S＝1/10）⑪…… 102
第６３図　原田第40号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S＝1/10）⑫…… 103
第６４図　原田第40号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S＝1/10）⑬…… 104
第６５図　原田第40号墓地　遺構配置図（S＝1/100）…… 105･106
第６６図　原田第40号墓地　第１・２号墓実測図（S＝1/30）…… 108
第６７図　原田第40号墓地　第３～６号墓実測図（S＝1/30）…… 109
第６８図　原田第40号墓地　第７・８号墓実測図（S＝1/30）…… 111
第６９図　原田第40号墓地　第９・12・13号墓実測図（S＝1/30）…… 112
第７０図　原田第40号墓地　第10・11号墓実測図（S＝1/30）…… 113
第７１図　原田第40号墓地　第14～16号墓実測図（S＝1/30）…… 115
第７２図　原田第40号墓地　第17・18号墓実測図（S＝1/30）…… 116
第７３図　原田第40号墓地　第19・20号墓実測図（S＝1/30）…… 117
第７４図　原田第40号墓地　第21号墓実測図（S＝1/30）…… 118
第７５図　原田第40号墓地　第22～25号墓・第１号壷棺実測図（S＝1/30）…… 119
第７６図　原田第40号墓地　第26～29号墓実測図（S＝1/30）…… 121
第７７図　原田第40号墓地　第30～32号墓実測図（S＝1/30）…… 123
第７８図　原田第40号墓地　第33～35号墓実測図（S＝1/30）…… 125
第７９図　原田第40号墓地　第36～39号墓実測図（S＝1/30）…… 126
第８０図　原田第40号墓地　第40～43号墓実測図（S＝1/30）…… 127
第８１図　原田第40号墓地　第44～47号墓実測図（S＝1/30）…… 129
第８２図　原田第40号墓地　第48～51号墓実測図（S＝1/30）…… 131
第８３図　原田第40号墓地　第52～55号墓実測図（S＝1/30）…… 133
第８４図　原田第40号墓地　第56～59号墓実測図（S＝1/30）…… 134
第８５図　原田第40号墓地　第60～64号墓実測図（S＝1/30）…… 136
第８６図　原田第40号墓地　第65～69号墓実測図（S＝1/30）…… 137
第８７図　原田第40号墓地　第70～74号墓実測図（S＝1/30）…… 139
第８８図　原田第40号墓地　第75～78号墓実測図（S＝1/30）…… 141
第８９図　原田第40号墓地　第79～82号墓実測図（S＝1/30）…… 143
第９０図　原田第40号墓地　第83～88号墓実測図（S＝1/30）…… 144
第９１図　原田第40号墓地　第89号墓実測図（S＝1/30）…… 145
第９２図　原田第40号墓地　第１～３号胞衣容器出土状態実測図（S＝1/10）…… 147
第９３図　原田第40号墓地　『墓籍地図』（原図のS＝1/3）…… 149
第９４図　原田第40号墓地　『墓籍地図』祭主別墓標分布図…… 151
第９５図　原田第40号墓地　墓石・墓壙・『墓籍地図』対比図…… 153･154
第９６図　原田第41号墓地　墓石現況測量図（S＝1/100）…… 157･158
第９７図　原田第41号墓地　墓石対比図（S=1/30・1/300）…… 159
第９８図　原田第41号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S＝1/10）①…… 161
第９９図　原田第41号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S＝1/10）②…… 163
第１００図　原田第41号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S＝1/10）③…… 164
第１０１図　原田第41号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S＝1/10）④…… 166
第１０２図　原田第41号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S＝1/10）⑤…… 167
第１０３図　原田第41号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S＝1/10）⑥…… 169

第１０４図　原田第41号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=１/10）⑦ …… 171
第１０５図　原田第41号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=１/10）⑧ …… 173
第１０６図　原田第41号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=１/10）⑨ …… 175
第１０７図　原田第41号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=１/10）⑩ …… 177
第１０８図　原田第41号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=１/10）⑪ …… 179
第１０９図　原田第41号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=１/10）⑫ …… 180
第１１０図　原田第41号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=１/10）⑬ …… 182
第１１１図　原田第41号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=１/10）⑭ …… 183
第１１２図　原田第41号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=１/10）⑮ …… 185
第１１３図　原田第41号墓地　遺構配置図（S=１/100） …… 187
第１１４図　原田第41号墓地　第１～３号墓実測図（S=１/30） …… 188
第１１５図　原田第41号墓地　第４・５・66号墓実測図（S=１/30） …… 189
第１１６図　原田第41号墓地　第６・８号墓実測図（S=１/30） …… 190
第１１７図　原田第41号墓地　第７号墓実測図（S=１/30） …… 191
第１１８図　原田第41号墓地　第９～12号墓実測図（S=１/30） …… 193
第１１９図　原田第41号墓地　第13～18号墓実測図（S=１/30） …… 195
第１２０図　原田第41号墓地　第19～21号墓実測図（S=１/30） …… 197
第１２１図　原田第41号墓地　第22～26号墓実測図（S=１/30） …… 198
第１２２図　原田第41号墓地　第27～30・32号墓実測図（S=１/30） …… 200
第１２３図　原田第41号墓地　第31・33～37号墓実測図（S=１/30） …… 202
第１２４図　原田第41号墓地　第38～41号墓実測図（S=１/30） …… 203
第１２５図　原田第41号墓地　第42～46号墓実測図（S=１/30） …… 205
第１２６図　原田第41号墓地　第47～50号墓実測図（S=１/30） …… 207
第１２７図　原田第41号墓地　第51～54号墓実測図（S=１/30） …… 209
第１２８図　原田第41号墓地　第55～58号墓実測図（S=１/30） …… 210
第１２９図　原田第41号墓地　第59～63・65号墓実測図（S=１/30） …… 213
第１３０図　原田第41号墓地　第64・68～70号墓実測図（S=１/30） …… 214
第１３１図　原田第41号墓地　第67・71～74・77号墓実測図（S=１/30） …… 216
第１３２図　原田第41号墓地　第75・76・78号墓実測図（S=１/30） …… 217
第１３３図　原田第41号墓地　第１・２・７～11号胞衣容器出土状態実測図（S=１/10） … 221
第１３４図　原田第41号墓地　第12～15号胞衣容器出土状態実測図（S=１/10） …… 222
第１３５図　原田第41号墓地　第１～３号蔵骨器出土状態実測図（S=１/10） …… 223
第１３６図　原田第41号墓地　第１・２号焼土壙実測図（S＝１/30） …… 224
第１３７図　原田第41号墓地　『墓籍地図』（原図のS=１/３） …… 225
第１３８図　原田第41号墓地　『墓籍地図』祭主別墓標分布図 …… 226
第１３９図　原田第41号墓地　墓石・墓壙・『墓籍地図』対比図 …… 229

表　目　次

第 １ 表　原田第１号墓地　『墓籍』記載内容一覧表 …… 64
第 ２ 表　原田第１号墓地　墓石・墓壙・『墓籍』対比表 …… 68
第 ３ 表　原田第２号墓地　『墓籍』記載内容一覧表 …… 78
第 ４ 表　原田第２号墓地　墓石・墓壙・『墓籍』対比表 …… 79
第 ５ 表　原田第40号墓地　『墓籍』記載内容一覧表 …… 150
第 ６ 表　原田第40号墓地　墓石・墓壙・『墓籍』対比表 …… 155
第 ７ 表　原田第41号墓地　『墓籍』記載内容一覧表 …… 227
第 ８ 表　原田第41号墓地　墓石・墓壙・『墓籍』対比表 …… 230
第 ９ 表　原田第１・２・40・41号墓地　遺構内訳一覧表 …… 232
第１０表　『墓籍』による原田第１・２・40・41号墓地被葬者数推移対比表 …… 233
第１１表　原田第１・２・40・41号墓地　墓石・墓壙推移対比表 …… 235

図　版　目　次

図版　１　原田第１号墓地
① 墓石現況（真上から）
② 墓壙配置状況（真上から）
③ 墓石現況（南東から）
④ 墓壙配置状況（南東から）
⑤ 墓石現況（南西から）
⑥ 墓壙配置状況（南西から）

図版　２　原田第１号墓地
① 墓石現況（南西から）
② 表土除去後の墓石出土状況（南西から）
③ 表土除去後の墓石出土状況（北東から）
④ 上段墓石出土状況（東から）
⑤ 下段墓石出土状況（南東から）
⑥ 下段墓石出土状況（南西から）

図版　３　原田第１号墓地
① 第１号墓石（北西から）
② 第２号墓石（南西から）
③ 第３号墓石（北西から）
④ 第３号墓石（南西から）
⑤ 第３号墓石（南東から）
⑥ 第４号墓石（南西から）

図版　４　原田第１号墓地
① 第５号墓石（北西から）
② 第５号墓石（南西から）
③ 第６号墓石（北西から）
④ 第６号墓石（南西から）
⑤ 第６号墓石（南東から）
⑥ 第７号墓石（北西から）
⑦ 第７号墓石（南西から）
⑧ 第７号墓石（南東から）

図版　５　原田第１号墓地
① 第８号墓石（北西から）
② 第９号墓石（南西から）
③ 第１０号墓石（北西から）
④ 第１１号墓石（北西から）
⑤ 第１２号墓石（北西から）
⑥ 第１３号墓石（南西から）

図版　６　原田第１号墓地
① 第１４号墓石（北西から）
② 第１５号墓石（南西から）
③ 第１６号墓石（南西から）
④ 第１７号墓石（南西から）
⑤ 第１８・１９号墓石（南から）
⑥ 第２０号墓石（西から）

図版　７　原田第１号墓地
① 第２１・２２号墓石（南西から）
② 第２２号墓石の台石（南西から）
③ 第２３号墓石（南西から）
④ 第２３号墓石（南東から）
⑤ 第２４号墓石（南西から）
⑥ 第２５号墓石（南西から）

図版　８　原田第１号墓地
① 第２６号墓石（南西から）
② 第２７～２９号墓石（南東から）
③ 第３０号墓石（南西から）
④ 第３１号墓石（南西から）
⑤ 第３２号墓石（西から）
⑥ 第３３号墓石（南西から）

図版　９　原田第１号墓地
① 第１号墓と改葬跡（南西から）
② 第１号墓と改葬跡（南東から）
③ 第２号墓と改葬壙（南西から）
④ 第２号墓　甕棺と人骨（西から）
⑤ 第３号墓（南西から）

図版　１０　原田第１号墓地
① 第４号墓（西から）
② 第４号墓　棺内副葬品出土状況（西から）
③ 第５号墓（西から）
④ 第５号墓　改葬跡（北から）
⑤ 第６号墓（西から）
⑥ 第６号墓　改葬跡（南から）

図版　１１　原田第１号墓地
① 第７号墓（西から）
② 第７号墓　棺内副葬品出土状況
③ 第８号墓（南西から）
④ 第８号墓　正方形木棺跡と人骨（東から）
⑤ 第９号墓（南西から）
⑥ 第９号墓　甕棺と人骨（南西から）

図版　１２　　原田第１号墓地
① 第１０号墓（南西から）
② 第１０号墓　正方形木棺跡と人骨
③ 第１１号墓（南西から）
④ 第１１号墓　改葬跡（南西から）
⑤ 第１２号墓（南西から）
⑥ 第１２号墓　甕棺と人骨（南西から）

図版　１３　　原田第１号墓地
① 第１３号墓（南西から）
② 第１３号墓　正方形木棺跡と人骨
③ 第１４号墓（西から）
④ 第１４号墓　人骨（南西から）
⑤ 第１５号墓（南西から）
⑥ 第１５号墓　副葬品出土状況（北東から）

図版　１４　　原田第１号墓地
① 第１６号墓（西から）
② 第１６号墓　正方形木棺跡と人骨
③ 第１７号墓と第４０号墓石（西から）
④ 第１８号墓（西から）
⑤ 第１８号墓　人骨（西から）

図版　１５　　原田第１号墓地
① 第２１号墓と第３９号墓石（西から）
② 第２１号墓　甕棺の蓋石（西から）
③ 第２１号墓　墓石と蓋石撤去後（西から）
④ 第２１号墓　蓋石撤去後の甕棺と人骨
⑤ 第２２号墓（南西から）
⑥ 第２２号墓　副葬品出土状況（南西から）

図版　１６　　原田第１号墓地
① 第２３号墓（南西から）
② 第２３号墓　正方形木棺跡と人骨
③ 第２３号墓　副葬品出土状況（東から）
④ 第２３号墓　副葬品出土状況（西から）
⑤ 第２４号墓（南西から）
⑥ 第２４号墓　正方形木棺跡と人骨

図版　１７　　原田第１号墓地
① 第２５号墓（南西から）
② 第２５号墓　正方形木棺跡と人骨
③ 第２６号墓（南西から）
④ 第２６号墓　正方形木棺跡と人骨
⑤ 第２７号墓（南西から）
⑥ 第２７号墓　正方形木棺跡と人骨

図版　１８　　原田第１号墓地
① 第２８号墓（南西から）
② 第２８号墓　正方形木棺跡と人骨
③ 第２９号墓（南西から）
④ 第２９号墓　正方形木棺跡と人骨
⑤ 第３０号墓（南西から）
⑥ 第３０号墓　正方形木棺跡と人骨

図版　１９　　原田第１号墓地
① 第３１号墓（南西から）
② 第３１号墓　甕棺と人骨（南西から）
③ 第３２号墓（南西から）
④ 第３２号墓　正方形木棺跡と人骨
⑤ 第３３号墓（南西から）
⑥ 第３３号墓　甕棺と人骨（南西から）

図版　２０　　原田第１号墓地
① 第３３号墓　棺内副葬品出土状況
② 第３４号墓　甕棺と人骨（南西から）
③ 第３４号墓　正方形木棺跡と人骨
④ 第３５号墓（南西から）
⑤ 第３５号墓　正方形木棺跡と人骨

図版　２１　　原田第１号墓地
① 第３６号墓（南西から）
② 第３６号墓　正方形木棺跡と人骨
③ 第３７号墓と第３８号墓石（西から）
④ 第３７号墓　正方形木棺跡（西から）
⑤ 第３８号墓と第３８号墓石（西から）
⑥ 第３８号墓　正方形木棺跡（西から）

図版　２２　　原田第１号墓地
① 第３９号墓（北西から）
② 第３９号墓　正方形木棺跡と人骨
③ 第４０号墓（南西から）
④ 第４０号墓　正方形木棺跡と人骨
⑤ 第４１号墓（西から）
⑥ 第４１号墓　棺内副葬品出土状況

図版　２３　　原田第１号墓地
① 第４２号墓（西から）
② 第４２号墓　正方形木棺跡と人骨
③ 第３４号墓壙内の第４３号墓人骨
④ 第４３号墓人骨の集骨状況
⑤ 第４３号墓（南西から）
⑥ 第４３号墓人骨と第３４号墓内の集骨

図版　２４　　原田第１号墓地
① 第４１号墓壙内の第４４号墓人骨
② 第４４号墓（西から）
③ 第４５号墓（西から）
④ 第４５号墓　長方形木棺跡と釘
⑤ 第４６号墓壙内の第４１・４２号墓石
⑥ 第４６号墓壙内の第４１・４２号墓石

図版　２５　　原田第１号墓地
① 第４６号墓（西から）
② 第４６号墓　正方形木棺跡と人骨
③ 第４７号墓（西から）
④ 第４９号墓壙内の第４６号墓石（西から）
⑤ 第４９号墓　第４６号墓石撤去後

図版　２６　　原田第１号墓地
① 第５０号墓（南西から）
② 第５０号墓　正方形木棺跡と人骨
③ 第５２号墓（南西から）
④ 第５４号墓（西から）
⑤ 第５４号墓　正方形木棺跡と人骨

図版　２７　　原田第１号墓地
① 第５５号墓（南西から）
② 第５５号墓　甕棺と人骨（南西から）
③ 第５８号墓（南から）
④ 第５８号墓　甕棺と人骨（南西から）
⑤ 第１～４号墓と第３４号墓石（北から）
⑥ 第５・６・32号墓と第36・37号墓石

図版　２８　　原田第１号墓地
① 第１９号墓（南西から）
② 第５１号墓（南西から）
③ 第５３号墓（北から）
④ 第５６号墓（南西から）
⑤ 第５７号墓（西から）

図版　２９　　原田第１号墓地
① 第１号胞衣容器（南西から）
② 第２号胞衣容器（西から）
③ 第３号胞衣容器上の標石（南西から）
④ 標石撤去後の第３号胞衣容器（西から）
⑤ 第４号胞衣容器（南東から）
⑥ 第５号胞衣容器（南東から）

図版　３０　　原田第１号墓地
① 第20号墓内の第１号蔵骨器（西から）
② 第47号墓内の第２号蔵骨器（南西から）
③ 第５９号墓（西から）
④ 第59号墓内蔵骨器出土状況（西から）

図版　３１　　原田第２号墓地
① 墓石現況（真上から）
② 墓壙配置状況（真上から）
③ 墓石現況（北西から）
④ 墓壙配置状況（北西から）
⑤ 墓石現況（北東から）
⑥ 墓壙配置状況（北東から）

図版　３２　　原田第２号墓地
① 墓石現況（北西から）
② 墓壙検出状況（北西から）
③ 第１号墓石（北西から）
④ 第１号墓石（北東から）
⑤ 第１号墓（南西から）
⑥ 第１号墓　甕棺（南西から）

図版　３３　　原田第２号墓地
① 第１号墓　棺外副葬品出土状況
② 第１号墓　棺外副葬品出土状況
③ 第２号墓（南西から）
④ 第２号墓　木棺痕跡（南から）
⑤ 第２号墓　棺内人骨・副葬品（南西から）
⑥ 第２号墓　棺内副葬品出土状況

図版　３４　　原田第２号墓地
① 第３号墓（南西から）
② 第３号墓　副葬品出土状況（南西から）
③ 第４号墓（南西から）
④ 第４号墓　人骨出土状況（南西から）
⑤ 第４号墓　木棺底痕跡（南西から）
⑥ 第４号墓　副葬品出土状況（南から）

図版　３５　　原田第２号墓地
① 第５号墓（西から）
② 第５号墓　棺内副葬品出土状況
③ 第５号墓　木棺底痕跡と棺外副葬品
④ 第５号墓　棺外副葬品出土状況
⑤ 第５号墓　棺外副葬品出土状況
⑥ 第５号墓　棺外副葬品出土状況

図版　３６　　原田第２号墓地
① 第６号墓（西から）
② 第６号墓　副葬品出土状況（東から）
③ 第７号墓（南西から）
④ 第８号墓（南西から）
⑤ 第９号墓（南から）
⑥ 第１０号墓（北西から）

図版　３７　　原田第４０・４１号墓地
① 遠景（西から）
② 遠景（北東から）

図版　３８　　原田第４０号墓地
① 墓石現況（東から）
② 墓壙配置状況（東から）
③ 墓石現況（南から）
④ 墓壙配置状況（南から）
⑤ 墓石現況（北から）
⑥ 墓壙配置状況（北から）

図版　３９　　原田第４０号墓地
① 南側墓石現況（東から）
② 中央墓石現況（東から）
③ 北側墓石現況（東から）
④ 北側墓石現況（北から）

図版　４０　　原田第４０号墓地
① 第１号墓石（南から）
② 第２・３号墓石（北から）
③ 第４号墓石（北から）
④ 第５号墓石（南西から）
⑤ 第６号墓石（南西から）
⑥ 第７号墓石（南西から）

図版　４１　　原田第４０号墓地
① 第８号墓石（南西から）
② 第９号墓石（南東から）
③ 第１０号墓石（南西から）
④ 第１１号墓石（南東から）
⑤ 第１２号墓石（西から）
⑥ 第１３号墓石（南東から）

図版　４２　　原田第４０号墓地
① 第１４号墓石（南西から）
② 第１５号墓石（西から）
③ 第１６号墓石（南西から）
④ 第１７号墓石（南西から）
⑤ 第１８号墓石（南から）
⑥ 第１９号墓石（南から）

図版　４３　　原田第４０号墓地
① 第２０号墓石（南西から）
② 第２１号墓石（北西から）
③ 第２２号墓石（南西から）
④ 第２３号墓石（南西から）
⑤ 第２４号墓石（南西から）
⑥ 第２５号墓石（北西から）

図版　４４　　原田第４０号墓地
① 第２６号墓石（北西から）
② 第26・27・28・34・35・36号墓石
③ 第２８号墓石（南西から）
④ 第２９号墓石（西から）
⑤ 第３０号墓石（西から）
⑥ 第３１号墓石（南西から）

図版　４５　　原田第４０号墓地
① 第３２号墓石（南西から）
② 第３３号墓石（西から）
③ 第３４号墓石（東から）
④ 第３５号墓石（東から）
⑤ 第３７号墓石（南から）
⑥ 第３８号墓石（北西から）

図版　４６　　原田第４０号墓地
① 第３９号墓石（南東から）
② 第４０号墓石（南西から）
③ 第４１号墓石（南西から）
④ 第４２号墓石（南西から）
⑤ 第４３号墓石（南東から）
⑥ 第４４号墓石（北西から）

図版　４７　　原田第４０号墓地
① 第４５号墓石（南西から）
② 第４６号墓石（南西から）
③ 第４７号墓石（南西から）
④ 第４７号墓石（北東から）
⑤ 第４８号墓石（北西から）
⑥ 第４８号墓石（北東から）

図版　４８　　原田第４０号墓地
① 第４９号墓石（南東から）

② 第４９号墓石（南西から）
③ 第５０号墓石（南西から）
④ 第５１号墓石（南から）
⑤ 第５２号墓石（南東から）
⑥ 第５３号墓石（西から）

図版 ４９ 原田第４０号墓地
① 第５４号墓石（西から）
② 第５５号墓石（西から）
③ 第５６号墓石（北西から）
④ 第５７号墓石（北東から）
⑤ 第５８号墓石（南西から）
⑥ 第６２号墓石（南東から）

図版 ５０ 原田第４０号墓地
① 第６３号墓石（南東から）
② 第６４号墓石（北西から）
③ 第６５号墓石（北西から）
④ 第６６号墓石（南東から）
⑤ 第６７号墓石（北から）
⑥ 第６８号墓石（南から）

図版 ５１ 原田第４０号墓地
① 第６９号墓石（南西から）
② 第７１号墓石（北から）
③ 第７２号墓石（北西から）

図版 ５２ 原田第４０号墓地
① 第４５号墓 盛土（北から）
② 第５７号墓 盛土（北西から）
③ 第５９号墓 盛土断面（西から）
④ 第４４号墓 盛土断面（西から）
⑤ 第５７号墓 盛土断面（西から）
⑥ 第４５号墓 盛土断面（西から）

図版 ５３ 原田第４０号墓地
① 第１号墓（南西から）
② 第２号墓（南西から）
③ 第３号墓（南西から）
④ 第４号墓（南西から）
⑤ 第５号墓（西から）
⑥ 第５号墓 桶棺跡と人骨（西から）

図版 ５４ 原田第４０号墓地
① 第６号墓（西から）
② 第７号墓（西から）
③ 第７号墓 短い長方形木棺跡（東から）
④ 第７号墓 棺内副葬品出土状況
⑤ 第８号墓（西から）
⑥ 第９号墓（西から）

図版 ５５ 原田第４０号墓地
① 第１０号墓（南西から）
② 第１１号墓（北西から）
③ 第１２号墓（西から）
④ 第１３号墓（西から）
⑤ 第１３号墓 正方形木棺跡と石
⑥ 第１３号墓 石撤去後の状態（西から）

図版 ５６ 原田第４０号墓地
① 第１４号墓（南西から）
② 第１５号墓（西から）
③ 第１６号墓（南西から）
④ 第１６号墓 短い長方形木棺跡と人骨
⑤ 第１７号墓（西から）
⑥ 第１８号墓（南西から）

図版 ５７ 原田第４０号墓地
① 第１９号墓（西から）
② 第２０号墓（西から）
③ 第２１号墓（西から）
④ 第２１号墓 短い長方形木棺跡と人骨
⑤ 第２２号墓（南西から）
⑥ 第２２号墓 棺内副葬品出土状況

図版 ５８ 原田第４０号墓地
① 第２３号墓（南西から）
② 第２４号墓（南西から）
③ 第２５号墓（南西から）
④ 第２５号墓内の第１号壷棺（南西から）
⑤ 第２６号墓（西から）
⑥ 第２７号墓（南西から）

図版 ５９ 原田第４０号墓地
① 第２７号墓棺内副葬品出土状況
② 第２８号墓（南西から）
③ 第２９号墓（南西から）
④ 第２９号墓 棺内副葬品出土状況
⑤ 第３０号墓（西から）
⑥ 第３１号墓（南西から）

図版　６０　　原田第４０号墓地
①　第３２号墓（西から）
②　第３３号墓（西から）
③　第３４号墓（南西から）
④　第３４号墓　甕棺と人骨（南西から）
⑤　第３５号墓（西から）
⑥　第３６号墓（南西から）

図版　６１　　原田第４０号墓地
①　第３７号墓（南西から）
②　第３７号墓　棺内副葬品出土状況
③　第３８号墓（南西から）
④　第３８号墓　正方形木棺と人骨・副葬品
⑤　第３９号墓（西から）
⑥　第３９号墓　棺内副葬品出土状況

図版　６２　　原田第４０号墓地
①　第４０号墓（南西から）
②　第４０号墓　棺内副葬品出土状況
③　第４１号墓（西から）
④　第４２号墓（南西から）
⑤　第４２号墓　棺内副葬品出土状況
⑥　第４３号墓（西から）

図版　６３　　原田第４０号墓地
①　第４４号墓（南西から）
②　第４５号墓（西から）
③　第４６号墓（西から）
④　第４６号墓　棺内副葬品出土状況
⑤　第４７号墓（南西から）
⑥　第４８号墓（西から）

図版　６４　　原田第４０号墓地
①　第４９号墓（西から）
②　第５０号墓（西から）
③　第５２号墓（西から）
④　第５２号墓　正方形木棺跡と人骨
⑤　第５３号墓（南西から）
⑥　第５４号墓（西から）

図版　６５　　原田第４０号墓地
①　第５５号墓（西から）
②　第５６号墓（西から）
③　第５７号墓（南西から）
④　第５８号墓（西から）
⑤　第５９号墓（南西から）
⑥　第６０号墓（南西から）

図版　６６　　原田第４０号墓地
①　第６１号墓（西から）
②　第６１号墓　棺内副葬品出土状況
③　第６２号墓（西から）
④　第６３号墓（南西から）
⑤　第６４号墓（西から）
⑥　第６５号墓（南西から）

図版　６７　　原田第４０号墓地
①　第６６号墓（西から）
②　第６７号墓（西から）
③　第６８号墓（西から）
④　第６９号墓（西から）
⑤　第７１号墓（南西から）
⑥　第７１号墓　棺内釘出土状況

図版　６８　　原田第４０号墓地
①　第７２号墓（南西から）
②　第７２号墓　棺内副葬品出土状況
③　第７３号墓（南西から）
④　第７３号墓　棺内副葬品出土状況
⑤　第７４号墓（南西から）
⑥　第７４号墓　棺内副葬品出土状況

図版　６９　　原田第４０号墓地
①　第７５号墓（南西から）
②　第７５号墓　甕棺木蓋の押さえ石
③　第７５号墓　押さえ石撤去後
④　第７５号墓　押さえ石撤去後の甕棺
⑤　第７５号墓　甕棺に残存する木蓋の釘
⑥　第７５号墓　棺内副葬品出土状況

図版　７０　　原田第４０号墓地
①　第７６号墓（南西から）
②　第７７号墓（南西から）
③　第７８号墓（南西から）
④　第７９号墓（南西から）
⑤　第８０号墓（南西から）
⑥　第８１号墓（西から）

図版　７１　　原田第４０号墓地
①　第８２号墓（南西から）
②　第８２号墓　副葬品出土状況
③　第８３号墓（南西から）

④　第８３号墓　棺内副葬品出土状況
⑤　第８４号墓（南西から）
⑥　第８４号墓　棺内副葬品出土状況

図版　７２　　原田第４０号墓地
①　第８５号墓（北から）
②　第８６号墓（西から）
③　第８７号墓（南西から）
④　第８８号墓（西から）
⑤　第８９号墓（南西から）

図版　７３　　原田第４０号墓地
①　第５１号墓（東から）
②　第７０号墓（南西から）
③　第１号胞衣（？）埋納土壙（西から）
④　第２号胞衣容器（北東から）
⑤　第３号胞衣容器（北西から）

図版　７４　　原田第４１号墓地
①　墓石現況（真上から）
②　墓壙配置状況（真上から）
③　墓石現況（西から）
④　墓壙配置状況（西から）
⑤　墓石現況（北から）
⑥　墓壙配置状況（北から）

図版　７５　　原田第４１号墓地
①　墓石現況（東から）
②　墓石現況（南から）
③　墓石現況（北から）
④　墓石現況（西から）
⑤　墓石現況（西から）
⑥　墓石現況（南西から）

図版　７６　　原田第４１号墓地
①　第１号墓石（西から）
②　第２号墓石（南から）
③　第３号墓石（西から）
④　第４号墓石（西から）
⑤　第５号墓石（北から）
⑥　第６号墓石（西から）

図版　７７　　原田第４１号墓地
①　第７号墓石（南から）
②　第８号墓石（西から）
③　第９号墓石（西から）
④　第１０号墓石（西から）
⑤　第１１号墓石（西から）
⑥　第１２号墓石（西から）

図版　７８　　原田第４１号墓地
①　第１３号墓石（西から）
②　第１４号墓石（南から）
③　第１５号墓石（南から）
④　第１６号墓石（南から）
⑤　第１７号墓石（西から）
⑥　第１８号墓石（西から）

図版　７９　　原田第４１号墓地
①　第１９号墓石（西から）
②　第２０号墓石（西から）
③　第２１・２２号墓石（西から）
④　第２３号墓石（西から）
⑤　第２４号墓石（西から）
⑥　第２５号墓石（南から）

図版　８０　　原田第４１号墓地
①　第２６号墓石（西から）
②　第２７号墓石（西から）
③　第２８号墓石（西から）
④　第３０号墓石（西から）
⑤　第２９号墓石（北から）
⑥　第２９号墓石（西から）
⑦　第２９号墓石（南から）

図版　８１　　原田第４１号墓地
①　第３１号墓石（西から）
②　第３１号墓石（南から）
③　第３２号墓石（北から）
④　第３３号墓石（西から）
⑤　第３４号墓石（西から）
⑥　第３５号墓石（北から）

図版　８２　　原田第４１号墓地
①　第３６号墓石（西から）
②　第３７号墓石（南から）
③　第３８・４１号墓石（西から）
④　第３９号墓石（西から）
⑤　第４０号墓石（西から）
⑥　第４２号墓石（西から）

図版　８３　　原田第４１号墓地
①　第４３号墓石（北西から）
②　第４４号墓石（南から）
③　第４５号墓石（北西から）
④　第４６号墓石（西から）
⑤　第４７号墓石（北東から）
⑥　第４８号墓石（西から）

図版　８４　　原田第４１号墓地
①　第４９号墓石（南から）
②　第５０号墓石（南西から）
③　第５１号墓石（西から）
④　第５２号墓石（西から）
⑤　第５４号墓石（南東から）
⑥　第５５号墓石（南から）

図版　８５　　原田第４１号墓地
①　第５６号墓石（西から）
②　第５７号墓石（北から）
③　第５８号墓石（西から）
④　第５９号墓石（西から）
⑤　第６０号墓石（南から）

図版　８６　　原田第４１号墓地
①　第１号墓と改葬壙（南西から）
②　第１号墓　甕棺と蓋押さえ石
③　第１号墓　甕棺と人骨（南西から）
④　第１号墓　棺内副葬品出土状況
⑤　第２号墓（南西から）
⑥　第２号墓　人骨出土状態（南西から）

図版　８７　　原田第４１号墓地
①　第３号墓と改葬壙（西から）
②　第３号墓　甕棺と蓋押さえ石（西から）
③　第３号墓　甕棺と人骨（西から）
④　第４・６６号墓（西から）
⑤　第４号墓　甕棺破砕状況（南から）
⑥　第４号墓　下位甕棺底部出土状況

図版　８８　　原田第４１号墓地
①　第５号墓（西から）
②　第６号墓（西から）
③　第７号墓（西から）
④　第７号墓　甕棺と蓋押さえ石
⑤　第７号墓　押さえ石撤去後の甕棺
⑥　第７号墓　甕棺と人骨（西から）

図版　８９　　原田第４１号墓地
①　第８号墓と改葬壙（北西から）
②　第８号墓　甕棺と蓋押さえ石
③　第８号墓　甕棺と蓋押さえ石の墨書
④　第８号墓　甕棺と人骨（北西から）
⑤　第９号墓（西から）
⑥　第９号墓　甕棺と人骨（西から）

図版　９０　　原田第４１号墓地
①　第１０号墓と改葬壙（北東から）
②　第１０号墓　甕棺と蓋押さえ石
③　第１０号墓　甕棺と人骨（北西から）
④　第１１号墓と改葬壙（西から）
⑤　第１１号墓　甕棺と人骨（西から）

図版　９１　　原田第４１号墓地
①　第１２号墓と改葬壙（北西から）
②　第１２号墓　正方形木棺跡と人骨
③　第１３号墓と改葬壙（西から）
④　第１４号墓と改葬壙（西から）
⑤　第１５号墓と改葬壙（西から）
⑥　第１６号墓（西から）

図版　９２　　原田第４１号墓地
①　第１７号墓（南西から）
②　第１７号墓　副葬品出土状況
③　第１８号墓と改葬壙（西から）
④　第１８号墓　正方形木棺跡と人骨
⑤　第１９号墓（北西から）
⑥　第１９号墓　甕棺と人骨（北西から）

図版　９３　　原田第４１号墓地
①　第２０号墓と改葬壙（西から）
②　第２０号墓　人骨出土状況（南から）
③　第２１号墓（西から）
④　第２１号墓　正方形木棺跡と人骨
⑤　第２２号墓（南西から）
⑥　第２２号墓　桶棺跡と人骨（南西から）

図版　９４　　原田第４１号墓地
①　第２３号墓（南西から）
②　第２４号墓（北西から）
③　第２６号墓（東から）
④　第２６号墓　人骨出土状況（東から）
⑤　第２７号墓と改葬壙（西から）
⑥　第２７号墓　押さえ石撤去後の甕棺

図版　９５　　原田第４１号墓地
① 第２８号墓と改葬壙（西から）
② 第２８号墓　副葬品出土状況（東から）
③ 第２９号墓と胞衣容器（西から）
④ 第２９号墓　甕棺と人骨（西から）
⑤ 第３０号墓（西から）

図版　９６　　原田第４１号墓地
① 第３１号墓（南西から）
② 第３１号墓　甕棺と人骨（北東から）
③ 第３１号墓　棺内足袋はぜ出土状況
④ 第３３号墓（北西から）
⑤ 第３３号墓　正方形木棺跡と人骨

図版　９７　　原田第４１号墓地
① 第３４号墓（西から）
② 第３４号墓　正方形木棺跡と人骨
③ 第３５号墓（北西から）
④ 第３５号墓　正方形木棺跡と人骨
⑤ 第３６号墓（西から）
⑥ 第３６号墓　正方形木棺跡と人骨

図版　９８　　原田第４１号墓地
① 第３７号墓（西から）
② 第３７号墓　人骨出土状況（西から）
③ 第３８号墓（南西から）
④ 第３９号墓と改葬壙（北西から）
⑤ 第４０号墓と改葬壙（西から）
⑥ 第４０号墓　正方形木棺跡と人骨

図版　９９　　原田第４１号墓地
① 第４０号墓　棺内副葬品出土状況
② 第４１号墓（北西から）
③ 第４１号墓　人骨出土状況（北西から）
④ 第４２号墓（西から）
⑤ 第４２号墓　人骨出土状況（西から）

図版１００　　原田第４１号墓地
① 第４３号墓（西から）
② 第４３号墓　人骨出土状況（西から）
③ 第４４号墓と改葬壙（西から）
④ 第４４号墓　正方形木棺跡と人骨
⑤ 第４５号墓（西から）
⑥ 第４５号墓　副葬品出土状況（東から）

図版１０１　　原田第４１号墓地
① 第４６号墓と改葬壙（南西から）
② 第４７号墓と改葬壙（西から）
③ 第４７号墓　甕棺と蓋押さえ石？
④ 第４８号墓（西から）
⑤ 第４８号墓　甕棺と人骨（西から）

図版１０２　　原田第４１号墓地
① 第４９号墓と改葬壙（西から）
② 第４９号墓　人骨出土状況（西から）
③ 第４９号墓　副葬品出土状況（南から）
④ 第５０号墓と改葬壙（南西から）
⑤ 第５１号墓と改葬壙・墓石（東から）
⑥ 第５１号墓　甕棺の改葬跡（北東から）

図版１０３　　原田第４１号墓地
① 第５２号墓と改葬壙（東から）
② 第５２号墓（西から）
③ 第５２号墓　甕棺と人骨（東から）
④ 第５３号墓と改葬壙（北西から）
⑤ 第５３号墓　墓壙内石出土状況

図版１０４　　原田第４１号墓地
① 第５３号墓　正方形木棺跡と人骨
② 第５３号墓　棺内副葬品出土状況
③ 第５４号墓と改葬壙（北西から）
④ 第５４号墓　正方形木棺跡と人骨
⑤ 第５５号墓（南西から）
⑥ 第５５号墓　正方形木棺跡と人骨

図版１０５　　原田第４１号墓地
① 第５６号墓と改葬壙（西から）
② 第５６号墓　甕棺の改葬跡（北西から）
③ 第５６・５７号墓と改葬壙（南西から）
④ 第５７号墓と改葬壙（南西から）
⑤ 第５７号墓　甕棺の改葬跡（南東から）
⑥ 第５７号墓　甕棺と人骨（東から）

図版１０６　　原田第４１号墓地
① 第５８号墓と改葬壙（北西から）
② 第５８号墓　甕棺と人骨（北西から）
③ 第５８号墓　棺内副葬品出土状況
④ 第５９号墓（西から）
⑤ 第５９号墓　棺内副葬品出土状況

図版１０７　原田第４１号墓地
① 第６０号墓（南西から）
② 第６０号墓　正方形木棺跡と人骨
③ 第６１号墓と改葬壙（南西から）
④ 第６１号墓　人骨出土状況（南西から）
⑤ 第６２号墓（西から）
⑥ 第６２号墓　正方形木棺跡と人骨

図版１０８　原田第４１号墓地
① 第６３号墓（南西から）
② 第６３号墓　人骨出土状況（南西から）
③ 第６４号墓（西から）
④ 第６５号墓と改葬壙（西から）
⑤ 第６６号墓（西から）

図版１０９　原田第４１号墓地
① 第６８号墓と改葬壙（南西から）
② 第６８号墓　正方形木棺跡と人骨
③ 第６９・７０号墓（西から）
④ 第６９号墓（西から）
⑤ 第６９号墓　棺内副葬品出土状況
⑥ 第７０号墓（西から）

図版１１０　原田第４１号墓地
① 第７２号墓と改葬壙（西から）
② 第７３号墓と改葬壙（西から）
③ 第７３号墓　人骨出土状況（西から）
④ 第７４号墓（西から）
⑤ 第７４号墓　人骨出土状況（南西から）

図版１１１　原田第４１号墓地
① 第７５号墓（北西から）
② 第７５号墓　甕棺と人骨（北西から）
③ 第７６号墓と改葬壙（西から）
④ 第７７号墓と改葬壙（南西から）
⑤ 第７８号墓と改葬壙（南西から）
⑥ 第７８号墓　正方形木棺跡と人骨

図版１１２　原田第４１号墓地
① 第２５号墓？（西から）
② 第３２号墓？（西から）
③ 第６７号墓？（東から）
④ 第７１号墓？（西から）
⑤ 第１号胞衣容器（西から）
⑥ 第２号胞衣容器（南東から）

図版１１３　原田第４１号墓地
① 第３号胞衣容器
② 第４号胞衣容器（南東から）
③ 第５号胞衣容器（北から）
④ 第６号胞衣容器（北から）
⑤ 第７・８号胞衣容器（南東から）
⑥ 第９号胞衣容器（南から）

図版１１４　原田第４１号墓地
① 第１０号胞衣容器（北西から）
② 第１１号胞衣容器（南東から）
③ 第１１号胞衣容器　完掘状況（南東から）
④ 第１２号胞衣容器？（西から）
⑤ 第１２号胞衣容器？　完掘状況（北から）

図版１１５　原田第４１号墓地
① 第１３号胞衣容器？（南西から）
② 第１３号胞衣容器？（南西から）
③ 第１４号胞衣容器（南から）
④ 第１４号胞衣容器　標石撤去後（西から）
⑤ 第１５号胞衣容器（西から）
⑥ 第２９号墓壙内の胞衣容器（北から）

図版１１６　原田第４１号墓地
① 第１・２号蔵骨器（西から）
② 第１・２号蔵骨器（南から）
③ 第１号蔵骨器（西から）
④ 第２号蔵骨器（西から）
⑤ 第３号蔵骨器（北から）
⑥ 第３号蔵骨器（北東から）

第Ⅰ章　調査の経過と組織

第１節　調査に至る経過

原田第１・２・４０・４１号墓地の発掘調査は、筑紫野都市計画事業原田駅前土地区画整理事業（以下「事業」という）に伴い実施したものである。

事業は、昭和56年８月に都市計画決定された小郡・筑紫野ニュータウン計画の一事業であり、筑紫野市施行の土地区画整理事業として、昭和59年10月に都市計画決定および、昭和60年６月に事業計画決定を受けたものである。平成13年３月31日をもって事業は終了した。

事業地（施行面積44.1ha）内には江戸時代の長崎街道が通り、旧原田宿の町並みが完全に含まれていた（第１図）ため、昭和59年７月開催の市関係課説明会に文化財担当（当時社会教育課）も参加し、以後、文化財－主に埋蔵文化財－の取り扱いについて協議を重ねた。

昭和63年２月に事業地内の一部で埋蔵文化財の試掘調査を実施し、同年７月より本格的な埋蔵文化財発掘調査（以下「調査」という）を開始した。

前後して、事業地内における埋蔵文化財の取り扱いについての『筑紫野都市計画事業原田駅前土地区画整理事業地内埋蔵文化財に関する覚書』を同年11月15日付けで締結した。そして、昭和63年度から平成12年度まで年度毎に事業・調査の計画を協議し、各年度の『筑紫野都市計画事業原田駅前土地区画整理事業地内埋蔵文化財発掘調査事務委任協議書』を締結した。

事業に伴う調査は、平成13年３月30日をもって終了した。

本書で報告する４箇所の墓地は主に江戸・明治時代の墓地であり、江戸時代の宿場であった原田地区においては考古学的な調査が必要であった。このため区画整理課と協議を重ねた結果、調査は無縁の墓か、あるいは祭主者の承諾が得られた墓に限定して実施することとした。

事業地内には10箇所の墓地が所在していたため、事業施行者の筑紫野市は昭和60年７月30日・８月６日・８月12日付けで計３回の墓地改葬公告を毎日新聞・西日本新聞紙上で行い、公告に対して連絡のない墓については無縁扱いとする改葬の手続きを執っている。昭和63年12月14日付けで施行代表者名での『改葬許可申請書』が提出され、同年12月16日付けで筑紫野市長から許可が下りている。

このうち、大字原田40・42・2615・2628番地所在の４箇所の墓地については、公告後に祭主者によって改葬された墓以外の残った墓を無縁の墓と認定し、昭和63年度から平成３年度にかけて調査を実施した。

第２節　調査の組織

原田第１・２・４０・４１号墓地の調査組織は、下記の通りである。

発掘調査（昭和63年度～平成３年度）

総　括	筑紫野市教育委員会	教　育　長	永　渕　正　敏
庶　務	筑紫野市教育委員会	社会教育課長	川　原　孝　之（～平成２年度）
			竹　田　征　治（平成３年度）
		文化財担当係長	山　野　洋　一

		文化財担当技師	森　山　栄　一
調　査	筑紫野市教育委員会	文化財担当技師	森　山　栄　一
	九州大学医学部	法医学教室教授	永　田　洋三郎
		解剖学第２講座	土　肥　直　美（現琉球大学医学部）
			中　橋　孝　博（現九州大学大学院）
	福岡県警察科学捜査研究所　法医科		林　葉　康　彦
	西南学院大学		唐木田　芳　文

報告書作成（平成14年度）

総　括	筑紫野市教育委員会	教　育　長	髙　嶋　正　武
庶　務	筑紫野市教育委員会	教育部長	岡　部　隆　充
		文化財課長	山　内　幸　雄
		文化財課長補佐	古　賀　幸　信（文化財担当係長兼務）
		文化財課主査	野美山　　勝
調　査	筑紫野市教育委員会	文化財課技師	森　山　栄　一
	明福寺（大字下見）	住　職	鷺　山　智　英

原田駅前文化財調査指導委員会	会　長　歴史学	近　藤　典　二
	副会長　考古学	小　田　富士雄（福岡大学文学部）
	委　員　民俗学	佐々木　哲　哉（田川市石炭資料館）
	委　員　人類学	永　井　昌　文（平成13年10月４日没）
	委　員　美術史学	西　村　強　三（芦屋釜の里）
	委　員　建築学	宮　本　雅　明（九州芸術工科大学）

調査関係者（敬称略）

現場作業員

天　本　貞　子	天　本　利　美	天　本　英　明	伊　東　智恵子	井　上　　修
大久保　ルリエ	岸　　ミチエ	坂　口　一　郎	佐　藤　明　善	佐　藤　利　夫
高　須　　透	中　野　孝　子	服　部　セツ子	服　部　浩　暢	松　石　　實
松　石　宗　男	真名子　正　義	百　田　嗣　昌	森　　裕　之	山　内　勝　栄
山　内　サノエ	山　内　百　香	山　本　哲　夫	横　尾　フジ子	

室内作業員

天　野　美智子	北　野　正　子	児　玉　カヨ子	坂　口　隆　子	関　根　ふさ子
宗　　和　代	鶴　　淨　美	松　尾　敦　子	森　　和　代	山　内　妙　子
芳　野　和　代	和　田　静　子			

室内補助員

藺牟田　秀　子	斎　田　浩　代	高　松　幸　子	寺　岡　和　子	中　川　真理子
日永田　能　成	森　田　くみ子	森　部　順　子		

第Ⅱ章　位置と環境

第１節　位置の概要

筑紫野市は福岡県の内陸に位置し（中表紙地図）、北東側に三郡山地を、南西側に脊振山地を配し、その間には狭長な「二日市低地帯」が走っている。この二日市低地帯は、北西側の福岡平野と南東側の筑後平野(筑紫平野の一部)とを結ぶ平地であり、原始古代から現在に至るまで交通の要衝として重要な地形を成している。

原田地区は市域の南部に位置し(第１図)、南側で小郡市と、南西側で佐賀県と境を接している。地形的には二日市低地帯の南端寄りに位置し、地区の大半は脊振山地の東側山麓部を構成する丘陵が占め、宝満川の支流である宝珠川などの小河川によって解析された谷が多く発達している。

原田第１・２・４０・４１号墓地は、事業地内北側に位置する（第１図）。第１・２号墓地は小字合ノ原(ごうのはる)の丘陵上に立地し、現在の原田２丁目内にあたる（第４図）。第４０・４１号墓地も事業地北西端の同一丘陵上に立地するが、小字は異なり、第４０号墓地は字辻(つじ)、第４１号墓地は字岩ノ狩倉(いわのかりくら)である。現在の原田８丁目内にあたる（第４図）。

第２節　歴史的環境

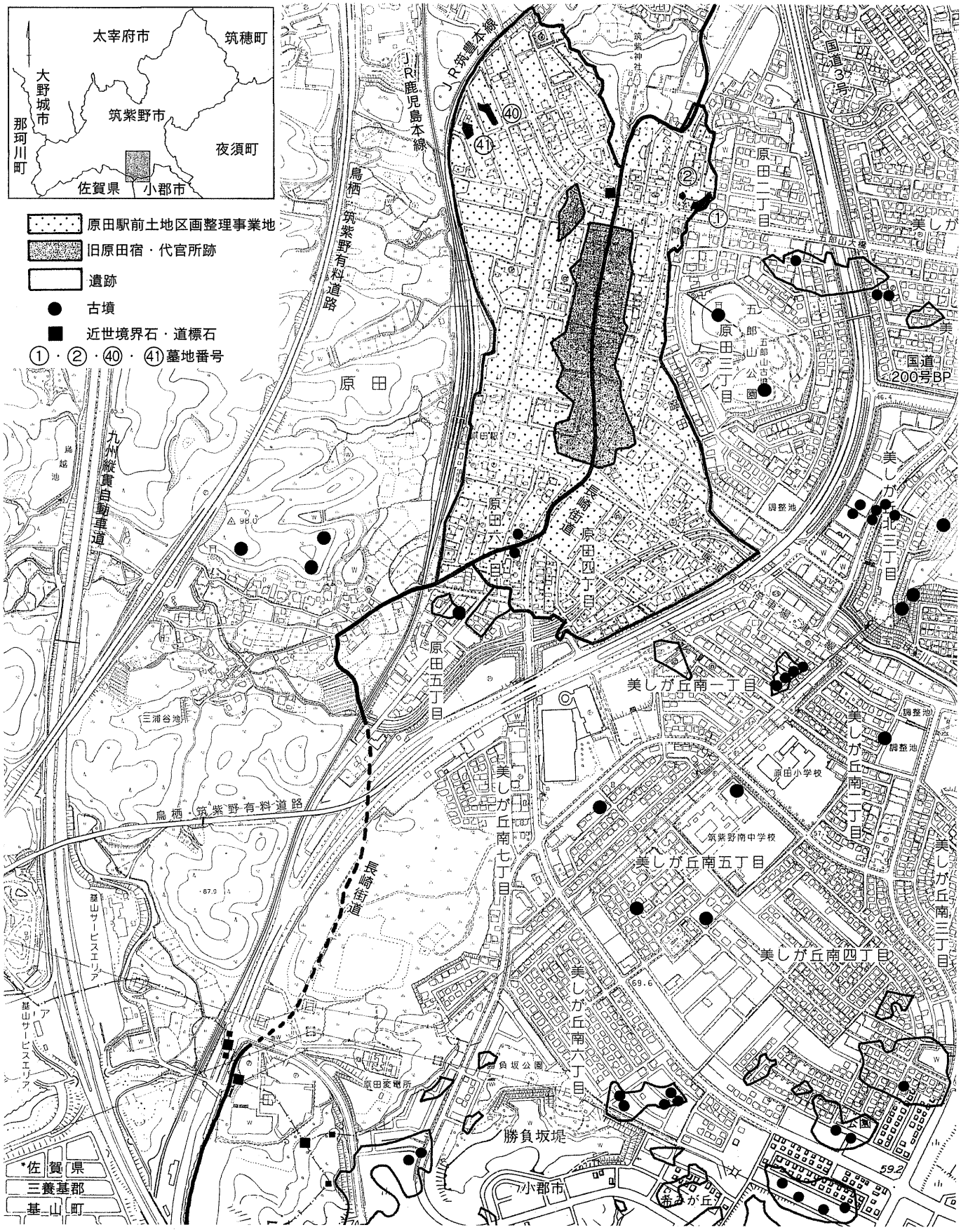
旧石器時代の資料は採集石器のみが以前より知られていたが、事業地内の５箇所において石器包含層を検出し、後期旧石器のナイフ形石器・台形石器・角錐状石器などが出土している。

縄文時代の遺跡は、事業地内の11箇所で調査を実施し、後期～晩期の土器(鉢形)と石器（石斧・石鏃・石匙・磨石・剥片石器）が出土している。特に、事業地内南側に集中しているが、明確な遺構は検出できていない。なお、丘陵斜面において落とし穴状遺構を検出しているが、遺物が出土していないため時期を確定できない。

弥生時代の遺跡は、原田地区では４箇所調査されている。その時期は中期初頭～前半の短期間に営まれた集落跡であるが、それに伴う墓域は未だ確認できていない。また、事業地内の１箇所において後期と思われる箱式石棺墓が検出されている。

古墳時代の原田地区には、多くの古墳を中心とした遺跡が認められる。前期の遺物も出土しているが、確実な遺構としては、前期末～中期初頭の火災竪穴式住居跡が１軒だけ単独で検出されており、中・後期には宝珠川に面した低位段丘上に集落が営まれている。

古墳は中・後期の所産であり、その多くは丘陵頂部か尾根線上に立地している。古墳の大半は横穴式石室を内部主体とする直系10m前後の小円墳であるが、原田地区最大規模の巡り尾Ｉ遺跡第２３号墳(複室横穴式石室、直径24～35m)と石室内壁に彩色画を施した五郎山古墳（複室横穴式石室、直径31.8～32.5m）は特異な存在であり、当時強い権力が存在していたことが窺える。また、後期から終末にかけて丘陵斜面に横穴墓が築造され、一部奈良時代初頭頃まで利用されている。



第１図　原田地区周辺遺跡分布図（S=１/10,000）

古代（奈良・平安時代）については、平安時代の法令集『延喜式』に記載されている筑紫神社が事業地内北側に所在しているが、周辺の調査では神社に関する確実な古代の遺構・遺物は検出できていない。ただ、事業地内南側の２箇所で平安時代の竈付き竪穴式住居跡が検出されており、これまで全く不明であった原田地区の古代の様子を知る資料である。

中世(鎌倉・室町・戦国時代)の遺跡は多い。特に、筑紫神社が立地する同一丘陵上では、地下式横穴跡・掘立柱建物跡などの遺構が検出されている。この丘陵は小字合の原の一部であり、地元の伝承にいう「合の原の合戦」があったとされる場所である。

また、近世原田宿代官所が設置されていた同一丘陵上においても、地下式横穴跡・掘立柱建物跡・土壙墓跡・Ｖ字状溝跡など多くの遺構が検出されている。この丘陵は、小字「辻」でありながらも地元では「ツジバタケ」と呼んでいる所であり、明治時代に編纂された『福岡地理全誌』に記されている「(原田氏宅跡ハ) 辻畑ニアリ」という地元伝承との何らかの関連が推定される。

中世の遺跡は事業地内北側だけではなく、近世宿場跡や事業地内南側でも多く検出している。

特記すべき遺物としては、筑紫神社周辺から「天文十二年」（1543年）と印刻された瓦？片や文様瓦が出土している。また、動物遺体として、馬・牛の歯・骨が出土している。

近世（織豊・江戸時代）においては、長崎から江戸までを結ぶ長崎街道の宿場として町並みが整備されている。特に、筑前国の南西端にあって筑後国および肥前国と接しており、三国境の宿場として重要な位置にあった。

長崎街道のルートの解明も文献資料・絵図・古地図・伝承などから確定されつつある。事業地内でも５箇所において長崎街道跡と思われる切り通しや石敷きなどの路面および側溝が検出できた。

事業地内北西側には長崎街道から分かれて太宰府天満宮へ参拝するための道「天満宮参詣道」が通っており、その分岐点には幕末に追分石が建立されていた。また、原田地区南側の長崎街道筋では中～後期に国境を標示する石が３箇所に建立されている。

原田宿の成立時期は不明である。正徳４（1714）年に書かれた『二日市宿庄屋覚書』に、寛永15（1638）年頃に島原の乱を鎮圧するためにやって来た幕府の軍勢が原田宿に泊まったことが記載されており、この時には既に原田宿があったことが窺える。

事業地内の調査では、人為的に埋められた旧河川や湿地が宿場跡やその周辺において確認できた。また、『二日市宿庄屋覚書』の文中「屋敷床皆田地にて有之候」の記述からも、原田宿はそれ以前の村落を新たに開発し、南側の本町から中町・新町へと北側に拡張されていったものであろう。

また、原田宿南側の西構口に関番所を、西側に代官所を設けており、国境の宿場としての重要な役割を担っていた。

近（明治時代～）・**現代**（第２次世界大戦終戦～）に入ってからも、産業の近代化に伴う筑豊地方における産炭事業の搬出地の１つとして繁栄を誇った。

明治５（1872）年に原田郵便局が開局し、翌明治６（1873）年には原田小学校が開校（明治29年閉校）している。交通関係では、明治21（1888）年に国道3号が、翌明治22（1889）年には九州鉄道（現ＪＲ鹿児島本線）が開通し、そして昭和22（1929）年には長原線（現筑豊本線）

が開通し、現在でも重要な交通機関である。

しかし、戦後の高度経済成長の末、エネルギー革命によって産炭地が衰退していく中で原田も歩みを共にしてきた。

しかしながら、交通の要衝としての位置づけは変わらず、新たな交通体系として九州縦貫自動車道、鳥栖・筑紫野有料道路、国道3・200号バイパスが開通し、現在に至っている。

最後に、第２次世界大戦時の防空壕跡と思われる地下壕と横穴が事業地内から多く検出された。その中には掘削途中で終戦を迎えたものもあり、戦後50年以上を経た今、我々に何かを訴えているのかも知れない。

第Ⅲ章　調査の概要

第１節　遺跡名の変更

本書で報告する「原田第１・２・４０・４１号墓地」という遺跡名は、報告書作成時に付した遺跡名であり、現場作業および室内整理作業段階で使用した遺跡名とは異なっている。

事業地の大半は大字原田（はるだ）であるが、事業地内北西端の一部に大字筑紫（ちくし）が含まれていた。このため、筑紫地区の遺跡については「筑紫地区遺跡」とし、事業に伴う調査は1箇所だけであったので「筑紫地区遺跡第1地点」という仮の遺跡名を付した。

原田地区の遺跡に関しては、組合施行の原田土地区画整理事業地内埋蔵文化財発掘調査において「原田地区遺跡（群）」という遺跡名が既に付され、地形に応じて第1～38地点の地点番号が使用されていた。このため、事業に伴う原田地区の調査でも「原田地区遺跡（群）」という遺跡名を採用した。また、将来小字名を付した遺跡名に変更することを前提として、調査箇所に対して便宜的に調査順に通し番号を踏襲し、第39～122地点を使用した。

このうち、原田地区遺跡第41地点（第４・５図）に２箇所、原田地区遺跡第40地点（第４・４９図）に２箇所、計４箇所の墓地が所在していた。この墓地を他の遺跡・遺構と区別するために、各墓地の地番を採用して下記の通り記号化し、以後使用してきた。

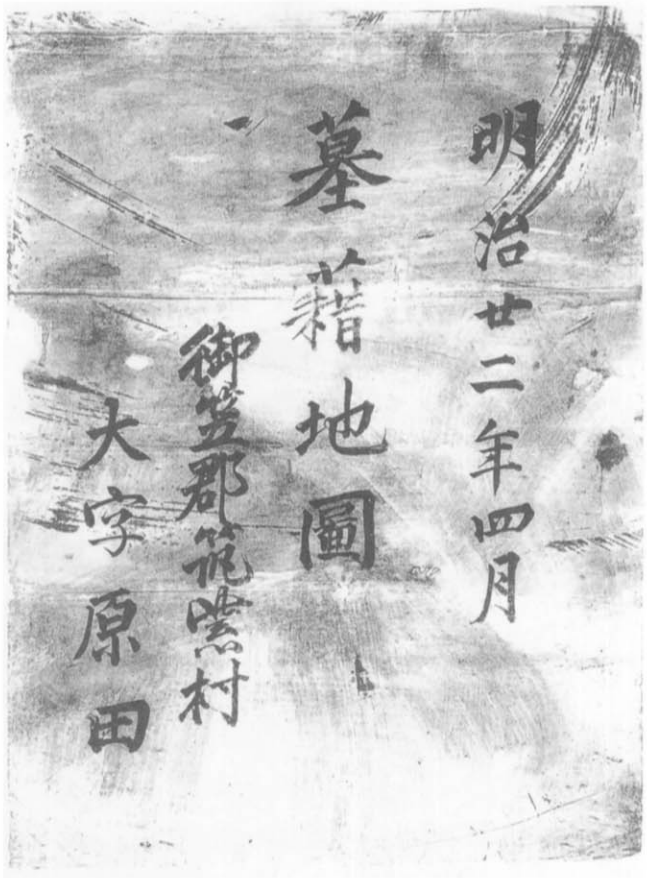
墓地（B）＋原田（H）＋地番（40・42・2615・2628）

⇩

ＢＨ４０・ＢＨ４２・ＢＨ２６１５・ＢＨ２６２８

現地調査と併せて行った墓地関係資料の調査において、地元の伯東寺が所有する『墓籍』および『墓籍地図』(第２図)を知ることができた。この資料は、旧原田村全域に所在していた44箇所の墓地の記録であり明治22年４月に完成している（註１）が、その後も昭和初期まで追記・使用されている。44箇所の墓地には第１～４４号の通し番号が付され、それぞれの地番と小字名が記載されている。

区画整理事業によって地形・地番および小字名が消失し、新しい区画・町名に変わった現状(第４図)において、墓地遺跡名として旧地番を使用することは無意味である。このため、墓地の歴史資料である『墓籍』・『墓籍地図』において各墓地を示す通し番号を遺跡名として使用したほうが、原田地区にまだ残っている古い墓地との対比においても将来的には都合が良いと考え、本書作成段階で変更したしだいである。

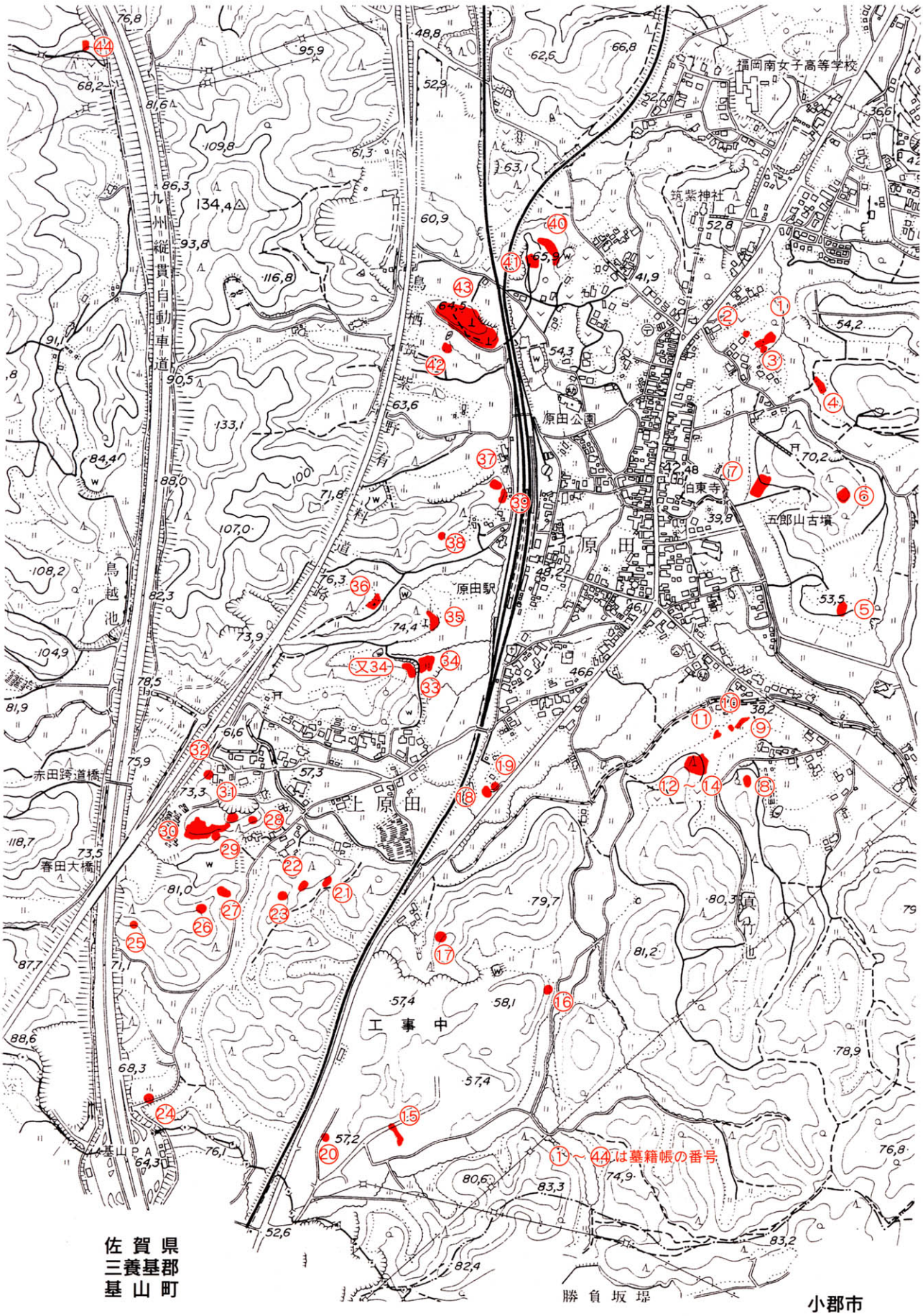


第２図　『墓籍地図』表紙（原図のＳ＝1/6）

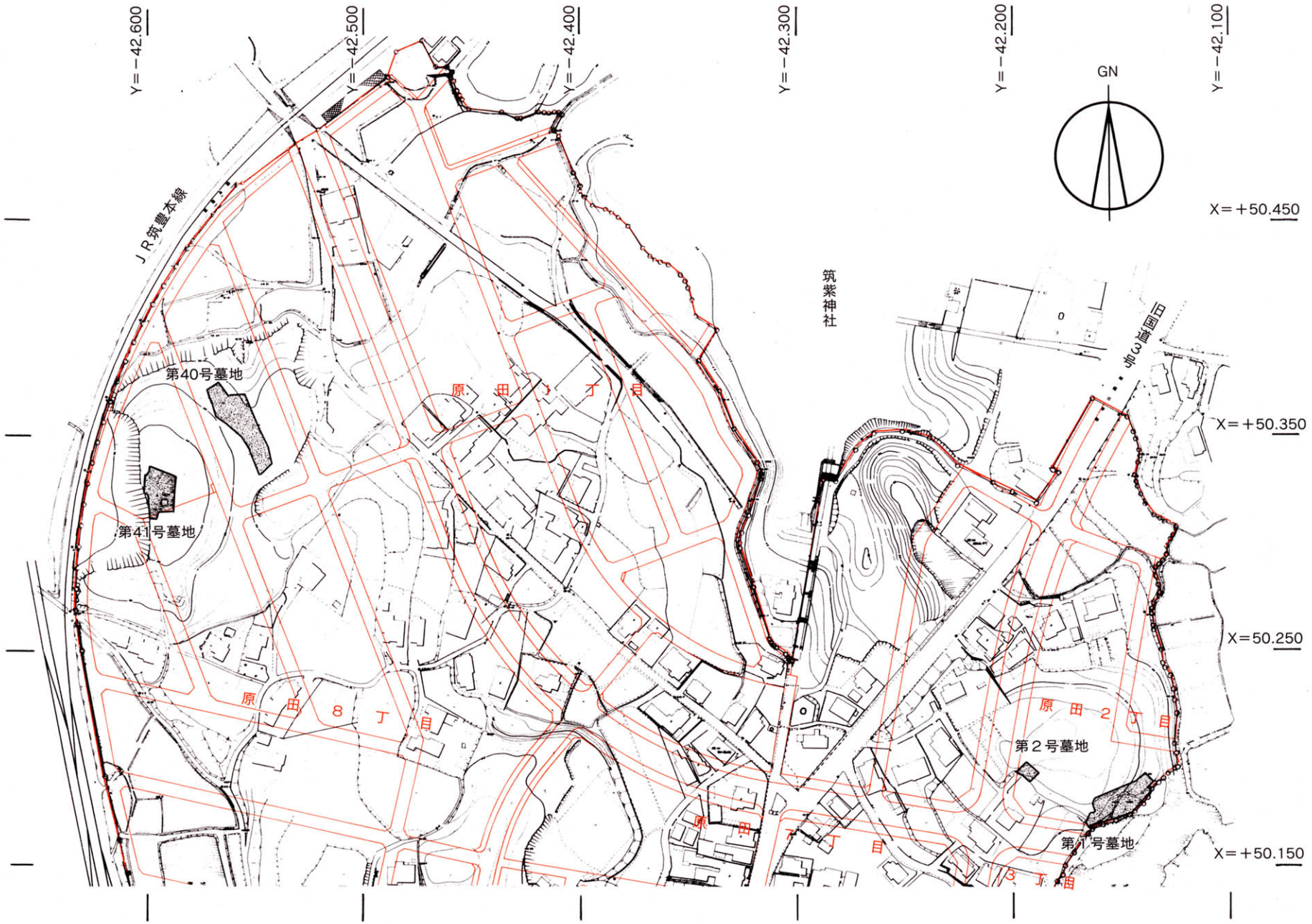
遺跡名の新旧関係は下記の通りである。

新遺跡名	旧遺跡名
原田第　１　号墓地	原田地区遺跡第41地点　ＢＨ40　(小字合ノ原)
原田第　２　号墓地	原田地区遺跡第41地点　ＢＨ42　(小字合ノ原)
原田第４０号墓地	原田地区遺跡第40地点　ＢＨ2615　(小字辻)
原田第４１号墓地	原田地区遺跡第40地点　ＢＨ2628　(小字岩ノ狩倉)

註１.『墓籍』・『墓籍地図』の表紙は「御笠郡筑紫村大字原田」となっているが、『墓籍』の中は「筑前国御笠郡原田村」、『墓籍地図』の各図面には「原田村」となっている。これは、明治22年4月1日付けで町村制が施行され、旧原田村も10村合併で「筑紫村大字原田」に変更になったためである。作成時は旧村名で、完成した明治22年4月の表紙には新村名を記している。



第３図　明治22年時の原田地区墓地分布図（S=１/10,000）
（地図は昭和52年８月編集のものを使用）



第4図　原田第1・2・40・41号墓地位置図（S=1/2,500）

第2節　調査の概要

原田第１・２・４０・４１号墓地は近世・近代の墓地であり、過去に改葬を受けて倒されていながらも多くの墓石が残存していた。このため、墓石の記録をとるために、墓地の腐葉土除去および墓石の清掃を行い、墓石の全体と個別の写真撮影および個別の拓本をとる作業を実施した。なお、墓石の全体配置の測量図作成は民間委託し、写真測量で対応した。

祭主者による改葬の後、残った墓を無縁墓と認定し、埋蔵文化財の発掘調査を開始した。

先ず残っていた墓石を墓地外に移し、次に個別図化のための測量用写真撮影および石質鑑定のためのサンプル採集を行った後に、民間委託して墓石は事業地外へ持ち出し処理した。

次に、表土除去および遺構検出作業時に胞衣(えな)容器と思われる土瓶などが出土したので浮いた状態で残し、引き続き遺構の検出に努めた。

検出した墓壙には予想以上に良好な状態で人骨が残存していたため、現場における形質人類学の調査・取り上げが必要となり、平成1年度に九州大学医学部に対し「原田地区における近世墓地群出土人骨の調査・研究」を委託した。出土人骨は、部分改葬・未改葬のものを含めて、4箇所で計157体を数えた。

調査は考古学と形質人類学の共同調査であったため、同一丘陵上での2箇所の墓地を一定期間並行して調査することとなった。各墓地の調査期間は、下記の通りである。

原田第　１　号墓地	平成１年２月 ～ 平成３年７月
原田第　２　号墓地	平成１年２月 ～ 平成２年12月
原田第４０号墓地	昭和63年11月 ～ 平成１年10月
原田第４１号墓地	昭和63年12月 ～ 平成１年10月

調査で検出した遺構は４箇所で計264基であり、その内容も様々である。ここでは、本書で使用する用語の説明を兼ねて、遺構の概要を述べる。

遺構の主体は墓の土壙（＝墓壙）である。墓には土葬墓と火葬墓がある。土葬墓は被葬者を直接納めた棺を葬った土壙であり、棺が納まるだけの寸法特に深さが必要である。また、火葬墓は火葬骨が入った蔵骨器を納めた土壙である。調査で検出した墓の大半は土葬墓である。

土葬墓の墓壙は平面形が正方形と長方形の２種類があり、長方形墓壙はさらに長軸の長短で２つに細分できる。この墓壙の形態と長短は、その中に納められる棺形態および被葬者の葬位と必然的な関係を有している。

正方形墓壙には座葬としての甕棺・桶棺・正方形縦棺（箱棺）が埋納され、掘り方も深い。座葬は、人骨の出土状況から立膝(たてひざ)座葬と呼ぶこととした。

長方形墓壙には被葬者を横たえるための長方形横棺（寝棺）が埋納されるが、墓壙と同じく長さに長短があり、長い棺では伸展葬、短い棺では側臥屈葬か仰臥屈葬のいずれかである。

墓地は土葬するだけの場所ではなく、改葬に伴う火葬場として、また火葬骨の埋納場所としても使用されている。さらに、出産に伴う胞衣の埋納場所としても使用されたらしく、胞衣を入れたと思われる胞衣容器(えなようき)あるいは胞衣を直に埋納したと思われる小土壙も検出された。

なお、残存していた墓石の中には過去の改葬によって倒され、原位置をとどめていないものが多くあった。また、現場調査時の不手際で出土位置を確認できない墓石（以下「不明墓石」という）もある。そこで、各墓地の墓標の配置を図化した『墓籍地図』が墓石の原位置を復元する参考とな

り、その台帳である『墓籍』も被葬者を確定するための根拠資料となる。このため、本書では遺構調査の報告と併せて、各墓地の『墓籍』・『墓籍地図』の内容を調査し報告することとした。

先述したとおり、『墓籍地図』は各墓地毎の墓標配置図であり、各墓標には通し番号を付し、木標・石標といった墓標の種類も区別して図示している。また、『墓籍』は『墓籍地図』に対応する台帳であり、『墓籍地図』に付された通し番号毎に墓標・坪数・死者姓名・死亡年月日・祭主を記録している。本資料は、明らかに作成当時墓碑を誤って判読したと思われる箇所もあるが、それ以上に墓標の相対的に正確な配置図とその詳細な台帳は、原田地区における墓地に関する貴重な歴史資料である。



第Ⅳ章　遺構調査の内容

第１節　原田第１号墓地の調査

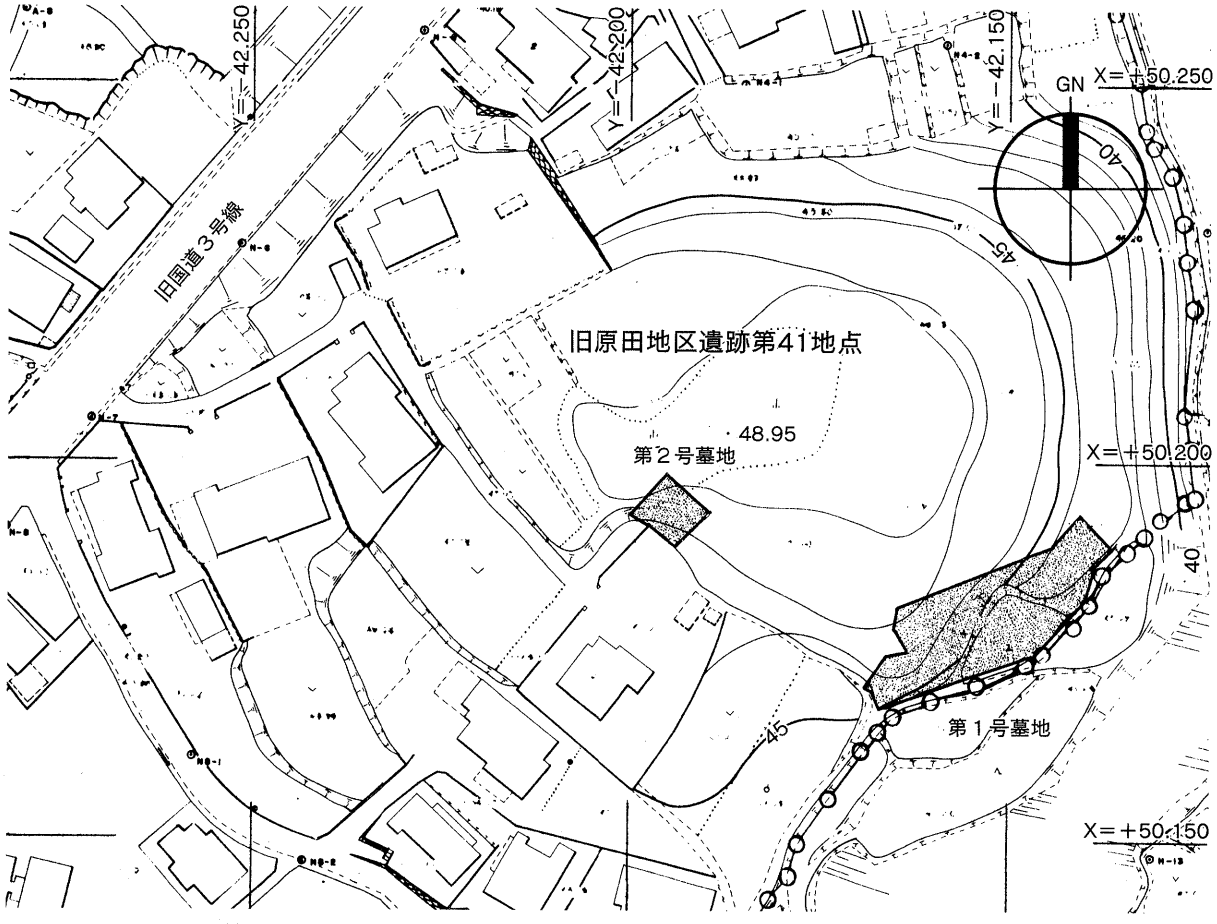
原田第１号墓地(以下「第１号墓地」という)は、旧遺跡名原田地区遺跡第41地点ＢＨ40と仮称していた遺跡であり、平成１年２月から平成３年７月にかけて調査した。

第１号墓地は、事業地の北東端（第１図)、筑紫神社の南東側（第４図）に位置し、旧小字合ノ原にあたる。筑紫神社が立地する丘陵から南東へ延びた低丘陵の南東側斜面上標高44～47ｍに立地する（第５図)。斜面の高位北西側をカットし、平坦面を造成して墓域としている。墓域は２段の平坦面からなり、標高44.0～44.5mの西側から中央南側にかけてを下段、標高45.5～46.0mの中央北側から北東にかけてを上段とした。下段の幅は4.0～5.0m、上段の幅は西側で4.0～4.5m、東側で5.0～6.0mを測る（第６図)。

事業に伴う祭主者による改葬が行われたため、調査できたのは下段の東側約１／３および上段の北東側半分であった（第39図)。

１．墓石の調査(第６～19図、図版１～８)

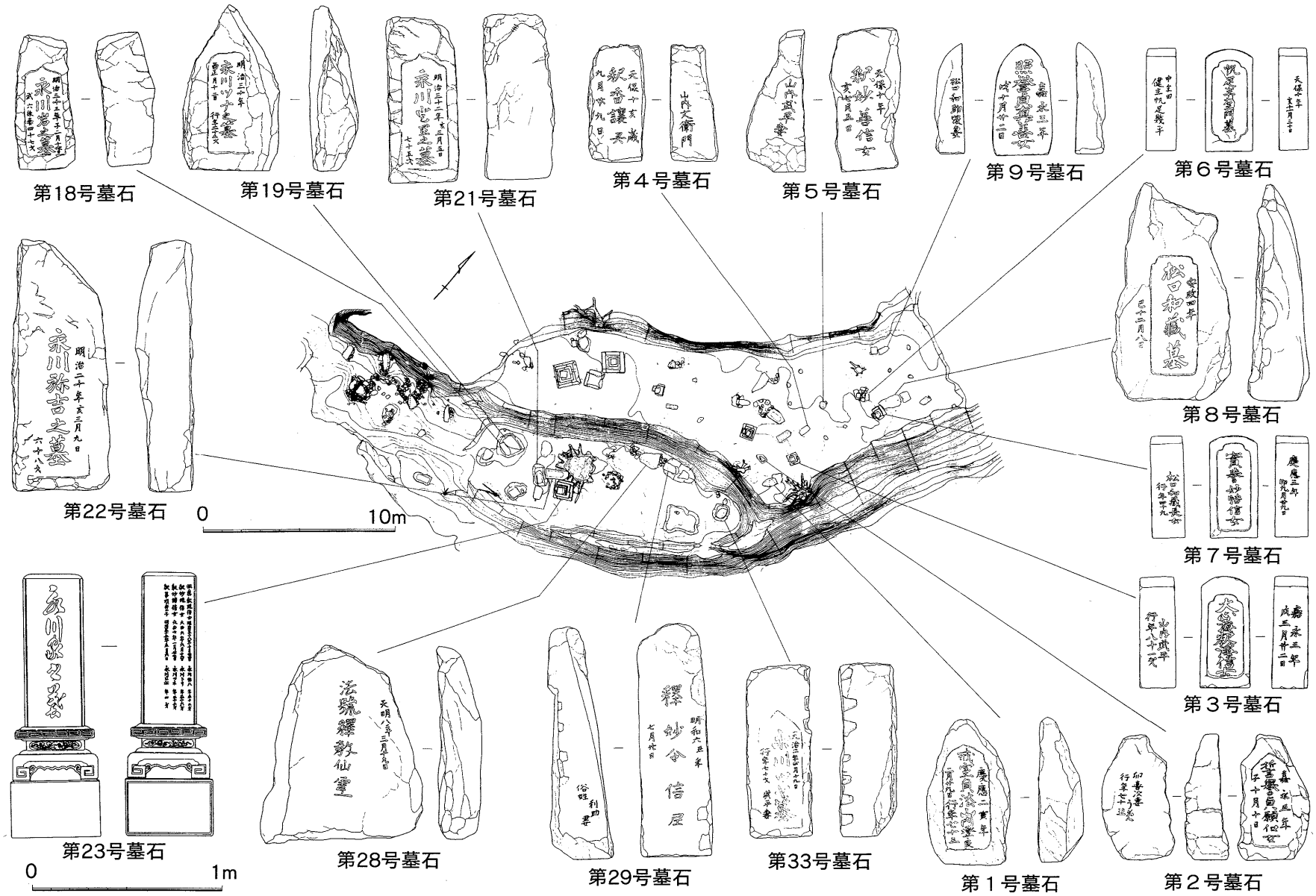
第１号墓地では、改葬の後残された墓石は地上において33基を数えた。この中には墓碑のないもの、基壇・基礎石と思われるもの、そして小石にも番号を付しており、確実に墓碑を有する墓石は



第５図　原田第１・２号墓地周辺現況地形測量図（S＝1/1,000)



第６図　原田第１号墓地　墓石現況測量図（S=1/100）



第７図　原田第１号墓地　墓石対比図（S=1/30・1/300）

地上で１７基である。建った状態で残っていた墓石は６基のみであり、他はすべて倒れていた。建っていた墓石の正面（碑面）はすべて南西方向である。

また、過去の改葬時に墓壙・改葬壙内に落とし込まれた墓石１３基が出土したが、内１基が不明となり、計２９基の墓石を年代順に図示した（第７～19図）。

第３４号墓石（第８・20図、図版27－⑤）

下段中央に位置し、第１・２・４号墓の間に掘られた改葬壙の中に正面を上にして出土した。花崗岩（佐賀）の自然石であり、長さ60.8cm・幅34.8cm・厚さ16.0cmを測る。

墓碑銘は、正面に

宝 暦 三 年
釈 屋 宗 □
八 月 廾 六 日　　とある。

第３７号墓石（第８・20図、図版27－⑥）

下段中央、第６・３２号墓の間の改葬壙の中から正面を下にして出土した。花崗岩（佐賀）の自然石であり、長さ76.0cm・幅42.6cm・厚さ24.0cmを測る。

墓碑銘は、一段彫り窪めた正面に

明 和 四 亥 天
釈 浄 龍 霊
六 月 十 七 日　　とある。

第３８号墓石（第８・20図、図版21－③⑤）

下段中央、第１８・３７・３８号墓の間の改葬壙の中から倒立した状態で出土した。圭頭形を呈する花崗岩（佐賀）であり、長さ59.0cm・幅37.4cm・厚さ20.4cmを測る。

墓碑銘は、一段彫り窪めた正面に

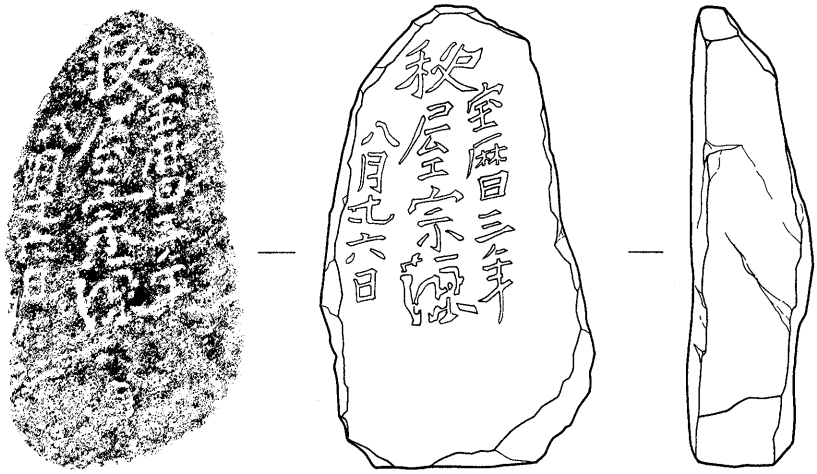
明 和 五 子 天
釈 妙 蓮 戸
四 月 廾 二 日　　とある。

第２９号墓石（第６・７・９図、図版８－②）

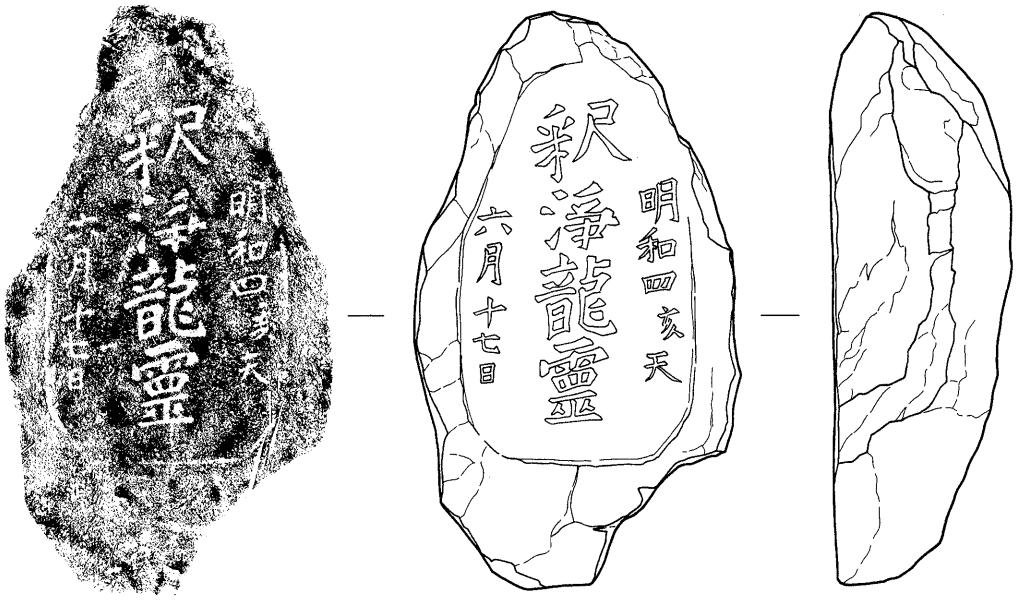
下段北辺、第２８号墓石の東側に位置し、頭部を下にして改葬壙に斜めに落とし込まれていた。方柱状の花崗岩（佐賀）であり、長さ123.0cm・幅38.0cm・厚さ31.0cmを測る。第１７号墓の墓石と考えられるが、第２８号墓石との関係で断定できない。

墓碑銘は、正面に　　左側面下位に

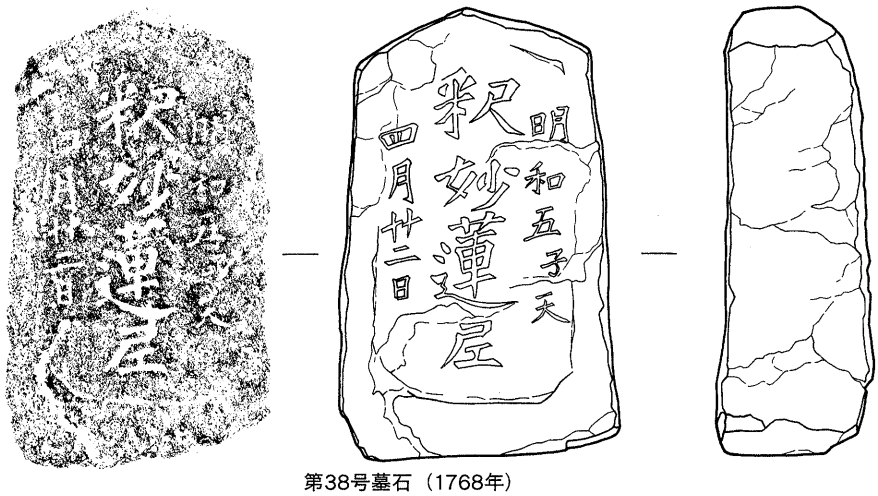
明 和 六 丑 年　　利 助
釋 妙 令 信 戸　　俗 姓　　妻
七 月 廾 日　　とある。



第34号墓石（1753年）
（墓標－59石）



第37号墓石（1767年）
（墓標－57石）



第38号墓石（1768年）
（墓標－53石）

0
1m

第８図　原田第１号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=1/10）　①

第４２号墓石（第９・20図、図版23－①、24－⑤⑥）

第４１号墓石と同様、第４６号墓壙内東側で出土したが、第４６・５２号墓の間の改葬壙から第４６号墓壙内に頭部を下にして斜めに落とし込まれた状態であった。花崗岩（深江）の自然石であり、長さ91.2cm・幅49.4cm・厚さ25.0cmを測る。

墓碑銘は、一段彫り窪めた正面に

天 明 二 年 寅 年
釈 妙 綜 信 女
六 月 廿 七 日　　とある。

第４１号墓石（第10・20図、図版23－①、24－⑤⑥）

下段中央、第４６号墓壙内西側に倒立した状態で出土した。正面形が砲弾状を呈する花崗岩（佐賀）であり、長さ47.2cm・幅30.2cm・厚さ17.6cmを測る。

墓碑銘は、正面に

天 明 四 年
釈 知 順 信 士
正 月 廿 一 日　　とある。

第２８号墓石（第６・７・10図、図版８－②）

下段東側の北辺に位置し、正面を下にして西南西側に倒れていた。花崗岩の自然石であり、長さ102.4cm・幅83.8cm・厚さ22.4cmを測る。墓石基部に根石が残っており、その場で倒されたものであれば第１７号墓の墓石と考えられるが、墓石と墓壙の規模からすると第２７号墓石とした基礎石が位置する第３７号墓の墓石とも考えられる。

墓碑銘は、正面に

天 明 八 年 三 月 十 九 日
法 號 釋 教 仙 霊　　とある。

第４０号墓石（第10・20図、図版14－③）

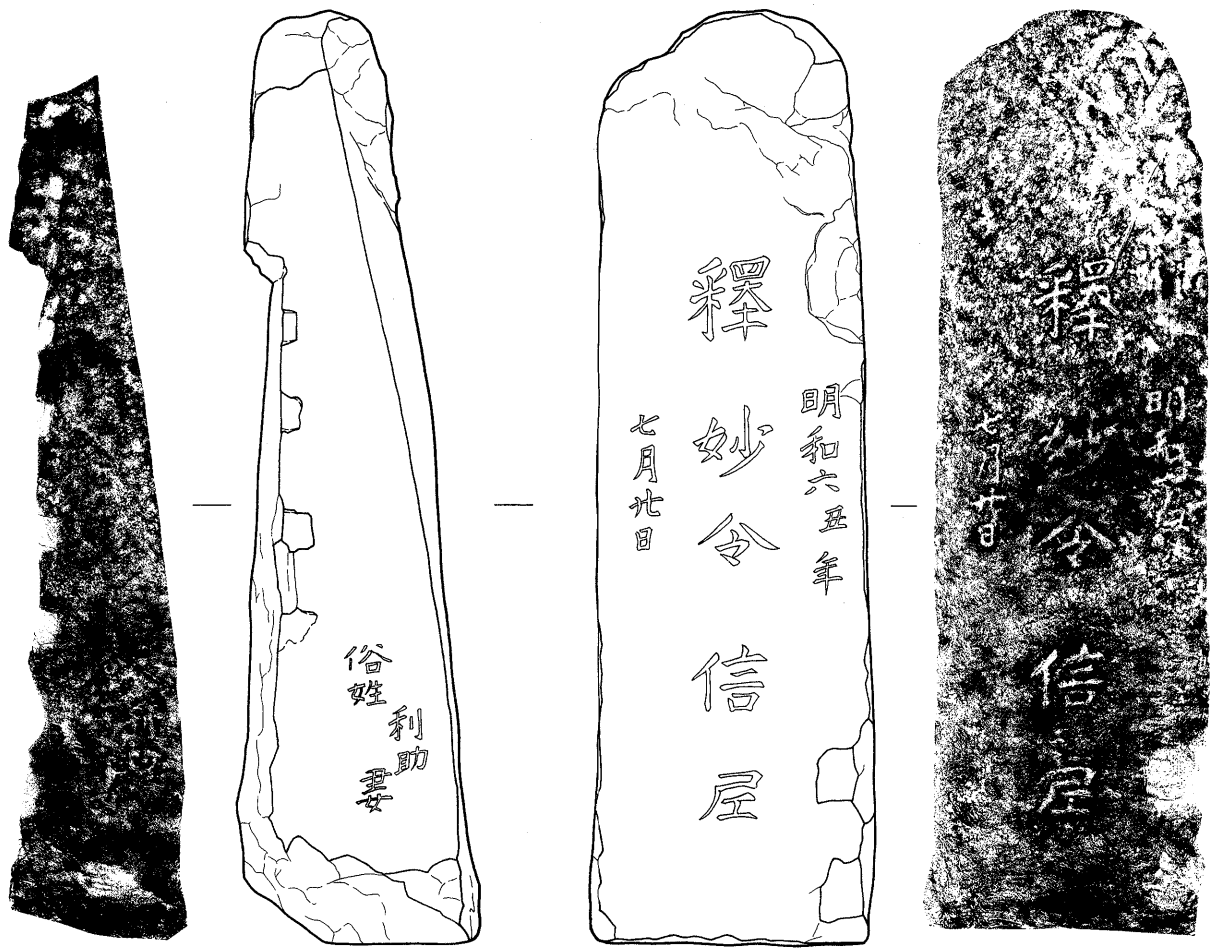
下段東側北辺、第１７・４５号墓の間の改葬壙から第４５号墓壙にかけて正面を下にして出土した。正面形が砲弾状を呈する花崗岩（佐賀）であり、長さ70.0cm・幅33.6cm・厚さ23.4cmを測る。

墓碑銘は、正面に

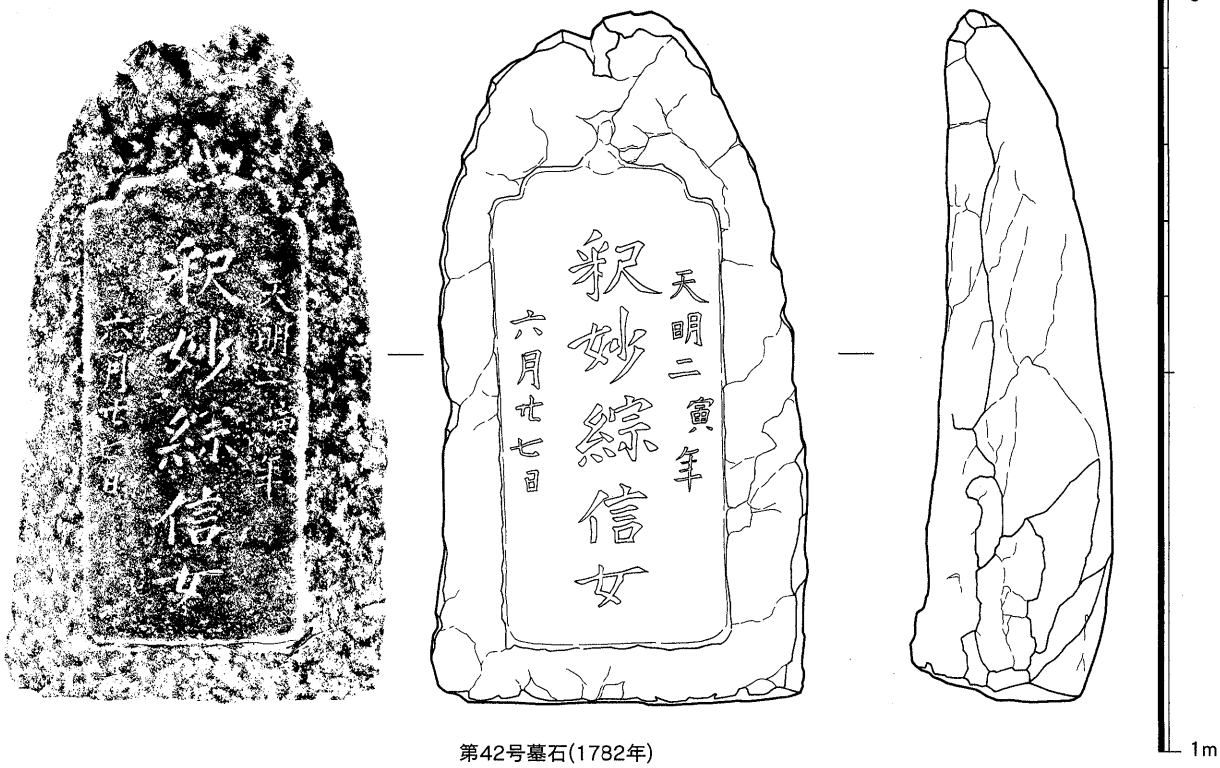
寛 政 四 年
釈 妙 春 信 女
子 七 月 九 日　　とある。

第３９号墓石（第11・20図、図版11－⑤、15－①②）

下段中央、第２１号墓壙内の甕棺の割れ口に頭部を入れた逆さの状態で出土した。円頭形を呈する花崗岩（佐賀）の切石であり、長さ56.4cm・幅25.4cm・厚さ19.4cmを測る。

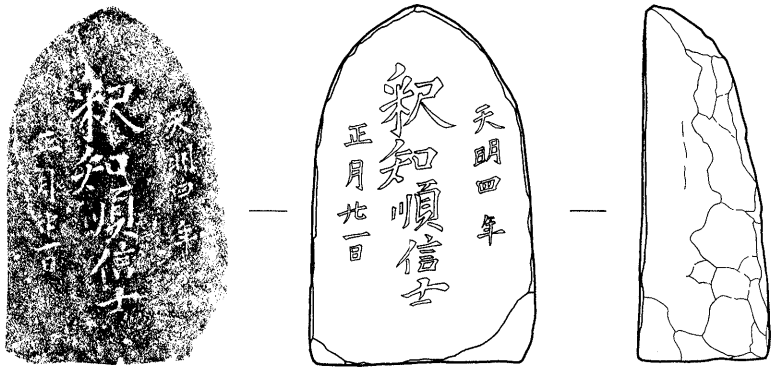


第29号墓石(1769年)
(墓標－54石)

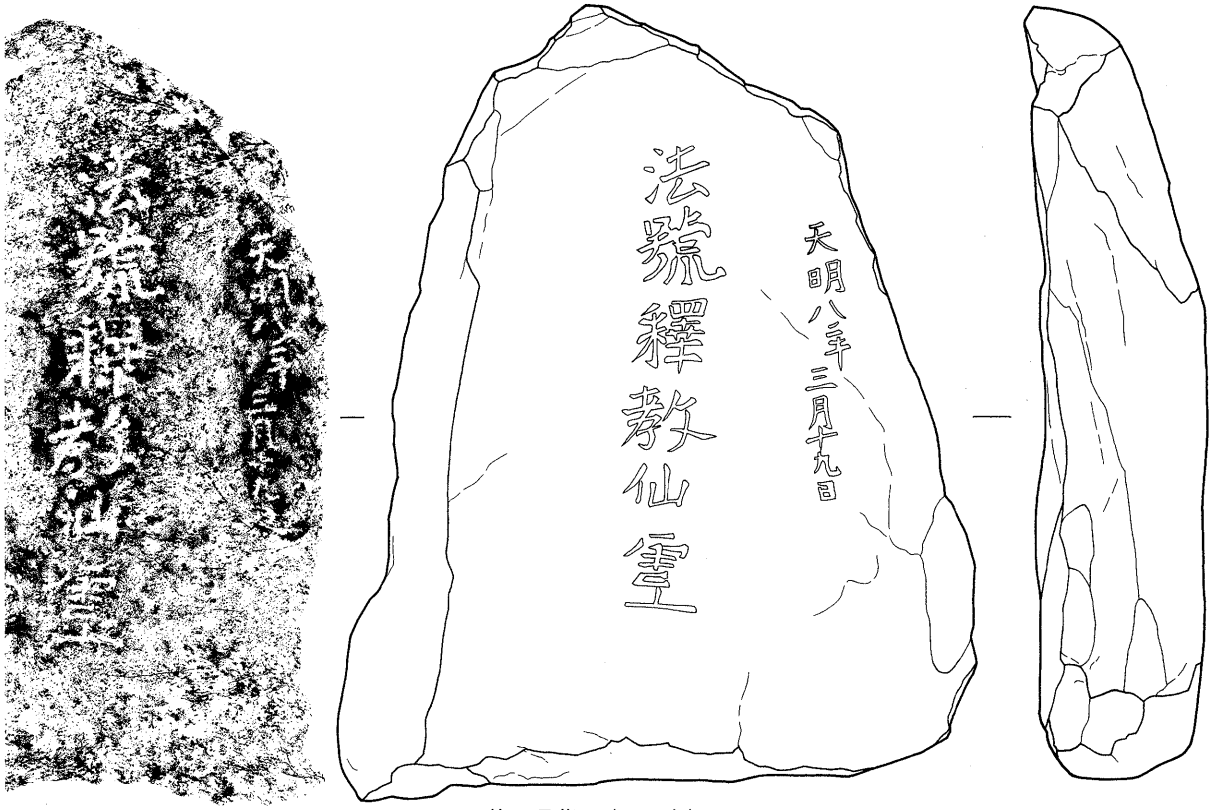


第42号墓石(1782年)
(墓標－46石)

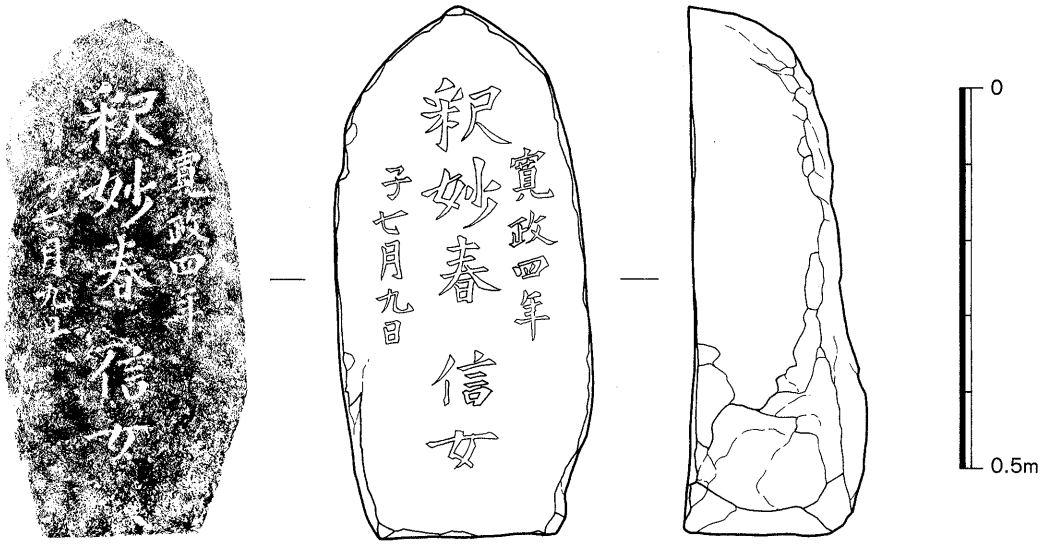
第９図　原田第１号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=1/10）　②



第41号墓石（1784年）
（墓標－43石）



第28号墓石（1788年）
（墓標－42石）



第40号墓石（1792年）
（墓標－41石）

第10図　原田第１号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=１/10）　③

墓碑銘は、４面全てにあり

正面に	右側面に	左側面に	裏面に
釋西善信士	文化十一戌年	三月十四日	永川利作

とある。

第５号墓石（第６・７・11図、図版４－①②）

上段東側中央に位置し、正面を南西に向けて建っていた。花崗岩（佐賀）の自然石であり、長さ75.4cm・幅37.2cm・厚さ31.4cmを測る。第２４号墓の墓石である。

墓碑銘は、正面に　　左側面に

天保十年　　山内武平妻
釈妙善信女
亥七月五日

とある。

第４号墓石（第６・７・12図、図版３－⑥）

上段東側、第3号墓石の北側に位置し、正面を下にして倒れていた。方柱状を呈する花崗岩（佐賀）の自然石であり、長さ62.3cm・幅31.0cm・厚さ25.0cmを測る。第２９号墓の掘り方の西側角の地上に位置し、第２９号墓の墓石と考える。

墓碑銘は、正面に　　右側面に

天保十亥歳　　山内文衛門
釈香譲霊
九月廾九日

とある。

第６号墓石（第６・７・12図、図版４－③～⑤）

上段北東側、第５号墓石の北東側に位置し、２～４石で組んだ基壇の上に正面を南西に向けて建っていた。円頭形を呈する細粒砂岩の切石であり、長さ54.4cm・幅25.0cm・厚さ15.4cmを測る。第３０号墓の墓石である。

墓碑銘は、一段彫り窪めた正面に　　右側面に　　左側面に

帆足半右エ門墓　　天保十年　　中牟田
亥十一月三十日　　建主帆足幾平

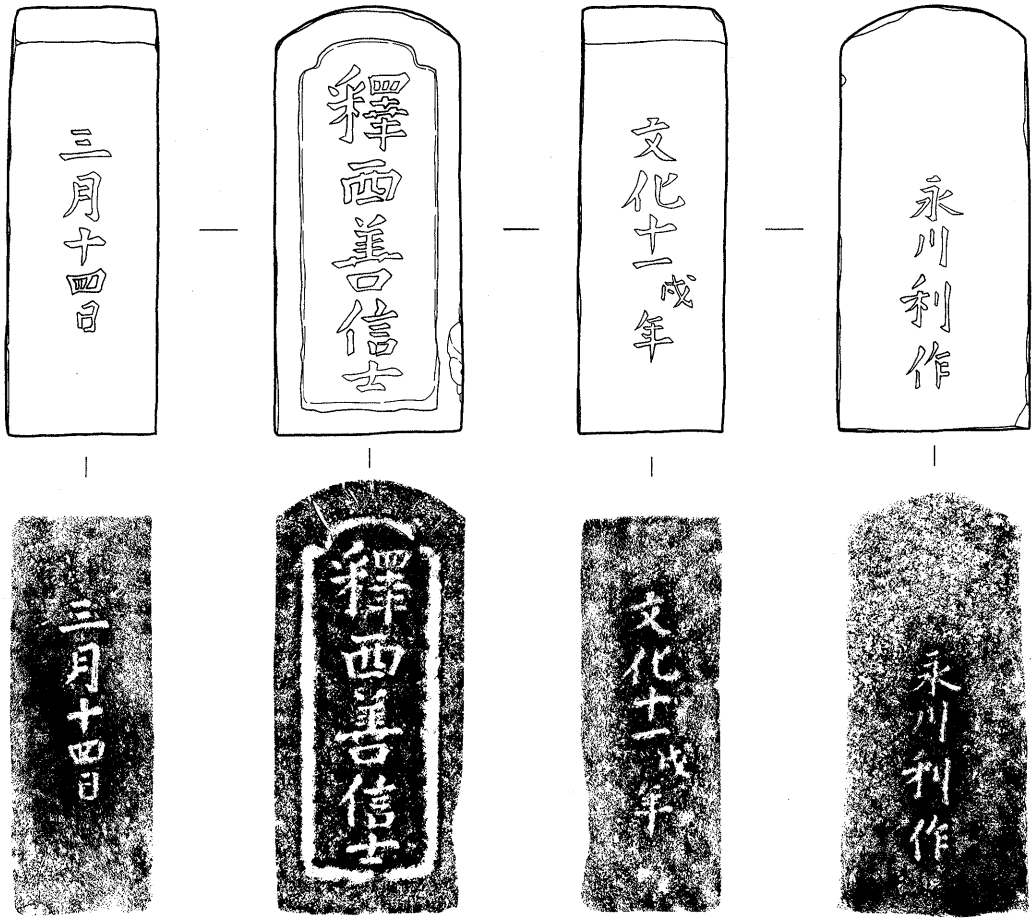
とある。

第４３号墓石（第12・20図、図版12－③、13－③）

下段東側の南辺、第１１・１４・４９・５０号墓の間の改葬壙から第４９号墓壙内にかけて、第４４～４６号墓石と重なった状態で一番上から出土した。方柱状の花崗岩（佐賀）であり、長さ105.5cm・幅37.0cm・厚さ28.8cmを測る。

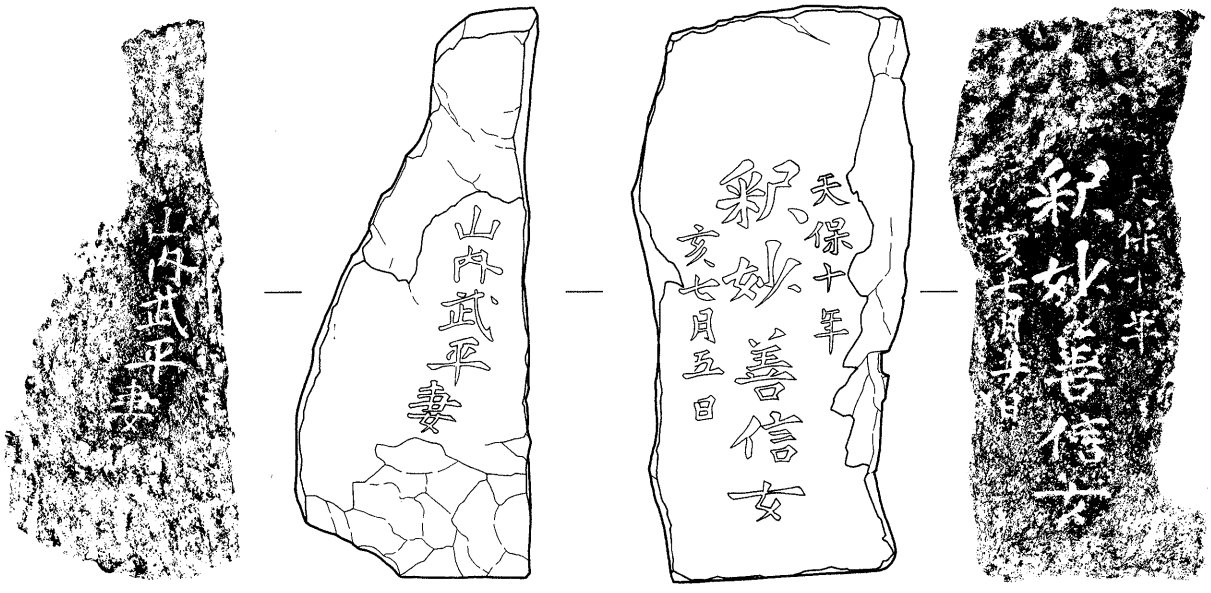
墓碑銘は、正面に

天保十五年六月五日
永川ルイ墓



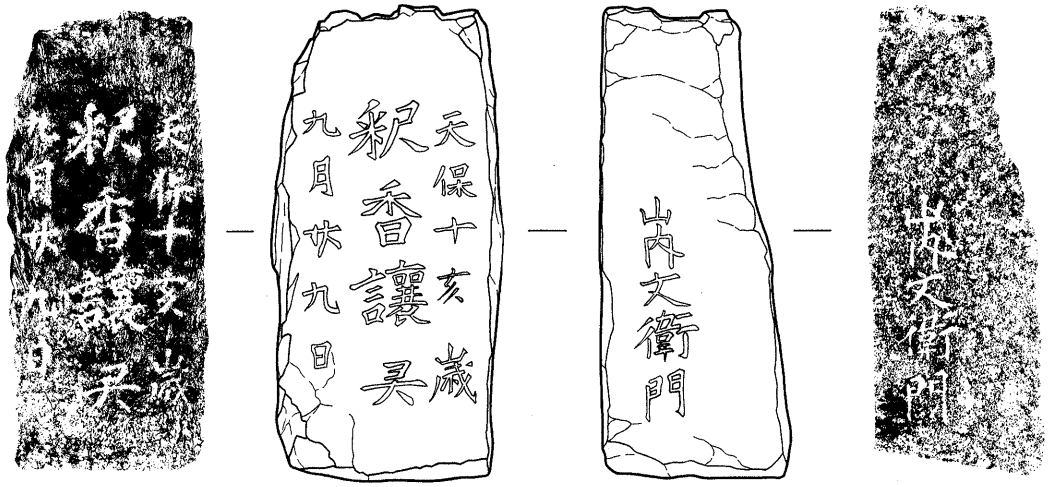
第39号墓石(1814年)
(墓標－52石)



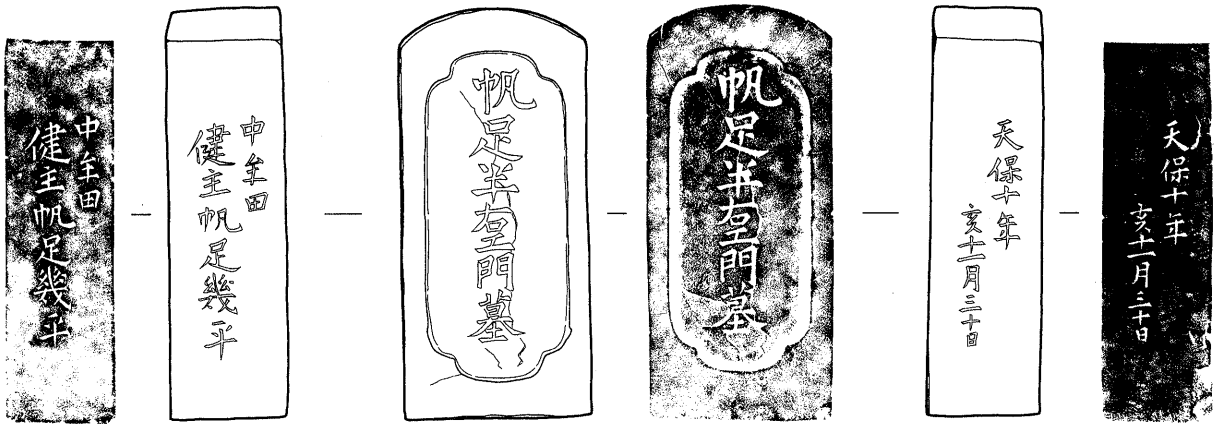


第５号墓石(1839年)
(墓標－27石)

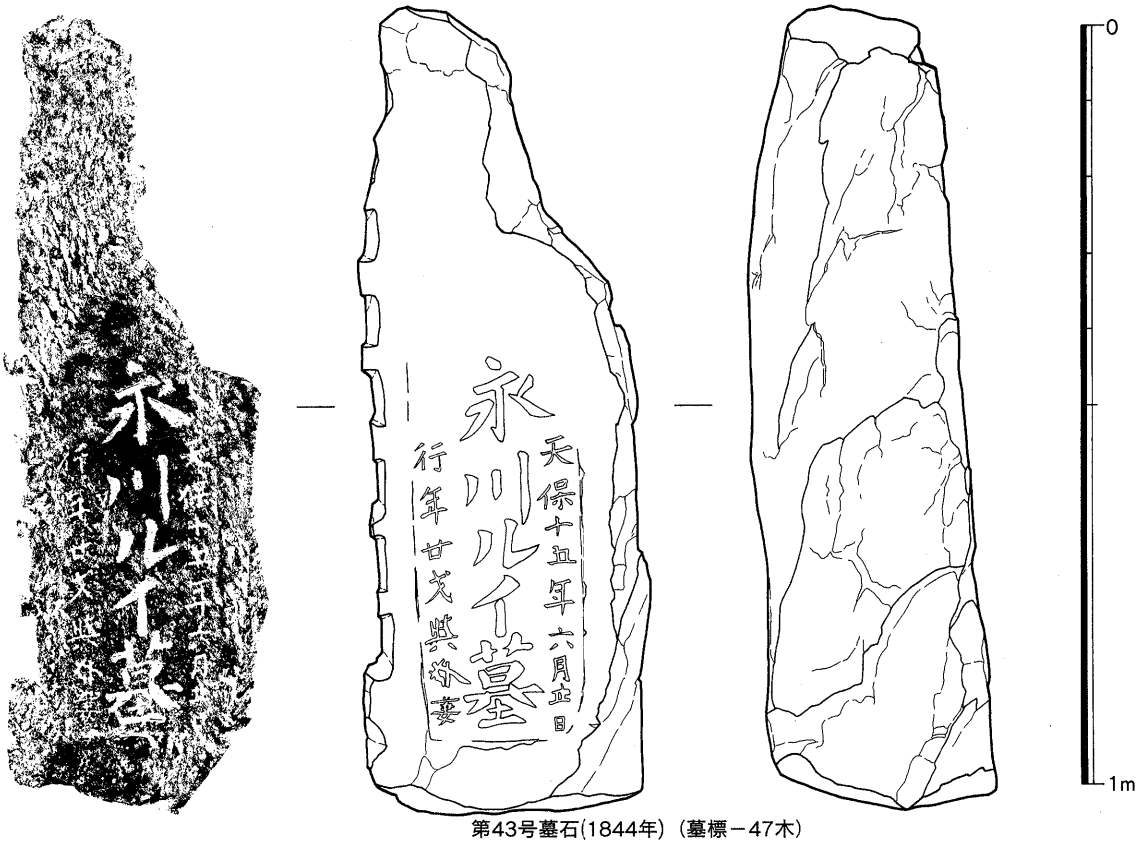
第11図　原田第１号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=1/10）　④



第４号墓石(1839年)（墓標－26石）



第６号墓石



第43号墓石(1844年)（墓標－47木）

第12図　原田第１号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=1/10）　⑤

行年廿才 與□妻　　とある。

第３号墓石（第６・７・13図、図版３－③～⑤）

上段東角寄り、第１号墓石の北側に位置し、正面を南西に向けて、３石で組んだ基壇と方形の基礎石の上に建っていた。円頭形を呈する安山岩質凝灰岩の切石であり、長さ59.2cm・幅25.6cm・厚さ18.4cmを測る。第４０号墓の墓石である。

墓碑銘は、一段彫り窪めた正面に　　右側面に　　左側面に

大心海釈浄信士　　嘉永三年　　山内武平

戌三月廾二日　　行年八十一才

とある。

第９号墓石（第６・７・13図、図版５－②）

上段北端に位置し、方形の基礎石から北東側へ正面を上にして倒れていた。正面形が砲弾形を呈する花崗岩（佐賀）であり、長さ59.0cm・幅31.2cm・厚さ15.0cmを測る。基礎石は第３３号墓の掘り方の西角の地上に位置し、第３３号墓の墓石と考える。

墓碑銘は、面取りした正面に　　左側面に

嘉永三年　　松口和助後妻

照誉貞眞善女

戌十月廾二日　　とある。

第２号墓石（第６・７・13図、図版３－②）

上段東角寄り、第1号墓石の西側に位置し、正面を南西に向けて長方形の基礎石上に建っていた。花崗岩（佐賀）の自然石であり、長さ66.4cm・幅36.0cm・厚さ22.4cmを測る。第４１号墓の墓石である。

墓碑銘は、一段彫り窪めた正面に　　裏面に

嘉永五年　　卯喜次妻

誓譽負願仁女　　う売

子十月十日　　行年七十三　　とある。

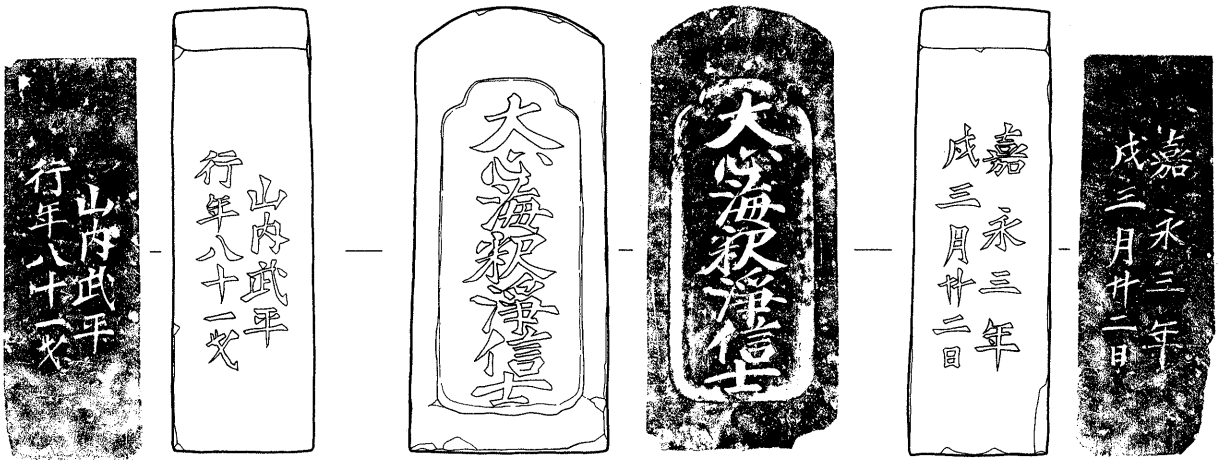
第８号墓石（第６・７・14図、図版５－①）

上段北東側、第7号墓石の北側に位置し、方形の基礎石から南西側へ正面を下にして倒れていた。基礎石正面には水鉢用の長方形窪みが施されている。花崗岩（深江）の自然石であり、長さ116.0cm・幅62.0cm・厚さ30.0cmを測る。基礎石は第２７号墓の掘り方の南東の地上に位置し、第２７号墓の墓石と考える。

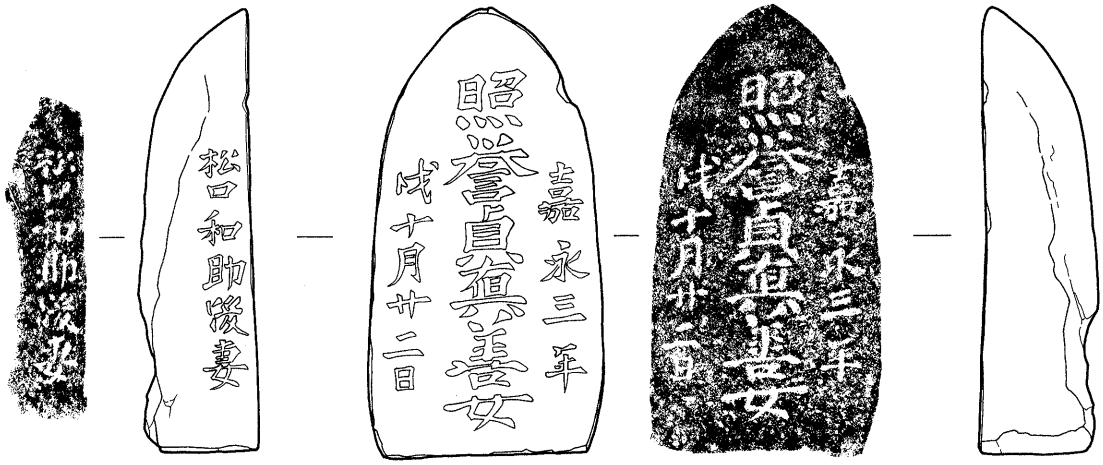
墓碑銘は、正面の一段彫り窪めたところに　　正面左脇に

安政四年　　己十二月八日

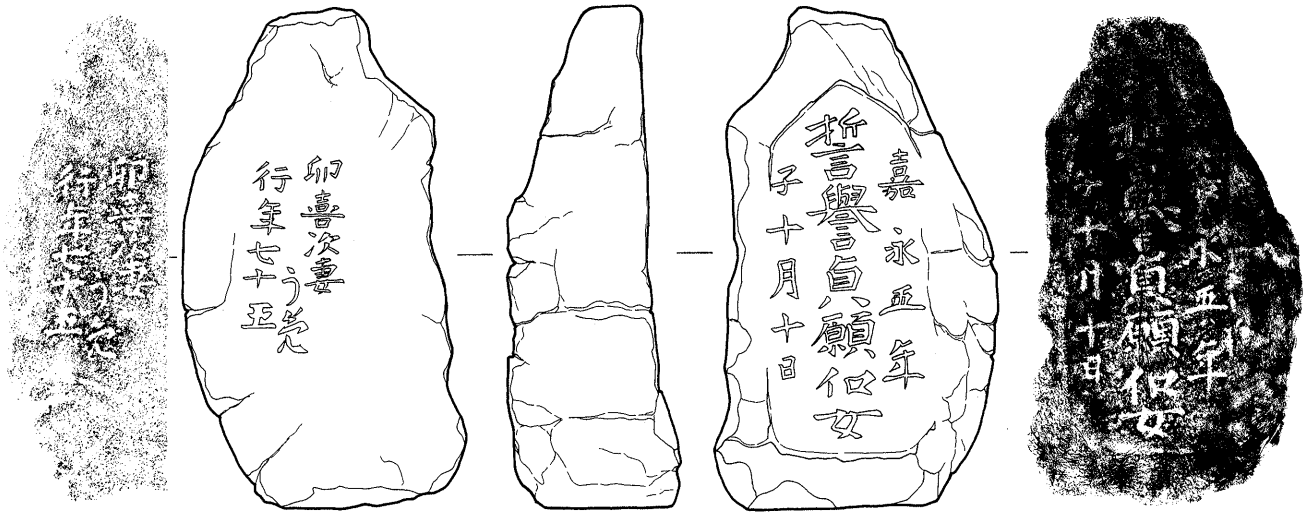
松口和蔵墓　　とある。



第３号墓石(1850年)
(墓標－24石)



第９号墓石(1850年)
(墓標－34石)



第２号墓石(1852年)
(墓標－22石)

0 1m

第13図　原田第１号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=1/10）　⑥

第３３号墓石（第６・７・14図、図版８－⑥）

下段東端に位置し、頭部を下にして改葬壙に斜めに落とし込まれていた。第１１～１３号墓のいずれかの墓石かと思われるが、断定できない。方柱状の花崗岩（佐賀）であり、長さ90.8cm・幅34.3cm・厚さ29.4cmを測る。

墓碑銘は、一段彫り窪めた正面に

元治二年四月十九日
永川ツヤ墓
行年七十才　　與平妻　　とある。

第１号墓石（第６・７・15図、図版３－①）

上段東角に位置し、方形の基礎石から正面を下にして南西側に倒れていた。花崗岩（佐賀）の自然石であり、長さ77.0cm・幅43.4cm・厚さ24.0cmを測る。第２３号墓の墓石と考える。

墓碑銘は、一段彫り窪めた正面に

慶應二寅年
戒室[負][浤]山内登良
二月廿九日行年七十三　　とある。

第７号墓石（第６・７・15図、図版４－⑥～⑧）

上段北東側、第6号墓石の東側に位置し、３石で組んだ基壇と方形の基礎石の上に正面を南西に向けて建っていた。基壇正面には長方形に窪められた水鉢石が組み込まれている。円頭形を呈する花崗岩（佐賀）の切石であり、長さ54.4cm・幅25.4cm・厚さ17.4cmを測る。第３１号墓の墓石である。

墓碑銘は、一段彫り窪めた正面に	右側面に	左側面に
實譽妙悟信女	慶應三年	松口和蔵長女
	卯九月廿九日	行年四十九

とある。

第４６号墓石（第15・20図、図版25－④、26－③）

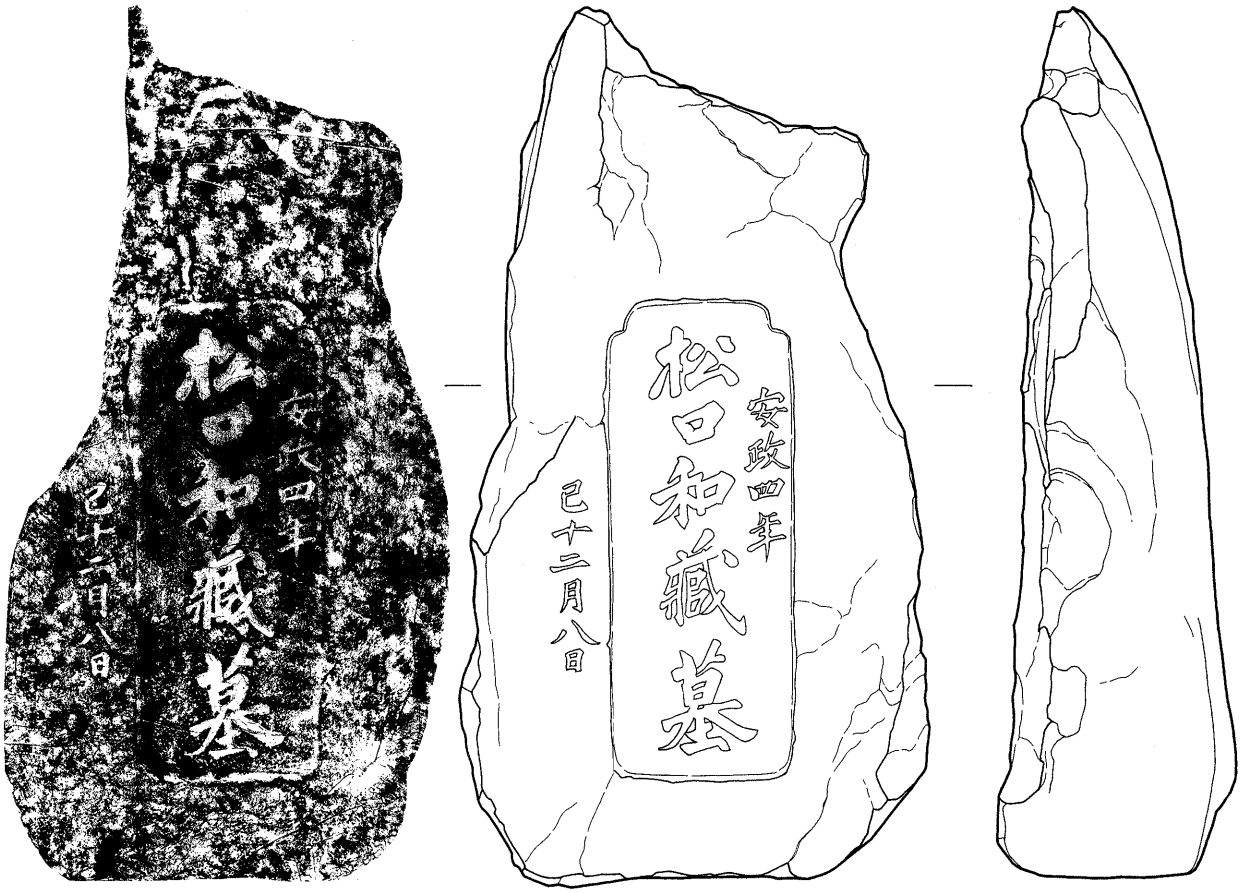
第４９号墓壙内で、第４５号墓石の下に重なって正面を下にして出土した。花崗岩（深江）の自然石であり、長さ93.2cm・幅48.0cm・厚さ28.0cmを測る。

墓碑銘は、一段彫り窪めた正面に

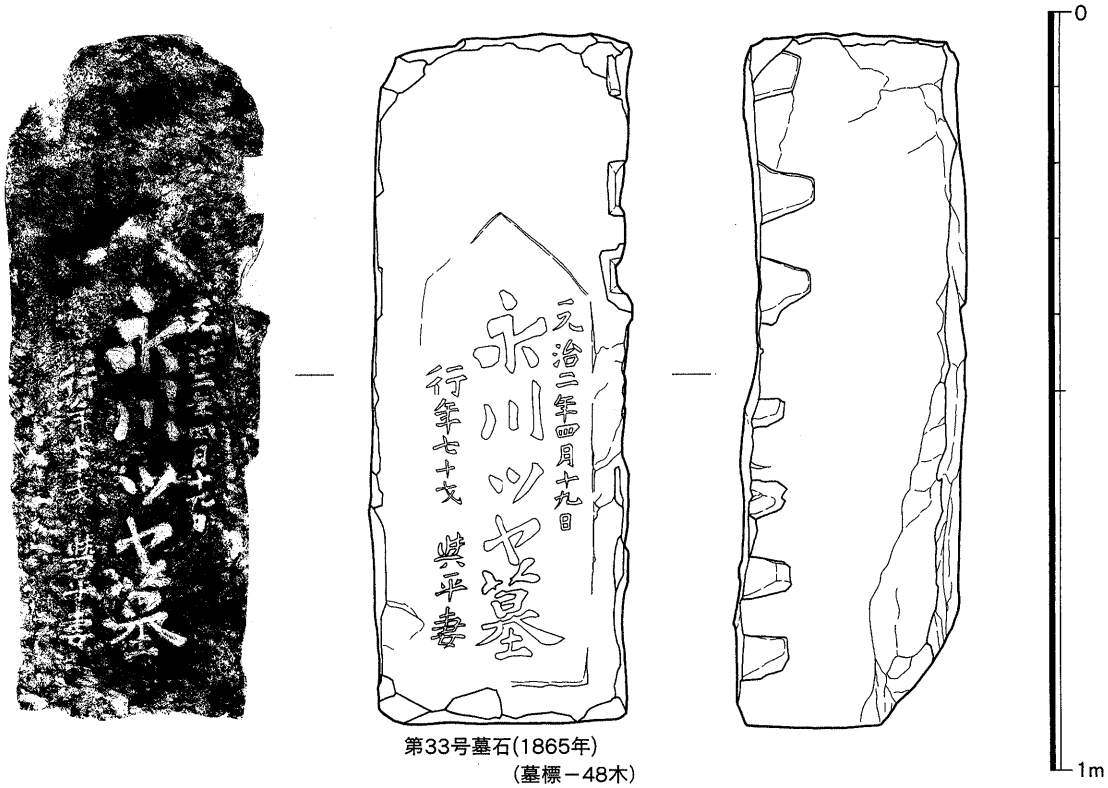
明治十年
永川[升]次郎之墓
旧四月七日行年十一才　　とある。

第４４号墓石（第16・20図、図版12－③、13－③）

第５０号墓内北西側で、第４３号墓石の下に接し正面を上にして出土した。方柱状の花崗岩（佐賀）であり、長さ88.6cm・幅36.0cm・厚さ35.0cmを測る。

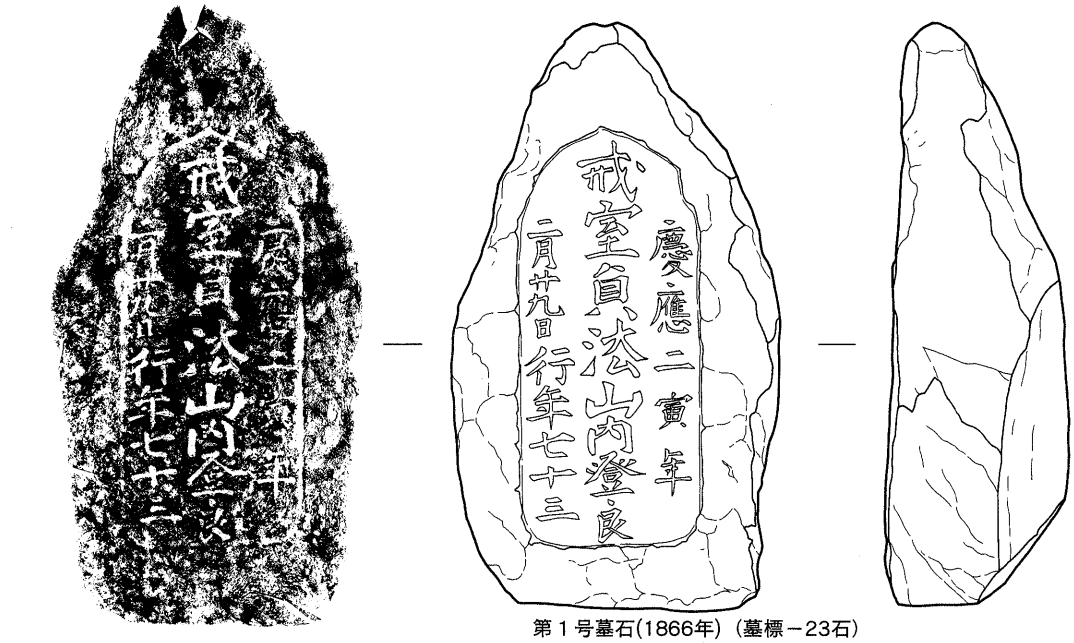


第８号墓石(1857年)
(墓標－33石)

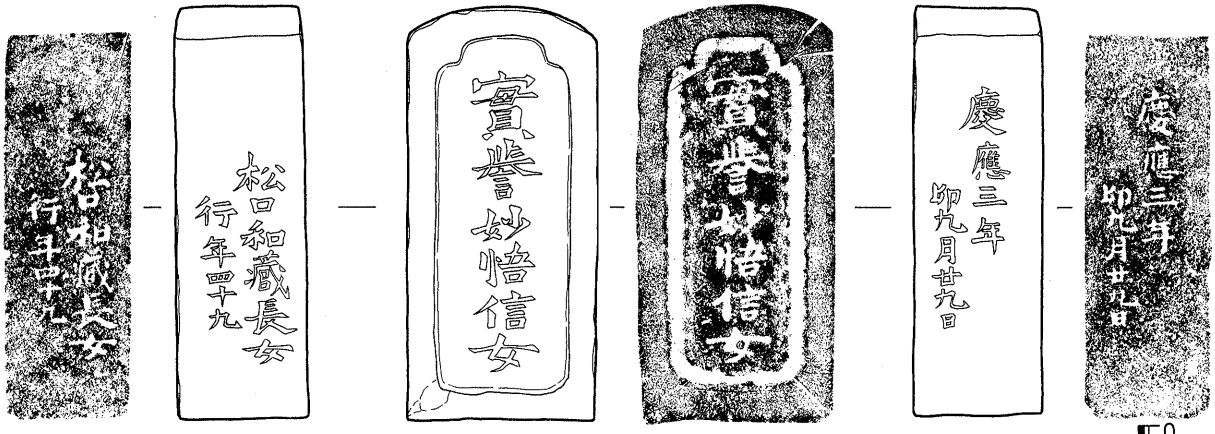


第33号墓石(1865年)
(墓標－48木)

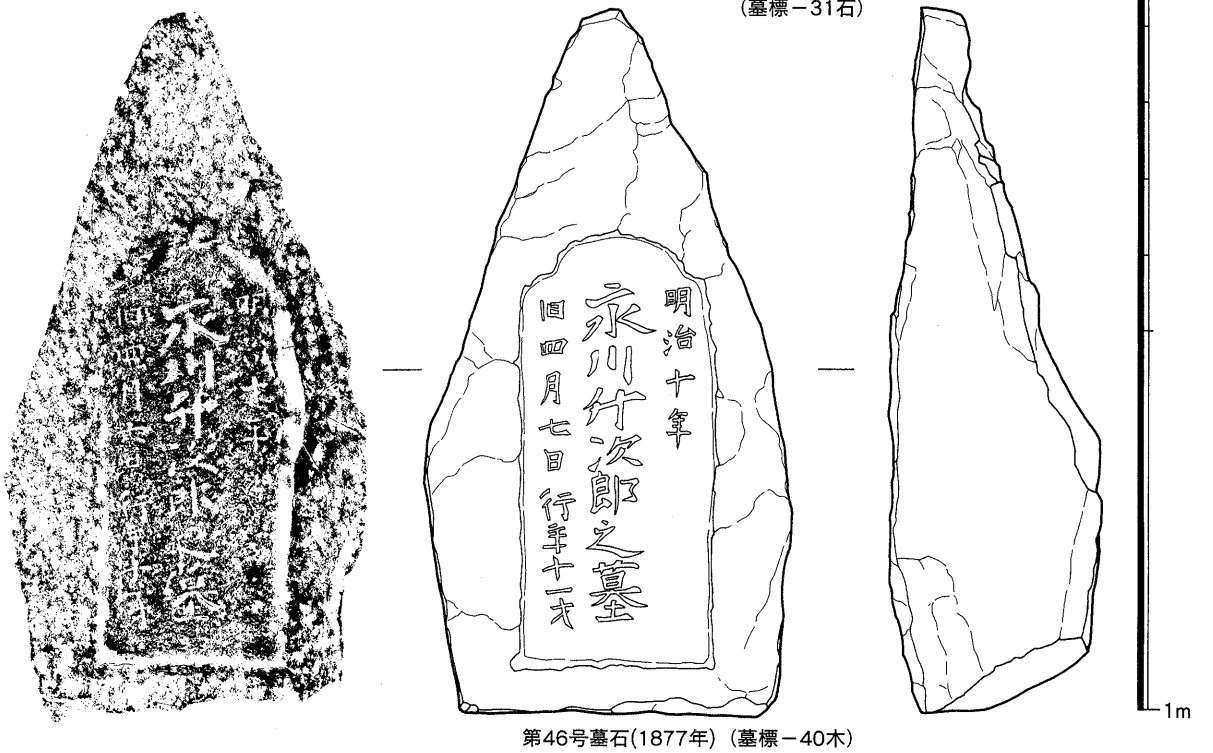
第14図　原田第１号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=1/10）　⑦



第１号墓石(1866年)（墓標－23石）

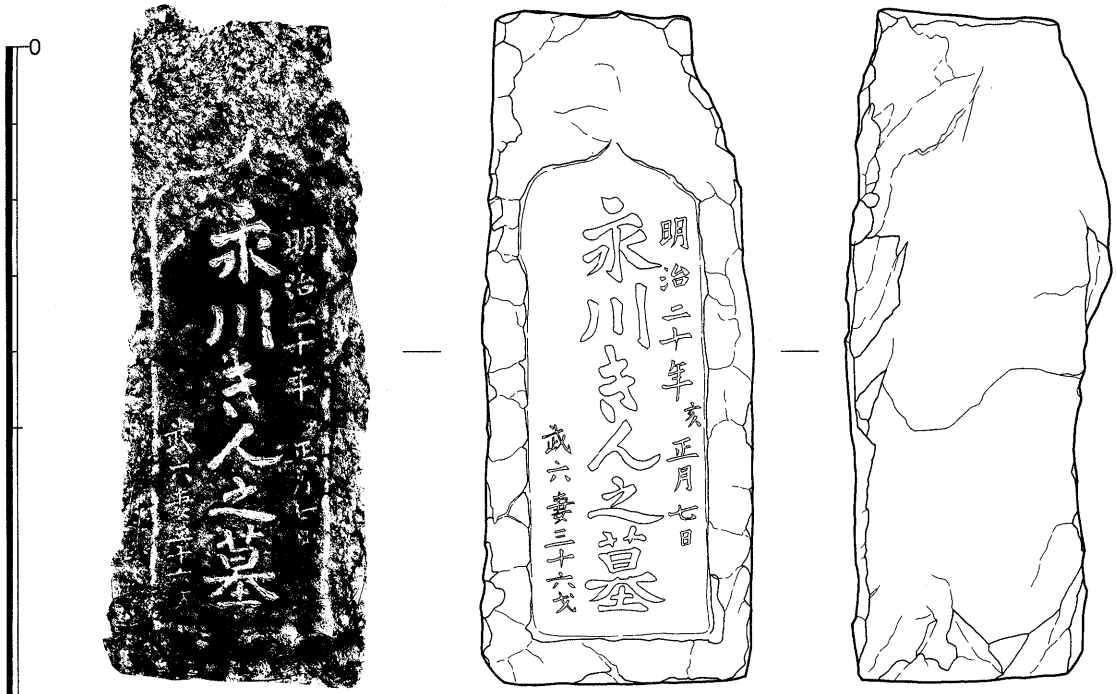


第７号墓石(1867年)
（墓標－31石）

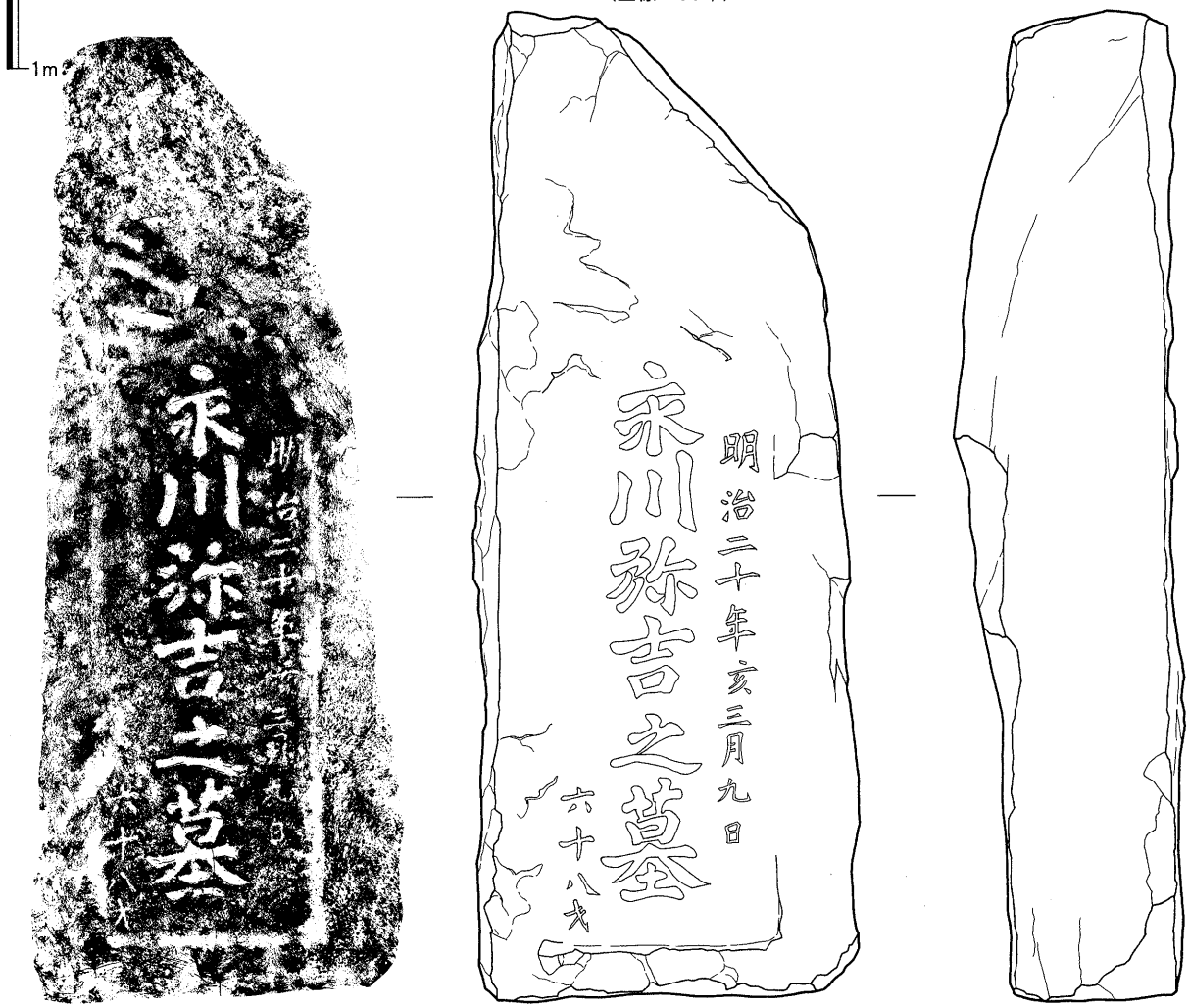


第46号墓石(1877年)（墓標－40木）

第15図　原田第１号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=1/10）　⑧



第44号墓石(1887年)
(墓標－39木)



第22号墓石(1887年)（墓標－58木）

第16図　原田第１号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=１/10）　⑨

墓碑銘は、一段彫り窪めた正面に

明 治 二 十 年 亥 正 月 七 日
永 川 き ん 之 墓
武 六 妻 三 十 六 才　　とある。

第２２号墓石（第６・７・16図、図版７－①②）

下段中央、第２１号墓石の北側に接して、正面を上にして北東側に倒れていた。方柱状の花崗岩（佐賀）であり、長さ133.0cm・幅51.2cm・厚さ30.0cmを測る。北西側約１mに長方形の大きな石が横たわっており、規模的に本墓石の基礎石と思われるが、断定できない。出土位置からすると第３３号墓の、基礎石からすると第６号墓の墓石に推定できるが、周辺の改葬著しく、帰属する墓壙は不明である。

墓碑銘は、一段彫り窪めた正面に

明 治 二 十 年 亥 三 月 九 日
永 川 弥 吉 之 墓
六 十 八 才　　とある。

第４５号墓石（第17・20図、図版24－⑥）

第４９号墓壙内で、第４３・４６号墓石の間に重なって正面を上にして出土した。方柱状の花崗岩（深江）であり、長さ106.2cm・幅32.8cm・厚さ36.4cmを測る。

墓碑銘は、正面に

明 治 二 十 二 年 丑 十 月 六 日
永 川 ツ ヤ 之 墓
武 六 次 女 六 才　　とある。

第３６号墓石（第17・20図、図版27－⑥）

下段中央に位置し、第５・３２号墓の間の改葬壙から第３２号墓壙にかけて、正面を下にして出土した。正面形が砲弾形を呈する花崗岩（深江）であり、長さ91.1cm・幅44.3cm・厚さ41.0cmを測る。

墓碑銘は、正面に

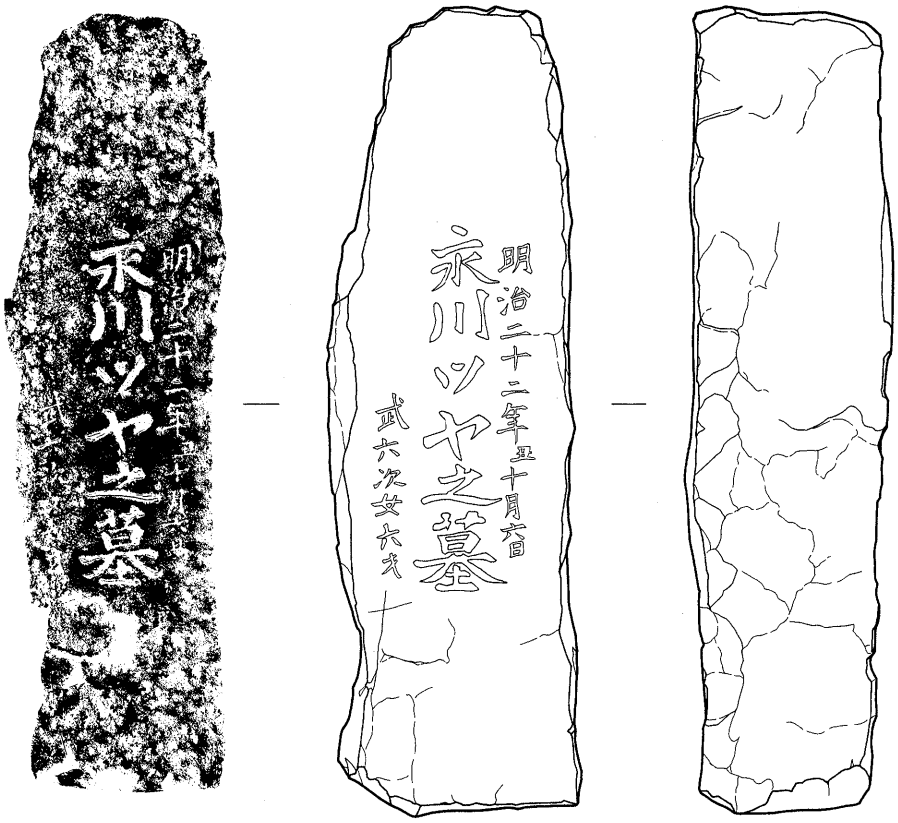
明 治 廾 九 年 旧 十 月 廾 六 日
永 川 興 平 墓
行 年 五 十 五 才　　とある。

第１９号墓石（第６・７・18図、図版６－⑤）

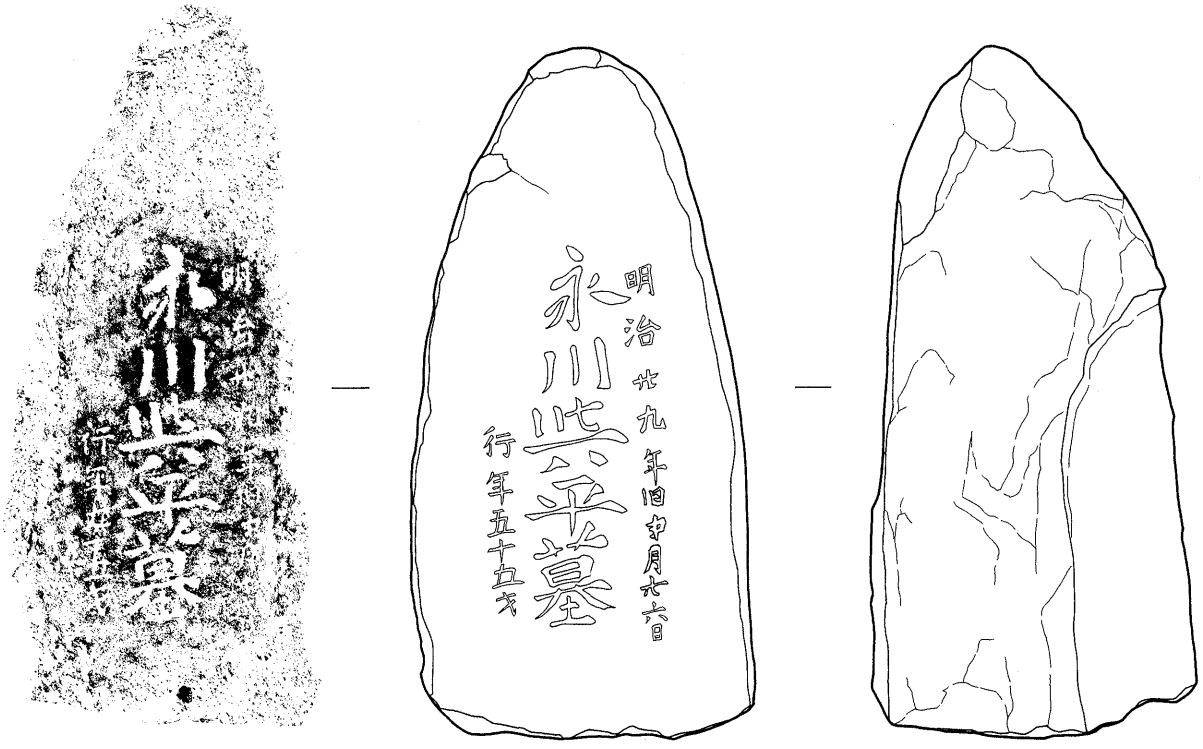
改葬に伴って第１８号墓石と共に廃棄されていた。帰属墓壙は不明である。花崗岩（深江）の自然石であり、長さ88.0cm・幅50.3cm・厚さ25.2cmを測る。

墓碑銘は、一段彫り窪めた正面に

明 治 三 十 年



第45号墓石(1889年)
(墓標－72木)



第36号墓石(1896年)
(墓標－75木)

0 1m

第17図　原田第１号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=１/10）　⑩

永川ツナ之墓
酉正月十二日　行年二十五才　　とある。

第２１号墓石（第６・７・18図、図版７－①）

下段中央、長方形の基礎石から北西側の改葬壙に正面を上にして斜めに落ち込んでいた。方柱状を呈する花崗岩（深江）であり、長さ88.1cm・幅26.4cm・厚さ35.4cmを測る。基礎石の位置からすると第５号墓の墓石と考えるが、断定できない。

墓碑銘は、一段彫り窪めた正面に

明治三十二年亥三月五日
永川□里之墓
七十五才　　とある。

第１８号墓石（第６・７・19図、図版６－⑤）

下段中央、第１９号墓石と共に改葬壙の中に落とし込まれていた。第１・２・４号墓の改葬で廃棄されたものと思われるが、帰属墓壙は不明である。方柱状を呈する花崗岩（佐賀）であり、長さ71.2cm・幅31.0cm・厚さ27.8cmを測る。

墓碑銘は、一段彫り窪めた正面に

明治三十三年子二月十六日
永川岩之墓
武六後妻四十七才　　とある。

第２３号墓石（第６・７・19図、図版７－③④）

下段中央、楠の南側に位置する。改葬後、永川家の合葬墓として建立された墓石である。下段に４石、上段に２石で組み合わせた２段の基壇と、方形の基礎石の上に、装飾を彫られた猫足付きの墓石である。基壇正面には１石の水鉢と花立てが組まれている。墓石身は方柱状の花崗岩（佐賀）であり、長さ80.0cm・幅32.0cm・厚さ29.0cmを測る。

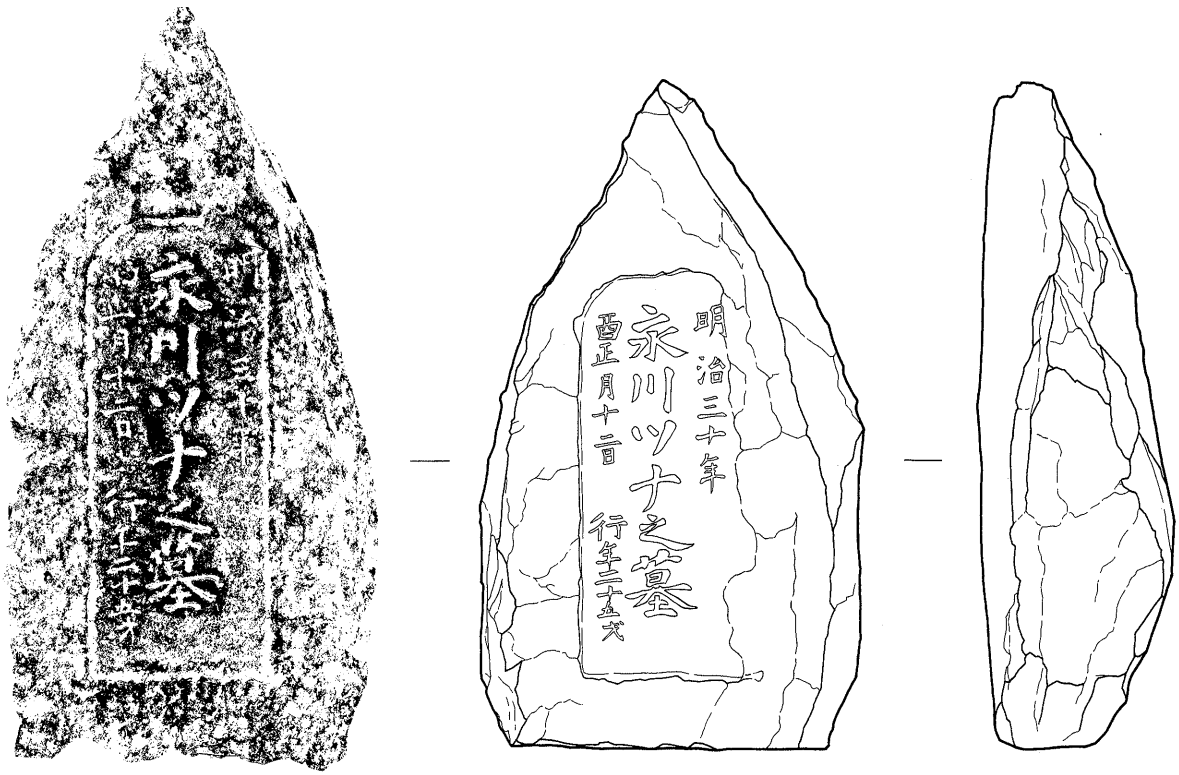
墓碑銘は、正面に　　右側面に

永川家之墓

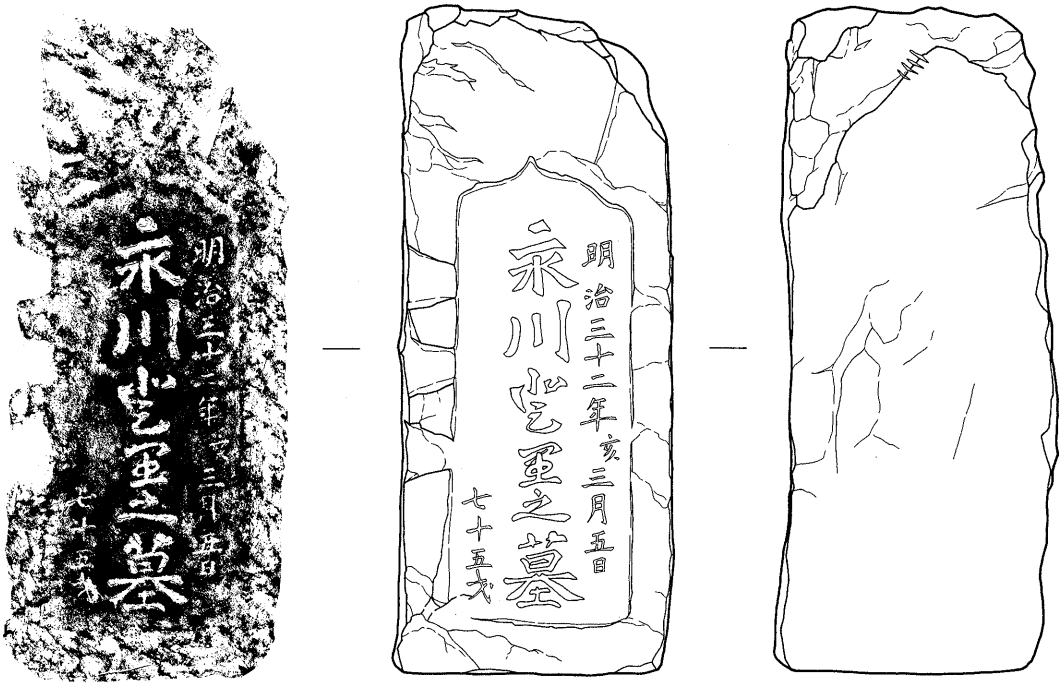
皈眞釈現信士	明治三十八年十月廿四日
	永川弥八　年五十二才
釈妙珠信女	大正六年六月十六日
	永川トリ　年五十六才
釈妙諦信女	大正七年一月廿七日
	永川ツネ　年二十二才
釈華頂童子	明治三十五年五月六日
	永川末松　年四才

また基壇石裏面に

永川清八
入江伊太郎



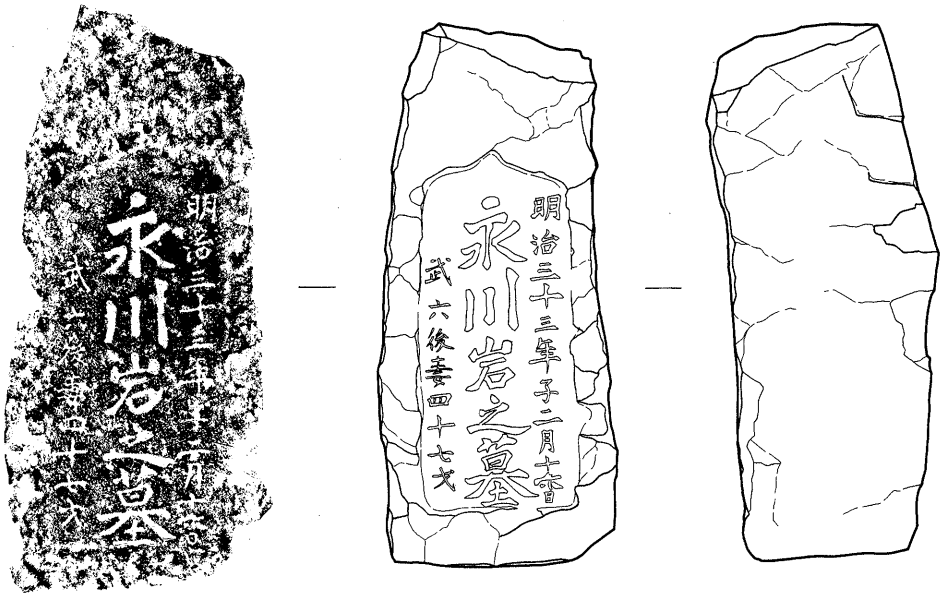
第19号墓石(1897年)
(墓標－76木)



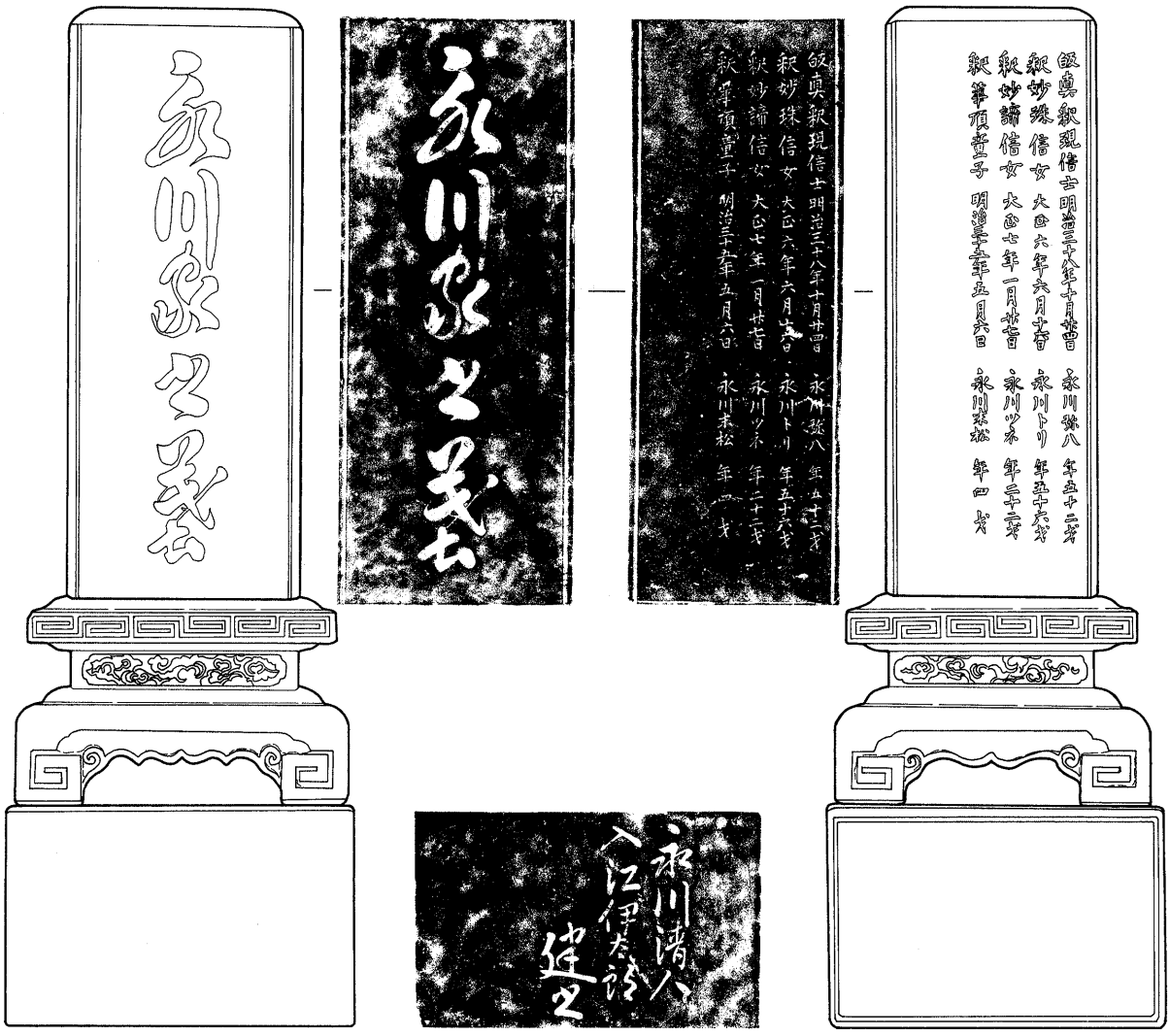
第21号墓石(1899年)

0 1m

第18図　原田第１号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=１/10）　⑪



第18号墓石(1900年)
(墓標－78木)



第23号墓石（墓標－77木・80木・81木）

0 1m

第19図　原田第１号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=１/10）　⑫

建之　　とある。

２．墓壙の調査（第20～34図、図版９～28）

第１号墓地では、事業に伴う改葬後の調査において墓壙として扱った遺構は、下段東側約1／3で40基、上段北東側半分で19基の計59基を数えたが、下段の中には土葬墓の土壙としては疑わしいものが７基あり、それについては「その他の遺構」として後述する。なお遺構の位置については、事業に伴う改葬範囲を除いた調査範囲内での位置であり、第20図の遺構配置図で説明する。

第１号墓（第20・21図、図版９－①②、27－⑤）

下段西端北辺に位置する。墓壙は方形を呈し、上面97×96cm・底面81×72cm・深さ163cmを測る。底面には、径63×47cm・深さ８cmを測る不定形の穴を掘り、棺を据えている。棺は胴径56.3cmの甕棺で、口縁より10cm程浮いた状態で花崗岩の長方形平石（55×32cm・厚さ15～23cm）が出土した。南と東側に改葬壙があり、対応して甕の南東側が割れている。墓壙内から白磁紅皿１・鉄釘少量が出土した。残っていた人骨は雨のため原位置を動いたが、葬位は立膝座葬である。

第２号墓（第20・21図、図版９－③④、27－⑤）

下段第1号墓の0.5m程南東側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面100×94cm・底面88×82cm・深さ162cmを測る。底面には、径70×60cm・深さ８～12cmを測る略方形の穴を掘り、棺を据えている。棺は胴径54.6cmの甕棺で、重圧により著しく横位に割れている。北と東側に改葬に伴う落ち込みがあるが、甕の割れ口は北西側に開いている。棺内から煙管入れ１が、墓壙内から玉１・鉄釘少量が出土した。棺内には少量の人骨が残っており、葬位は立膝座葬である。また、義歯2点が共伴している。

第３号墓（第20・21図、図版９－⑤、27－⑤）

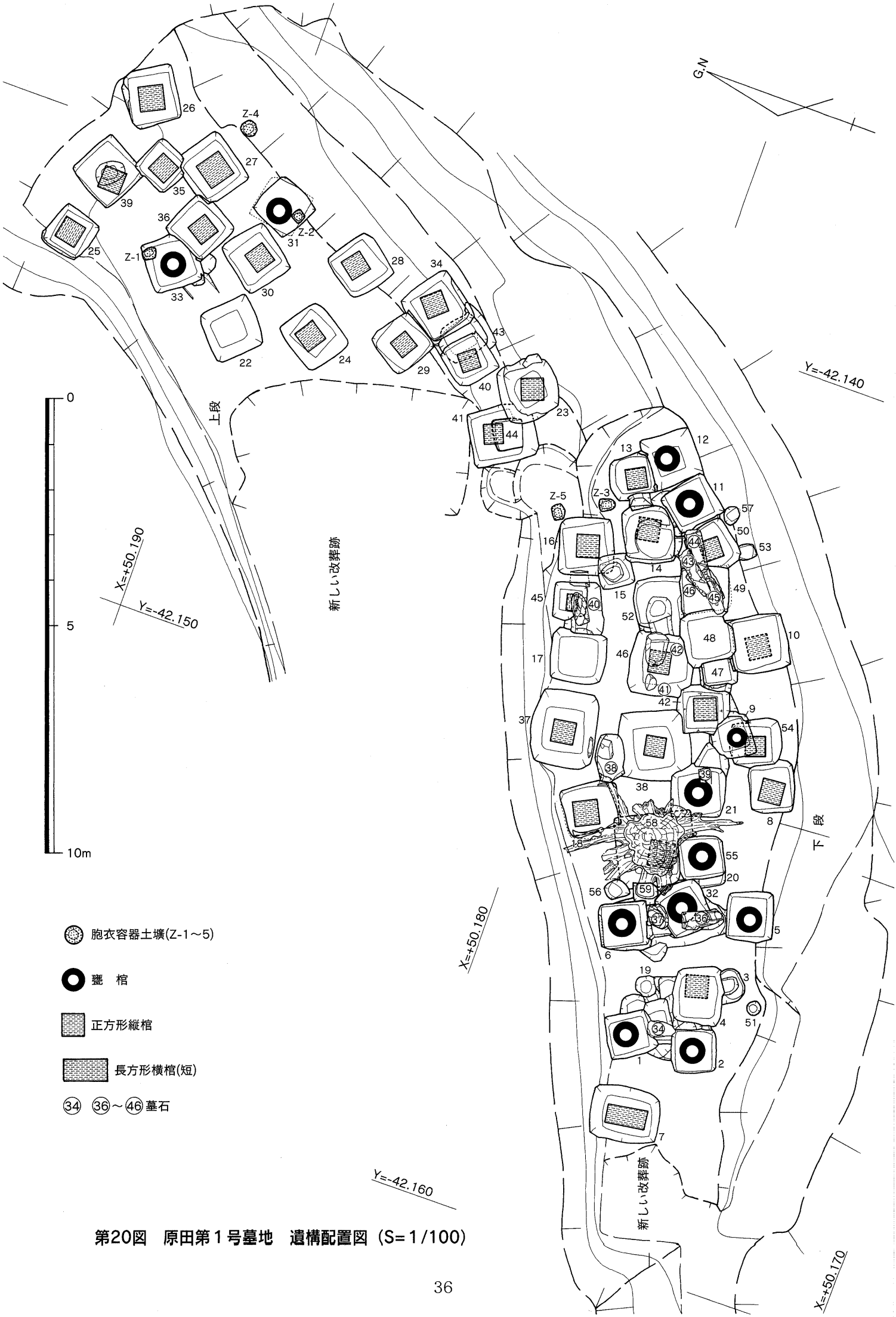
下段東端寄りに位置し、一部第４号墓と重複している。墓壙は方形を呈し、上面75×57cm以上・底面67×42cm以上・深さ29cmを測る。底面には、径38×35cm以上・深さ７～15cm測る略方形の穴が掘られている。人骨の出土によって第４号墓より新しい墓壙としたが、その規模からして第４号墓壙の改葬壙とも考えられる。

第４号墓（第20・21図、図版10－①②、27－⑤）

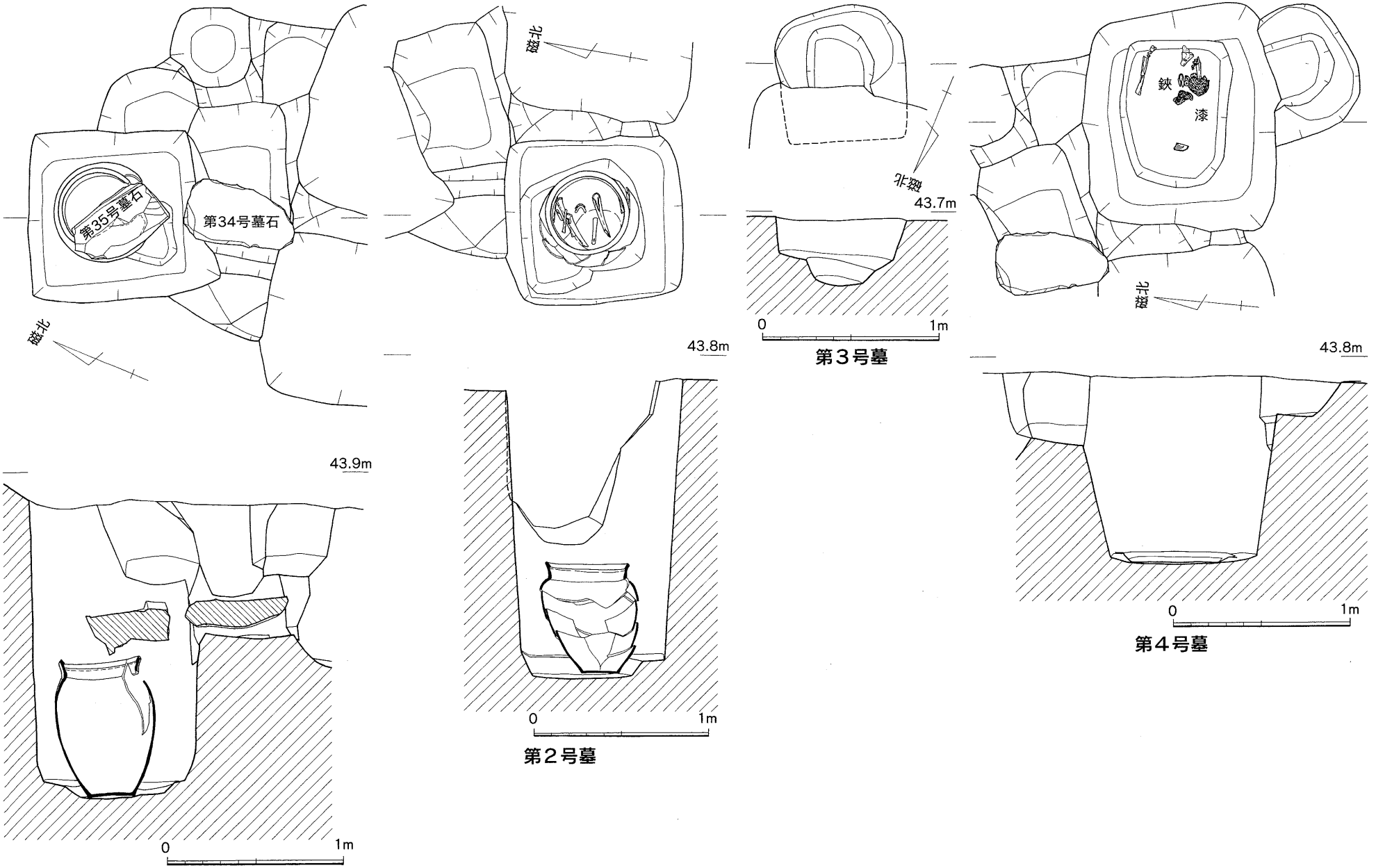
下段第３号墓の北西側に位置し、第３号墓より古い。墓壙は方形を呈し、上面123×110cm・底面92×83cm・深さ108cmを測る。棺は一辺50cm程の正方形縦棺と思われるが、断定できない。北と西辺に改葬壙があるが、本墓への改葬は北西角からか、あるいは改葬壙の可能性がある第３号墓から行われたものと考える。棺内から銭10・鉄製毛抜き１・櫛１・漆膜２・木片が出土した。

第５号墓（第20・22図、図版10－③④、27－⑥）

下段中央南西辺に位置する。墓壙は方形を呈し、上面108×101cm・底面84×81cm・深さ



第20図　原田第１号墓地　遺構配置図（S=1/100）



第21図　原田第１号墓地　第１～４号墓実測図（S=1/30）

201cmを測る。底面には径53×44cm・深さ５cmを測る不整円形の穴を掘り、棺を据えている。棺は胴径54.3cmの甕棺である。墓壙の北西壁は改葬のためのトンネルが掘られており、それに対応して甕の北西側が割れている。残っていた人骨は雨のため原位置を動いたが、葬位は立膝座葬である。

第６号墓（第20・22図、図版10－⑤⑥、27－⑥）

下段中央北西辺に位置する。墓壙は方形を呈し、上面106×105cm・底面86×86cm・深さ202cmを測る。底面には径57×49cm・深さ17～21cmを測る穴を掘り、棺を据えている。棺は胴径61.3cmの甕棺である。墓壙の南東側に改葬壙があり、それに対応して甕の南東側が割れている。改葬壙からは第３７号墓石が出土した。棺内からレンズ２・木片が、墓壙内から鉄釘少量が出土した。残っていた人骨は雨のため原位置を動いたが、葬位は立膝座葬である。

第７号墓（第20・22図、図版11－①②）

下段北東隅に位置する。墓壙は長方形を呈し、上面155×120cm・底面110×75cm・深さ104cmを測る。棺は90×42cmを測る短い長方形横棺であり、主軸はＮ－５°－Ｗにとる。棺内から銭６・鉄製和鋏１・リング１・漆膜３が、墓壙内から少量の鉄釘と木片が出土した。人骨は良く残っており、葬位は北枕・西向きの右側臥屈葬である。

第８号墓（第20・22図、図版11－③④）

下段中央南辺に位置し、北西側で第５４号墓と接している。第５４号墓より新しい。墓壙は方形を呈し、上面107×99cm・底面85×89cm・深さ158cmを測る。棺は50×48cmの正方形縦棺であり、その軸は墓壙の軸とは異なる。墓壙内から多量の鉄釘が出土した。人骨は棺底に横転していたが、葬位は立膝座葬と考える。

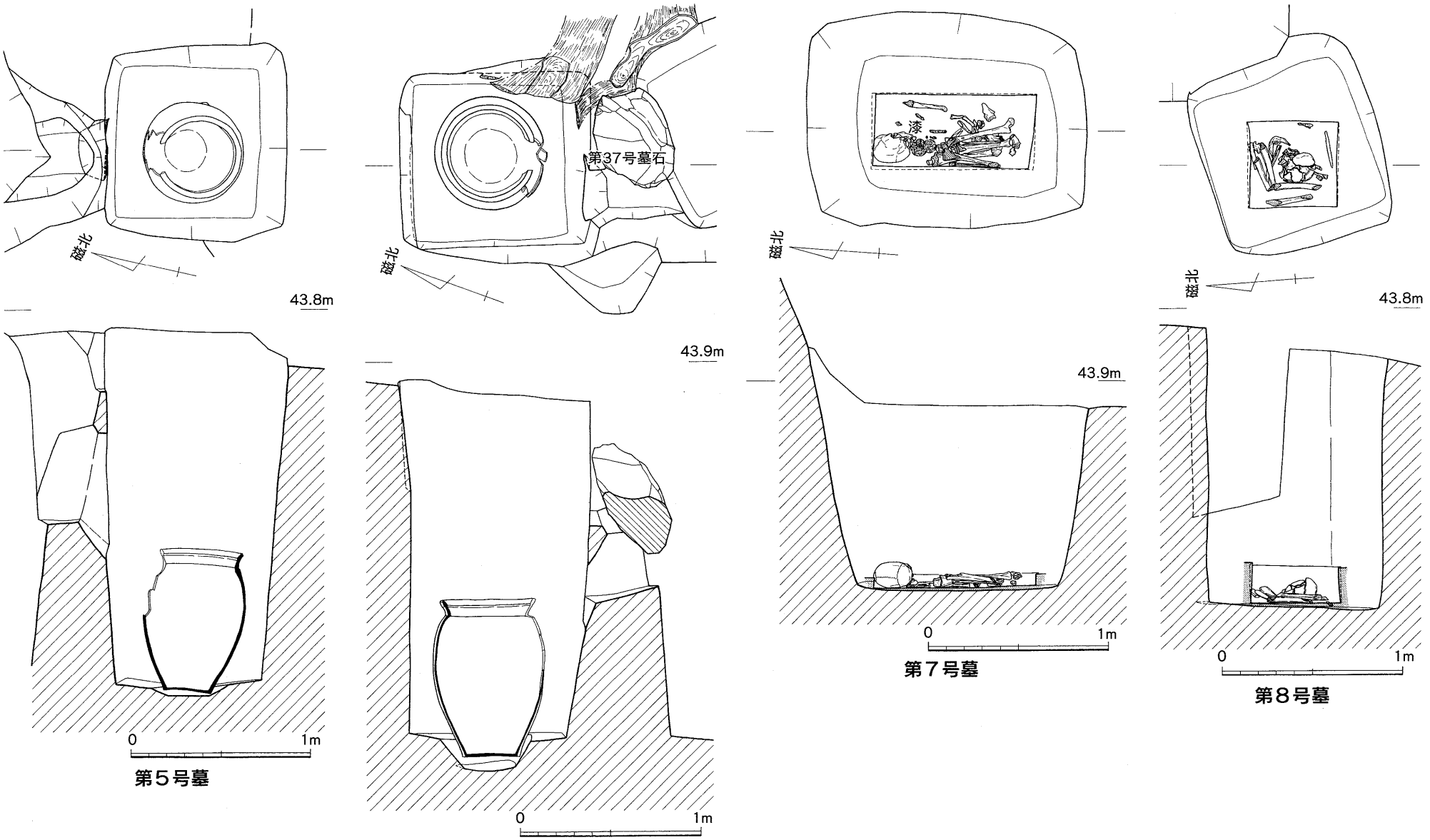
第９号墓（第20・23図、図版11－⑤⑥）

下段、第８号墓の北東側に位置する。南側で第５４号墓と、北東角で第４２号墓と重複し、本墓が両墓より新しい。墓壙は方形を呈し、上面90×89cm・底面64×61cm・深さ165cmを測る。底面には径45cm・深さ11～18cmを測る円形の穴を掘り、棺を据えている。棺は胴径40.8cmの甕棺である。棺内から靴１足・ゴムマリ２・人形１の他、足袋はぜ２・義眼？１・鉄釘少量が出土した。北西角に改葬壙があるが、棺まで１m以上の深さがあり、本墓の改葬壙とは考えにくい。残っていた人骨は雨のため原位置を動いたが、葬位は立膝座葬である。

第１０号墓（第20・23図、図版12－①②）

下段南東辺、第９号墓の東側に位置する。北側で第47・48号墓と接するが、新旧関係は不明である。墓壙は方形を呈し、上面128×125cm・底面102×105cm・深さ221cmを測る。棺は正方形縦棺と考えるが、現況78×64cm・深さ55cmを測る。墓壙内から多量の鉄釘が出土した。残っていた人骨は雨のため原位置を動いたが、葬位は立膝座葬である。

第１１号墓（第20・23図、図版12－③④）



第22図　原田第１号墓地　第５～８号墓実測図（S=1/30）

下段北東隅寄りに位置する。北東側で第１２号墓と、北西側で第１４号墓と、南西側で第５０号墓と接するが、新旧関係は不明である。墓壙は方形を呈し、上面105×96cm・底面83×84cm・深さ181cmを測る。底面には径54×48cm・深さ10～14cmを測る略円形の穴を掘り、棺を据えている。棺は胴径61.3cmの甕棺である。北東・北西・南西側に改葬壙跡と思われる狭い平坦面があるが、甕の割れ口から、改葬は南西側から行われたと考える。墓壙から鉄釘少量が出土した。人骨の出土状態から、葬位は西向きの立膝座葬である。

第１２号墓（第20・23図、図版12－⑤⑥）

下段北東隅、第１１号墓の北東側に位置する。北西側で第１３号墓と接しており、第１３号墓より新しい。墓壙は方形を呈し、上面111×107cm・底面60×56cm・深さ205cmを測る。棺は胴径56.1cmの甕棺である。棺内から煙管１が出土した。残っていた人骨は雨のため原位置を動いたが、葬位は立膝座葬である。

第１３号墓（第20・24図、図版13－①②）

下段北東隅、第１２号墓の北西側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面95×93cm・底面79×75cm・深さ159cmを測る。棺は45×43cmの正方形縦棺である。南西側に改葬壙がある。墓壙内から少量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は立膝座葬である。

第１４号墓（第20・24図、図版13－③④）

下段北東寄り、第１３号墓の南西側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面124×113cm・底面99×85cm・深さ144cmを測る。墓壙の北東・東・南側に改葬壙がある。棺は正方形縦棺と考えるが、現況で80×69cmを測る。墓壙内から多量の鉄釘が出土した。

第１５号墓（第20・24図、図版13－⑤⑥）

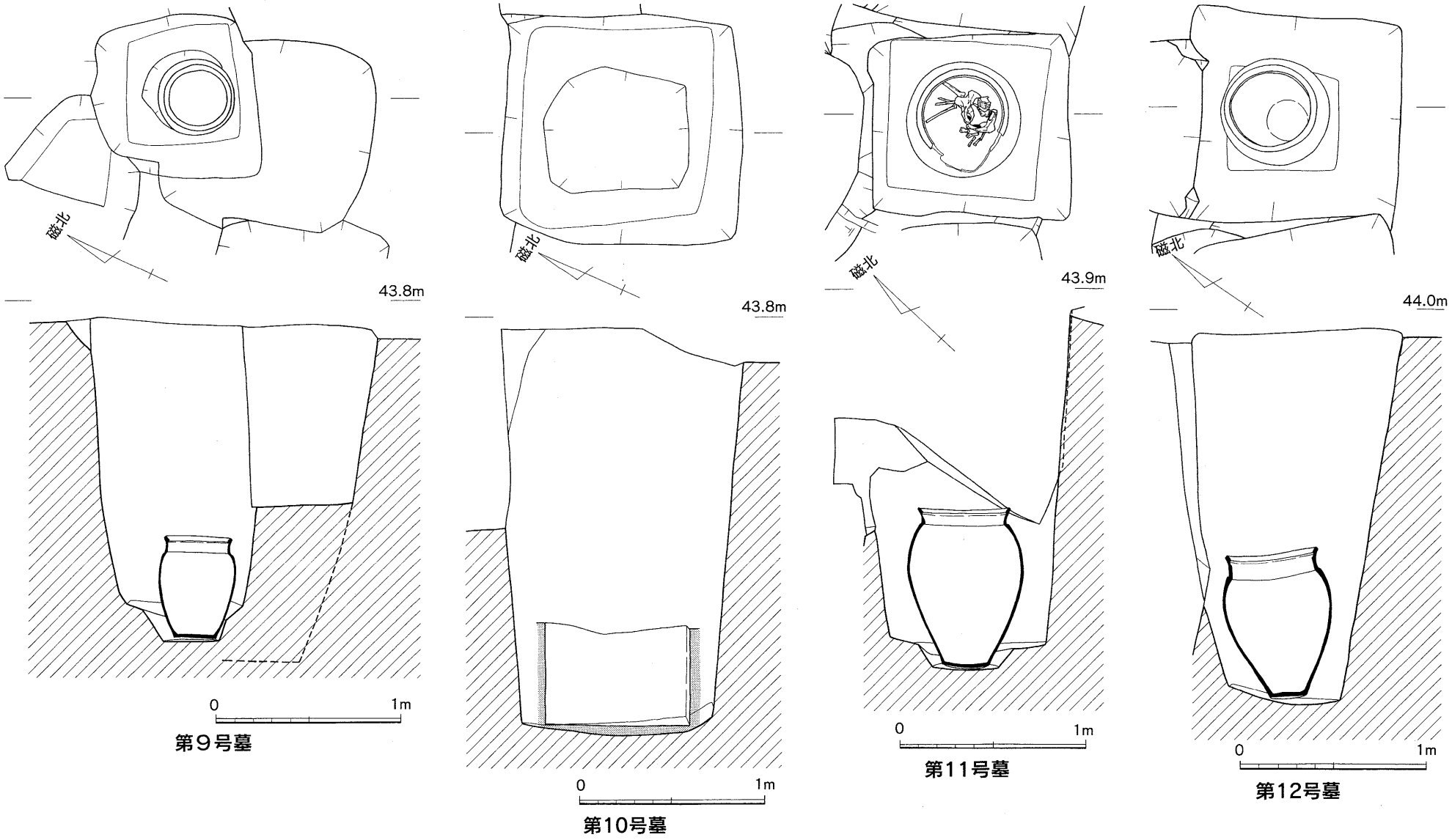
下段北東側、第１４号墓の北西側に位置する。北側は第１６号墓と重複し、第１６号墓より新しい。墓壙は方形を呈し、上面75×73cm・底面56×52cm・深さ55cmを測る。底面には45×40cm・深さ５～８cmを測る略方形の穴が掘られている。墓壙内からガラス製ストローが入った扁平なガラス瓶１が出土した。他にやや多量の鉄釘が出土した。

第１６号墓（第20・24図、図版14－①②）

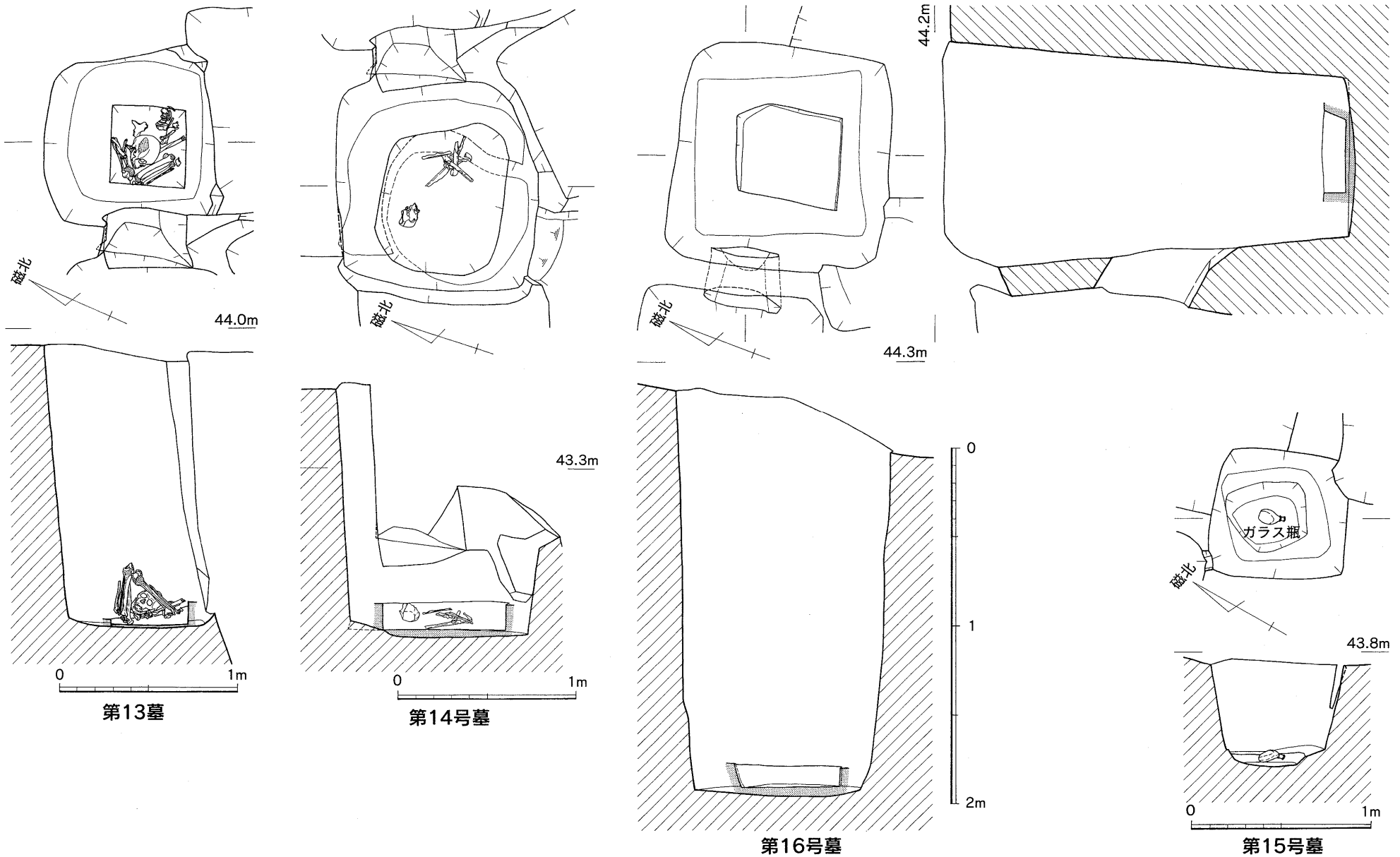
下段北東側、第１５号墓の北側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面126×119cm・底面92×88cm・深さ230cmを測る。棺は55×50cmの正方形縦棺である。墓壙南西側に第４５号墓につながる横穴があり、南西側から改葬を受けたと考える。墓壙内から多量の鉄釘が出土した。残っていた人骨は雨のため原位置を動いたが、葬位は立膝座葬である。

第１７号墓（第20・25図、図版14－③）

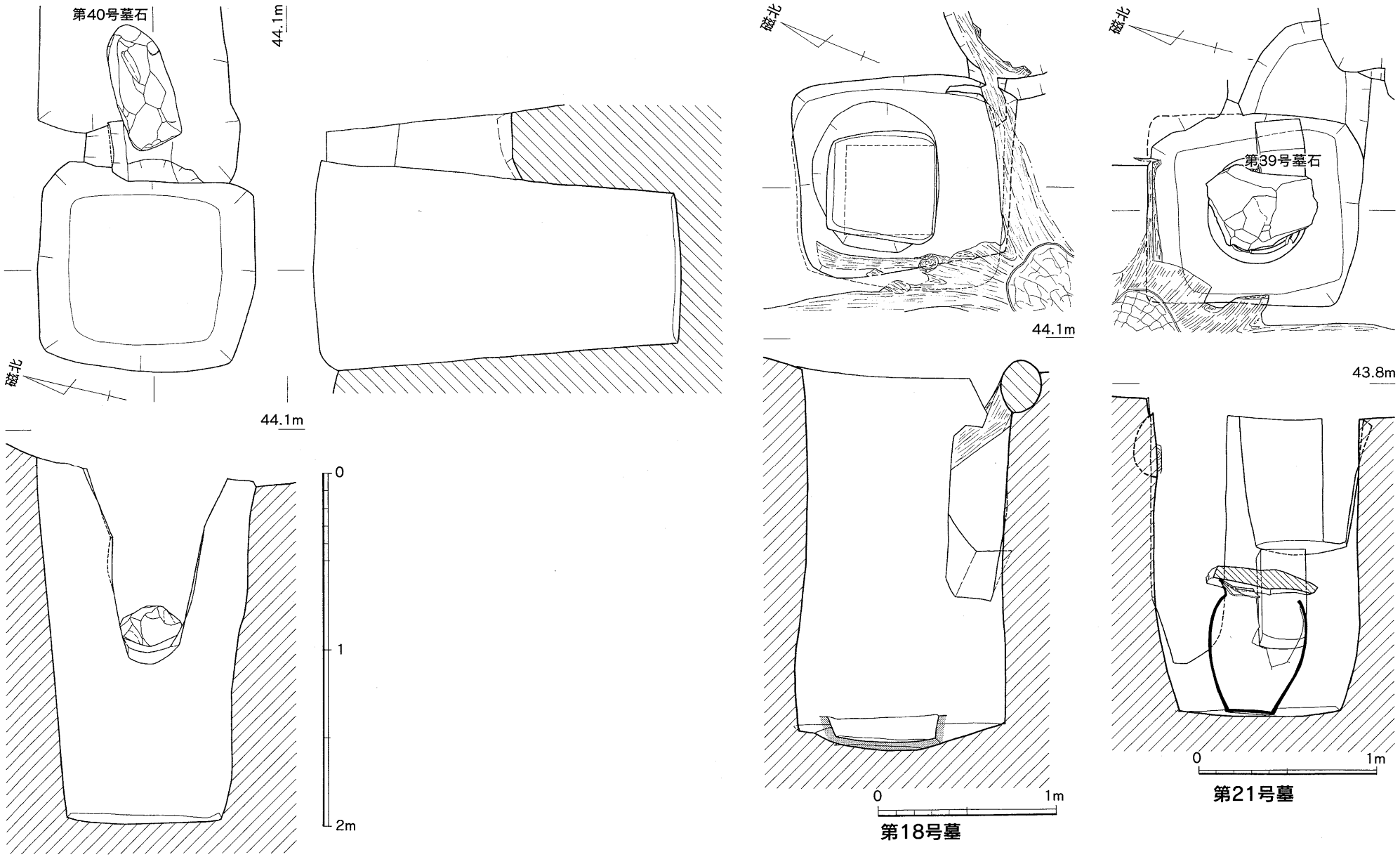
下段中央寄り北辺、第１６号墓の西南西に位置する。墓壙は方形を呈し、上面123×108cm・底面86×85cm・深さ208cmを測る。棺は不明である。墓壙の北東側に本来横穴であったと思われる



第23図　原田第１号墓地　第９～12号墓実測図（S=1/30）



第24図　原田第１号墓地　第13～16号墓実測図（S=1/30）



第25図　原田第１号墓地　第17・18・21号墓実測図（S=1/30）

改葬壙がある。墓壙内から鉄釘１と木片１が出土した。

第１８号墓（第20・25図、図版14－④⑤）

下段中央北辺、楠の北側に位置する。墓壙の南東壁と南西壁は楠の根の下にある。このため、明確ではないが、墓壙は方形を呈し、上面119×111cm・底面117×114cmと底面が広く、深さ205cmを測る。底面には径85×71cm・深さ７～12cmを測る楕円形の窪みがある。棺は56×56cmの正方形縦棺である。棺内から銭５と、墓壙内から少量の鉄釘が出土した。残っていた人骨は雨のため原位置を動いたが、葬位は立膝座葬である。

第２１号墓（第20・25図、図版15－①～④）

下段中央、楠の南東側に位置する。北東角が第３８号墓と重複し、第３８号墓より新しい。墓壙は方形を呈し、上面119×108cm・底面91×90cm・深さ180cmを測る。棺は胴径54.3cmの甕棺であり、扁平な花崗岩の蓋石（60×49cm・厚さ6～11cm）が載っていた。墓壙東側に改葬壙があり、対応して甕棺の南東側が割れている。改葬後に第３９号墓石が甕棺内に逆さにして落とし込まれている。棺内から多量の木葉と少量の鉄釘が出土した。残っていた人骨は雨のため原位置を動いたが、葬位は立膝座葬である。

第２２号墓（第20・26図、図版15－⑤⑥）

上段北東側西寄りに位置する。墓壙は方形を呈し、上面119×116cm・底面69×63cm・深さ116cmを測る。墓壙底面から銭６・磁器碗１・陶器皿１が出土し、墓壙内から多量の鉄釘が出土した。棺は検出できなかったが、副葬品の出土状況および鉄釘の数量からして正方形縦棺と考える。人骨が出土したが、葬位は不明である。

第２３号墓（第20・26図、図版16－①～④）

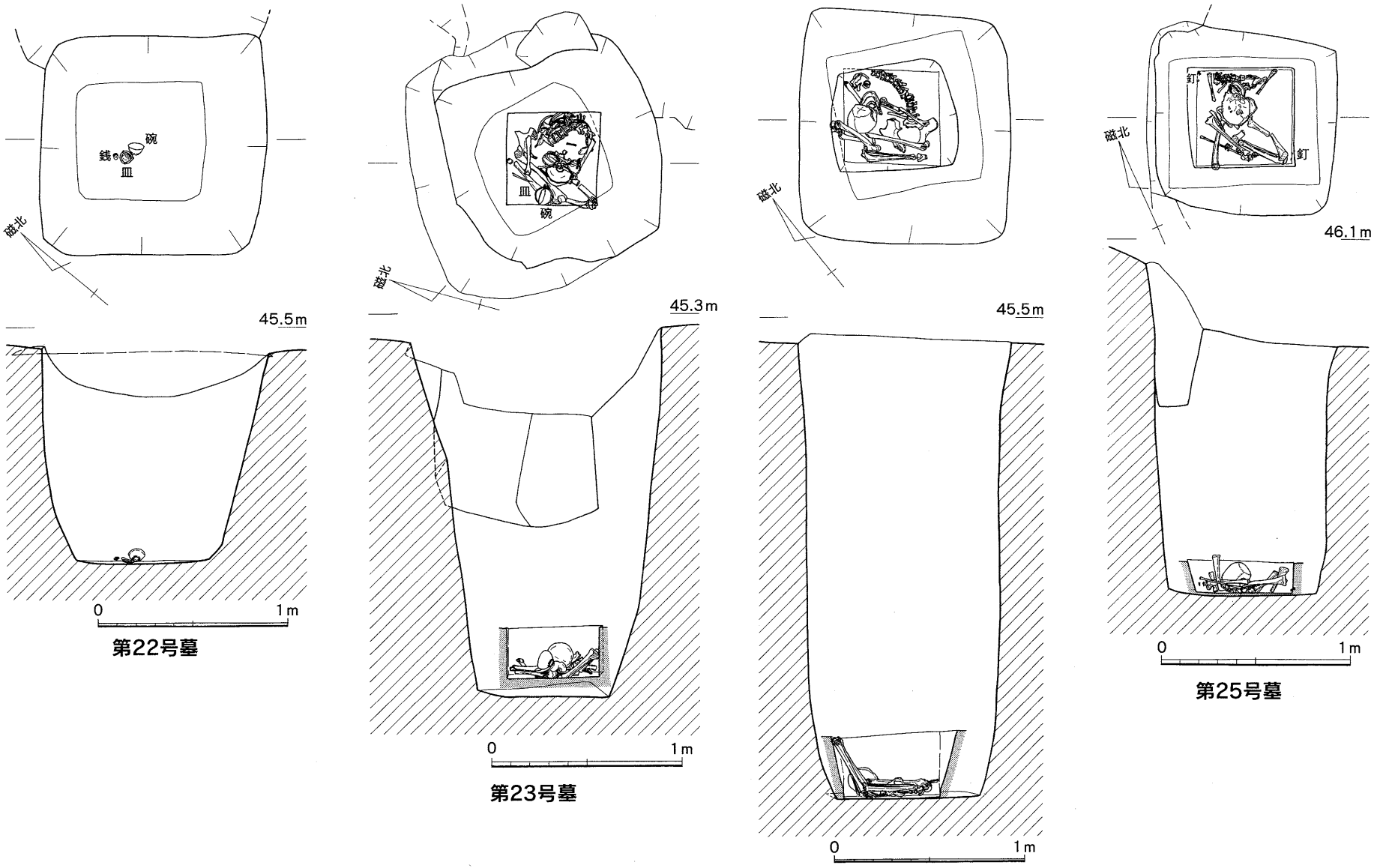
上段東角に位置する。北西角が第４１・４４号墓と重複し、第４１・４４号墓より新しい。墓壙は方形を呈し、上面132×131cm・底面65×64cm・深さ196cmを測る。棺は49×48cmの正方形縦棺である。墓壙の西～北～東側の上壁は崩れており、特に北東側の崩れは改葬に伴うものと考える。棺内には銭６・鉄製和鋏１・煙管１・鈴１・櫛１・磁器碗１・磁器皿１が副葬されており、墓壙内からは多量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は西向きの立膝座葬である。

第２４号墓（第20・26図、図版16－⑤⑥）

上段、第２２号墓の南側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面123×110cm・底面75×67cm・深さ246cmを測る。棺は50×50cmの正方形縦棺である。墓壙から多量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は南西向きの立膝座葬である。

第２５号墓（第20・26図、図版17－①②）

上段北東側北辺に位置する。墓壙は方形を呈し、上面101×97cm・底面78×68cm・深さ142cmを測る。北西壁は樹根による撹乱を受けている。棺は50×50cmの正方形縦棺である。棺内



第26図　原田第１号墓地　第22～25号墓実測図（S=1/30）

から足袋はぜ２が、墓壙内から多量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は南南西向きの立膝座葬である。

第２６号墓（第20・27図、図版17－③④）

上段最北東端に位置する。墓壙は方形を呈し、上面123×119cm・底面102×97cm・深さ189cmを測る。棺は51×50cmの正方形縦棺である。墓壙内から多量の鉄釘と少量の焼き灰が出土した。人骨の出土状態から、葬位は南西向きの立膝座葬である。

第２７号墓（第20・27図、図版17－⑤⑥）

上段北東側、第２６号墓の南南西に位置する。墓壙は方形を呈し、上面131×121cm・底面96×96cm・深さ195cmを測る。北角は第３５号墓と、西角は第３６号墓と接し、本墓は第３５号墓より古く、第３６号墓より新しいと考える。棺内には銭５・煙管１・煙管入れ１・磁器碗１・磁器小杯１が副葬されており、墓壙からは多量の鉄釘と少量の焼き灰が出土した。人骨の出土状態から、葬位は南西向きの立膝座葬である。

第２８号墓（第20・27図、図版18－①②）

上段北東側、東辺中央に位置する。墓壙は方形を呈し、上面115×113cm・底面90×87cm・深さ237cmを測る。棺は47×46cmの正方形縦棺で、深さ68cmを残す。墓壙内からやや多量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は南西向きの立膝座葬である。

第２９号墓（第20・27図、図版18－③④）

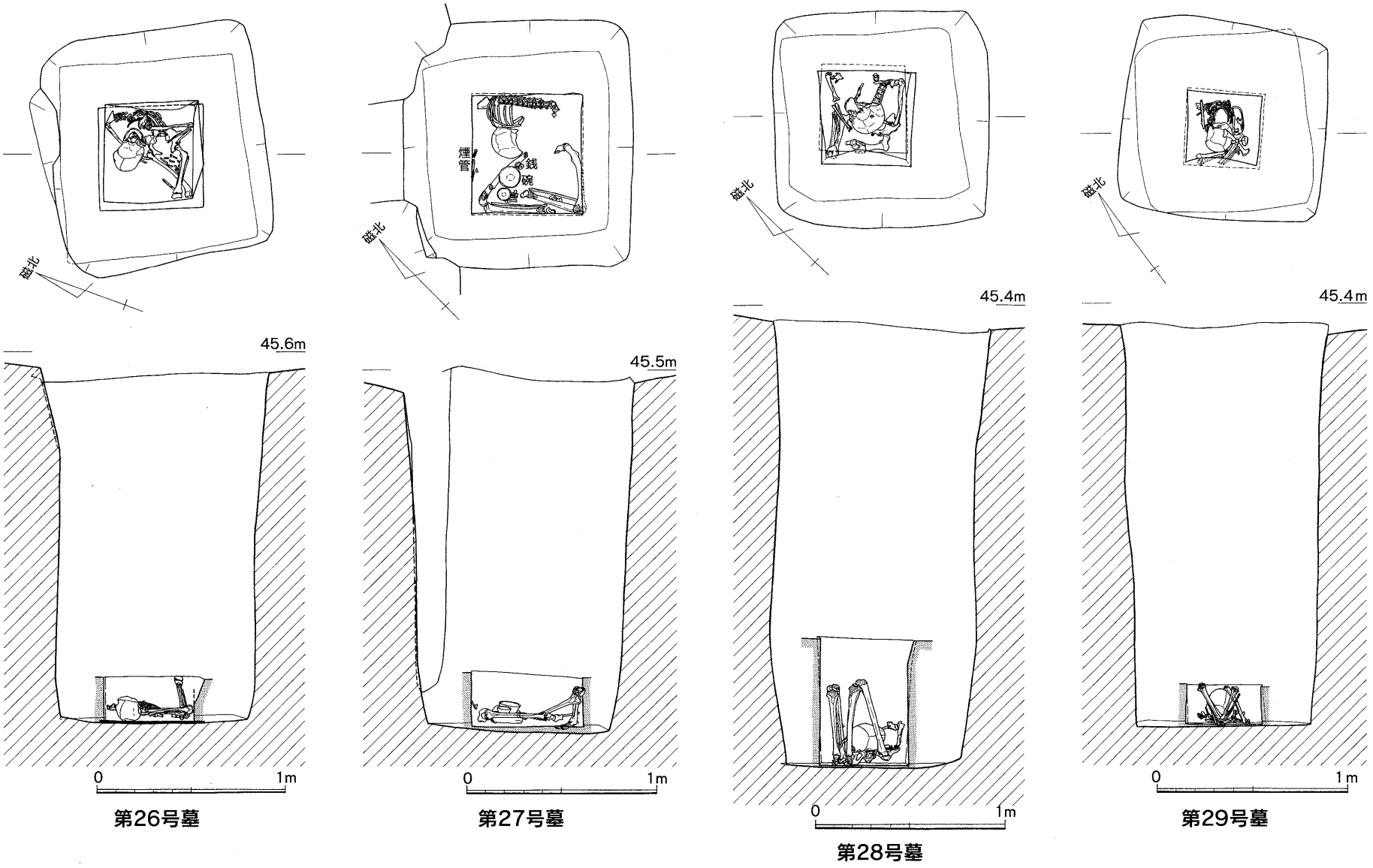
上段北東側、第２８号墓の南西側に位置する。東側で第３４号墓と接し、第３４号墓より新しいと考える。墓壙は方形を呈し、上面107×104cm・底面94×90cm・深さ213cmを測る。棺は40×40cmの正方形縦棺である。棺内から漆膜１が、墓壙内からやや多量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は南西向きの立膝座葬である。

第３０号墓（第20・28図、図版18－⑤⑥）

上段北東側、第２２号墓の東側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面124×110cm・底面87×82cm・深さ140cmを測る。棺は46×46cmの正方形縦棺である。棺内には土師皿２・櫛１・煙管１・鉄製鋏１・ガラス棒１が副葬され、布も残っていた。墓壙内から多量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は南西向きの立膝座葬である。

第３１号墓（第20・28図、図版19－①②）

上段北東側、第３０号墓の東側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面103×103cm・底面105×102cm・深さ183cmを測る。底面には径67×57cm・深さ12～17cmを測る略円形の穴を掘り、棺を据えている。棺は胴径54.2cmの甕棺である。棺内には土師皿２・櫛１・煙管１・鉄製鋏１・ガラス棒１が副葬され、布も残っていた。墓壙内からやや少量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は南南西向きの立膝座葬である。



第27図　原田第１号墓地　第26～29号墓実測図（S=1/30）

第３２号墓（第20・28図、図版19－③④、27－⑥）

下段中央西寄り、楠の南西側に位置する。棺は方形を呈し、上面112×102cm・底面86×83cm・深さ199cmを測る。底面には径54×50cm・深さ８cmを測る略円形の穴が掘られており、棺の位置と一致する。棺は胴径61.9cmの甕棺である。墓壙の南角と北西辺に改葬壙があり、それぞれに第３６・３７号墓石が落とし込まれていた。残っていた人骨は雨のために原位置を動いたが、葬位は南西向きの立膝座葬である。

第３３号墓（第20・28図、図版19－⑤⑥、20－①）

上段北東側、第３０号墓の北西側に位置する。東角が第３６号墓と重複し、第３６号墓より新しい。墓壙は方形を呈し、上面117×116cm・底面90×87cm・深さ151cmを測る。棺は胴径53.5cmの甕棺である。棺内には銭１・櫛１・磁器碗１・磁器皿１が副葬され、木片・鉋屑と少量の鉄釘が出土した。人骨は棺底に横転していたが、葬位は立膝座葬と考える。人骨には毛髪も共伴している。

第３４号墓（第20・29・32図、図版20－②③）

上段北東側、第２９号墓の南東側に位置する。南西側で第４３号墓と接し、第４３号墓より新しい。墓壙は方形を呈し、上面128×116cm・底面98×88cm・深さ197cmを測る。棺は48×46cmの正方形縦棺である。棺内から銭３が、墓壙内から多量の鉄釘が出土した。人骨は良く残っており、葬位は南西向きの立膝座葬である。

なお、棺外からも人骨が出土した。これは、本墓壙を掘削中に本墓より古い第４３号墓の人骨に当たった際に改葬して、本墓壙内の棺外に移したものと考える。

第３５号墓（第20・29図、図版20－④⑤）

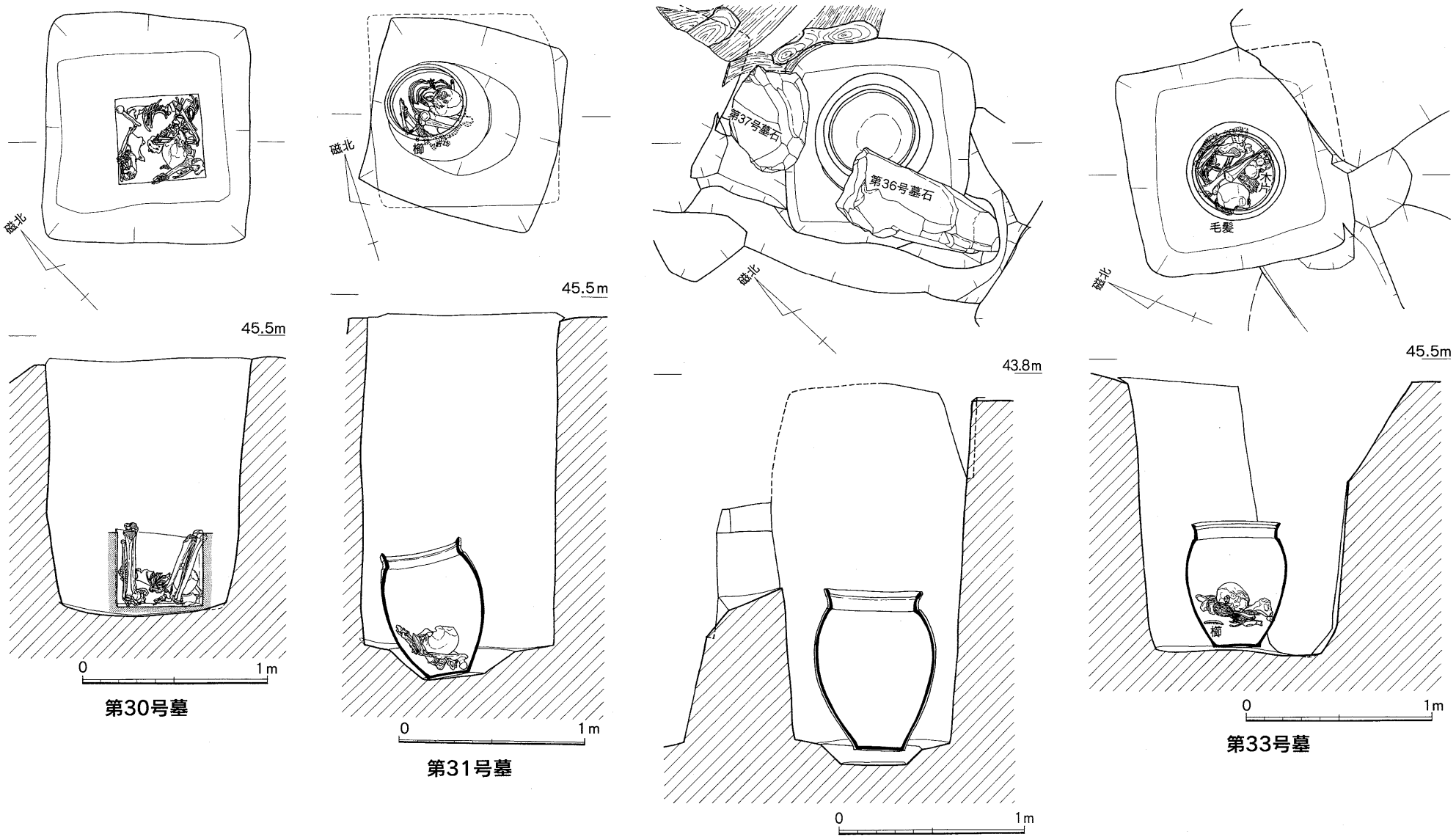
上段北東側、第２７号墓の北北西側に位置する。北角が第３９号墓と重複し、第３９号墓より新しいと考える。墓壙は方形を呈し、上面92×91cm・底面78×75cm・深さ173cmを測る。棺は47×46cmの正方形縦棺である。棺内から煙管１・煙草入れ１が、墓壙内から多量の鉄釘が出土した。人骨は棺底に横転していたが、葬位は立膝座葬と考える。

第３６号墓（第20・29図、図版21－①②）

上段北東側、第３５号墓の南西側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面113×112cm・底面90×90cm・深さ201cmを測る。棺は49×47cmの正方形縦棺であり、深さ71cmを残す。棺内から布片が、墓壙内から多量の鉄釘が出土した。人骨は良く残っており、葬位は南西向きの立膝座葬である。

第３７号墓（第20・30図、図版21－③④）

下段中央北辺に位置する。地上には、第２７号墓石とした一辺70×60cmの方形を呈する基壇石が残っていた。墓壙は方形を呈し、上面168×143cm・底面96×91cm・深さ212cmを測る。墓壙南壁の西角寄りに改葬のための横穴が斜めに掘られている。棺は53×51cmの正方形縦棺である。墓壙内から多量の鉄釘が出土した。人骨は出土したが、葬位は不明である。



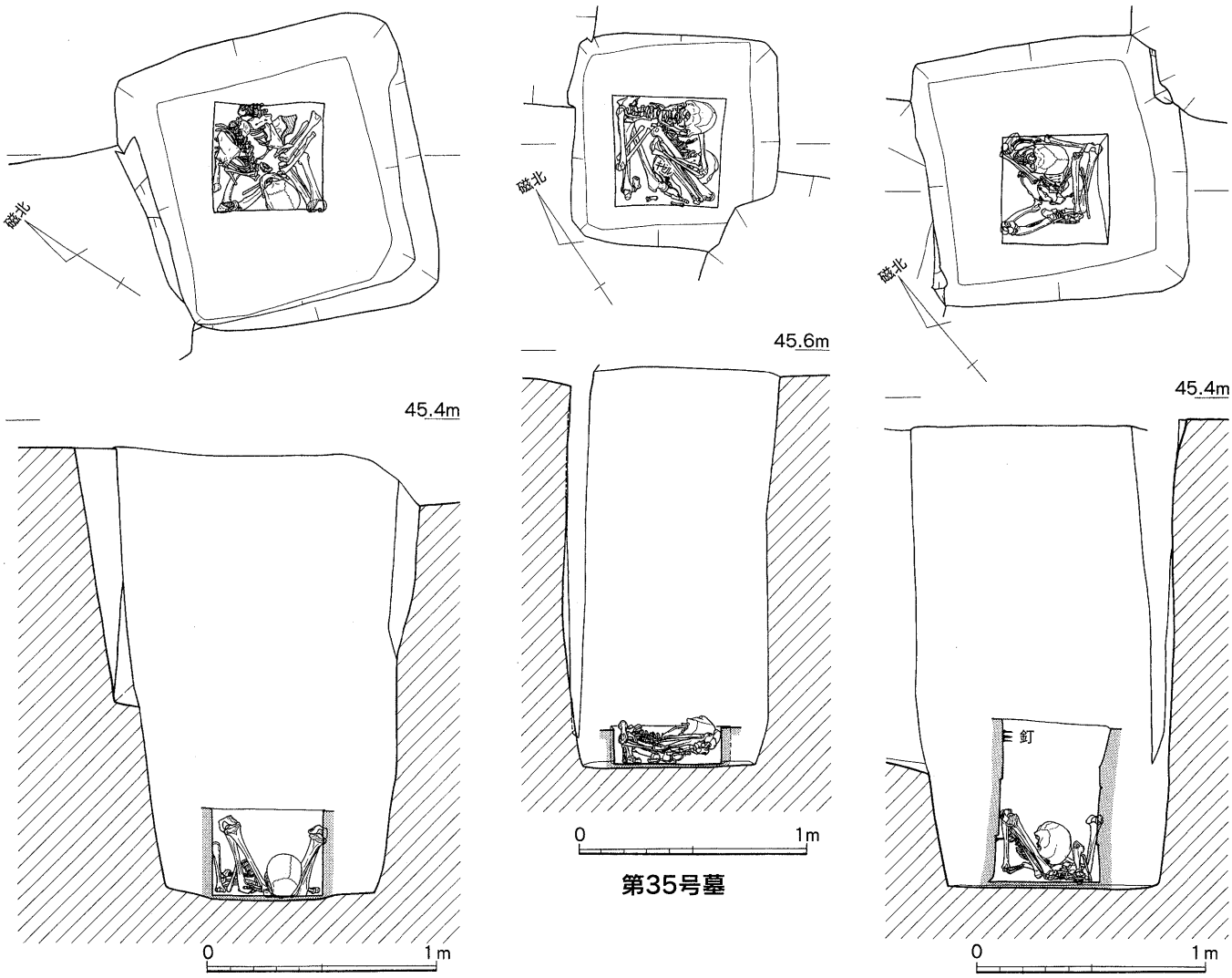
第28図　原田第１号墓地　第30～33号墓実測図（S=1/30）

第３８号墓（第20・30図、図版21－⑤⑥）

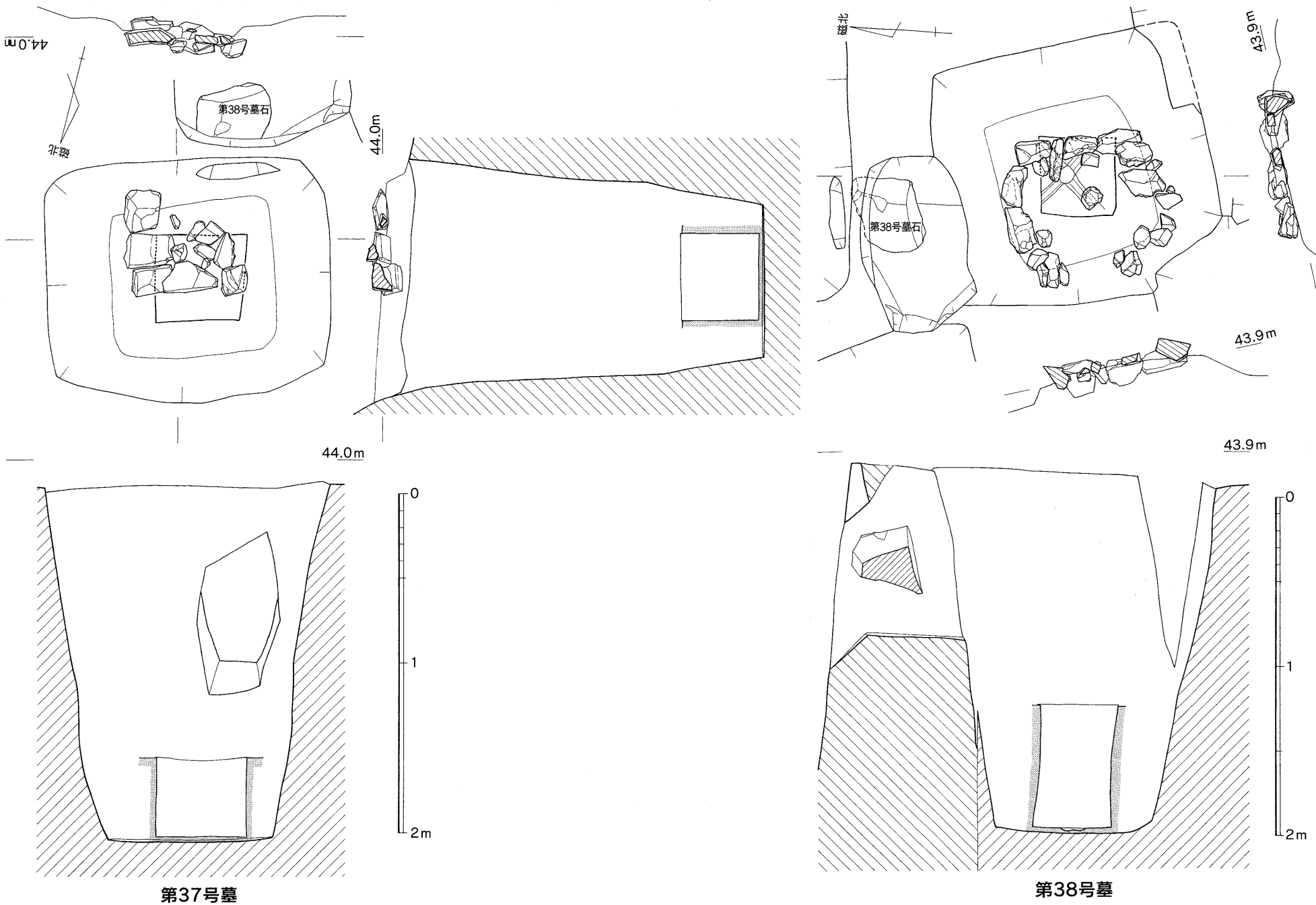
下段中央、楠の北東側に位置する。地上には、第２５号墓石とした一辺90×90cmの方形を呈する基壇石が残っていた。墓壙は方形を呈し、上面154×149cm・底面93×87cm・深さ216cmを測る。南東側で第４２号墓と重複し、第４２号墓が古い。第３７号墓との間に改葬壙が掘られており、中に第３８号墓石が落とし込まれていた。棺は47×44cmの正方形縦棺であり、深さ73cmを残す。墓壙内から棺材と思われる金具付き木片と小量の鉄釘が出土した。人骨は出土したが、葬位は不明である。

第３９号墓（第20・31図、図版22－①②）

上段北東端、第３５号墓の北西側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面122×119cm・底面107×105cm・深さ171cmを測る。底面には径66×48cm・深さ14～16cmを測る楕円形の穴が掘られている。棺は50×50cmの正方形縦棺である。棺内には銭５・鉄製和鋏１・磁器碗１・磁器蓋１・磁器小杯１が副葬され、墓壙内から多量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は西向きの立膝座葬である。



第29図　原田第１号墓地　第34～36号墓実測図（S=1/30）



第37号墓　　第38号墓

第30図　原田第１号墓地　第37・38号墓実測図（S=1/30）

第４０号墓（第20・31図、図版22－③④）

上段東辺、第２３号墓の北側に位置する。墓壙の北東側半分は第４３号墓と重複し、第４３号墓より新しい。墓壙は方形を呈し、上面101×99cm・底面76×73cm・深さ124cmを測る。棺は50×42cmの正方形縦棺である。墓壙内からやや多量の鉄釘が出土した。人骨の残りはあまり良くないが、葬位は南西向きの立膝座葬と考える。

第４１号墓（第20・31図、図版22－⑤⑥）

上段東角寄り、第２３号墓の西側に位置する。墓壙の南側半分は第４４号墓と重複し、第４４号墓より新しい。墓壙は方形を呈し、上面124×116cm・底面101×98cm・深さ214cmを測る。棺は42×41cmの正方形縦棺であり、深さ52cmを残す。棺内には銭６・煙管１・櫛１・磁器碗１・磁器皿１が副葬され、墓壙内から多量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は西向きの立膝座葬である。

なお、棺外からも人骨が出土した。これは、本墓壙を掘削中に本墓より古い第４４号墓の人骨に当たった際に改葬して、本墓壙内の棺外に移したものと考える。

第４２号墓（第20・31図、図版23－①②）

下段中央、第３８号墓の南東側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面107×103cm・底面71×68cm・深さ161cmを測る。第４７号墓との間に改葬壙がある。棺は51×49cmの正方形縦棺である。墓壙内から多量の鉄釘が出土した。残っていた人骨は雨のために原位置を動いたが、葬位は立膝座葬である。

第４３号墓（第20・32図、図版23－③～⑥）

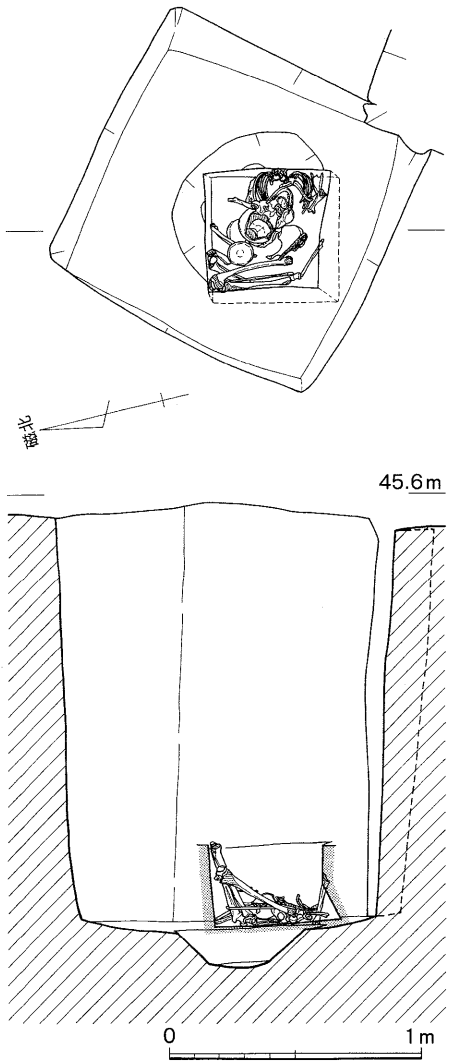
上段東辺、第３４・４０号墓の間に位置し、両墓より古い。墓壙は方形を呈し、上面125×86cm以上・底面71×62cm・深さ185cmを測る。棺は不明であるが、墓壙内から鉄釘が少量出土しており、正方形縦棺かもしれない。人骨の一部は第３４号墓によって改葬されて棺外に移動しているが、棺内にも下肢骨が残っている。その出土状態から、葬位は立膝座葬である。

第４４号墓（第20・31図、図版24－①②）

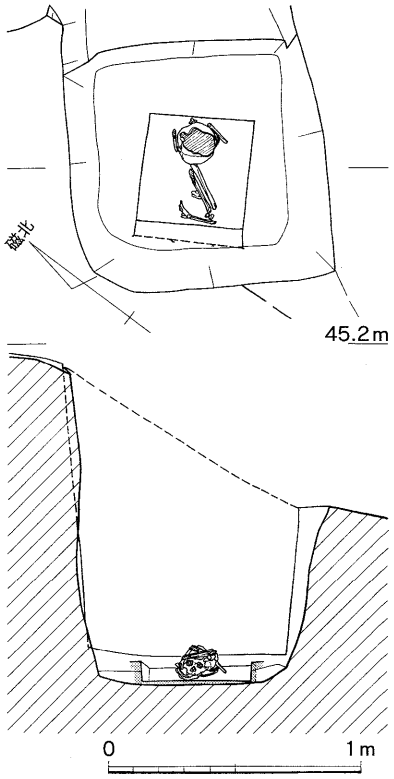
上段東角寄り、第４１号墓の南東側に位置する。第４１号墓との重複著しく、墓壙は方形を呈するが、規模は定かではない。現況で、上面146×124cm・底面60×59cm・深さ218cmを測る。棺は不明である。人骨は第４１号墓によって改葬・移動されており、葬位は不明である。

第４５号墓（第20・32図、図版24－③④）

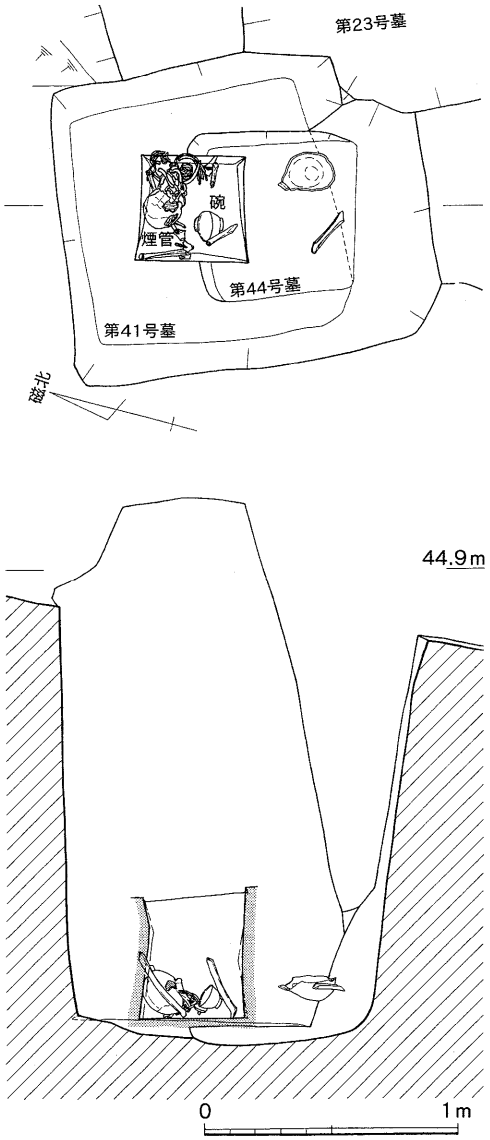
下段北東側、第１６・１７号墓の間に位置する。南側半分は改葬壙と重複し、改葬後に第４０号墓石を落とし込んでいる。墓壙は方形を呈し、上面83×71cm・底面48×47cm・深さ158cmを測る。東と西壁に改葬のための横穴が掘られているが、それぞれ第１６・１７号墓に対する改葬壙である。棺は37×26cmの長方形を呈するが、横棺か縦棺かは不明である。墓壙内から少量の鉄釘が出土した。人骨片が出土したが、葬位は不明である。



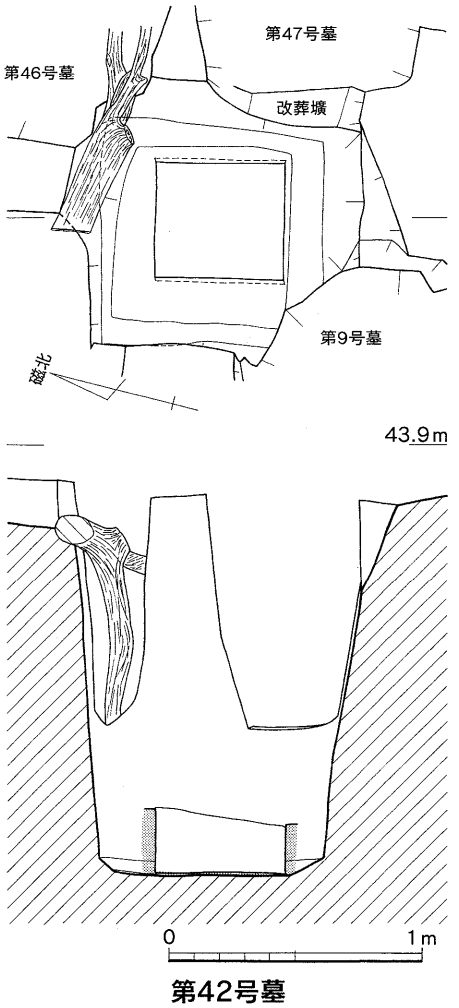
第39号墓



第40号墓



第41・44号墓



第42号墓

第31図　原田第１号墓地　第39～42・44号墓実測図（S=１/30）

第４６号墓（第20・32図、図版24－⑤⑥、25－①②）

下段北東側の中央、第３８号墓の東側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面140×133cm・底面98×92cm・深さ161cmを測る。南西角は第４２号墓と、南東角は第４８号墓と接しているが、新旧関係は不明である。東側に改葬壙があり、改葬後に第４１・４２号墓石を落とし込んでいる。棺は63×51cmの正方形縦棺である。

第４７号墓（第20・32図、図版25－③）

下段北東側、第１０号墓の北西側に位置する。北東側は第４８号墓と重複しているが、新旧関係は不明である。西側、第４２号墓との間に改葬壙がある。墓壙は方形を呈すると思われ、現状で上面82×52cm以上・底面56×45cm以上・深さ144cmを測る。人骨が出土したが、棺は不明である。墓壙内に白磁の蔵骨器が出土したが、本墓に伴うものではなく改葬時に落とし込まれたものと考える。

第４８号墓（第20・33図）

下段北東側、第４７号墓の北東側に位置する。北東側で第４９号墓と接し、第４９号墓より新しい。墓壙は方形を呈し、上面114×112cm・底面89×87cm・深さ260cmを測る。棺は検出できなかったが、墓壙内からやや多量の鉄釘が出土しており、正方形縦棺の可能性がある。残っていた人骨は雨のため原位置を動き、その残りも悪かったため葬位は不明である。

第４９号墓（第20・33図、図版25－④⑤）

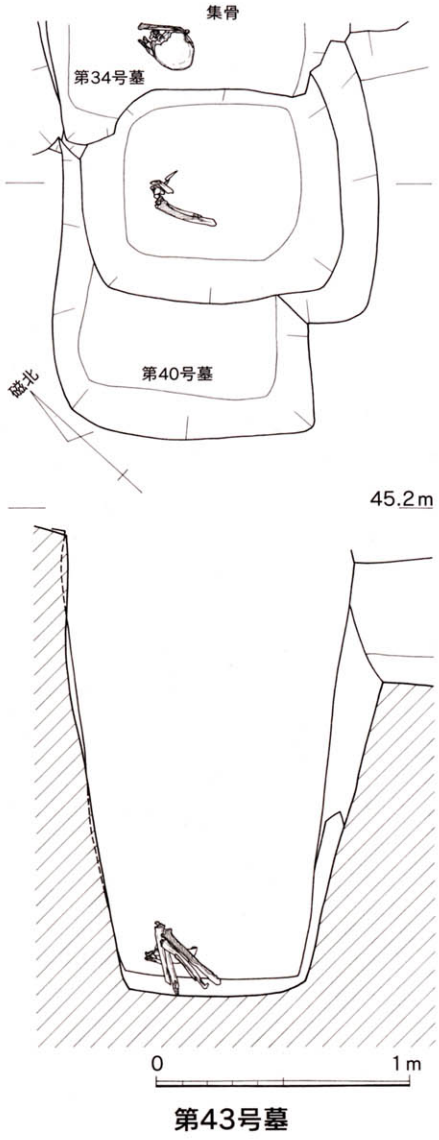
下段北東側、第４８号墓の北東側に位置する。東側で第５０号墓と、北西側で第５２号墓と重複しているが、新旧関係は不明である。墓壙は方形を呈し、上面107×97cm以上・底面105×96cm以上・深さ204cmを測る。棺は検出できなかったが、墓壙内からやや多量の鉄釘が出土しており、正方形縦棺の可能性がある。人骨の残りはあまり良くないが、葬位は立膝座葬と考える。著しく改葬を受けており、墓壙内に第４３～４６号墓石が重ねて落とし込まれていた。

第５０号墓（第20・33図、図版26－①②）

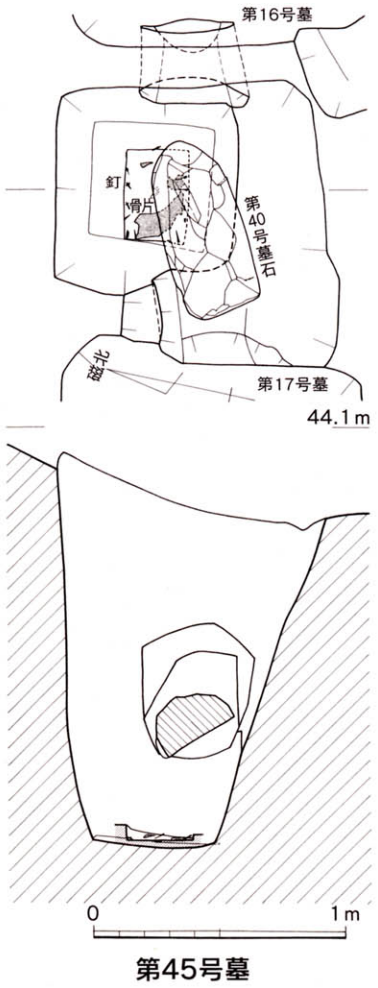
下段北東側、第４９号墓の北東側に位置する。南角で小土壙（第５３号墓壙）と重複するが、新旧関係は不明である。墓壙は方形を呈し、上面109×102cm・底面89×80cm・深さ136cmを測る。棺は45×44cmの正方形縦棺である。墓壙内からやや多量の鉄釘が出土した。人骨の残りはあまり良くないが、葬位は立膝座葬と考える。北北西側に改葬があり、改葬壙から本墓壙にかけて第４３・４４号墓石が落とし込まれていた。

第５２号墓（第20・33図、図版26－③）

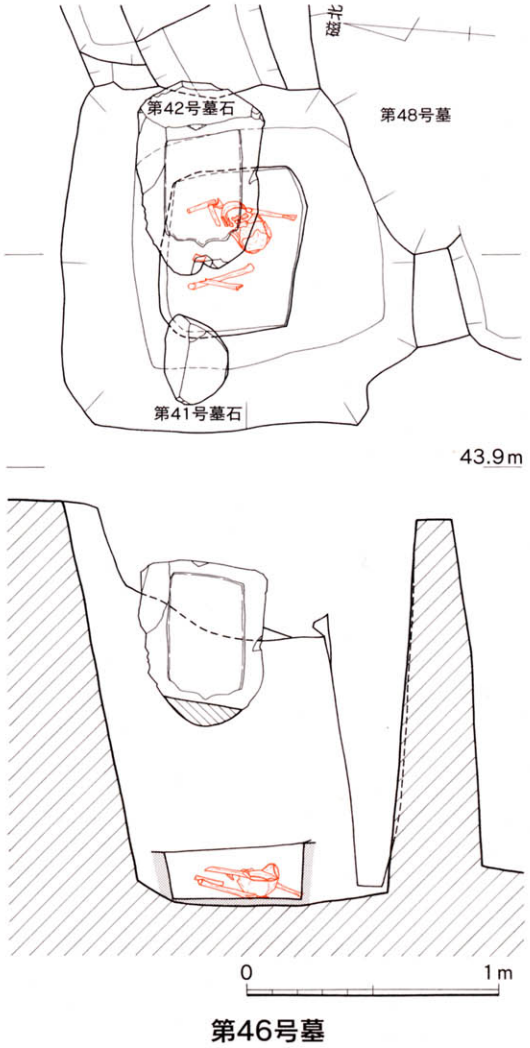
下段北東側の中央、第４６号墓の北東側に位置する。上面107×102cm・底面91×88cmを測る方形を呈するが、深さ49cmと他に比べて著しく浅い。底面には径68×56cm・深さ７cmを測る略円形の穴がほられ、そこから第４６号墓へ改葬壙が掘られている。人骨・鉄釘などは全く出土しておらず、あるいは第４６号墓に対する改葬壙の可能性がある。



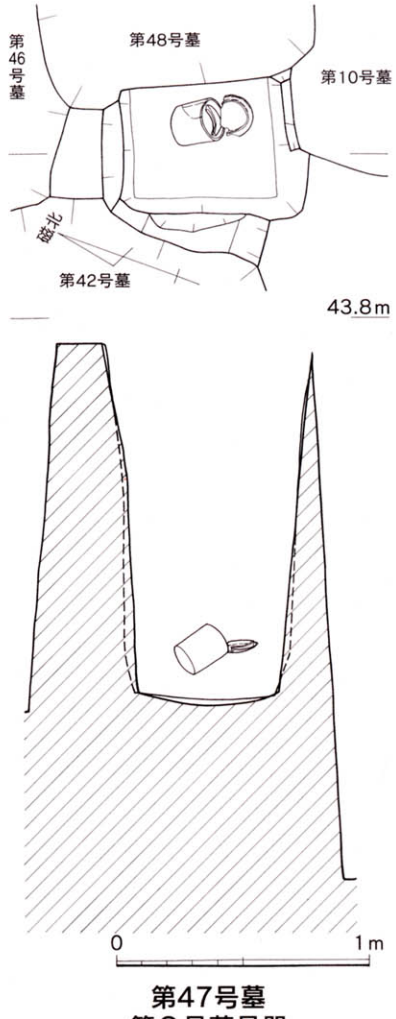
第43号墓



第45号墓

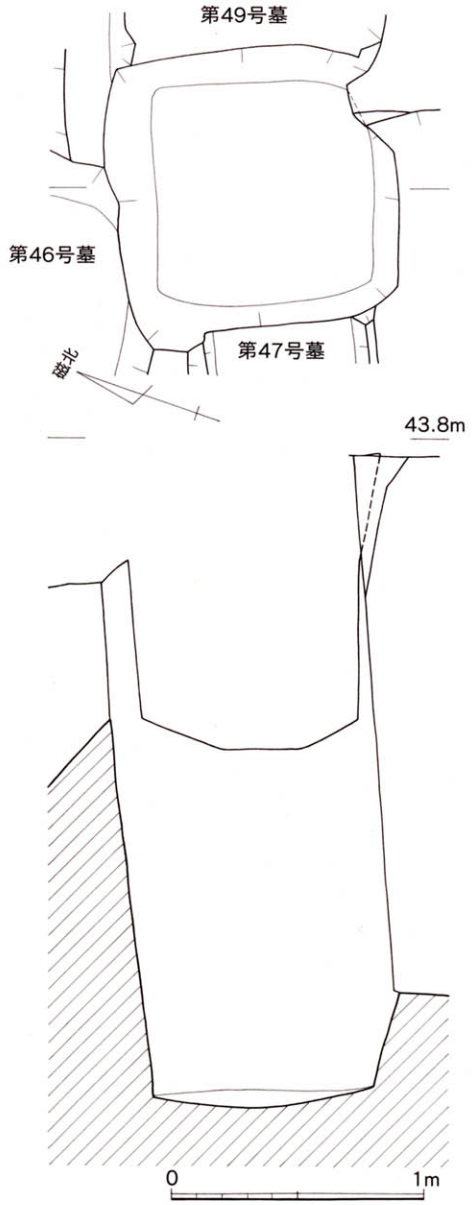


第46号墓

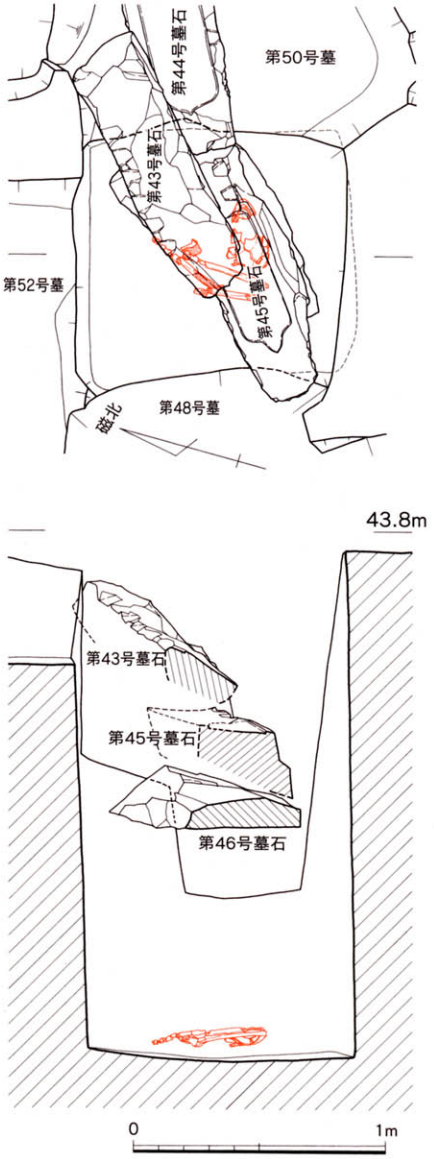


第47号墓
第２号蔵骨器

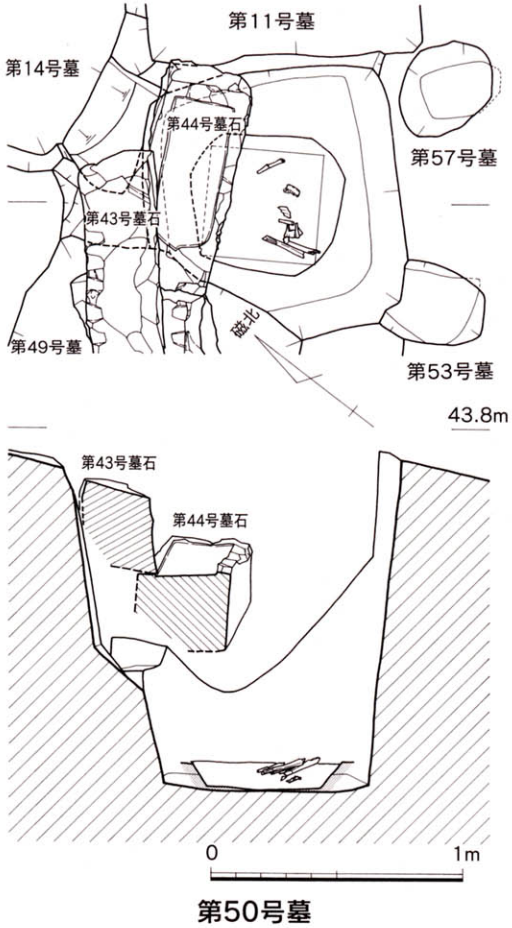
第32図　原田第１号墓地　第43・45～47号墓・第2号蔵骨器実測図（S=1/30）



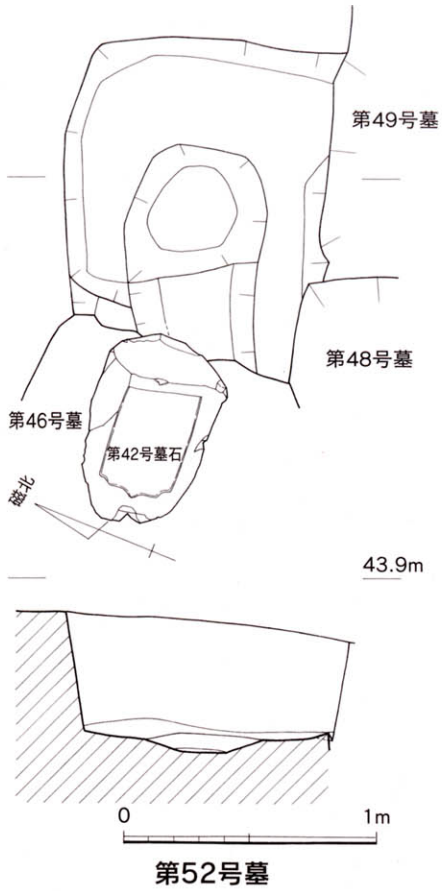
第48号墓



第49号墓

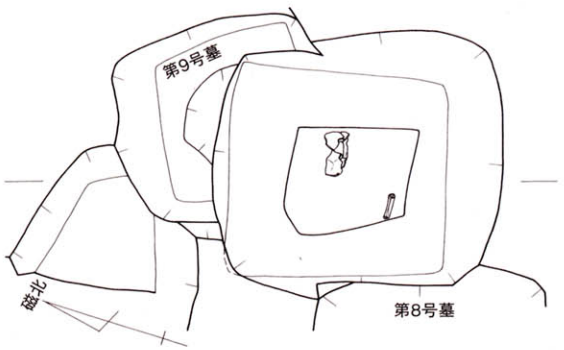


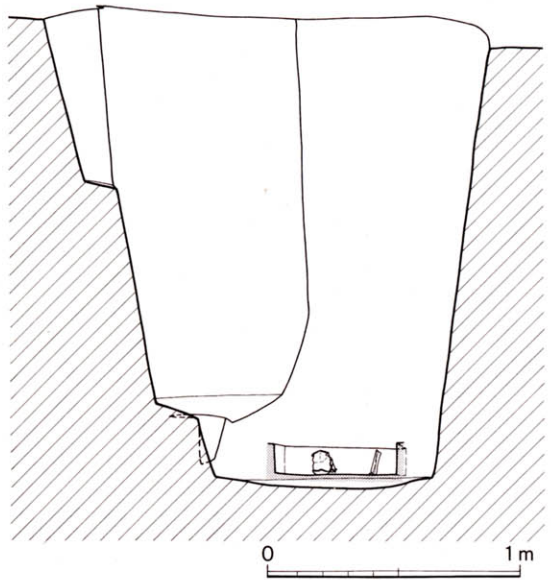
第50号墓



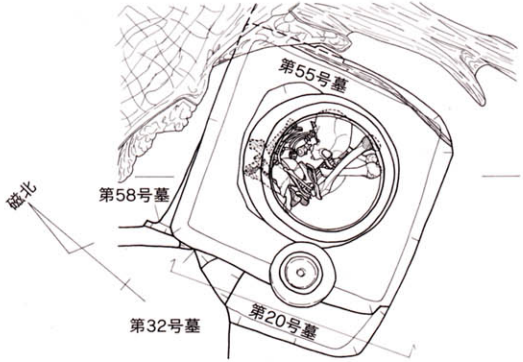
第52号墓

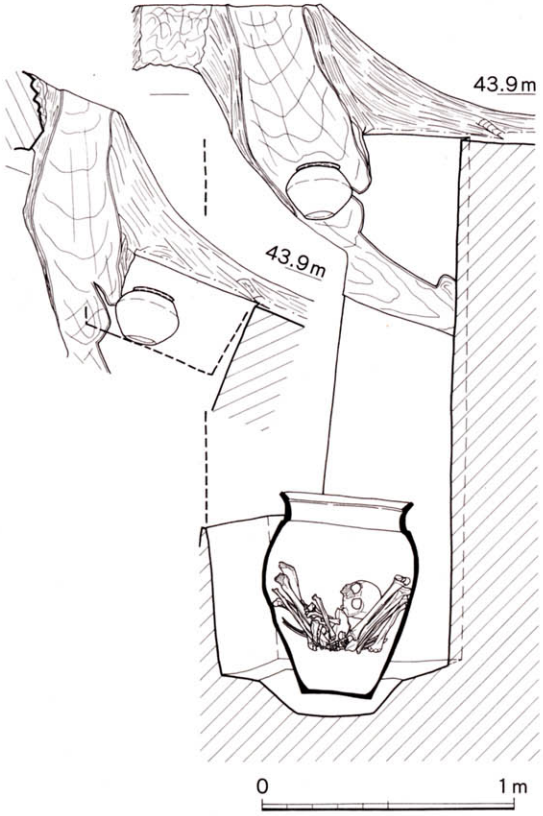
第33図　原田第１号墓地　第48～50・52号墓実測図（S=1/30）



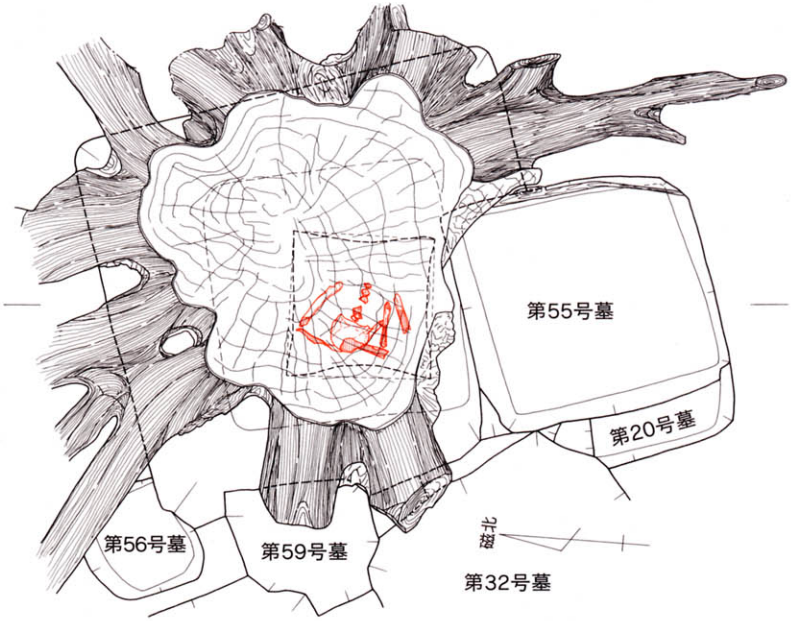


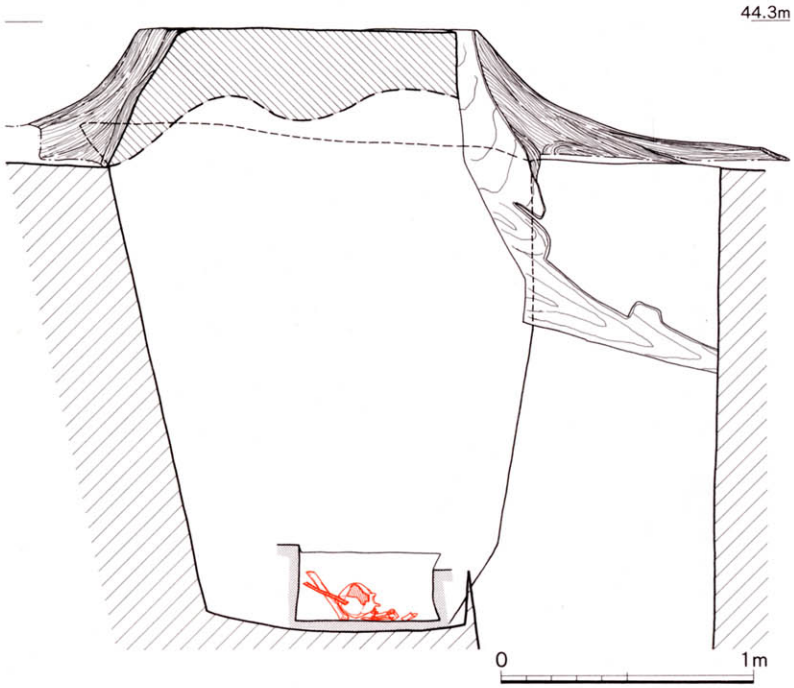
第54号墓





第20・55号墓





第58号墓

第34図　原田第１号墓地　第20・54・55・58号墓実測図（S=1/30）

第５４号墓（第20・34図、図版26－④⑤）

下段中央の南辺、第８号墓の北東側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面115×98cm・底面86×81cm・深さ188cmを測る。棺は47×43cmの正方形縦棺である。墓壙内からやや多量の鉄釘が出土した。人骨の残りはあまり良くないが、葬位は立膝座葬と考える。

第５５号墓（第20・34図、図版27－①②）

下段中央、楠の南側に位置する。北角は楠の下にある。墓壙は方形を呈し、上面95×95cm・底面84×81cm・深さ217cmを測る。底面には径66×56cm・深さ13～17cmを測る略円形の穴を掘り、棺を据えている。西側で第２０号墓と、北側で第５８号墓と重複し、本墓は第５８号墓より新しく、第２０号墓より古い。棺は胴径60.0cmの甕棺である。棺内から足袋はぜ６・鉄釘２が出土した。人骨の出土状態から、葬位は南西向きの立膝座葬である。

第５８号墓（第20・34図、図版27－③④）

下段、楠の真下に位置する。墓壙は方形を呈し、上面173×165cm・底面100×97cm・深さ203cmを測る。北西角で第５６号墓と、西辺で第５９号墓と重複し、両墓より古い。棺は57×57cmの正方形縦棺である。墓壙内から多量の鉄釘が出土した。人骨の残りはあまり良くないが、葬位は西向きの立膝座葬である。

３．その他の遺構（第20・34～36図、図版28～30）

第１号墓地では、通常の土葬壙としては疑わしい小土壙や胞衣を直接埋納したと思われる小土壙、あるいは蔵骨器や胞衣容器を埋納した小土壙が検出され、計１２基をその他の遺構として説明する。

第１９号墓（第20・35図、図版28－①）

下段西側、第１号墓地の東側に位置する。平面略円形を呈し、上面45×44cm・底面27×25cm・深さ65cmを測る。出土品は無い。胞衣埋納土壙と考える。

第２０号墓・第１号蔵骨器（第20・34図、図版27－⑥、30－①）

下段中央楠の南側、第５５号墓の南西側と重複して位置する。当初１基の墓壙として発掘していたが、途中で第５５号墓より新しい別の墓壙と判明し、東側は既に掘り過ぎてしまった。墓壙は方形を呈すると考えるが、現状では上面57以上×19cm以上・底面53以上×15cm以上の長方形を呈しており、深さ32cmを測る。第５５号墓壙側で出土した壷の底部レベルは、第２０号墓壙底面レベルと一致しており、壷は第２０号墓に属すると考える。壷は、蓋付きの胴径26cmの白磁壷であり、中に火葬骨が納められていた。このため、第２０号墓は火葬墓と考える。

第５１号墓（第20・35図、図版28－②）

下段西側の南辺、第4号墓の南側に位置する。地上に長さ34cm・幅24cm・厚さ9cmの石があり、

標石と考える。土壙は円形を呈し、上面31×30cm・底面15×15cm・深さ14cmを測る。出土品は無い。胞衣埋納土壙と考える。

第５３号墓（第20・35図、図版28－③）

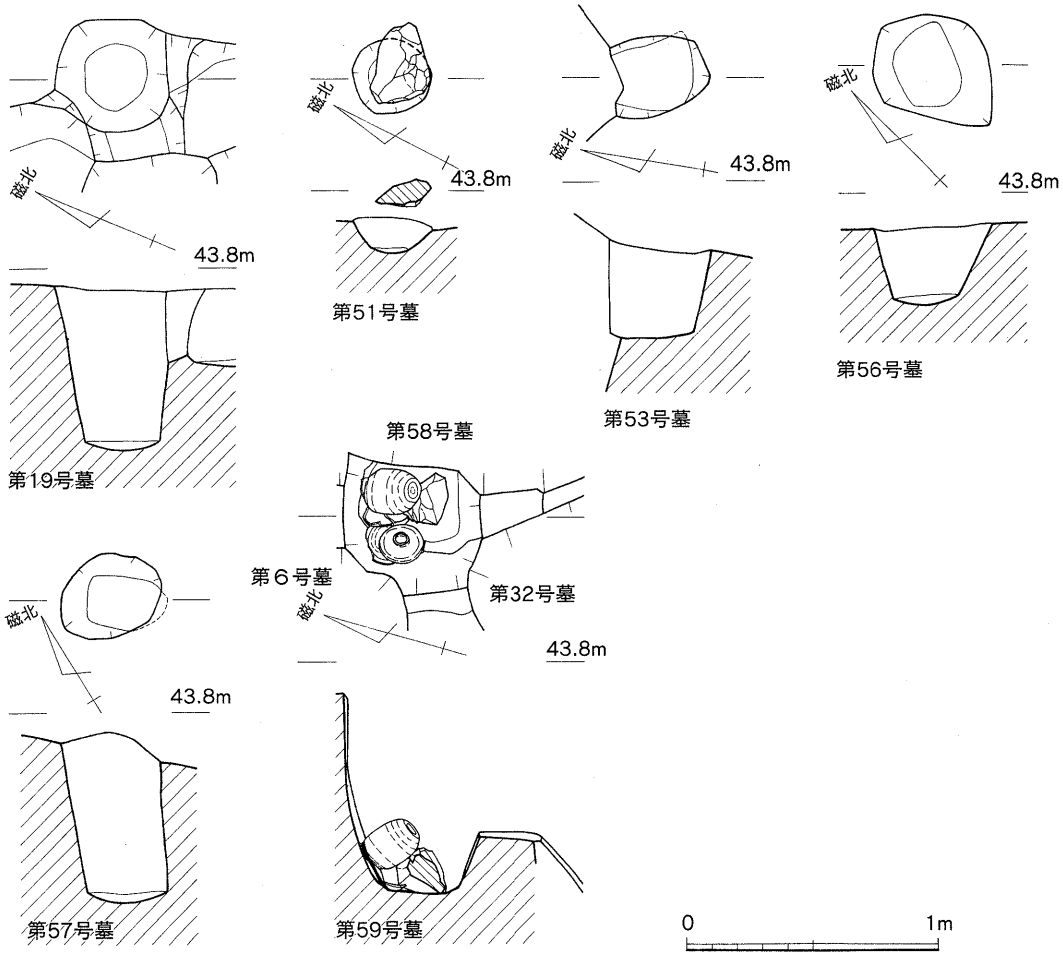
下段北東側、第５０号墓の南東角に位置する。北側が第５０号墓と重複しているが、土壙は不整の長方形を呈し、上面41以上×32cm・底面31以上×27cm・深さ39cmを測る。出土品は無い。胞衣埋納土壙と考える。

第５６号墓（第20・35図、図版28－④）

下段中央、楠の西側に位置する。墓壙は略楕円形を呈し、上面58×46cm・底面35×28cm・深さ32cmを測る。出土品は無い。胞衣埋納土壙と考える。

第５７号墓（第20・35図、図版28－⑤）

下段北東側、第５０号墓の東側に位置する。土壙は楕円形を呈し、上面43×33cm・底面31×21cm・深さ68cmを測る。出土品は無い。胞衣埋納土壙と考えるが、他例に比してやや深い。



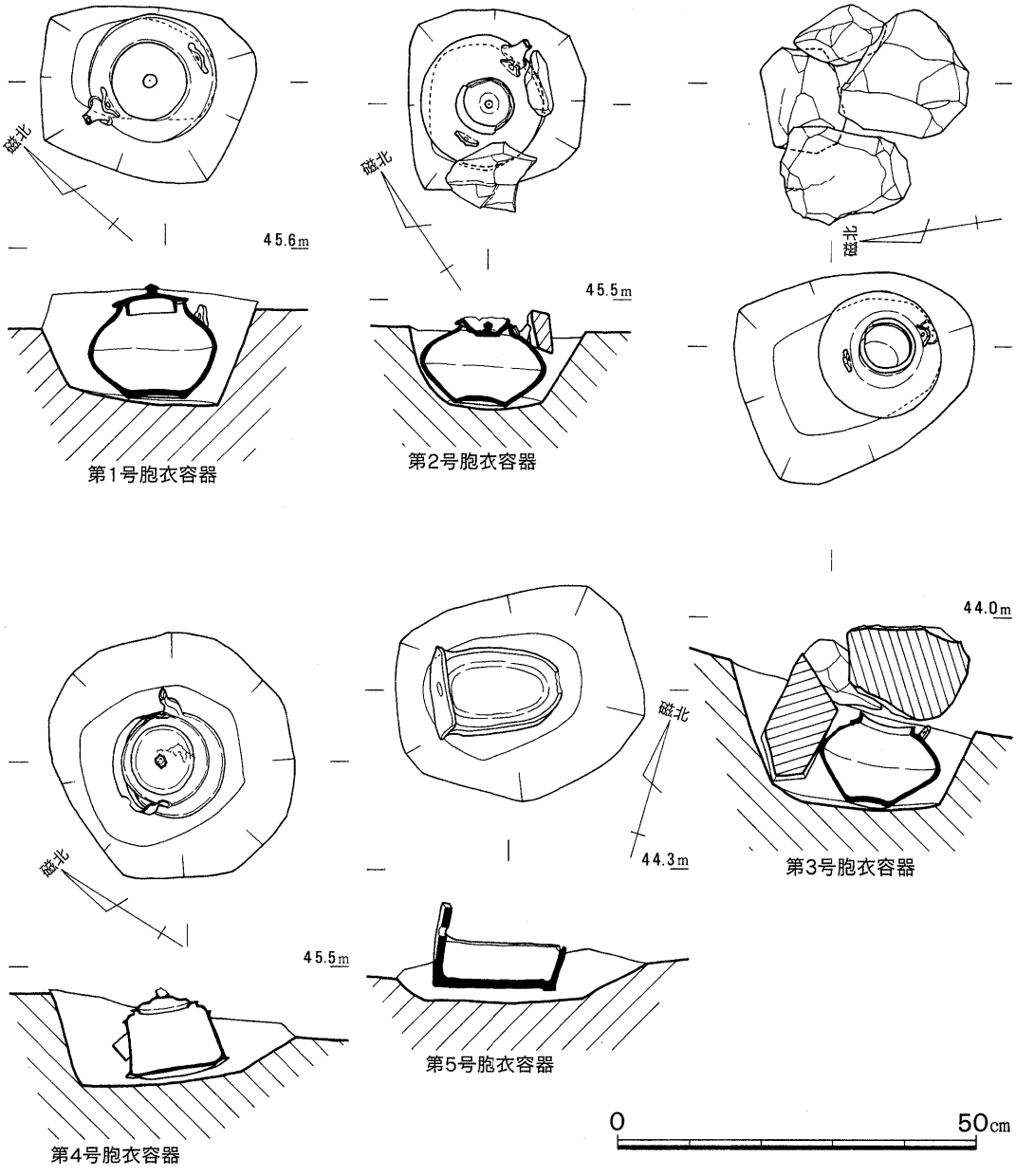
第35図　原田第１号墓地　第19・51・53・56・57・59号墓実測図（S=1/30）

第５９号墓（第20・35図、図版30－③④）

下段西側、楠の西側に位置する。西側で第6号墓と、南側で第３２号墓と、東側で第５８号墓と重複しているが、平面方形を呈すると考える。上面54×52cm以上・底面36×30cm以上・深さ80cmを測る。墓壙底面には陶器の蓋・壷・鉢と石が、割れたり、逆さの状態で出土した。本墓壙は蔵骨器の埋納土壙と考えるが、土壙内にも焼骨片・炭片が混ざっており蔵骨器の状態からも、撹乱を受けていると考える。

第１号胞衣容器（第20・36図、図版29－①）

上段北東側、第３３号墓の墓壙内北角の地上に位置する。第３３号墓より新しい。容器は蓋付きの胴径17.5cmの陶器土瓶であり、注口は西に向いている。土壙は略方形を呈し、上面30×23cm・底面20×14cm・深さ16cmを測る。



第36図　原田第１号墓地　第1～５号胞衣容器出土状態実測図（S＝1／10）

第２号胞衣容器（第20・36図、図版29－②）

上段北東側、第３１号墓の墓壙内南辺中央の地上に位置する。第３１号墓より新しい。容器は蓋付きの胴径17.8cmの陶器土瓶であり、注口は東を向いている。土壙は方形を呈し、上面25×24cm・底面16×17cm・深さ10cmを測る。容器の上には標石と考える石２が出土した。

第３号胞衣容器（第20・36図、図版８－④、29－③④）

下段北東隅、第１６号墓の東側に位置する。地上には第３１号墓が位置し、本容器の標石である。容器は胴径17.1cmの陶器土瓶であり、欠損する注口は南を向いている。土壙は不整の長方形を呈し、上面33×27cm・底面23×16cm・深さ10～20cmを測る。標石は４石から成り、１石は土壙底面まで達しており、１石は蓋の無い土瓶の口を塞ぐように置かれていた。

第４号胞衣容器（第20・36図、図版29－⑤）

上段北東側、第２７号墓の南東側に位置する。容器は蓋付きの胴径12～14cmの鉄瓶であり、注口は北東を向いている。器壁薄く、保存状態も著しく悪い。土壙は円形を呈し、上面36×32cm・底面22×20cm・深さ５～13cmを測る。

第５号胞衣容器（第20・36図、図版29－⑥）

下段北東側、第１６号墓の北東側に位置する。容器は和式便器に似た形状を呈する土製品である。土壙は不整の長方形を呈し、上面35×28cm・底面22×12cm・深さ３～７cmを測る。

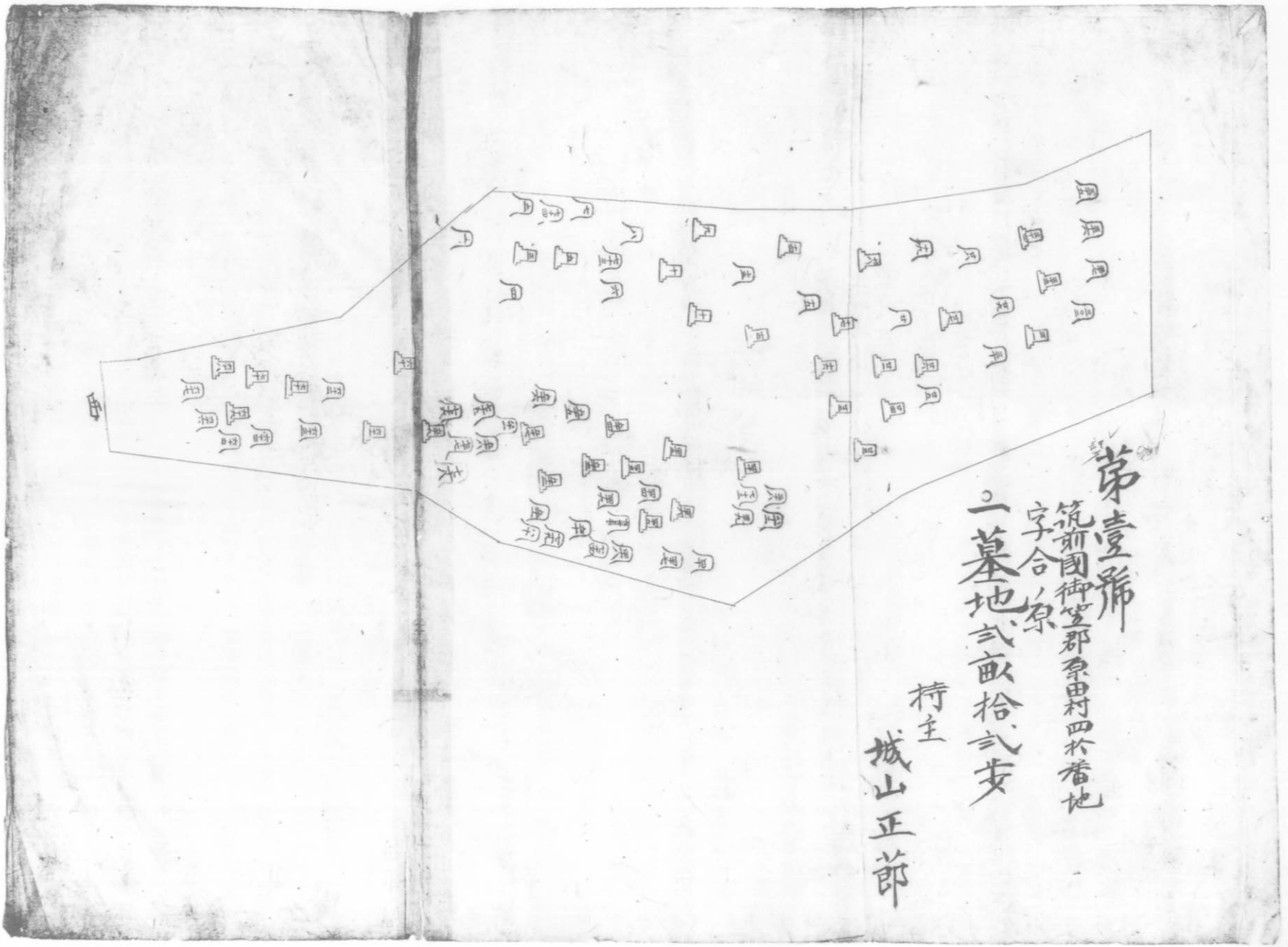
４.『墓籍地図』・『墓籍』の調査（第６・37・38図、第１表）

『墓籍地図』・『墓籍』のうち、第１号墓地の標記には

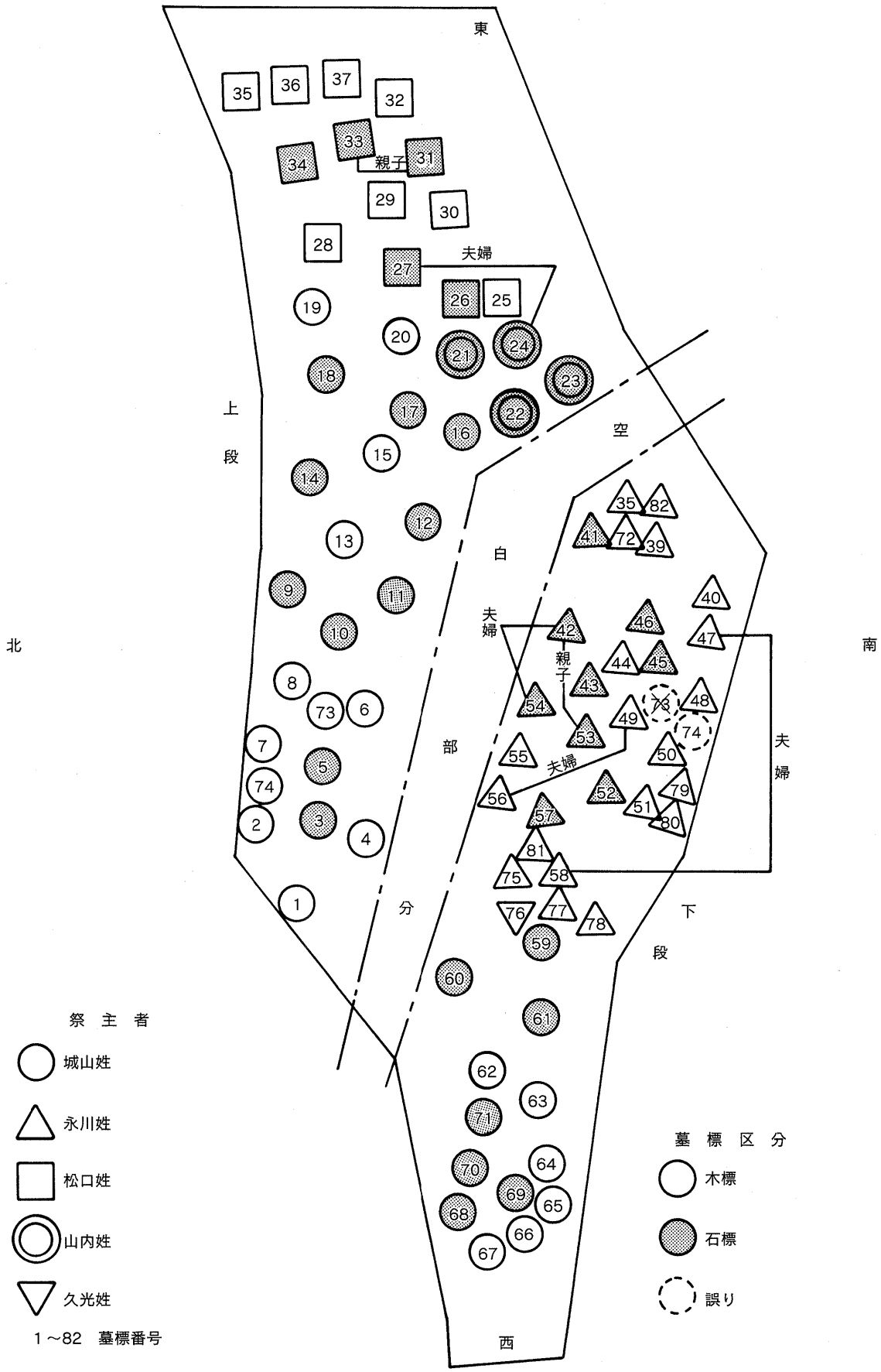
第１号
所在地　　筑前国御笠郡原田村40番地　　字合ノ原
面　積　　２畝12歩
持　主　　城山正郎　　とある。

『墓籍地図』（第37図）は、標記文字とは向きを異にして、長さ56.7cm、最大幅21.3cmの枠で墓域を図示している。西を表記し、墓標および墓標番号は全て西に向けて表現されている。墓標の配置を概観すると、中央に空白部分があり、その形状と位置は第６図の上下段境の段傾斜部分に対応することがわかる。墓標番号１－４－12－23を結んだ北から東側が上段、西から南側が下段である。

図示された墓標は８４基を数えるが、『墓籍』より１基多い。これは、墓標番号７３・７４番が上下段２箇所に重複して図示されて２基多く、また最終番号８３番が地図上に図示されずに１基少ないために、結果１基多く図示されている。７３番は下段を訂正して上段に残しているが、７４番は上下段２箇所に図示したままで訂正していない。７３番例と祭主の関係から、７４番は上段の方が正しいと考える。図示していない８３番を、下段の７３・７４番のいずれかとも考えたが、同姓の祭主の墓は上段にあり、断定できない。



第37図　原田第１号墓地 『墓籍地図』（原図のS=1/3）



第38図　原田第１号墓地 『墓籍地図』祭主別墓標分布図

第１表　原田第１号墓地『墓籍』記載内容一覧表

	西　暦	死亡年月日	被葬者氏名・関係	備　　考	祭　　主	坪　　数	墓標	墓石	墓壙
江戸前期	１６６２	寛文 2	山内清		城山正郎	２尺４方	２㊍		
		2. 3.15	山内種則	神官（初代）、信夫の子	同人	２尺４方	66㊍		
	１６６４	4. 8.10	山内則重	筑紫氏より山内氏に改姓	同人	２尺４方	64㊍		
	１６９８	元禄11.11. 3			同人	４尺４方	69㊊		
江戸中期	１７０９	宝永 6. 5.22			同人	４尺４方	70㊊		
	１７２５	享保10. 9. 8			永川與平	２尺４方	55㊍		
	１７２８	13. 6.21			城山正郎	４尺４方	71㊊		
	１７３３	18. 5.29	永川善九郎 ┐夫婦		永川與平	２尺４方	49㊍		
		18. 7.29	永川善九郎妻 ┘		同人	２尺４方	56㊍		
	１７３５	20. 9.29	永川セン		同人	２尺４方	45㊊		
	１７４０	元文 5. 3.19			城山正郎	２尺４方	68㊊		
	１７５０	寛延 3. 5.20	山内作兵衛		同人	２尺４方	67㊍		
	１７５３	宝暦 3. 8.16			同人	２尺４方	60㊊		
		3. 8.26			同人	２尺４方	59㊊	34	
	１７６７	明和 4. 6.27	永川善六	明和4.6.17	永川與平	２尺４方	57㊊	37	
	１７６８	5. 4.22	永川利助母 ┐		同人	２尺４方	53㊊	38	
	１７６９	6. 7. 6	永川利助妻 ┐夫婦	明和6.7.20	同人	２尺４方	54㊊	29	
	１７７０	7. 4.25	山内種次 ┐	神官（2代）	城山正郎		１㊍		
	１７７２	安永 1.	山内大和 ┐親子				５㊊		
	１７８０		山内種久 ┘				６㊍		
	１７８２	天明 2. 5.13	久保喜七 ┐		城山正郎	３尺４方	10㊊		
		2. 6.27	永川ツマ ┘		永川與平	２尺４方	46㊊	42	
	１７８４	4. 3.21		天明4.正.21	同人	２尺４方	43㊊	41	
	１７８８	8. 3.10	永川利助 ┘	天明8.3.19	同人	２尺４方	42㊊	28	
	１７９２	寛政 4. 7. 9			同人	２尺４方	41㊊	40	
	１７９５	7.10. 8	山内種定		城山正郎	２尺４方	4㊍		
	１８０４	文化 1. 1.25	山内國丸		同人	３尺４方	13㊍		
		1. 2.15	松口文右エ門		松口菊次郎	２尺４方	32㊍		
	１８０７	4.12. 6	山内イソ		城山正郎	２尺４方	8㊍		
	１８０８	5.10. 2	松口文吉		松口菊次郎	２尺４方	29㊍		
	１８０９	6. 9. 3	山内幸蔵		城山正郎	２尺４方	16㊊		
	１８１３	10. 9.10	山内種信	神官（4代）	同人	２尺４方	18㊊		
	１８１４	11. 3.14	永川利作		永川與平	３尺４方	52㊊	39	
	１８１６	13. 6. 6	永川為次		同人	２尺４方	50㊍		
		13.12.27	山内種常		城山正郎	３尺４方	11㊊		
江戸後期	１８１９	文政 2.12.20	山内卯吉次	山内卯喜次	山内梅太郎	２尺４方	21㊊		
	１８２０	3. 8. 1	山内種敏		城山正郎	２尺４方	20㊍		
	１８２１	4. 8. 7	松口乙吉		松口菊次郎	２尺４方	25㊍		
	１８２６	9.10.15	山内□（幼力）郎		城山正郎	２尺４方	15㊍		
	１８３２	天保 3. 5.25	松口タカ		松口菊次郎	２尺４方	30㊍		
	１８３６	7. 6. 9	山内種房		城山正郎	３尺４方	19㊍		
	１８３９	10. 7. 5	山内武平 ┐	山内武平妻	松口菊次郎	２尺４方	27㊊	5	24
	１８４２	13.10.22	山内真津 ┐		城山正郎	２尺４方	17㊊		
	１８４３	14. 7.11	永川善六 ┐夫婦		永川與平	２尺４方	51㊍		
		14. 8.13	松口瀧次 ┘		松口菊次郎	２尺４方	28㊍		
	１８４４	15. 6. 5	永川弥吉妻 ┐	永川ルイ（與□妻）	永川與平	２尺４方	47㊍	43	
	１８４７	弘化 4. 3.15	山内種次 ┐	神官（5代）	城山正郎	３尺４方	14㊊		
	１８５０	嘉永 3. 3.22	山内武平妻 ┘	山平武平妻	山内梅次郎	２尺４方	24㊊	3	40
		3.10.22	松口和助後妻		松口菊次郎	２尺４方	34㊊	9	㉝
	１８５２	5.10.10	山内ウメ	卯喜次妻うめ	山内梅太郎	２尺４方	22㊊	2	41
	１８５７	安政 4.10.15	松口ヒサ		松口菊次郎	２尺４方	36㊍		
		4.12. 8	松口和蔵 ┐		同人	２尺４方	33㊊	8	㉗
	１８５８	5. 5.21	山内不義 ┐		城山正郎	３尺４方	9㊊		
	１８６５	元治 2. 4.19	永川與平妻 ┐夫婦	永川ツヤ	永川與平	２尺４方	48㊍	33	
		慶応 1. 8. 2	山内サイ ┘親子		城山正郎	３尺４方	12㊊		
	１８６６	2. 2. 9	山内登郎	慶応2.2.29　山内登良	山内梅太郎	２尺４方	23㊊	1	㉓
	１８６７	3. 9.29	松口和蔵長女		松口菊次郎	２尺４方	31㊊	7	31
明治	１８７４	明治 7. 1.28	山内生		城山正郎	２尺４方	7㊍		
	１８７７	10. 4. 6	永川竹次郎	明治10.4.7　永川升次郎	永川與平	２尺４方	40㊍	46	
	１８８１	14. 7.23	城山正興	神官（6代）	城山正郎	５尺４方	3㊊		
	１８８５	18. 2.19	松口ウメ		松口菊次郎	２尺４方	35㊍		
		18.11.18	松口曽平		同人	２尺４方	37㊍		
	１８８７	20. 1. 7	永川キン ┐	武六妻きん	永川武助	２尺４方	39㊍	44	
		20. 3. 9	永川弥吉 ┘		永川武六	２尺４方	58㊍	22	
	１８８９	22.10.18	永川ツヤ	武六次女、明治22.10.6	同人	４尺４方	72㊍	45	
	１８９２	25. 8.21	城山正郎		城山正憲	４尺４方	73		
	１８９６	29. 3. 2	城山ユヒ		同人	４尺４方	74		
		29.11.20	永川與平	明治29.10.26	永川與三郎	４尺４方	75㊍	36	
	１８９７	30. 2.13	久光ツナ	明治30.正.12　永川ツナ	久光英夫	４尺４方	76㊍	19	
	１９００	33. 3.15	永川イワ	明治33.2.16　永川岩武六後妻	永川武六	３尺４方	78㊍	18	
		33. 4.13	永川トリ	大正6.6.16	同人	３尺４方	77㊍	23	
	１９０２	35. 3. 6	永川末松	明治35.5.6	永川弥八	３尺４方	80㊍	23	
		35. 3.25	永川定		永川馬吉	３尺４方	79㊍		
	１９０５	38.10.24	永川弥八		永川清八	３尺４方	81㊍	23	
	１９０６	39. 5. 3	永川武六		永川仙太郎	３尺４方	82㊍		
大正	１９１８	大正 7. 1. 6	山内ノブ		山内幾次郎	３尺４方	83㊍		
	１８３９	天保16. 9.29	山内文右エ門	天保10.9.29　山内文衛門	松口菊次郎	２尺４方	26㊊	4	
		不　明	不　詳		永川興平	２尺４方	38㊍		
		不　詳	不　詳		同人	２尺４方	44㊍		
		不　詳	不　詳		城山正郎	２尺４方	61㊊		
		不　詳	不　詳		同人	２尺４方	62㊍		
		不　詳	不　詳		同人	２尺４方	63㊍		
		不　詳	山内信夫	山内則重の娘　山内種則の母	同人	２尺４方	65㊍		
		安永	山内大和			２尺４方	５㊊		
		安永	山内種久			２尺４方	６㊍		
				1839.天保10.11.30　帆足半右エ門				6	30
				1899.明治32.3.5　永川登里				21	⑤

夫婦？

図示された墓標８４基は、上段に３９基、下段に４５基である。またその種類は、上段が木標２０基・石標１９基で、下段が木標２９基・石標１６基であり、両段とも木標が多い。

『墓籍』には８３番までの墓籍内容が記載されている。１～７１番は作成時のもので死亡年月日は順不同であり、墓標の内訳は木標３６基、石標３５基である。残り１２基は順次追記のものであり、すべて木標である。この中には、死亡年月日不詳（明）のもの６基と、死者姓名不詳のもの５名がある。また、死者姓名の表現から４組の夫婦と２組の親子関係が把握できる。墓地の祭主（者）としては14名が記載されており、性別では永川姓８名・山内姓２名・城山（きのやま）姓２名・松口姓１名・久光（ひさみつ）姓１名である。

記載された内容を整理し、死亡年月日の古い順に並べたものが第１表である。

寛文２（1662）年死亡の山内清（墓標番号２）から、大正７年１月６日死亡の山内ノブまでの83名の墓籍である。

死亡年月日不詳の墓標６基のうち、墓標番号65の死者山内信夫は山内則重（墓標番号64）の娘であり、また、山内種則（墓標番号66）の母であることがわかっており（註１）、信夫の死亡時期は則重・種則の死亡年を前後する17世紀代と考える。

また、死者姓名の中には、筑紫神社の神官を勤めた初代山内種則・２代山内種次・４代山内種信・５代山内種次・６代城山正興の５名が含まれている。

祭主の状況は、城山家・永川家が大半を占め、17世紀代(江戸時代前期)は城山家だけが、18世紀代（中期）は城山家と永川家の両家が祭主を務めている。19世紀代（後期～明治時代初期）には城山・永川両家に加えて、松口家・山内家・久光家も祭主を務めている。

『墓籍地図』の墓標を祭主者の姓別に区分した図が第38図である。これを概観すると、姓別(家)ごとで祭主する墓にまとまりがあることがわかる。３５基と最も多い城山家が祭主する墓は、図面上の上段西側２２基と下段西側１３基の2箇所にまとまっている。次に２９基と多い永川家が祭主する墓は下段東側１箇所にまとまっている。江戸時代中期の墓の祭主となった松口家の墓は上段東側１箇所に１９基まとまっている。この松口家の祭主の墓の時期と配置の状況から、本墓地は江戸時代中期に入ってから東側に新たに拡張されていったことがうかがえる。山内家祭主の墓地は４基と少ないが、城山家祭主の墓の死者姓名の大半が山内姓であることと考え合わせると、城山家上段墓地の延長上として理解できる。久光家祭主の墓地１基も調査した墓石には「永川」と改正されており、永川家の系統として含まれる。

しかし、天保10年銘の第６号墓石（第12図）は確実に第３０号墓壙の地上に建っていた石標であり（第６図）、墓碑銘も明確に判読できる切石であることから、『墓籍』作成時に見逃したとは考えにくい。ただし、この第６号墓石が『墓籍』完成以降に木標から石標に変わったものであるとしたら『墓籍』の死者姓名・死亡年月日不詳の木標に比定できるが、該当する４基の木標はいずれも下段に位置しており上段の第６号墓石とは位置的に異なる。また、『墓籍』完成以降の他墓地からの移動・建立の可能性があるが、地下の墓壙との位置関係が一応成立しており考えにくい。最後に、第６号墓石の死者姓名は帆足姓であり、他の死者姓名および祭主者姓名には一人としていない姓名であり、第６号墓石と『墓籍』との関係はこれ以上説明できない。

墓標番号２６の死亡年「天保十六年」は誤りである。死亡月日と死者姓名が一致する第４号墓石（第12図）の死亡年から「天保十年」と断定できる。

註１．鷺山智英　「筑紫氏と山内氏・嶋氏」　『小弐氏と宗氏』第２５号　１９９５．７

５．まとめ（第６・39図、第１・２・10・11表）

以上、第１号墓地の墓石・墓壙・その他の遺構および『墓籍地図』・『墓籍』の調査内容を記述した。ここでは、その内容を踏まえ、本墓地について気づいたことを記述する。

① 墓碑銘を有する墓石２９基を調査した。うち２４基が花崗岩の自然石であり、５基は切石である。

② 自然石の墓石は、墓碑面として１面を一段彫り窪めたものと、そうではないものとがある。両者に時期差は認められず、江戸・明治期を通して並存している。

③ 切石の墓石は、後世の寄せ墓である第２３号墓を除いて、個人墓の３基はすべて墓碑面を一段彫り窪めている。最も古いものは、文化11(1814)年銘のものである。

④ 戒名（法名）と本名については、おおよそ江戸期のものは正面に戒名を、側面に本名・続柄を記しているが、明治期のものはすべて正面に本名を記している。なお、戒名を記した最も新しい墓石は、慶應３(1866)年銘の切石である。

⑤ 本名を記したもので最も古いものは天保10(1839)年銘の切石の墓石であるが、同年銘で戒名を記したものもあり、以後江戸末期まで両者が並存している。

⑥ 特に、慶応２(1866)年銘の第１号墓石は、戒名に続けて本名も記しており、戒名から本名への過渡的表現と思える。

⑦ ６４基の遺構を検出・調査した。その内訳は、土葬墓５２基・胞衣容器５基・小土壙５基・蔵骨器２基である。

⑧ 土葬墓の墓壙形態は、正方形５１基・長方形１基である。しかし、改葬のために調査できなかった墓壙を考慮すると、この比率は本墓地全体を示すものではない。

⑨ 方形墓壙の棺形態の内訳は、正方形縦棺２９基・甕棺１２基・不明１０基である。

⑩ 本墓地の使用開始時期については、調査墓石で最も古いものは宝暦３(1753)年であるが、『墓籍』では寛文２(1662)年まで遡ることができる。

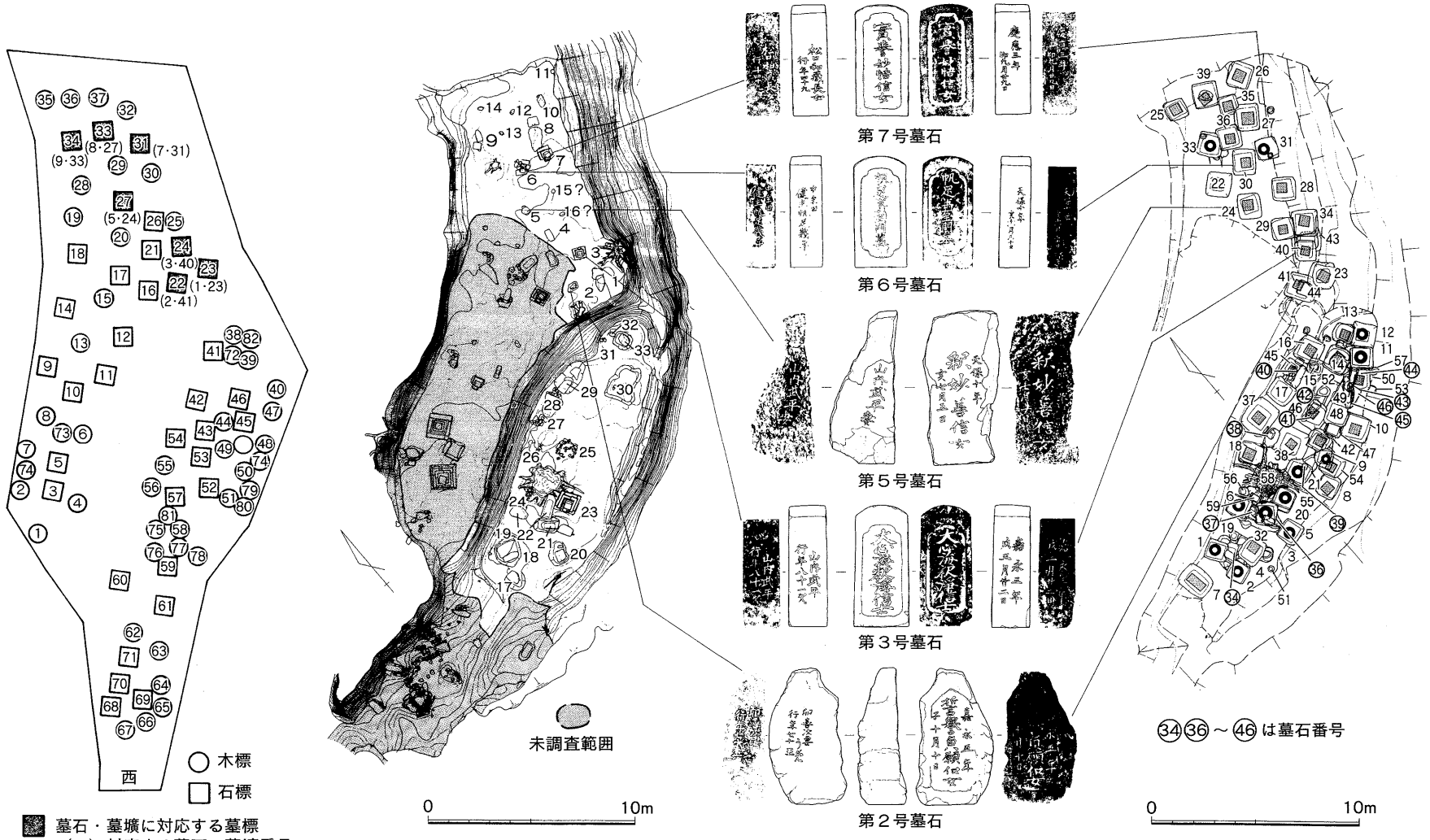
次に、墓石・墓壙・『墓籍地図』・『墓籍』の個別的な調査内容を相互あるいは全体的な対比を試みたものが、第６・39図と第１・２表である。先ず、墓石と墓壙の配置を重ねた第６図から、原位置をとどめて建っていた墓石と、倒れていながらもその出土状況と基礎石との位置関係から原位置がほぼ確実に推定できる墓石の墓碑銘から、地下の墓壙の被葬者の氏名・死亡年月日を知ることができる。もし、墓石の墓碑銘が戒名だけで本名が不明の場合は、『墓籍』から本名を知ることもできる。

これを整理したのが、第２表である。

⑪ 『墓籍』に記載された石標３５基に対し、調査で出土した墓碑銘のある墓石２９基のうちの１７基が同一石標（墓石）と認定できた。また、『墓籍』作成時木標であった墓標が後世に石標に変わったものが１２基確認できた。

⑫ 原位置が確実な墓石５基（第２・３・５～７号墓石）とほぼ確実な墓石４基（第１・８・９・２１号墓石）の計９基が地下の墓壙と結びつき、この９基の墓壙（第５・２３・２４・２７・３０・３１・３３・４０・４１号墓）の被葬者の氏名と死亡年月日が判明した。

⑬ 第２表の墓石の年号と墓壙の棺形態との対比から、座棺は正方形縦棺から甕棺に漸次的に移り変わっている感があり、その時期は寛永から慶応にかけての１９世紀第Ⅲ四半期頃



墓籍地図（略S＝1/300）

墓石現況測量図（S＝1/300）

墓石実測図（S＝1/30）

墓壙配置図（S＝1/300）

第39図　原田第１号墓地　墓石・墓壙・『墓籍地図』対比図

と考える。

⑭　調査した墓石から、『墓籍』の記載内容―特に死亡年月日と死者姓名の表現―２０箇所に誤りが判明し、第１表の備考欄に訂正した。

⑮　墓石から新たに、５組の夫婦と１組の親子関係が確認できた（第１表）。

最後に、先述した、原位置が（ほぼ）確実な墓石とそれと重なる墓壙を基準として、『墓籍地図』と対比させる作業を試みたが（第39図）、各墓壙と『墓籍』とを結びつけるまでは至らなかった。

第２表　原田第１号墓地墓石・墓壙・『墓籍』対比表　　（○番号は推定）

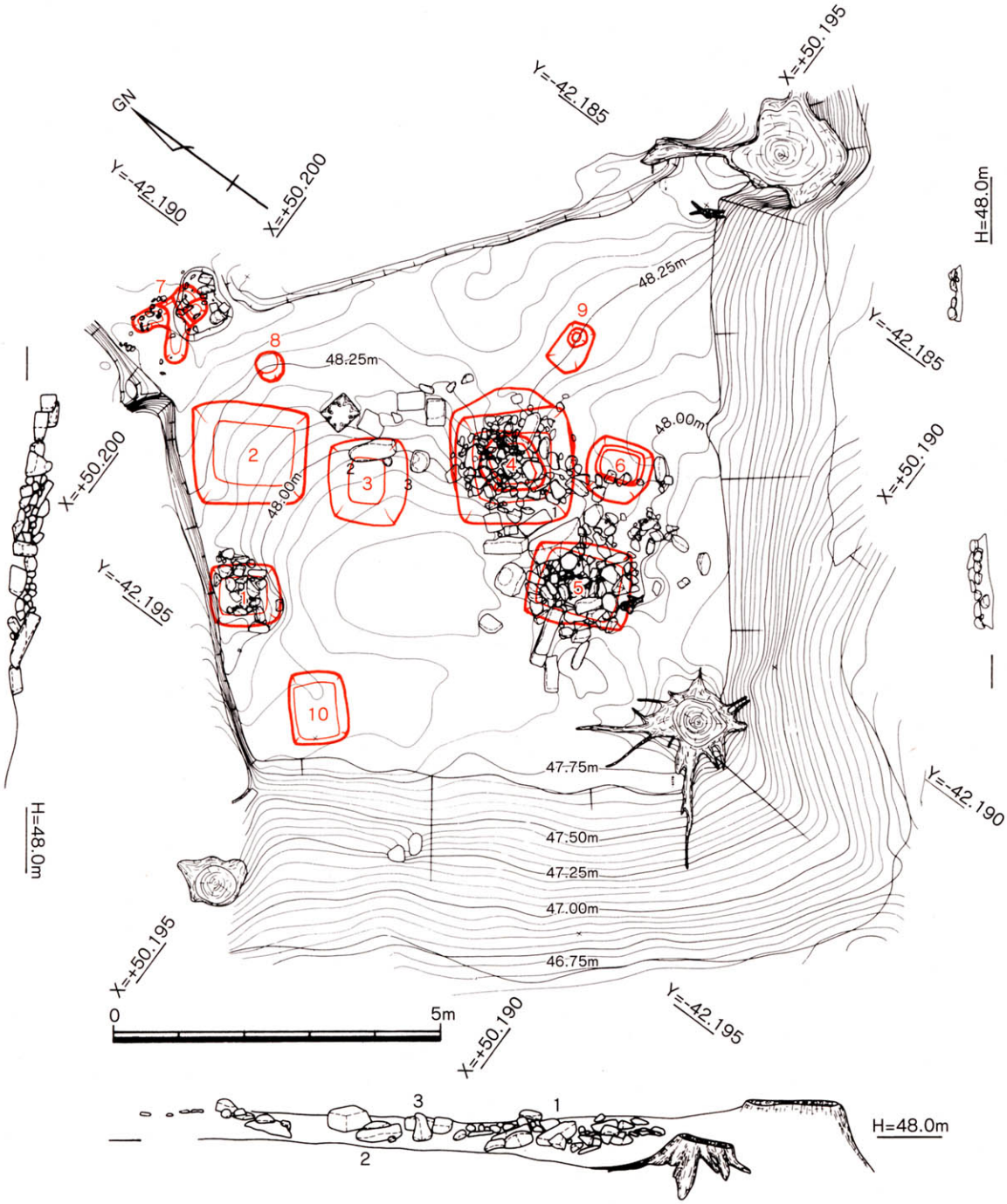
墓石			墓壙				『墓籍』	
番号	死亡年月日	戒名	番号	墓壙	棺	人骨	番号	死者姓名
34	宝暦 3. 8.26	釈屋宗□					59	不詳
37	明和 4. 6.17	釈浄龍霊					57	永川善六
38	明和 5. 4.22	釈妙蓮尼					53	永川利助母
29	明和 6. 7.20	釋妙令信尼					54	永川利助妻
42	天明 2. 6.27	釈妙綜信女					46	永川ツマ
41	天明 4. 1.21	釈知順信士					43	不詳
28	天明 8. 3.19	法號釋教仙霊					42	永川利助
40	寛政 4. 7. 9	釈妙春信女					41	不詳
39	文化11. 3.14	釋西善信士					52	永川利作
5	天保10. 7. 5	釈妙善信女	24	方形	正方形縦棺	○	27	山内武平妻
4	天保10. 9.29	釈香譲灵					26	山内文右エ門(文衛門)
6	天保10.11.30	帆足半右エ門墓	30	方形	正方形縦棺	○		
43	天保15. 6. 5	永川ルイ墓					㊼	永川弥吉妻
3	嘉永 3. 3.22	大心海釈浄信士	40	方形	正方形縦棺	○	24	山内武平妻
9	嘉永 3.10.22	照誉貞眞善女	㉝	方形	甕棺	○	34	松口和助後妻
2	嘉永 5.10.10	誓譽負願信女	41	方形	正方形縦棺	○	22	山内ウメ
8	安政 4.12. 8	松口和蔵墓	㉗	方形	正方形縦棺	○	33	松口和蔵
33	元治 2. 4.19	永川ツヤ墓					㊽	永川與平妻
1	慶應 2. 2.29	戒室負法山内登良	㉓	方形	正方形縦棺	○	23	山内登郎
7	慶應 3. 9.29	實譽妙悟信女	31	方形	甕棺	○	31	松口和蔵長女
46	明治10. 4. 7	永川什次郎之墓					㊵	永川竹次郎
44	明治20. 1. 7	永川きん之墓					㊴	永川キン
22	明治20. 3. 9	永川弥吉之墓					㊽	永川弥吉
45	明治22.10. 6	永川ツヤ之墓					㊷	永川ツヤ
36	明治29.10.26	永川兵平墓					㊺	永川與平
19	明治30. 1.12	永川ツナ之墓					㊻	久光ツナ
21	明治32. 3. 5	永川□里之墓	⑤	方形	甕棺	○		
18	明治33. 2.16	永川岩之墓					㊽	永川イワ
23	明治35. 5. 6	釈華頂童子					㊿	永川末松
〃	明治38.10.24	皈眞釈現信士					㊶	永川弥八
〃	大正 6. 6.16	釈妙珠信女					㊼	永川トリ
〃	大正 7. 1.27	釈妙諦信女						

第２節　原田第２号墓地の調査

原田第２号墓地（以下「第２号墓地」という）は、旧遺跡名原田遺跡第41地点BH42と仮称していた遺跡であり、平成１年２月から平成２年12月にかけて調査した。

第２号墓地は、第１号墓地同様、事業地の北東端（第１図）、筑紫神社の南東側（第２図）に位置し、旧小字合ノ原にあたる。筑紫神社が立地する丘陵から南東へ延びた低丘陵のほぼ中央、標高48.0m前後に立地する。墓域は略方形を呈し、現況で北西辺6.5m・北東辺9.0m・南東辺9.5m・南西辺7.5mを測る。南東辺と南西辺は周辺より1mほど高く、区画されている（第40図）。

既に過去に改葬されており、事業に伴う改葬はなく、全面調査することができた。



第40図　原田第２号墓地　墓石現況測量図（S=１/100）

１．墓石の調査（第40～42図、図版31・32）

第２号墓地では、２基の墓石と１体の石仏が出土した。墓石は２基とも倒れており、石仏は北西向きに座していた。墓域の中央から南角にかけての２箇所と北西辺中央１箇所に基壇跡と思われる集石が残っていた。

第１号墓石（第40～42図、図版32－①～④）

中央やや南東寄りに位置する。正面を北側に頭部を東側にして横倒しの状態で出土した。花崗岩（早良）の平石であり、長さ94.4cm・幅53.4cm・厚さ21.0cmを測る。本石の北側と南側に基壇と考える集石がある。第５号墓の北角の地上に位置し、基壇の集石との関係から第５号墓の墓石と考えられるが、墓碑銘には男女（夫婦？）の戒名があり、第５号墓だけの墓石とすることはできない。

墓碑銘は1面のみで、正面上位に内径35cmの月輪が沈線で描かれているが、内側は不明である。

右側に	中央に	左側に
寛文十二天	心誉淨安信士	十月十五日
	覚	
	久月壽求信女	とある。

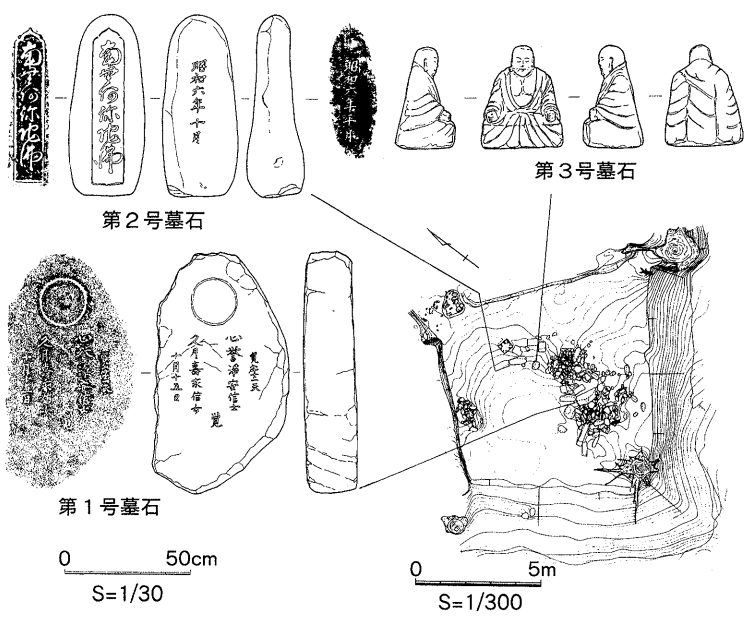
第２号墓石（第40～42図、図版32－①）

中央北寄りに位置する。頭部を北西側に正面を下にして横倒しの状態で出土した。断面楕円形を呈した玄武岩であり、長さ71.0cm・幅30.4cm・厚さ22.4cmを測る。第３号墓の墓壙の北東辺の地上に位置するが、本石の帰属は不明である。

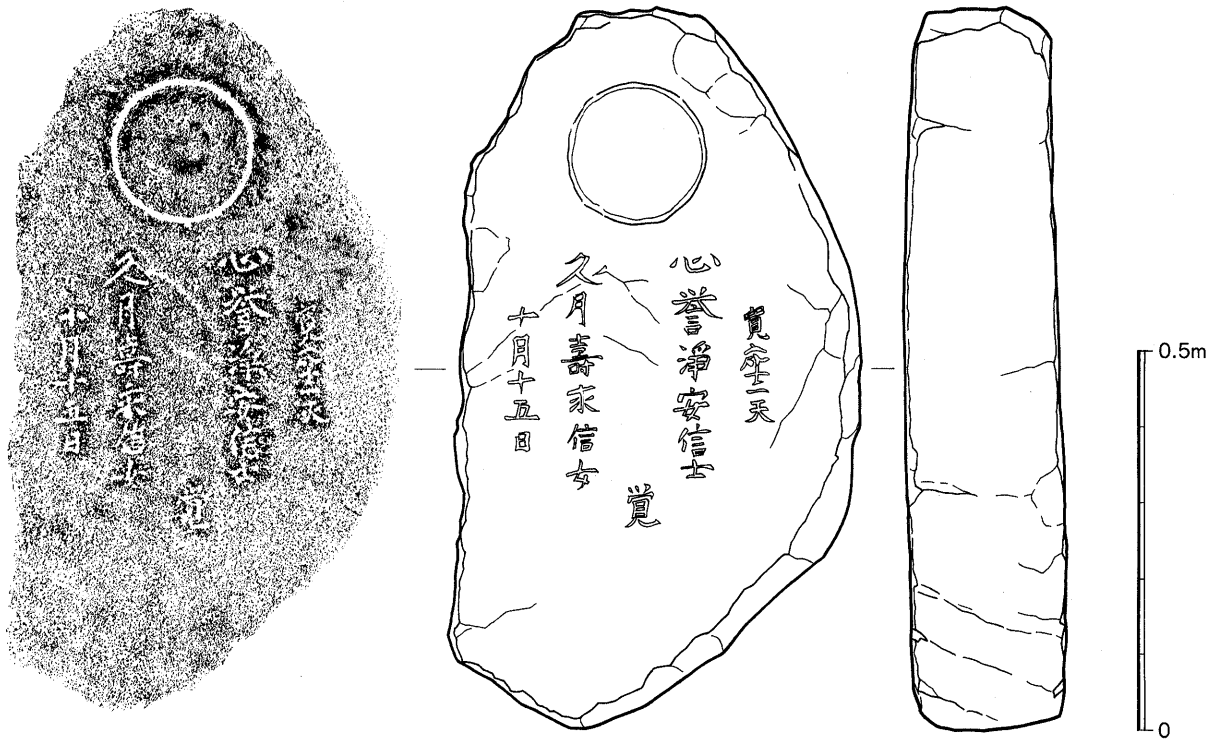
墓碑銘は、一段彫り窪めた正面に　南無阿弥陀佛　裏面に　昭和六年十月　とある。

第３号墓石（第40～42図、図版32－①）

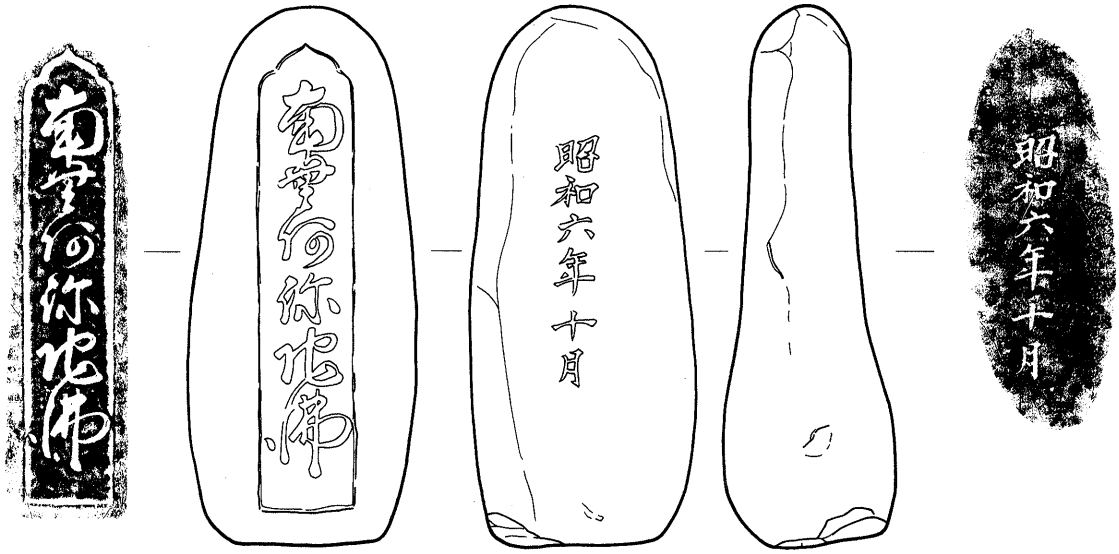
中央北寄り、第2号墓石の南東側に位置する。花崗岩（佐賀）の石仏であり、高さ40.2cm・幅32.2cm・厚さ23.6cmを測る。周辺に基礎石らしき方形の石が４石散乱しているが、本石仏は北西向きに地面に座していた。



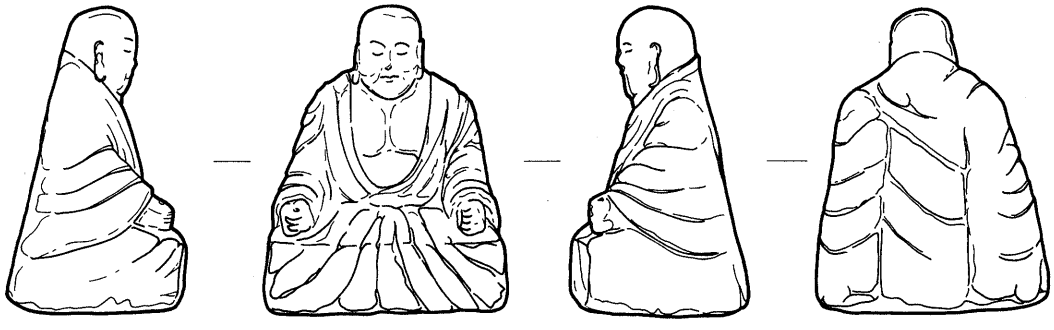
第41図　原田第２号墓地　墓石対比図（S=1/30・1/300）



第１号墓石
（墓標－１石）



第２号墓石



第３号墓石

第42図　原田第２号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=1/10）

２．墓壙の調査（第43～45図、図版31～36）

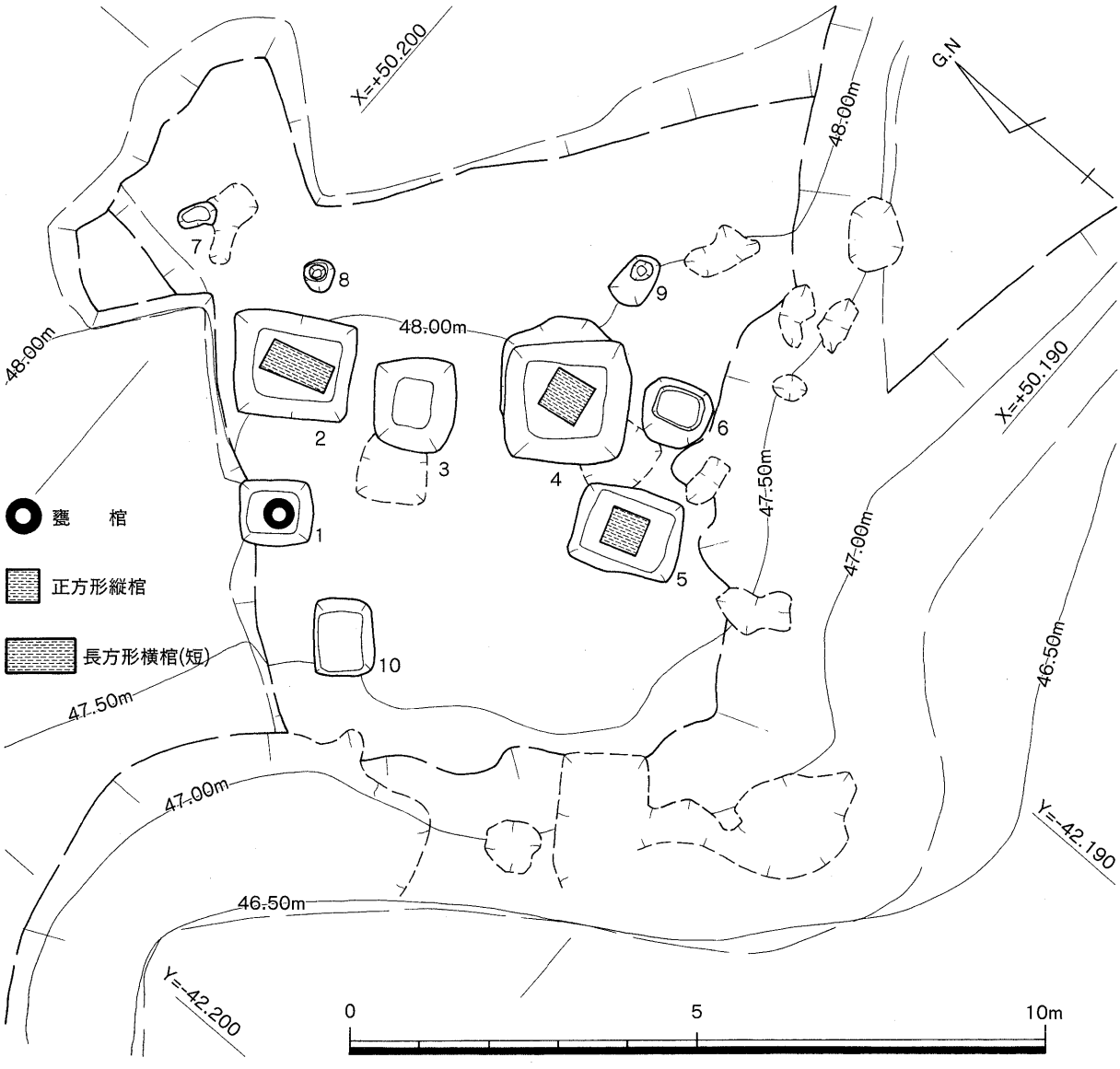
第２号墓地の遺構は、撹乱を除いて、他と重複することなく単独で１０基の遺構を検出した。ただし、土葬の墓壙としては疑わしいもの３基にも墓壙番号を付しているが、これについては「その他の遺構」として後述する。

第１号墓（第43・44図、図版32－⑤⑥、33－①②）

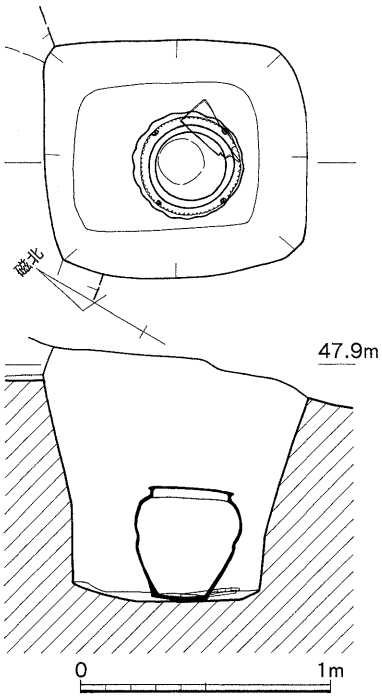
墓域北西辺、中央に位置する。地上に基壇と考える集石がある。墓壙は方形を呈し、上面106×95cm・底面74×59cm・深さ101cmを測る。棺は胴径43cmの甕棺である。棺内から銭６、棺外から羽子板１が出土した。人骨が出土したが、葬位は不明である。

第２号墓（第43・44図、図版33－③～⑥）

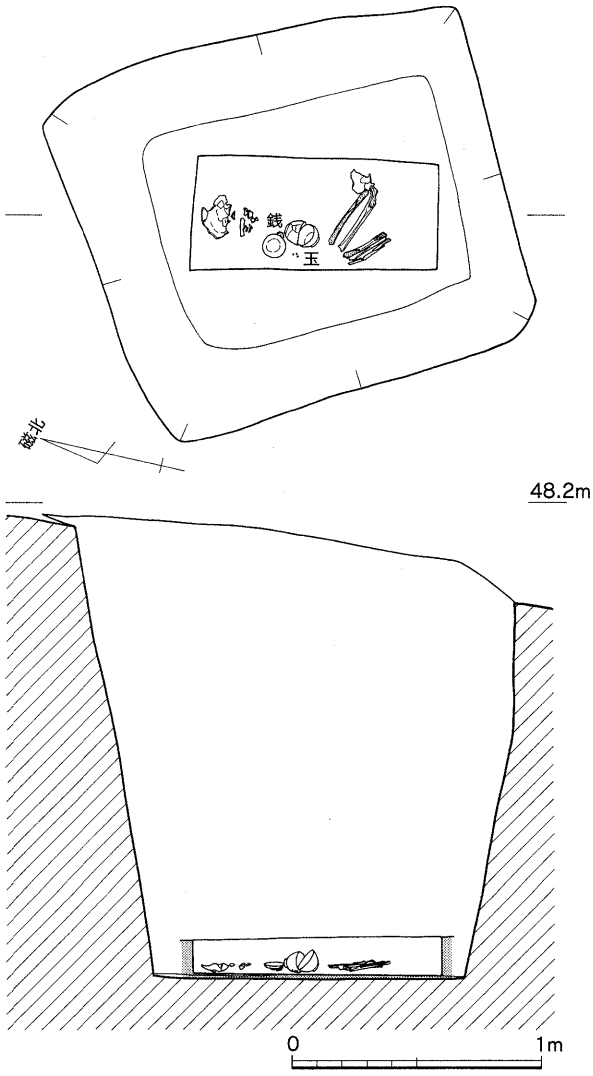
墓域北西辺、北側に位置する。墓壙は方形に近い長方形を呈し、上面166×148cm・底面120×90cm・深さ84cmを測る。棺は100×45cmを測る短い長方形横棺である。棺の主軸は墓壙とは異



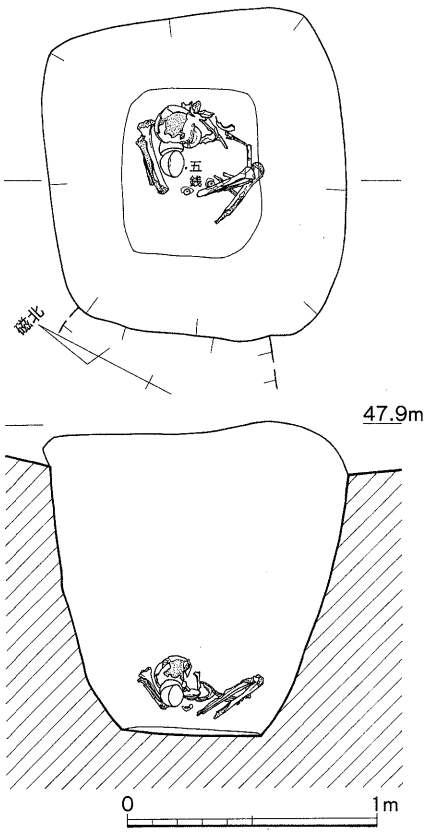
第43図　原田第２号墓地　遺構配置図（S=１/100）



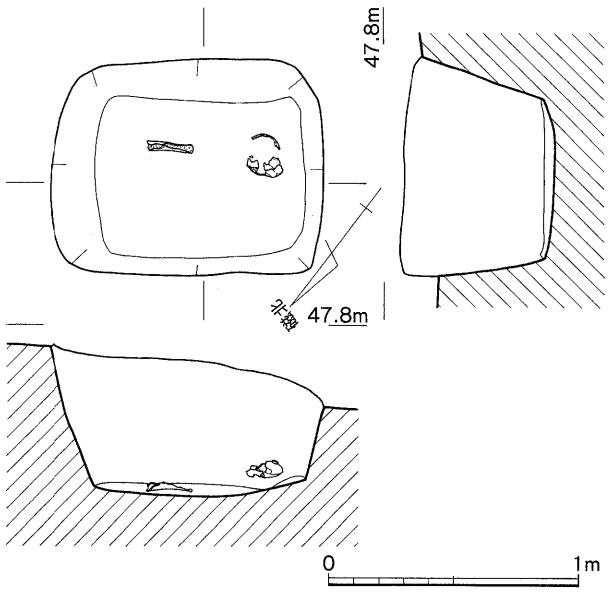
第１号墓



第２号墓



第３号墓



第10号墓

第44図　原田第２号墓地　第1～3・10号墓実測図 (S=1/30)

なり、N―5°―Wである。棺内には銭６・数珠玉６・磁器碗２・磁器蓋１が副葬されており、墓壙内から土師皿１・鉄釘１が出土した。人骨の残りはあまり良くないが、その出土状態から、葬位は北枕・西向きの右側臥屈葬と考える。

第３号墓（第43・44図、図版34－①②）

墓域中央の北寄り、上面129×119cm・底面67×55cm・深さ125cmを測る。棺は検出できなかったが、人骨がよく残っており、その出土状態から正方形縦棺と考えるが断定できない。人骨の間から、つまり棺内から銭６・数珠玉・磁器碗２・磁器蓋１が出土した。墓壙内から磁器皿１と鉄釘少量が出土した。人骨の出土状態から、葬位は南西向きの立膝座葬である。

第４号墓（第43・45図、図版34－③～⑥）

墓域中央のやや東寄り、第３号墓の南東側に位置する。地上に基壇と考える集石がある。墓壙は方形を呈し、上面177×170cm・底面116×107cm・深さ216cmを測る。底面には径102×92cm・深さ10cmを測る穴が掘られている。棺は65×65cmの正方形縦棺であり、深さ74cmを残す。棺底外には井形に組んだ棺材の痕跡が検出できた。棺の向きは、墓壙の向きとは異なる。棺内には銭６・木製数珠玉15以上・鉄製毛抜き１・漆膜が副葬されており、墓壙内からは多量の鉄釘が出土した。人骨は棺底に横転していたが、葬位は西向きの立膝座葬である。

第５号墓（第43・45図、図版35－①～⑥）

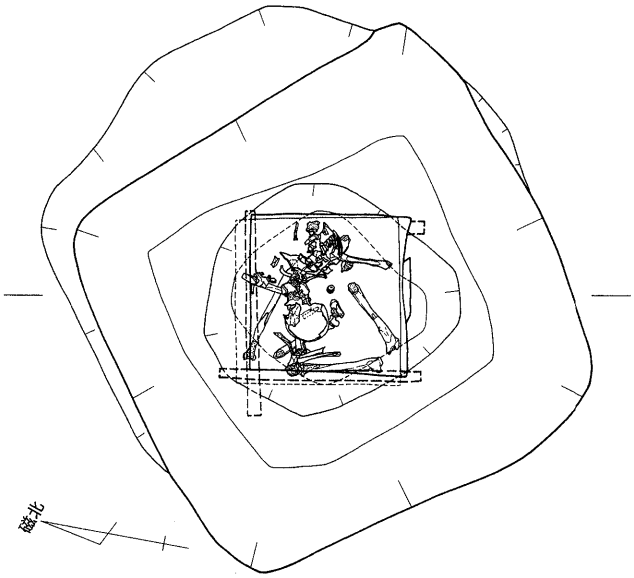
墓域中央、南側に位置する。地上に基壇の集石がある。基壇は一辺130cm程の方形を呈し、中央に37×32cmの方形を呈する平石が置かれている。北東辺には第1号墓石が横転している。墓壙は長方形を呈し、上面155×124cm・底面122×92cm・深さ167cmを測る。棺は61×56cmの正方形縦棺であり、深さ44cmを残す。棺底外には井形に組んだ棺材の痕跡が検出できた。棺内には銭６・磁器碗１・磁器皿１・木製数珠玉10以上が副葬されており、棺外東側には土師皿３が出土した。墓壙内から多量の鉄釘が出土した。人骨の残りはあまり良くないが、出土状態から、葬位は西向きの立膝座葬である。

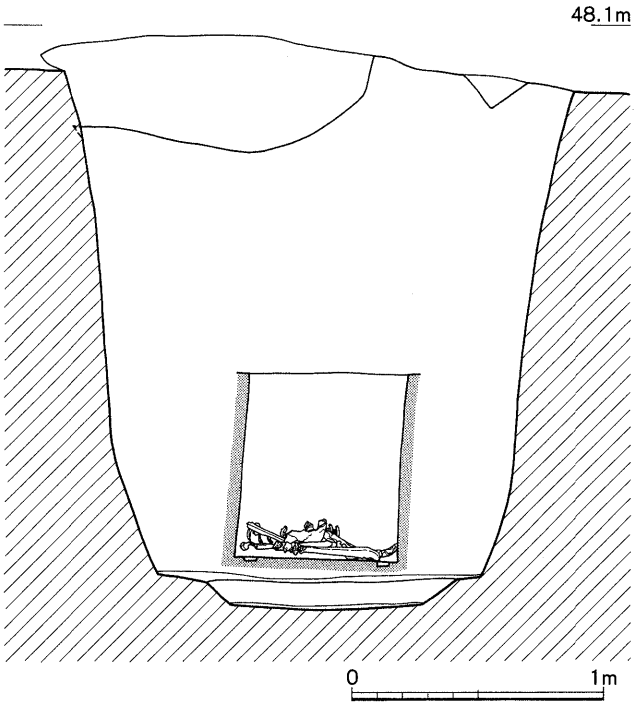
第６号墓（第43・45図、図版36－①②）

墓域南東辺中央、第4号墓の南東側に位置する。地上に基壇に使用されたと思われる石が散乱しているが、まとまりが無く本墓壙に伴うものとは考えにくい。墓壙は長方形を呈し、西側が著しく崩れているが、上面100×93cm・底面60×43cm・深さ42cmを測る。棺は不明で、当初土葬墓であるかどうか疑ったが、墓壙底から銭５が出土したため、土葬墓と認知した。人骨は出土せず、葬位は不明である。

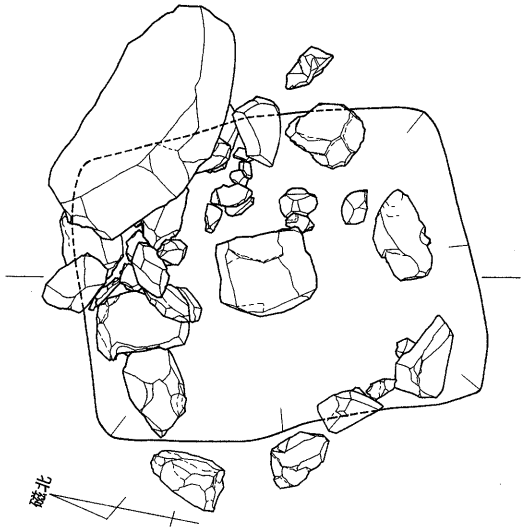
第１０号墓（第43・44図、図版36－⑥）

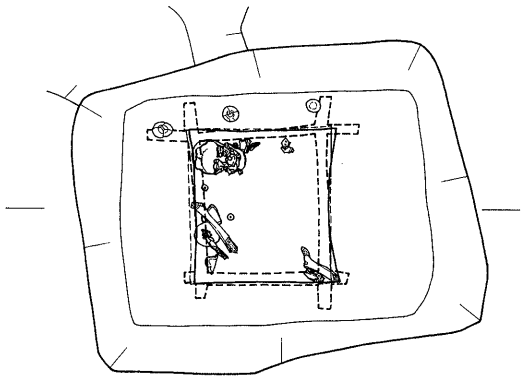
墓域の西角に位置する。墓壙は長方形を呈し、上面109×87cm・底面85×62cm・深さ62cmを測る。棺は不明であり、副葬品も無い。人骨の残りは良くないが、墓壙形態と人骨出土状態から短い長方形横棺の側臥屈葬と考えられるが、断定できない。

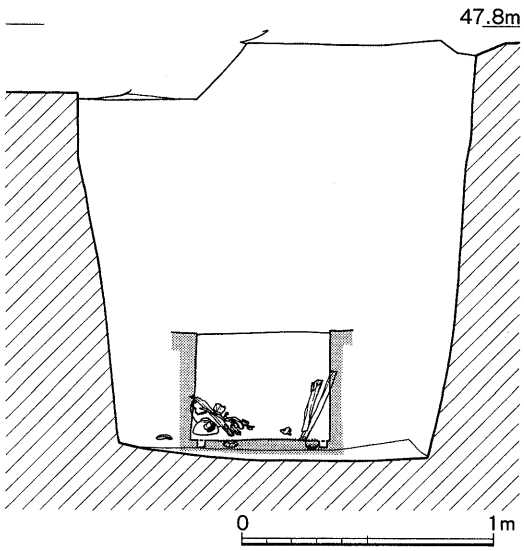




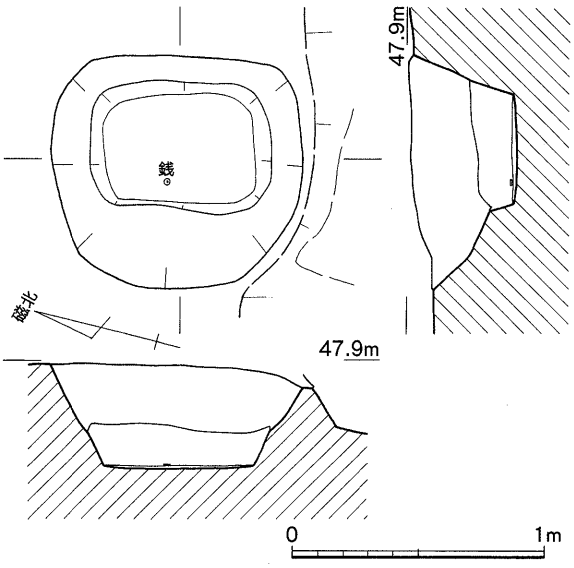
第４号墓





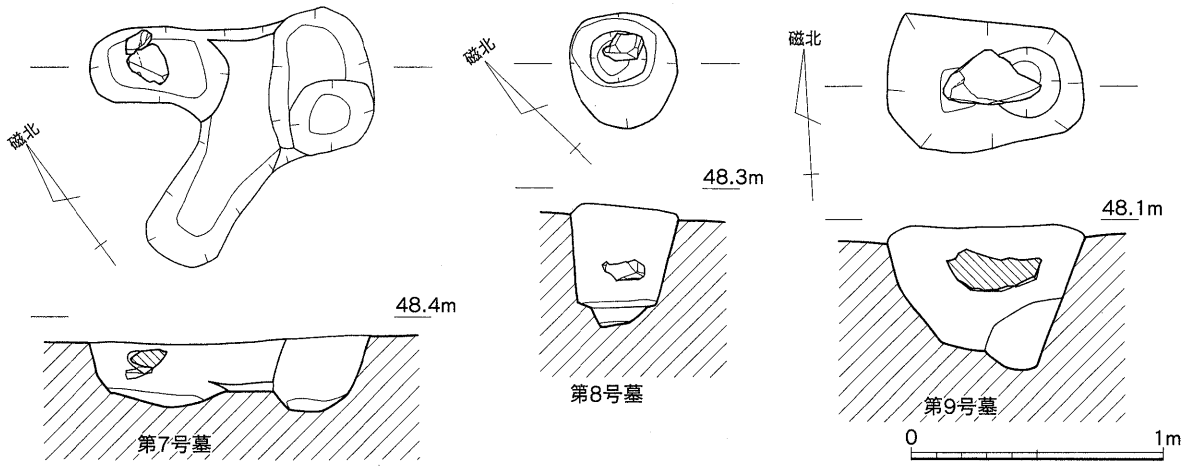


第５号墓



第６号墓

第45図　原田第２号墓地　第4～6号墓実測図 (S=1/30)



第46図　原田第２号墓地　第7～9号墓実測図 (S=1/30)

３．その他の遺構 (第43・46図、図版36)

墓壙番号を付した遺構のうち、土葬墓としては疑わしい小土壙が３基あり、いずれも墓域の北東側付近に位置する。

第７号墓（第43・46図、図版36－③）

墓域の北角に位置する。樹根による撹乱壙と重複している。土壙は略楕円形を呈し、上面55×30cm・底面37×20cm・深さ25cmを測る。土壙内上位から花崗岩２石が出土した。

第８号墓（第43・46図、図版36－④）

墓域の北角寄り、第７号墓の南側に位置する。墓壙は円形を呈し、上面46×43cm・底面34×27cm・深さ41cmを測る。底面には径23×21cm・深さ６～８cmを測る円形の穴が掘られている。土壙内中位から花崗岩１石が出土した。

第９号墓（第43・46図、図版36－⑤）

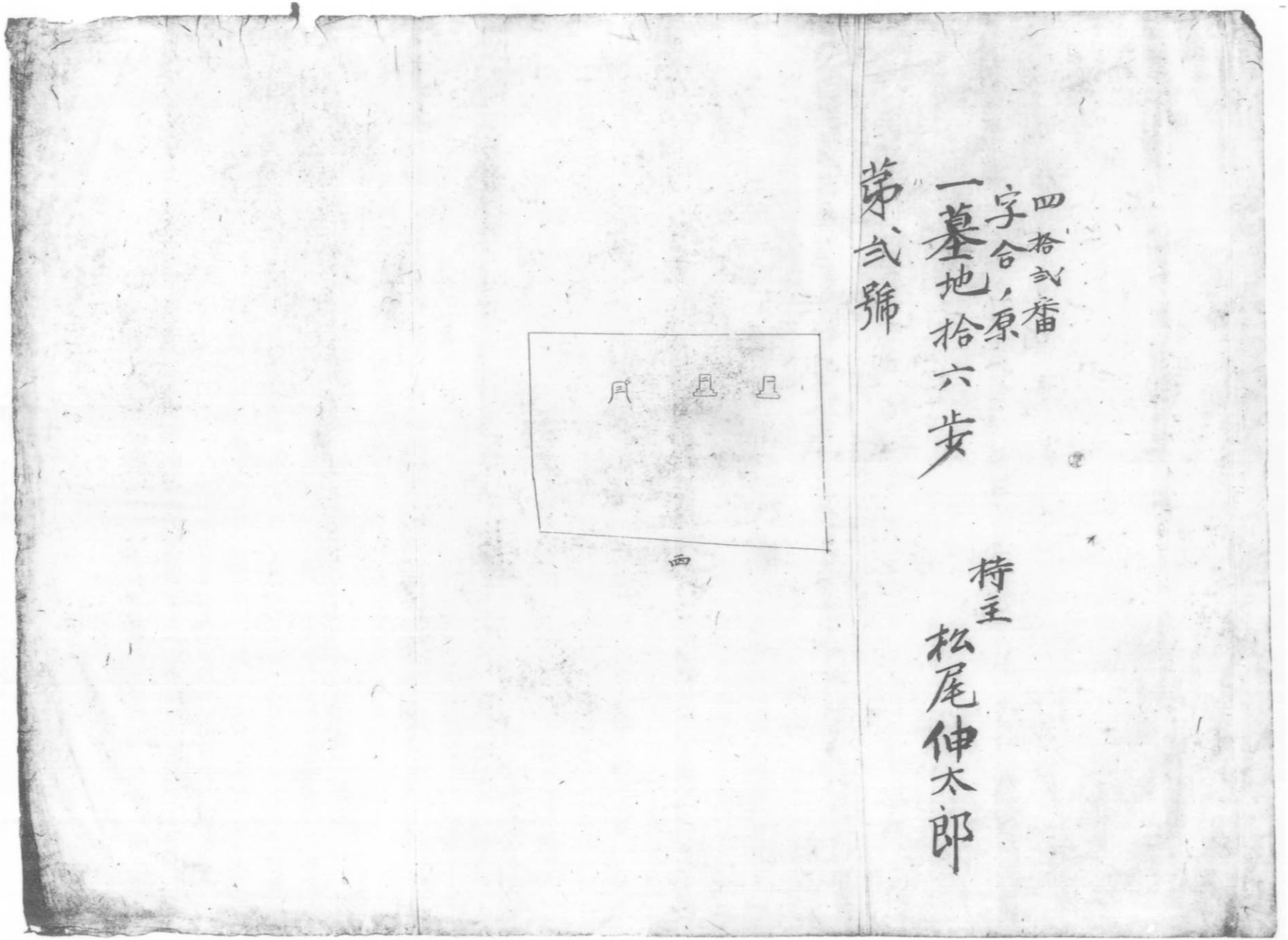
墓域の東角寄り、第４号墓の東側に位置する。墓壙は２段掘りであり、上面は78×51cm・深さ50cmを測る長方形を呈する。東側短辺に径30×27cm・深さ10cmを測る円形の穴が掘られている。土壙上位から花崗岩１石出土した。

４．『墓籍地図』・『墓籍』の調査（第47図、第3表）

『墓籍地図』・『墓籍』のうち、原田第２号墓地の標記には

第２号
所在地　　筑前国御笠郡原田村42番地　　字合ノ原
面　積　　16歩
持　主　　松尾伸太郎　　とある。

『墓籍地図』（第47図）は横位の図であり、手前に西を表記している。墓域は南北に長い長方形



第47図　原田第２号墓地 『墓籍地図』（原図のS=１/３）

第３表　原田第２号墓地『墓籍』記載内容一覧表

	西　暦	死亡年月日	被葬者氏名・関係	備　　考	祭　　主	坪　数	墓標	墓石	墓壙
江戸中期		宝永11. 7. 8	山内弥八妻 ― 夫婦	同一墓石　寛政11.10.15 (1799)	松尾伸太郎	３尺４方	1㊁	1	4･5
		11.10.15	山内弥八 ― 夫婦		同人	３尺４方	1㊁	1	
		不　明	不　詳		松尾伸太郎	３尺４方	2㊁		
		〃	〃		山崎利三	２尺４方	3㊍		
				1931年昭和６年10月				2	
				石仏				3	

を呈し、原図では北辺10.8cm、南辺11.8cm、東辺15.9cm、西辺15.7cmの枠で図示している。墓標および墓標番号はすべて西向きであり、標記文字と同じ向きに表記されている。

３基の墓標が図示され、その内訳は木標１、石標２基である。３基の配置は、墓域東辺寄りに南から北にかけて１・２・3番の順で横一列に並んでいる。遺構配置図（第43図）では北西から南東にかけて並ぶ第２～４・６号墓の列が、『墓籍地図』の列に対応すると考える。

また、『墓籍』の墓標番号１と第１号墓石とは、死亡年月日に違いはあるが、死者姓名の表現と戒名がどちらも男女（＝夫婦）を並記しており、同一の夫婦墓の石標である。

このことから、第１号墓石を基準にしてみると、『墓籍地図』の墓標番号１は遺構配置図の第４号墓に、墓標番号２は第３号墓に、墓標番号３は第２号墓に比定できる。

なお、夫婦墓である第１号墓石が第４・５号墓の間で出土した点と、第４・５号墓には基壇と考える同様の集石が残っていた点から、第４・５号墓の被葬者は夫婦であり、その墓石が第１号墓石であると考える。

夫婦墓について少し詳しくみてみると、第１号墓石の墓碑銘は年号不詳ながら10月15日付けの男女戒名である（第42図）が、『墓籍』の墓標番号１の欄（第３表参照）には

死者姓名欄に　　死亡年月日欄に

山内弥八妻　　宝永十一年七月八日

山内弥八　　宝永十一年十月十五日　　とある。

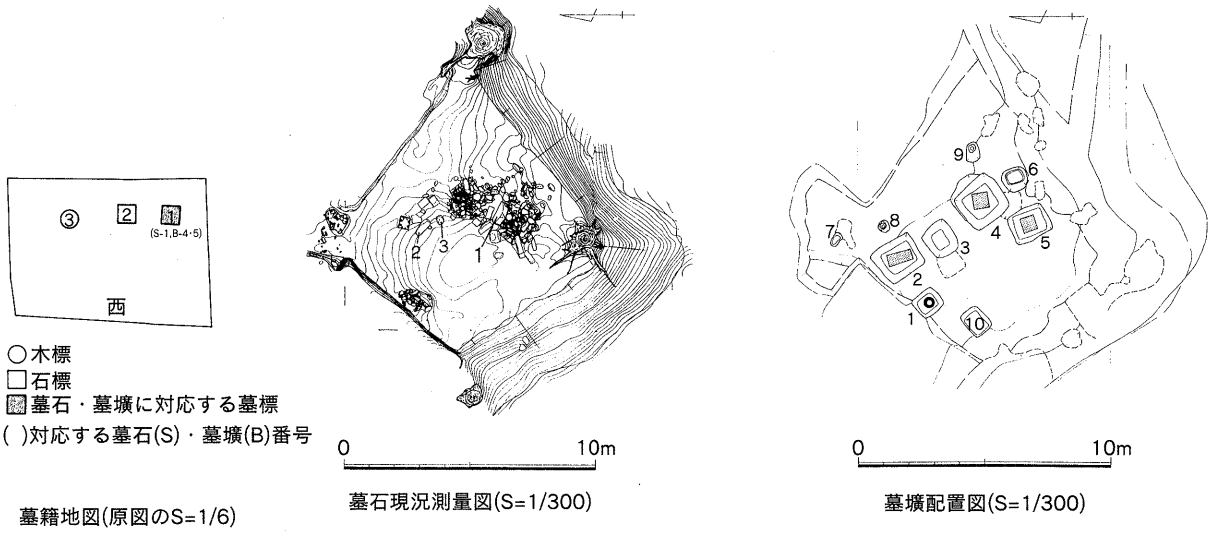
先ず、宝永年間は７年までであり、『墓籍』の記載は誤りである。第１号墓石から寛文年間か寛政年間のいずれかであるが、断定できない。次に、第１号墓石の10月15日は、『墓籍』での山内弥八の死亡月日と同じであり、第１号墓石は、夫の死を機に同年７月に先に亡くなっていた妻の墓標と合わせて、夫婦墓として建立されたものと考える。

祭主は、石標２基を本墓地持主の松尾家が、残りの木標１基を山崎家が務めている。

調査で出土した「昭和６年」銘の第２号墓石は、『墓籍』には記載されていない。

５．まとめ（第40・48図、第３・４・10・11表）

以上、第２号墓地の調査内容を踏まえて、本墓地について気づいたことを記述する。



墓籍地図(原図のS=1/6)　墓石現況測量図(S=1/300)　墓壙配置図(S=1/300)

第48図　原田第２号墓地　墓石・墓壙・『墓籍地図』対比図

① 墓碑銘を有する墓石２基（第1・2号墓石）と石仏１体（第３号墓石）を調査した。

② 第１号墓石は夫婦墓の墓石であり、『墓籍』との比較から、第4・5号墓に対応すると考える。

③ 第２号墓石は昭和６年銘のものであり、『墓籍』に記載は無い。墓碑銘も「南無阿弥陀仏」だけであり、個人墓の墓碑銘とは考えにくい。あるいは、本墓地の改葬時に建立された碑とも考えられる。

④ １０基の遺構を検出・調査した。その内訳は、土葬墓７基・小土壙３基である。

⑤ 本墓地の土葬墓は数少ないが、その墓壙と棺形態の組合せは様々である。特に第５号墓は、長方形の墓壙に正方形縦棺が埋納されており、長方形墓壙と長方形横棺（短）の組合せ（第２号墓）と、正方形墓壙と正方形縦棺の組合せ（第４号墓）との、中間的な組合せである。

第４表　原田第２号墓地墓石・墓壙・『墓籍』対比表　（○番号は推定）

墓石			墓壙				『墓籍』	
番号	死亡年月日	戒名	番号	墓壙	棺	人骨	番号	死者姓名
1	寛政12.10.15	心誉浄安信士	⑤	長方形	正方形縦棺	○	1	山内弥八
〃		久月壽求信女	④	方形	正方形縦棺	○	〃	山内弥八妻
2	昭和 6.10	南無阿弥陀佛						

第３節　原田第４０号墓地の調査

原田第４０号墓地（以下「第４０号墓地」という）は、旧遺跡名原田地区遺跡第40地点BH2615と仮称していた遺跡であり、昭和63年11月から平成１年10月にかけて調査した。

第４０号墓地は事業地内北西端（第１図）、筑紫神社の西側（第２図）に位置し、旧小字辻にあたる。最高位63.1mの独立丘陵の北東斜面上、標高49.0～53.0mに立地する（第49図、図版37・38）。斜面の高位側、北西から南東側にかけてをカットし、平坦面を造成して墓域としている。

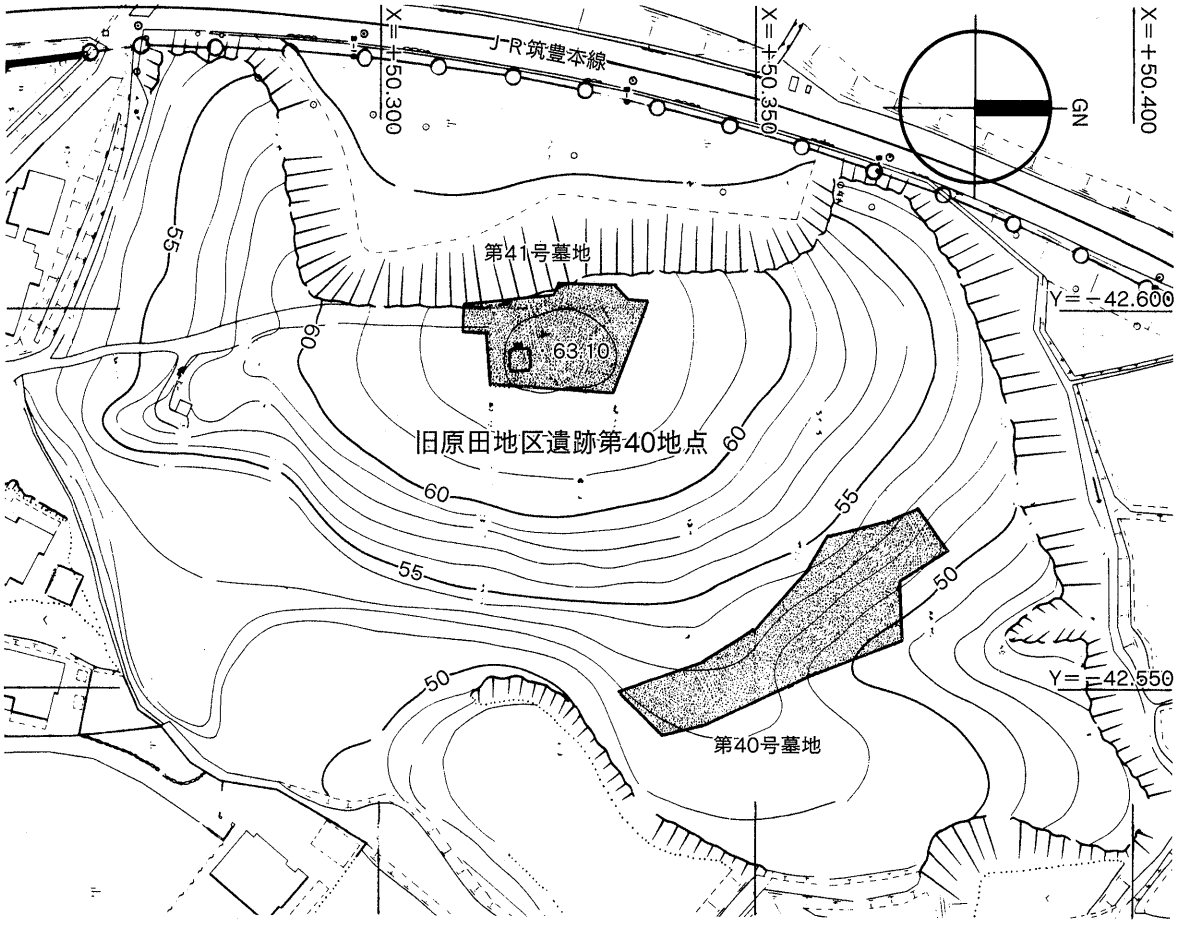
墓域は概略３段からなる（第50図）。上段は墓域の南側半分を占め、標高51.5m前後で幅7.0～7.5mの平坦面である。中段は墓域の北側の西側に占地し、上段より僅かに0.5m低いだけの標高51.0m前後の平坦面である。中段を上段と区別したのは、中段西側の幅が2.0mと上段と比べて著しく狭く、そこを境に僅かながらひくくなっているためである。中段の幅は中央で8.0m、北辺で5.5mを測る。下段は中段の東側にあるが、平坦面ではなく斜面である。上段北辺東側から北側にかけて緩やかに傾斜しており、最も低い北側で中段との比高差約2.0mを測る。

事業に伴う祭主者の改葬はなく、全面調査することができた。

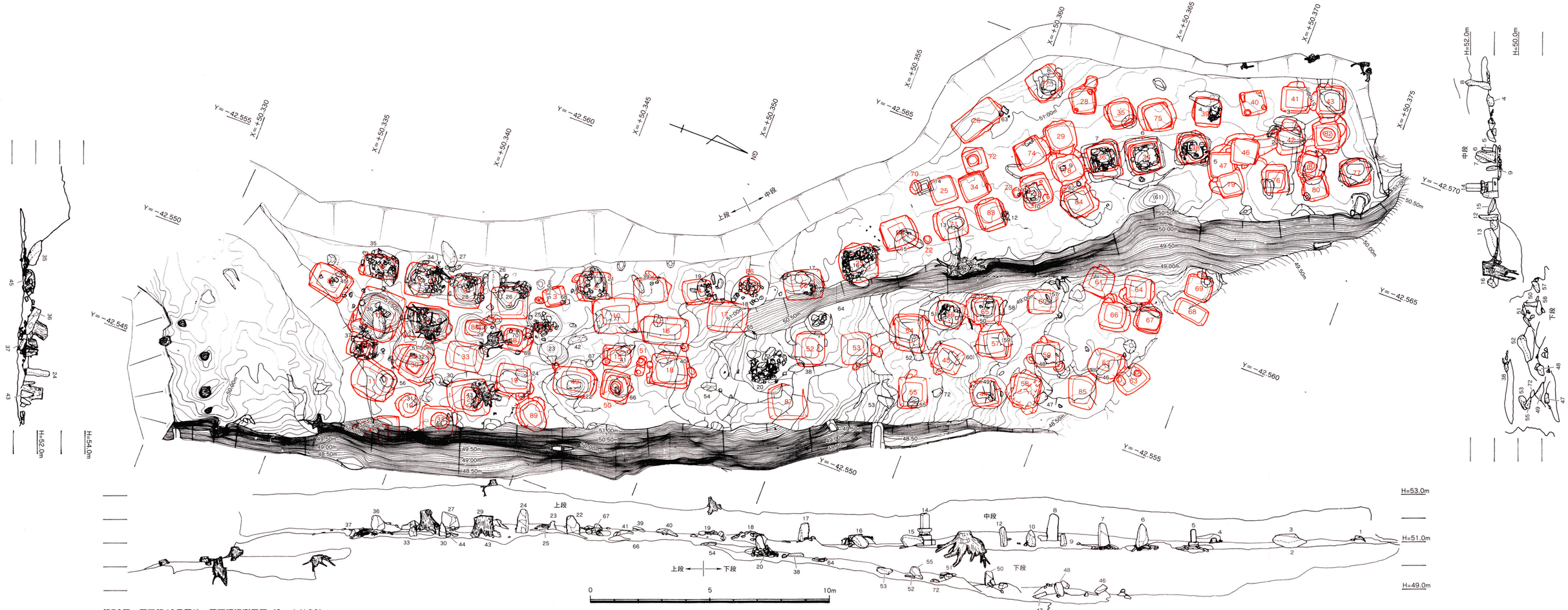
１．墓石の調査（第50～64図、図版38～51）

墓の地上遺構としての墓石および土饅頭に付した番号は７１基を数える。この中には墓碑銘の無いもの、基壇・基礎石と思われるもの、そして小石にも番号を付している。

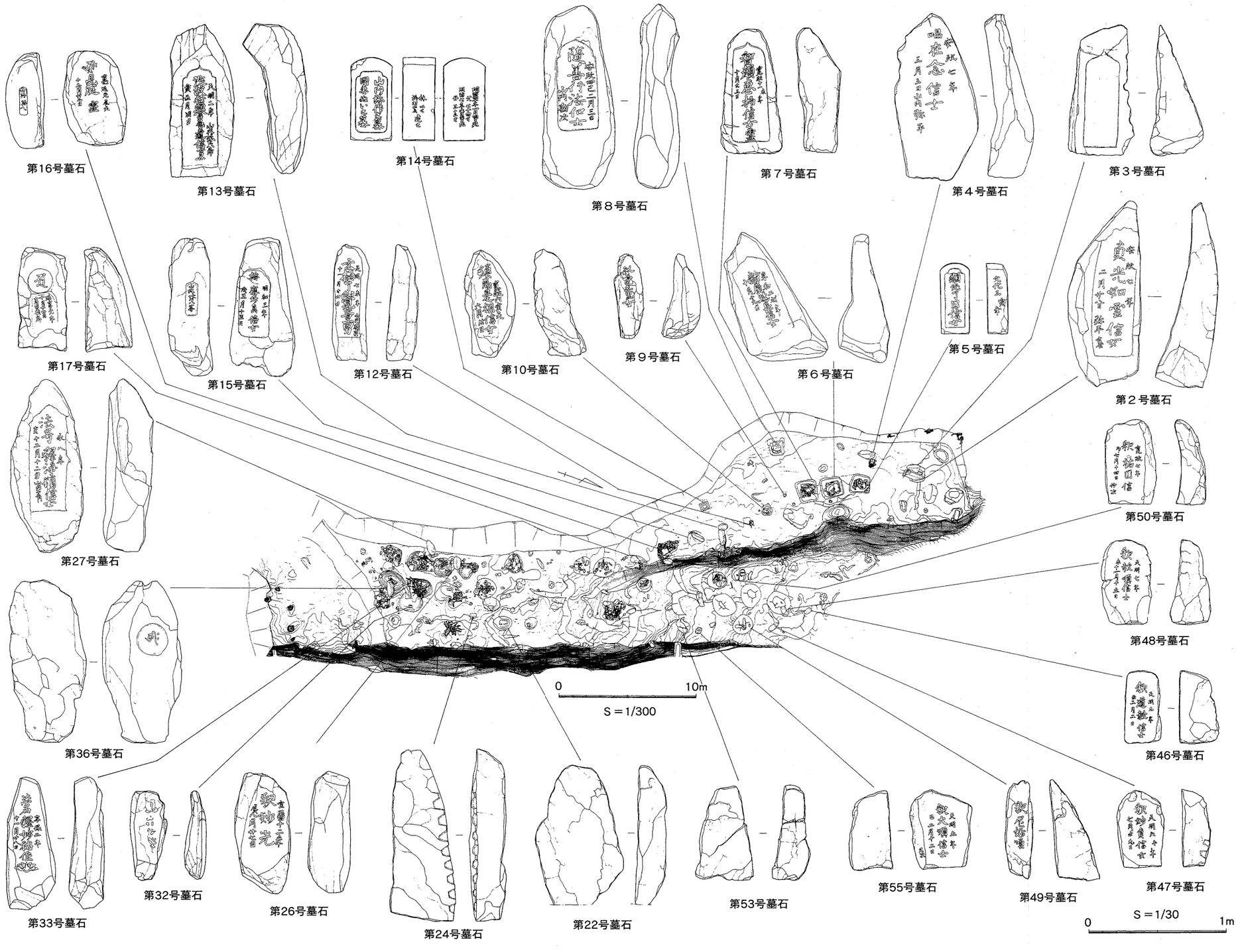
確実に墓碑銘を有する墓石は２５基、銘が不明でも確実に墓碑面が残っているもの２基、墓碑銘・



第49図　原田第40・41号墓地周辺現況地形測量図（S=1/1,000）



第50図　原田第40号墓地　墓石現況測量図（S＝1/100）



第51図　原田第40号墓地　墓石対比図（S＝1/30・1/300）

墓碑面が不明でも地上に建っていたもの９基の計３６基の墓石を確認した。

建っていた墓石は１９基のみで、他はすべて倒れていた。建っていた墓石の正面（墓碑面）は大半が南西向きであるが、一部西・南東向きのものがある。

本書では、出土位置を確認できなかった不明墓石を含めて３１基の墓石を年代順に図示した（第52～64図）。

第３３号墓石（第50～52図、図版45－②）

上段南側の中央、樹木の南東に位置する。頭部を北東に、正面を北西側に向けて横転していた。花崗岩（佐賀）の自然石であり、長さ97.0cm・幅35.0cm・厚さ25.0cmを測る。第２１号墓の墓壙南東角の地上に位置しており第２１号墓の墓石と考えるが、断定できない。

墓碑銘は、正面に

享保二年
法名釋妙祐位　（蓮華座）
十一月廿八日　とある。

第１７号墓石（第50～52図、図版42－④）

中段最南端に位置し、正面を南西に向けて建っていた。花崗岩（深江）の自然石であり、長さ73.0cm・幅34.8cm・厚さ34.0cmを測る。第２２号墓の墓石である。

墓碑銘は、正面上位に直径17.5cmの月輪を一段彫り窪め、内側に梵字の「ア」が陰刻されて、その下に３列に記されている。

延享元年
　十月十四日
山内吉次郎　とある。

第１６号墓石（第50～52図、図版42－③）

中段南東辺、第１７号墓石の北西側に位置する。集石で一辺150cmの方形基壇を構築し、その中央に60×50cmの方形基礎石がある。墓石は基壇北東側斜面に正面を下にして横転していた。花崗岩（佐賀）の自然石であり、長さ70.0cm・幅44.3cm・厚さ28.0cmを測る。第２３号墓の墓石と考える。

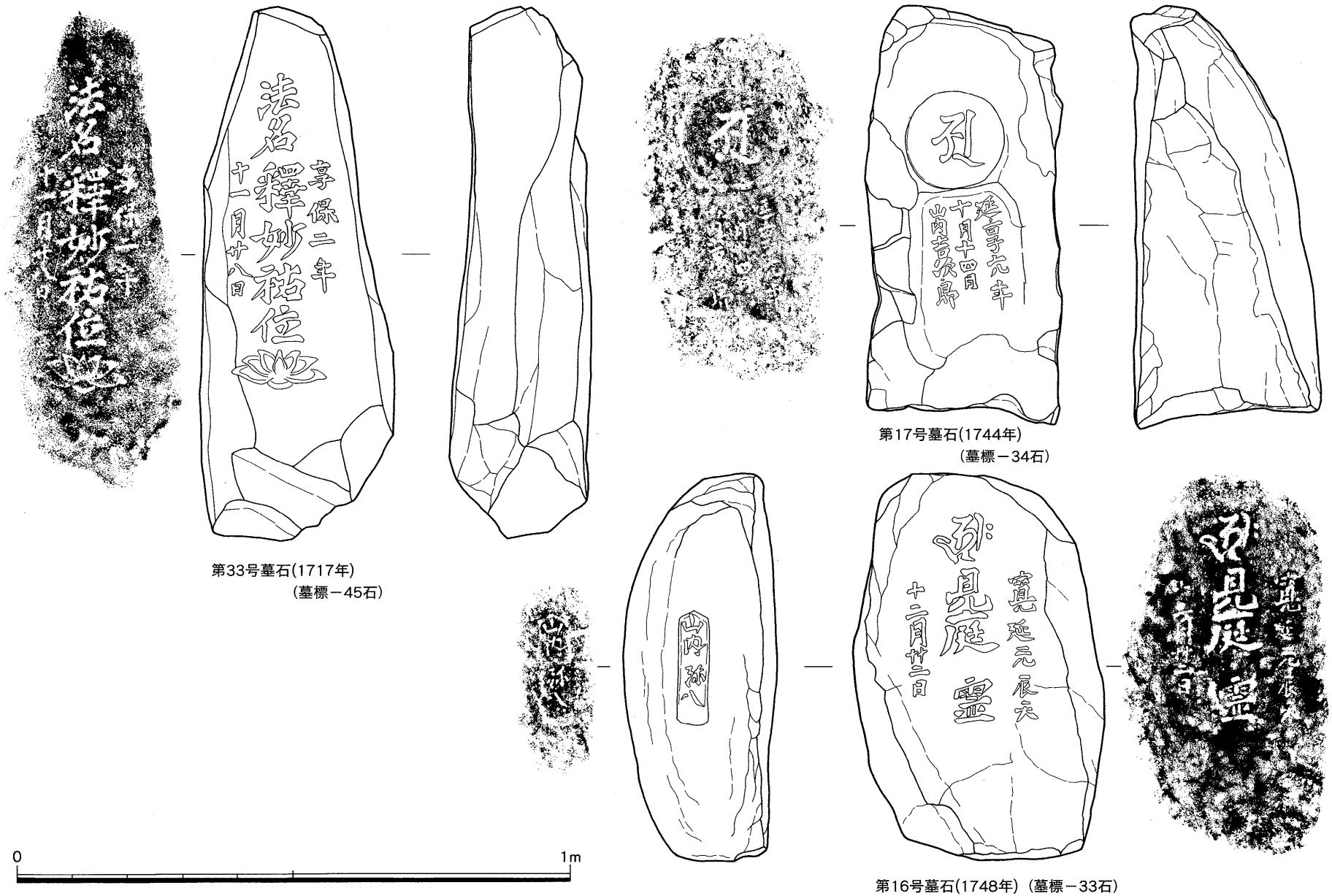
墓碑銘は２面あり、正面の中央上位に「アク」と思われる梵字が陰刻されている。

正面に　　左側面の一段彫り窪めた部分に

寛延元辰天　　山内弥八
 　見庭霊
十二月廿二日　とある。

第２６号墓石（第50・51・53図、図版44－①）

上段中央の西辺に位置する。改葬により著しく乱れているが、集石による一辺150cm程の基壇の痕跡が残っており、墓石は基壇の南西角で頭部を西側にし正面を北に向けて横転していた。花崗

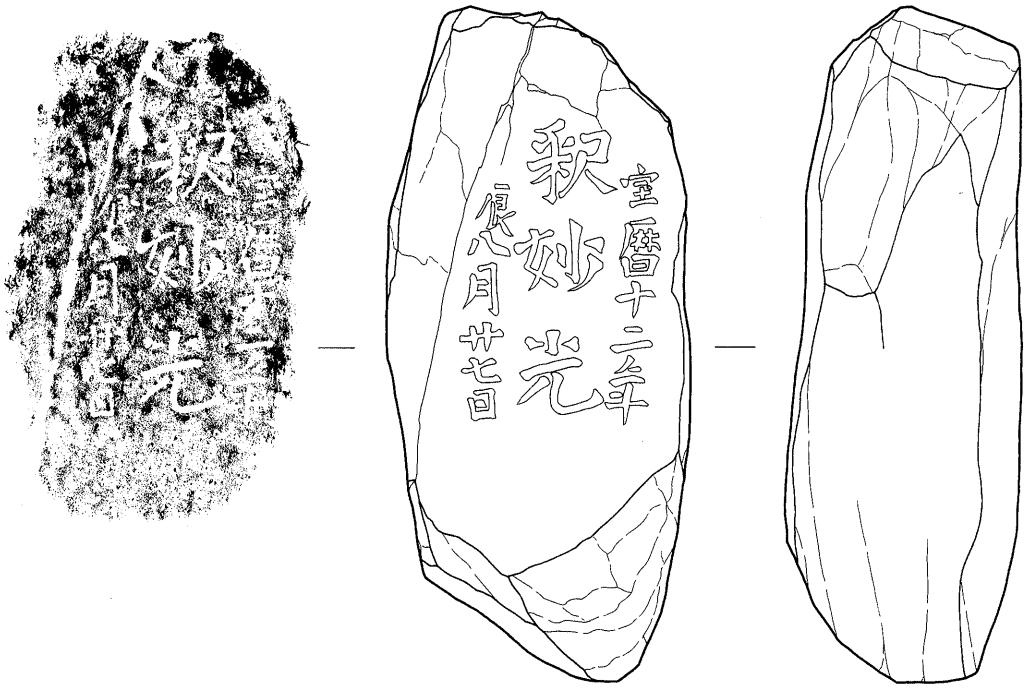


第33号墓石(1717年)
(墓標－45石)

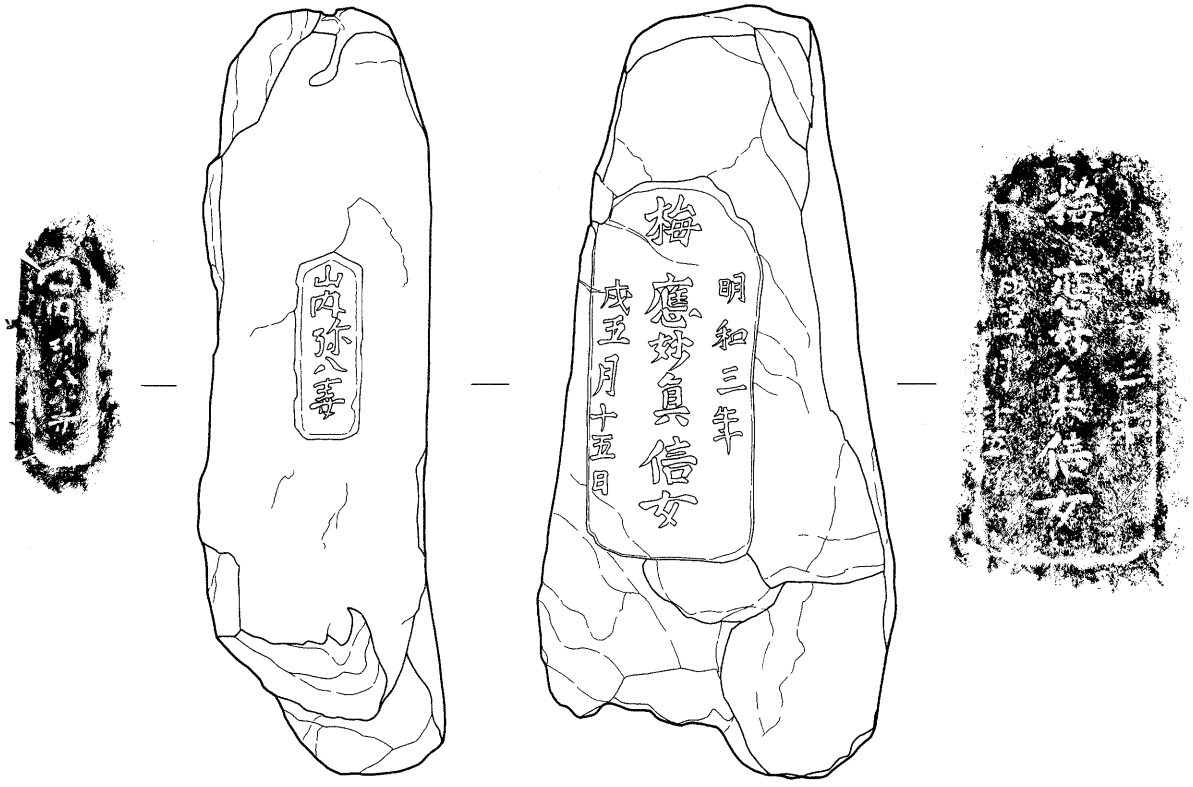
第17号墓石(1744年)
(墓標－34石)

第16号墓石(1748年)(墓標－33石)

第52図　原田第40号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=1/10）①



第26号墓石



第15号墓石(1766年)
(墓標－32石)

0 1m

第53図　原田第40号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=1/10）②

岩（佐賀）の自然石であり、長さ84.0cm・幅40.2cm・厚さ30.4cmを測る。第4号墓の墓石と考える。

墓碑銘は、正面に

宝 暦 十 二 年
釈　妙　光
辰 八 月 廿 七 日　　とある。

第１５号墓石（第50・51・53図、図版42－②）

中段南東側、第１６号墓石の北西側に位置する。頭部を北に正面を西に向けて横転していた。花崗岩（佐賀）の自然石であり、長さ101.3cm・幅47.2cm・厚さ30.4cmを測る。第２４号墓の墓石と考える。

墓碑銘は、一段彫り窪めた正面に

明 和 三 年
梅　應 妙 真 信 女
戌 五 月 十 五 日　　とある。

同じく一段彫り窪めた左側面に

山 内 弥 八 妻

第２７号墓石（第50・51・54図、図版44－②）

上段中央の西辺、第２６号墓石の南側に位置する。頭部を南西に正面を下にして、西側斜面に寄りかかるようにして、倒れていた。花崗岩（早良）の自然石であり、長さ127.0cm・幅51.2cm・厚さ32.4cmを測る。本墓石の北東側に第２８号墓石、南東側に第３４号墓石とした、２基の基壇がある。２基とも一辺120cm程の集石による基壇であるが、本墓石がどちらの基壇に建っていたものか不明である。第２８号墓石の基壇であれば本墓石は第９号墓の墓石であり、第３４号墓石の基壇であれば第５号墓の墓石である。

墓碑銘は、一段彫り窪めた正面に

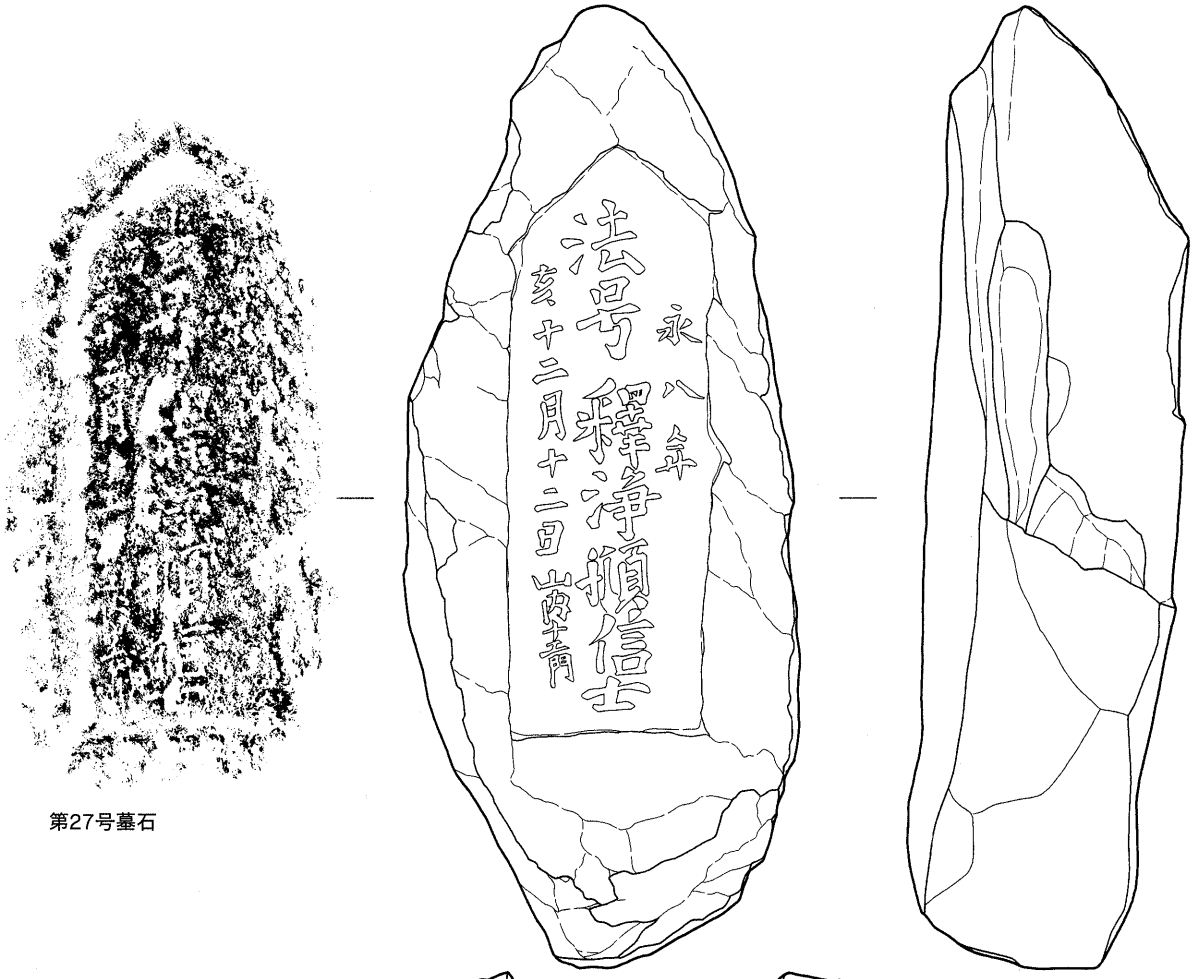
安 永 八 年
法 号　繹 浄 頂 信 士
亥 十 二 月 十 二 日 山 内 十 エ 門　　とある。

第１３号墓石（第50・51・54図、図版41－⑥）

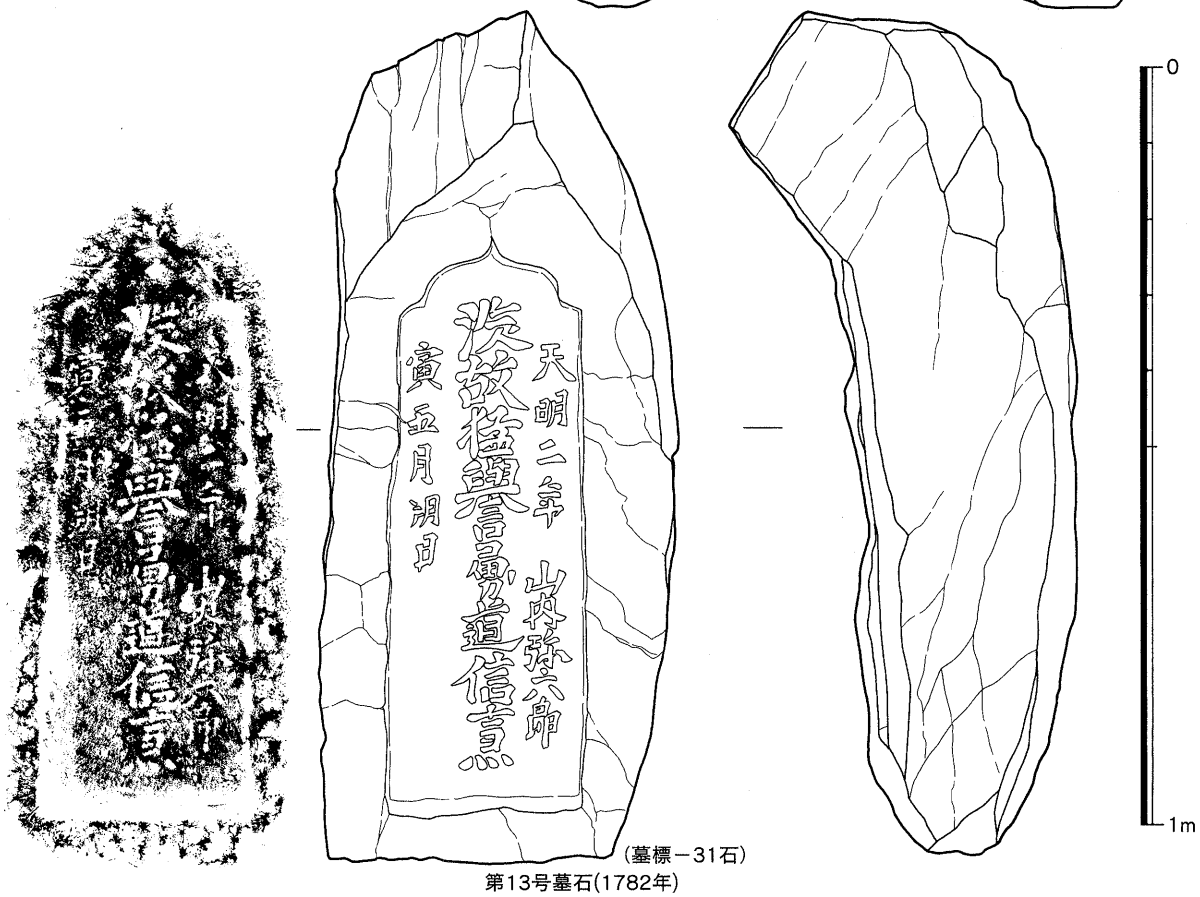
中段中央の東辺、第１５号墓石の北北西側に位置する。70×50cmの長方形基礎石から北東側へ倒されており、正面を南東に向けて横転していた。花崗岩（佐賀）の自然石であり、長さ113.4cm・幅46.0cm・厚さ39.8cmを測る。第７１号墓の墓石と考える。

墓碑銘は、一段彫り窪めた正面に

天 明 二 年　山 内 弥 六 郎
□ 故 猛 譽 勇 道 信 士 亖
寅 五 月 朔 日　　とある。



第27号墓石



(墓標－31石)

第13号墓石(1782年)

第54図　原田第40号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=1/10）③

第５５号墓石（第50・51・55図、図版49－②）

下段中央、東辺寄りに位置し、正面を下にして横転していた。花崗岩（佐賀）の自然石であり、長さ57.2cm・幅44.4cm・厚さ30.4cmを測る。第５５号墓の墓壙北角の地上に位置しており、第５５号墓の墓石と考える。

墓碑銘は、正面に　　左側面に

天明五年　　又次
釈大順信士
巳二月十二日　　とある。

第４７号墓石（第50・51・55図、図版47－③）

下段北東隅に位置する。頭部を南東に、正面を南西側斜め上に向けて横転していた。花崗岩（佐賀）の自然石であり、長さ57.0cm・幅34.0cm・厚さ20.6cmを測る。第５８号墓の墓壙北角の地上に位置するが、北西側1.0mに第８５号墓もあり、本墓石の帰属は断定できない。

墓碑銘は、正面に　　左側面に

天明六午年　　清太
釈妙貞信女　　母
七月十九日　　とある。

第１２号墓石（第50・51・55図、図版41－⑤）

中段中央東寄り、第１３号墓石の北西に位置する。正面を西に向けて建っていた。花崗岩（佐賀）の自然石であり、長さ85.2cm・幅25.2cm・厚さ21.8cmを測る。第８３号墓の墓壙北角の地上に建っており、第８３号墓の墓石である。

墓碑銘は、正面に

天明七未年　山内利吉
玄標了覺童男
十一月廾四日　　とある。

第４９号墓石（第50・51・56図、図版48－①②）

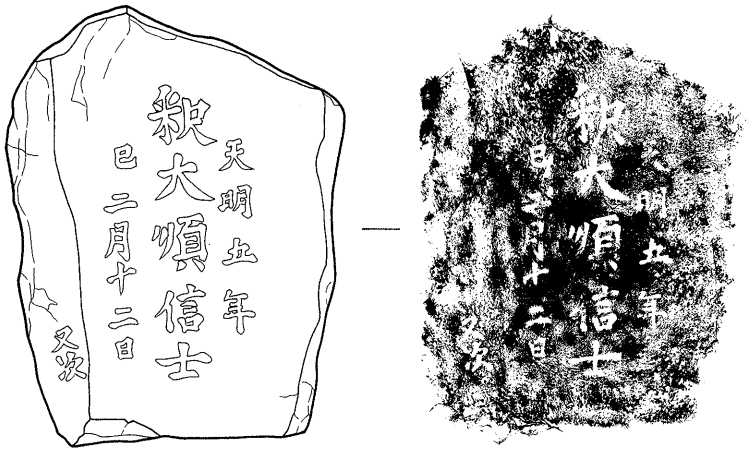
下段北東辺寄り、第４７号墓石の南側に位置する。径150cm程の土饅頭の上で、正面を斜め上にして南西側へ逆さに倒れていた。花崗岩（深江）の自然石であり、長さ72.0cm・幅20.8cm・厚さ29.4cmを測る。第４４号墓の墓石と考える。

墓碑銘は、正面に　　左側面に

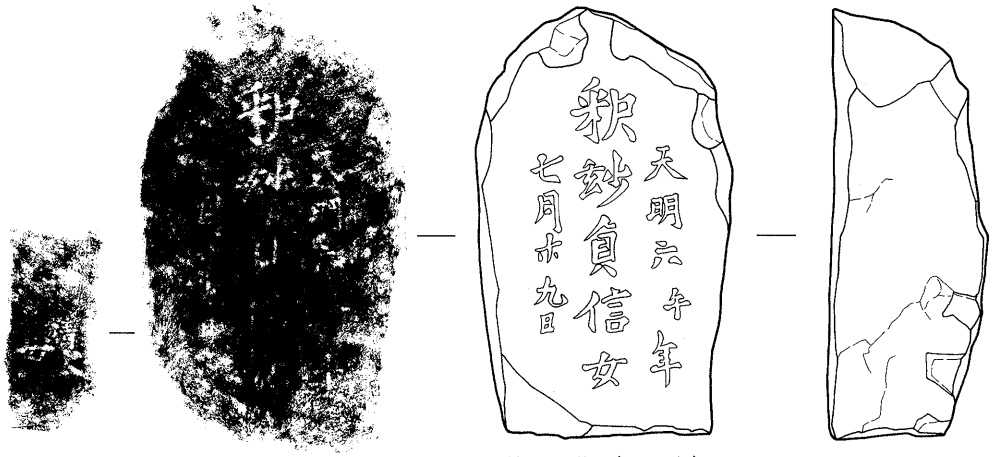
天明七天
釈尼妙順　　行七母
巳六月廾日　　とある。

第４８号墓石（第50・51・56図、図版47－⑤⑥）

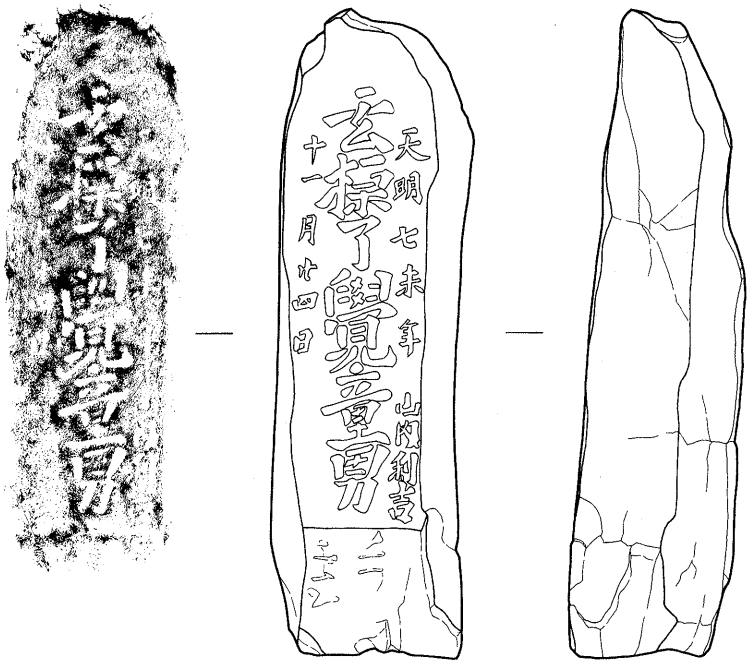
下段北側、第４９号墓石の北西側に位置する。径170cm程の土饅頭の上から、正面を斜め上に



第55号墓石



第47号墓石(1786年)
(墓標－74石)



第12号墓石(1787年)
(墓標－27石)

0
1m

第55図　原田第40号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=1/10）④

して北東側へ逆さに倒れていた。花崗岩（佐賀）の自然石であり、長さ62.6cm・幅36.2cm・厚さ29.0cmを測る。第５９号墓の墓石と考える。

墓碑銘は、正面に　　左側面に

天 明 七 年　　又 三

釈 教 順 信 士

未 十 一 月 十 五 日　　とある。

第４６号墓石（第50・51・56図、図版47－①②）

下段北端中央に位置する。正面を南西に向け、頭部を南東側にして横転していた。花崗岩（佐賀）の自然石であり、長さ53.4cm・幅26.8cm・厚さ28.6cmを測る。第６２号墓の墓壙の地上に位置し、第６２号墓の墓石と考える。

墓碑銘は、正面に　　左側面に

天 明 九 年　　平 太

釈 道 教 信 士

酉 二 月 二 日　　とある。

第１０号墓石（第50・51・57図、図版41－③）

中段中央やや東寄り、第１２号墓石の南西側に位置する。正面を南西側に向けて建っていた。花崗岩（佐賀）の自然石であり、長さ78.0cm・幅36.3cm・厚さ28.4cmを測る。第７３号墓の墓石である。

墓碑銘は、正面に

寛 政 六 寅 天

顚 即 是 相 信 女

六 月 卅 日　　とある。

第５０号墓石（第50・51・57図、図版48－③）

下段中央、西辺に位置する。正面を南西側に向けて建っていた。花崗岩（佐賀）の自然石であり、長さ62.0cm・幅37.2cm・厚さ20.4cmを測る。第６５号墓の墓石である。

墓碑銘は、正面に　　正面から左側面にかけての斜め面に

寛 政 七 年　　仲 次

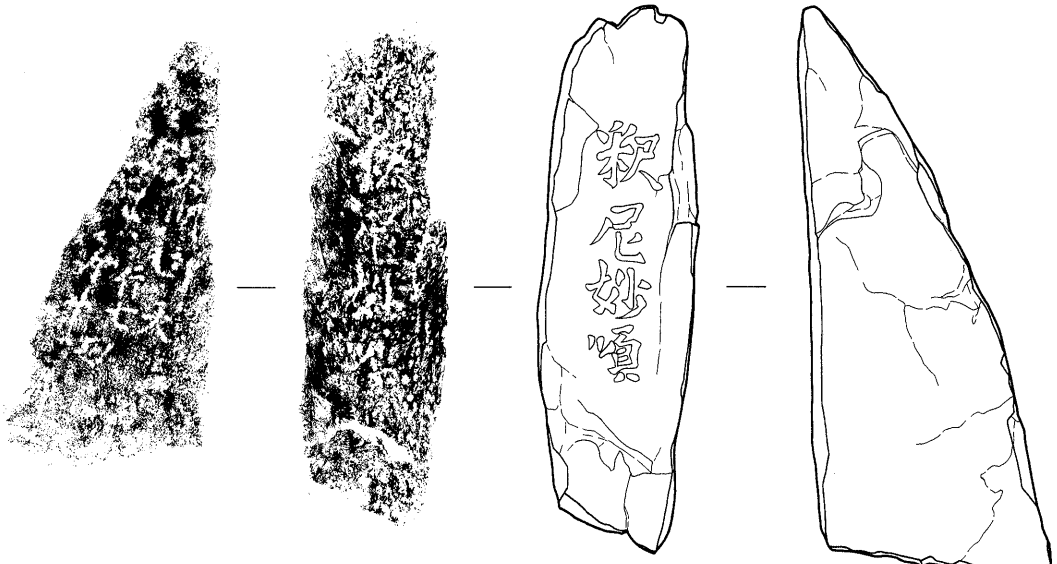
釈 祐 囚 信

卯 七 月 十 四 日　　とある。

第７号墓石（第50・51・57図、図版40－⑥）

中段中央、やや北寄りに位置する。石を並べた一辺0.9ｍの基壇上に、正面を南西に向けて建っていた。花崗岩（佐賀）の自然石で、長さ92.0cm・幅44.6cm・厚さ30.6cmを測る。第３６号墓の墓石である。

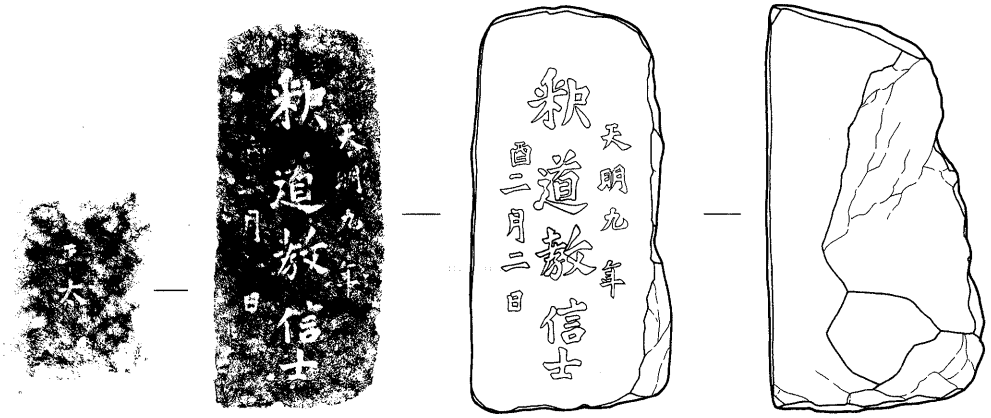
墓碑銘は、一段彫り窪めた正面に　　左側面に



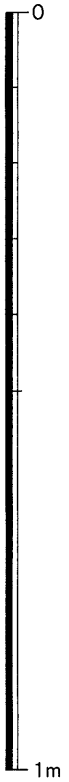
第49号墓石(1787年？)
(墓標－73石)



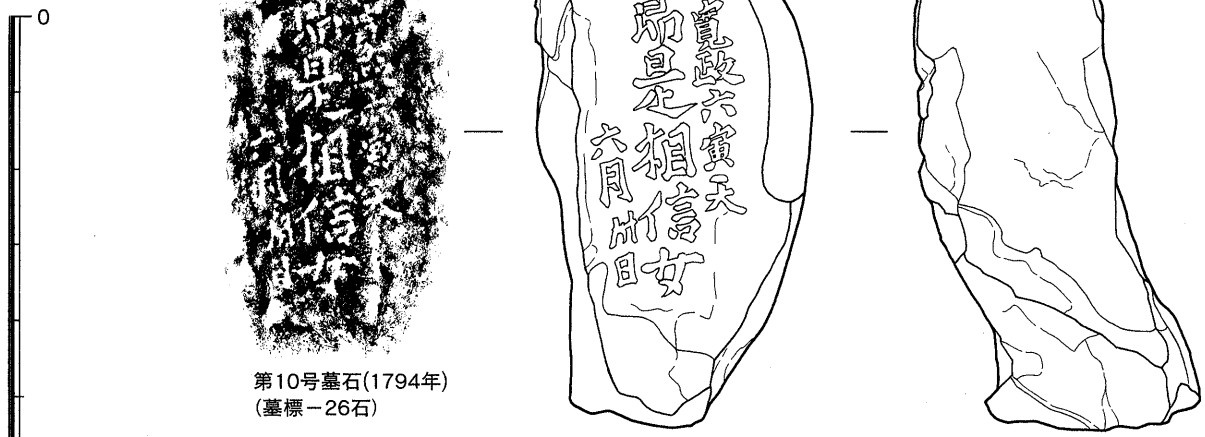
第48号墓石(1787年)
(墓標－76石)



第46号墓石(1789年)
(墓標－79石)



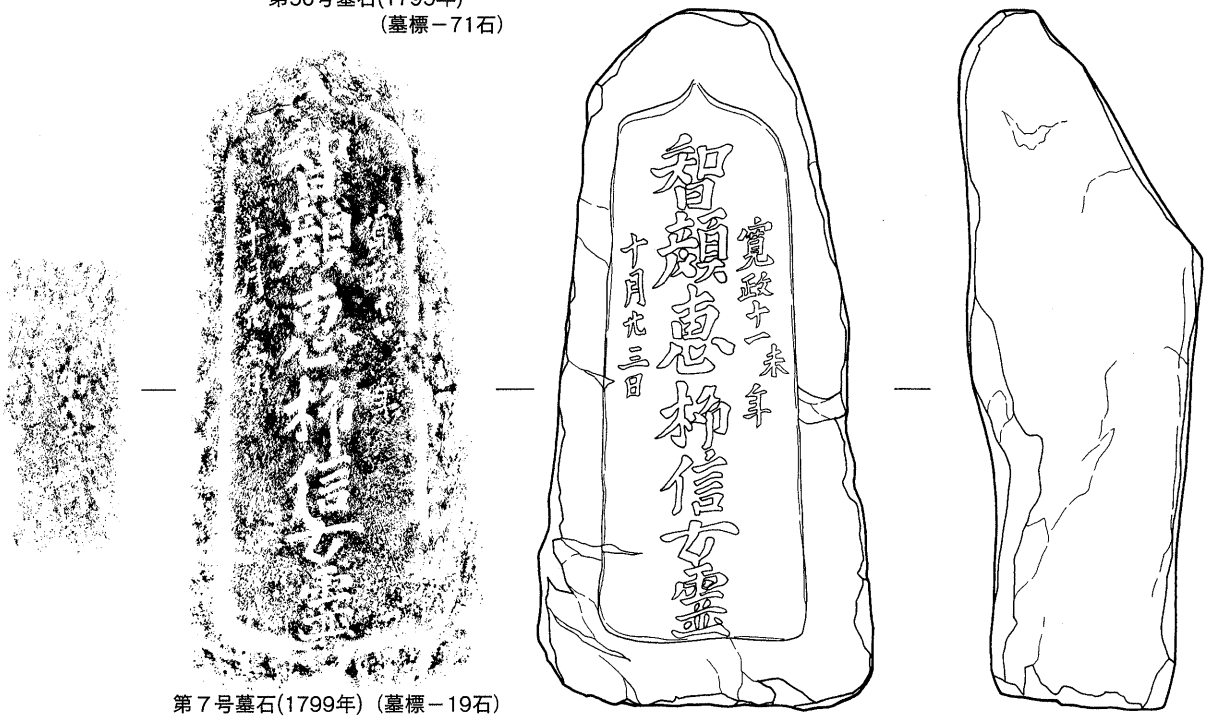
第56図　原田第40号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=1/10）⑤



第10号墓石(1794年)
(墓標－26石)



第50号墓石(1795年)
(墓標－71石)



第７号墓石(1799年)（墓標－19石）

0

1m

第57図　原田第40号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=1/10）⑥

寛政十一未年　　山内吉エ門□
智顔恵柳信女霊
十月廿三日　　とある。

第６号墓石（第50・51・58図、図版40－⑤）

中段中央、第７号墓石の北西側に位置する。石を並べた一辺1.0m程の基壇上やや東寄りに、正面を南西に向けて建っていた。花崗岩（佐賀）の自然石であり、長さ101.4cm・幅50.6cm・厚さ37.2cmを測る。第３７号墓の墓石である。

墓碑銘は、一段彫り窪めた正面に

享和二戌年
齢屋延長信女
十月十九日　　とある。

第５号墓石（第50・51・59図、図版40－④）

中段、第６号墓石の北西側に位置する。石を並べた一辺1.0m程の基壇の中央に据えられた40×35cmの方形の基礎石の上に正面を西に向けて建っていた。基礎石の前部には水鉢用の長方形の窪みが彫られている。本墓石は花崗岩（佐賀）の切石であり、長さ52.0cm・幅21.4cm・厚さ15.0cmを測る。第３８号墓の墓石である。

墓碑銘は、一段彫り窪めた正面に　　右側面に
顯光了囚信女　　文化三寅年
左側面に
十一月朔日　山内吉右門
妻　　とある。

第８号墓石（第50・51・58図、図版41－①）

中段中央、西角に位置する。正面を南西に向けて建っていた。花崗岩（佐賀）の自然石であり、長さ134.6cm・幅53.0cm・厚さ33.8cmを測る。第２７号墓の墓石である。

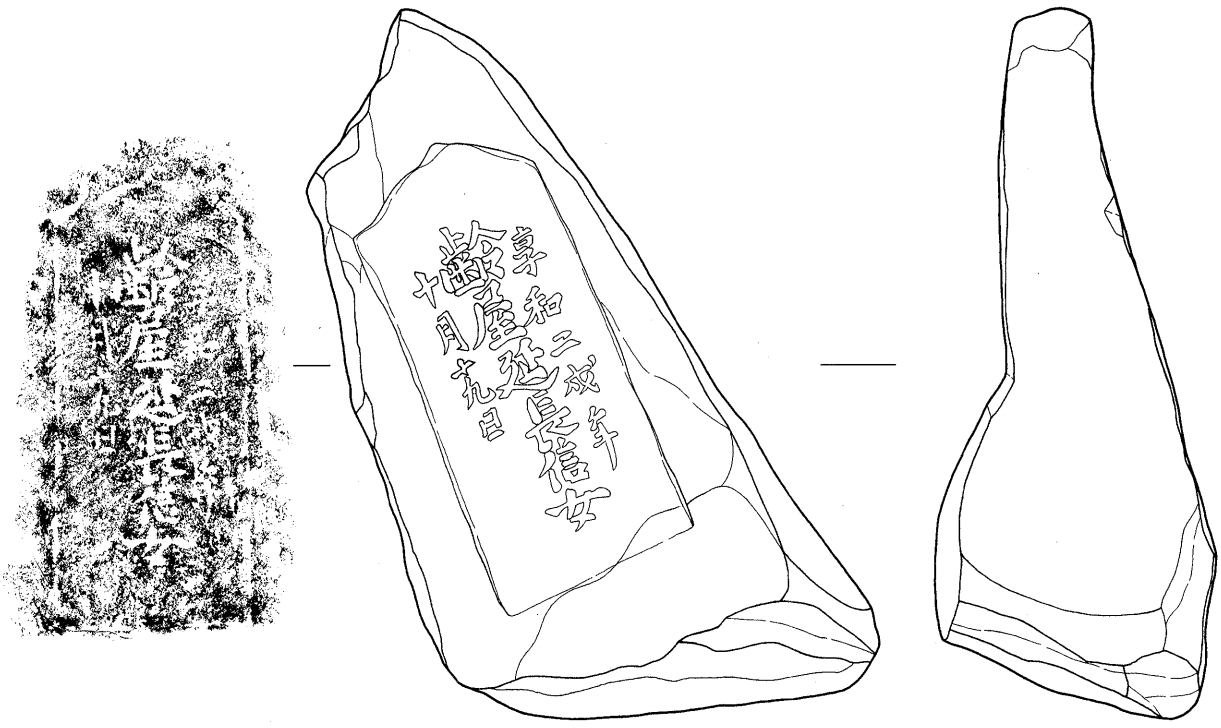
墓碑銘は、一段彫り窪めた正面に

安政四巳二月三日
随善行法仁士
山内勘次　　とある。

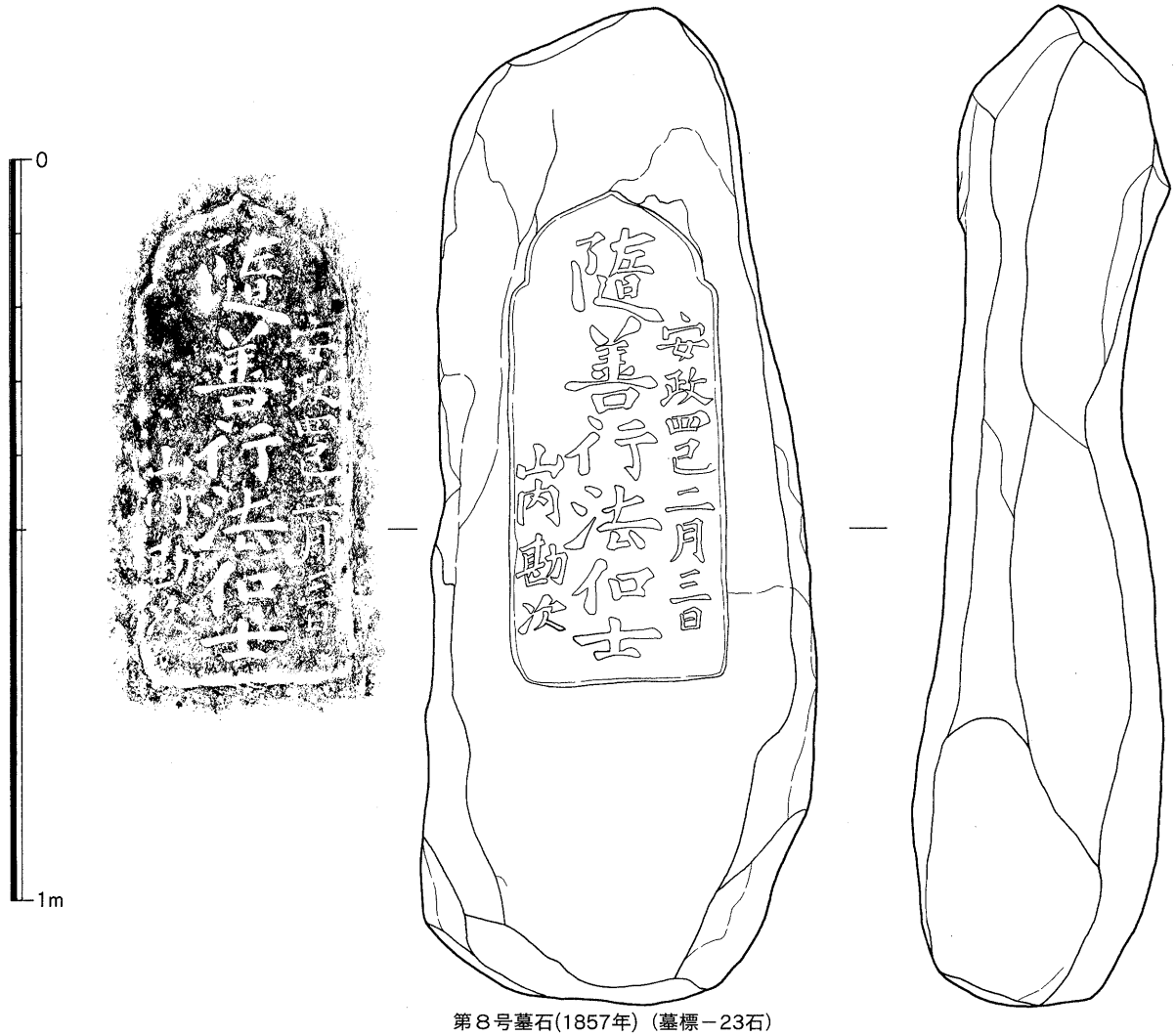
第２号墓石（第50・51・59図、図版40－②）

中段北西端寄り、第５号墓石の北西側に位置する。頭部を北に正面を西側斜面下に向けて、第３号墓石と並んで横転していた。花崗岩（深江）の自然石であり、長さ139.6cm・幅52.4cm・厚さ36.8cmを測る。第４２号墓の地上に位置するが、周辺には墓石の無い墓壙が多くあり、本墓石が帰属する墓壙は不明である。

墓碑銘は、一段彫り窪めた正面に

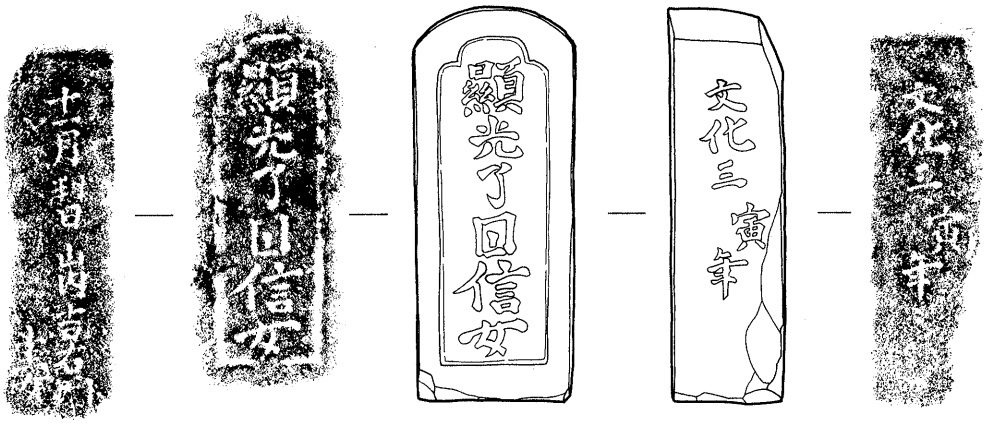


第６号墓石(1802年)
（墓標－14石）

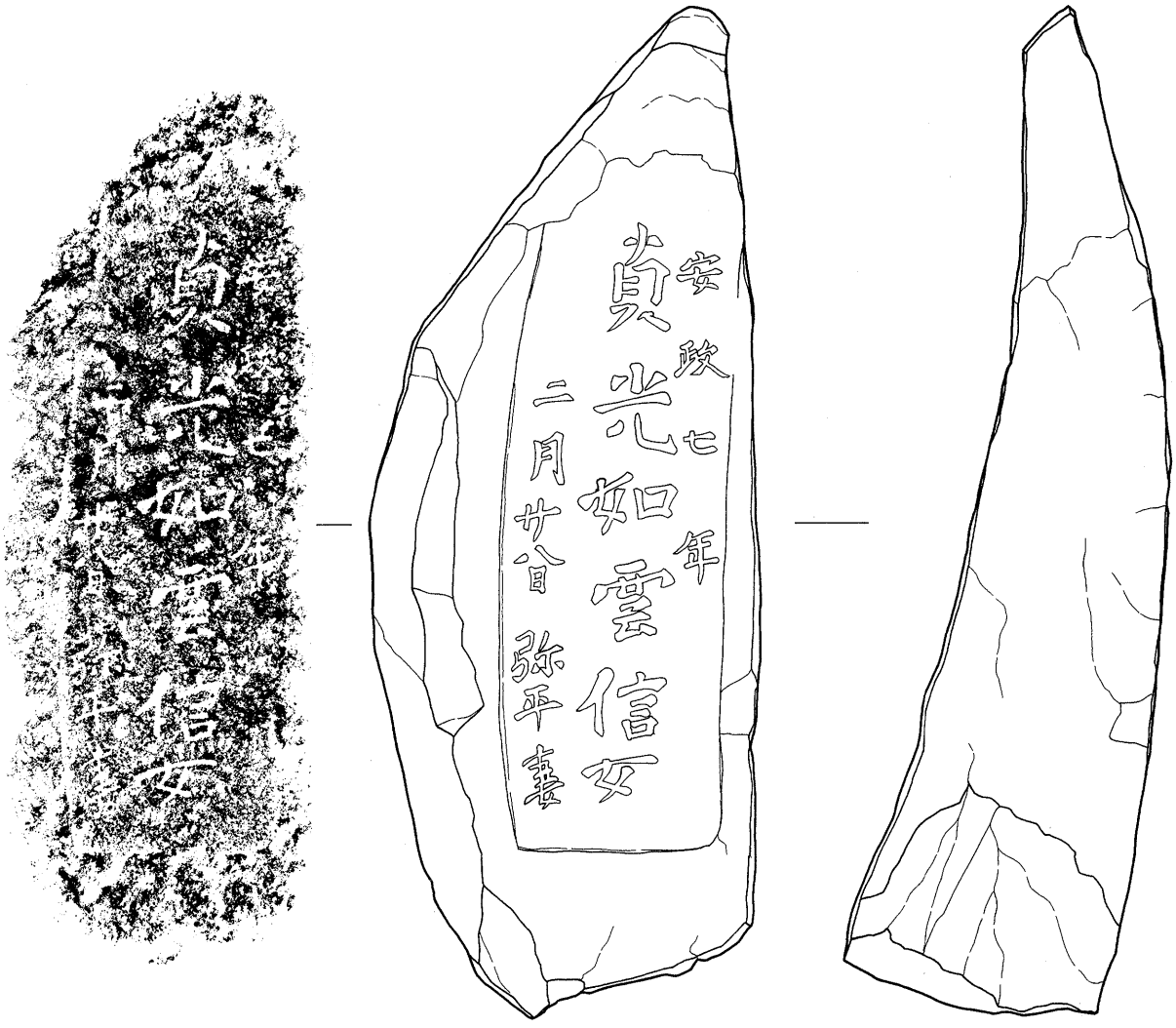


第８号墓石(1857年)（墓標－23石）

第58図　原田第40号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=1/10）⑦



第５号墓石(1806年)
(墓標－13石)



第２号墓石(1860年)
(墓標－11石)

0 1m

第59図　原田第40号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=1/10）⑧

安 政 七 年
貞光如雲信女
二 月 廿 八 日　弥 平 妻　とある。

第４号墓石（第50・51・60図、図版40－③）

中段北西側、第５号墓石の西側に位置する。基壇の石が僅かに残り、その横に頭部を南にし正面を下に向けて横転していた。花崗岩（深江）の自然石であり、長さ120.4ｃｍ・幅57.8ｃｍ・厚さ29.3ｃｍを測る。第３９号墓の墓石と考える。

墓碑銘は、正面に

安 政 七 年
唱 在 念 信 士
三 月 三 日 山 内 弥 平　とある。

第１４号墓石（第50・51・60図、図版42－①）

中段南西辺中央、第１５号墓石の西側に位置する。４石で組んだ70×60cmの基壇と45×40cmの方形基礎石の上に、花文を浮き彫りにした猫足付きの台座が載り、その上に正面を南西に向けた本墓石が建っていた。角閃石安山岩の切り石であり、長さ61.0cm・幅30.0cm・厚さ23.4cmを測る。第２５号墓の墓壙南角と小土壙である第７０号墓との間に位置し、夫婦墓を示す墓碑銘からも、本墓石は、第２５号墓と第７０号墓両墓の墓石と考えられる。

墓碑銘は、一段彫り窪めた正面に

山 内 弥 作 之 墓
山 内 ぬ い 之 墓

右側面に

林　いせ
建之
添田や志

裏面に

明治四十年一月四日死
父　七十四才
明治七年六月六日死
母　三十三才　とある。

第９号墓石（第50・51・61図、図版41－②）

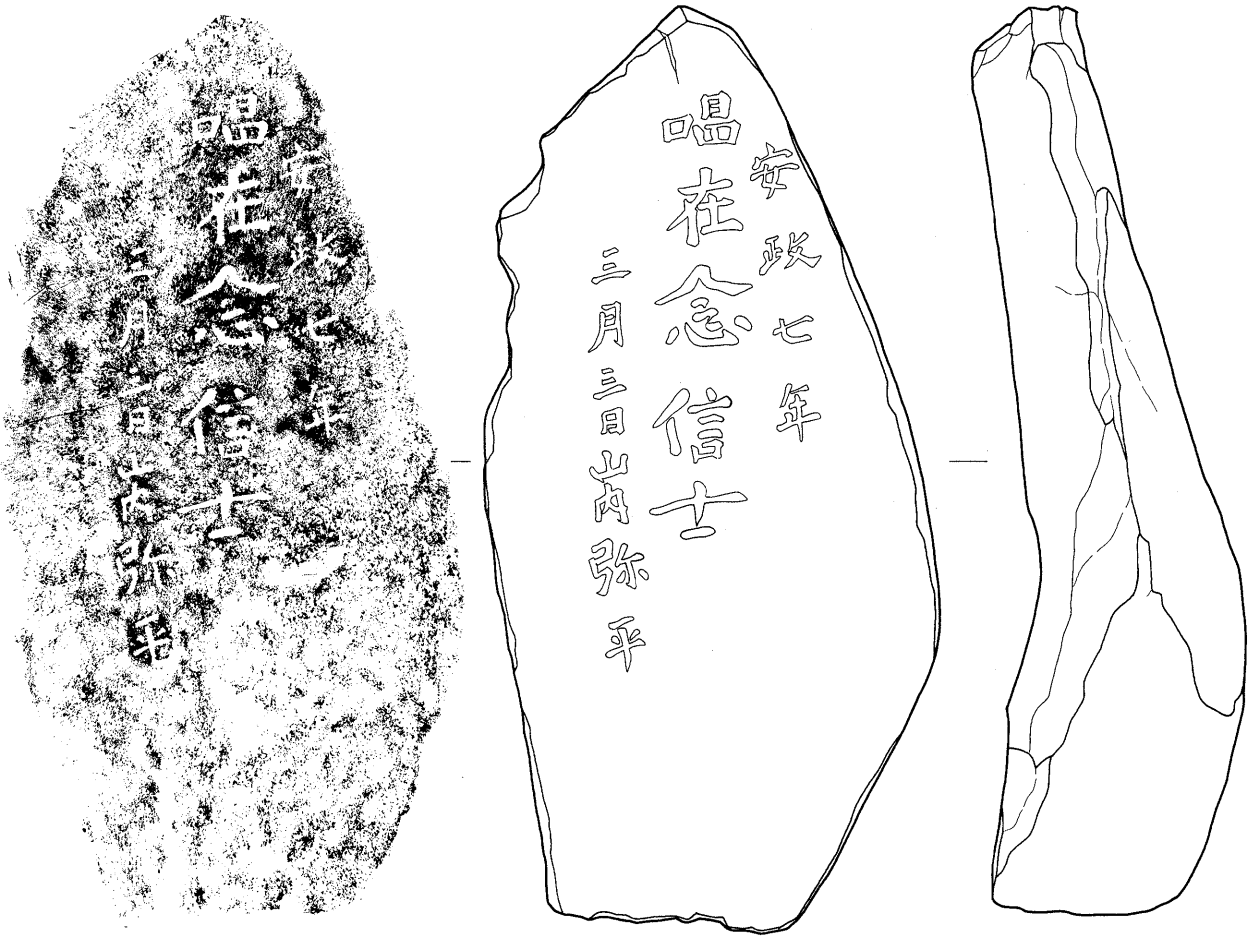
中段中央に位置し、正面を南東に向けて建っていた。花崗岩（早良）の自然石であり、長さ62.2cm・幅20.0cm・厚さ24.0cmを測る。第７８号墓の墓石である。

墓碑銘は、正面に

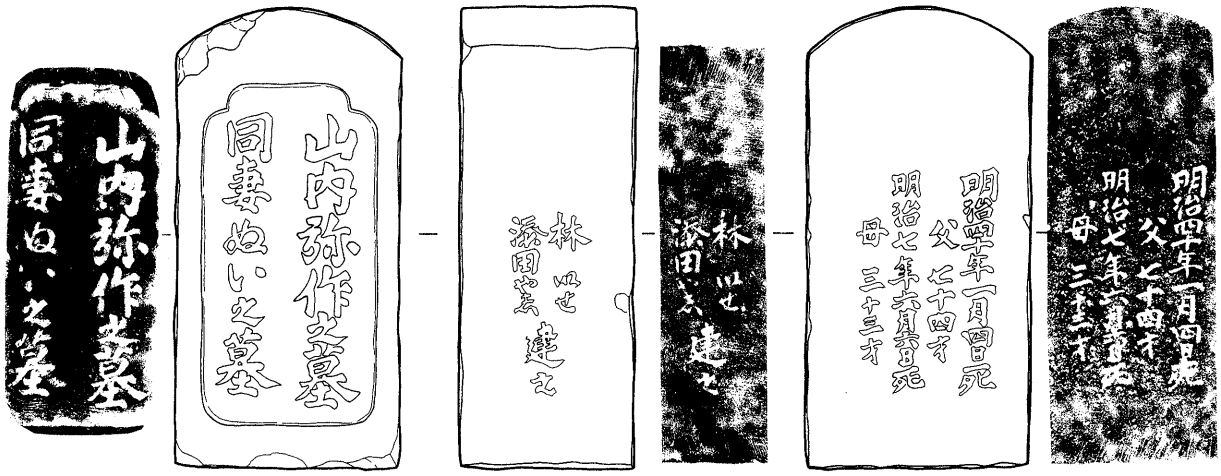
□意童女　とある。

第３２号墓石（第50・61図、図版45－①）

上段南側の中央、第３３号墓石の北東側に位置する。墓碑面と考える面を南西側に向けて建っていた。花崗岩（早良）の自然石であり、長さ65.2cm・幅27.0cm・厚さ14.6cmを測る。



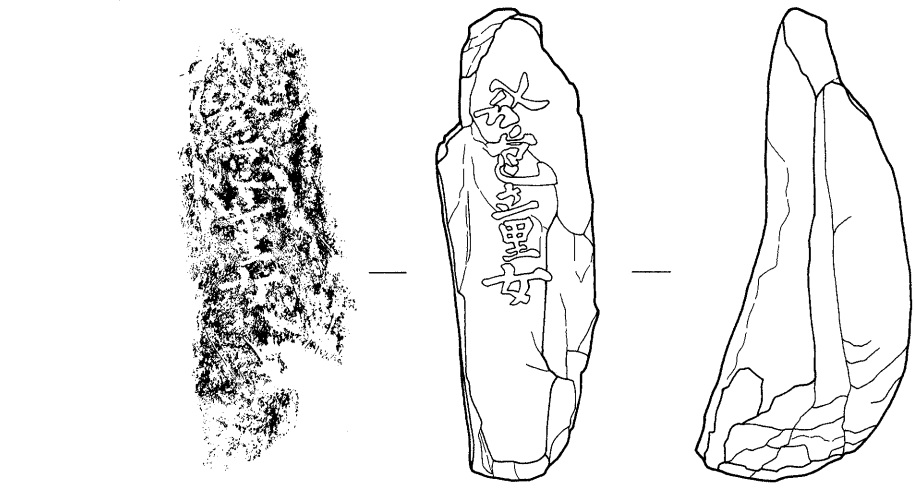
第４号墓石(1860年)
（墓標－10石）



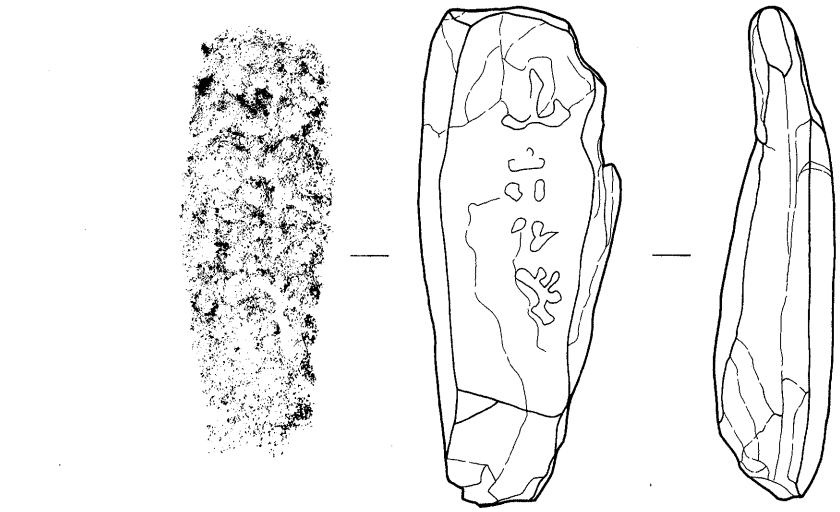
第14号墓石（墓標－83木）

0　1m

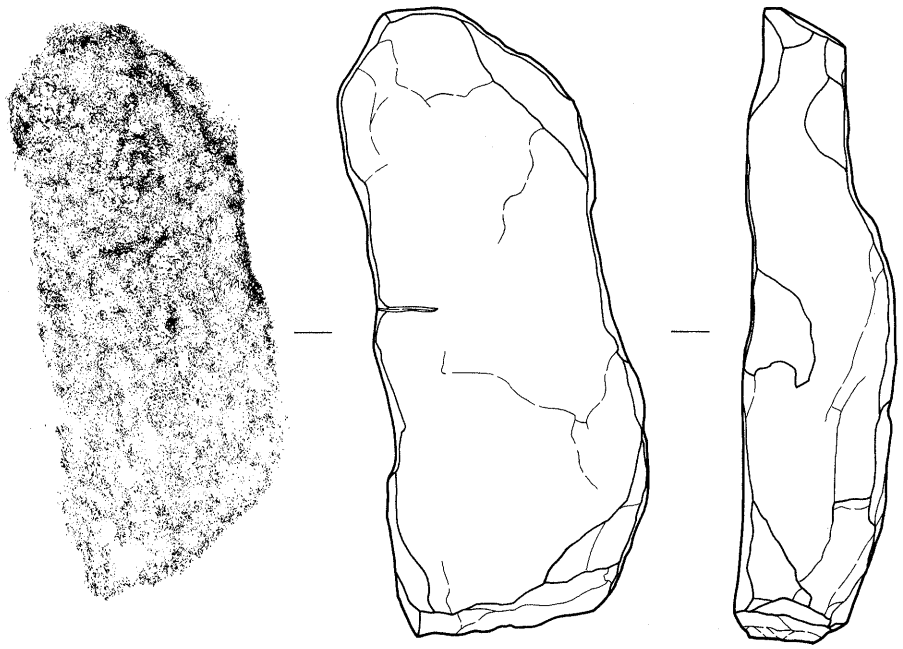
第60図　原田第40号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=1/10）⑨



第９号墓石



第32号墓石



不明墓石－２

第61図　原田第40号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=1/10）⑩

墓碑銘は不明瞭であるが、一面に

山六□□　　とある。

不明墓石―２（第61図）

花崗岩（深江）の自然石であり、長さ83.0cm・幅34.6cm・厚さ20.0cmを測る。

墓碑銘は不明瞭であり、墓碑銘を有する墓石であるかどうか疑問である。

不明墓石―３（第62図）

花崗岩（佐賀）の自然石であり、長さ85.6cm・幅33.0cm・厚さ24.2cmを測る。

一段彫り窪めた幅17.0cm・長さ63.0cmの墓碑面があるが、墓碑銘は不明である。

第３号墓石（第50・51・62図、図版40－②）

中段北西端寄り、第２号墓石の西側に隣接する。頭部を南側にし、正面を下に向けて横転していた。花崗岩（深江）の自然石である。一段彫り窪めた幅24.0cm・長さ72.0cmの墓碑面があるが、墓碑銘は不明である。

第２２号墓石（第50・51・63図、図版43－③）

上段北東側に位置する。墓碑面は不明であるが、粗雑な窪み面が南西を向いて建っていた。花崗岩（深江）の自然石であり、長さ102.6cm以上・幅60.0cm・厚さ21.8cmを測る。第４９号墓の墓石である。

第２４号墓石（第50・51・63図、図版43－⑤）

上段中央、第２２号墓石の南側に位置する。径130×100cmの土饅頭の上で、墓碑面は不明であるが、有段面が南西側を向いて建っていた。花崗岩（深江）の自然石である。第１９号墓の墓壙北西角の地上に位置し、第１９号墓の墓石である。

第３６号墓石（第50・51・64図、図版44－②）

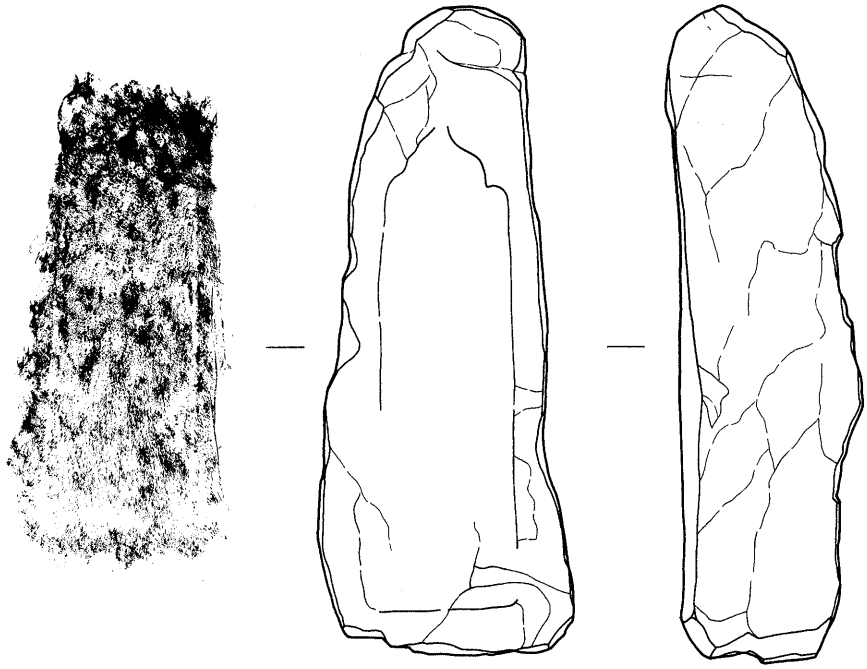
上段南端寄り、第３３号墓石の南側に位置する。径180×140cmの土饅頭の中央に基礎石数個が残り、その上で、頭部を東側にし正面を南斜め上に向けて斜めに倒れていた。花崗岩（深江）の自然石であり、長さ118.4cm・幅57.0cm・厚さ54.6cmを測る。第１３号墓の墓石と考える。

墓碑銘は、一面の中央上位に梵字「𑖀」を陰刻した月輪が一段彫り窪められているだけで、他には確認できない。

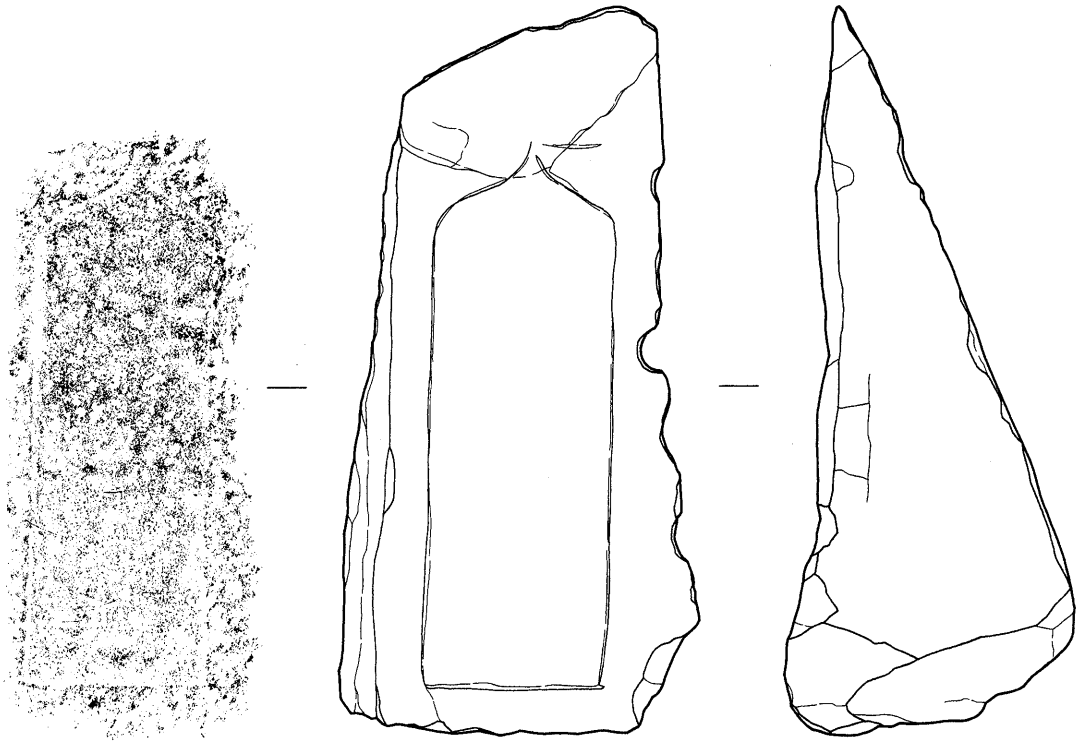
第５３号墓石（第50・51・64図、図版48－⑥）

下段東辺、南寄りに位置する。頭部（？）を南側にして横転していた。花崗岩の自然石であり、長さ68.6cm・幅41.8cm・厚さ24.4cmを測る。

墓碑銘は確認できず、墓碑銘を有する墓石としては疑問である。



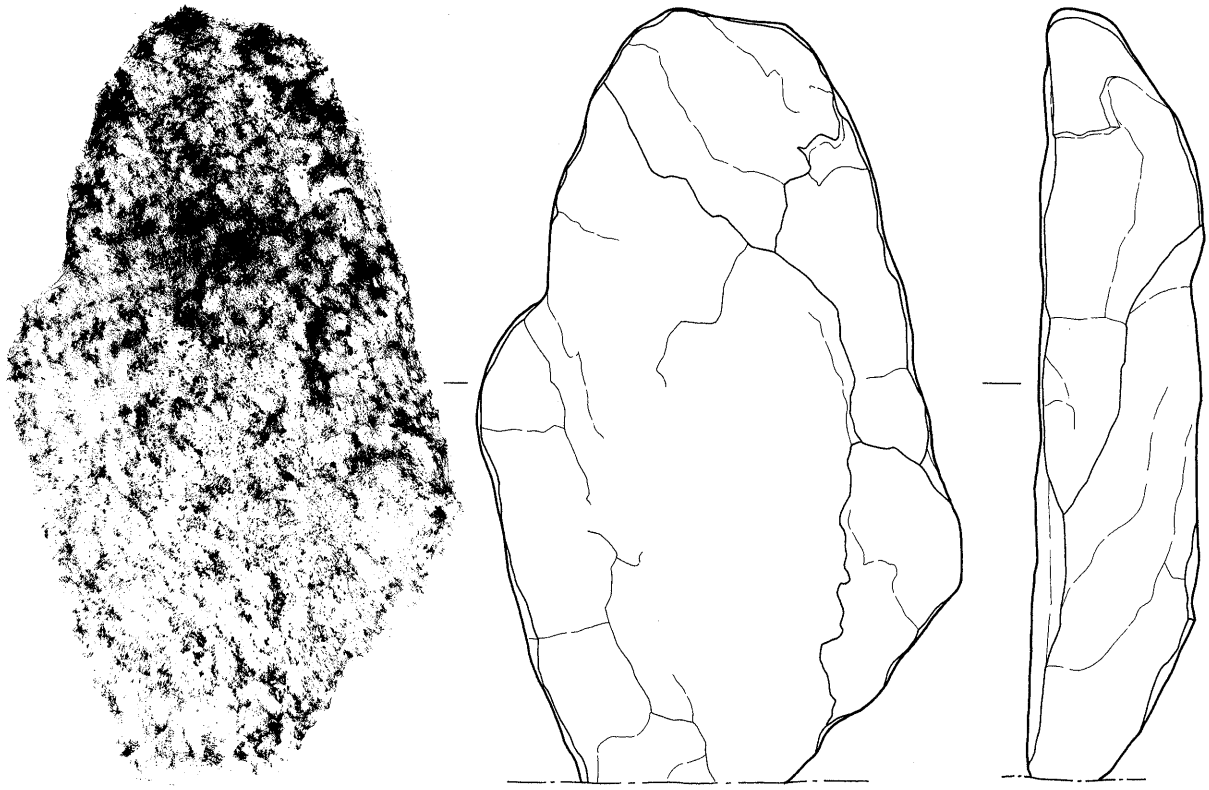
不明墓石－３



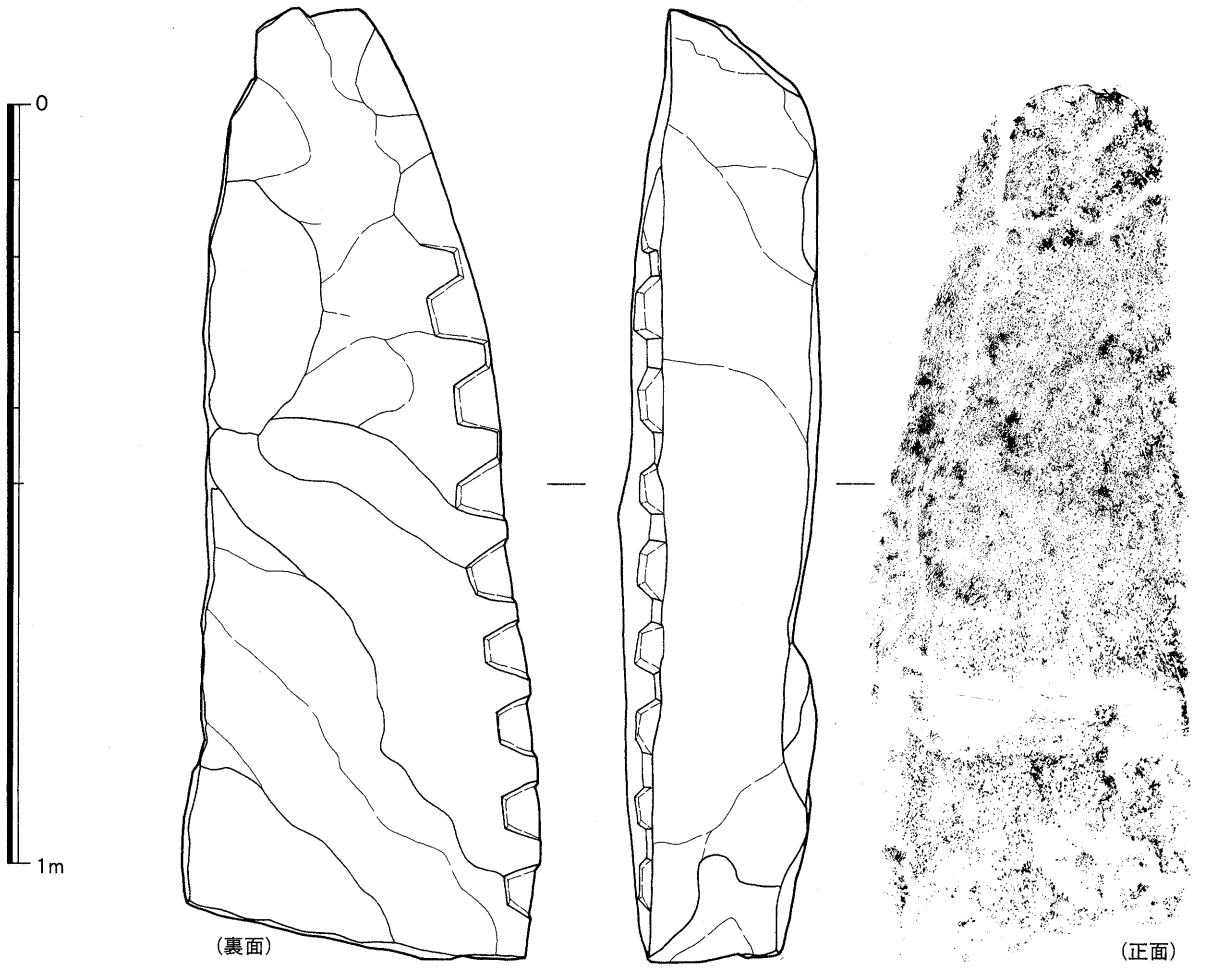
第３図墓石



第62図　原田第40号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=1/10）⑪

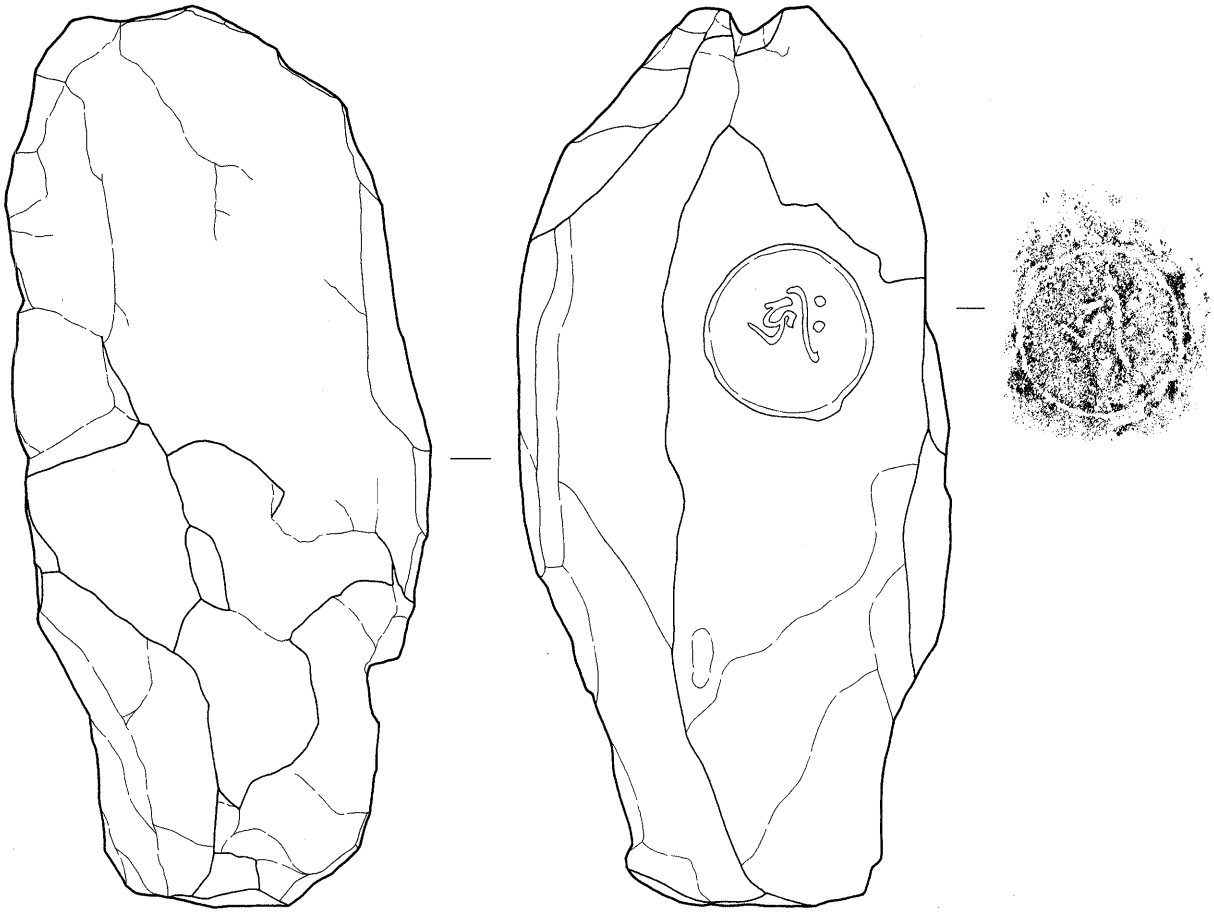


第22号墓石

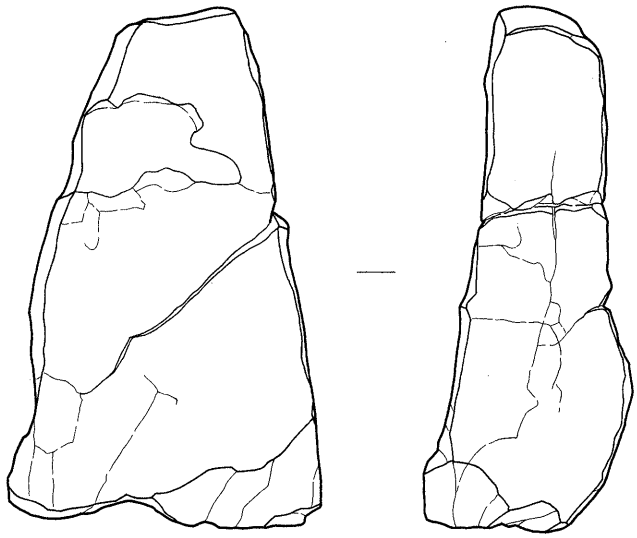


第24号墓石

第63図　原田第40号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=1/10）⑫



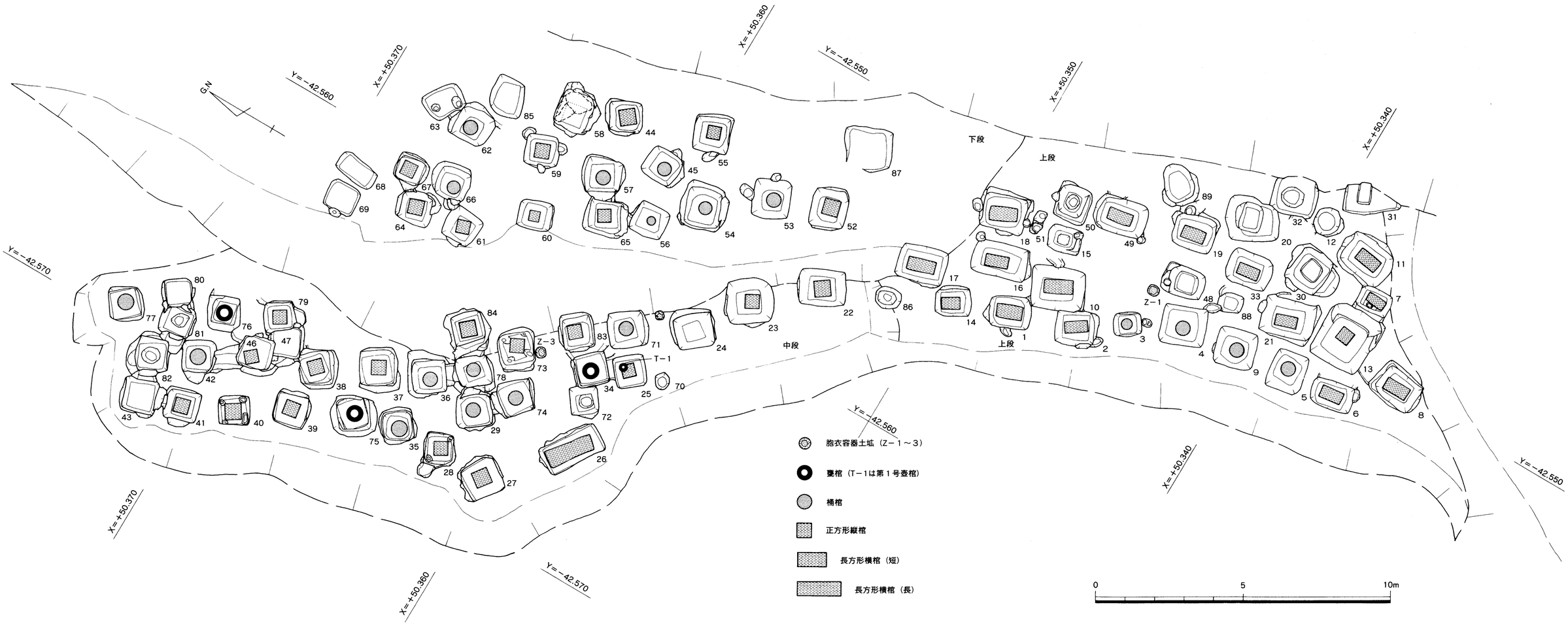
第36号墓石



第53号墓石

0 1m

第64図　原田第40号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=1/10）⑬



第65図　原田第40号墓地　遺構配置図（S=1/100）

２．墓壙の調査（第65～91図、図版37・38・52～72）

第40号墓地の調査において墓壙として扱った遺構は、上段で32基、中段で36基、下段で22基の計８９基を数えたが、土葬墓の墓壙としては疑わしいものが２基あり、それについては「その他の遺構」として後述する。

第１号墓（第65・66図、図版53－①）

上段の北西辺に位置する。墓壙は短い長方形を呈し、上面143×109cm・底面102×96cm・深さ141cmを測る。棺は100×50cm・深さ44cmを測る短い長方形横棺であり、主軸はＮ－19°－Ｗにとる。墓壙底面の色調から、棺は長さ90cm・幅45cmと考える。墓壙内から陶器辺１・鉄片１が出土した。人骨の出土状態から、葬位は北枕・西向きの右側臥屈葬である。

第２号墓（第65・66図、図版53－②）

上段の北西辺、第1号墓の南南東側に位置する。墓壙は長方形を呈し、上面134×115cm・底面90×85cm・深さ100cmを測る。南角は樹根による撹乱壙がある。北東辺は第10号墓と重複するが、新旧関係は不明である。棺は81×40cm・深さ33cmを測る短い長方形横棺であり、主軸はＮ－30°－Ｗにとる。棺内には銭６・鉄製和鋏が副葬されていた。人骨の出土状態から、葬位は北枕・西向きの右側臥屈葬である。

第３号墓（第65・67図、図版53－③）

上段中央の西辺、第２号墓の南東側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面96×82cm・底面72×62cm・深さ92cmを測る。棺は上径45cm・底径37cmを測る桶棺である。棺内副葬品無く、人骨も残っていなかった。

第４号墓（第65・67図、図版53－④）

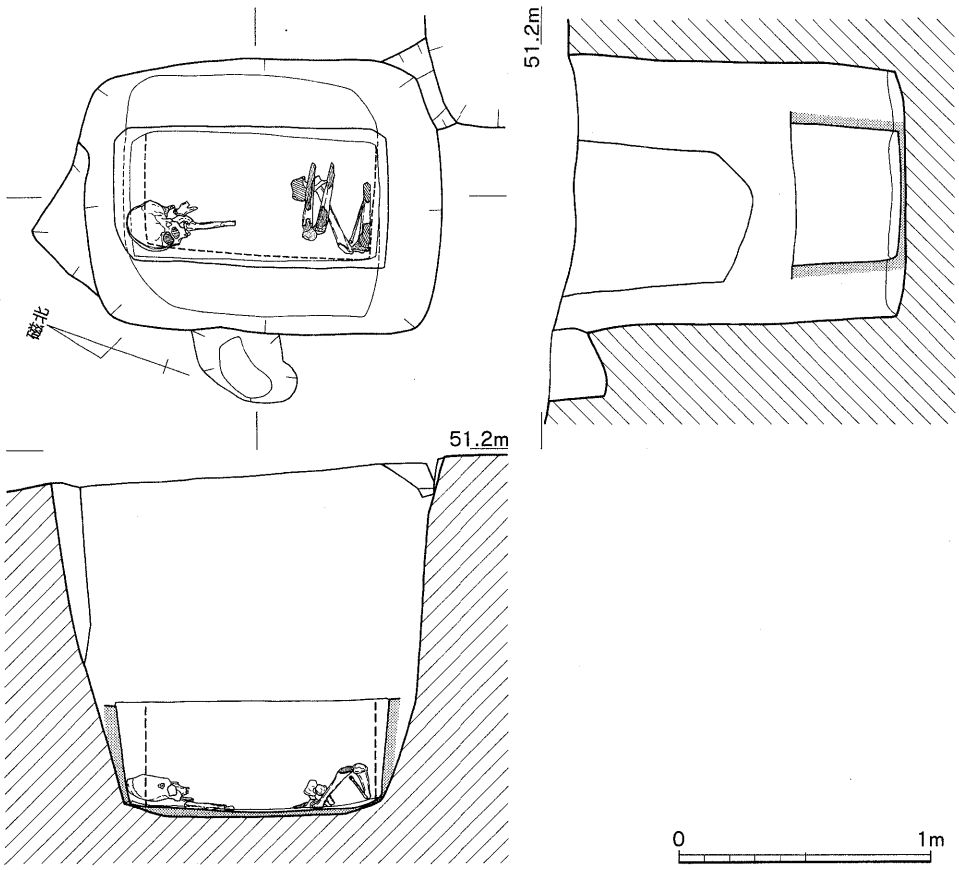
上段中央の西辺、第３号墓の南東側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面153×133cm・底面105×99cm・深さ199cmを測る。棺は上径58cm・底径51cmを測る桶棺で、深さ82cmを残す。墓壙底面の圧痕から桶底部の内径は45cmと考える。墓壙内から鉄釘が僅かに出土した。人骨は棺底に崩れ落ちていたが、葬位は南西向きの立膝座葬と考える。

第５号墓（第65・67図、図版53－⑤⑥）

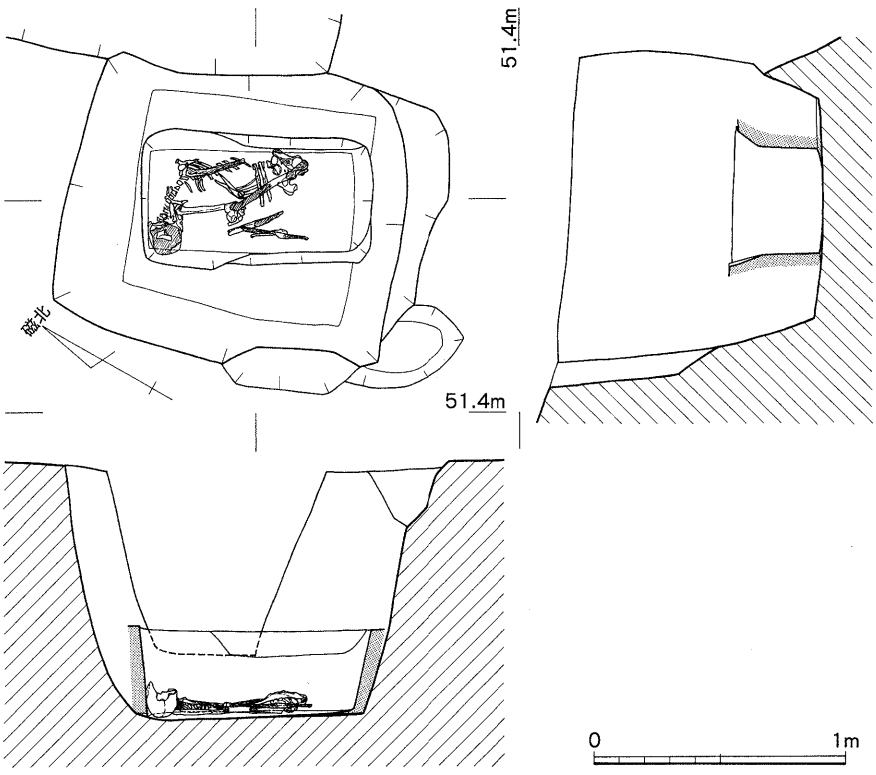
上段の南端寄りに位置する。墓壙は方形を呈し、上面138×121cm・底面84×83cm・深さ199cmを測る。棺は上径67.0cm・底径57.0cmを測る桶棺で、深さ96.0cmを残す。墓壙底面の圧痕から、桶底部の内径は53.0cmと考える。また、桶底部の外側には十字に組んだ棺材の痕跡があり、交点から大きめの鉄釘が出土した。人骨は棺底に崩れ落ちていたが、葬位は南西向きの立膝座葬と考える。

第６号墓（第65・67図、図版54－①）

上段の南端寄り、第５号墓の南側に位置する。墓壙は長方形を呈し、上面149×95cm・底面

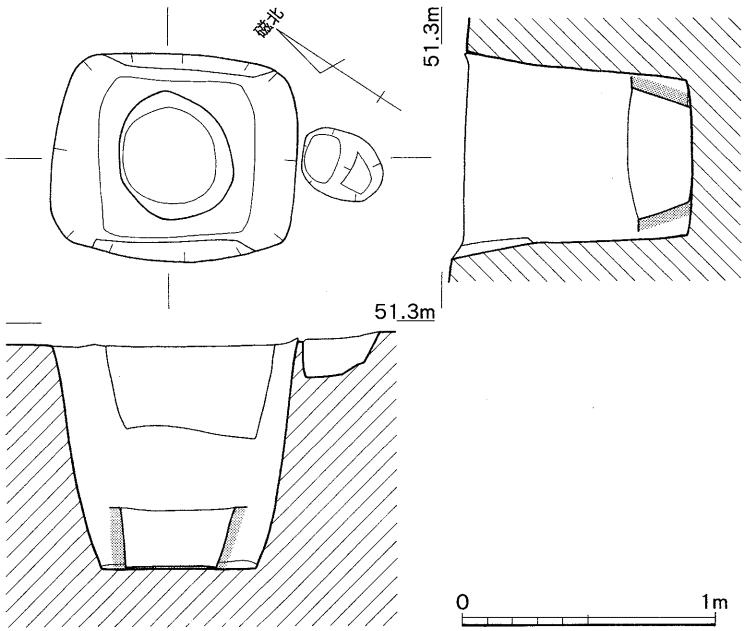


第１号墓

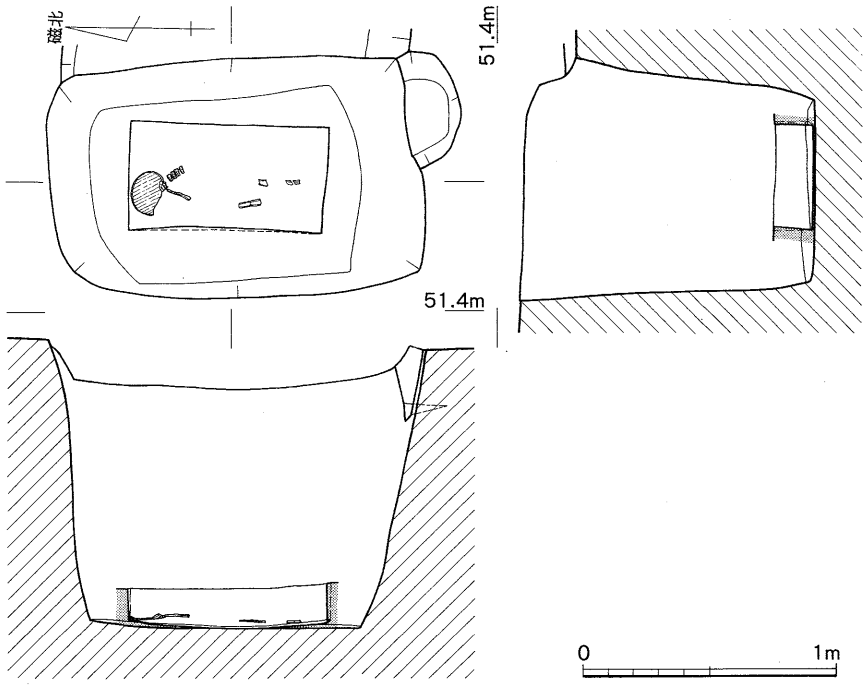


第２号墓

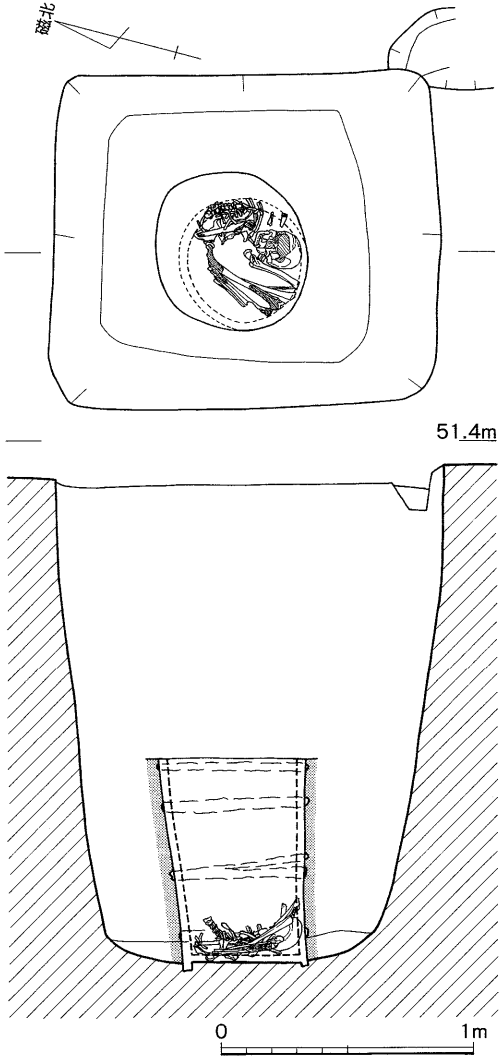
第66図　原田第40号墓地　第１・２号墓実測図（S=1/30）



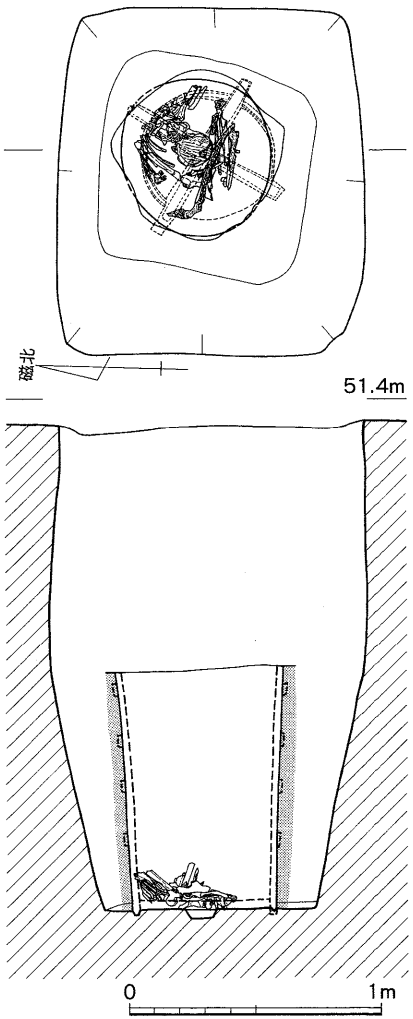
第３号墓



第６号墓



第４号墓



第５号墓

第67図　原田第40号墓地　第３～６号墓実測図（S=1/30）

107×71cm・深さ111cmを測る。棺は78×42cmを測る短い長方形横棺であり、主軸はN－1°－Wにとる。出土品は無い。人骨の残りは良くないが、葬位は北枕・西向きの右側臥屈葬と考える。

第７号墓（第65・68図、図版54－②～④）

上段の南辺、東寄りに位置する。墓壙は長方形を呈し、上面114×82cm・底面81×55cm・深さ112cmを測る。棺は69×36cmを測る短い長方形横棺であり、主軸はN－6°－Eにとる。
棺内から数珠玉24が出土した。人骨は残っていなかったため、葬位は不明である。

第８号墓（第65・68図、図版54－⑤）

上段の最南端に位置する。墓壙は長方形を呈し、上面171×126cm・底面92×70cm・深さ161cmを測る。棺は81×43cm・深さ42cmを測る短い長方形横棺であり、主軸はN－7°－Eにとる。出土品は無い。人骨の残りは良くないが、葬位は右側臥屈葬と考える。

第９号墓（第65・69図、図版54－⑥）

上段の南側西辺、第４・５号墓の間に位置する。墓壙は方形を呈し、上面136×134cm・底面90×88cm・深さ282cmを測る。棺は上径57cm・底径53cmを測る桶棺であり、深さ68cmを残す。墓壙底面の圧痕から桶底部内径は45～47cmと考える。墓壙内から鉄釘が少量出土した。人骨の出土状態から、葬位は南西向きの立膝座葬である。

第１０号墓（第65・70図、図版55－①）

上段北西側、第２号墓の北東側に位置する。墓壙は長方形を呈し、上面183×148cm・底面113×74cm・深さ157cmを測る。棺は101×48cm・深さ56cmを測る短い長方形横棺であり、主軸はN－24°－Wにとる。墓壙内から鉄釘が僅かに出土した。人骨の出土状態から、葬位は頭部を北西側に置いた南西向きの右側臥屈葬である。

第１１号墓（第65・70図、図版55－②）

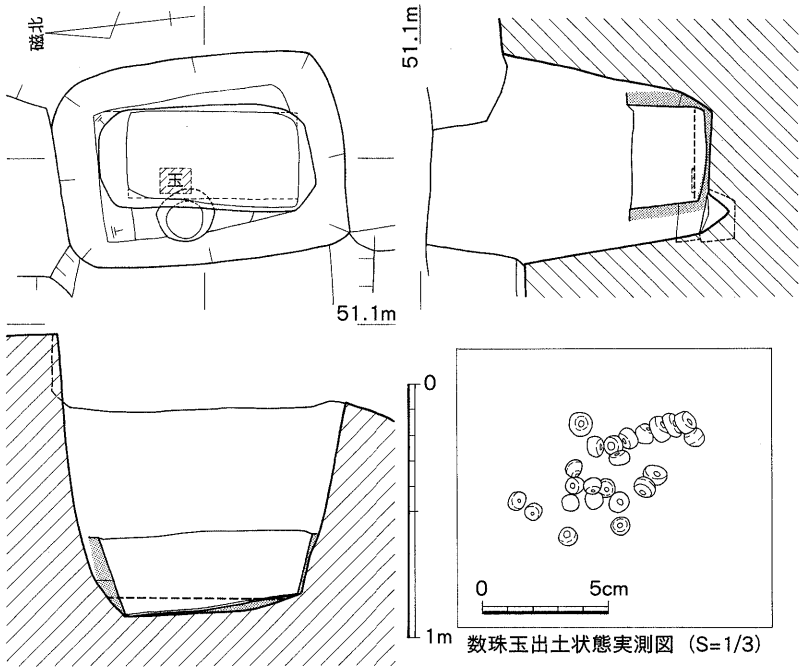
上段の南東端寄り、第７号墓の北東側に位置する。墓壙は長方形を呈し、上面182×152cm・底面119×81cm・深さ128cmを測る。棺は98×66cmを測る短い長方形横棺であり、主軸はN－14°－Eにとる。人骨の出土状態から、葬位は北枕・西向きの右側臥屈葬である。

第１２号墓（第65・69図、図版55－③）

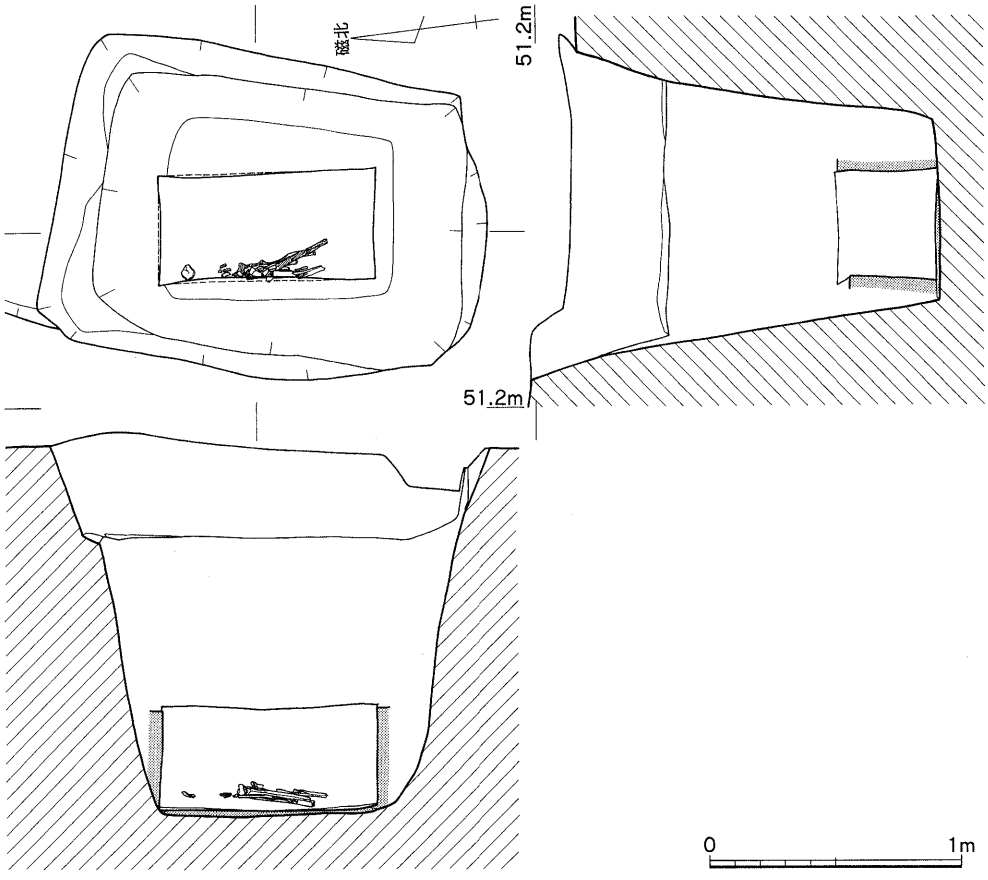
上段南東隅、第１１号墓の北北東に位置する。墓壙は円形を呈し、上面99×88cm・底面83×56cm・深さ81cmを測る。副葬品も人骨も出土しなかったが、地上に墓碑銘不明の第３１号墓石が建っており、土葬墓として扱った。

第１３号墓（第65・69図、図版55－④～⑥）

上段の南辺中央、第６・７号墓の間に位置する。墓壙は方形を呈し、上面185×167cm以上・底面133×130cm・深さ189cmを測る。第40号墓地の方形墓壙としては最大規模である。棺は46×

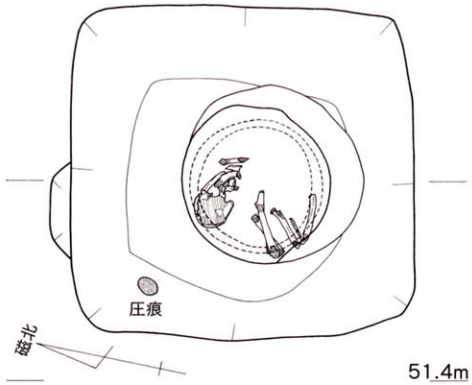


第７号墓

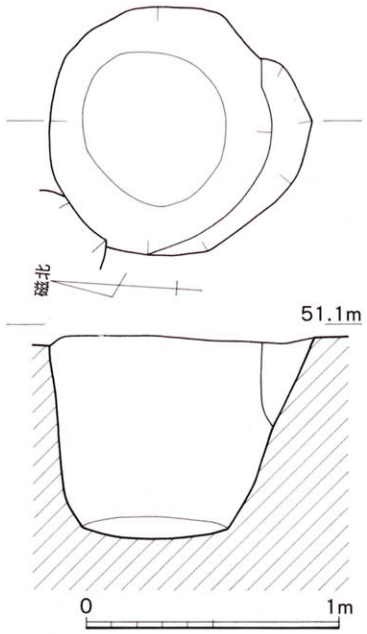


第８号墓

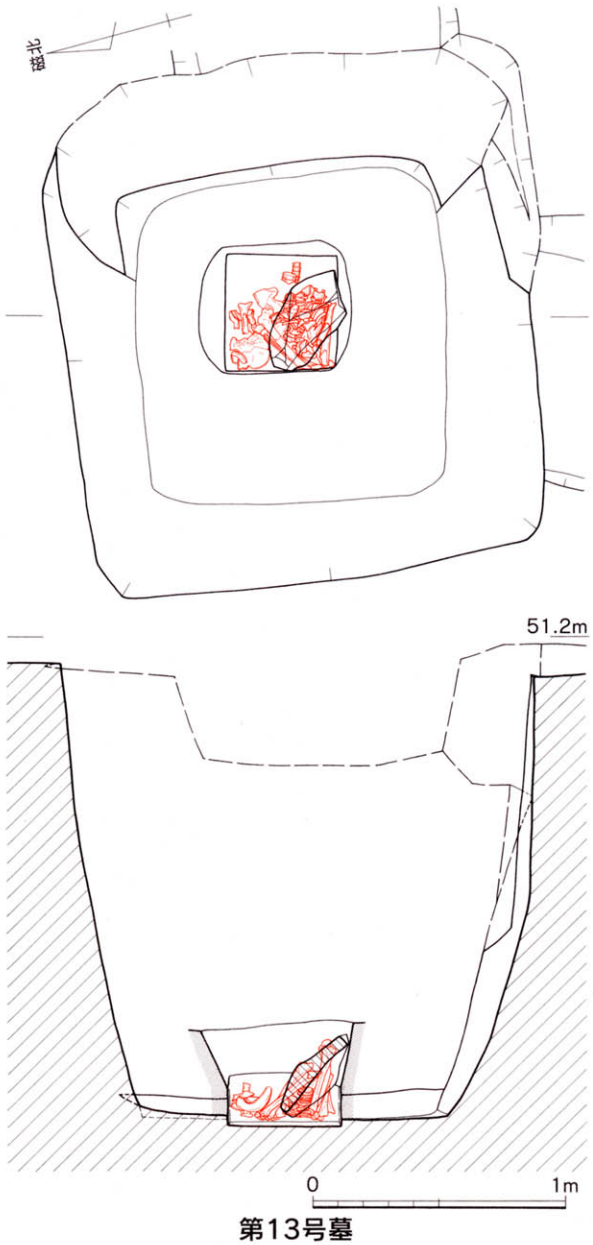
第68図　原田第40号墓地　第７・８号墓実測図（S=1/30）



第９号墓

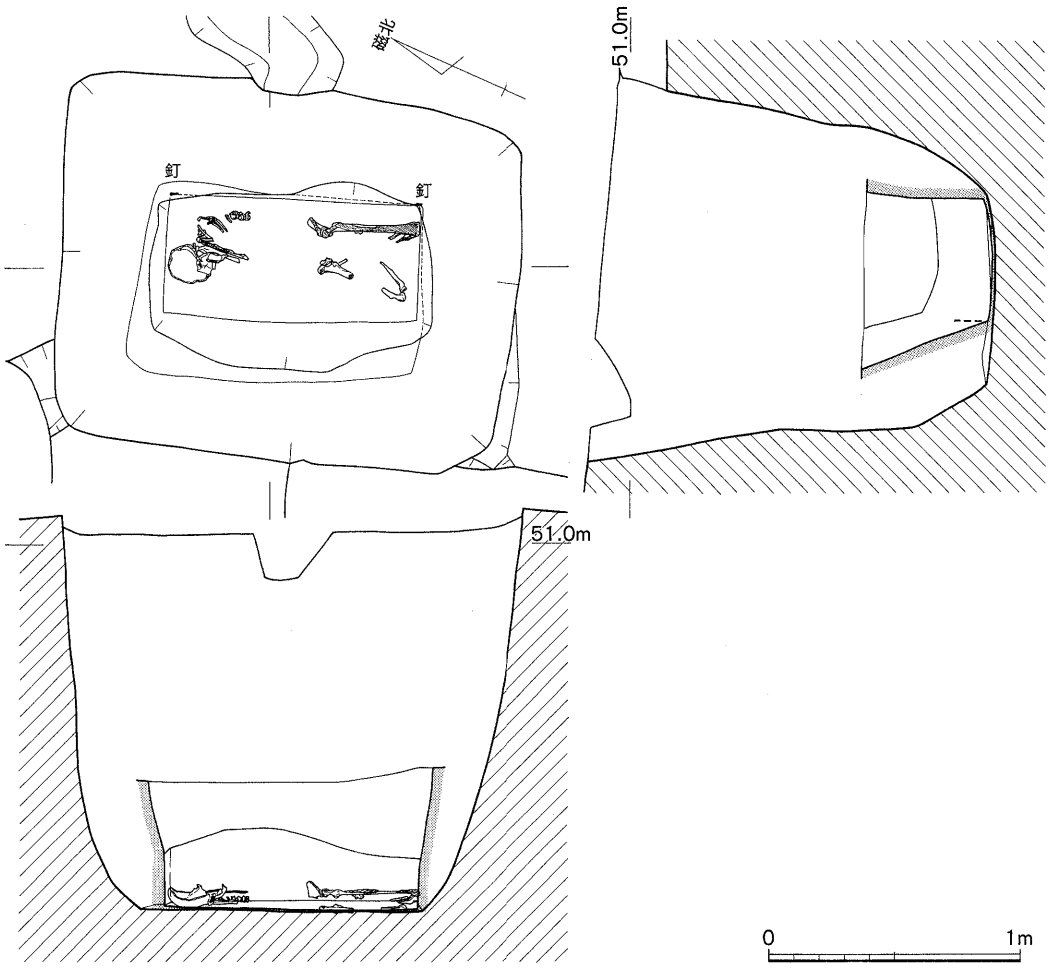


第12号墓

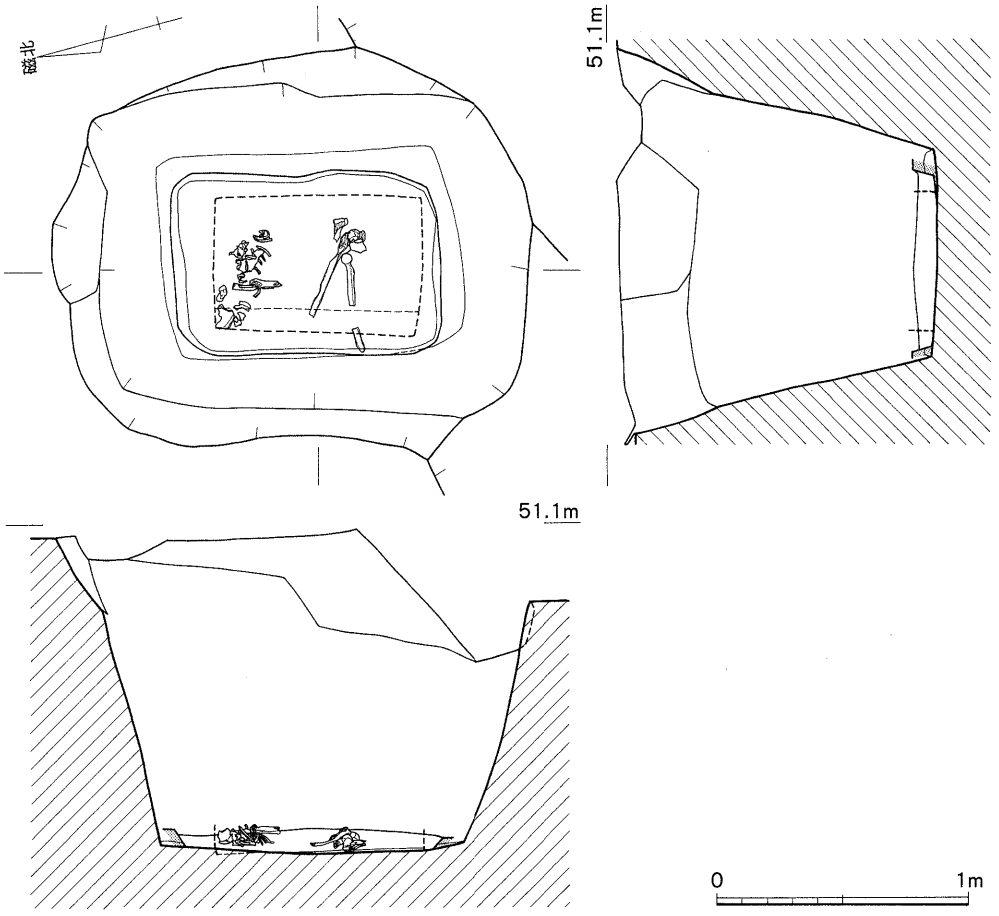


第13号墓

第69図　原田第40号墓地　第９・12・13号墓実測図（S=1/30）



第10号墓



第11号墓

第70図　原田第40号墓地　第10・11号墓実測図（S=1/30）

45cmを測る正方形縦棺であり、深さ42cmを残す。棺内に花崗岩の平石が落ち込んでいる。人骨の出土状態から、葬位はやや北西向きの立膝座葬である。

第１４号墓（第65・71図、図版56－①）

上段の北西角寄り、第１号墓の北西側に位置する。墓壙は長方形を呈し、上面122×94cm・底面83×72cm・深さ67cmを測る。棺は65×43cmを測る短い長方形横棺であり、主軸はＮ－21.5°－Wにとる。人骨の残りは良くないが、葬位は頭部を北西側に置いた南西向きの右側臥屈葬と考える。

第１５号墓（第65・71図、図版56－②）

上段の北側、第１０号墓の東北東側に位置する。墓壙は長方形を呈し、上面116×88cm・底面64×49cm・深さ85cmを測る。棺は確認できなかった。墓壙の南辺には円形の小土壙と幅７～８cmの段がある。棺は確認できなかった。墓壙内から数珠玉２が出土した。人骨は僅かに残っていただけで、葬位は不明である。

第１６号墓（第65・71図、図版56－③④）

上段北辺の中央、第１５号墓の北西側に位置する。墓壙は長方形を呈し、上面188×116cm・底面130×65cm・深さ123cmを測る。墓壙の北角には樹根による撹乱壙がある。棺は82×40cm・深さ57cmを測る短い長方形横棺であり、主軸はＮ－12°－Wにとる。墓壙内から少量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は北枕の仰臥屈葬と考える。

第１７号墓（第65・72図、図版56－⑤）

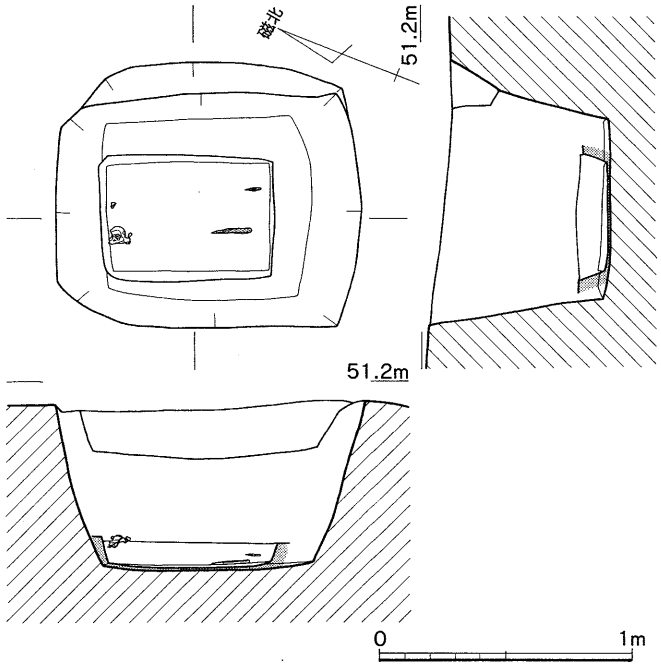
上段北端、第１６号墓の北西側に位置する。墓壙は長方形を呈し、上面164×123cm・底面128×85cm・深さ142cmを測る。墓壙の北角には樹根による撹乱壙がある。棺は97×44cmを測る短い長方形横棺であり、主軸はＮ－9.5°－Wにとる。墓壙内から棺材と考える板片および青銅製金具1が出土した。人骨の出土状態から、葬位は北枕・西向きの右側臥屈葬である。

第１８号墓（第65・72図、図版56－⑥）

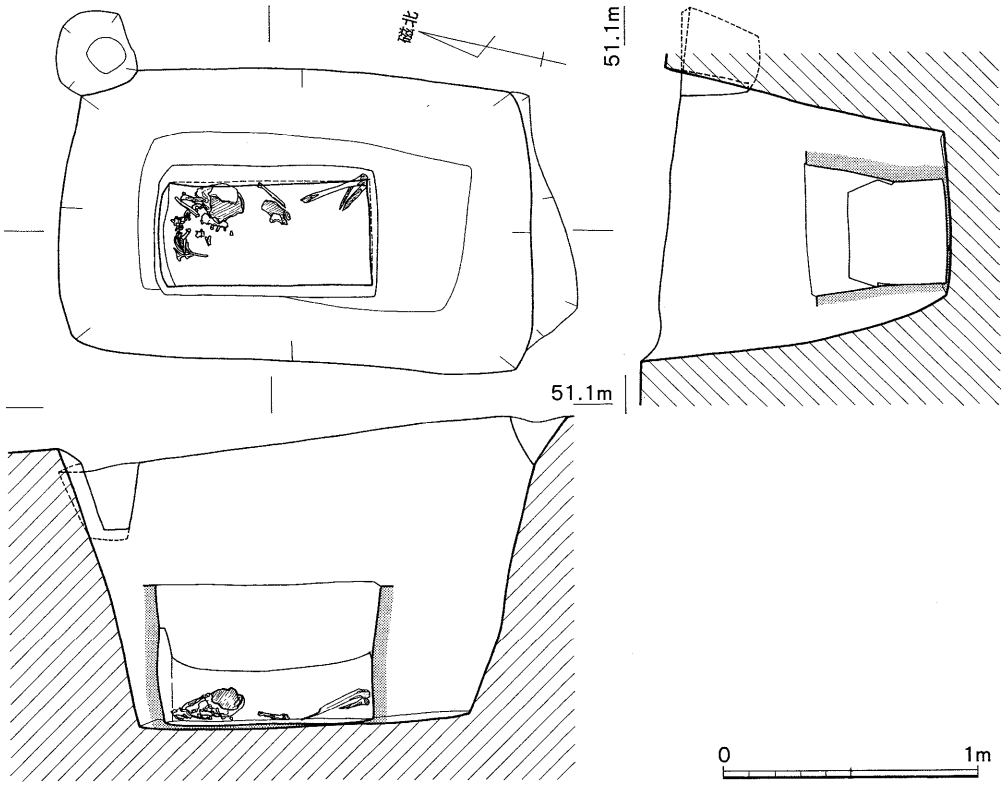
上段北辺の中央、第１６号墓の北東側に位置する。墓壙は上位の崩れが著しく、方形に近い長方形を呈する。上面144×138cm・底面118×99cm・深さ127cmを測る。墓壙の北辺と南辺には樹根による撹乱壙がある。棺は96×50cmを測る短い長方形横棺であり、主軸はＮ－17.5°－Wにとる。棺内から数珠玉２が、墓壙内から板片が出土した。人骨の残りは良くないが、葬位は北枕・西向きの右側臥屈葬と考える。

第１９号墓（第65・73図、図版57－①）

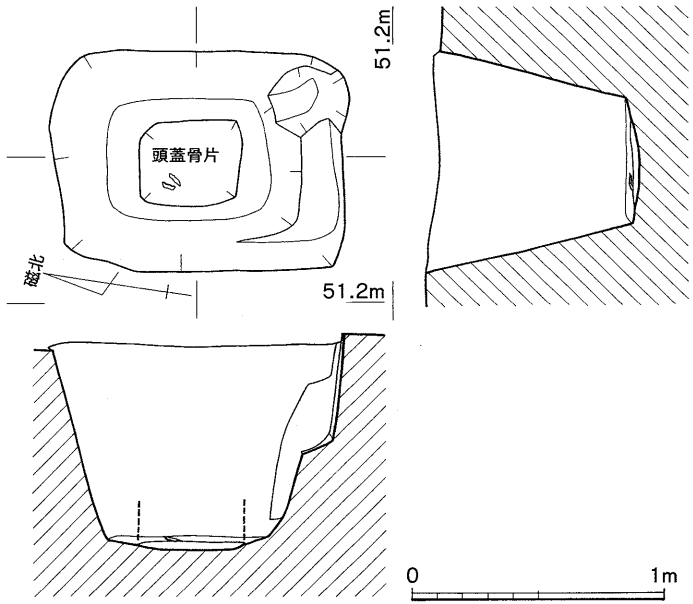
上段中央の東寄りに位置する。墓壙は長方形を呈し、上面142×120cm・底面116×76cm・深さ88cmを測る。墓壙の北東側は樹根により撹乱を受けている。棺は81×44cmを測る短い長方形横棺であり、主軸はＮ－２°－Wにとる。墓壙内から陶器皿片が出土した。人骨の出土状態から、



第14号墓

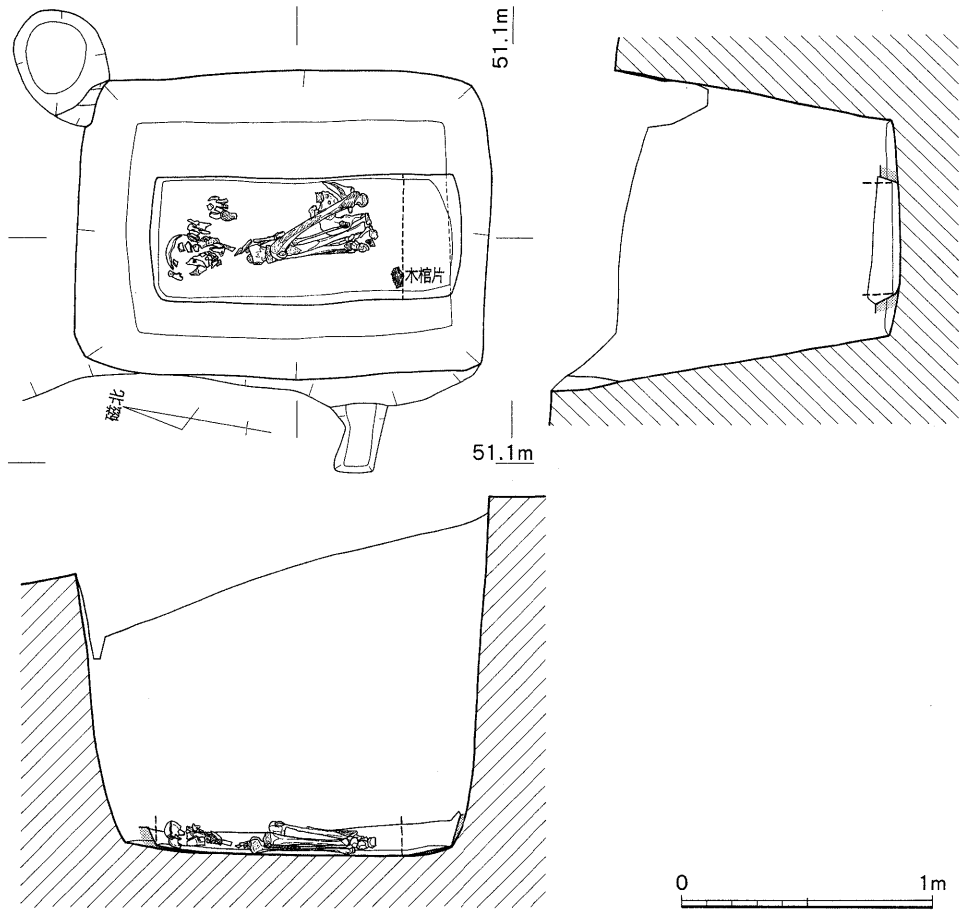


第16号墓

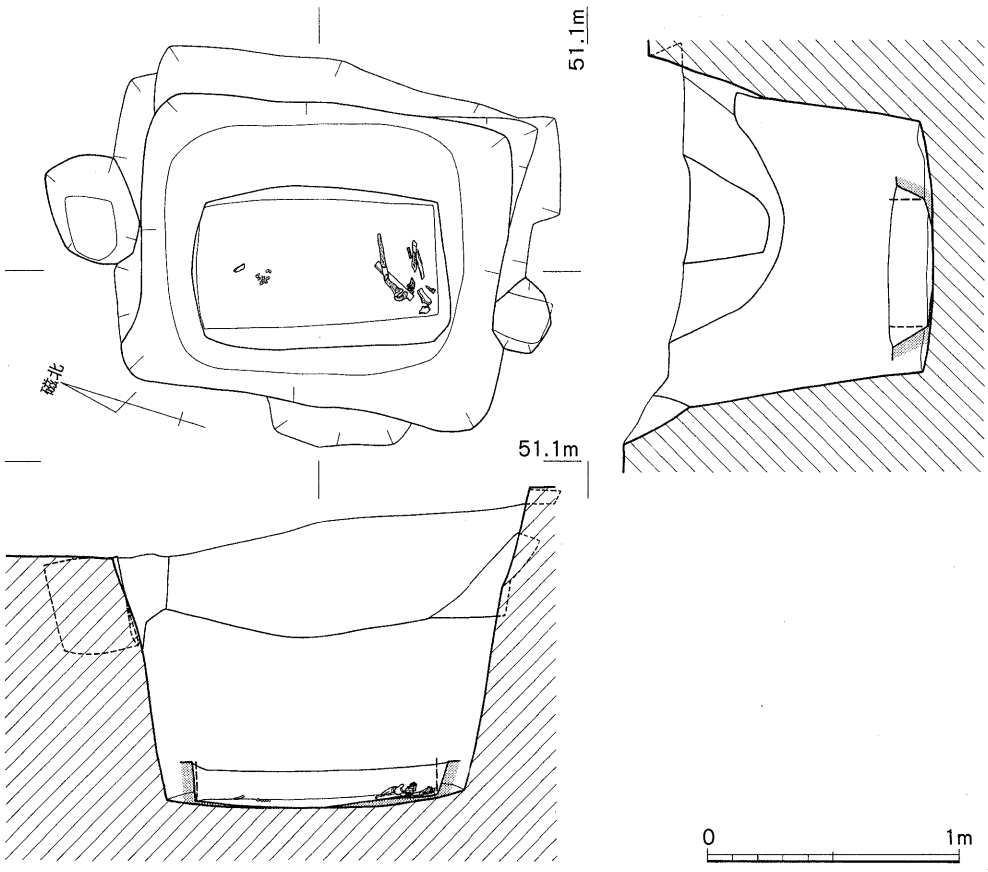


第15号墓

第71図　原田第40号墓地　第14～16号墓実測図（S=1/30）

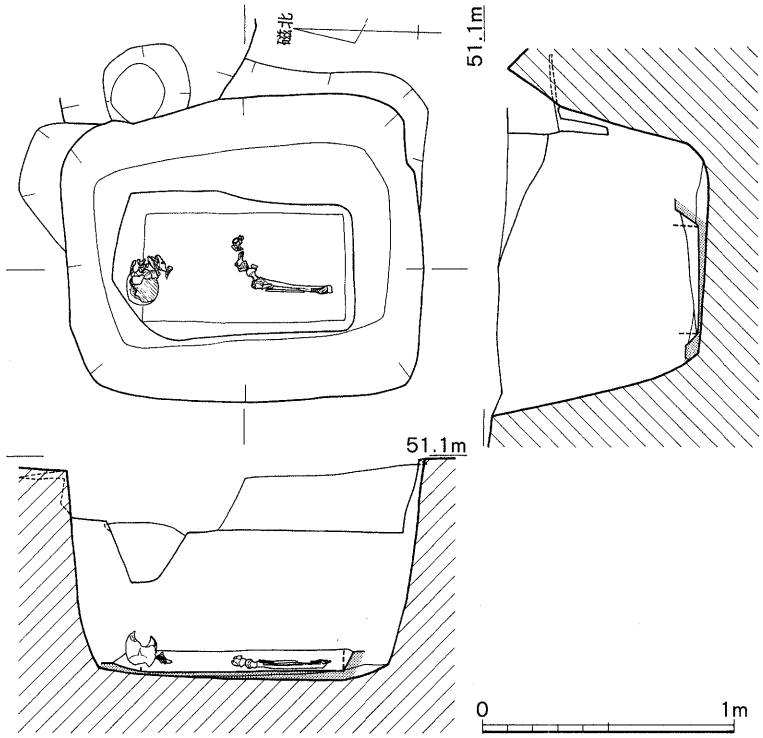


第17号墓

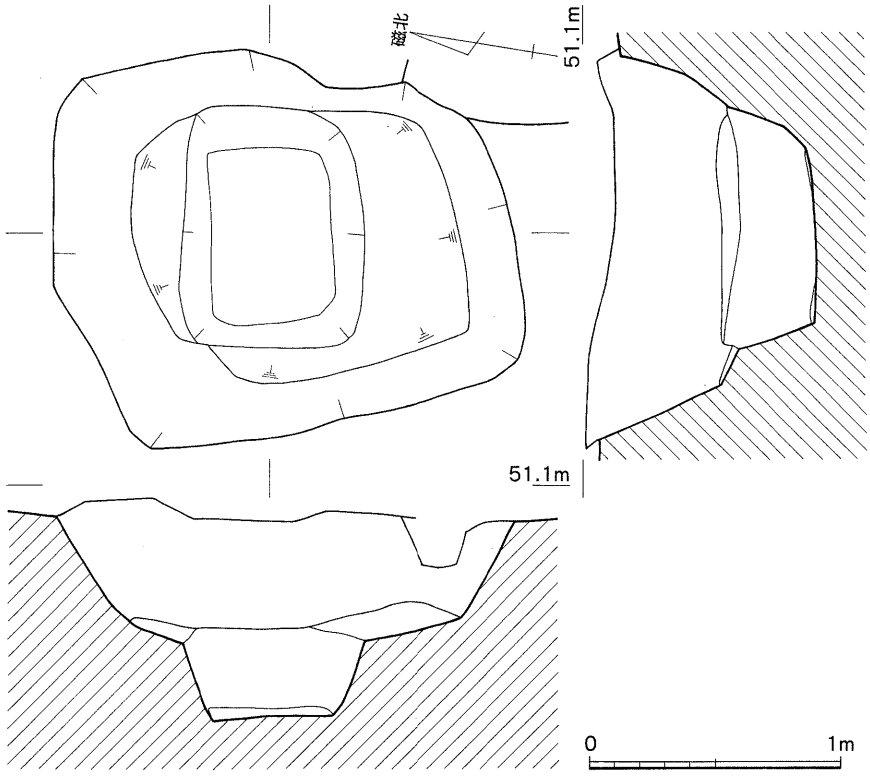


第18号墓

第72図　原田第40号墓地　第17・18号墓実測図（S=1/30）



第19号墓



第20号墓

第73図　原田第40号墓地　第19・20号墓実測図（S=1/30）

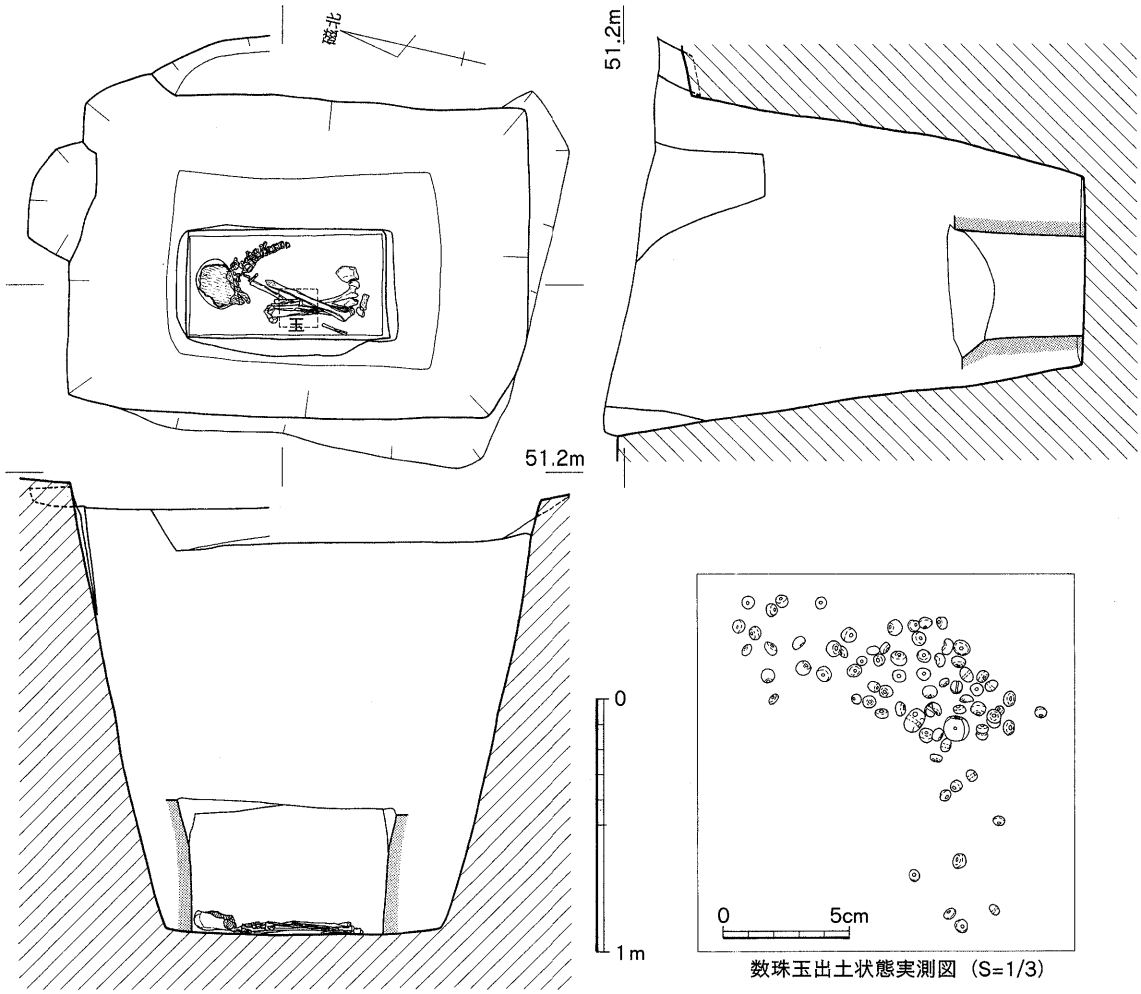
葬位は北枕・西向きの右側臥屈葬である。

第２０号墓（第65・73図、図版46－⑤、57－②）

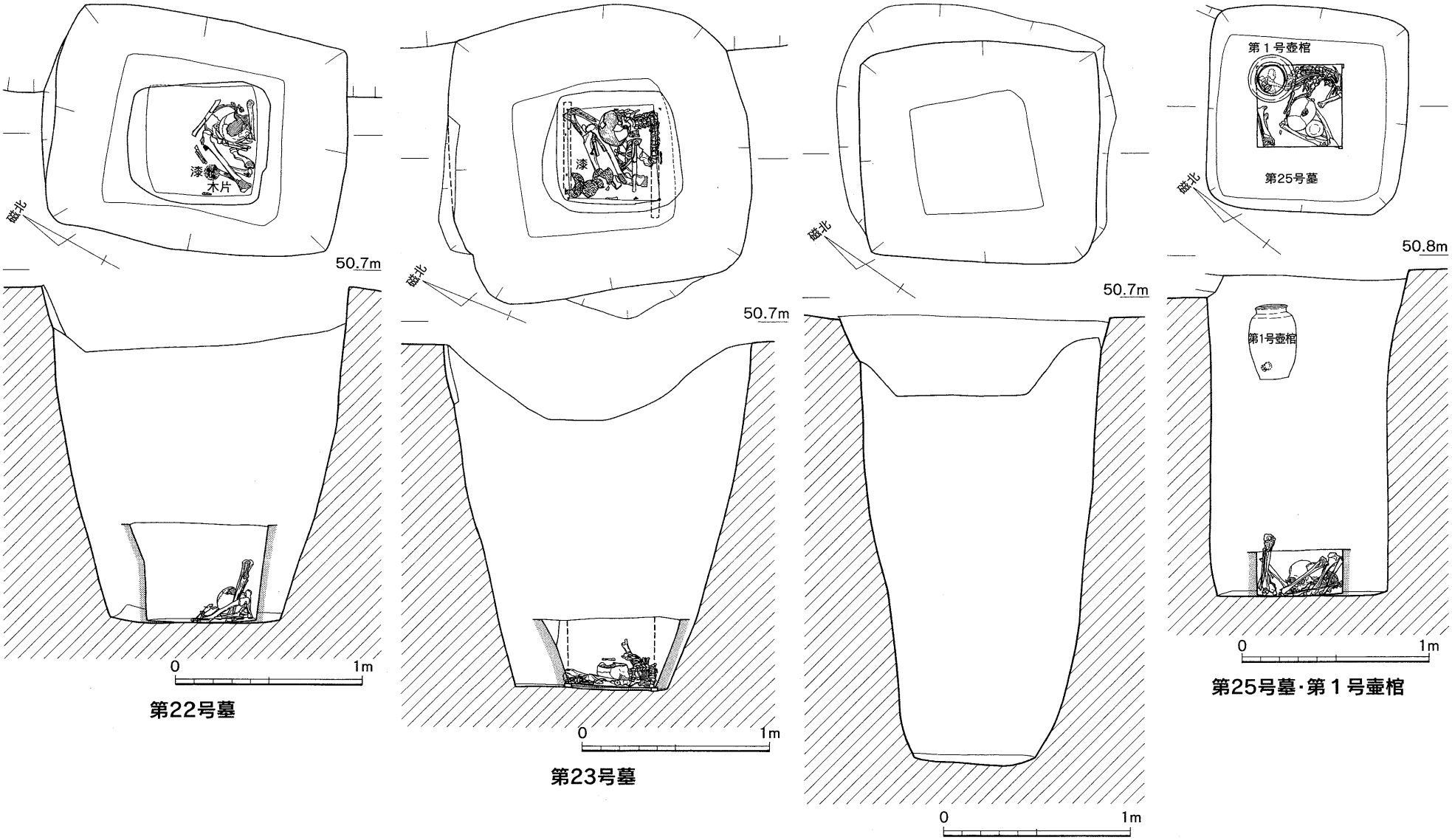
上段中央の東寄り、第１９号墓の南東側に位置する。樹根による撹乱著しく、墓壙は不整の長方形を呈する２段掘りである。上段は南北に長軸をとり、上面184×154cm・底面130×110cm・深さ50～59cmを測る。下段は東西に長軸をとり、上面96×73cm・底面70×48cm・深さ27～36cmを測る。人骨の出土無く土葬墓とは考えにくいが、墓壙の地上に第４３号墓石が建っており土葬墓として扱った。

第２１号墓（第65・74図、図版57－③④）

上段南側の中央、第１３号墓の北側に位置する。墓壙は長方形を呈し、上面183×134cm・底面109×74cm・深さ180cmを測る。墓壙の北辺は樹根による撹乱を受けている。棺は76×39cm・深さ53cmを測る短い長方形横棺であり、主軸はN－13°－Wにとる。棺内から数珠玉71が出土した。人骨の出土状態から、葬位は北枕・西向きの右側臥屈葬である。



第74図　原田第40号墓地　第21号墓実測図（S=1/30）



第75図　原田第40号墓地　第22～25号墓・第１号壺棺実測図（S=１/30）

第２２号墓（第65・75図、図版57－⑤⑥）

中段、南東端に位置する。墓壙は長方形を呈し、上面158×126cm・底面91×78cm・深さ181cmを測る。棺は59×59cm・深さ54cmを測る正方形縦棺である。本墓は長方形墓壙と正方形縦棺とが組み合わさった唯一の例である。棺内から銭６・漆膜が出土し、墓壙内から棺材と考える板片・金具および少量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は北西向きの立膝座葬である。

第２３号墓（第65・75図、図版58－①）

中段南東辺、第２２号墓の北西側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面158×152cm・底面84×81cm・深さ188cmを測る。棺は51×50cmを測る正方形縦棺であり、崩れているが深さ38cmを残す。棺底外に２本の横木の痕跡を検出した。棺内には銭５・鉄製毛抜１・漆器（膜）３が副葬されており、棺外から陶器碗１が出土した。墓壙内からやや少量の鉄釘が出土した。人骨は棺底に崩れ落ちていたが、葬位は北西向きの立膝座葬と考える。

第２４号墓（第65・75図、図版58－②）

中段南東辺、第２３号墓の北西側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面128×119cm・底面64×62cm・深さ241cmを測る。棺は確認できなかった。墓壙内から磁器仏飯器片１・磁器碗片１・土師皿３と少量の鉄釘が出土した。人骨は残っておらず、葬位は不明である。

第２５号墓（第65・75図、図版58－③④）

中段中央の南東寄り、第２４号墓の北西側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面111×107cm・底面91×87cm・深さ175cmを測る。本墓の棺は45×44cmを測る正方形縦棺である。棺内には銭４・磁器碗１が副葬されており、布片も出土した。墓壙内からは多量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は南西向きの立膝座葬である。墓壙内の北角寄り上位に小型壺（第１号壺棺）が出土したが、本墓との関係は不明である。

第２６号墓（第65・76図、図版58－⑤）

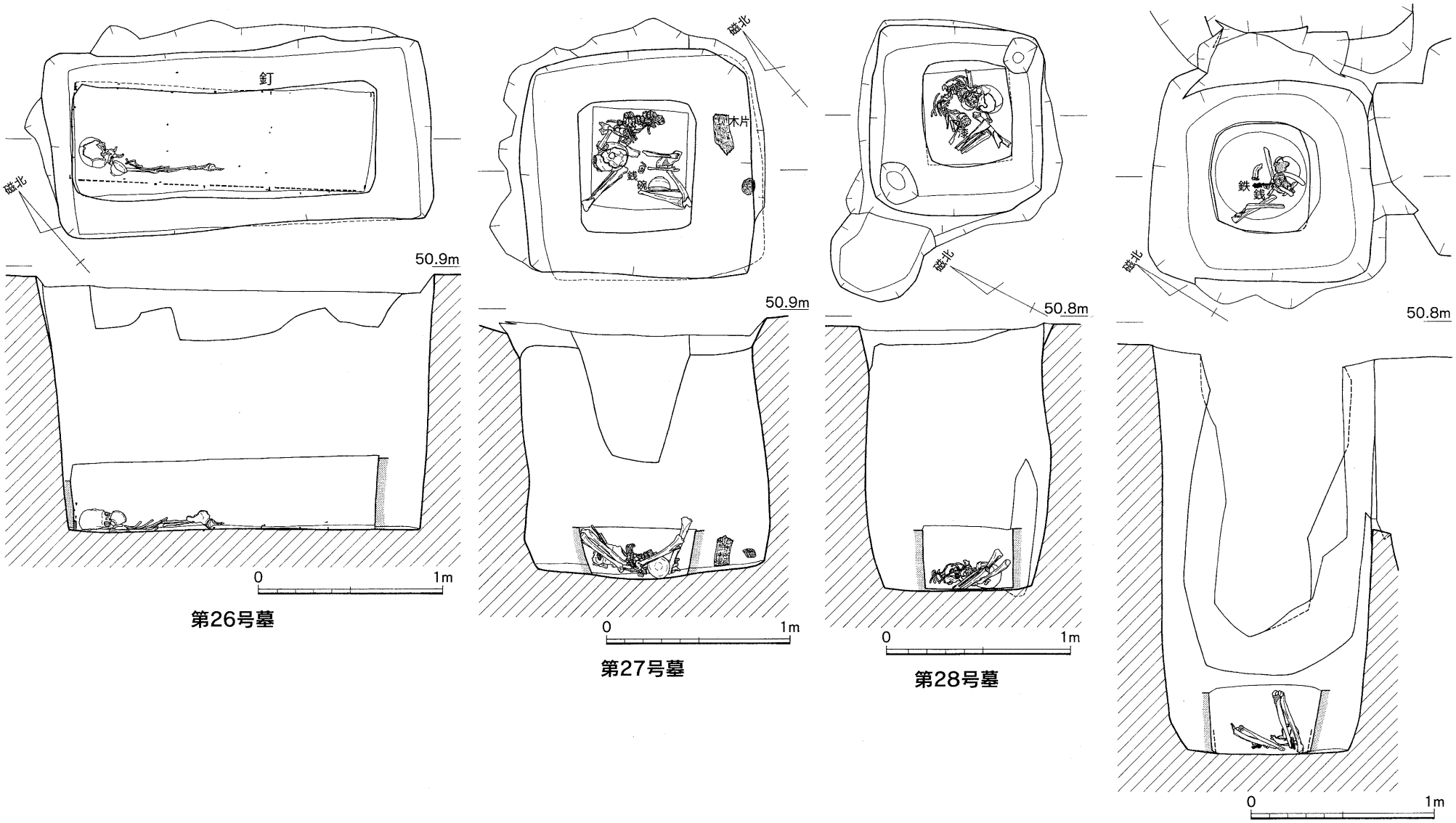
中段中央の南西辺、第２５号墓の西側に位置する。墓壙は長い長方形を呈し、上面208×96cm・底面188×92cm・深さ140cmを測る。棺は163×55cm・深さ40cmを測る長い長方形横棺であり、主軸はＮ－50°－Ｗにとる。棺内には磁器碗１が副葬されており、墓壙内から少量の鉄釘が出土した。人骨の残りは良くないが、葬位は仰臥伸展葬と考える。

第２７号墓（第65・76図、図版58－⑥、59－①）

中段中央の西角、第２６号墓の北西側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面126×125cm・底面122×122cm・深さ144cmを測る。棺は55×52cmを測る正方形縦棺であり、深さ28cmを残す。棺内には銭６・磁器碗１が副葬されており、墓壙内から多量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は南西向きの立膝座葬である。

第２８号墓（第65・76図、図版59－②）

中段中央の西辺、第２７号墓の北側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面104×94cm・底面



第76図　原田第40号墓地　第26～29号墓実測図（S=1/30）

84×80cm・深さ146cmを測る。墓壙内の東角と西角に小土壙が掘られている。棺は51×47cmを測る正方形縦棺であり、深さ34cmを残す。棺内には銭６・磁器碗１が副葬されており、棺外から土師皿２・磁器碗１・磁器猪口１・青磁火入れ１・陶器蓋１が出土した。また墓壙内から少量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は南西向きの立膝座葬である。

第２９号墓（第65・76図、図版59－③④）

中段中央、第２８号墓の東側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面120×110cm・底面92×89cm・深さ225cmを測る。墓壙の南東側で第７４号墓と、北東側で第７８号墓と接して崩れているが、重複している訳ではなく、本墓壙と両墓壙との間に改葬壙が掘られた跡と考える。墓壙底面の色調から、棺は底径48～50cmを測る桶棺であり、深さ38cmを残す。棺内には銭６・鉄製毛抜１・漆膜１が副葬されており、墓壙内から少量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は西向きの立膝座葬である。

第３０号墓（第65・77図、図版59－⑤）

上段南東側、第１１号墓の北西側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面148×124cm・底面101×97cm・深さ71cmを測る。底面には上面68×65cm・深さ７cmを測る方形の穴があり、棺の圧痕と考えるが、明確な棺は確認できなかった。墓壙の南側に張り出しの段があり、改葬壙と考える。墓壙内から煙管１が出土した。人骨が僅かに残っており、葬位は西向きの右側臥屈葬とみなされるが、断定できない。

第３１号墓（第65・77図、図版59－⑥）

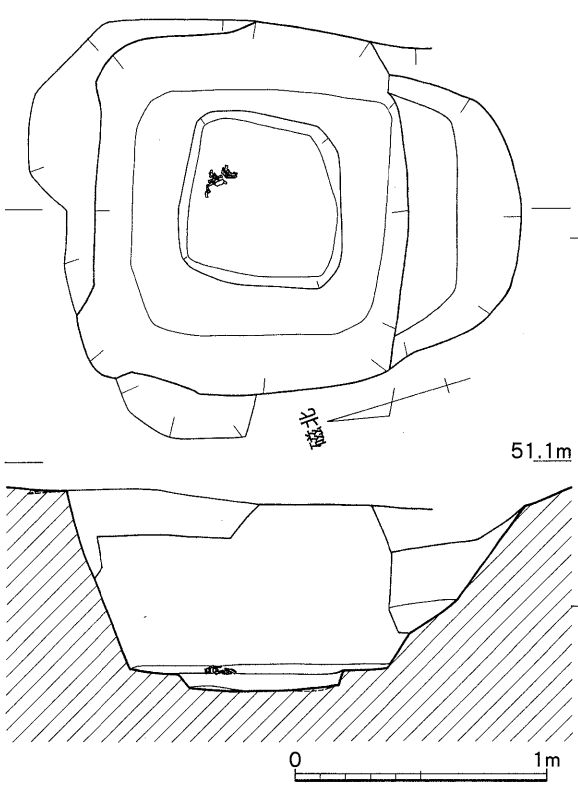
上段南東角、第３０号墓の東側に位置する。墓壙は東・南側がカットされているが、長方形を呈する。上面193×100cm以上・底面169×93cm以上・深さ58cmを測る。底面には上面74×45cm・深さ30cmを測る長方形の穴が掘られている。立地・墓壙形態・規模および遺物・人骨が無いことから土葬墓とは考えにくいが、一応土葬墓として扱った。

第３２号墓（第65・77図、図版46－⑥、60－①）

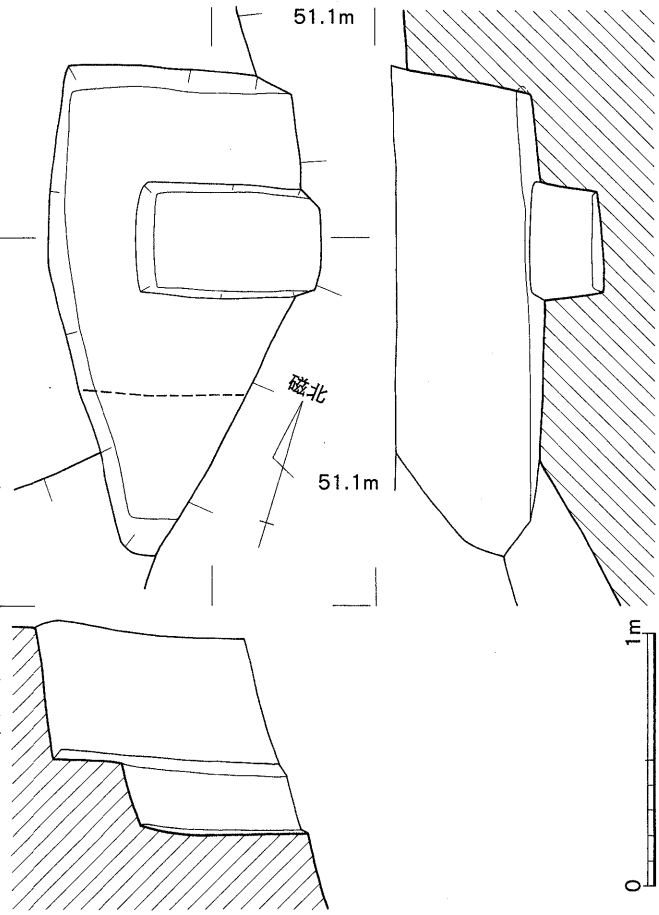
上段南東側、第３１号墓の北西側に位置する。墓壙は東側をカットされているが、方形を呈すると考える。上面154×133cm以上・底面126×122cm以上・深さ47cmを測る。棺は確認できなかった。底面には上面75×68cm・深さ14cmを測る略円形の穴が掘られている。墓壙内から磁器小杯１が出土した。墓壙北辺の地上に第４４号墓とした花崗岩２石が出土しており、一応土葬墓として扱った。

第３３号墓（第65・78図、図版60－②）

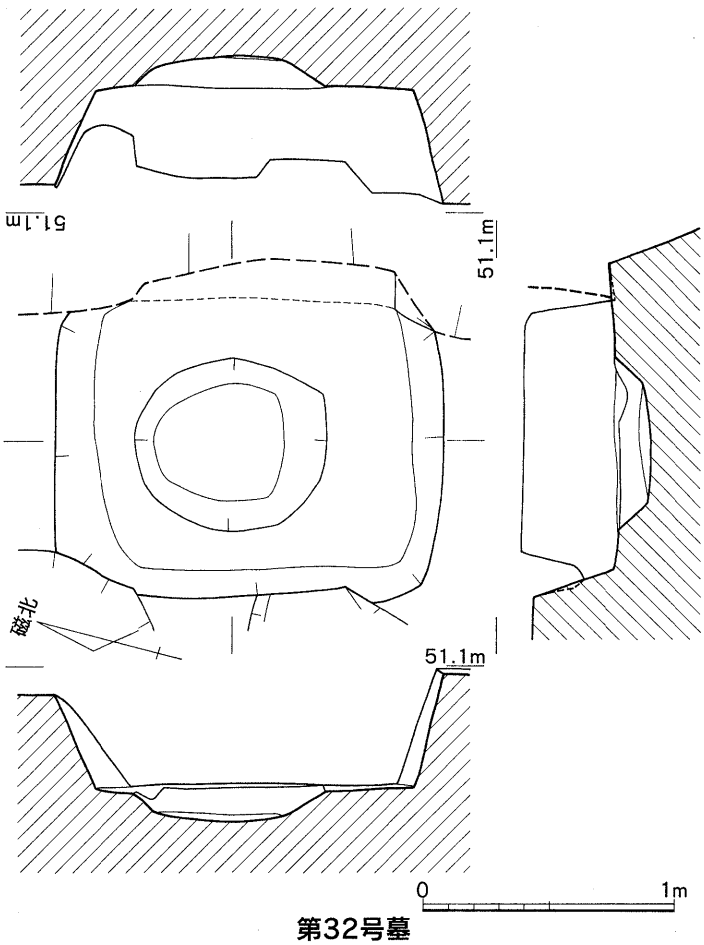
上段の中央やや南寄り、第３２号墓の西側に位置する。墓壙は長方形を呈し、上面155×115cm・底面94×75cm・深さ118cmを測る。墓壙底面の色調から、棺は76×41cmを測る短い長方形横棺であり、主軸はＮ－２°－Wにとる。出土品は無い。人骨の残りは良くないが、葬位は北枕・西向きの右側臥屈葬と考える。



第30号墓



第31号墓



第32号墓

第77図　原田第40号墓地　第30～32号墓実測図（S=1/30）

第３４号墓（第65・78図、図版60－③④）

中段中央のやや南寄り、第２５号墓の北西側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面116×112cm・底面95×92cm・深さ176cmを測る。底面には上面45×41cm・深さ６cmを測る略円形の穴を掘り、棺を据えている。棺は胴径54.5cmの甕棺である。棺内から鉋屑など死体を包むための植物片が多く出土した。墓壙内から土師皿１が出土した。人骨の残りは良く、毛髪も残っていた。人骨の出土状態から、葬位は南西向きの立膝座葬である。

第３５号墓（第65・78図、図版60－⑤）

中段中央の北西寄り、第２８号墓の北側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面110×107cm・底面76×75cm・深さ145cmを測る。棺は上径62cm・底径55cmを測る桶棺で、深さ50cmを残す。棺内には銭３が副葬され、墓壙内から土師器片１・板片１と少量の鉄釘が出土した。人骨は棺底に崩れ落ちていたが、葬位は南西向きの立膝座葬と考える。

第３６号墓（第65・79図、図版60－⑥）

中段中央のやや北寄り、第３５号墓の東側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面132×121cm・底面80×77cm・深さ202cmを測る。墓壙の南東側、第78号墓との間に改葬壙と思われる土壙があるが、定かではない。棺は上径60cm・底径50cmを測る桶棺で、深さ54cmを残す。棺内には銭６・櫛１・漆器（膜）３が副葬され、墓壙内から土師皿１と少量の鉄釘が出土した。人骨は棺底に崩れ落ちていたが、葬位は西向きの立膝座葬と考える。

第３７号墓（第65・79図、図版６１－①②）

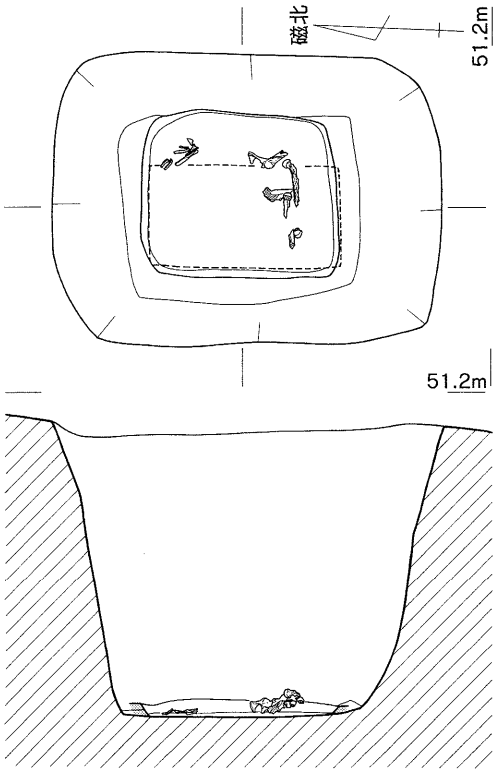
中段中央の北寄り、第３６号墓の北西側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面130×128cm・底面98×96cm・深さ239cmを測る。棺は52×51cmを測る正方形縦棺であり、深さ55cmを残す。棺内には銭４・磁器碗１が副葬され、墓壙内から白磁猪口１・土師皿１と多量の鉄釘が出土した。人骨は僅かに頭骨片が残っていただけで、葬位は不明である。

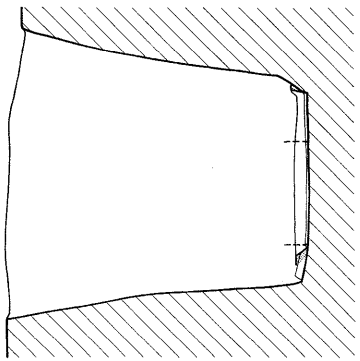
第３８号墓（第65・79図、図版６１－③④）

中段北側、第３７号墓の北西側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面120×118cm・底面88×81cm・深さ192cmを測る。墓壙の北角は第４７号墓と接するが、新旧関係は不明である。棺は54×46cmを測る正方形縦棺であり、深さ40cmを残す。棺内には銭６・磁器碗１・磁器蓋１が副葬され、墓壙内から多量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は南西向きの立膝座葬である。

第３９号墓（第65・79図、図版61－⑤⑥）

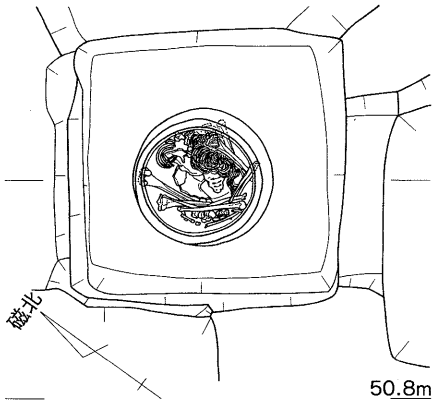
中段北西側、第３８号墓の西側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面111×102cm・底面107×102cm・深さ168cmを測る。棺は48×45cmを測る正方形縦棺であり、深さ79cmを残す。棺内には銭１・磁器鉢１・磁器蓋１が副葬され、棺外から磁器碗１が出土した。人骨の出土状態から、葬位は西向きの立膝座葬である。

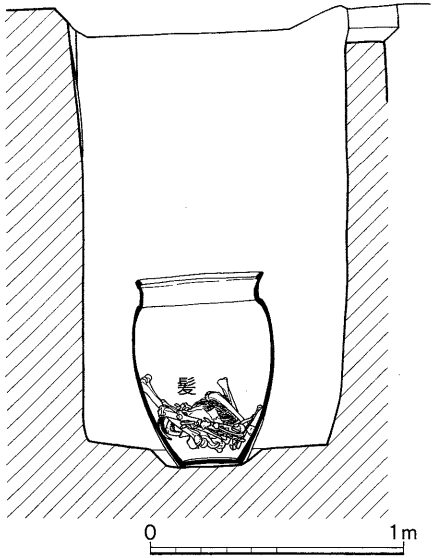




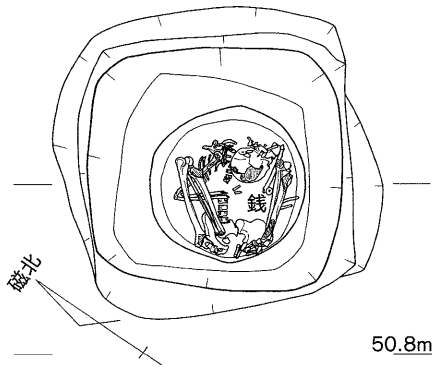


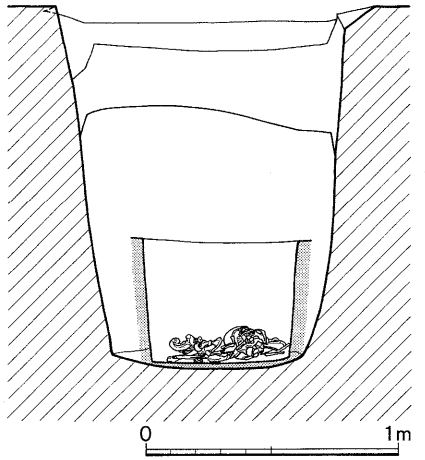
第33号墓





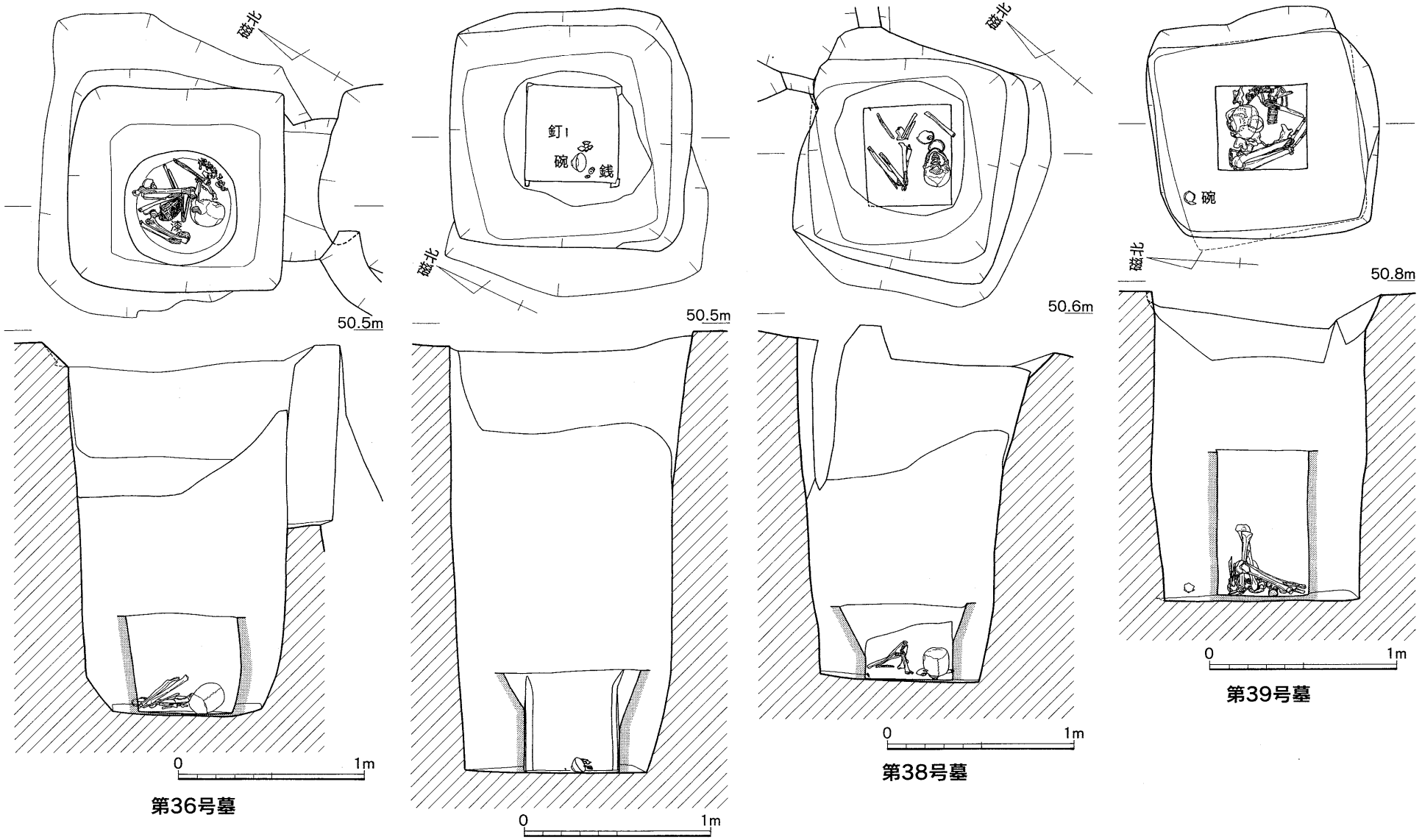
第34号墓



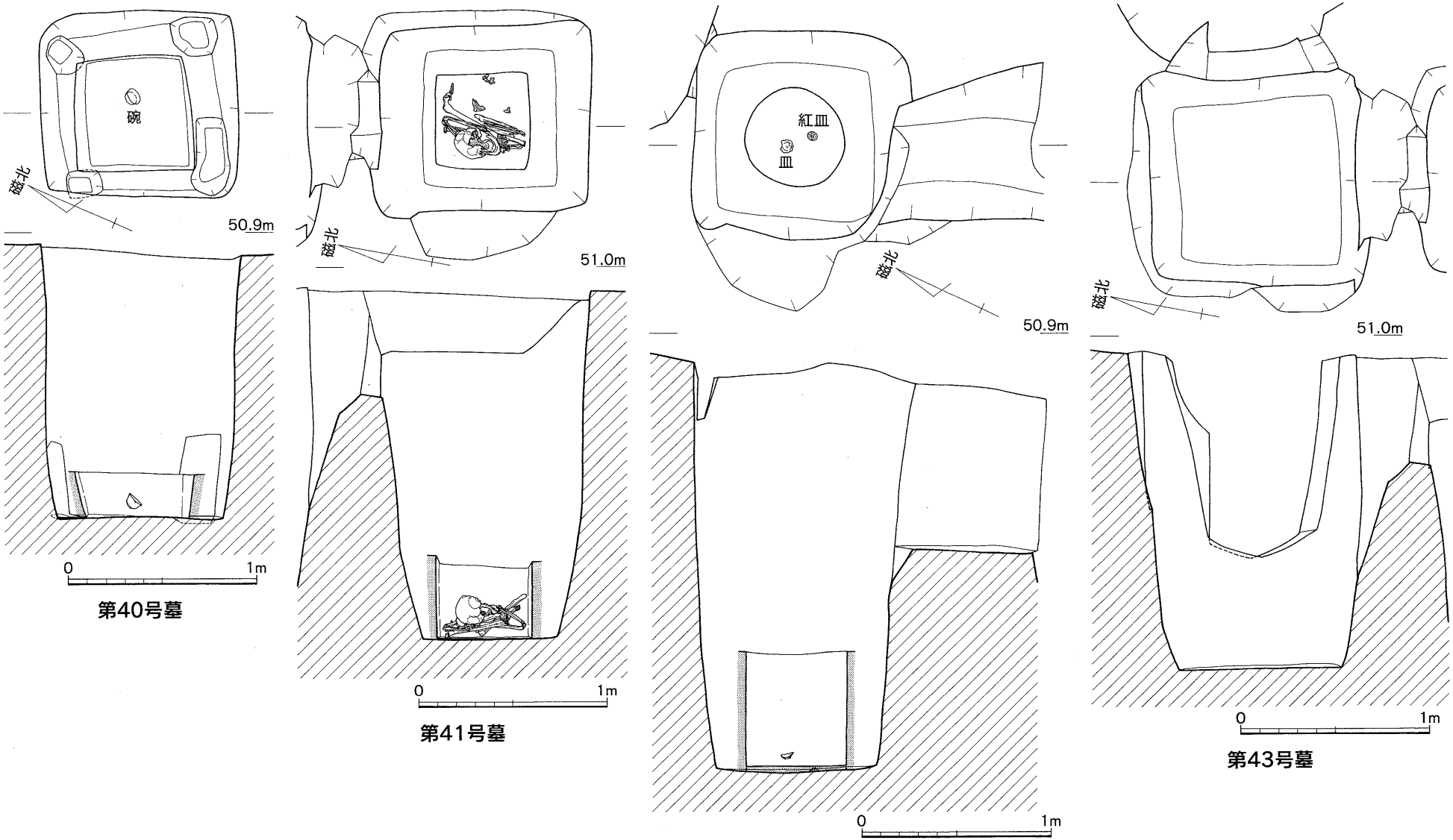


第35号墓

第78図　原田第40号墓地　第33～35号墓実測図（S=1/30）



第79図　原田第40号墓地　第36～39号墓実測図（S=1/30）



第80図　原田第40号墓地　第40～43号墓実測図（S=1/30）

第４０号墓（第65・80図、図版62－①②）

中段北西側、第３９号墓の北西側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面105×99cm・底面86×86cm・深さ147cmを測る。墓壙底面の4隅に小土壙が掘られている。棺は56×54cmを測る正方形縦棺である。棺内には銭６・磁器碗１が副葬され、墓壙内から木片と多量の鉄釘が出土した。人骨は残っておらず、葬位は不明である。

第４１号墓（第65・80図、図版62－③）

中段北西端、第４０号墓の北西側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面111×106cm・底面74×71cm・深さ185cmを測る。墓壙の北側、第４３号墓との間に改葬壙がある。棺は51×50cmを測る正方形縦棺であり、深さ43cmを残す。棺内には白磁皿１・磁器碗１が副葬され、墓壙内から漆膜と小量の鉄釘が出土した。人骨は棺底に崩れ落ちていたが、葬位は西向きの立膝座葬と考える。

第４２号墓（第65・80図、図版62－④⑤）

中段北西側、第４１号墓の東側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面112×104cm・底面84×82cm・深さ217cmを測る。墓壙の南東側、第４６号墓との間に改葬壙がある。棺は上径53cm・底径53cmを測る桶棺で、深さ61cmを残す。棺内には銭１・磁器皿１・白磁紅皿１が副葬され、棺外から土師皿１が出土した。人骨は残っておらず、葬位は不明である。

第４３号墓（第65・80図、図版62－⑥）

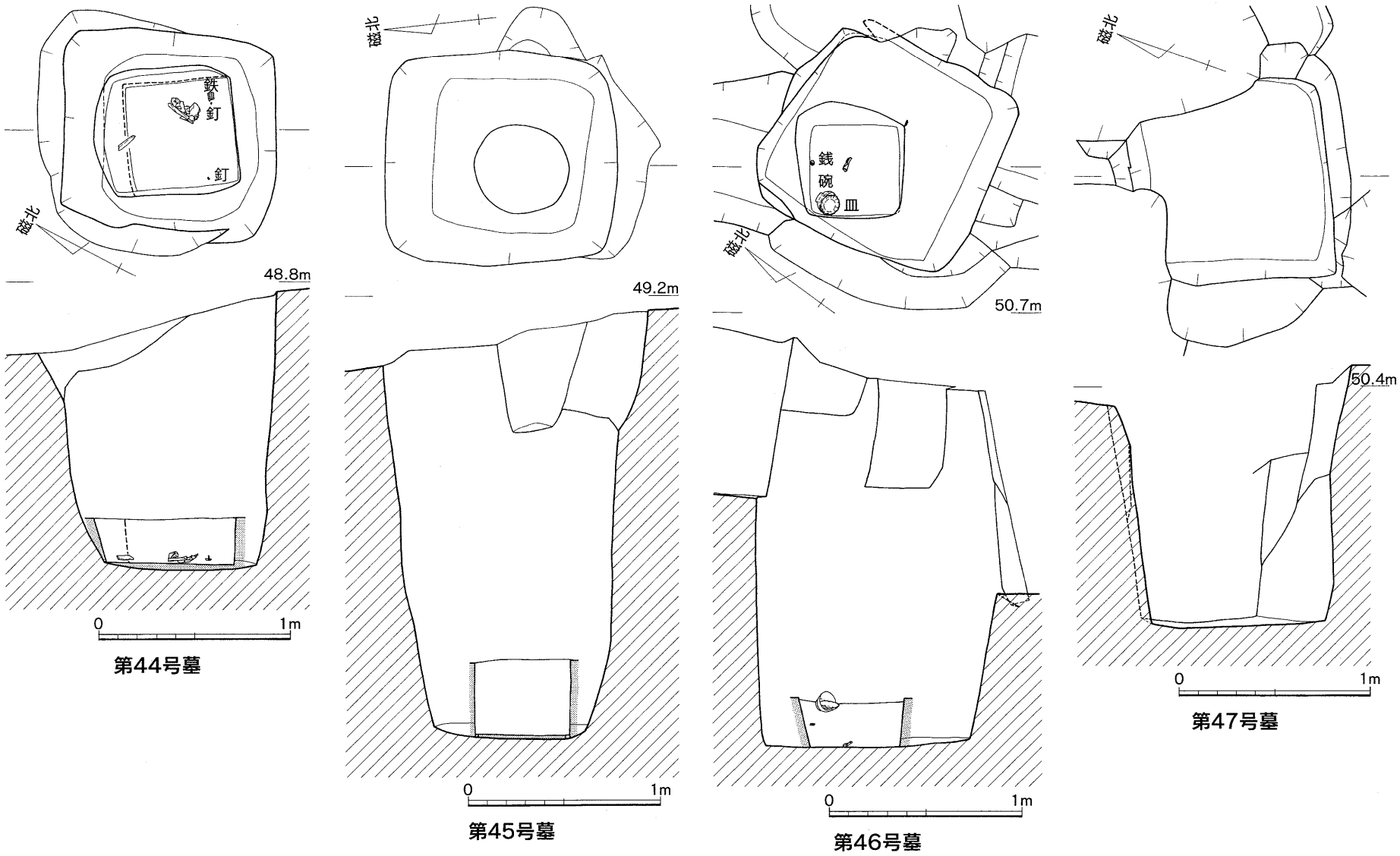
中段最北西端、第４２号墓の北西側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面111×108cm・底面88×85cm・深さ169cmを測る。墓壙の南側第４１号墓との間と、東側第８２号墓との間に改葬壙がある。棺は確認できなかった。墓壙内から銭６とやや少量の鉄釘が出土した。人骨は残っておらず、葬位は不明である。

第４４号墓（第65・81図、図版52－④、63－①）

下段中央の東辺寄りに位置する。地上に径145×130cmの土饅頭があり、その上に第４９号墓石が倒れていた。墓壙は方形を呈し、上面111×104cm・底面86×80cm・深さ146cmを測る。棺は68×60cmを測る正方形縦棺であるが、墓壙底面での痕跡から55×55cmと考える。墓壙内から磁器皿１・土師皿片・土師甕片・鉄板片と少量の鉄釘が出土した。人骨は僅かに残っていたが、葬位は不明である。

第４５号墓（第65・81図、図版52－①⑥、63－②）

下段中央、第４４号墓の南西側に位置する。地上に径190×160cmの土饅頭があり、その南側に第５２号墓石が倒れていた。墓壙は方形を呈し、上面122×113cm・底面81×79cm・深さ224cmを測る。墓壙の北辺は樹根による撹乱壙がある。棺は上・底径とも50cmを測る桶棺であり、深さ40cmを残す。墓壙内から漆膜片・土師皿片２が出土した。人骨は残っておらず、葬位は不明である。



第81図　原田第40号墓地　第44～47号墓実測図（S=1/30）

第４６号墓（第65・81図、図版63－③④）

中段北側、第４０号墓の東側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面112×110cm・底面98×94cm・深さ215cmを測る。墓壙の南東角は第４７号墓と重複しているが、新旧関係は不明である。墓壙の北西側、第４２号墓との間に改葬壙がある。棺は48×46cmを測る正方形縦棺であり、その向きは墓壙の向きとは大きく異なっている。墓壙内から銭11・磁器碗１・磁器皿１・漆膜と少量の鉄釘が出土した。特に、磁器碗・皿と銭の一部は棺内上位に出土しており、改葬時に動いたものと考える。人骨は残っておらず、葬位は不明である。

第４７号墓（第65・81図、図版63－⑤）

中段北側、第４６号墓の南東側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面105×102cm・底面94×90cm・深さ138cmを測る。墓壙の北西側は第４６号墓と、北東側は第７９号墓と重複しているが、新旧関係は不明である。墓壙の東角に改葬壙が、西辺に改葬時の崩れがある。棺は確認できなかった。墓壙内から磁器猪口１と少量の鉄釘が出土した。特に、磁器碗・皿と銭の一部は棺内上位に出土しており、改葬時に動いたものと考える。人骨は残っておらず、葬位は不明である。

第４８号墓（第65・82図、図版63－⑥）

上段中央、第４号墓の北東側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面127×103cm・底面78×70cm・深さ57cmを測る。副葬品・人骨出土せず土葬墓としては疑わしいが、地上に第７０号墓石とした小石が位置するため、一応墓壙として扱った。

第４９号墓（第65・82図、図版64－①）

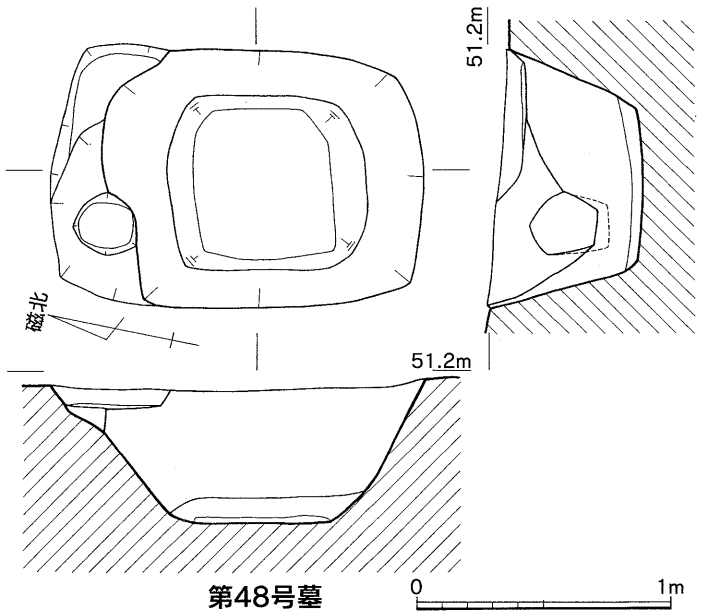
上段中央の北寄り、第４８号墓の北北東側に位置する。墓壙は長方形を呈し、上面180×120cm・底面124×76cm・深さ98cmを測る。棺は103×54cmを測る短い長方形横棺であるが、墓壙底面の色調からすると87×42cmと考える。主軸はＮ－6.5°－Ｗにとる。墓壙内から少量の鉄釘が出土した。人骨の残りはあまり良くないが、葬位は北枕・西向きの右側臥屈葬である。

第５０号墓（第65・82図、図版64－②）

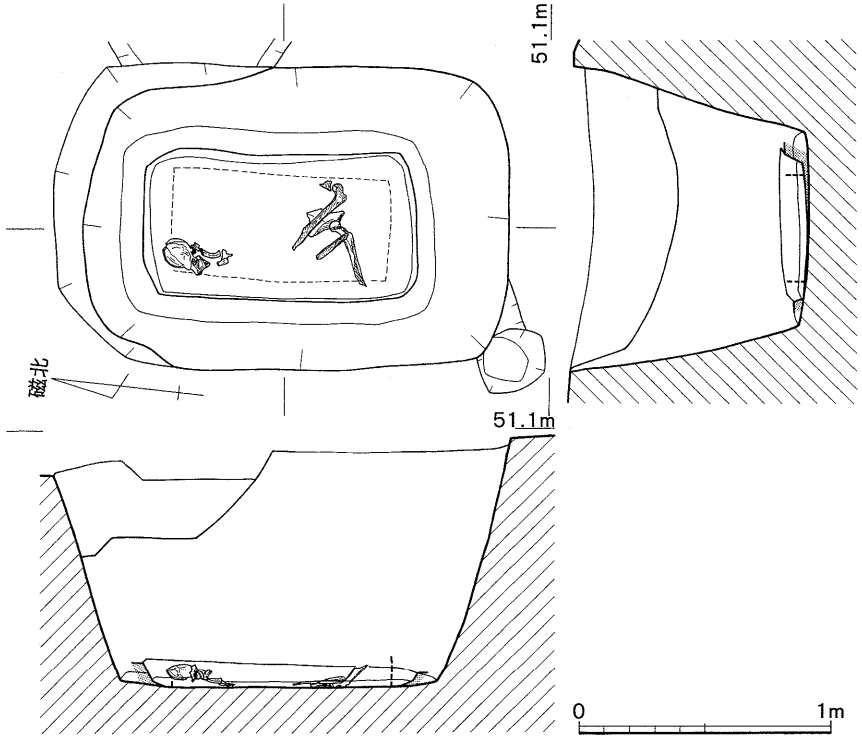
上段の北東角寄り、第４９号墓の北側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面123×116cm・底面101×97cm・深さ87cmを測る。墓壙内南側と西側に幅９～14cmの平坦な中段面がある。底面には上面51×44cm・深さ6cmを測る円形の穴が掘られている。副葬品・人骨の出土無く土葬墓としては疑わしいが、地上に径95×80cmの土饅頭とその上に第６６号墓石とした石が位置するため、一応墓壙として扱った。

第５２号墓（第65・83図、図版64－③④）

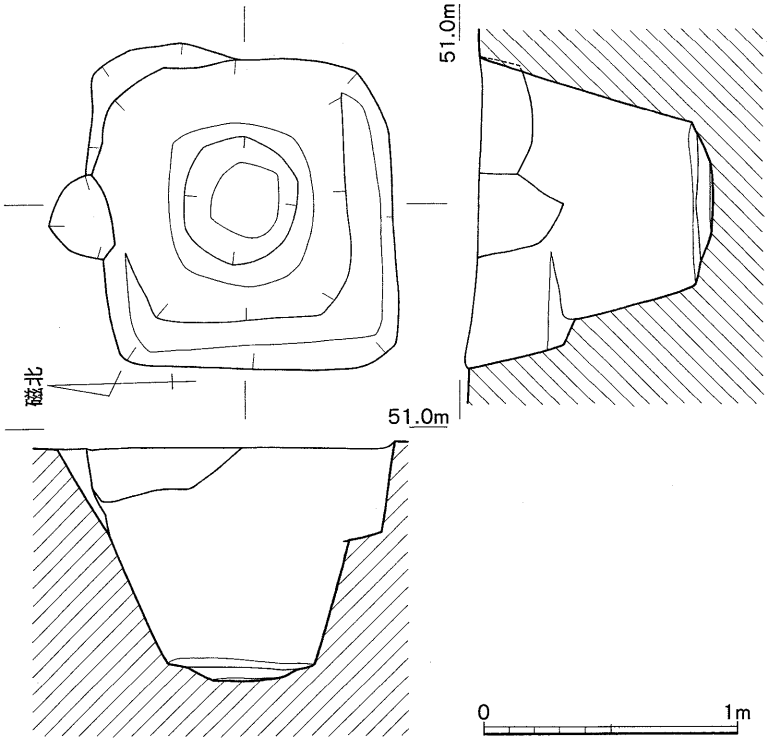
下段南西端に位置する。墓壙は方形を呈し、上面128×123cm・底面81×72cm・深さ165cmを測る。棺は68×54cmを測る正方形縦棺であり、深さ53cmを残す。墓壙内から土師皿片３と少量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は西向きの立膝座葬である。



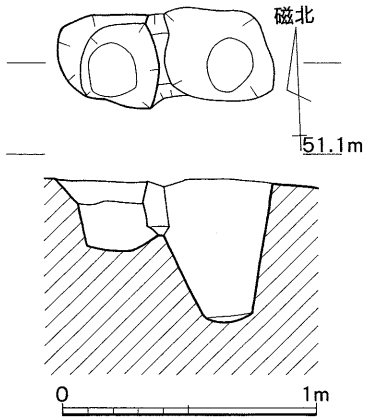
第48号墓



第49号墓



第50号墓



第51号墓

第82図　原田第40号墓地　第48～51号墓実測図（S=1/30）

第５３号墓（第65・83図、図版64－⑤）

下段南側、第５２号墓の北西側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面136×129cm・底面71×69cm・深さ215cmを測る。墓壙の北西辺と北東辺に小土壙がある。棺は上径58cm・底径51cmを測る桶棺であり、深さ81cmを残す。この深さは圧痕からして桶本来の深さを示していると考える。また、墓壙底面の圧痕から桶底部の内径は45cmである。人骨は残っておらず、葬位は不明である。

第５４号墓（第65・83図、図版64－⑥）

下段中央やや南側、第５３号墓の北西側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面157×143cm・底面98×86cm・深さ194cmを測る。棺は上径44cm・底径43cmを測る桶棺である。人骨は残っておらず、葬位は不明である。

第５５号墓（第65・83図、図版65－①）

下段中央の南東側、第５４号墓の北東側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面131×121cm・底面84×79cm・深さ199cmを測る。墓壙の西辺に小土壙がある。棺は44×44cmを測る正方形縦棺であり、深さ77cmを残す。棺内から銭１が、墓壙内から磁器小片１と少量の鉄釘が出土した。人骨は残っておらず、葬位不明である

第５６号墓（第65・84図、図版65－②）

下段中央の南西側、第５４号墓の北西側に位置する。地上に径1.45×1.2mの土饅頭があり、その上に第５１号墓石がある。墓壙は方形を呈し、上面118×111cm・底面72×70cm・深さ197cmを測る。墓壙の北西側、第６５号墓との間に改葬壙と考える段がある。棺は上径42cm・底径37cmを測る桶棺であり、深さ45cmを残す。墓壙底面の圧痕から桶底部内径は30cmと考える。墓壙内から数珠玉36と少量の鉄釘が出土した。人骨は残っておらず、葬位は不明である。

第５７号墓（第65・84図、図版52－②⑤、65－③）

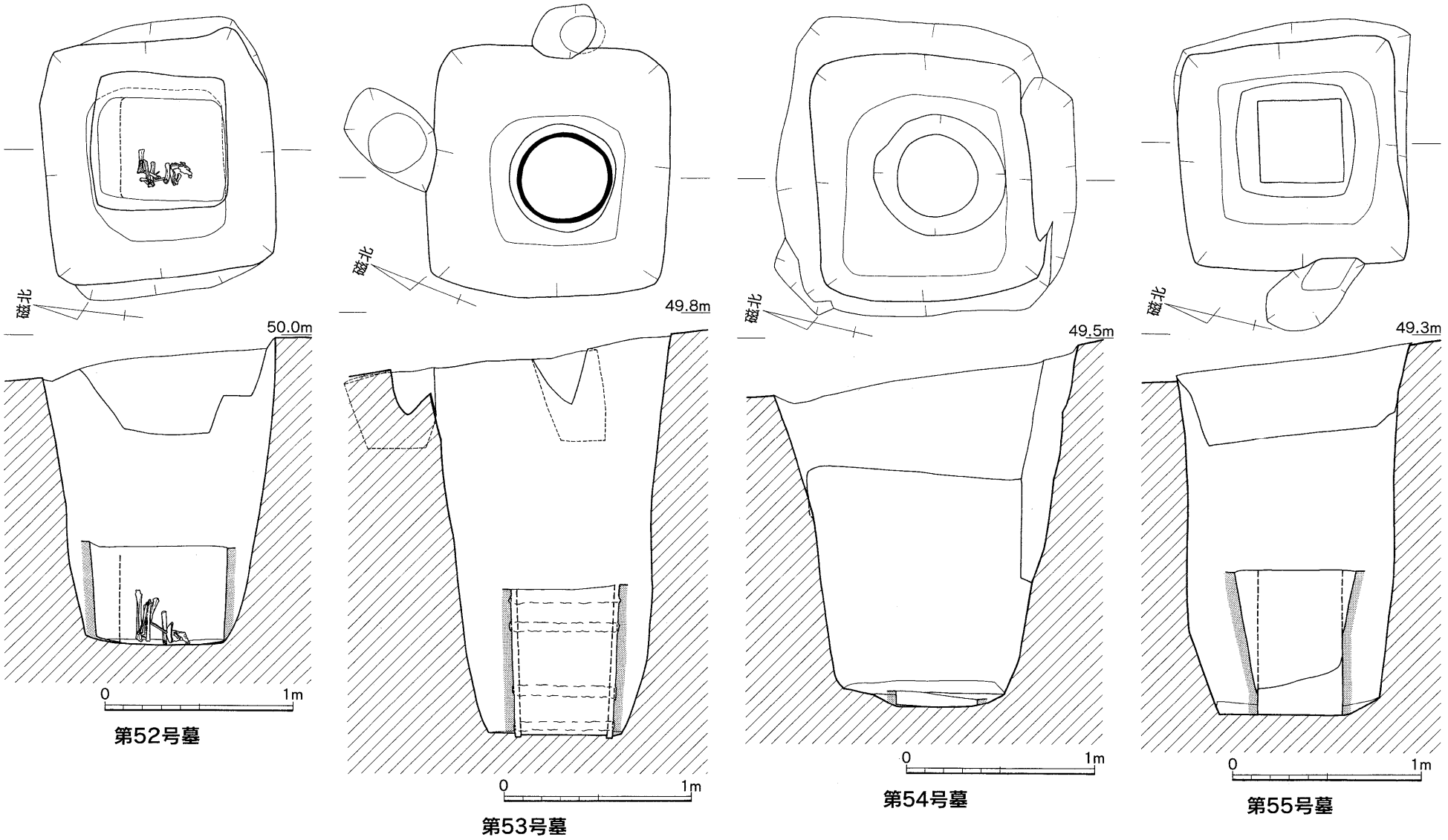
下段中央、第５６号墓の北北東側に位置する。地上に径1.7×1.45mの土饅頭（第５９号墓石と仮称）がある。墓壙は方形を呈し、上面125×117cm・底面83×81cm・深さ196cmを測る。棺は上径50cm・底径50cmを測る桶棺であり、深さ51cmを残す。棺内に銭１・漆器（膜）１が副葬されている。人骨は残っておらず、葬位は不明である。

第５８号墓（第65・84図、図版52－③、65－⑤）

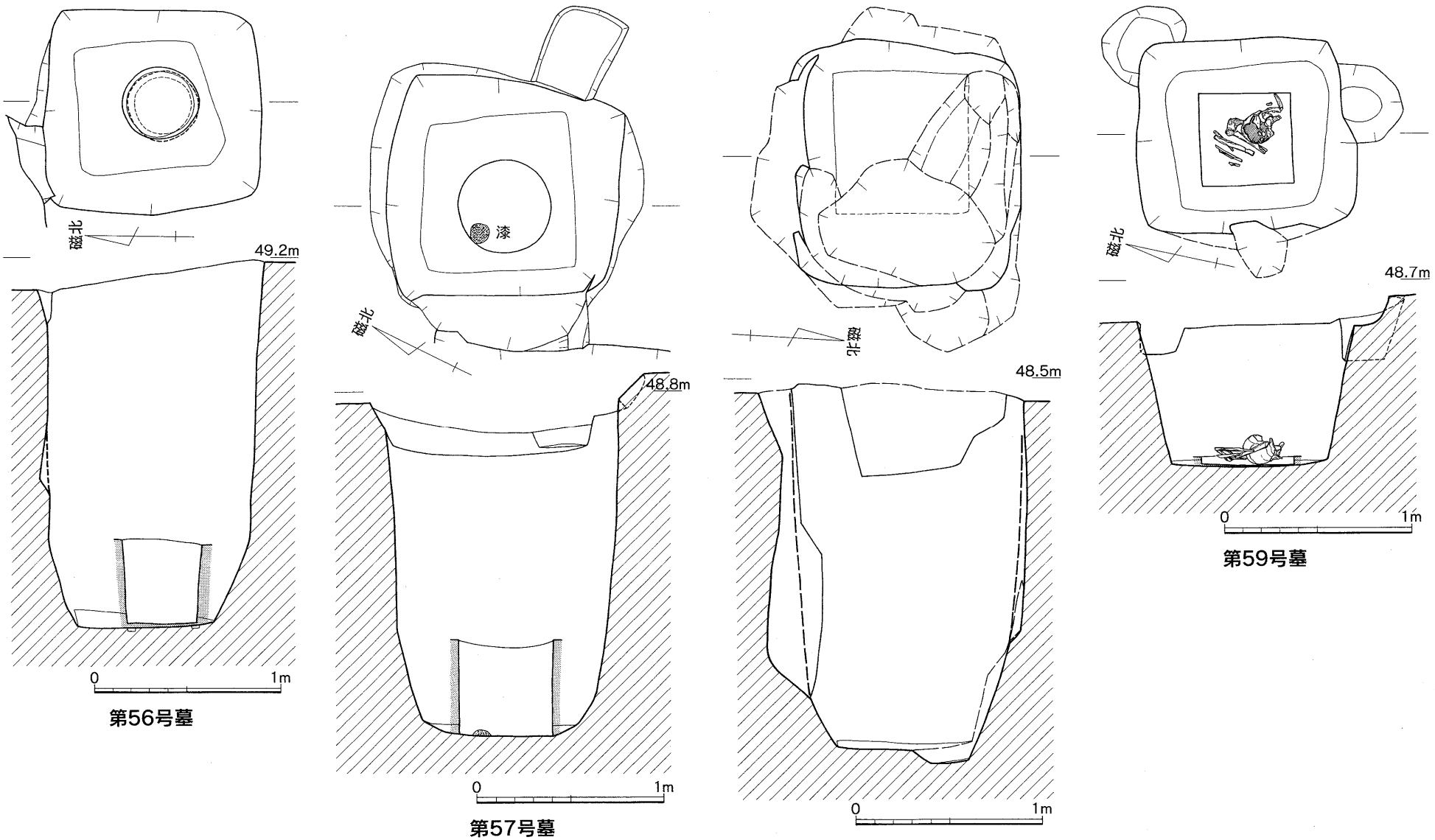
下段中央の北東側、第５７号墓の北東側に位置する。墓壙は著しく撹乱を受けて崩れているが、方形を呈する。上面134×116cm・底面73×68cm以上・深さ197cmを測る。棺は確認できなかった。墓壙内から鉄釘が僅かに出土した。人骨は残っておらず、葬位は不明である。

第５９号墓（第65・84図、図版52－②⑤、65－③）

下段中央の北側寄り、第５８号墓の西側に位置する。地上に径170×150cmの土饅頭（第４８号



第83図　原田第40号墓地　第52～55号墓実測図（S=1/30）



第84図　原田第40号墓地　第56～59号墓実測図（S=1/30）

墓石と仮称）がある。墓壙は方形を呈し、上面118×105cm・底面83×77cm・深さ92cmを測る。墓壙の北東角と南辺に小土壙がある。棺は50×50cmを測る正方形縦棺である。墓壙内から土師皿片・土師甕片・陶器片のほか、少量の鉄釘が出土した。人骨の残りはあまり良くなく、葬位は立膝座葬と考える。

第６０号墓（第65・85図、図版49－④、65－⑥）

下段中央の西辺、第５９号墓の南西側に位置する。地上に第５７号墓石がある。墓壙は方形を呈し、上面118×101cm・底面79×74cm・深さ159cmを測る。棺は36×35cmを測る正方形縦棺であり、深さ44cmを残す。墓壙内から棺材と考える木片・金具片と少量の鉄釘が出土した。人骨は残っておらず、葬位は不明である。

第６１号墓（第65・85図、図版66－①②）

下段北西側、第６０号墓の北西側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面119×111cm・底面70×61cm・深さ141cmを測る。墓壙の北東角は第６６号墓と接するが、新旧関係は不明である。棺は45×44cmを測る正方形縦棺であり、深さ47cmを残す。棺の主軸は、墓壙の主軸とは異なる。棺内には銭６が副葬されており、墓壙内から木片と多量の鉄釘が出土した。人骨の残りは良くなく、葬位は立膝座葬と考える。

第６２号墓（第65・85図、図版66－③）

下段北側、 第５９号墓の北側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面124×117cm・底面66×64cm・深さ154cmを測る。棺は上径56cm・底径48cmを測る桶棺である。墓壙内から鉄釘１が出土した。人骨は残っておらず、葬位は不明である。

第６３号墓（第65・85図、図版66－④）

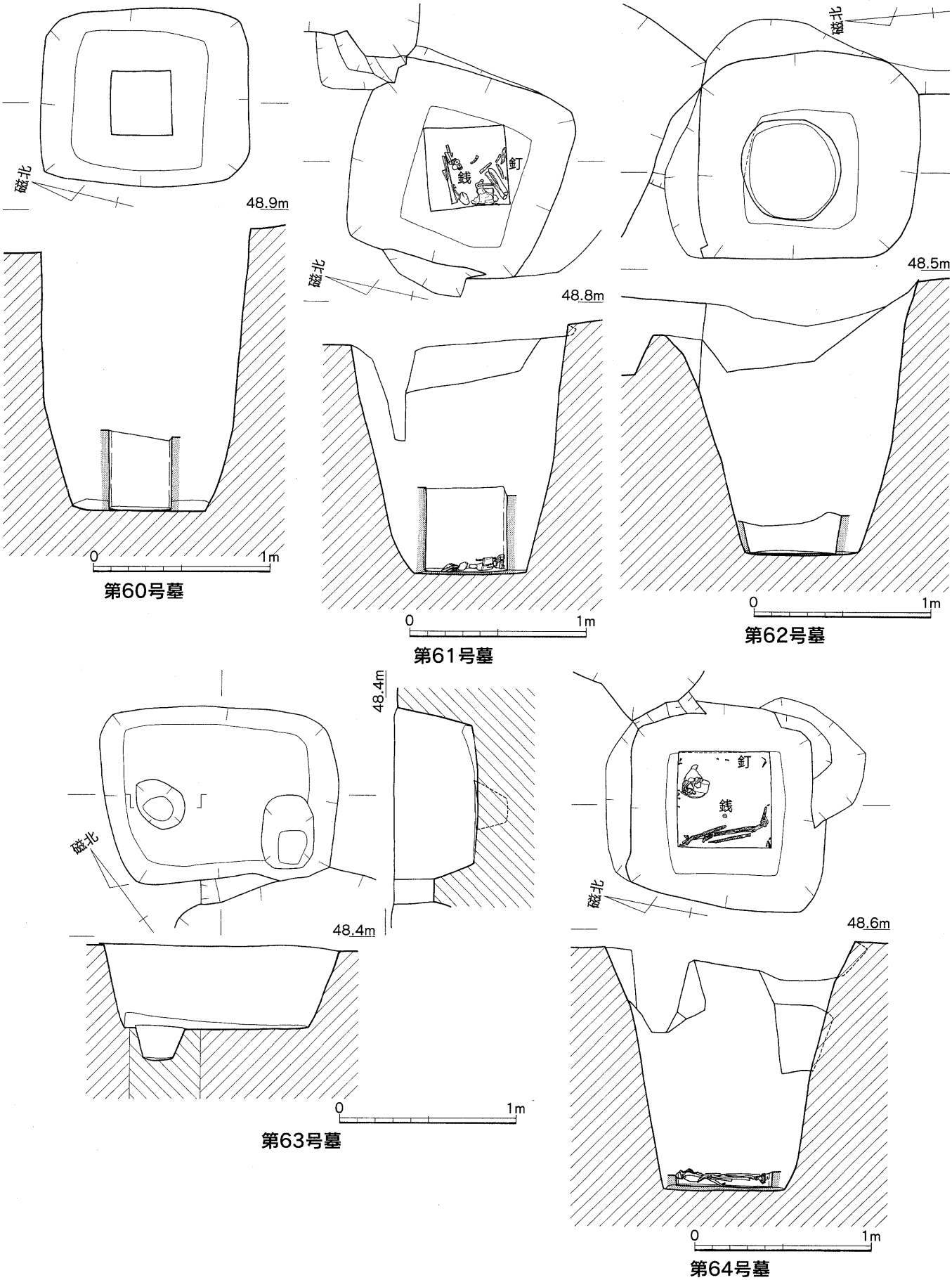
下段北側、 第６２号墓の北側に位置する。墓壙は長方形を呈し、上面133×96cm・底面104×77cm・深さ46cmを測る。墓壙底面の南角と北西辺寄りに小土壙が掘られている。副葬品・人骨の出土無く、第６２号墓の改葬壙とも考えられるが、一応墓壙として扱った。

第６４号墓（第65・85図、図版66－⑤）

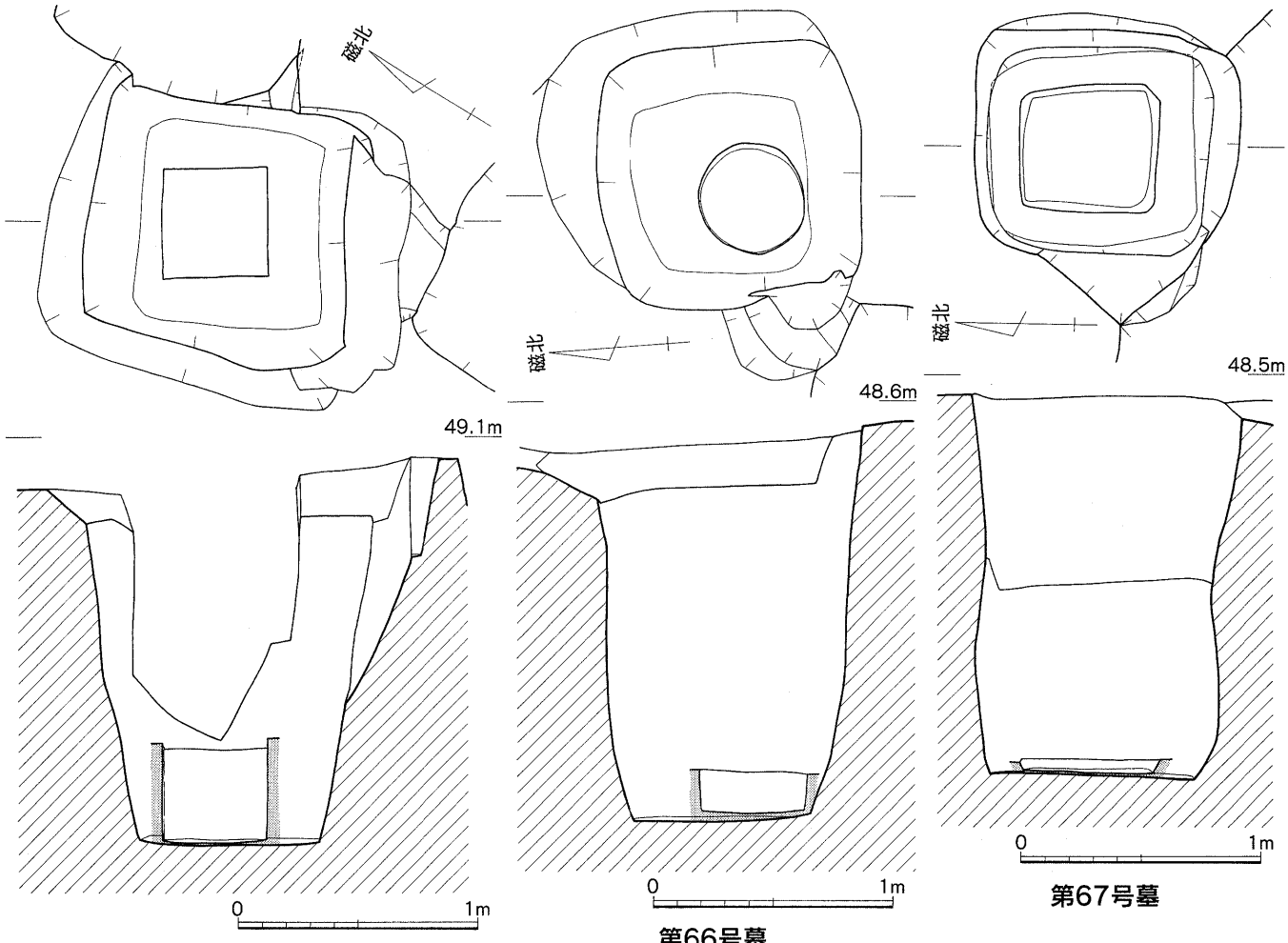
下段北西側、 第６１号墓の北側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面124×115cm・底面69×68cm・深さ141cmを測る。墓壙の北東角と南東角に改葬壙と考える穴がある。棺は54×54cmを測る正方形縦棺である。棺内には銭６が副葬されており、墓壙内から多量の鉄釘が出土した。人骨は棺底に崩れ落ちており、葬位は立膝座葬と考えるが、断定できない。

第６５号墓（第65・86図、図版66－⑥）

下段中央の西辺、 第５７号墓の南西側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面125×119cm・底面83×75cm・深さ160cmを測る。墓壙の北東辺は第５７号墓と重複するが、新旧関係は不明である。また、南東辺が大きく崩れており、改葬跡と考える。棺は45×44cmを測る正方形縦棺であり、深



第85図　原田第40号墓地　第60～64号墓実測図（S=1/30）



第86図　原田第40号墓地　第65～69号墓実測図（S=1/30）

さ43cmを残す。墓壙内からやや少量の鉄釘が出土した。人骨は残っておらず、葬位は不明である。

第６６号墓（第65・86図、図版67－①）

下段北西側、 第６１号墓の北東側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面111×110cm・底面74×72cm・深さ163cmを測る。墓壙の南西角、第６１号墓との間が崩れており、改葬跡かと考える。棺は上径44cm、底径43cmを測る桶棺である。墓壙内から鉄釘２が出土した。人骨は残っておらず、葬位は不明である。

第６７号墓（第65・86図、図版67－②）

下段北西側、 第６６号墓の北側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面111×93cm・底面85×79cm・深さ159cmを測る。墓壙の南辺は大きく崩れており、改葬跡と考える。棺は53×47cmを測る正方形縦棺である。墓壙内から陶器片１と多量の鉄釘が出土した。人骨は残っておらず、葬位は不明である。

第６８号墓（第65・86図、図版67－③）

下段の北西端、 第６７号墓の北西側に位置する。墓壙は長方形を呈し、上面145×75cm・底面112×55cm・深さ53cmを測る。墓壙の主軸はＮ－15°－Ｅにとり、他の長方形墓壙とは方向が異なる。棺は確認できなかった。副葬品・人骨は出土しなかったが、一応墓壙として扱った。

第６９号墓（第65・86図、図版67－④）

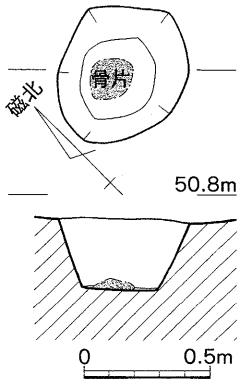
下段の最北西端、 第６８号墓の西側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面111×100cm・底面95×85cm・深さ40cmを測る。墓壙の西辺中央に小土壙がある。棺は確認できなかった。墓壙内から磁器碗片が出土した。人骨は残っておらず、葬位は不明である。

第７１号墓（第65・87図、図版67－⑤⑥）

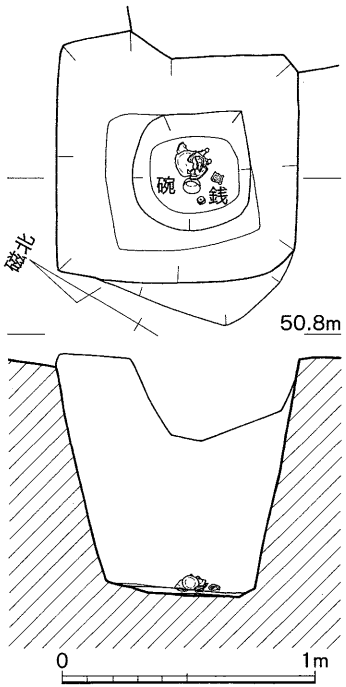
中段中央の南東側、 第２４号墓の北西側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面125×122cm・底面76×73cm・深さ226cmを測る。棺は上径50cm・底径49cmを測る桶棺であり、深さ67cmを測る。棺内には銭６・漆器（膜）２が副葬され棺底中央から大きめの鉄釘１が出土した。墓壙内から土師皿片10・磁器碗２と少量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は南西向きの立膝座葬である。

第７２号墓（第65・87図、図版68－①②）

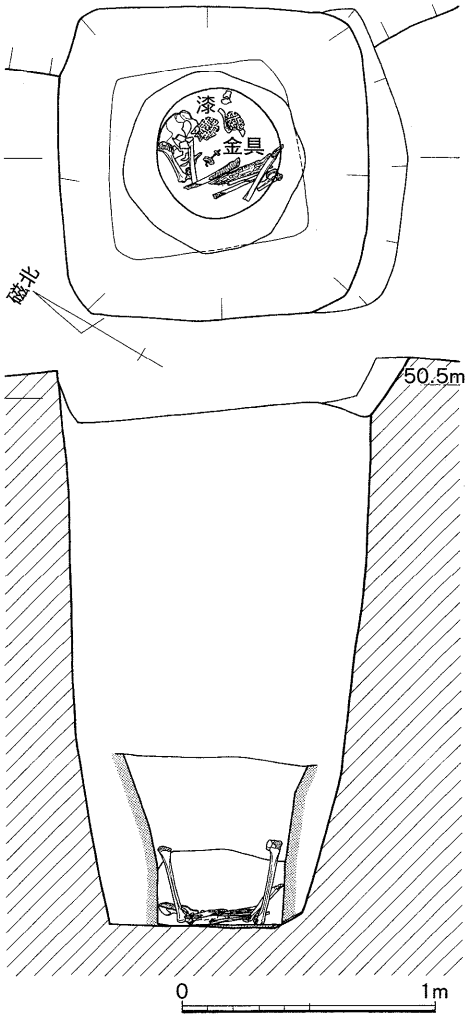
中段中央やや南寄り、 第２６号墓の東側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面100×96cm・底面58×54cm・深さ92cmを測る。墓壙底面には上面47×47cm・深さ２cmを測る略円形の窪みがある。この窪みを棺の圧痕とすると、桶棺の可能性があるが、断定できない。墓壙内から銭６・鈴１・磁器小杯１と鉄釘１が出土した。人骨の残りは良くなく、葬位は不明である。



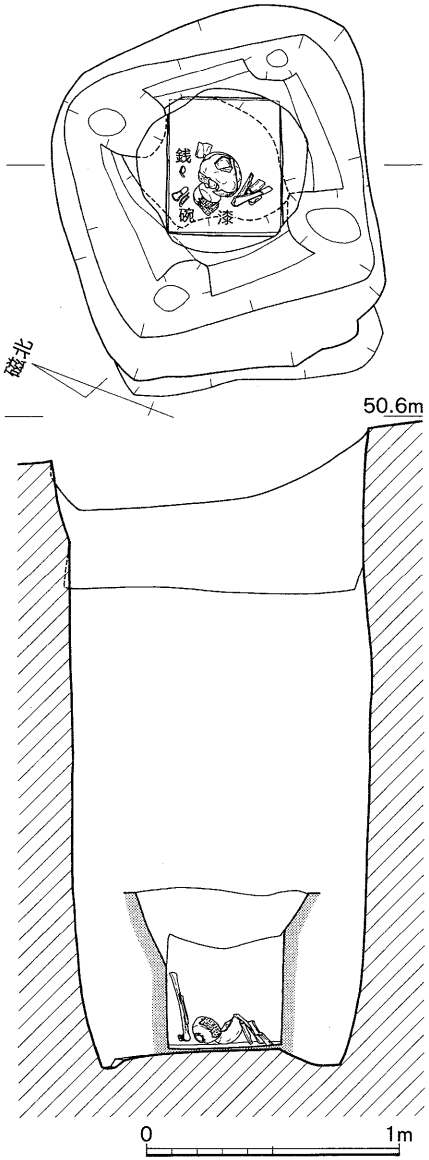
第70号墓



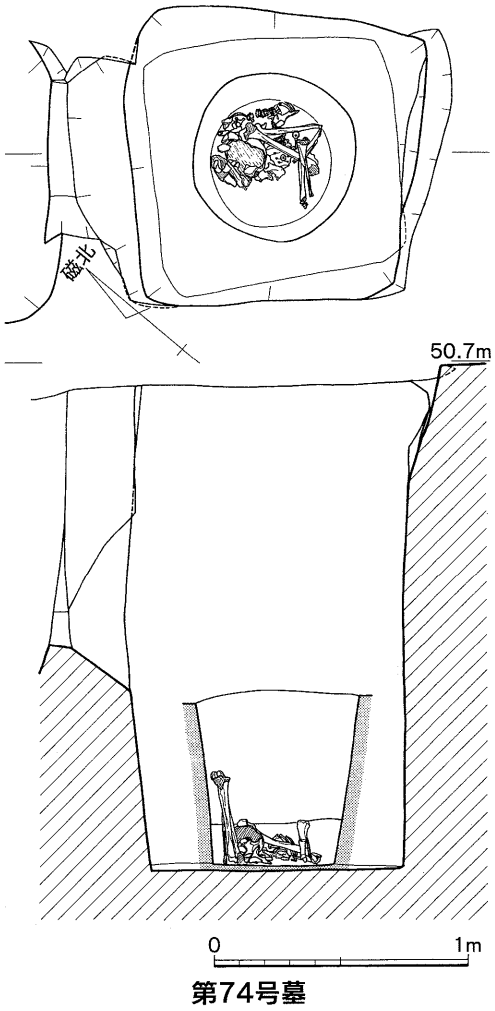
第72号墓



第71号墓



第73号墓



第74号墓

第87図　原田第40号墓地　第70～74号墓実測図（S=1/30）

第７３号墓（第65・87図、図版68－③④）

中段中央の東辺、 第７２号墓の北北東側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面143×121cm・底面112×104cm・深さ253cmを測る。墓壙底面の壁側は溝状に低く、さらに四隅には小土壙が掘られている。棺は53×44cmを測る正方形縦棺であり、深さ64cmを残す。棺の主軸は、墓壙の主軸とは異なる。棺内には銭６・陶器碗１・漆器（膜）１が副葬されており、特に陶器碗と漆器は重なった状態で置かれていた。墓壙内からやや少量の鉄釘が出土した。人骨の残りはあまり良くなく、葬位は南西向きの立膝座葬である。

第７４号墓（第65・87図、図版68－⑤⑥）

中段中央、 第７３号墓の南西側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面116×113cm・底面97×96cm・深さ201cmを測る。墓壙の北西側に改葬壙がある。棺は上径64cm・底径48cmを測る桶棺であり、深さ６９cmを測る。棺内には銭６が副葬されており、棺外から土師皿片・陶器片が出土した。墓壙内からやや少量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は南西向きの立膝座葬である。

第７５号墓（第65・88図、図版69）

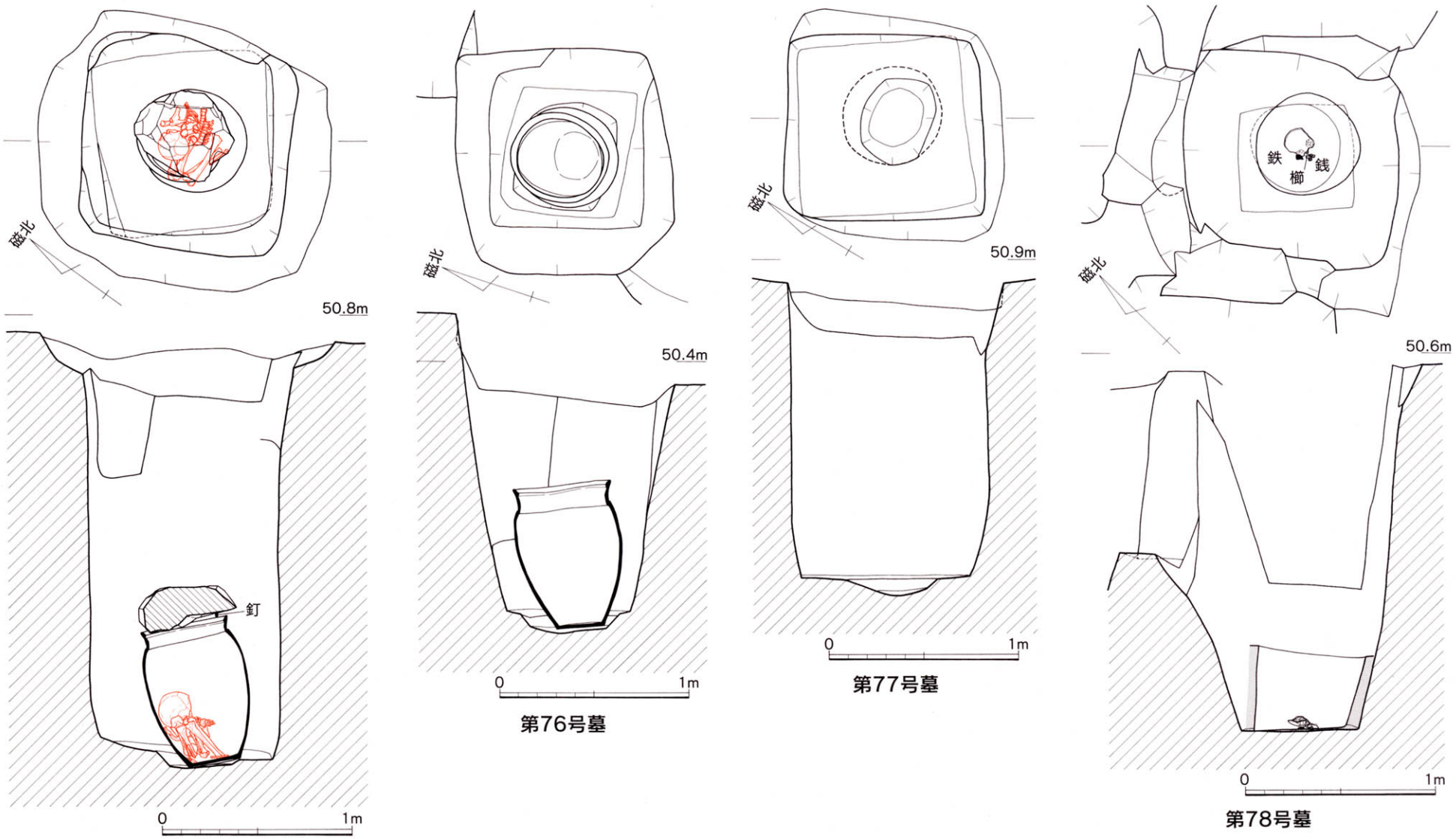
中段中央の北西側、 第３７号墓の西側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面155×139cm・底面95×90cm・深さ226cmを測る。墓壙の上辺は深さ10～20cmの不明瞭な傾斜をなし、本来の墓壙の規模は113×110cmである。上辺の段は基壇に伴う掘り込みと考える。墓壙底面には上面44×42cm・深さ３～８cmを測る略円形の穴を掘り、棺を据えている。棺は胴径53.8cmの甕棺である。甕には53×43cm・厚さ12～22cmを測る花崗岩の平石が載っている。鉄釘が出土していることから、甕には木蓋が被せられており、その押さえとして載せられた石と考える。棺内には銭６・眼鏡レンズ２が副葬されており、墓壙内から少量の鉄釘が出土した。人骨は残っておらず、葬位は不明である。

第７６号墓（第65・88図、図版70－①）

上段北側の東寄り、 第４２号墓の東側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面121×112cm・底面68×64cm・深さ160cmを測る。墓壙底面には上面59×50cm・深さ６～10cmを測る略方形の穴を掘り、棺を据えている。棺は胴径53.8cmの甕棺である。棺内から銭１、棺外から陶器碗１・磁器皿１と鉄釘１が出土した。人骨は残っておらず、葬位は不明である。

第７７号墓（第65・88図、図版70－②）

中段の最北端に位置する。墓壙は方形を呈し、上面118×115cm・底面91×89cm・深さ158cmを測る。墓壙底面には上面48×37cm・深さ８cmを測る楕円形の穴が掘られている。墓壙底面の色調から、棺は底径51～56cmの桶棺と考える。墓壙内から銭３・磁器碗１と少量の鉄釘が出土した。人骨は残っておらず、葬位は不明である。



第88図　原田第40号墓地　第75～78号墓実測図（S=1/30）

第７８号墓（第65・88図、図版70－③）

中段中央の東辺、第７４号墓の北側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面113×107cm・底面61×57cm・深さ194cmを測る。墓壙の西側・北西側および北東側の第８４号墓との間に改葬壙がある。棺は上径55cm・底径47cmを測る桶棺であり、深さ45cmを測る。棺内には銭３・櫛１が副葬され、棺底中央から鉄塊が出土した。墓壙内から磁器片・陶器片・棺材片と少量の鉄釘が出土した。人骨の残りは悪く、葬位は不明である。

第７９号墓（第65・89図、図版70－④）

中段北側の東寄り、第４７号墓の北東側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面108×95cm・底面80×76cm・深さ132cmを測る。墓壙底面には上面66×55cm・深さ８cmを測る不整長方形の穴が掘られている。墓壙の南東辺に改葬壙と考える浅い土壙がある。棺は51×50cmを測る正方形縦棺である。棺内から銭１が、墓壙内からやや多量の鉄釘が出土した。人骨はごく僅かに残っていたが、葬位は不明である。

第８０号墓（第65・89図、図版70－⑤）

中段北寄り、第７７号墓の南東側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面102×91cm・底面82×75cm・深さ138cmを測る。墓壙の南西辺は第８１号墓と重複するが新旧関係は不明である。墓壙の東角に改葬壙と考える落ち込みがある。棺は確認できなかったが、鉄釘が多量に出土しており、正方形縦棺の可能性がある。人骨は残っておらず、葬位は不明である。

第８１号墓（第65・89図、図版70－⑥）

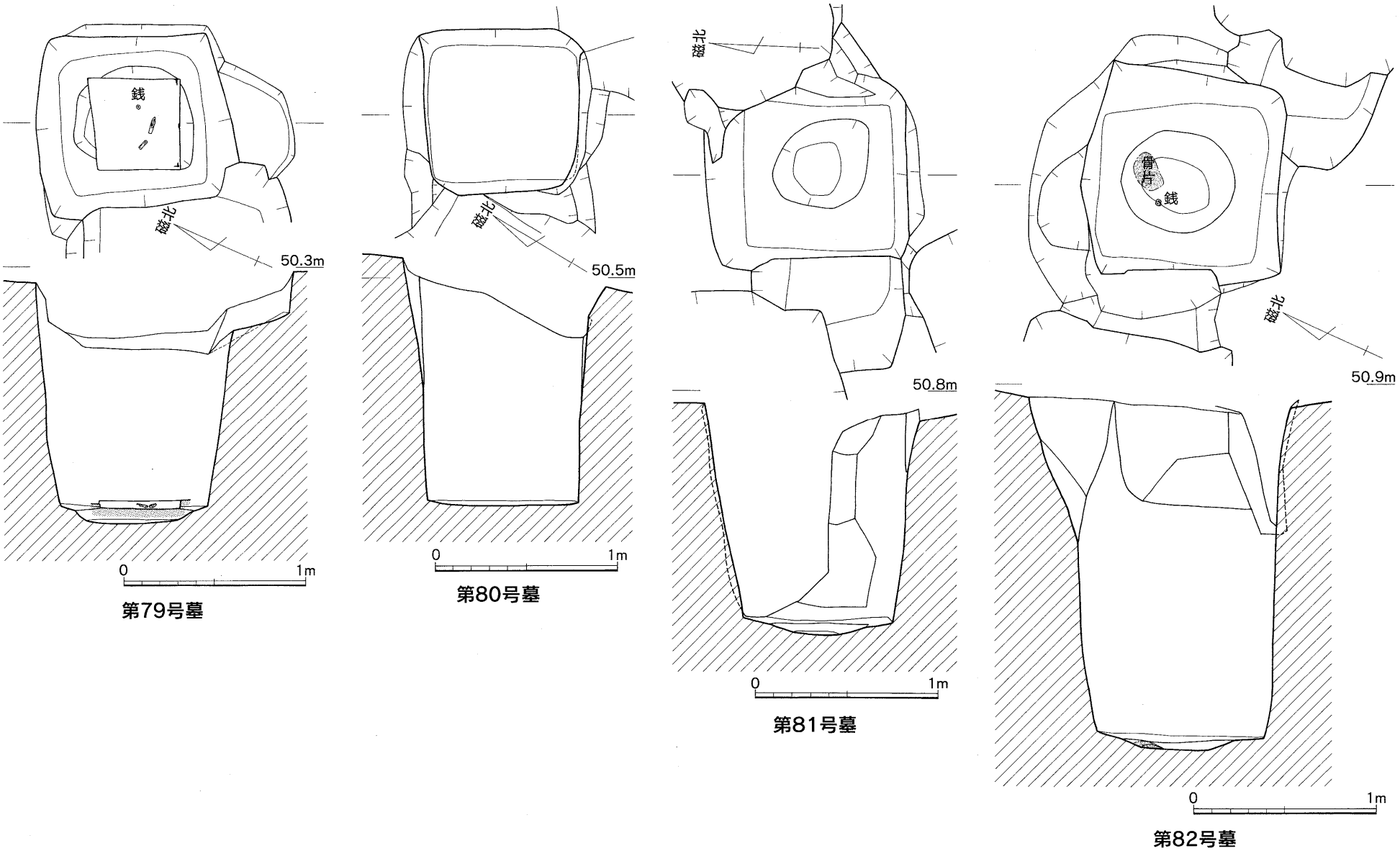
中段北端寄り、第８０号墓の南西側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面111×101cm・底面82×79cm・深さ130cmを測る。墓壙底面には上面61×47cm・深さ６cmを測る不整円形の穴が掘られている。墓壙の西側、第８２号墓との間に改葬壙がある。棺は確認できなかった。墓壙内から銭６・磁器碗１とやや多量の鉄釘が出土した。人骨は残っておらず、葬位は不明である。

第８２号墓（第65・89図、図版71－①②）

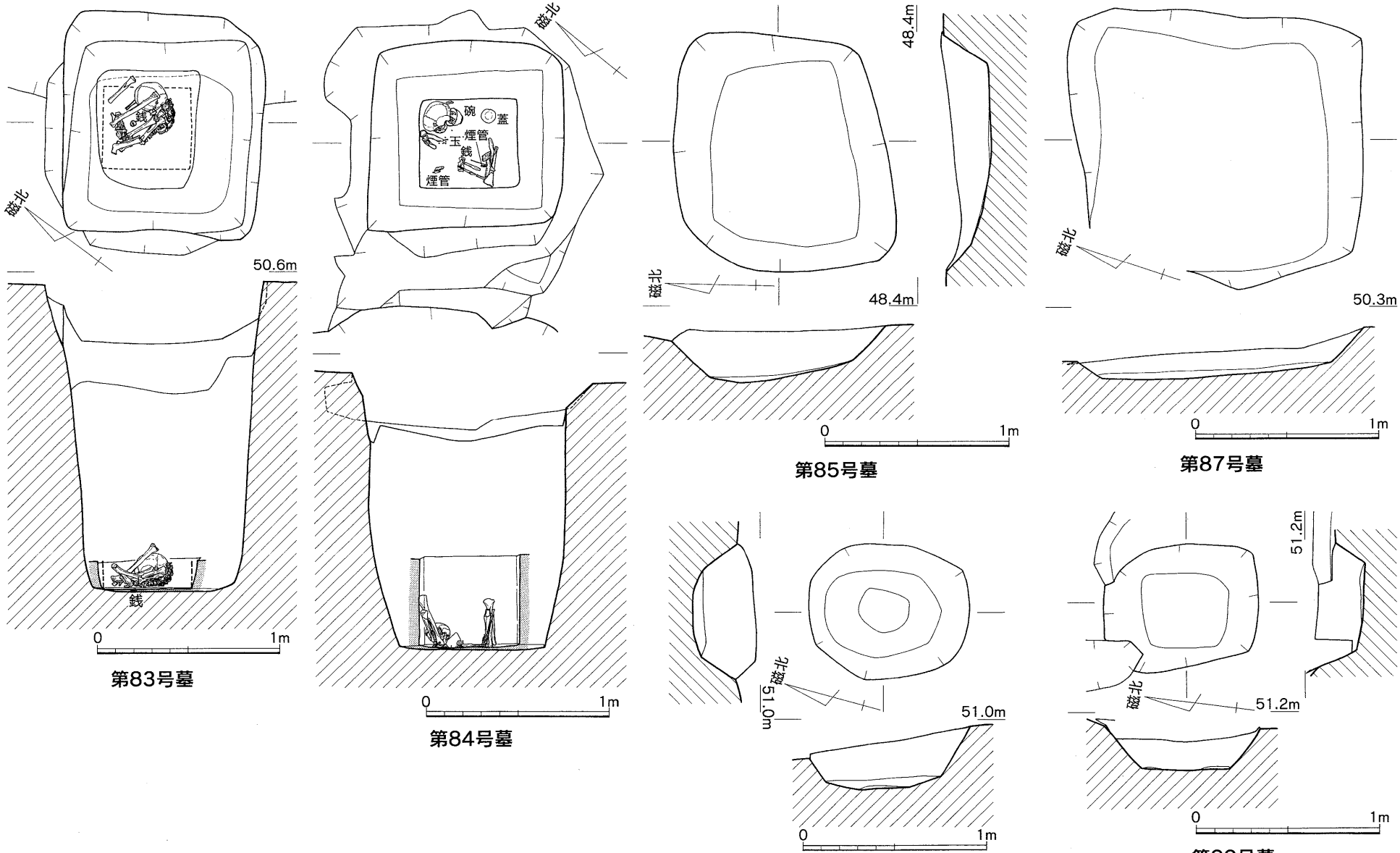
中段北西端、第８１号墓の西側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面113×109cm・底面90×88cm・深さ189cmを測る。墓壙底面には上面62×55cm・深さ４～６cmを測る楕円形の穴が掘られている。墓壙の西辺と南東角に改葬壙がある。棺は確認できなかったが底面中央の穴から銭４と骨片が出土しており、この穴を棺跡とすると、桶棺の可能性がある。墓壙内から銭６・磁器碗１とやや多量の鉄釘が出土した。葬位は不明である。

第８３号墓（第65・90図、図版71－③④）

中段東辺、第７１号墓の北西側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面119×109cm・底面77×74cm・深さ170cmを測る。棺は49×45cmを測る正方形縦棺である。棺内には銭６が副葬されており、墓壙内から少量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は北西向きの立膝座葬である。



第89図　原田第40号墓地　第79～82号墓実測図（S=1/30）



第90図　原田第40号墓地　第83～88号墓実測図（S=1/30）

第８４号墓（第65・90図、図版71－⑤⑥）

中段中央の北東端、第７８号墓の北東側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面107×103cm・底面79×75cm・深さ153cmを測る。墓壙の南西辺に改葬壙がある。棺は54×49cmを測る正方形縦棺であり、深さ50cmを残す。棺内には銭６・煙管１・簪１・磁器碗１・磁器蓋１・数珠玉６が副葬されており、棺外から土師皿片４が出土した。墓壙内からは多量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は南西向きの立膝座葬である。

第８５号墓（第65・90図、図版72－①）

下段北東端に位置する。墓壙は方形を呈し、上面131×116cm・底面101×79cm・深さ30cmを測る。棺は確認できず、副葬品・人骨の出土も無い。

第８６号墓（第65・90図、図版42－⑤、72－②）

上段、最北西端に位置する。墓壙は不整の楕円形を呈し、上面87×74cm・底面63×48cm・深さ３４cmを測る。土葬墓としては疑わしいが、地上に径170×140cmの土饅頭がありその上の基壇と考える集石（第１８号墓石）が位置しており、墓壙として扱った。副葬品・人骨の出土は無い。

第８７号墓（第65・90図、図版72－③）

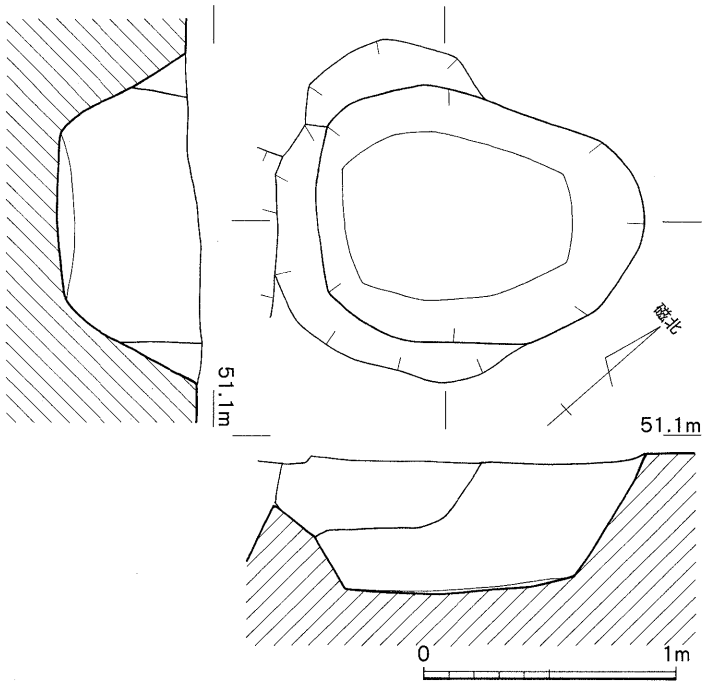
中段南東端に位置する。墓壙は方形を呈し、上面156×150cm・底面127×123cm・深さ28cmを測る。墓壙の西角は残っていなかった。棺は確認できず、副葬品・人骨の出土も無い。

第８８号墓（第65・90図、図版44－④、72－④）

上段中央、第３３号墓の西側に位置する。地上に径170×140cmの土饅頭がありその上に第２９号墓石が建っている。墓壙は方形を呈し、上面85×67cm・底面46×41cm・深さ27cmを測る。墓壙の北西角は撹乱を受けている。棺は確認できず、副葬品・人骨の出土も無い。

第８９号墓（第65・91図、図版72－⑤）

上段中央の東辺、第１９号墓の北東側に位置する。墓壙は不整の楕円形を呈し、上面130×101cm・底面91×67cm・深さ56cmを測る。棺は確認できず副葬品・人骨の出土も無く、土葬墓としては疑わしいが、一応墓壙として扱った。



第91図　原田第40号墓地　第89号墓実測図（S=1/30）

３．その他の遺構（第65・82・87・92図、図版73）

第４０号墓地では、通常の土葬墓としては疑わしく、火葬骨を埋納した小土壙や胞衣を直接埋納したと思われる小土壙、あるいは胞衣容器と関係する小土壙を検出しており、計5基をその他の遺構として述べる。

第５１号墓（第65・82図、図版73－①）

上段北側、第１８号墓の南側に位置する。土壙は略円形を呈し、上面34×32cm・底面22×19cm・深さ29cmを測る。埋土は土葬墓のものと似ており、胞衣埋納土壙と考える。東側にも小土壙があるが、これは樹根による撹乱壙である。

第７０号墓（第65・87図、図版73－②）

中段南西側、第２５号墓の南側に位置する。土壙は略円形を呈し、上面61×49cm・底面31×31cm・深さ28cmを測る。鉄釘が少数出土しており棺の存在が考えられるが、確認できなかった。火葬骨を埋納した土壙である。

第１号壷棺（第65・75図、図版58－④）

中段中央、第２５号墓内の北角寄りの上位に位置する。墓壙は確認していないが、第２５号墓より新しい。棺は胴径25.3cmを測る壷棺である。棺内から幼児骨が出土し、磁器仏飯器１が副葬されていた。

第１号胞衣容器（第65・92図、図版73－③）

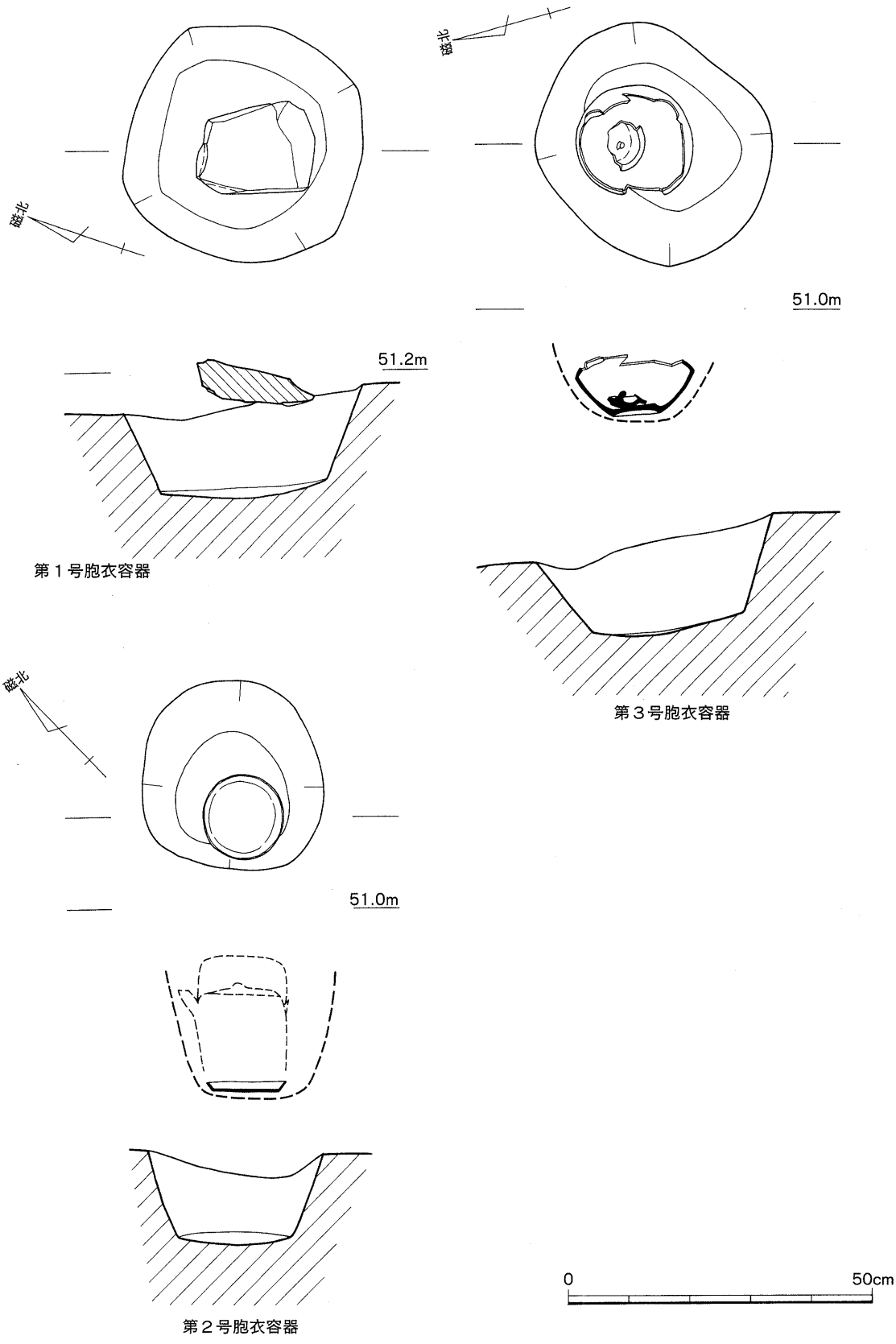
上段中央、第４８号墓の北西側に位置する。遺構名を胞衣容器としたが、容器は無い。土壙は不整の方形を呈し、上面38×38cm・底面27×26cm・深さ18cmを測る。墓壙上位には19×14cm、厚さ５cmを測る花崗岩の平石があり、標石と考える。ただし、調査前の本土壙の地上には径140×140cmの土饅頭があり、そのうえに第２５号墓石とした集石が位置している。本土壙は第２５号墓石より古いと考える。

第２号胞衣容器（第65・92図、図版73－④）

中段、第２４号墓の北西側に位置する。容器は鉄瓶であるが、調査途中で壊れたため、径11cmの底部しか図示できなかった。土壙は不整の円形を呈し、上面31×30cm・底面19×19cm・深さ15cmを測る。鉄瓶は土壙の検出面より10cm上位にあり、両者は直接関係しないかもしれない。

第３号胞衣容器（第65・92図、図版73－⑤）

中段中央の東辺、第７３号墓の南側に位置する。容器は胴径18.9cmの土瓶であり、上位を欠いていた。土壙は楕円形を呈し、上面40×34cm・底面27×20cm・深さ20cmを測る。土瓶は土壙の検出面より21cm上位にあり、両者は直接関係しないかもしれない。



第92図　原田第40号墓地　第１～３号胞衣容器出土状態実測図（S=1/10）

4.『墓籍地図』・『墓籍』の調査（第50・93・94図、第5表）

『墓籍地図』・『墓籍』のうち、第４０号墓地の標記には

第４０号
所 在 地　　筑前国御笠郡原田村2615番地　　字辻
面　　積　　４畝15歩
持　　主　　原田村共有総代　　山内伊七郎
　　山内孫九郎
　　山内喜三　　とあり、

本墓地は、個人所有ではなく、原田村の共同墓地である。

『墓籍地図』（第93図）は横位の図であるが、方位の表記が無い。墓標および墓標番号の向きは標記文字と同じである。墓石の配置図（第50図）との比較から、本図の手前が西である。そうすると墓標および墓標番号は西向きとなり、他の図と同じ向きとなり矛盾しない。墓域は南北に長く、原図で長さ67.0cm、最大幅31.0cmの枠で墓域を図示している。墓標の配置を概観すると、図面向かって左上にやや離れてまとまった一群（墓標番号67～80）があり、第50図の下段の墓石・墓壙に対応する。また、中央の3基（墓標番号32～34）は1列に並んでおり第50図の第１５～１７号墓石と一致し、墓標番号３４と３５との間を境として右側が上段、左側が中段である。なお、墓標番号６６は、第50図の区分に従い便宜的に下段に含める。

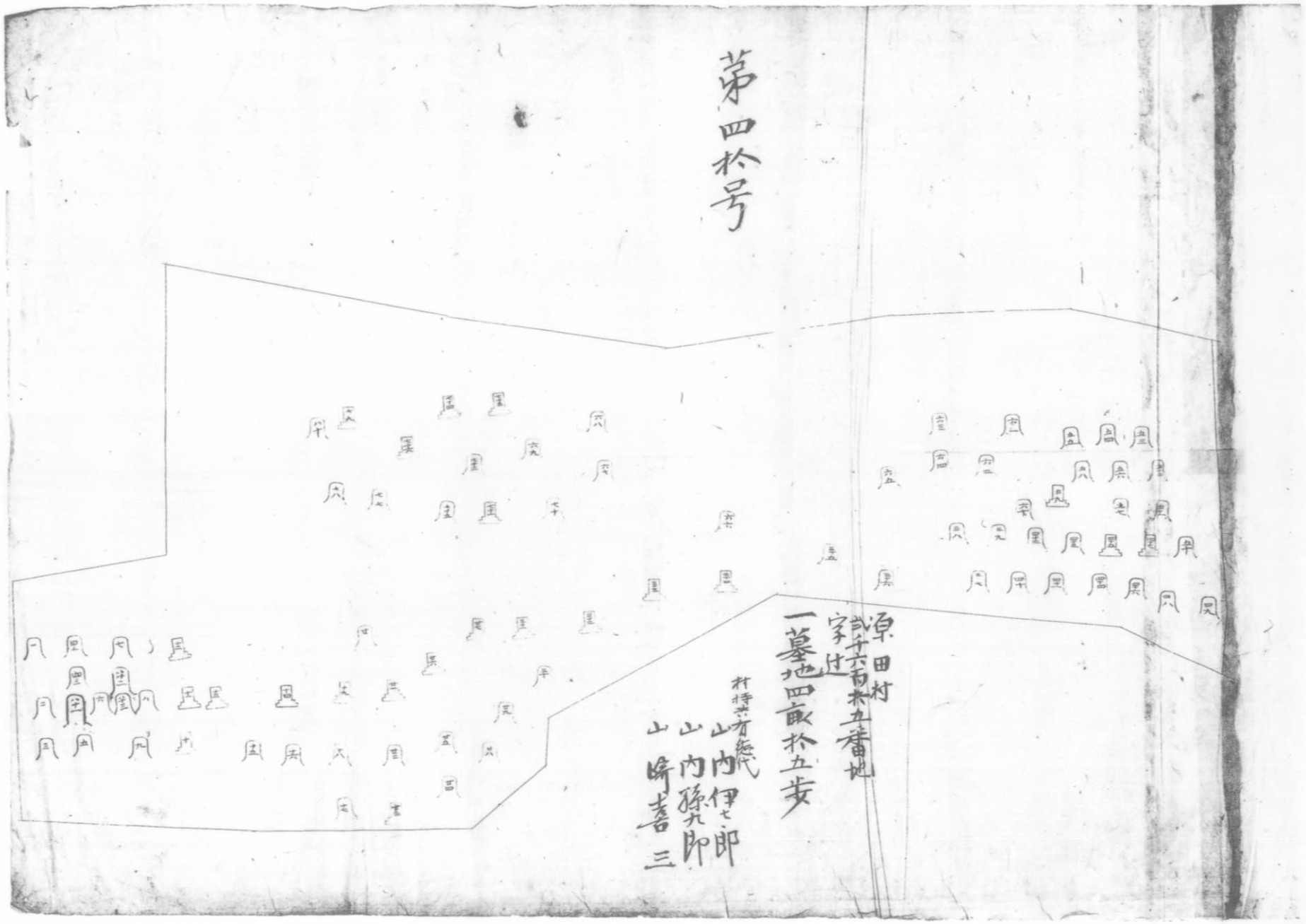
図示された墓標は８４基を数え、木標６２基、石標２２基であるが、墓標番号は１～８３である。上段では木標２８基・石標３基の計３１基、中段では木標２４基・石標１４基の計３８基、下段では木標１０基・石標５基の計１５基である。

『墓籍』には記載途中で抹消された８４番を除けば１～８３の墓標番号が付されているが、実質は８４基の墓籍内容が記載されている。これは、墓標番号４が２基あり、枝番１・２と表記されたためである。１～８０番の８１基は作成時のもので死亡年月日は順不同であり、木標５８基・石標２３基である。残り３基は順次追記のものであり、すべて木標である。この中には判読できないものが多かったらしく、死亡年月日不詳のもの４２基と死者姓名不詳のもの５１基がある。

また、死者姓名の表現から２組の夫婦、１組の親子、１組の兄弟関係が把握できる。墓地の祭主としては、村持とは別に５名の祭主者が記載されており、姓別では山内姓４名・森内姓１名である。

記載された内容を整理し、死亡年月日の古い順に並べたものが第５表である。最も古いものは文永８（1271）年の死者姓名不詳のもの（墓標番号４６）となっているが、調査した第２７号墓石の年号「□永八年」と干支「亥」との組み合わせから「安永８年」であることが判明した。このため、第４０号墓地の『墓籍』は享保２（1717）年11月28日死亡の死者姓名不詳（墓標番号４５）から明治40年１月３日死亡の山内弥作までの８４名の墓籍である。

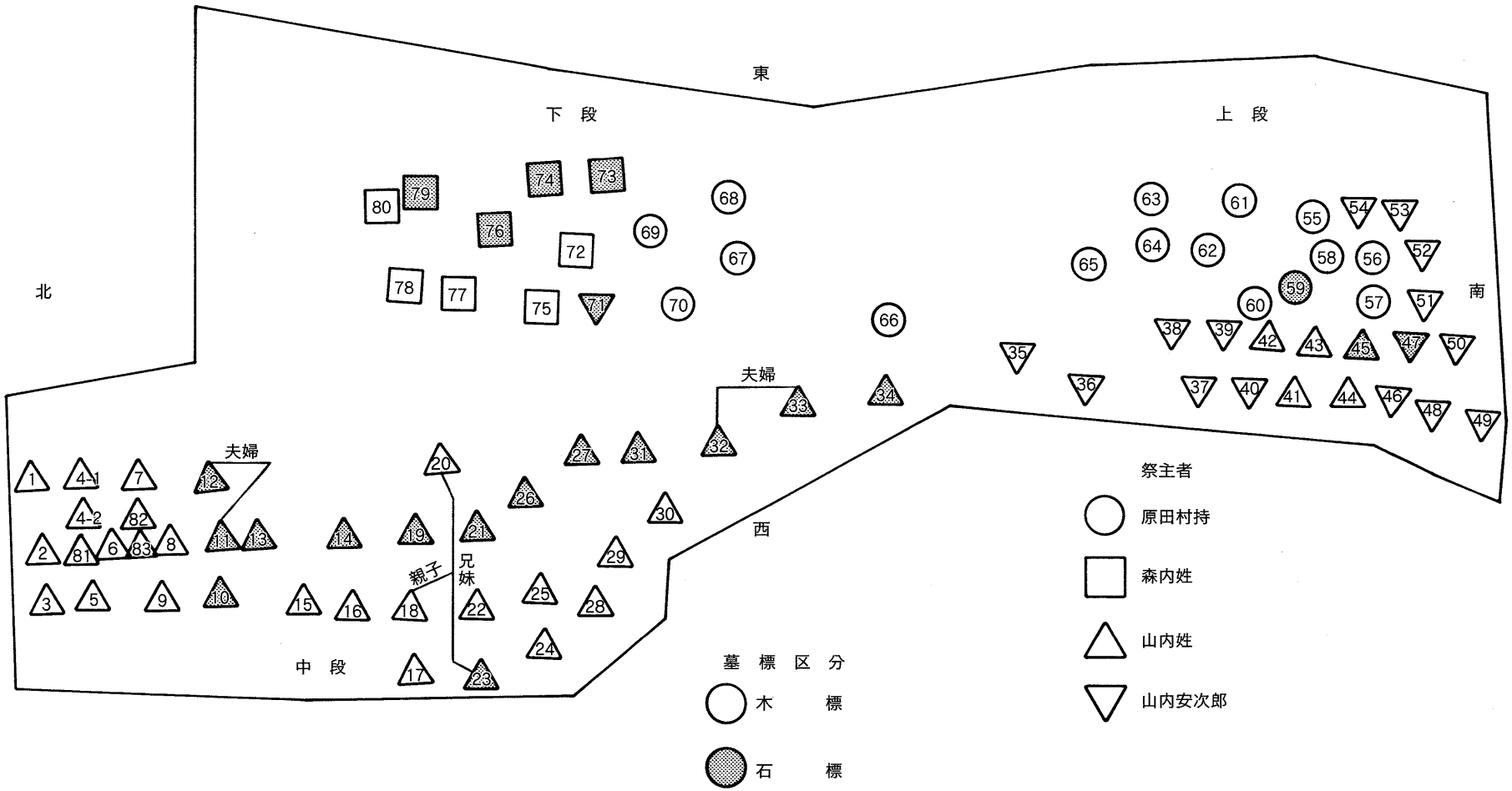
『墓籍地図』の墓標を祭主者の性別と村持分とに区分した図が第94図である。祭主者５名のうち４名は山内姓であり、山内家祭主の墓が大半を占めている。山内姓祭主者を細分するとそれぞれでまとまりがあるが、特に山内安次郎祭主の墓は先の墓標番号４６を除けば、すべて墓碑銘不詳のものであり、上段にまとまっている。森内家祭主の墓は下段に限られており、下段の中には山内安次郎祭主の1基の他に村持５基が含まれている。村持祭主の墓１６基のうち１基だけ石標であるが、それを含めたすべてが墓碑銘不明のものである。以上のことから、第４０号墓地の明治期の祭主は、



第93図　原田第40号墓地　『墓籍地図』（原図のS＝1/3）

第５表　原田第40号墓地『墓籍』記載内容一覧表

	西暦	死亡年月日	被葬者氏名・関係	備考	祭主	坪数	墓標	墓石	墓壙
江戸中期	1271	文永 8.12.12	山内甚助	安永8.12.12　山内十エ門	山内安次郎	3尺4方	46㊧	27	
	1717	享保 2.11.28			山内ハマ	3尺4方	45㊧	33	㉑
	1744	延享 1. 3.10	山内吉次郎	延享元.10.14	同人	2尺4方	34㊧	17	22
	1766	明和 3. 5.15	山内菊次郎		同人	2尺4方	3㊨		
		3. 5.15	山内弥八妻		同人	2尺4方	32㊧	15	㉔
	1782	天明 2. 5. 1	山内吉右エ門		同人	2尺4方	15㊨		
		2. 5. 1	山内孫六郎		山内弥作	3尺4方	31㊧	13	㉑
	1786	6. 7.29		天明6.7.19？清太母	森内喜作	2尺4方	74㊧	47	㊽
	1787	7. 6.20	森内行七母	天明5.2.10	同人	2尺4方	73㊧	49	㊹
		7. 8.14		天明7.11.24　山内利吉	山内弥作	2尺4方	27㊧	12	83
		7.10.14	山内弥作		同人	2尺4方	22㊨		
		7.11.15		又三	森内喜作	3尺4方	76㊧	48	㊾
		7.11.15			同人	3尺4方	77㊨		
		7.11.15			同人	3尺4方	78㊨		
	1789	9. 3. 2	森内平太	天明9.2.2	同人	3尺4方	79㊧	46	㊻
		寛政 1.12. 2	山内弥八	寛延元.12.12	山内ハマ	4尺4方	33㊧	16	㉓
	1794	6. 6.20		寛政6.6.30	山内弥作	2尺4方	26㊧	10	73
	1795	7. 7.14		仲次	山内安次郎	2尺4方	71㊧	50	65
	1798	10. 9.20			山内弥作	2尺4方	21㊧		
	1799	11.10.23	山内ヨシ		山内ハマ	2尺4方	16㊨		
		11.10.23		山内吉エ門	山内弥作	2尺4方	19㊧	7	36
	1802	享和 2.10. 9		享和2.10.19	山内ハマ	2尺4方	14㊧	6	37
		2.10.19	山内ミツ		同人	2尺4方	2㊨		
	1806	文化 3.11. 1		山内吉右エ門妻	同人	2尺4方	13㊧	5	38
江戸後期	1818	文政 1. 5.14	山内勘次母		山内弥作	2尺4方	18㊨		
	1825	8. 9.10	山内勘次妹		同人	2尺4方	20㊨		
	1847	弘化 4. 8.10	山内茂七		山内ハマ	2尺4方	6㊨		
	1856	安政 3.11.13	山内太助		山内弥作	2尺4方	24㊨		
	1857	4. 2. 3	山内勘次		同人	2尺4方	23㊧	8	27
	1858	5.12.10	山内ハマ		山内ハマ	2尺4方	8㊨		
	1860	7. 2.28	山内弥市妻	山内弥平妻	同人	2尺4方	11㊧	2	
		7. 3. 3	山内弥平		同人	2尺4方	10㊧	4	㊴
		万延 1. 7. 3	山内亀吉		山内弥作	2尺4方	25㊨		
	1863	文久 3. 3.24	山内熊吉		山内ハマ	2尺4方	9㊨		
明治	1874	明治 7. 7.11	山内サト		同人	2尺4方	4-2㊨		
	1877	10. 4.22	山内ヌイ	明治7.6.6　山内ぬい	山内弥作	2尺4方	30㊨	14	㉕㉚
	1878	11. 8.10	山内イト		同人	2尺4方	28㊨		
	1879	12.10.23	山内ク子		山内ハマ	2尺4方	1㊨		
	1881	14. 7.14	山内弥市		同人	2尺4方	12㊧		
	1882	15. 5. 9	山内イシ		山内弥作	2尺4方	29㊨		
	1886	19. 8.18	山内シヲ		山内ハマ	2尺4方	4-1㊨		
	1899	32. 6.28	山内イン		同人	3尺4方	81㊨		
	1902	35. 8.27	山内シケ		山内弥作	3尺4方	82㊨		
	1907	40. 1. 3	山内弥作	石には明治40.1.4	山内廣吉	3尺4方	83㊨	14	
		不詳	不詳		山内ハマ	2尺4方	5㊨		
		〃	〃		同人	2尺4方	7㊨		
		不明	〃		山内弥作	2尺4方	17㊨		
		〃	〃		山内安次郎	2尺4方	35㊨		
		〃	〃		同人	2尺4方	36㊨		
		〃	〃		同人	2尺4方	37㊨		
		〃	〃		同人	2尺4方	38㊨		
		〃	〃		同人	2尺4方	39㊨		
		〃	〃		同人	2尺4方	40㊨		
		〃	〃		山内ハマ	2尺4方	41㊨		
		〃	〃		同人	2尺4方	42㊨		
		〃	〃		同人	2尺4方	43㊨		
		〃	〃		同人	2尺4方	44㊨		
		〃	〃		山内安次郎	3尺4方	47㊧		
		〃	〃		同人	3尺4方	48㊨		
		〃	〃		同人	3尺4方	49㊨		
		〃	〃		同人	3尺4方	50㊨		
		〃	〃		同人	3尺4方	51㊨		
		〃	〃		同人	3尺4方	52㊨		
		〃	〃		同人	2尺4方	53㊨		
		〃	〃		同人	2尺4方	54㊨		
		〃	〃		村持	3尺4方	55㊨		
		〃	〃		村持	3尺4方	56㊨		
		〃	〃		村持	3尺4方	57㊨		
		〃	〃		村持	3尺4方	58㊨		
		〃	〃		村持	3尺4方	59㊧		
		〃	〃		村持	3尺4方	60㊨		
		〃	〃		村持	3尺4方	61㊨		
		〃	〃		村持	3尺4方	62㊨		
		〃	〃		村持	3尺4方	63㊨		
		〃	〃		村持	3尺4方	64㊨		
		〃	〃		村持	2尺4方	65㊨		
		〃	〃		村持	2尺4方	66㊨		
		〃	〃		村持	2尺4方	67㊨		
		〃	〃		村持	2尺4方	68㊨		
		〃	〃		村持	2尺4方	69㊨		
		〃	〃		村持	2尺4方	70㊨		
		不詳	森内ツ子		森内喜作	2尺4方	72㊨		
		〃	不詳		同人	3尺4方	75㊨		
		〃	〃		同人	2尺4方	80㊨		
			~~山内ツネ~~			3尺4方	84㊨		
				山六□□				32	
								不明-2	
								不明-3	
								3	
								22	49
								24	19
				宝暦12年8月27日				26	④
								36	⑬
								53	
				天明5年2月12日　又次				55	㊺
				□意童女				9	78



第94図　原田第40号墓地　『墓籍地図』祭主別墓標分布図

山内家の中でも不明墓を山内安次郎が祭主し、山内家と森内家の祭主墓以外の不明墓を村持として村が祭主している。

５．まとめ（第50・95図、第５・６表）

以上の第４０号墓地の調査内容を踏まえて、本墓地について気づいたことを記述する。

① 墓碑銘を有する墓石２５基を調査した。うち２３基が花崗岩の自然石であり、２基は切石である。

② 自然石の墓石は、墓碑面として１面を一段彫り窪めたものと、そうでないものとがある。両者に著しい時期差は認められず、江戸期を通して併存している。なお、明治期の自然石は出土しなかった。

③ 切石の墓石は、後世に寄せ墓として建立された夫婦墓（第１４号墓石）を除くと、文化３(1806)年銘の第５号墓石１基だけである。

④ 戒名と本名については、江戸期のものは第１７号墓石を除いてすべて正面中央に戒名を記し、本名は側面か正面脇に記すか、あるいは本名を記さないなど、３様である。

⑤ 第１７号墓石には戒名は無く、本名を正面に死亡年・月日とともに同じ大きさで併記している。ただし、正面中央上位に月輪を一段彫り窪め、内側に梵字を記している。

⑥ 月輪に梵字を記したものは、この他に、年号不明の第３６号墓石がある。また、寛延１(1748)年銘の第１６号墓石は、戒名の上に梵字だけを記したものである。

⑦ ９３基の遺構を検出・調査した。その内訳は、土葬墓８７基・壷棺１基・小土壙３基・胞衣容器２基である。

⑧ 土葬墓の墓壙形態は、正方形６２基・長方形２２基・円形１基・楕円形２基である。

⑨ 長方形墓壙の棺形態の内訳は、屈葬用の短い長方形横棺１５基・伸展葬用の長い長方形横棺１基・座棺用の正方形縦棺１基・不明５基である。このうち、短い長方形横棺は墓域の上段に集中し、長い長方形横棺１基だけは中段に位置する。

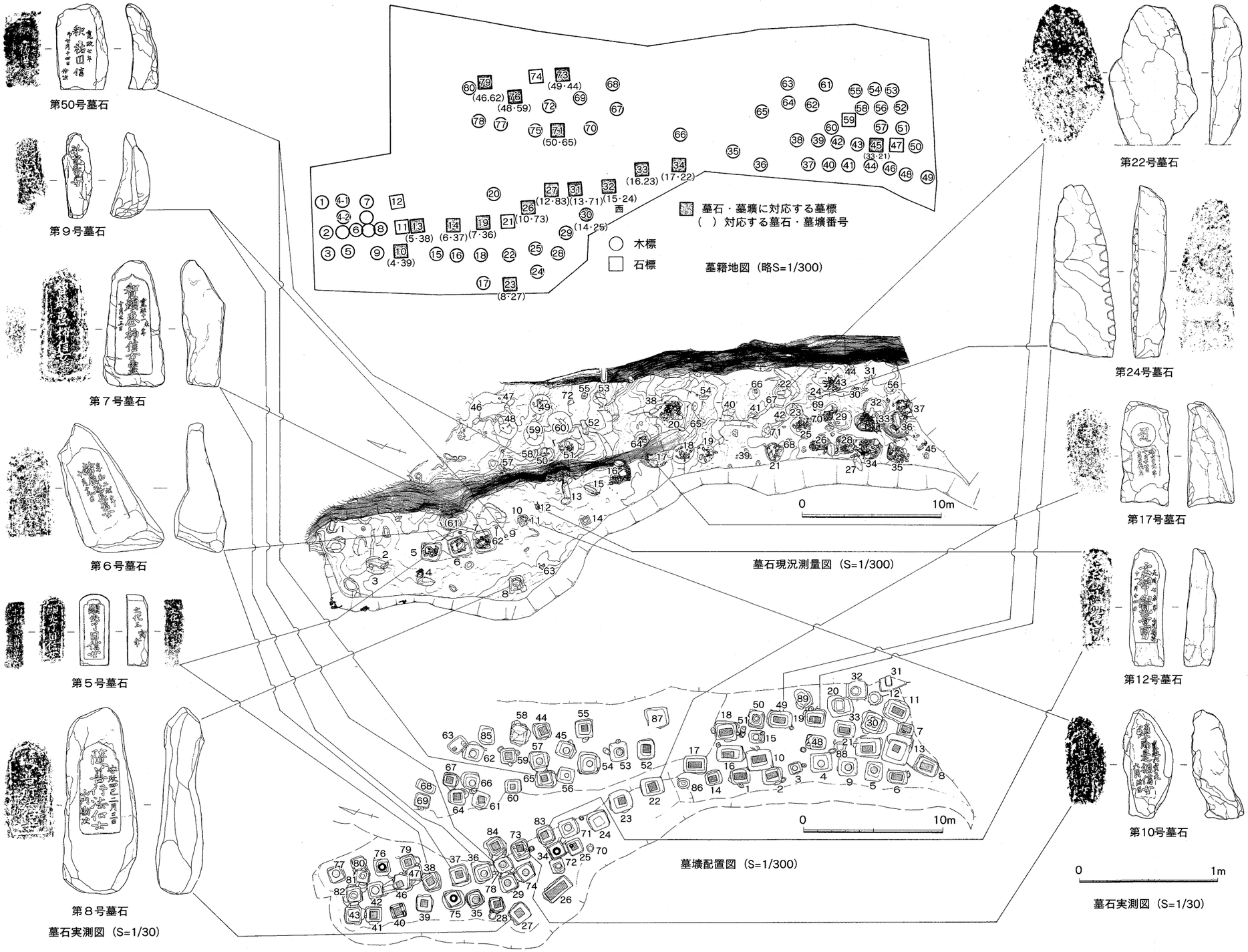
⑩ 正方形墓壙の棺形態の内訳は、正方形縦棺２４基・桶棺１９基・甕棺３基・不明１６基である。このうち、甕棺は中段だけにしかなく、桶棺・正方形縦棺は中・下段ともに普遍的に存在している。しかし、上段での正方形縦棺は最大規模の墓壙である第１３号墓１基だけで、他は桶棺である。

⑪ 長方形墓壙が集中する上段と方形墓壙が集中する中段との中間に、方形に近い長方形墓壙に正方形縦棺を納めた中間的な形態の第２２号墓が位置している。

⑫ 『墓籍』に記載された石標２２基に対し、調査で出土した墓碑銘のある墓石２５基のうちの１９基が同一石標と認定できた。そのうち１基は、『墓籍』記載の木標２基と一致する、後世に建立された夫婦墓である。

原位置が確実な墓石１１基（第５～１０・１２・１７・２２・２４・５０号墓石）と、ほぼ確実な墓石１３基（第４・１３～１６・２６・３３・３６・４６～４９・５５号墓石）の計２４基が、地下の墓壙と結びついた（第６表）。

⑬ 本墓地の使用開始時期については、墓石では享保２(1717)年銘の第３３号墓石が最も古



第95図　原田第40号墓地　墓石・墓壙・『墓籍地図』対比図

第６表　原田第40号墓地　墓石・墓壙・『墓籍』対比表　　（○番号は推定）

墓石			墓壙				『墓籍』	
番号	死亡年月日	戒名	番号	墓壙	棺	人骨	番号	死者姓名
33	享保 2.11.28	法名釋妙祐位	㉑	長方形	長方形横棺(短)	○	45	不詳
17	延享 1.10.14	山内吉次郎	22	長方形	正方形縦棺	○	34	山内吉次郎
16	寛延 1.12.22	見庭霊	㉓	方形	正方形縦棺	○	33	山内弥八
26	宝暦12. 8.27	釈妙光	④	方形	桶棺	○		
15	明和 3. 5.15	梅應妙真信女	㉔	方形	不明	×	32	山内弥八妻
27	安永 8.12.12	法号　繹浄頂信士					46	(山内十エ門)
13	天明 2. 5. 1	□故猛譽勇道信士ミ	㉑	方形	桶棺	○	31	山内孫六郎
55	天明 5. 2.12	釈大順信士	㊺	方形	正方形縦棺	×		(又次)
47	天明 6. 7.19	釈妙貞信女	㊽	方形	不明	×	74	不詳
12	天明 7.11.24	玄標了覺童男	83	方形	正方形縦棺	○	27	不詳 (山内利吉)
49	天明 7. 6.20	釈尼妙順	㊹	方形	正方形縦棺	○	73	森内行七母
48	天明 7.11.15	釈教順信士	㊾	方形	正方形縦棺	○	76	不詳 (又三)
46	天明 9. 2. 2	釈道教信士	㊷	方形	桶棺	×	79	森内平太
10	寛政 6. 6.30	顕即是相信女	73	方形	正方形縦棺	○	26	不詳
50	寛政 7. 7.14	釈祐ノ信	65	方形	正方形縦棺	×	71	不詳 (仲次)
7	寛政11.10.23	智顔恵柳信女霊	36	方形	桶棺	○	19	不詳 (山内吉エ門□)
6	享和 2.10.19	齢屋延長信女	37	方形	正方形縦棺	○	14	不詳
5	文化 3.11. 1	顯光了円信女	38	方形	正方形縦棺	○	13	不詳 (山内吉右門妻)
8	安政 4. 2. 3	随善行法信士	27	方形	正方形縦棺	○	23	山内勘次
2	安政 7. 2.28	貞光如雲信女					11	山内弥次(平)妻
4	安政 7. 3. 3	唱在念信士	㊴	方形	正方形縦棺	○	10	山内弥平
14	明治 7. 6. 6	山内ぬい之墓	㉕	方形	正方形縦棺	○	㉚	山内ヌイ
〃	明治40. 1. 4	山内弥作之墓	㊿	円形			㉝	山内弥作
9	————	□意童女	78	方形	桶棺	○		
32	————	山六□□						
3	————	————						
22	————	————	49	長方形	長方形横棺(短)	○		
24	————	————	19	長方形	長方形横棺(短)	○		
36	————	㋮	⑬	方形	正方形縦棺	○		
53	————	————						

く、記載誤りの墓標を除けば、『墓籍』と一致する。

⑭　第６表の墓石の年号と墓壙を対比させると、延享・寛延期頃に、墓壙は短い長方形から方形へと移り変わっている。このことは、１８世紀中頃に屈葬（寝棺）から座葬へ変わったことを示している。

⑮　墓石から、『墓籍』に記載された夫婦２組のうち１組に誤りが判明し、別の夫婦１組が確認できた。また、新たな夫婦１組も確認でき、最終的に４組の夫婦が確認できた。

⑯　調査した墓石から、『墓籍』の記載内容―特に死亡年月日と死者姓名の表現―１６箇所に誤りが判明し、第５表の備考欄に訂正した。

第４節　原田第４１号墓地の調査

原田第４１号墓地（以下「第４１号墓地」という）は、旧遺跡名原田地区遺跡第40地点ＢＨ2628と仮称していた遺跡であり、昭和63年12月から平成１年10月にかけて調査した。

第４１号墓地は事業地内北西端（第１図）、筑紫神社の西側（第２図）に位置し、旧小字岩ノ狩倉にあたる。最高位63.1mの独立丘陵の頂部に立地する（第49図、図版37・74・75）。頂部を平坦に造成し、南北25m、東西17mの墓域としている。

墓石の調査は全面できたが、墓域中央から西辺中央にかけての幅4.0～4.5m、長さ9.0m程の範囲（第96・113図）については事業に伴う祭主者による改葬が行われたため、その部分の墓壙の調査はできなかった。

１．墓石の調査（第96～112図、図版74～85）

事業に伴う改葬とは別に、既に過去に改葬・集骨され、寄せ墓１基（第１号墓石「安藤・山内両家之墓」）が建立されていた。そのため、墓石の大半は地上に倒されあるいは改葬壙に落とし込まれていた。過去に改葬されなかった墓域の中央から西辺中央にかけての墓石は大半が原位置で建っており、他の建っているものも含めて、正面（碑面）はすべて西向きである。

地上において墓石は６０基を数えた。この中には墓碑のないもの、基壇・基礎石、そして小石にも番号を付しており、確実に墓碑を有する墓石は地上で２８基である。また、過去の改葬時に墓壙・改葬壙に落とし込まれた墓石５基が出土した。これ以外にも調査時の不手際で出土位置未確認のまま取り上げた不明墓石１９基も出土した。

以上のうち、計５０基の墓石を図示した（第98～112図）が、事業に伴う祭主者による改葬時に撤去された墓石については、拓影図および写真だけの記録である。

第１７号墓石（第96～98図、図版78－⑤）

墓域中央に位置し、正面を西側に向けて建っていた。花崗岩の自然石であり、長さ143.5cm・幅45.0cm・厚さ27.5cmを測る。本墓石の地下からは墓壙は検出できなかった。

墓碑銘は１面のみで、中央上位に月輪が彫り窪められ

天正十二歳
山内半右衛門尉
（月輪）　辻根元
同名隼人
甲申七月廿三日　　とある。

第３１号墓石（第96～98図、図版81－①②）

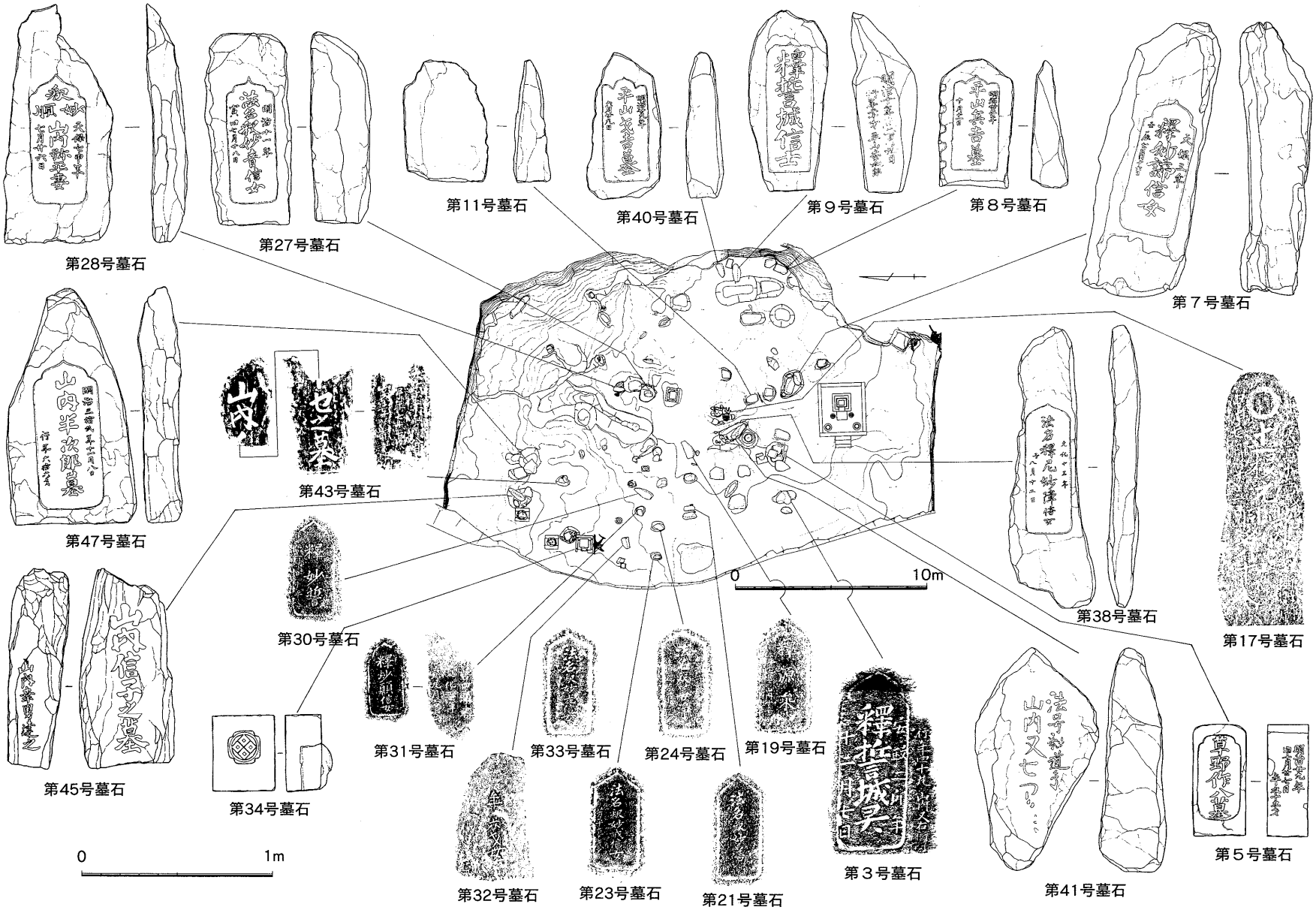
墓域中央の西側に位置し、正面を西側に向けて建っていた。花崗岩（深江）の自然石であり、長さ60.0cm・幅37.0cm・厚さ31.0cmを測る。

墓碑銘は一段彫り窪めた正面に　　裏面に

釋妙顯信女　　善四郎妻



第96図　原田第41号墓地　墓石現況測量図（S=1/100）



第97図　原田第41号墓地　墓石対比図（S=1/30・1/300）

文 化 三 年
寅 九 月 六 日　　とある。

第３８号墓石（第96～98図、図版82－③）

墓域の中央やや南寄りに位置し、第４１号墓石と共に改葬壙の中に落とし込まれていた。頭部を南東側にし、正面を南西側斜め上に向けて横転していた。花崗岩（佐賀）の自然石であり、長さ148.4cm・幅41.8cm・厚さ16.0cmを測る。第３９号墓の墓壙の地上に位置するが、第３９号墓の墓石かどうかは断定できない。

墓碑銘は一段彫り窪めた正面に

文 化 十 三 年
法 名 釋 尼 妙 障 信 女
子 八 月 十 二 日　　とある。

第１９号墓石（第96～98図、図版79－①）

墓域の中央に位置する。頭部を北東側にし、正面を北西側斜め上に向けて横転していた。花崗岩（佐賀）の自然石であり、長さ100.0cm・幅46.0cmを測る。

墓碑銘は一段彫り窪めた正面に

文 政 八 年
釋　源　乗
酉 三 月 十 二 日　山 内 十 平　　とある。

不明墓石―１９（第99図）

出土位置は不明である。花崗岩の自然石であり、長さ103.2cm・幅48.0cm・厚さ23.2cmを測る。

墓碑銘は一段彫り窪められた正面に

文 政 九 年 俗 名 久 冶
釈 正 音 信 士
戌 正 月 二 日 歳 七 十 二 才　　とある。

不明墓石―１（第99図）

出土位置は不明である。花崗岩（佐賀）である。拓影図から墓碑面は長さ61.0cm以上・幅29.0cmを測る。

墓碑銘は

文 政 九 年 俗 名 岩 吉
釈 幻 如 童 子
戌 四 月 五 日 年 二 才　　とある。

第３０号墓石（第96・97・99図、図版80－④）

墓域の中央西側寄り、第３１号墓石の東側に位置する。頭部を北北東側にし、正面を南西側斜め



第17号墓石(1584年)（墓標－20石）





第31号墓石(1806年)
（墓標－48石）







第38号墓石(1816年)
（墓標－21石）



第19号墓石(1825年)
（墓標－31石）

第98図　原田第41号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=1/10）①

上に向けて横転していた。花崗岩（深江）の自然石であり、長さ100.0cm・幅42.0cmを測る。

墓碑銘は一段彫り窪めた正面に

文 政 十 二 年
釋　妙　誓
丑[二]月 十 日 十 平 妻　　とある。

第７号墓石（第96・97・99図、図版77－①）

墓域のやや南東側、第１号墓石の北北東側に位置する。改葬壙の中に落とし込まれており、正面を南側斜め上に向け、頭部を東側下にして斜めに倒れていた。。花崗岩（佐賀）の自然石であり、長さ149.0cm・幅50.6cm・厚さ35.6cmを測る。本墓石の周辺地下には多くの墓壙が集中しているが、真下の第７５号墓の墓石と考える。

墓碑銘は一段彫り窪めた正面に

天 保 三 年
釋 妙 諦 信 女
壬 辰 七 月 十 六 日　　とある。

不明墓石―１８（第100図）

花崗岩自然石であり、長さ105.4cm・幅37.4cm・厚さ29.8cmを測る。出土位置は不明であるが、第８号墓の甕棺蓋石に墓碑銘の墨書があり、その死亡年月日が一致するため、本墓石は第８号墓の墓石である。

墓碑銘は一段彫り窪められた正面に

天 保 四 年
釋 了 順 信 士
巳 八 月 十 七 日　　とある。

不明墓石―１１（第100図）

出土位置は不明である。花崗岩（佐賀）の自然石であり、長さ67.0cm・幅32.2cm・厚さ17.0cmを測る。

墓碑銘は一段彫り窪められた正面に　　裏面に

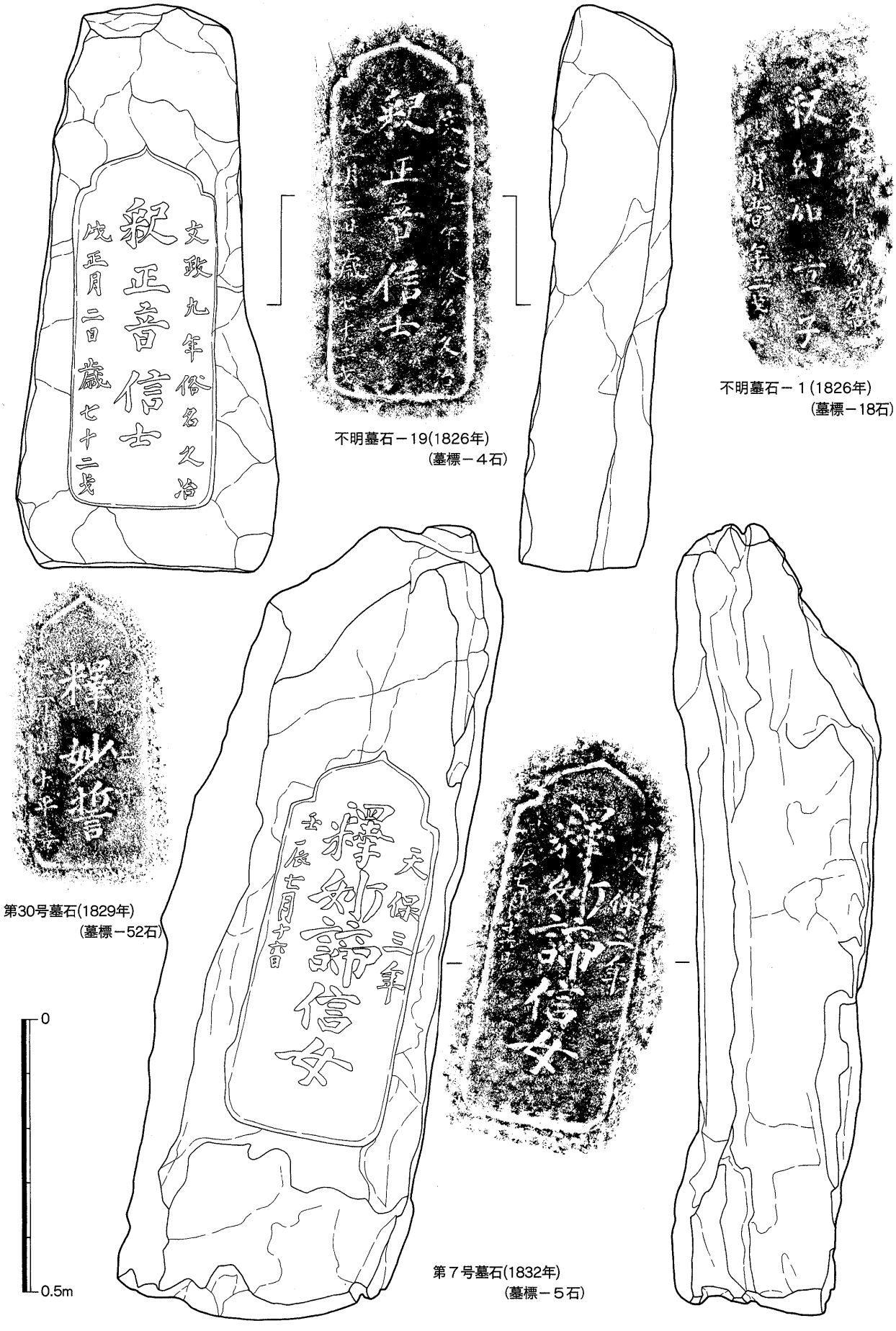
天 保 四 年　　又[右][工]門 女 子
釋[連]梦 童 女　　俗 名 キ[又]
巳 十 月 十 五 日　　年 四 才　　とある。

不明墓石―１６（第100図）

出土位置は不明である。花崗岩（深江）である。拓影図から墓碑面は長さ53.0cm・幅24.0cmを測る。

墓碑銘は一段彫り窪められた正面に　　裏面に

天 保 六 未 年　　山 内 又 六 女 房

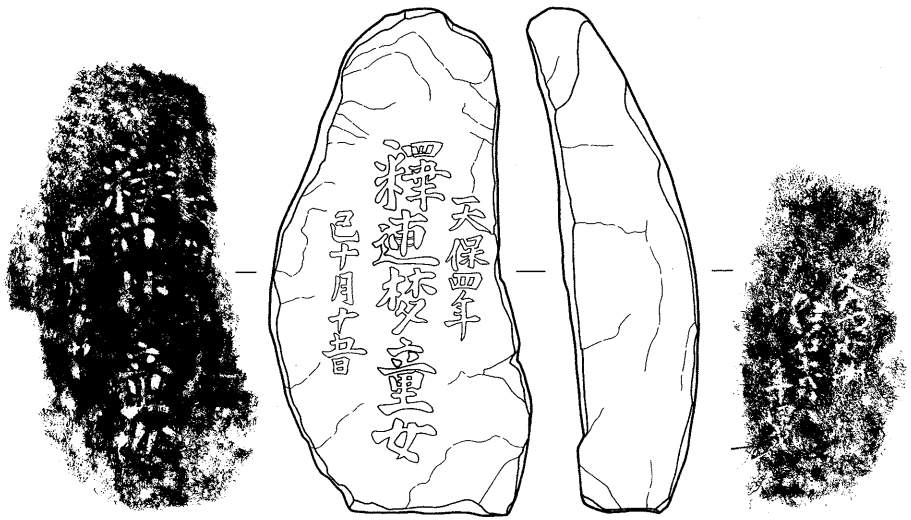


第99図　原田第41号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=1/10）②

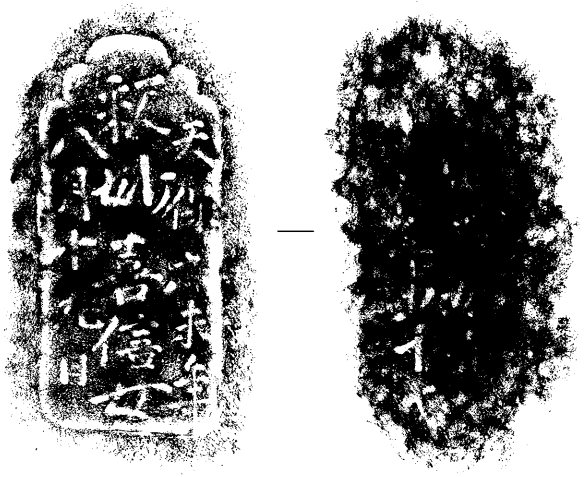




不明墓石－18(1833年)
（墓標－28石）



不明墓石－11(1833年)
（墓標－17石）



不明墓石－16(1835年)（墓標－24石）



第100図　原田第41号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=1/10）③

釈妙喜信女　　行年五十才
八月十九日　　とある。

不明墓石—17（第101図）

出土位置は不明である。花崗岩の自然石であり、長さ119.0cm・幅48.0cm・厚さ39.2cmを測る。

墓碑銘は一段彫り窪められた正面に

天保七年
釈僧忍信士
申三月廿四日　　とある。

第28号墓石（第96・97・101図、図版80—③）

墓域の中央やや北東寄りに位置し、正面を西側に向けて建っていた。花崗岩（佐賀）の自然石であり、長さ124.2cm・幅53.4cm・厚さ18.8cmを測る。第49号墓の墓石である。

墓碑銘は一段彫り窪めた正面にあるが、戒名の配列が他と異なり、墓碑面上位で3文字が三角形を呈する配列である。

妙　天保七申年
釈　山内弥平妻
順　七月廿六日　　とある。

不明墓石—6（第102図）

出土位置は不明である。花崗岩（深江）である。拓影図から長さ62.0cm以上・幅44.0cmを測る。

墓碑銘は1面のみで

弘化三
釈妙善[灵]
[午]七月八日　冶平
母　　とある。

不明墓石—8（第102図）

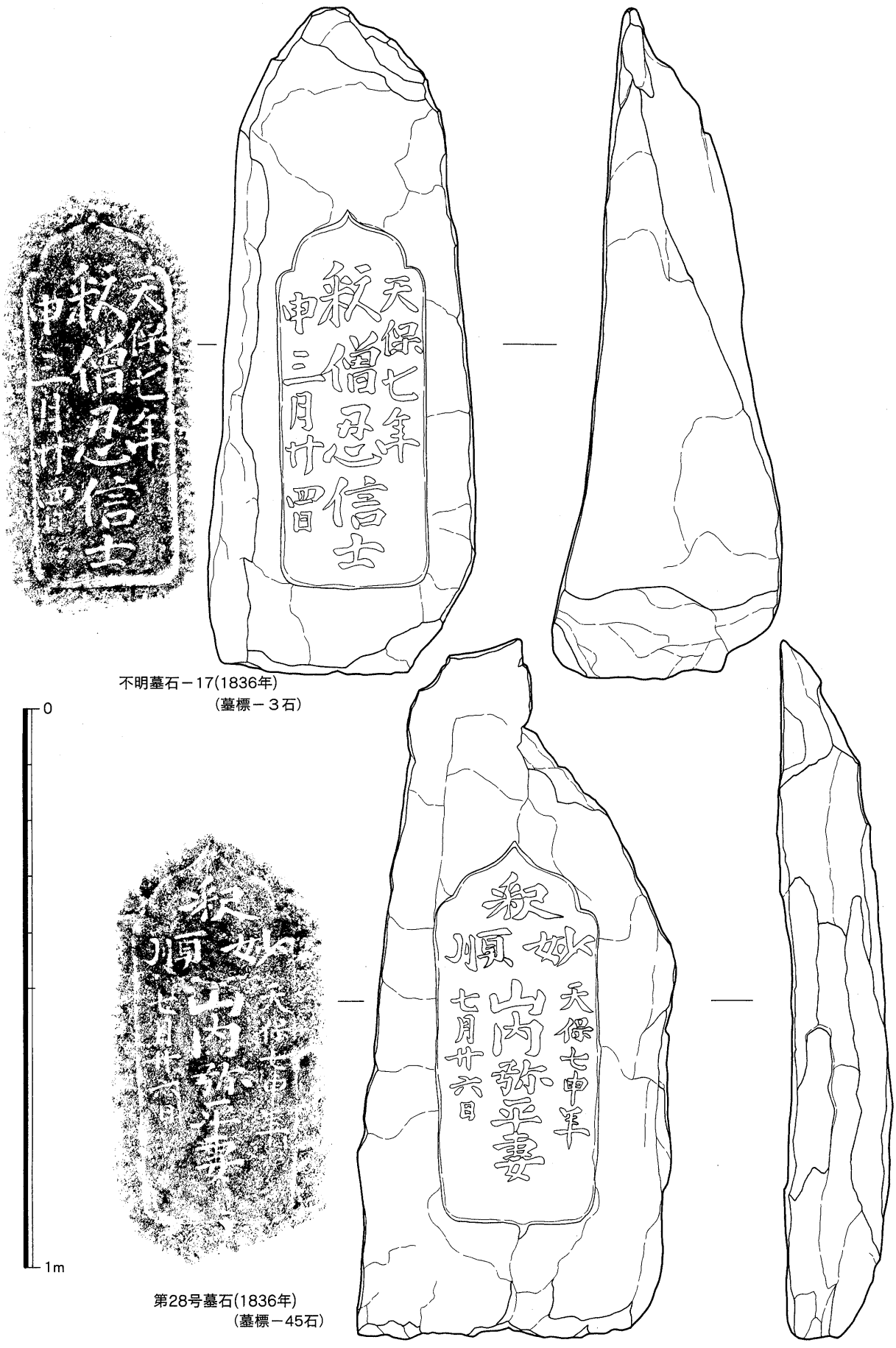
出土位置は不明である。花崗岩の自然石であり、長さ87.4cm・幅44.0cm・厚さ32.2cmを測る。

墓碑銘は一段彫り窪められた正面に　　右側面に

安政二卯年　　行年四十
釈妙空[灵]　　助[七]妻
八月十九日　　とある。

第3号墓石（第96・97・102図、図版76—③）

墓域の南西側に位置する。130×60cmを測る基礎石の上に、正面を西側に向けて建っていた。花崗岩（深江）の自然石であり、長さ137.0cm・幅90.0cm・厚さ58.0cmを測る。第3号墓の墓



第101図　原田第41号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=1/10）④



不明墓石－6(1846年)
(墓標－62石)





不明墓石－8(1855年)
(墓標－8石)





第３号墓石(1855年)
(墓標－２石)





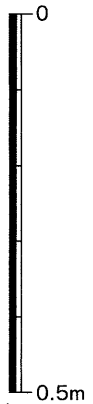


不明墓石－7





不明墓石－12(1863年)(墓標－67石)



第102図　原田第41号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=1/10）⑤

石である。

墓碑銘は正面の一段彫り窪めた面に　　同じ正面の墓碑面右外側に

安政二卯年　　行年四十九　山内又右衛門

釋誓城[灵]

十二月七日　　とある。

不明墓石―7（第102図）

出土位置は不明である。花崗岩（深江）の自然石であり、長さ70.0cm・幅27.8cm・厚さ24.4cmを測る。

墓碑銘は一段彫り窪められた正面に　　右側面に

山内たみ墓　　安政三年

辰四月廿九日　　とある。

不明墓石―12（第102図）

出土位置は不明である。花崗岩（深江）である。拓影図から長さ63.0cm以上・幅35.0cmを測る。

墓碑銘は

安政[六]年

釈善吉墓

未六月七日　　とある。

不明墓石―5（第103図）

出土位置は不明である。花崗岩（佐賀）の自然石であり、長さ73.8cm・幅37.6cm・厚さ18.5cmを測る。

墓碑銘は1面のみで、

萬延元申九月

釋　妙　円

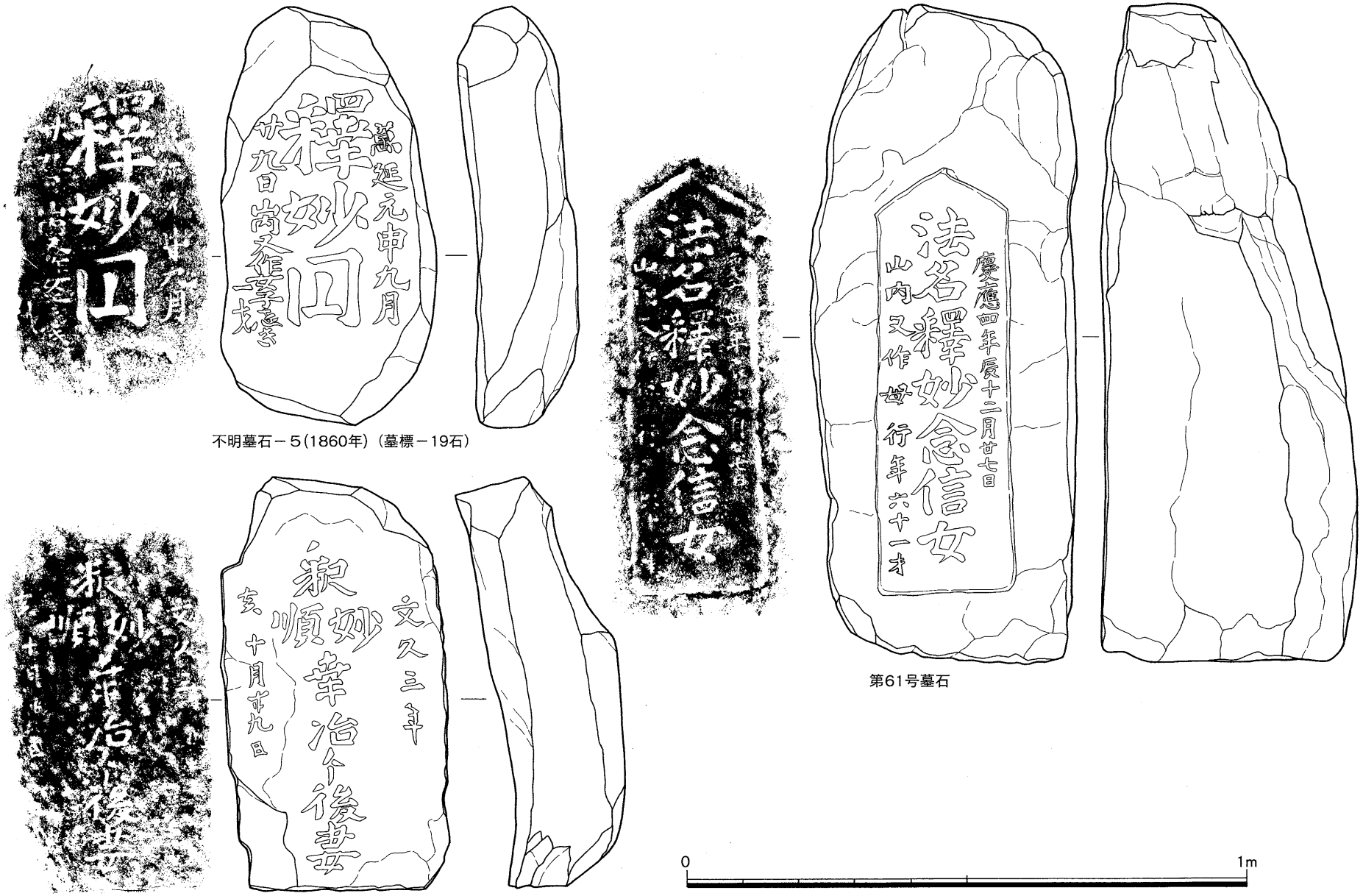
廾九日山内又作女子志き

一才　　とある。

第65号墓石（第103・113図、図版102－⑤）

墓域の西端中央寄り、第51号墓の墓壙内の北東角から出土した。改葬後に改葬壙から落とし込まれ、正面を南側に向けて正立の状態であった。花崗岩（深江）の自然石であり、長さ74.4cm・幅40.2cm・厚さ23.2cmを測る。本墓石は第51号墓から出土したが、改葬壙を挟んで北側に第52号墓があり、両墓とも地上に切り石で組んだ基壇・基礎石（第34・35号墓石）があり、第51・52号墓のいずれかの墓石と考える。

墓碑面は1面のみで、第28号墓石（第101図）同様、戒名の3文字が墓碑面上位で三角形を呈する配列である。



第103図　原田第41号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=1/10）⑥

文久三年
妙
釈　　幸治郎後妻
順
亥十月廿九日　　とある。

第６１号墓石（第96・103・113図、図版86－①）

墓域の中央やや南西側、第７～９号墓の間の改葬壙から出土した。頭部を第１号墓東角に置き、正面を上に向けて横転していた。花崗岩（佐賀）の自然石であり、長さ117.7cm・幅47.0cm・厚さ45.0cmを測る。本墓石が出土した改葬壙は第１４～１６号墓石とした３基の基礎石の中間に位置しており、本墓石はこの３基の基礎石のいずれかに帰属する。この基礎石の位置から、墓壙は第１・２・８・９号墓のいずれかであり、棺形態と墓碑年号から第１・８・９号墓に絞られ、さらに本墓石の倒れた状態から、本墓石は第1・９号墓のいずれかの墓石と考える。

墓碑銘は一段彫り窪めた正面に

慶應四年辰十二月廿七日
法名釋妙念信女
山内又作母行年六十一才　　とある。

第６４号墓石（第96・104・113図、図版109－③）

墓域の南東端寄り、第７０号墓の墓壙内から出土した。第７０号墓の墓壙内南側中位に、頭部を東側に置き、正面を北側斜め下に向けて他の石と接して横転していた。花崗岩（深江）の自然石であり、長さ75.4cm・幅36.6cm・厚さ23.6cmを測る。現況測量図（第96図）を見ると、第７０号墓は南側の第３１号墓と北側の第６９号墓と一緒に改葬された痕跡が残っており、本墓石の帰属を第７０号墓と断定することはできない。

墓碑銘は一段彫り窪めた正面に　　右側面に

平山善市墓　　明治三年十二月十七日　　とある。

第２４号墓石（第96・97・104図、図版79－⑤）

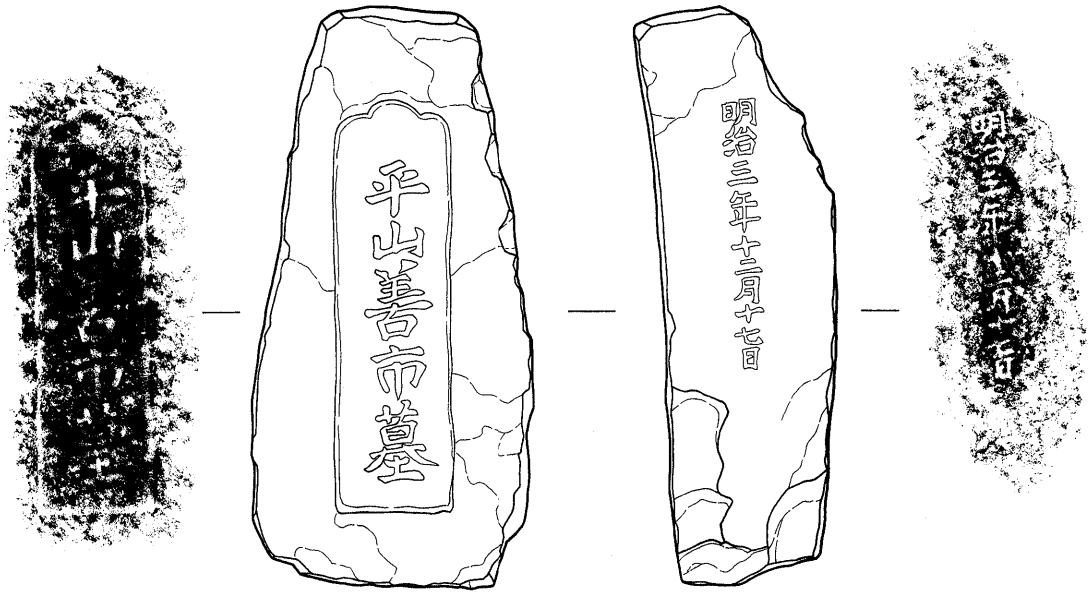
墓域の西側中央に位置する。径70×55cmを測る基礎石の上に、正面を西側に向けて建っていた。花崗岩（深江）の自然石であり、長さ104.0cm・幅64.0cm・厚さ35.0cmを測る。

墓碑銘は一段彫り窪めた正面に

明治四年十月廿六日
法名釈善浄
俗名芳平　　とある。

第２１号墓石（第96・97・104図、図版79－③）

墓域の中央西寄り、第２４号墓石の南東側に位置する。正面を西側に向けて基礎石の上に建っていたが、基礎石は地中に埋まっていた。花崗岩（佐賀）の自然石であり、長さ64.0cm以上・幅



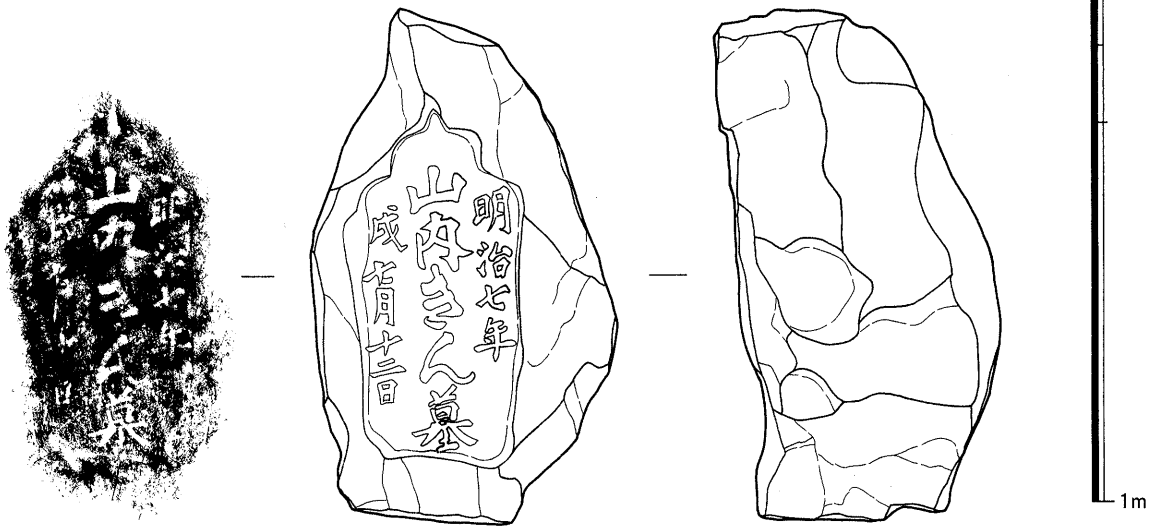
第64号墓石（1870年）（墓標－10木）



第24号墓石（1871年）
（墓標－53石）



第21号墓石（1873年）
（墓標－29石）



第62号墓石（1874年）
（墓標－15木）

第104図　原田第41号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=1/10）⑦

59.0cm・厚さ32.0cmを測る。

墓碑銘は一段彫り窪めた正面に

明治六年十月廿七日
法名釈妙善
茂市妻　　とある。

第６２号墓石（第96・104・113図、図版93－③）

墓域の南東端、第２１号墓の墓壙内から出土した。頭部を南側にし、正面を下に向けて他の石と一緒に重なって横転していた。花崗岩（佐賀）自然石であり、長さ67.0cm・幅38.2cm・厚さ34.6cmを測る。墓石の現況測量図（第96図）を見ると、第２１号墓北側に第２２号墓も接しており、本墓石の帰属は断定することはできない。

墓碑銘は一段彫り窪めた正面に

明治七年
山内きん墓
戌七月十二日　　とある。

第９号墓石（第96・97・105図、図版77－③）

墓域東辺の中央に位置する。頭部を東側に、正面を北側斜め上に向けて横転していた。花崗岩（深江）の自然石であり、長さ94.4cm・幅41.2cm・厚さ33.6cmを測る。第６９・７０号墓の墓壙境の地上に位置するが、本墓石の帰属は断定できない。

墓碑銘は一段彫り窪めた正面に　　右側面に

釋誓城信士　　明治十年丑二月廿日
行年二十才平山安太郎　　とある。

第２０号墓石（図版79－②）

墓域の中央西寄り、第１９号墓石の西側に位置する。71.0×54.0cmを測る基礎石の上に、正面を西側に向けて建っていた。花崗岩（深江）の自然石であり、長さ90.0cm・幅56.0cm・厚さ34.0cmを測る。

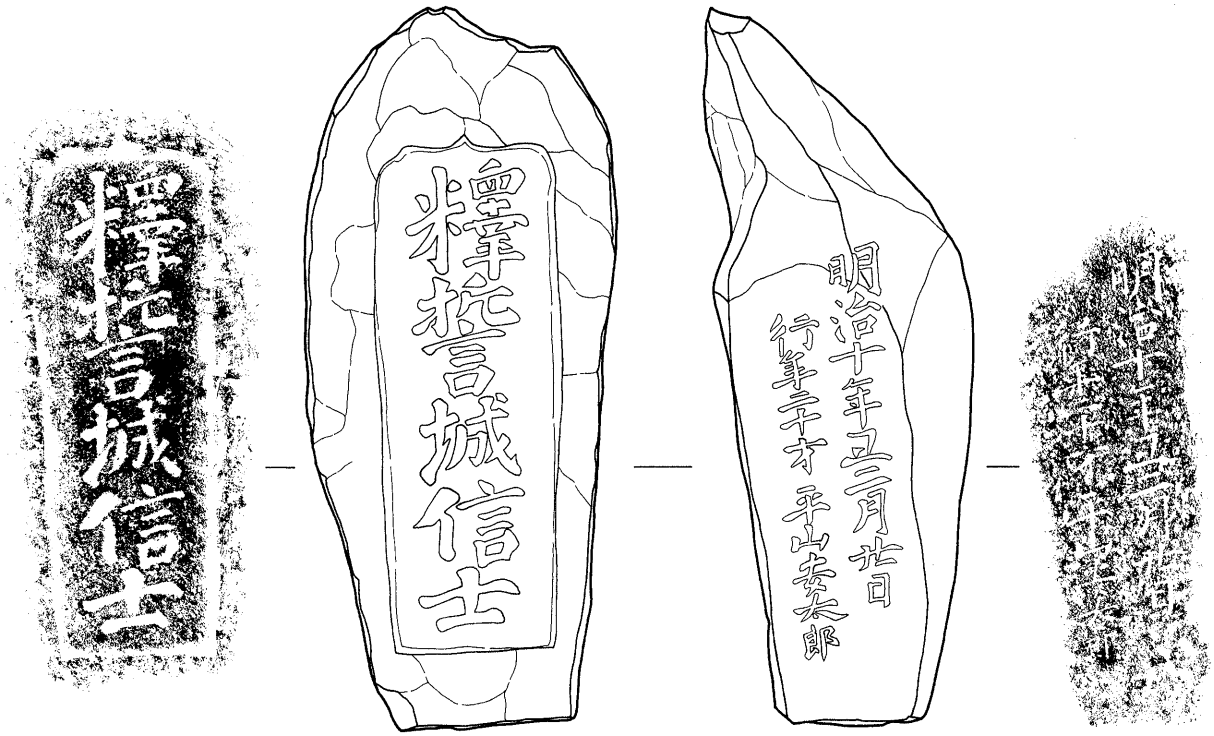
墓碑銘は一段彫り窪めた正面に

明治十一年正月廿九日
釈米翁壽山信士
俗名茂市　八十八才　　とある。

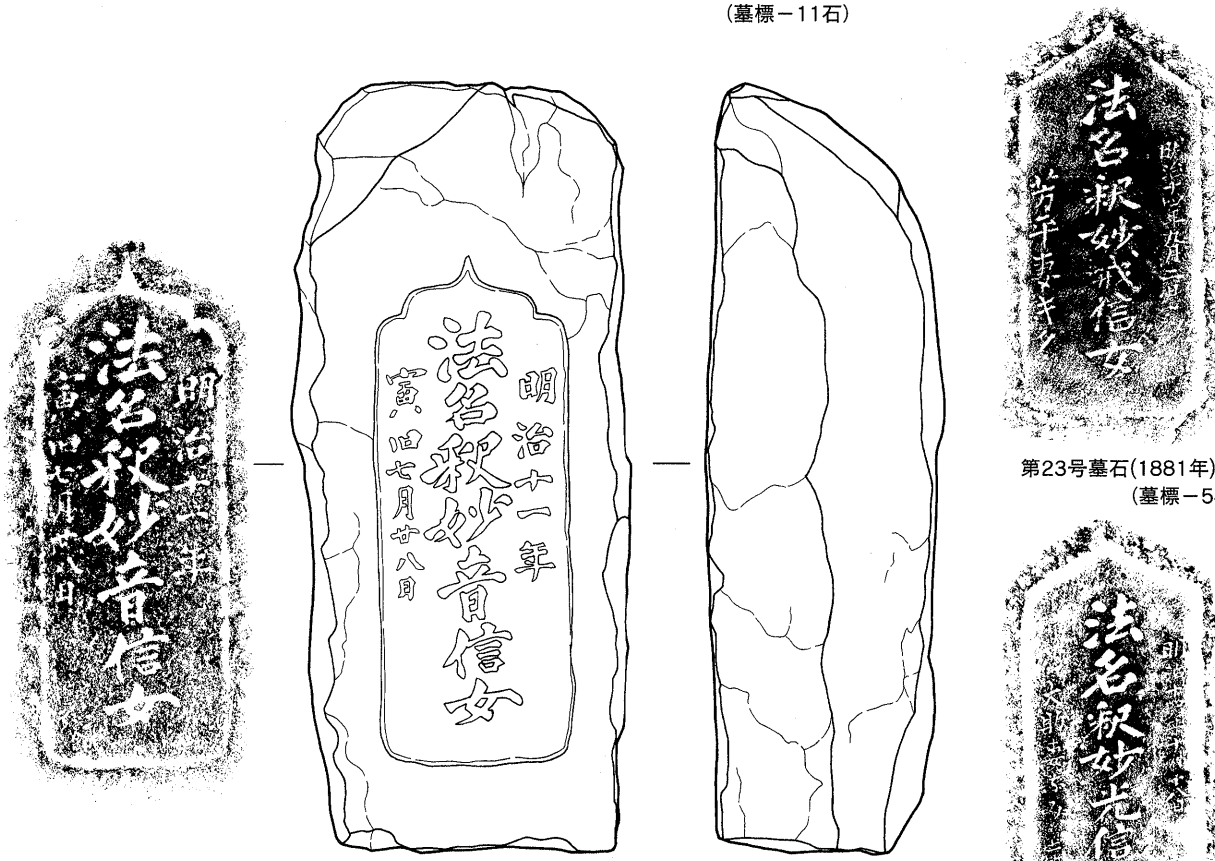
第２７号墓石（第96・97・105図、図版80－②）

墓域の中央やや北東寄り、第２８号墓石の南側に位置する。90×85cmを測る基礎石の上に、正面を西側に向けて建っていた。花崗岩（佐賀）の自然石であり、長さ101.2cm・幅44.2cm・厚さ31.4cmを測る。第４４号墓の墓石である。

墓碑銘は一段彫り窪めた正面に　　図示できないが裏面に



第９号墓石(1877年)
（墓標－11石）



第27号墓石(1878年)
（墓標－47石）

第23号墓石(1881年)
（墓標－54木）

第33号墓石(1881年)
（墓標－55木）

0　1m

第105図　原田第41号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=1/10）⑧

明治十一年　　山内カメ
法名釈妙音信女　　年八十歳
寅旧七月廿八日　　とある。

第２３号墓石（第96・97・105図、図版79－④）

墓域の西辺中央に位置する。60×40cmを測る基礎石の上に、正面を西側に向けて建っていた。花崗岩（深江）の自然石であり、長さ77.0cm・幅49.0cm・厚さ26.0cmを測る。

墓碑銘は一段彫り窪めた正面に

明治十四年九月二日
法名釈妙戒信女
芳平妻キク　　とある。

第３３号墓石（第96・97・105図、図版81－④）

墓域の西辺中央、第２３号墓石の北側に位置する。正面を西側に向けて建っていた。花崗岩（深江）の自然石であり、長さ61.0cm以上・幅38.0cm・厚さ33.0cmを測る。前面に一辺25cmを測る方形の水鉢石が置かれていた。

墓碑銘は一段彫り窪めた正面に

明治十四年十月十八日
法名釈妙光信女
大助妻なみ五十七才　　とある。

不明墓石―１３（第106図）

出土位置は不明である。切り石であり、長さ66.4cm・幅29.7cm・厚さ22.8cmを測る。頭部正面形は円頭形を呈する。

墓碑銘は一段彫り窪めた正面に　　右側面に
山内幸次郎墓　　明治十五年午十月四日
行年八十四才

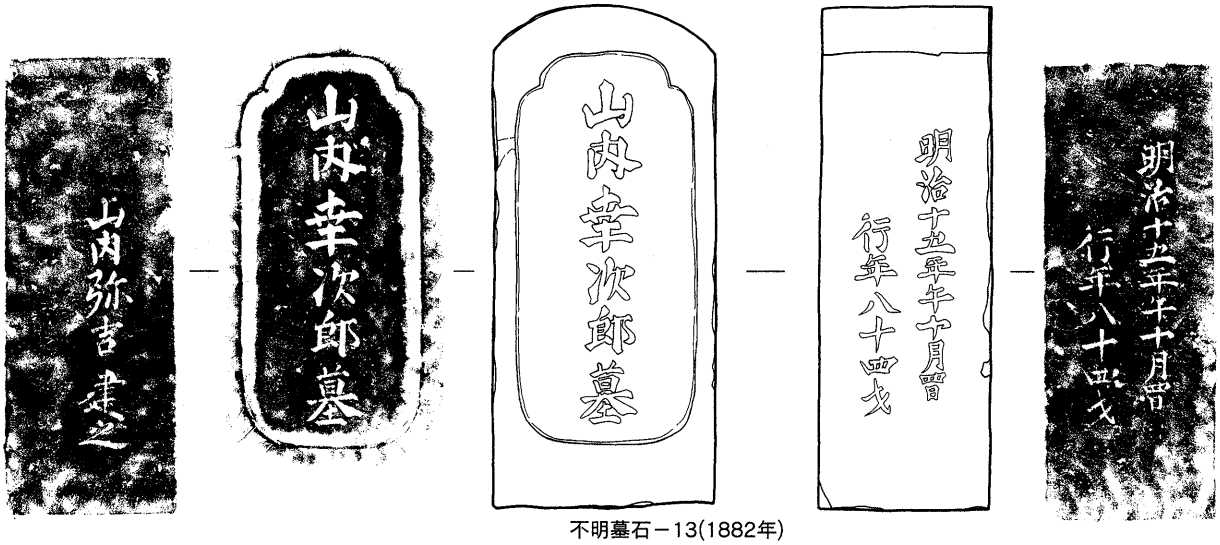
左側面に
山内弥吉建之　　とある。

第６３号墓石（第106・113図、図版112－①）

墓域の南東端、第２５号墓の墓壙内から出土した。頭部を東側にし、正面を下に向けて横転していた。花崗岩（佐賀）の自然石であり、長さ71.4cm・幅47.4cm・厚さ20.6cmを測る。第２５号墓は土葬墓ではなく、第２０号墓の改葬壙と考える。また、第２０号墓の墓壙の地上には一辺50×40cmを測る方形の基礎石が位置しており、本墓石は第２０号墓の墓石と考える。

墓碑銘は一段彫り窪めた正面に

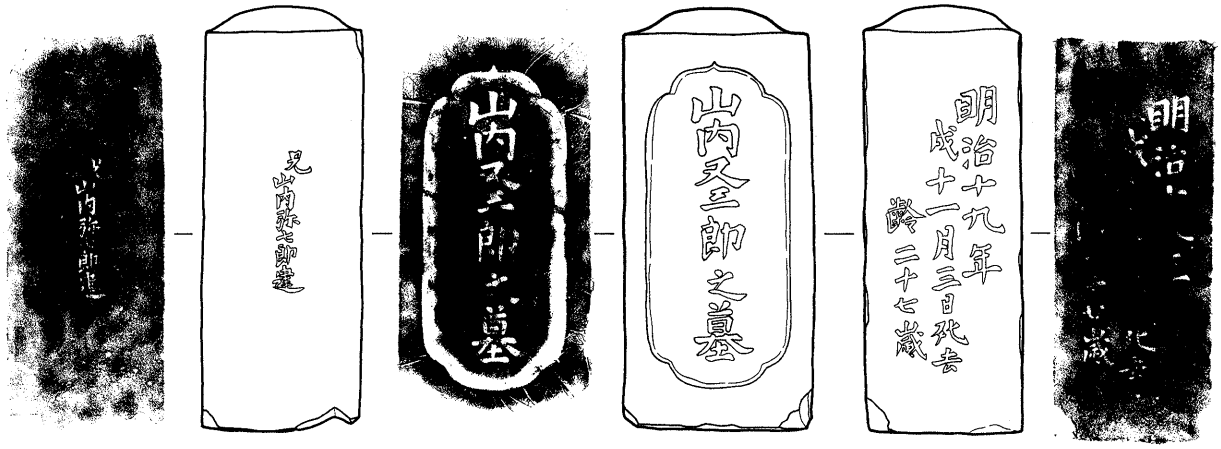
明治十八年
山内又七墓



不明墓石－13(1882年)
(墓標－60石)



第63号墓石(1885年)
(墓標－７木)



不明墓石－２(1886年)
(墓標－33木)

0 1m

第106図　原田第41号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=1/10）⑨

酉 八 月 十 一 日　　とある。

不明墓石—2（第106図）

出土位置は不明である。細粒砂岩の切り石であり、長さ55.6cm・幅24.8cm・厚さ20.8cmを測る。頭部は平坦面に浅い碗を伏せた様な形状を呈する。

墓碑銘は一段彫り窪めた正面に　　右側面に

山 内 又 三 郎 之 墓　　明 治 十 九 年
戌 十 一 月 三 日 死 去
齢 二 十 七 歳

左側面に

兄
山 内 弥 七 郎 建　　とある。

不明墓石—3（第107図）

出土位置は不明である。花崗岩（深江）の切り石であり、長さ57.2cm・幅22.6cm・厚さ21.2cmを測る。頭部は方錐形を呈する。

墓碑銘は2面にあり、正面と考える面に　　右側面に

山 内 岩 吉 墓　　明 治 廿 八 年
三 月 廿 日
三 十 四 才　　とある。

第４０号墓石（第96・97・107図、図版82—⑤）

墓域の東辺中央、第９号墓石の北側に位置する。頭部を西側にし、正面を下に向けて横転していた。花崗岩の自然石であり、長さ77.2cm・幅38.2cm・厚さ19.4cmを測る。

墓碑銘は一段彫り窪めた正面に

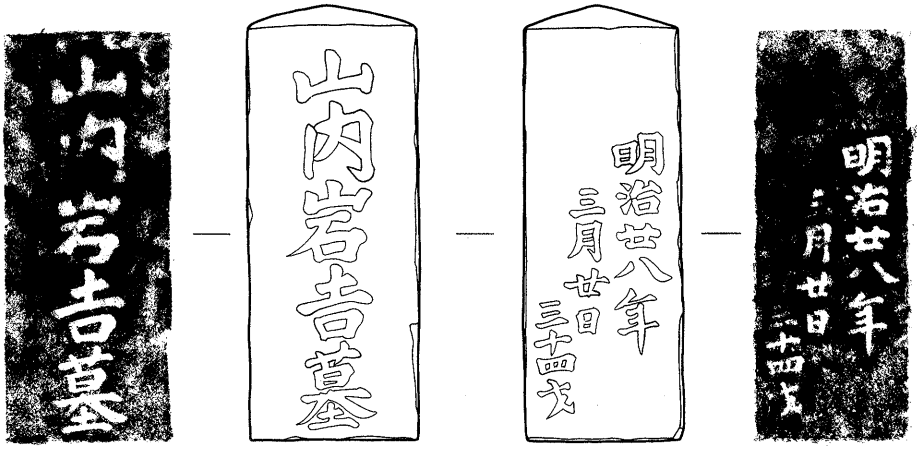
明 治 廿 九 年
平 山 才 吉
六 月 廿 九 日　　とある。

第５号墓石（第96・97・107図、図版76—⑤）

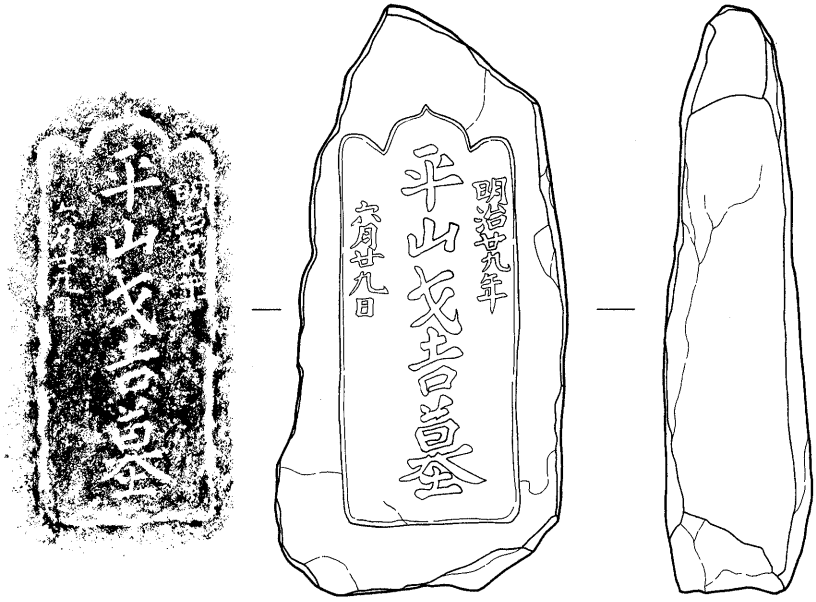
墓域中央の南側、第１号墓石の北西側に位置する。頭部を下にし正面を南西側斜め上に向けて、他の基礎石と一緒に改葬壙に落とし込まれていた。切り石であり、長さ58.6cm・幅27.4cm・厚さ21.4cmを測る。頭部の正面形は偏平な円頭形を呈する。

墓碑銘は一段彫り窪めた正面に　　右側面に

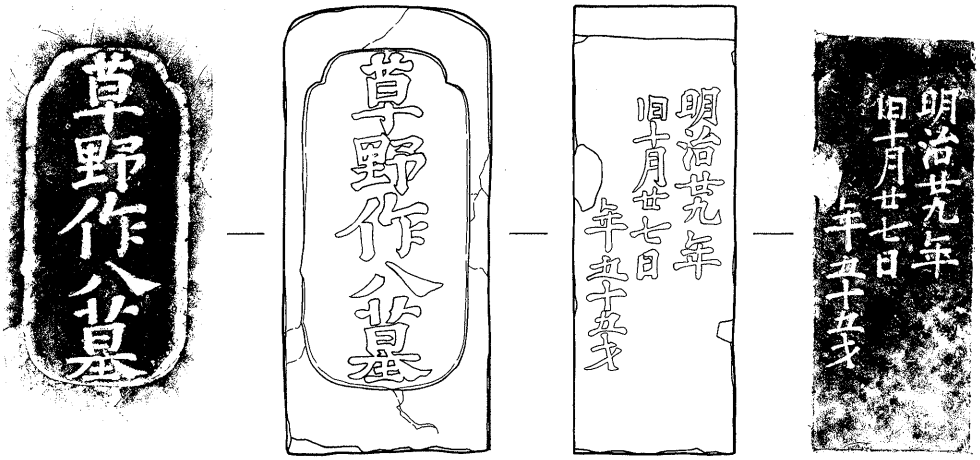
草 野 作 八 墓　　明 治 廿 九 年
旧 十 月 廿 七 日
年 五 十 五 才　　とある。



不明墓石－３（1895年）
（墓標－68木）



第40号墓石



第５号墓石



第107図　原田第41号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=1/10）⑩

第８号墓石（第96・97・108図、図版77－②）

墓域の東辺の南端、第９号墓石の南側に位置する。頭部を南西側にし、正面を下に向けて横転していた。花崗岩（深江）の自然石であり、長さ67.2cm・幅38.6cm・厚さ19.2cmを測る。第３１号墓の墓壙の南東角の地上に位置し、第３１号墓の墓石と考えるが、断定できない。

墓碑銘は一段彫り窪めた正面に

明治卅二年
平山兵吉墓
十月十一日　　とある。

第４７号墓石（第96・97・108図、図版83－⑤）

墓域の北西端に位置する。正面を北東側に向けて、改葬壙の中に縦に落とし込まれていた。花崗岩（佐賀）の自然石であり、長さ124.0cm・幅66.2cm・厚さ21.2cmを測る。北西側の基礎石（第４６号墓石）との組合せを考えると、本墓石は第４６号墓石の地下の第５７号墓の墓石となる。しかし、本墓石が出土した改葬壙は第５６・５７号墓の間に位置しており、本墓石がどちらに帰属するかは断定できない。

墓碑銘は一段彫り窪めた正面に

明治三拾弐年十一月八日
山内半次郎墓
行年六拾六才　　とある。

不明墓石―１０（第108図）

出土位置は不明である。花崗岩（深江）の自然石であり、長さ78.8cm・幅33.0cm・厚さ23.2cmを測る。

墓碑銘は一段彫り窪めた正面に　　右側面に

平山ヒサ女墓　　明治卅三年二月廿四日　　とある。

不明墓石―１５（第109図）

出土位置は不明である。切り石であり、長さ63.4cm・幅28.7cm・厚さ22.4cmを測る。頭部正面形は低い圭頭形を呈する。

墓碑銘は一段彫り窪めた正面に　　右側面に

山内弥吉墓　　明治卅六年旧七月十六日
行年七十　　とある。

不明墓石―９（第109図）

出土位置は不明である。花崗岩（深江）の切り石であり、長さ60.7cm・幅24.2cm・厚さ16.6cmを測る。頭部は方錐形を呈する。

墓碑銘は2面にあり、正面と考える面に　　左側面に

山内信男之墓　　大正二年四月二十六日

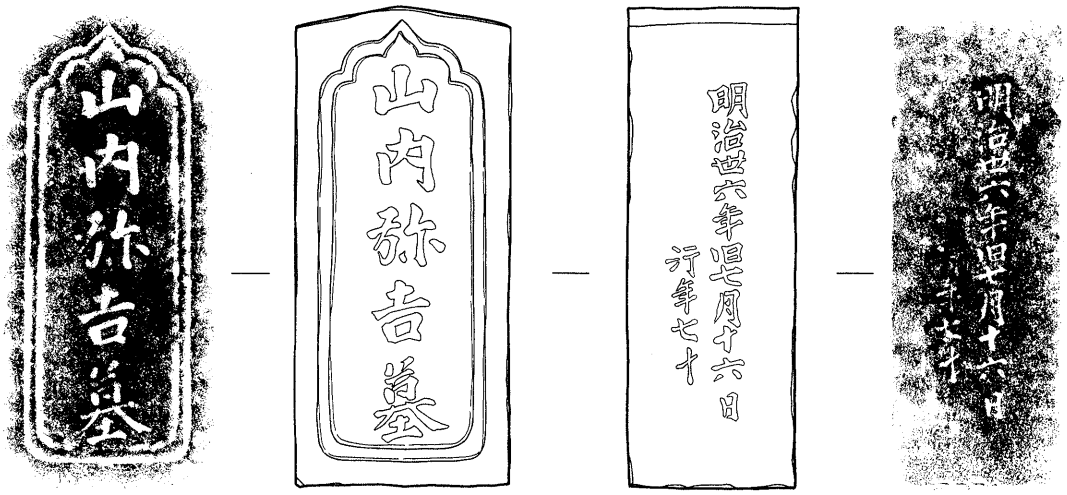


第８号墓石(1899年)（墓標－73木）

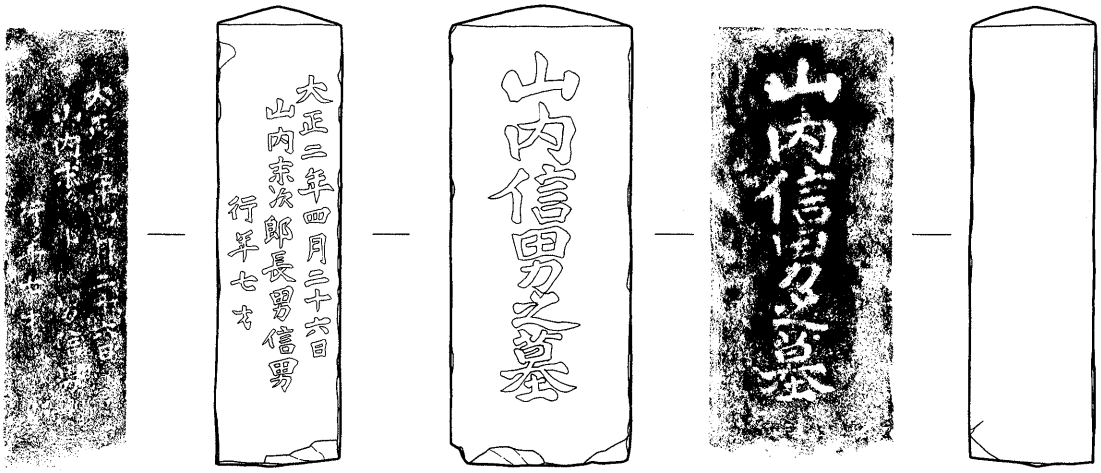
不明墓石－10(1900年)（墓標－74木）

第47号墓石

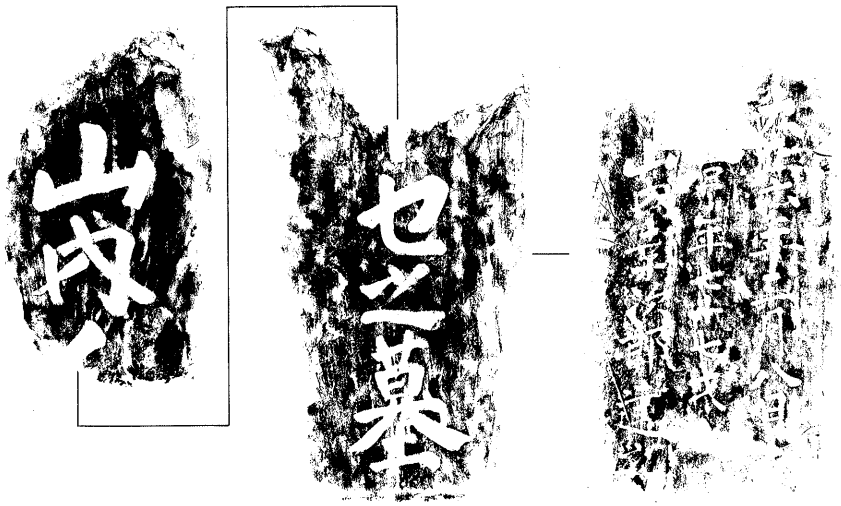
第108図　原田第41号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=1/10）⑪



不明墓石－15(1903年)
(墓標－75木)



不明墓石－9(1913年)
(墓標－78木)



第43号墓石(1917年)
(墓標－81木)

0 1m

第109図　原田第41号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=1/10）⑫

山内末次郎長男信男
行年七才　　とある。

第４３号墓石（第96・97・109図、図版83－①）

墓域の北西側に位置する。改葬壙の中に割って落とし込まれていた。縞状角閃岩であるが、寸法は不明である。第５５号墓の墓壙の地上に位置するが、周辺に改葬された墓壙が複数あるため、本墓石の帰属は断定できない。

墓碑銘は２面にあり、正面と考える面に　　裏面に

山内イセ之墓　　大正六年三月八日
享年七十七才
山内幸次郎建之　　とある。

第４５号墓石（第96・97・110図、図版83－③）

墓域の北西端に位置する。頭部を北東側にし、正面を南東側斜め下に向けて、基礎石と共に改葬壙の中に落とし込まれていた。墓石塔身は縞状角閃岩の自然石であり、長さ105.2cm・幅49.0cm・厚さ29.8cmを測る。第６８号墓の墓石と考える。

墓碑銘は3面にあり、正面と考える面に　　裏面に

山内信子之墓　　大正七年一月六日
享年四十七才
幸次郎妻

右側面に

山内幸男建之　　とある。

不明墓石―４（第110図）

出土位置は不明である。花崗岩の自然石であり、長さ72.4cm・幅40.6cm・厚さ24.4cmを測る。

墓碑銘は中央を面取りした正面に　　裏面に

山内正幸之墓　　大正八年二月十八日
享年四才　　とある。

不明墓石―１４（第111図）

出土位置は不明である。切り石であり、長さ66.8cm・幅21.4cm・厚さ18.8cmを測る。頭部は方錐形を呈する。

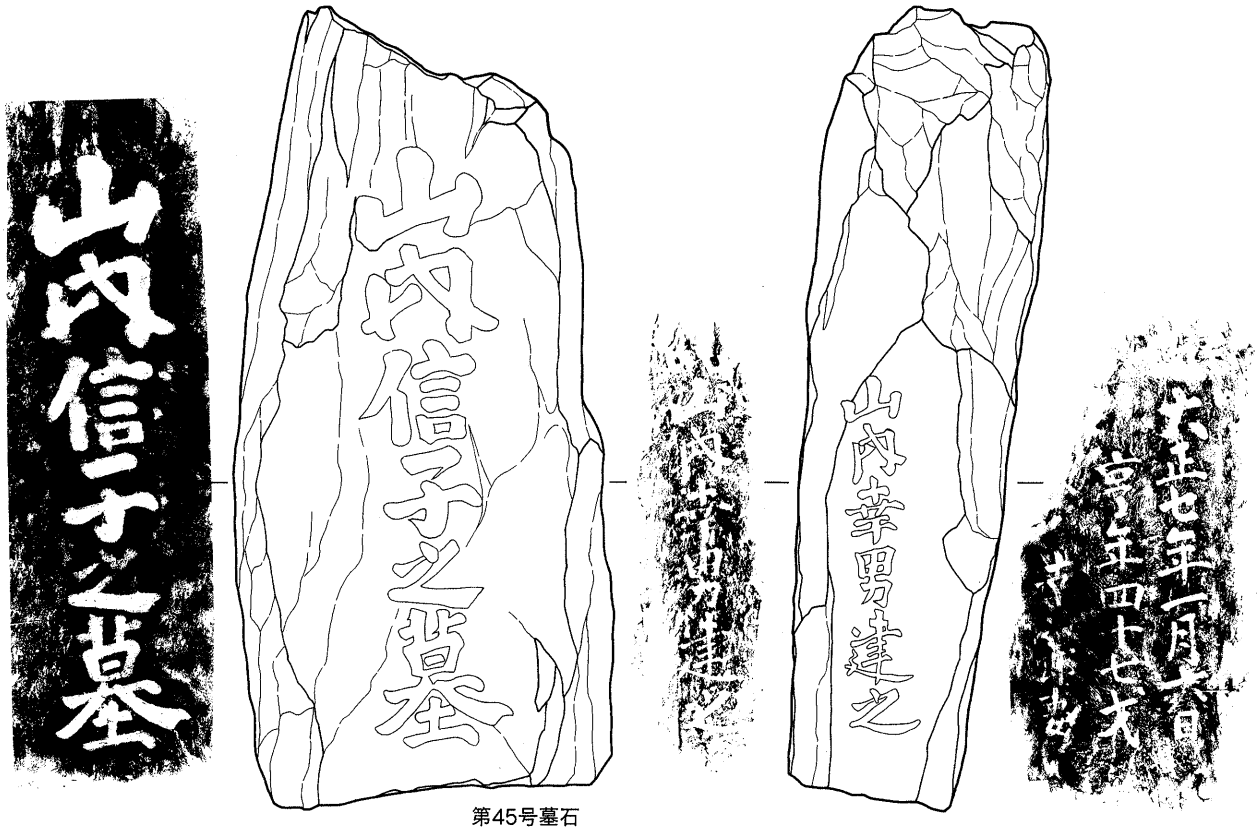
墓碑銘は正面と考える1面に

山内コマ之墓

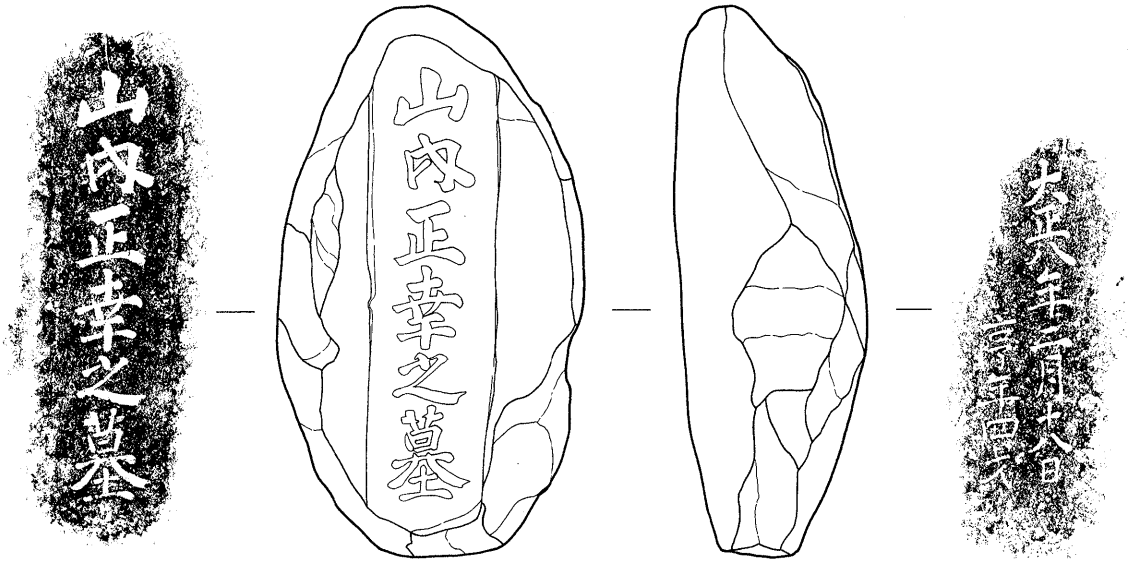
とあり、他の面にもある可能性があるが、確認できない。

第４１号墓石（第96・97・111図、図版82－③）

墓域の中央やや南寄りに位置し、第３８号墓石と共に改葬壙の中に落とし込まれていた。頭部を



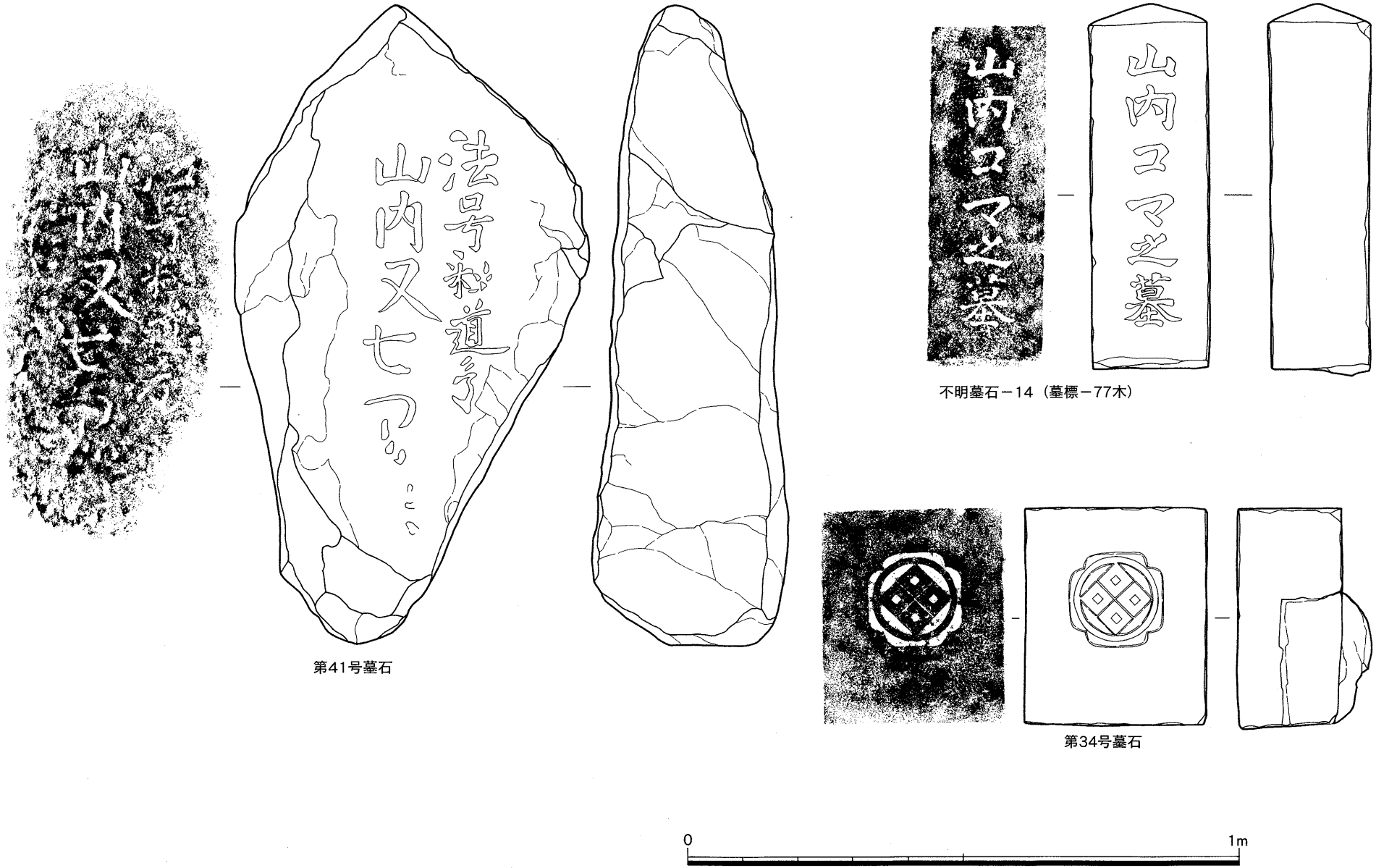
第45号墓石



不明墓石－４（1919年）
（墓標－84木）

0 1m

第110図　原田第41号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=1/10）⑬



不明墓石－14（墓標－77木）

第41号墓石

第34号墓石

第111図　原田第41号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=1/10）⑭

北西側にし、正面を北東側に向けて横転していた。花崗岩の自然石であり、長さ114.2cm・幅64.4cm・厚さ35.3cmを測る。基部が著しく細い形状を呈し、南西側の鉢状の基礎石（第１２号墓石）と組み合わされば、本墓石は第１２号墓石地下に位置する第７６号墓の墓石と考える。

墓碑銘は1面のみで

法 号 釈 道 了

山 内 又 七　　とある。

第３４号墓石（第96・97・111図、図版81－⑤）

墓域西辺のやや北寄りに位置する。方形を呈する２段の基壇と方形の基礎石である。基壇の下段は５石で囲んでおり、90.0×90.0cmを測る。図示したものは前面に家紋を彫りいれた花崗岩（佐賀）の水鉢であり、縦39cm・横33cm・厚さ19cmを測る。家紋は「丸に隅立四ツ目」紋である。第５１号墓の基壇である。

第２６号墓石（第96・112図、図版80－①）

墓域の中央やや西寄りに位置する。碑面を西に向けて、東側の石に寄りかかるようにして建っていた。花崗岩（深江）の自然石であり、長さ59.0cm以上・幅36.0cm・厚さ15.0cmを測る。

墓碑面は1面のみで

年 四 才 女　　とある。

第３２号墓石（第96・97・112図、図版81－③）

墓域の西辺中央、第３３号墓石の東側に位置する。頭部を東側にし、碑面を下に向けて横転していた。花崗岩（深江）の自然石であり、長さ18.0cm・幅40.0cm・厚さ15.0cmを測る。

墓碑面は1面のみで

年 六 才 女　　とある。

第６号墓石（第96・112図、図版76－⑥）

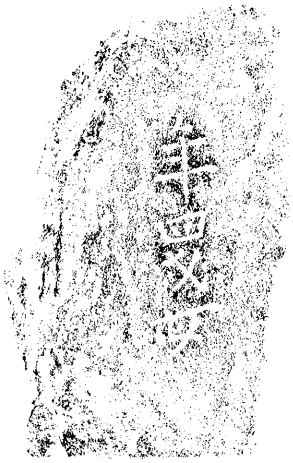
墓域中央の南側に位置する基礎石である。花崗岩（佐賀）の自然石であり、長さ83.0cm・幅52.4cm・厚さ28.0cmを測る。第１０号墓に帰属する。

第１１号墓石（第96・97・112図、図版77－⑤）

墓域中央の南東側に位置する。花崗岩（佐賀）の自然石であり、長さ63.4cm・幅43.6cm・厚さ19.2cmを測る。墓石塔身と考えたが、墓碑銘を確認できなかった。第６４号墓の墓壙の真上に位置するが、南東側の基礎石（第１０号墓石）との組合せを考えると第７２号墓の墓石とすることもでき、本墓石の帰属は断定できない。

第２９号墓石（第96図、図版80－⑤～⑦）

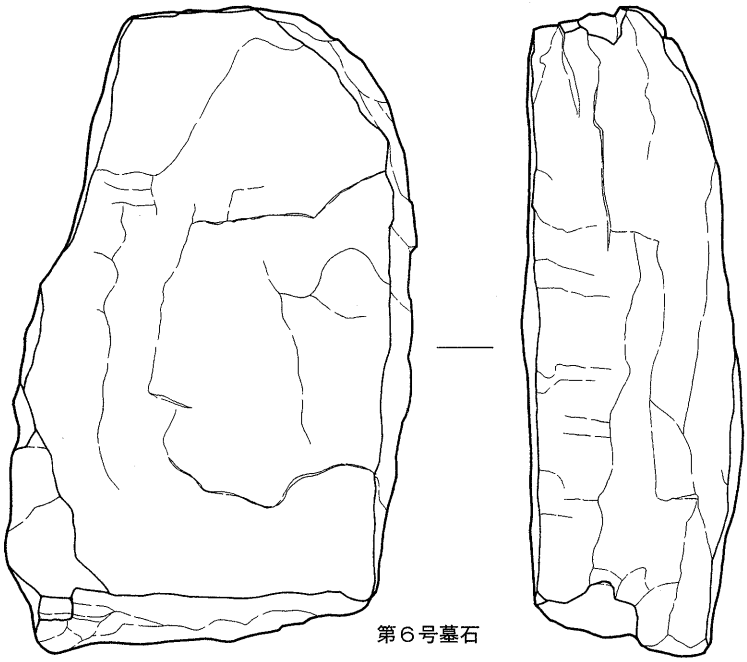
墓域の中央やや北西寄りに位置する石仏である。花崗岩（深江）である。一辺39.0×28.0cm・厚さ15.0cmを測る方形基礎石の上に、西を向いて建っていた。改葬のため、図示できなかった。



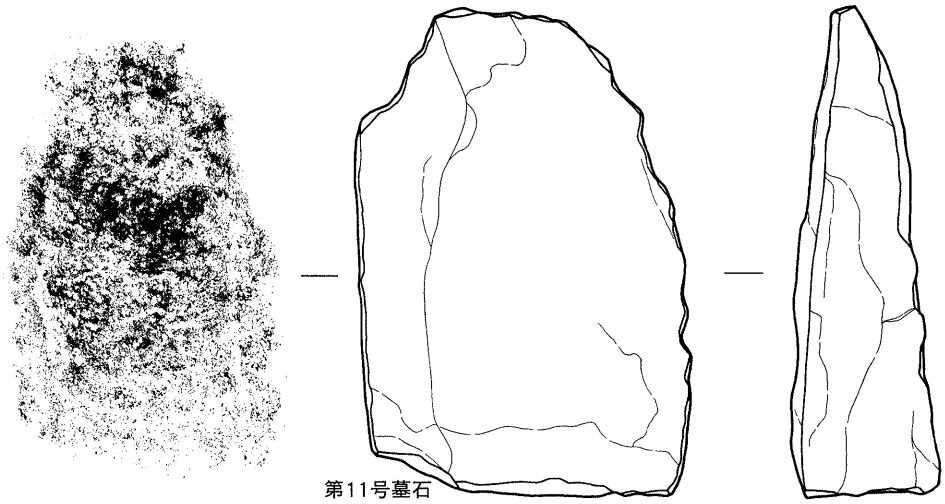
第26号墓石



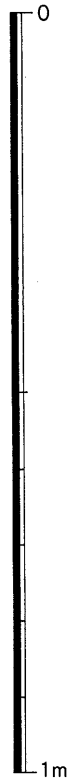
第32号墓石



第６号墓石



第11号墓石



第112図　原田第41号墓地　出土墓石実測図・拓影図（S=1/10）⑮

2．墓壙の調査（第113～132図、図版74・86～111）

事業に伴う祭主者による改葬の後、調査において墓壙として扱った遺構は７８基を数えた。うち、土葬墓としては疑わしいものが３基あり、それについては「その他の遺構」として後述する。

第１号墓（第113・114図、図版86－①～④）

墓域の西側、新しい改葬跡の南側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面113×108cm・底面87×86cm・深さ191cmを測る。底面には上面56×51cm・深さ７～12cmを測る略円形の穴を掘り、棺を据えている。棺は胴径53.7cmの甕棺であり、口縁より５cm程浮いた状態で花崗岩の方形平石が出土した。南東側に改葬壙があり、それに対応して甕の南東側の口辺から頸部にかけてが割れている。棺内には磁器小杯１・かんざし４が副葬されており、墓壙内から磁器小杯１・鉄釘１が出土した。人骨の出土状態から、葬位は南西向きの立膝座葬である。毛髪も残っていた。

第２号墓（第113・114図、図版86－⑤⑥）

墓域の南西側、第１号墓の南側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面115×108cm・底面103×101cm・深さ187cmを測る。底面北側には上面55×36cmの浅い窪みがある。棺は62×62cmの正方形縦棺であり、深さ62cmを残す。北角下位に改葬壙と考える横穴が斜めに掘られている。棺内には銭５が副葬されており、墓壙内からやや多量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は南西向きの立膝座葬である。

第３号墓（第113・114図、図版87－①～③）

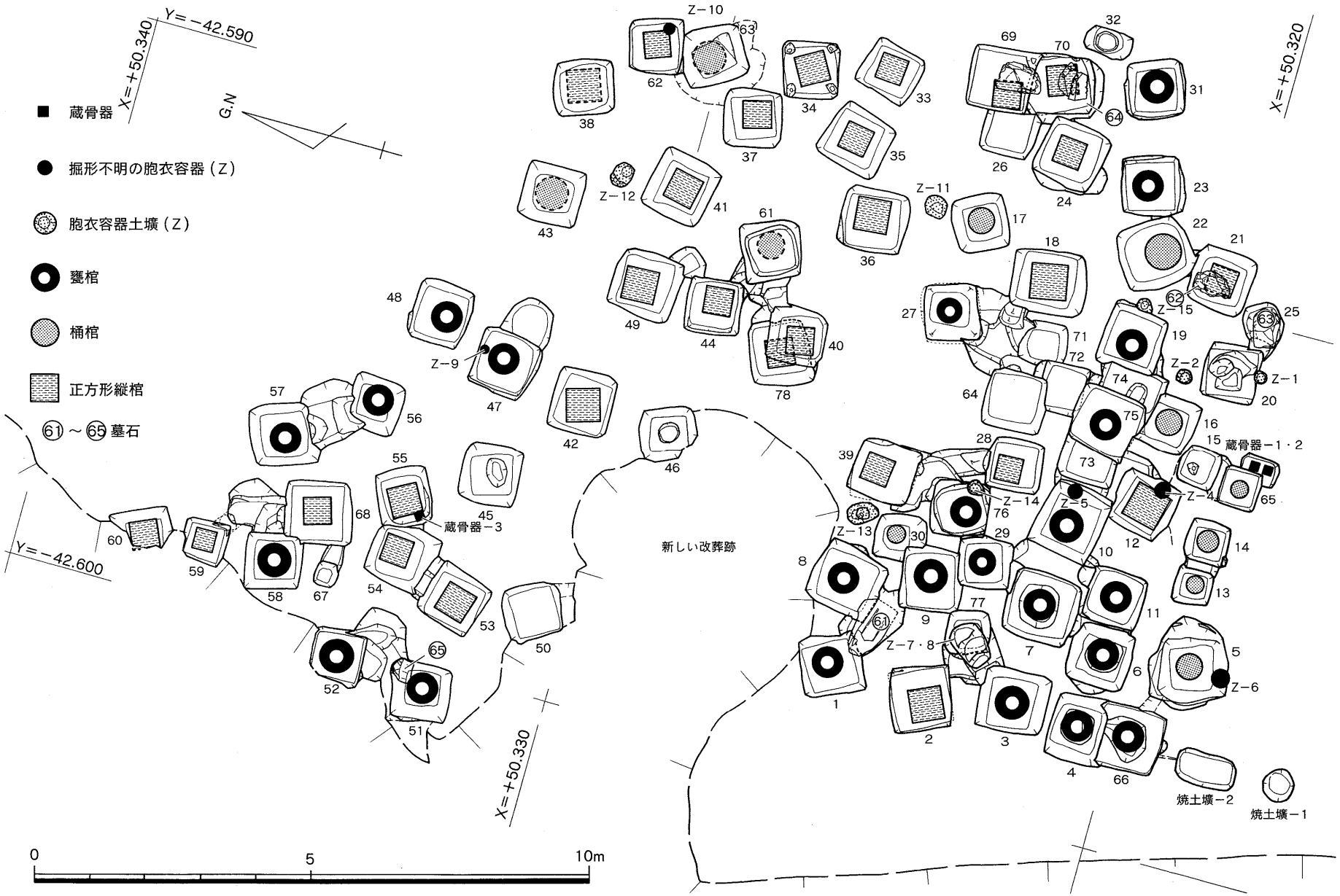
墓域の南西側、第２号墓の南南東側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面121×113cm・底面90×79cm・深さ195cmを測る。棺は胴径55.7cmの甕棺であり、北西側口縁に32×16cm・厚さ16cmを測る方形の花崗岩が載っていた。棺内からも煤が付着した27×16cm・厚さ20cmを測る方形石が出土した。北東角に改葬壙がある。墓壙内から陶器土瓶１・ローソク１と少量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は西向きの立膝座葬である。毛髪も残っていた。

第４号墓（第113・115図、図版87－④～⑥）

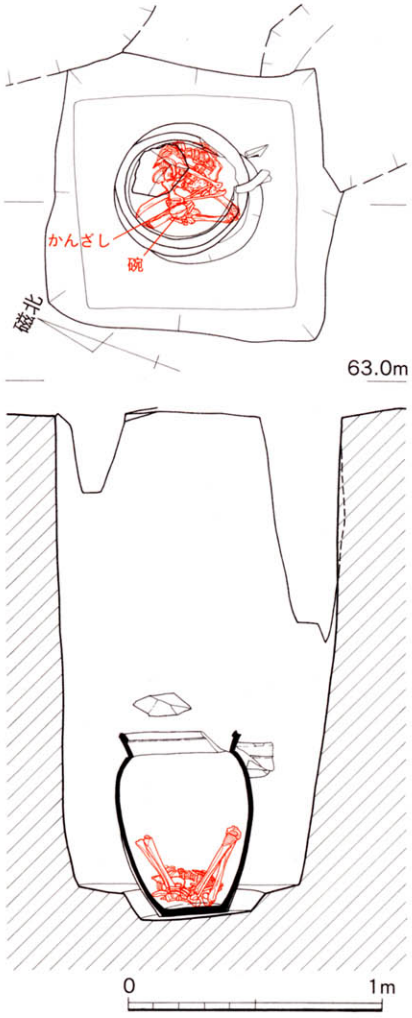
墓域の南西側、第３号墓の南側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面122×96cm以上・底面80×77cm・深さ208cmを測る。底面は幅を狭めながら上面60×58cm、深さ６～10cmを測る穴が掘られている。南側で第６６号墓と重複するが、新旧関係は不明である。棺は胴径60.6cmの甕棺であるが、改葬に伴い破壊され、最底面より30cm程浮いた状態で出土した。本墓の改葬の後に第６６号墓の改葬がなされており、破壊された第６６号墓の甕棺が本墓壙内に廃棄されている。墓壙内から鉄釘１が出土した。

第５号墓（第113・115図、図版88－①）

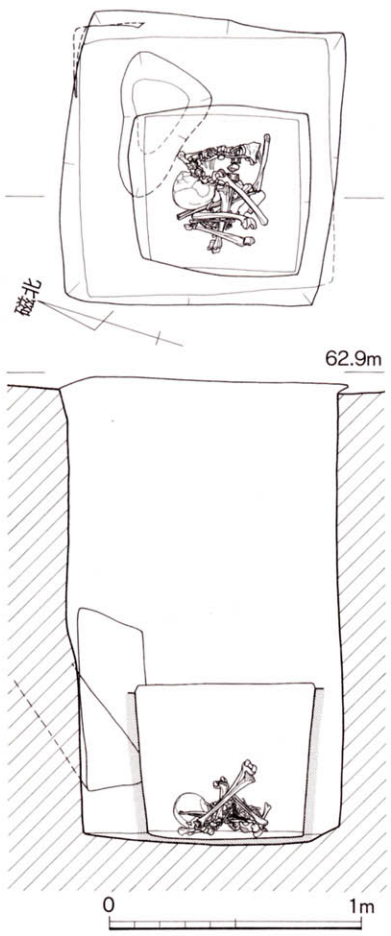
墓域の南西端、第４号墓の南東側に位置する。改葬に伴い墓壙上位はかなり崩れているが、墓壙は方形を呈し、中段124×123cm以上・底面79×78cm・深さ173cmを測る。底面には上面46×45cm・深さ５～７cmを測る穴が検出できたが、棺圧痕と考える。墓壙の北側中段には斜面のテラ



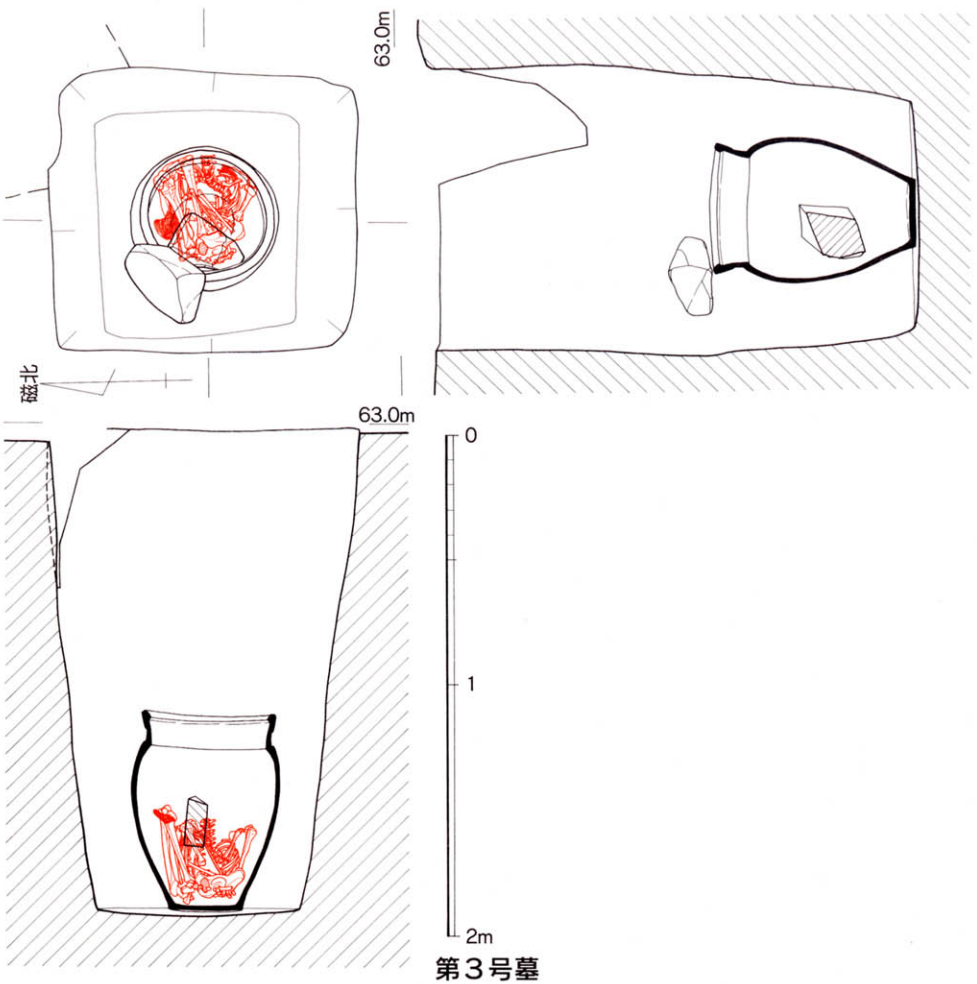
第113図　原田第41号墓地　遺構配置図（S=1/100）



第１号墓



第２号墓



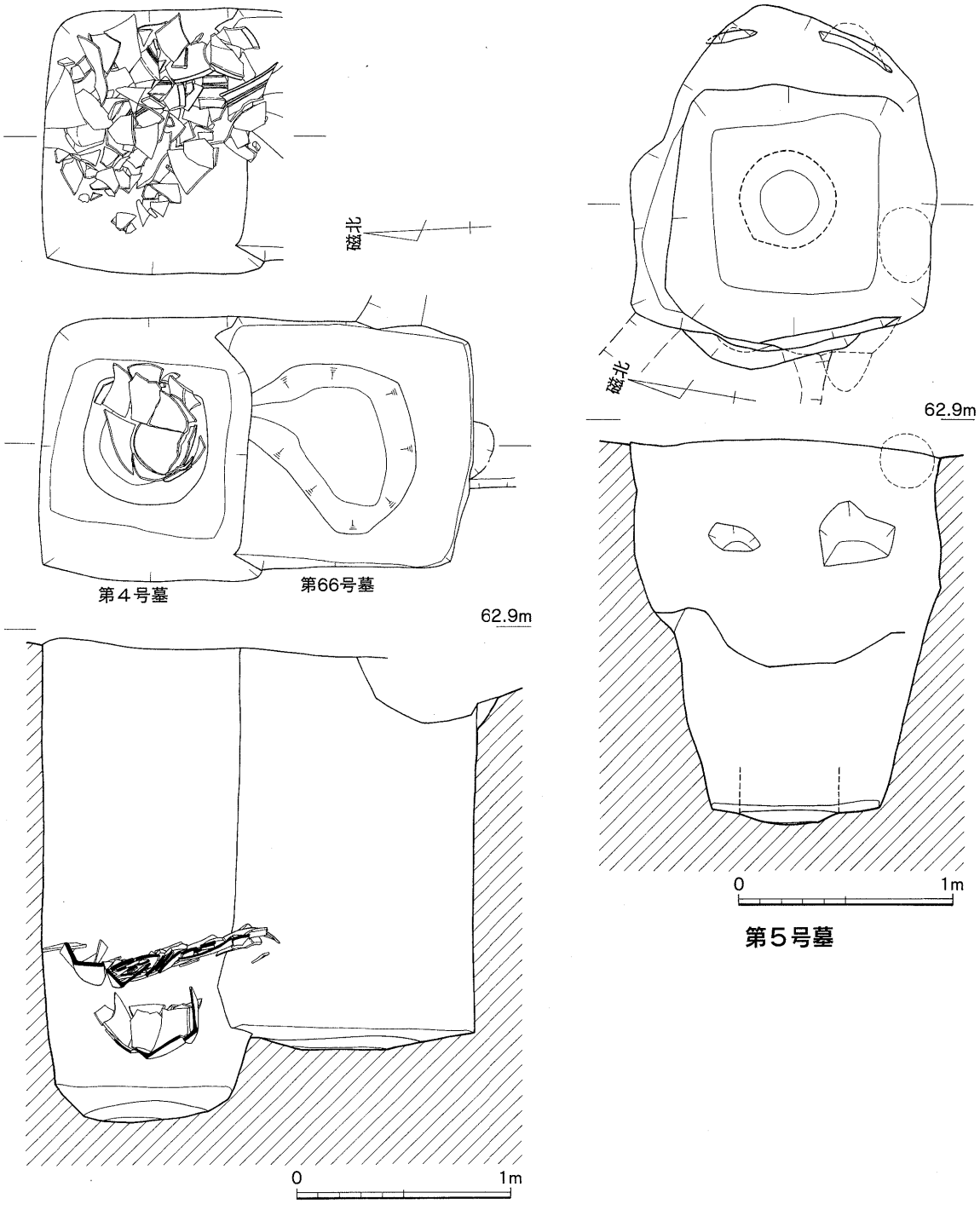
第３号墓

第114図　原田第41号墓地　第１～３号墓実測図（S=1/30）

スがあり、東と西壁には昇降用の足掛かりと考える抉り穴が掘られている。棺は底面の圧痕から径46cmの桶棺と考える。墓壙の南側地表近くに第６号胞衣容器が出土した。墓壙内から磁器土瓶１・陶器土瓶が出土した。人骨は残っておらず、葬位は不明である。

第６号墓（第113・116図、図版88－②）

墓域の南西側、第5号墓の北側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面112×110cm・底面75×69cm・深さ179cmを測る。底面には上面69×61cm・深さ６～10cmを測る穴が掘られている。東側で第１１号墓と重複しているが、新旧関係は不明である。棺は胴径56.5cmの甕棺であるが、

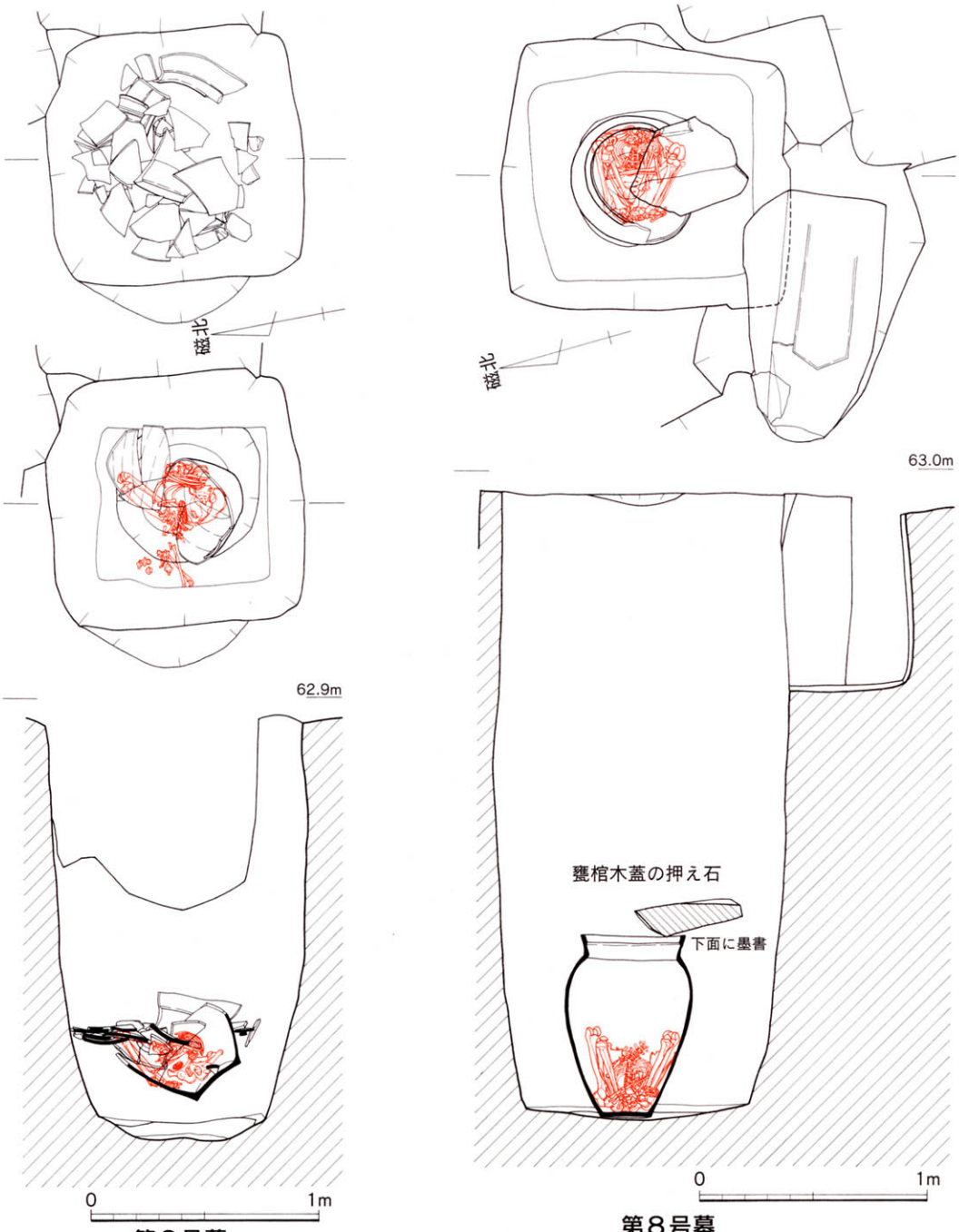


第115図　原田第41号墓地　第４・５・66号墓実測図（S=1/30）

改葬によって破壊され最底面より15cm程浮いた状態で出土した。人骨の出土状態から、葬位は北西向きの立膝座葬である。また、毛髪と義歯1点が出土した。

第７号墓（第113・117図、図版88－③～⑥）

墓域の南西側、第6号墓の北北東側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面130×122cm・底面108×106cm・深さ248cmを測る。底面には上面79×68cm・深さ５～７cmを測る略円形の穴を掘り、棺を据えている。北東側と東側に改葬がある。棺は胴径63.5cmの甕棺であり、木蓋の押え石と考える花崗岩の平石が甕棺内やや上位に落ち込んでいた。このため甕の南側口辺が割れていた。棺内には銭６が副葬され、また死体安定のための籾殻・木の葉が詰められていた。墓壙内からやや

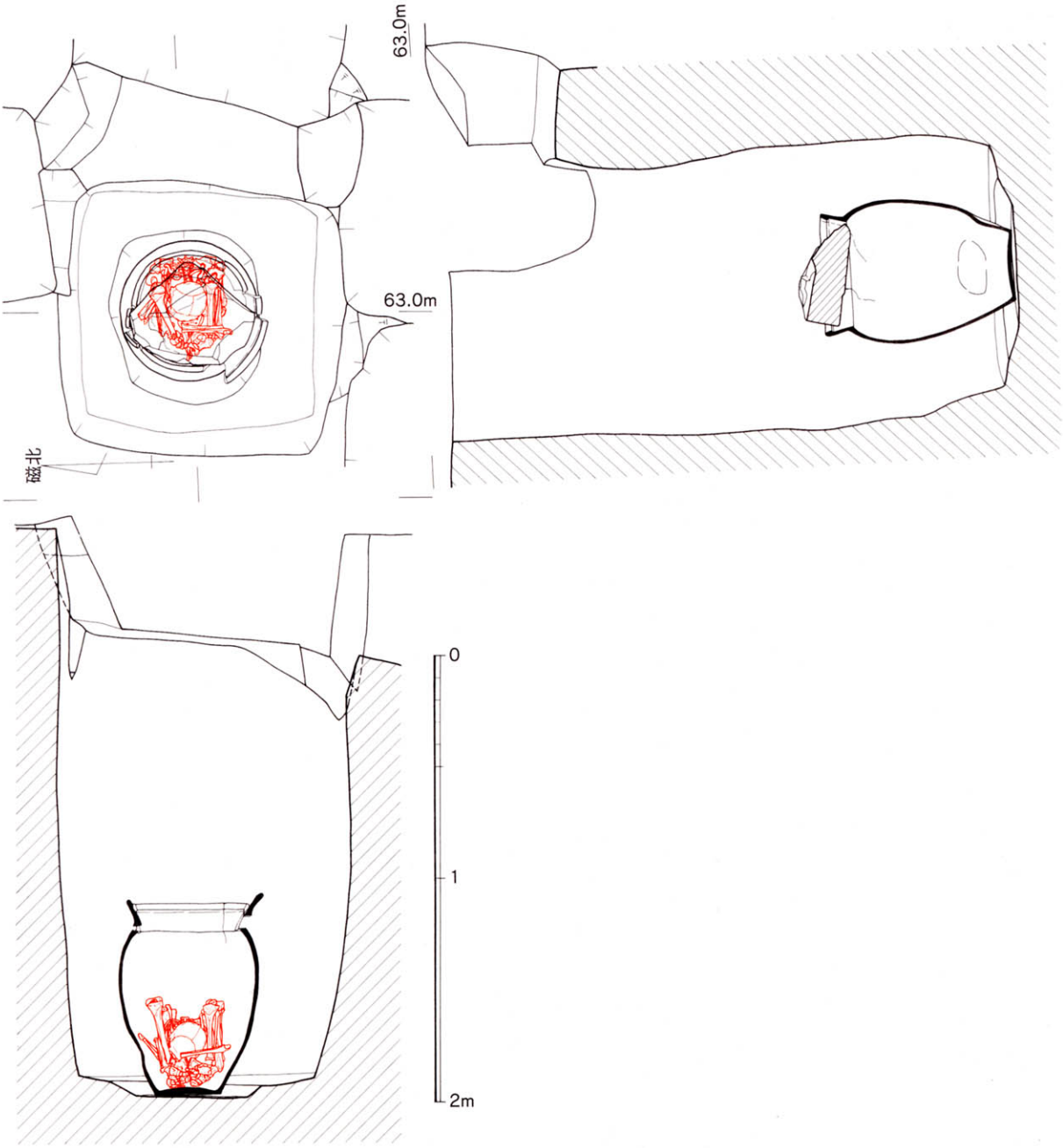


第116図　原田第41号墓地　第６・８号墓実測図（S=1/30）

少量の鉄釘が出土した。人骨の残りは完全であり、葬位は西向きの立膝座葬である。

第８号墓（第113・116図、図版89－①～④）

墓域の新しい改葬跡の南側、第１号墓の東側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面127×117cm・底面97×91cm・深さ269cmを測る。底面には上面62×59cm・深さ３cmを測る円形の浅い窪みがあり、棺を据えている。北東側と東側に改葬がある。棺は胴径55.0cmの甕棺であり、木蓋の押え石と考える50×40cm・厚さ５～14cmを測る矢尻形を呈する花崗岩の平石が口縁に載っていた。南西側、第１・９号墓との間に改葬壙があり、それに対応して甕の南西側の口辺から胴部にかけてが割れている。棺内には木の葉が詰められていた。墓壙内から鉄釘１が出土した。人骨の出土状態から、葬位は北西向きの立膝座葬である。



第117図　原田第41号墓地　第７号墓実測図（S=1/30）

押え石の下面には墨書銘があり、

天保四年
巳八月十七日
俗名　善七
行年廾三才　　とある。

第９号墓（第113・118図、図版89－⑤⑥）

墓域の南西側、第8号墓の南南東側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面115×110cm・底面98×90cm・深さ252cmを測る。底面西側には上面38×26cm・深さ９cmを測る穴がある。棺は胴径55.7cmの甕棺であり、木蓋の押え石と考える、69×47cm・厚さ５～16cmを測る花崗岩の平石が口縁より５～７cm浮いた状態で出土した。墓壙の北西側に改葬壙があり、それに対応して甕の北西側の口辺から胴部にかけてが割れている。棺内には銭６が副葬されており、墓壙内から少量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は西向きの立膝座葬である。

第１０号墓（第113・118図、図版90－①～③）

墓域の南側中央、第７号墓の東側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面123×115cm・底面84×82cm・深さ259cmを測る。底面には上面63×60cm・深さ３cmを測る略方形の浅い窪みがあり、棺を据えている。西側、第7号墓との間に改葬壙がある。棺は胴径57.6cmの甕棺であり、木蓋の押え石と考える、64×44cm・厚さ17～20cmを測る横断面形が三角形を呈する花崗岩が載っていた。墓壙東辺の北東角寄りの地表に第５号胞衣容器が出土した。墓壙内から少量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は北西向きの立膝座葬である。

第１１号墓（第113・118図、図版90－④⑤）

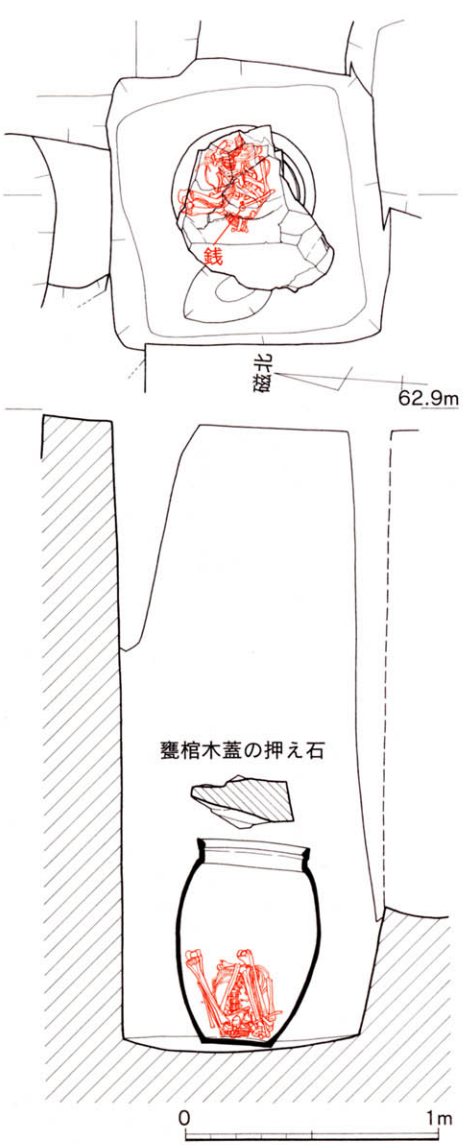
墓域の南西側、第１０号墓の南西側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面103×102cm・底面87×83cm・深さ153cmを測る。底面には上面40×39cm・深さ５～６cmを測る円形の穴を掘り、棺を据えている。北東側に改葬壙がある。棺は胴径54.4cmの甕棺である。棺内には櫛１が副葬され、また籾殻が詰められていた。人骨の出土状態から、葬位は西向きの立膝座葬である。毛髪も残っていた。

第１２号墓（第113・118図、図版91－①②）

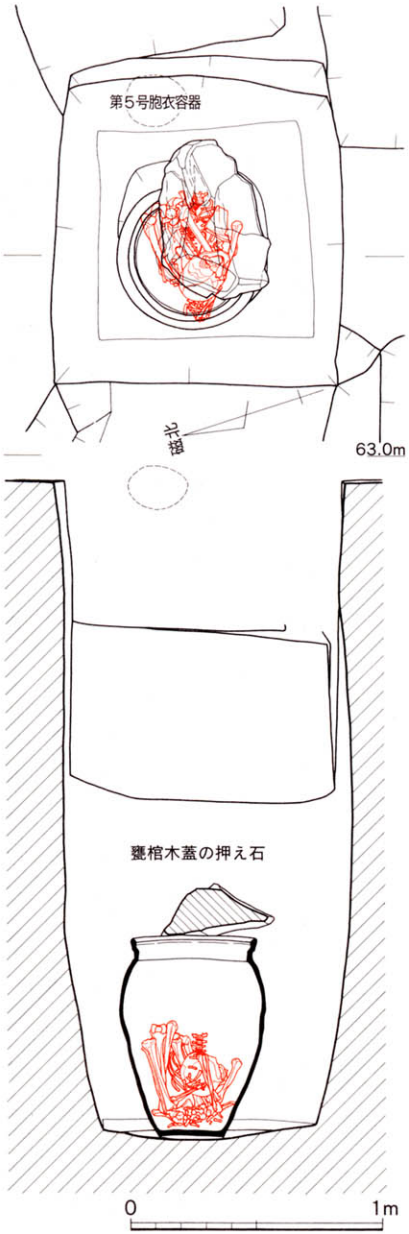
墓域の南側中央、第１１号墓の東側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面110×109cm・底面76×76cm・深さ170cmを測る。東角に改葬壙がある。棺は68×65cmの正方形縦棺である。棺より10cm程上で、一辺20×20cm・厚さ14cmを測る方形石が出土した。棺内から釦１が、墓壙内から多量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は北西向きの立膝座葬である。

第１３号墓（第113・119図、図版91－③）

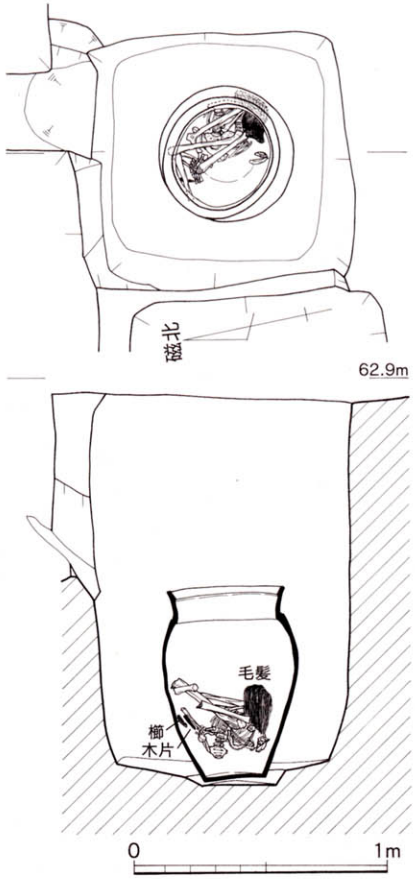
墓域の南端、第５号墓の東側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面67×64cm・底面47×45cm・深さ68cmを測る。東側、第１４号墓との間に改葬壙が掘られている。墓壙底面の圧痕か



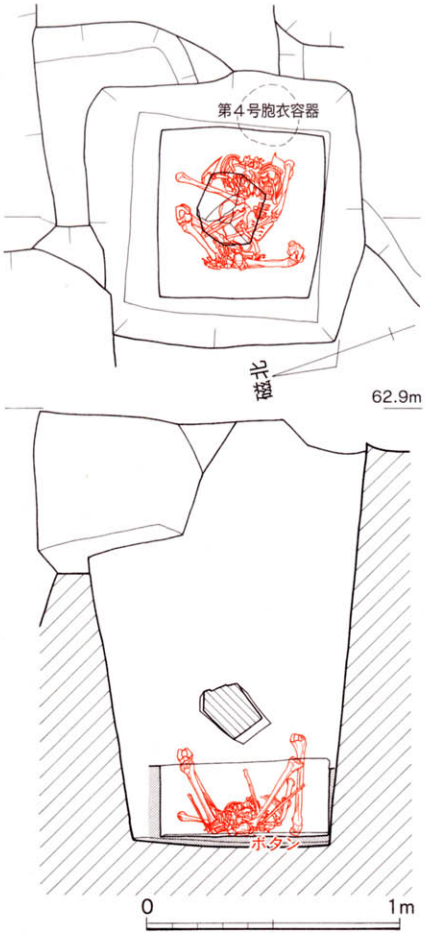
第９号墓



第10号墓



第11号墓



第12号墓

第118図　原田第41号墓地　第９～12号墓実測図（S=1/30）

ら、棺は径28～32cmの桶棺である。墓壙内から磁器碗１が出土した。人骨は残っておらず、葬位は不明である。

第１４号墓（第113・119図、図版91－④）

墓域の南端、第１３号墓の東側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面79×77cm・底面55×53cm・深さ121cmを測る。西側に改葬壙が掘られている。墓壙底面の圧痕から、棺は径37～41cmの桶棺である。墓壙内から少量の鉄釘が出土した。人骨は残っておらず、葬位は不明である。

第１５号墓（第113・119図、図版91－⑤）

墓域の南端中央、第１４号墓の東北東側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面72×71cm・底面56×50cm・深さ111cmを測る。底面北角寄りに、上面23×20cm・深さ３～６cmを測る不整円形の穴が掘られている。棺は検出できなかった。南側、第６５号墓との間に改葬壙が掘られている。人骨は残っておらず、葬位は不明である。

第１６号墓（第113・119図、図版91－⑥）

墓域の南側中央、第１５号墓の北東側に位置する。北側で第７４・７５号墓と重複するが、新旧関係は不明である。墓壙は方形を呈し、上面100×90cm以上・底面71×64cm・深さ149cmを測る。棺は上径45cm・底径42cmを測る桶棺である。墓壙内から磁器紅皿１とやや少量の鉄釘が出土した。人骨の残りは良くなく、葬位は不明である。

第１７号墓（第113・119図、図版92－①②）

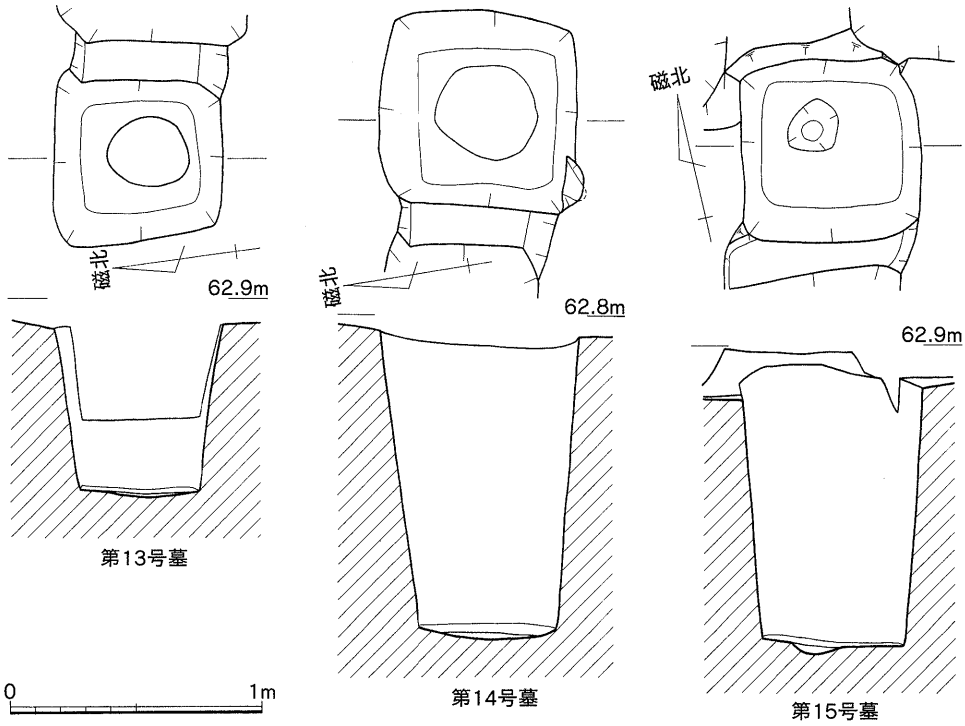
墓域の南東側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面102×100cm以上・底面65×65cm・深さ124cmを測る。棺は上径45cm・底径41cmを測る桶棺である。棺内には磁器紅皿１が副葬されていた。人骨は棺底に崩れ落ちていたが、葬位は西向きの立膝座葬と考える。

第１８号墓（第113・119図、図版92－③④）

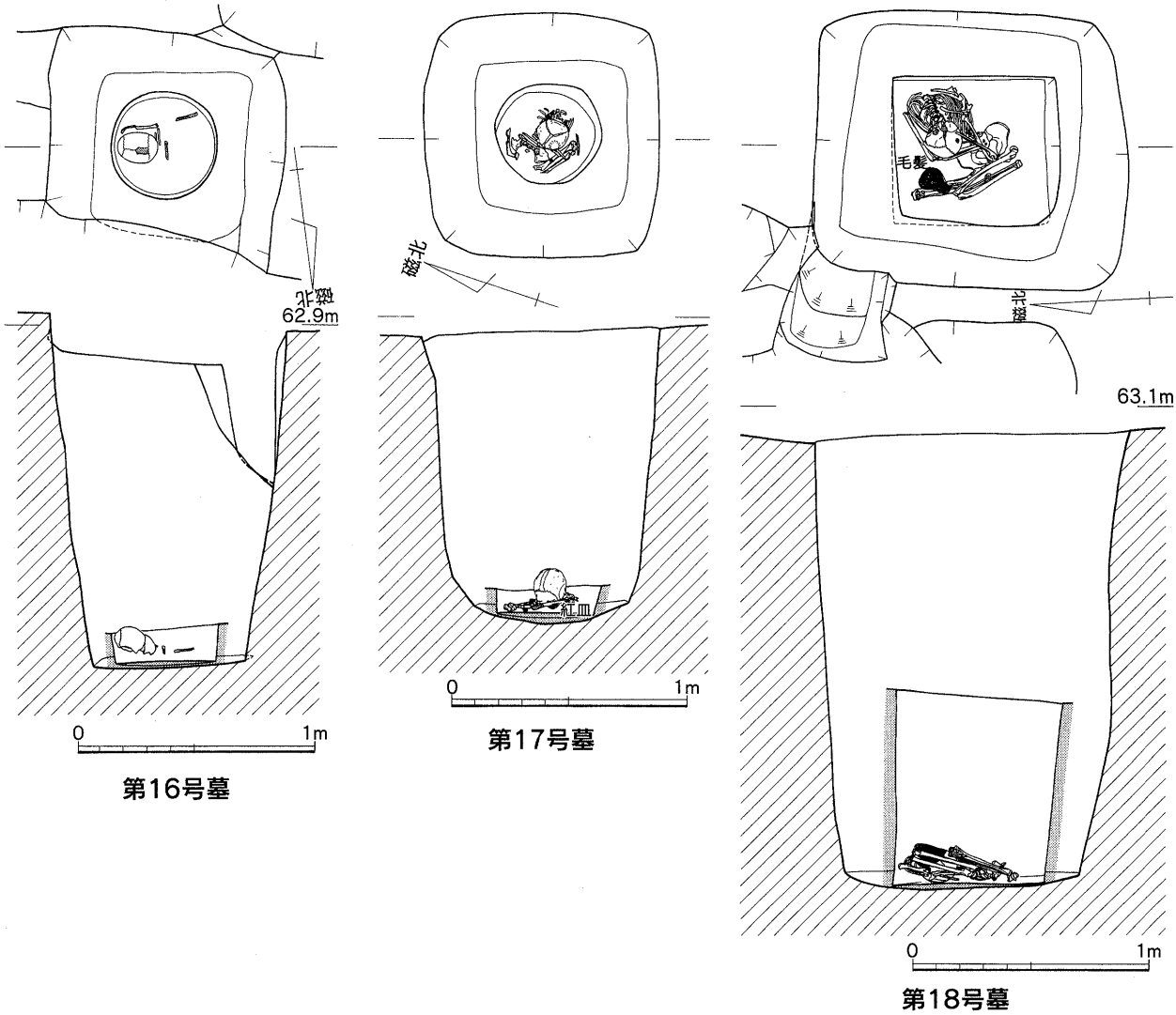
墓域の南東側、第１７号墓の南西側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面133×117cm・底面98×93cm・深さ193cmを測る。北西角に改葬壙がある。棺は65×61cmの正方形縦棺であり、深さ83cmを残す。墓壙内から多量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は西向きの立膝座葬である。毛髪も残っていた。

第１９号墓（第113・120図、図版92－⑤⑥）

墓域の南東側、第１８号墓の南南西側に位置する。西側で第７４号墓と重複するが、新旧関係は不明である。墓壙は方形を呈し、上面110×106cm・底面83×82cm・深さ218cmを測る。底面には、上面55×53cmを測る略円形の浅い窪みがあり、棺の位置と一致する。棺は胴径57.5cmの甕棺であり、木蓋の押え石と考える、56×44cm・厚さ27cmを測る横断面が三角形を呈する花崗岩が載っていた。棺内には籾殻が詰められており、墓壙内から板材１・鉄釘が付いた木片と小量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は西向きの立膝座葬である。



第13～15号墓



第119図　原田第41号墓地　第13～18号墓実測図（S=1/30）

第２０号墓（第113・120図、図版93－①②）

墓域の南端東側、第１９号墓の南側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面102×99cm・底面90×84cm・深さ189cmを測る。底面には、深さ10cm程の窪みがあるが、改葬時の撹乱跡と考える。南東側に改葬壙（第２５号墓）があり、墓壙底面の落ち込みもこの改葬壙に向かって拡がっている。棺は明確に検出できなかった。人骨の間から銭６が、墓壙内から多量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は西向きの立膝座葬である。葬位から、棺は桶棺か正方形縦棺のいずれかであり、鉄釘の出土量から正方形縦棺と考える。

第２１号墓（第113・120図、図版93－③④）

墓域の南東端、第２０号墓の東北東側に位置する。北側で第２２号墓と重複するが、新旧関係は不明である。墓壙は方形を呈し、上面112×112cm・底面82×78cm・深さ153cmを測る。底面には上面53×50cm・深さ５～10cmを測る円形の穴が掘られている。棺は54×51cmの正方形縦棺である。墓壙内下位から第６２号墓石と、一辺43cm程・厚さ11～20cmの花崗岩平石が出土した。墓壙内から陶器蓋１と多量の鉄釘が出土した。人骨の残りはあまり良くないが、葬位は西向きの立膝座葬である。毛髪も残っていた。

第２２号墓（第113・121図、図版93－⑤⑥）

墓域の南東端、第２１号墓の北側に位置する。東側で第２３号墓と接するが、新旧関係は不明である。墓壙は方形を呈し、上面126×123cm・底面102×94cm・深さ163cmを測る。底面には上面82×83cm・深さ10～12cmを測る円形の穴があり、棺の位置と一致する。棺は上径83cm・底径62cmを測る桶棺であり、深さ78cmを残す。墓壙内から白磁皿１が出土した。人骨は良く残っており、葬位は西向きの立膝座葬である。毛髪も残っていた。

第２３号墓（第113・121図、図版94－①）

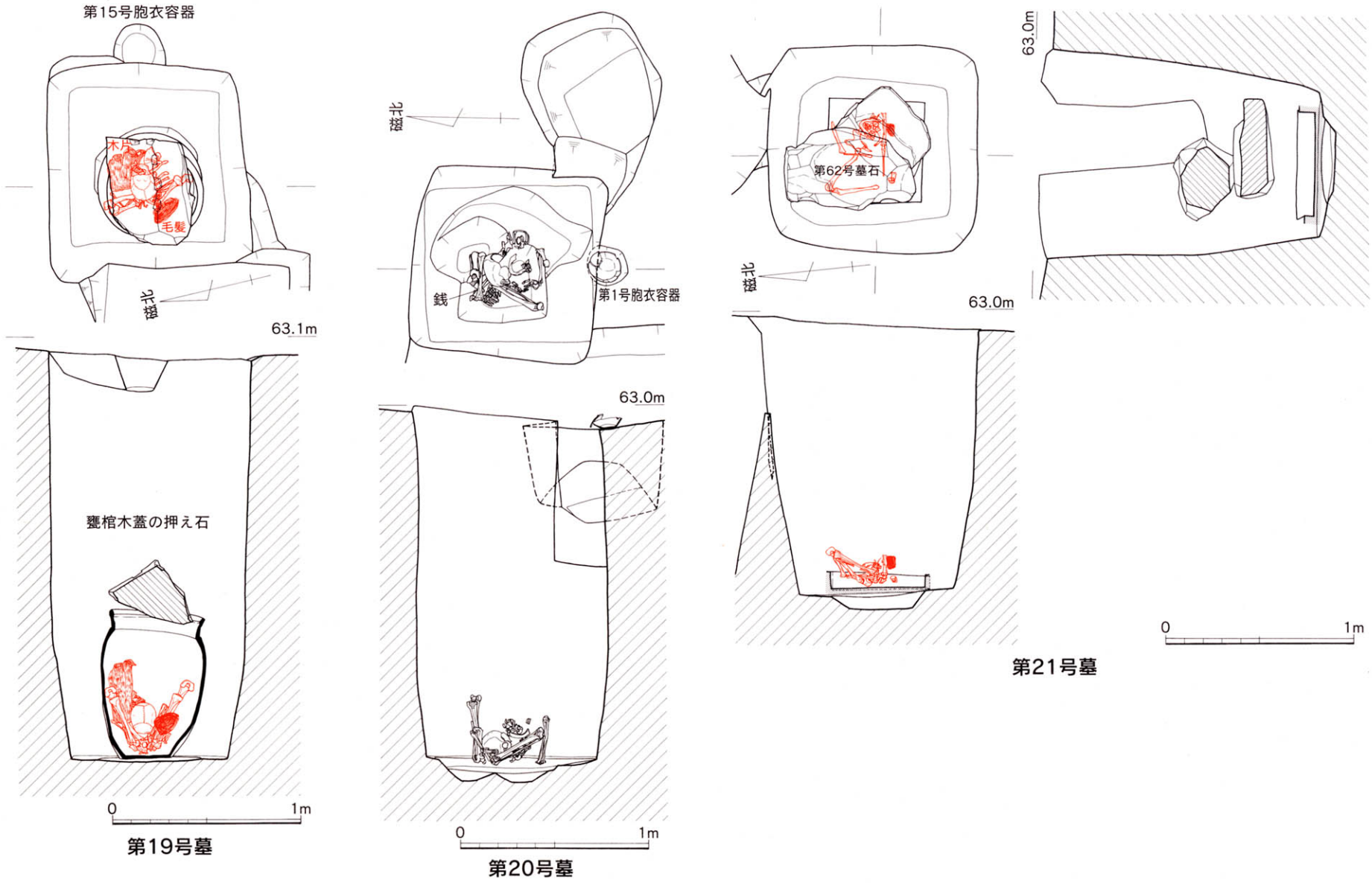
墓域の南東端、第２２号墓の東北東側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面112×110cm・底面88×86cm・深さ180cmを測る。底面には上面54×47cm・深さ６cmを測る円形の穴を掘り、棺を据えている。棺は胴径55.2cmの甕棺である。人骨の出土状態から、葬位は北西向きの立膝座葬である。毛髪も残っていた。

第２４号墓（第113・121図、図版94－②）

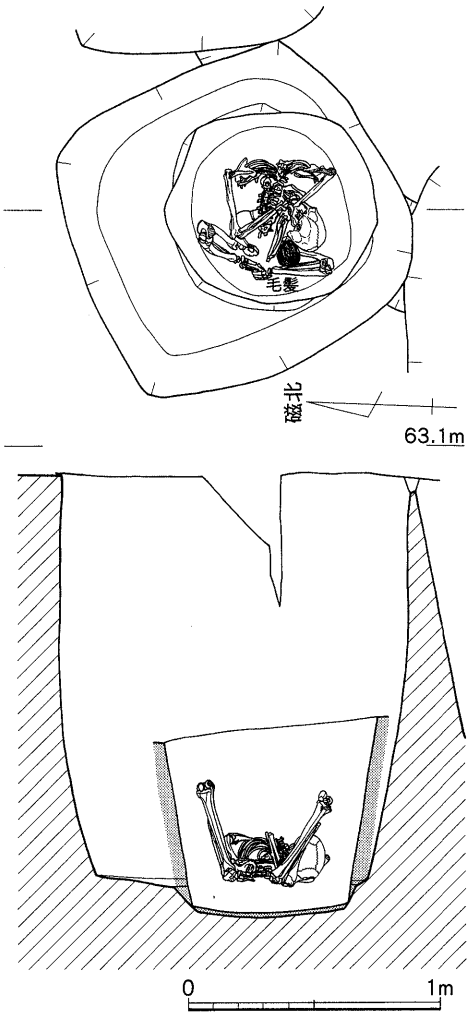
墓域の南東側、第２３号墓の北側に位置する。北東側で第７０号墓と重複するが、新旧関係は不明である。墓壙は方形を呈し、上面115×114cm・底面96×88cm・深さ153cmを測る。底面には上面74×72cm・深さ10～14cmを測る方形の穴があり、棺の位置と一致する。棺は53×52cmの正方形縦棺であり、深さ32cmを残す。棺内から煙管１が、墓壙内から陶器土瓶１と多量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は西向きの立膝座葬である。

第２６号墓（第113・121図、図版94－③④）

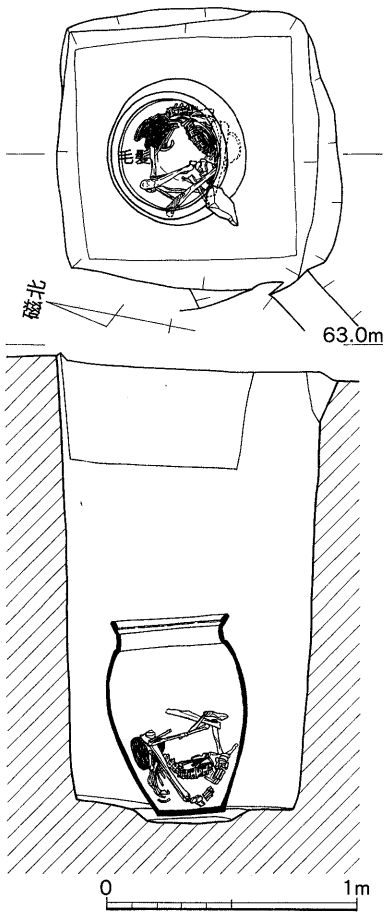
墓域の東端の南側、第２４号墓の北側に位置する。東側で第６９・７０号墓と重複するが、新旧



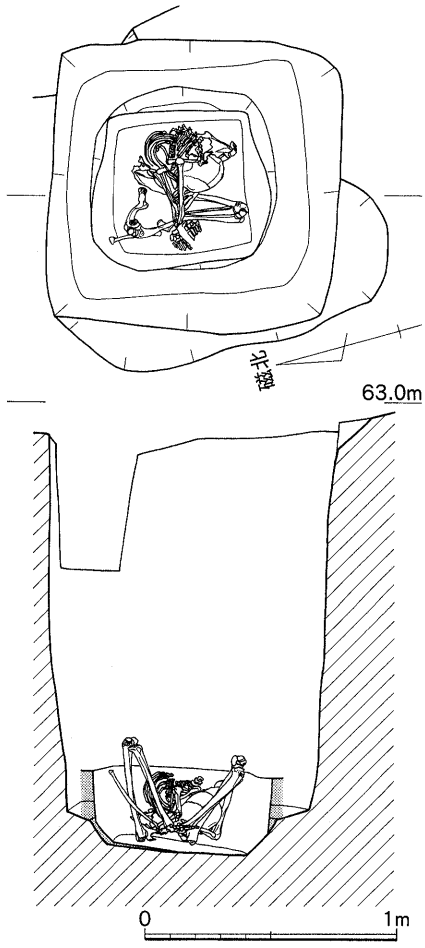
第120図　原田第41号墓地　第19～21号墓実測図（S=1/30）



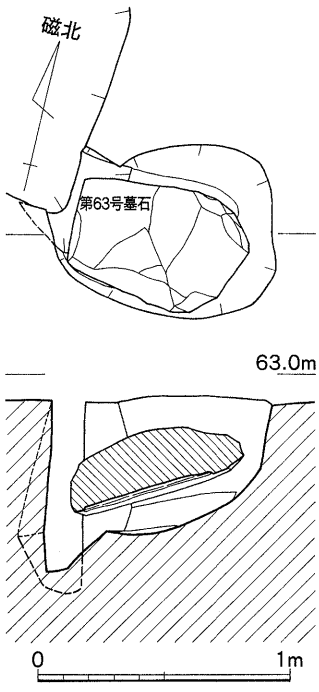
第22号墓



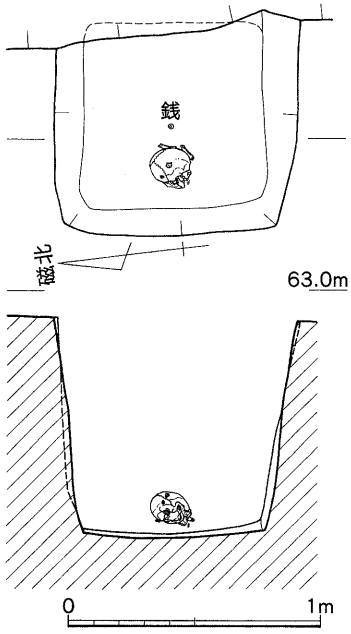
第23号墓



第24号墓



第25号墓



第26号墓

第121図　原田第41号墓地　第22～26号墓実測図（S=1/30）

関係は不明である。墓壙は方形を呈し、上面96×80cm以上・底面72×72cm・深さ88cmを測る。棺は検出できなかった。墓壙内から銭６が出土した。人骨の残りは悪く、葬位は不明である。

第２７号墓（第113・122図、図版94－⑤⑥）

墓域の中央南東寄り、第１７号墓の西側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面101×99cm・底面71×58cm・深さ181cmを測る。棺は胴径41.4cmの甕棺であり、木蓋の押え石と考える40×30cm・厚さ８～10cmを測る花崗岩の平石が載っていた。墓壙南西角に改葬壙があり、それに対応するように甕の南西側の口辺から頸部にかけてが割れていた。棺内には銭４・白磁小杯１・白磁紅皿１が副葬され、また布片１と少量の鉄釘が出土した。人骨の残りはあまり良くないが、葬位は南西向きの立膝座葬である。

第２８号墓（第113・122図、図版95－①②）

墓域の南側中央、第１０号墓の北北東側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面96×95cm・底面78×76cm・深さ153cmを測る。北側に改葬壙がある。棺は47×47cmの正方形縦棺である。棺内には白磁紅皿１・磁器猪口１・陶製人形１が副葬され、墓壙内からやや少量の鉄釘が出土した。人骨の残りは悪く、葬位は不明である。

第２９号墓（第113・122図、図版95－③④、115－⑥）

墓域の南西側、第２８号墓の西側に位置する。北東側で第７６号墓と接するが、新旧関係は不明である。墓壙は方形を呈し、上面96×95cm・底面71×68cm・深さ207cmを測る。底面には上面46×40cm・深さ５cmを測る略円形の穴があり、棺の位置と一致する。南側に改葬壙があり、墓壙内中位には改葬時に廃棄されたと考える胞衣容器が割れた状態で出土した。棺は胴径42.8cmの甕棺である。棺内から布片１・ローソク１が、墓壙内からやや多量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は北西向きの立膝座葬である。

第３０号墓（第113・122図、図版95－⑤）

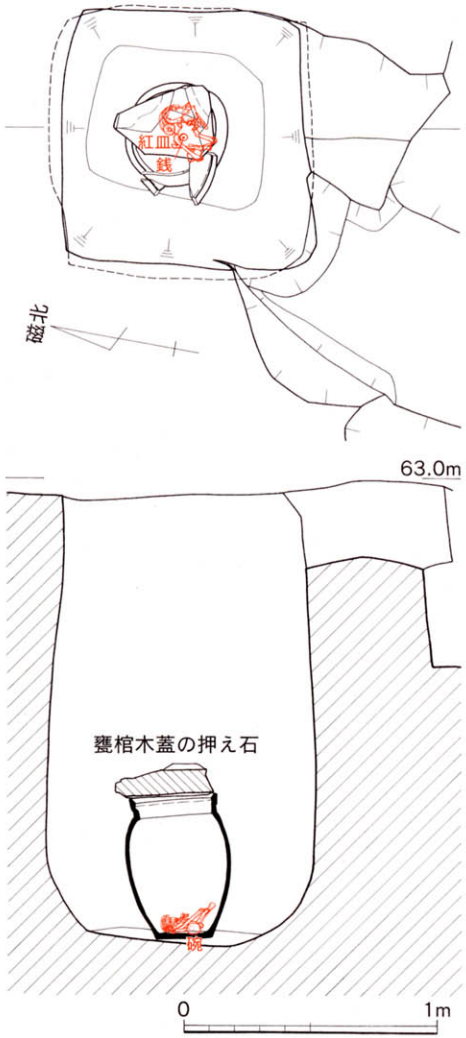
墓域中央の南西寄り、第２９号墓の北側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面93×84cm・底面46×45cm・深さ99cmを測る。底面の圧痕から、棺は径31～33cmの桶棺である。墓壙内から白磁紅皿１と鉄釘１が出土した。人骨は残っておらず、葬位は不明である。

第３１号墓（第113・123図、図版96－①～③）

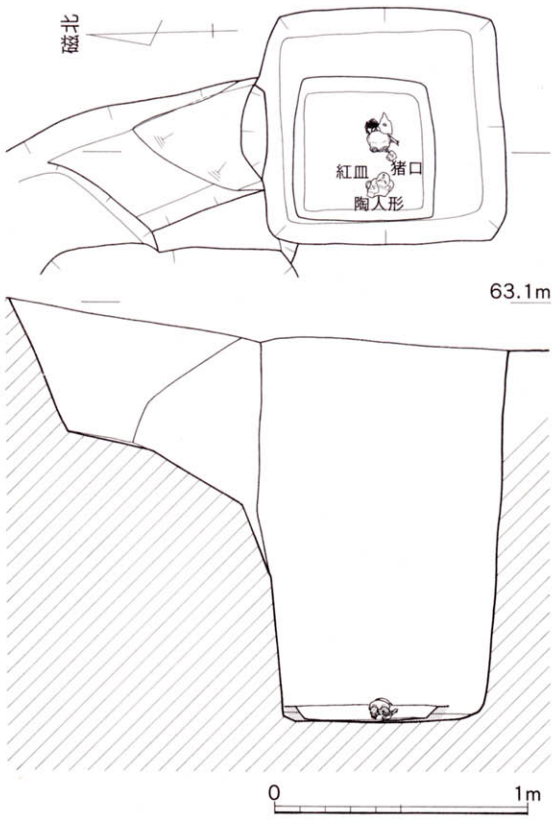
墓域の南東端、第２４号墓の南東側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面109×106cm・底面78×74cm・深さ164cmを測る。底面には上面42×39cm・深さ７cmを測る略円形の穴を掘り、棺を据えている。棺は胴径62.1cmの甕棺である。棺内から足袋はぜ３が、墓壙内から少量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は西向きの立膝座葬である。

第３３号墓（第113・123図、図版96－④⑤）

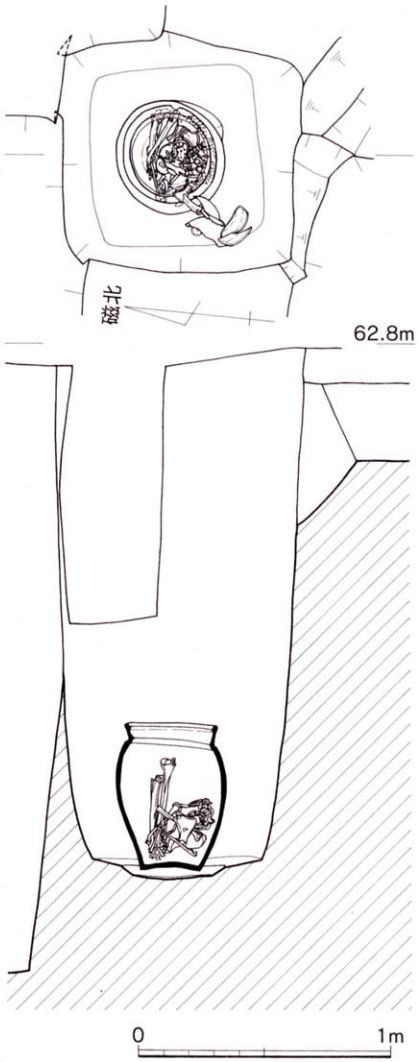
墓域東辺の中央に位置する。墓壙は方形を呈し、上面104×91cm・底面76×75cm・深さ



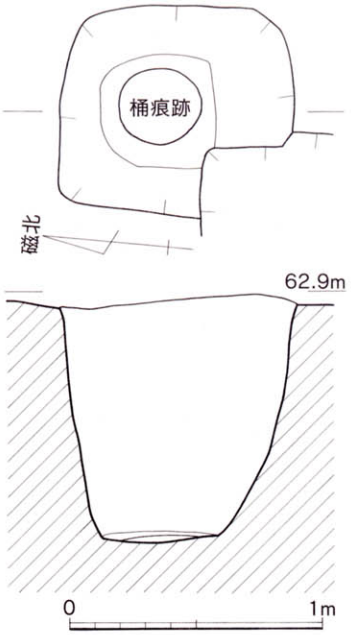
第27号墓



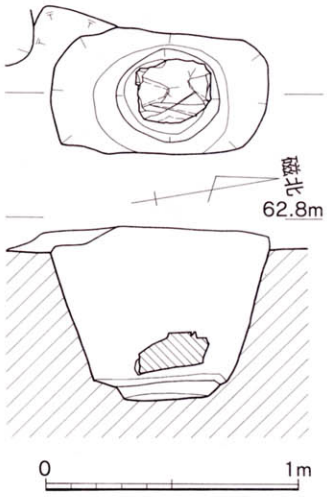
第28号墓



第29号墓



第30号墓



第32号墓

第122図　原田第41号墓地　第27～30・32号墓実測図（S=1/30）

164cmを測る。底面には上面65×62cm・深さ６～８cmを測る方形の穴があり、棺の位置と一致する。棺は49×47cmの正方形縦棺であり、深さ42cmを残す。墓壙内からやや多量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は西向きの立膝座葬である。

第３４号墓（第113・123図、図版97－①②）

墓域東辺の中央、第３３号墓の北北西側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面104×99cm・底面94×86cm・深さ161cmを測る。底面４隅に浅い小土壙が掘られている。棺は55×54cmの正方形縦棺であり、深さ38cmを残す。人骨の出土状態から、棺は一辺45cmの正方形と考える。墓壙内から多量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は南西向きの立膝座葬である。

第３５号墓（第113・123図、図版97－③④）

墓域中央の東側、第３４号墓の南西側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面113×109cm・底面85×82cm・深さ174cmを測る。棺は64×56cmの正方形縦棺であり、深さ61cmを残す。人骨の出土状態から、棺は一辺45～50cmの正方形と考える。墓壙内から多量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は西北西向きの立膝座葬である。

第３６号墓（第113・123図、図版97－⑤⑥）

墓域中央の東側、第３５号墓の南西側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面120×114cm・底面94×91cm・深さ149cmを測る。棺は62×61cmの正方形縦棺であり、深さ85cmを残す。棺内には銭４・磁器碗１が副葬され、墓壙内から多量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は西向きの立膝座葬である。

第３７号墓（第113・123図、図版98－①②）

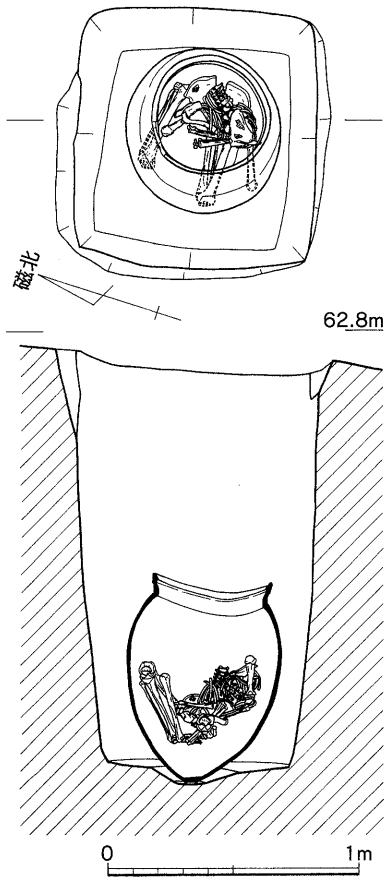
墓域の中央東側、第３５号墓の北側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面106×101cm・底面75×73cm・深さ210cmを測る。底面には幅13～15cm・深さ3cmの溝がめぐった穴が掘られており、上面外径43×41cmを測る略円形を呈する。棺は64×54cmの正方形縦棺であり、深さ40cmを残す。棺内には銭６が副葬され、墓壙内からやや小量の鉄釘が出土した。人骨の残り悪く、葬位は不明である。

第３８号墓（第113・124図、図版98－③）

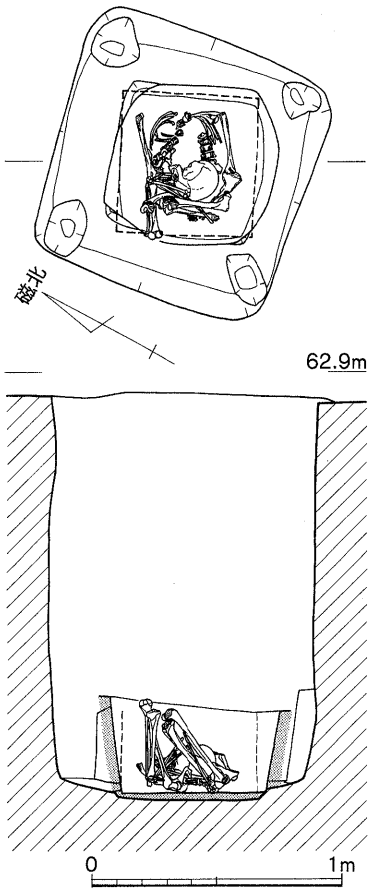
墓域の北東端、第３７号墓の北側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面109×101cm・底面85×84cm・深さ135cmを測る。墓壙内から多量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は西向きの立膝座葬である。棺は明確に検出できなかったが、人骨の出土状態と鉄釘の出土量から62×60cmの正方形縦棺と考える

第３９号墓（第113・124図、図版98－④）

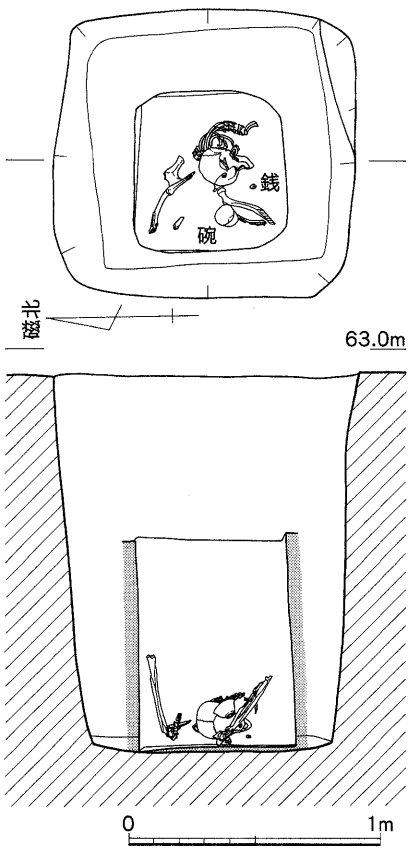
墓域の中央、第３０号墓の北東側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面110×109cm・底面110×110cm・深さ256cmを測る。底面には上面76×65cm・深さ13cmを測る不整方形の穴があ



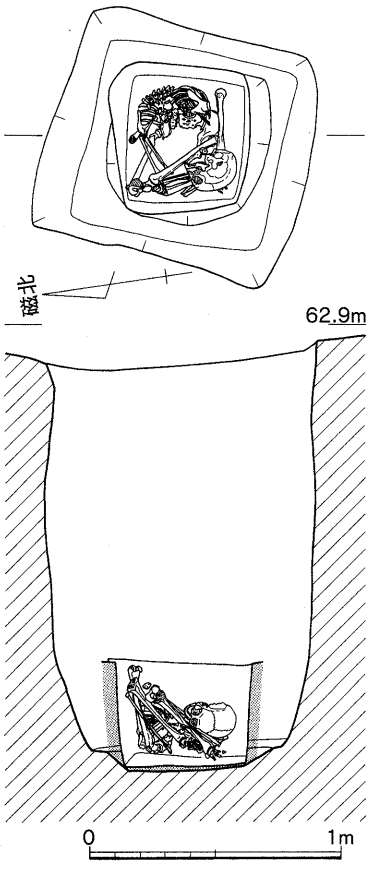
第31号墓



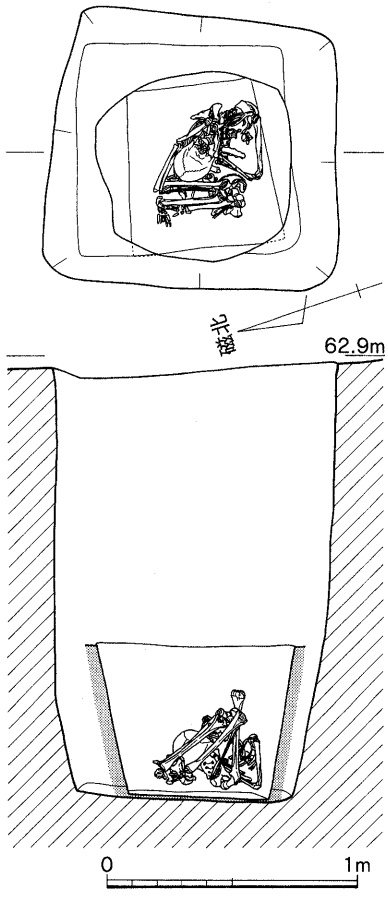
第34号墓



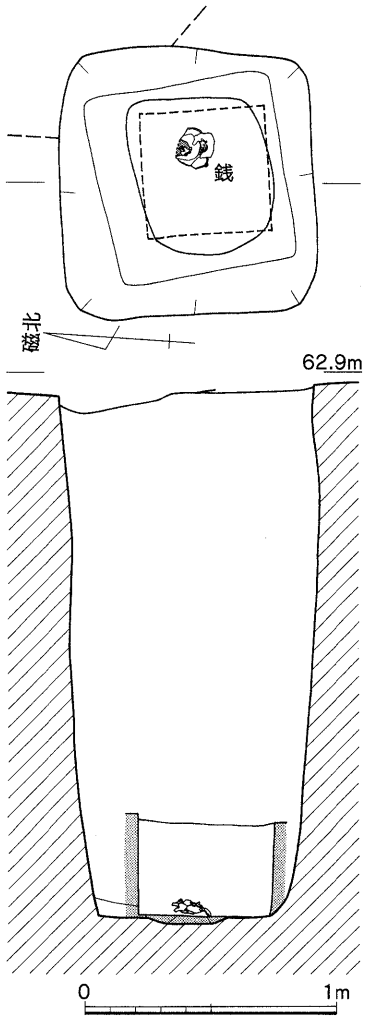
第36号墓



第33号墓

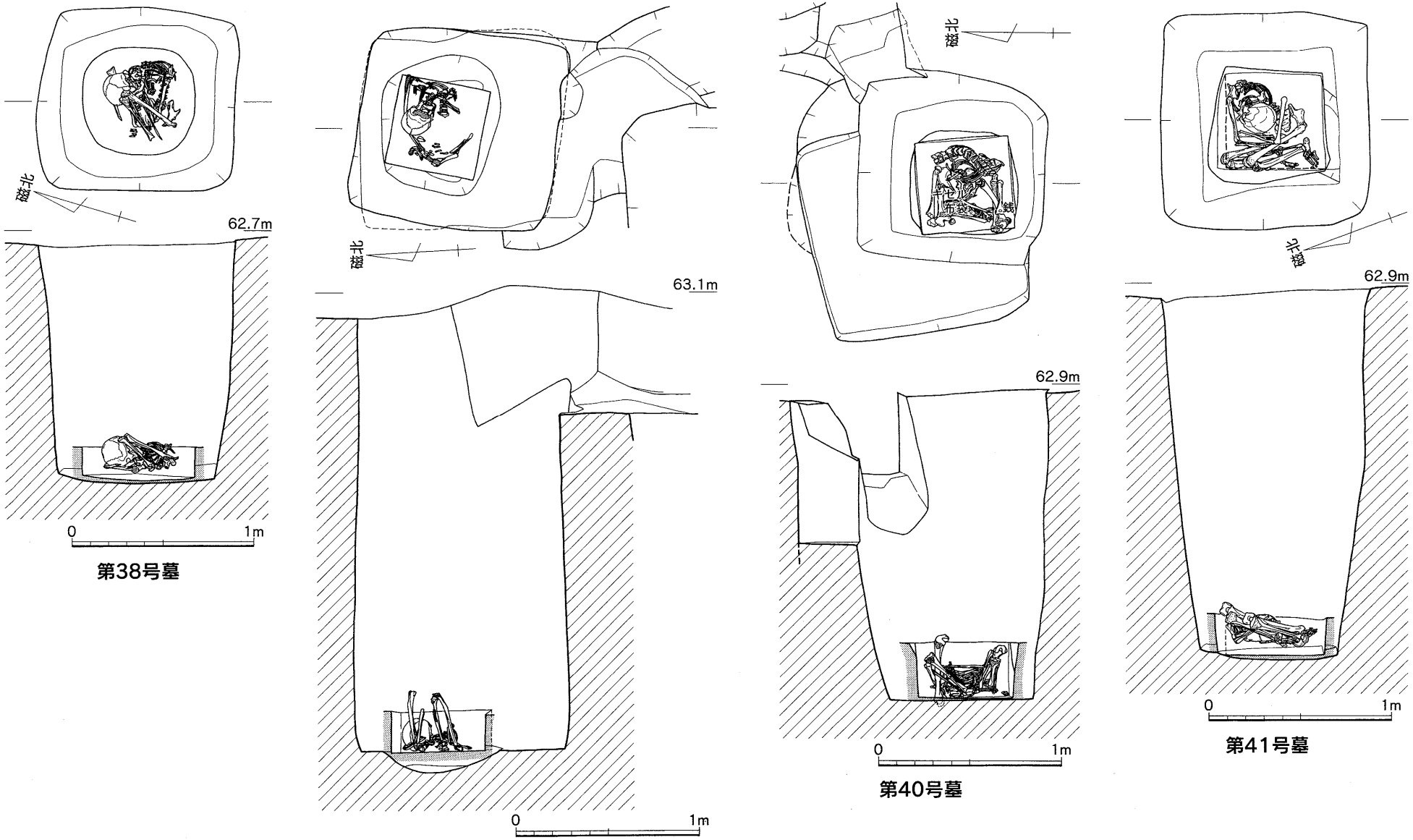


第35号墓



第37号墓

第123図　原田第41号墓地　第31・33～37号墓実測図（S=1/30）



第124図　原田第41号墓地　第38～41号墓実測図（S=1/30）

り、棺の位置と一致する。南側に改葬壙が掘られている。棺は50×50cmの正方形縦棺である。墓壙内から多量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は北西向きの立膝座葬である。

第４０号墓（第113・124図、図版98－⑤⑥、99－①）

墓域の中央に位置する。第７８号墓と重複し、第７８号墓より新しい。墓壙は方形を呈し、上面102×102cm・底面78×75cm・深さ170cmを測る。北東角に改葬壙が掘られている。棺は51×50cmの正方形縦棺であり、深さ30cmを残す。棺内には銭６・煙管１・金具付袋（？）１が副葬され、墓壙内から小量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は西向きの立膝座葬である。

第４１号墓（第113・124図、図版99－②③）

墓域の北東側、第３８号墓の南南西側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面119×114cm・底面75×75cm・深さ200cmを測る。底面には上面66×62cm・深さ4cmを測る浅い窪みがあり、棺の位置と一致する。棺は58×53cmの正方形縦棺であるが、人骨の出土状態から一辺50～55cmの正方形と考える。墓壙内からやや多量の鉄釘が出土した。人骨は棺底に崩れ落ちていたが、葬位は立膝座葬と考える。

第４２号墓（第113・125図、図版99－④⑤）

墓域の中央やや北寄りに位置する。墓壙は方形を呈し、上面115×108cm・底面93×86cm・深さ228cmを測る。棺は60×60cmの正方形縦棺で、深さ36cmを残すが、人骨の出土状態から一辺45～50cmの正方形と考える。墓壙内から多量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は西向きの立膝座葬と考える。

第４３号墓（第113・125図、図版100－①②）

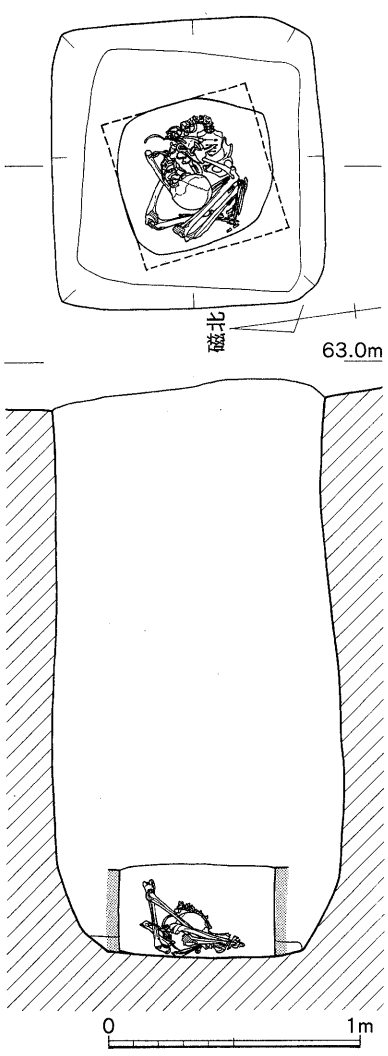
墓域の北東側、第３８号墓の西側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面108×106cm・底面71×64cm・深さ120cmを測る。棺は上径55cm・底径50cmの桶棺と考える。人骨の出土状態から、葬位は南向きの立膝座葬と考える。

第４４号墓（第113・125図、図版100－③④）

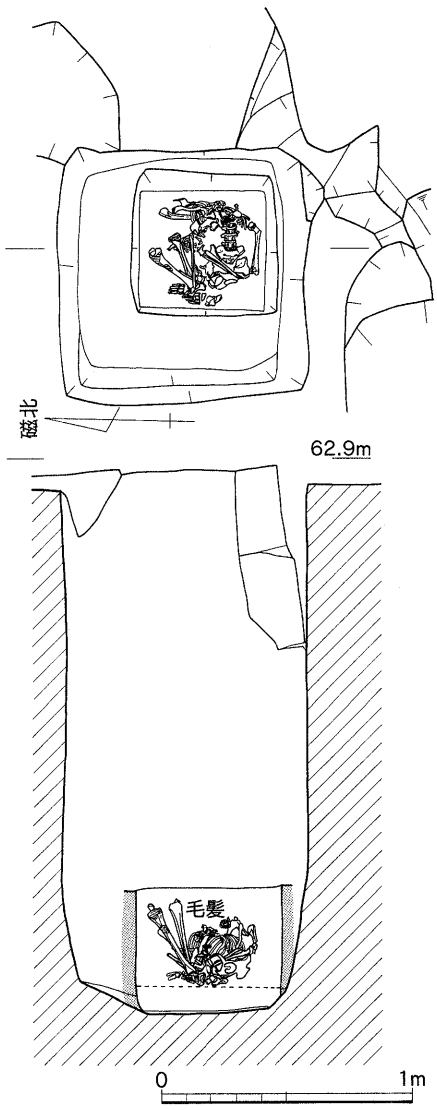
墓域の中央、第４０号墓の北側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面100×100cm・底面83×82cm・深さ215cmを測る。北東角と南東角に改葬壙があるが、本墓の改葬は南東側からである。棺は51×47cmの正方形縦棺であり、深さ50cmを残す。棺内には銭６が副葬され、墓壙内から多量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は西向きの立膝座葬である。毛髪も残っていた。

第４５号墓（第113・125図、図版100－⑤⑥）

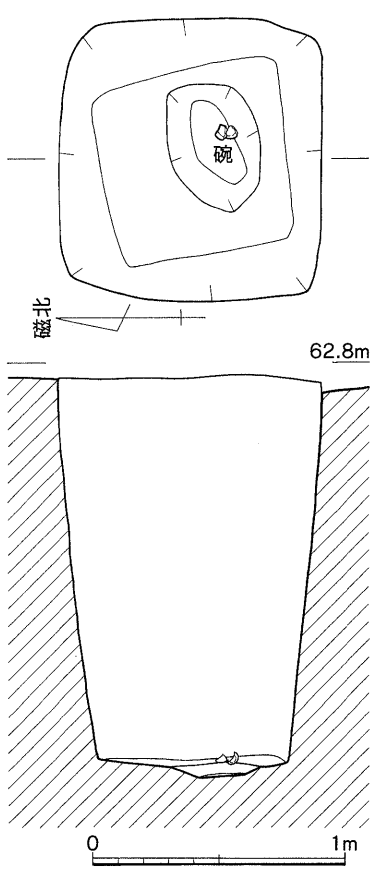
墓域の中央やや北西寄り、第４２号墓の北西側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面112×105cm・底面74×73cm・深さ154cmを測る。底面には上面53×37cm・深さ5cmを測る楕円形を呈した穴が掘られている。棺は検出できなかった。墓壙内から磁器碗１・白磁紅皿１・漆膜１とやや多量の鉄釘が出土した。人骨は残っておらず、葬位は不明である。



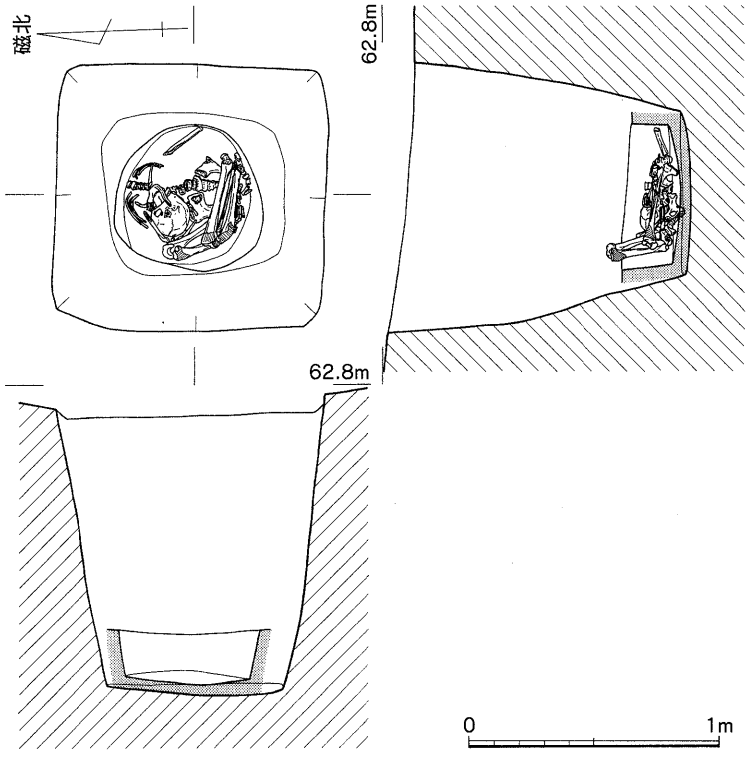
第42号墓



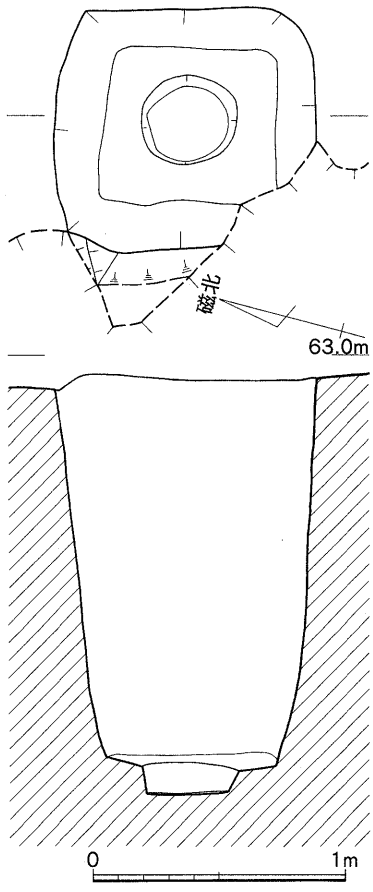
第44号墓



第45号墓



第43号墓



第46号墓

第125図　原田第41号墓地　第42～46号墓実測図（S=1/30）

第４６号墓（第113・125図、図版101－①）

墓域の中央、新しい改葬跡の北東側に位置する。南側は新しい改葬によって削られており、ここから改葬が行われたと考える。墓壙は方形を呈し、上面105×95cm・底面70×69cm・深さ157cmを測る。底面には上面40×35cm・深さ９～13cmを測る円形の穴がある。当初、底面の円形穴を桶棺の圧痕と考えたが、甕棺用の底面の穴の可能性もあり、本墓の棺は不明である。人骨は残っておらず、葬位は不明である。

第４７号墓（第113・126図、図版101－②③）

墓域の北側中央、第４２号墓の北側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面113×110cm・底面96×93cm・深さ228cmを測る。底面には上面45×44cm・深さ11cmを測る円形の穴を掘り、棺を据えている。東側に改葬壙と考えるやや浅い土壙がある。棺は胴径51.3cmの甕棺である。墓壙内北西隅の下位には、35×27cm・厚さ8cmを測る花崗岩の平石が立った状態で出土した。これは、甕棺の木蓋の押え石が改葬時に動かされたものと考える。また、北側中央の地表近くから第9号胞衣容器が出土した。棺内には木葉が詰められており、不明鉄器１・布片１が出土した。人骨の出土状態から、葬位は西向きの立膝座葬である。毛髪も残っていた。

第４８号墓（第113・126図、図版101－④⑤）

墓域の北端中央、第４７号墓の北側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面115×100cm・底面87×86cm・深さ147cmを測る。底面には上面60×60cm・深さ12～20cmを測る円形の穴を掘り、棺を据えている。棺は胴径53.9cmの甕棺である。人骨は完全に残っており、葬位は西向きの立膝座葬である。

第４９号墓（第113・126図、図版102－①～③）

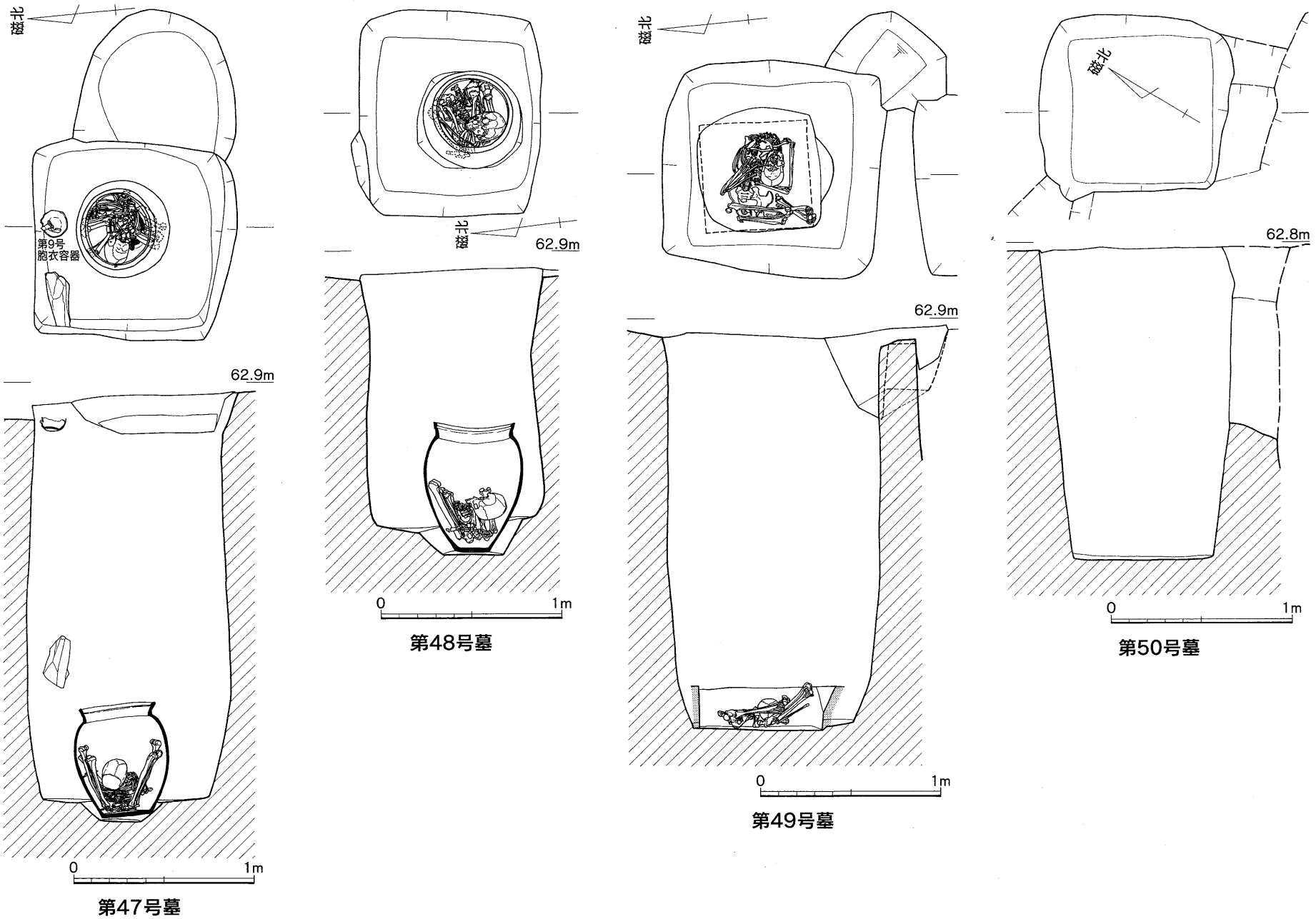
墓域の中央やや北東側、第４４号墓の北側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面120×120cm・底面89×88cm・深さ221cmを測る。南東角に改葬壙が掘られている。棺は60×59cmの正方形縦棺であるが、人骨の出土状態から一辺50cmの正方形と考える。棺内には銭６が副葬され、墓壙内から多量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は西向きの立膝座葬である。毛髪も残っていた。

第５０号墓（第113・126図、図版102－④）

新しい改葬跡北辺のやや中央に位置する。南側は新しい改葬によって削られており、ここから改葬が行われたと考える。墓壙は方形を呈し、上面105×98cm・底面82×77cm・深さ174cmを測る。棺は検出できなかった。人骨は残っておらず、葬位は不明である。

第５１号墓（第113・127図、図版102－⑤⑥）

新しい改葬跡北辺の西端に位置する。墓壙は方形を呈し、上面104×101cm・底面65×61cm・深さ161cmを測る。底面には上面35×33cm・深さ８cmを測る円形の穴を掘り、棺を据えている。棺は胴径58.5cmの甕棺であり、木蓋の押え石と考える62×50cm・厚さ７～23cmを測る花崗岩が



第126図　原田第41号墓地　第47～50号墓実測図（S=1/30）

載っていた。墓壙の北東側から南西側にかけて重機によって削られており、北東角から改葬を受けている。これに対応して甕の北東側口辺から胴部にかけてが割れており、また第６５号墓石が本墓壙内に落とし込まれていた。墓壙内から複数の銭の塊が出土した。人骨の出土状態から、葬位は西向きの立膝座葬である。

第５２号墓（第113・127図、図版103－①～③）

墓域北側の西辺、第５１号墓の北側に位置する。北側から南西側にかけて重機で削られている。墓壙は方形を呈し、上面96×92cm・底面83×82cm・深さ202cmを測る。底面には上面55×52cm・深さ10cmを測る円形の穴を掘り、棺を据えている。南側と南東角に改葬壙が掘られている。棺は胴径60.1cmの甕棺である。棺内から数珠玉１３が出土した。人骨の残りはあまり良くないが、葬位は立膝座葬と考える。毛髪も残っていた。

第５３号墓（第113・127図、図版103－④⑤、104－①②）

墓域の北西側、第５１号墓の東側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面102×102cm・底面87×85cm・深さ201cmを測る。北側、第５４号墓との間に改葬壙が掘られている。棺は56×54cmの正方形縦棺であり、深さ42cmを残す。棺の上から、25×25cm、厚さ15cm程の煤が付着した方形石と、長さ24cm・厚さ8cmの石が出土した。棺内には銭５が副葬され、墓壙内から多量の鉄釘が出土した。人骨は棺底に崩れ落ちているが、葬位は西向きの立膝座葬と考える。

第５４号墓（第113・127図、図版104－③④）

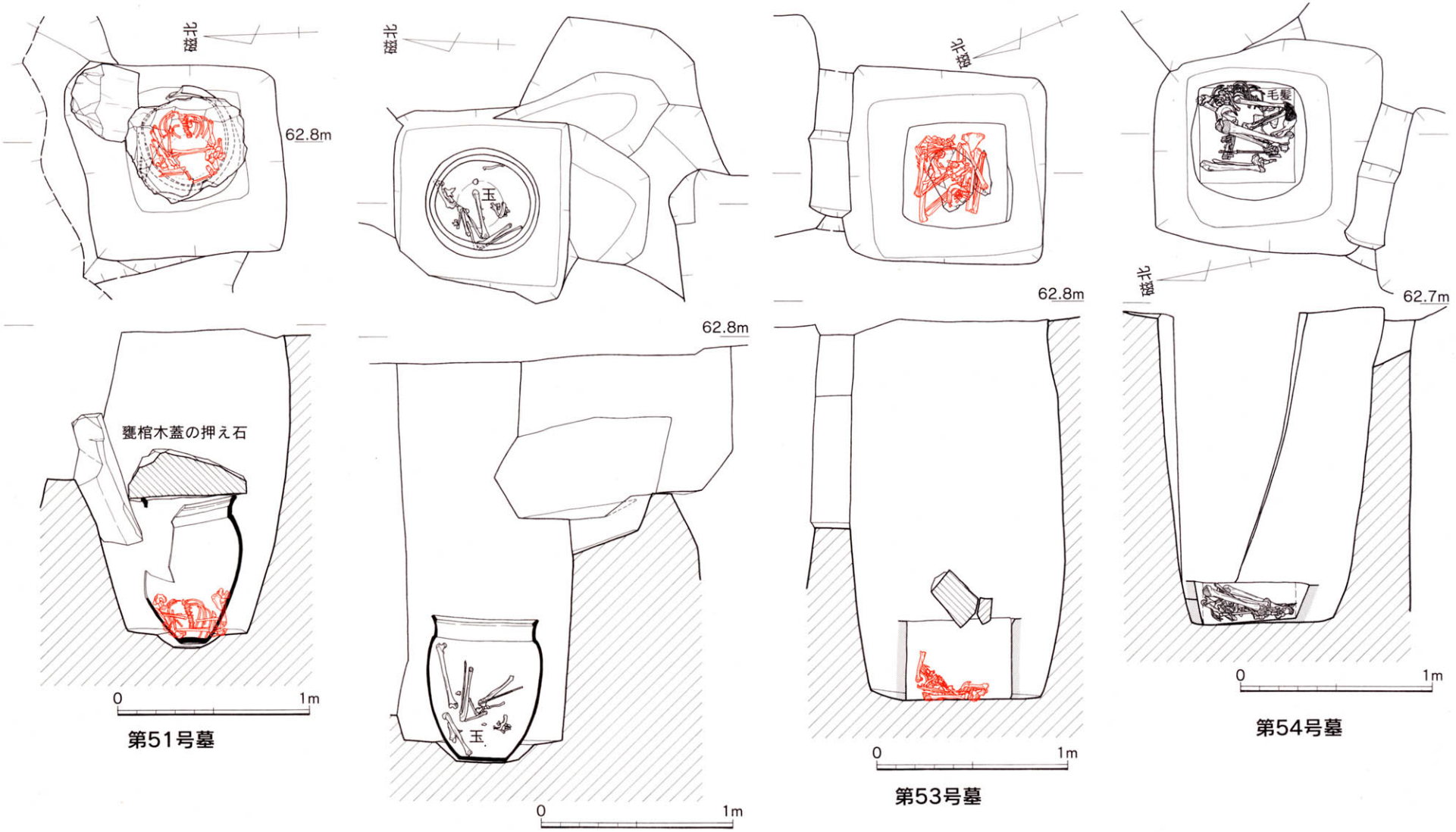
墓域の北西側、第５３号墓の北側に位置する。北東側で第５５号墓と重複するが、新旧関係は不明である。墓壙は方形を呈し、上面117×112cm・底面83×75cm・深さ167cmを測る。南西側に改葬壙がある。棺は50×49cmの正方形縦棺である。棺内には銭６が副葬され、墓壙内からやや小量の鉄釘が出土した。人骨は棺底に崩れ落ちていたが、葬位は西向きの立膝座葬と考える。毛髪も残っていた。

第５５号墓（第113・128図、図版104－⑤⑥）

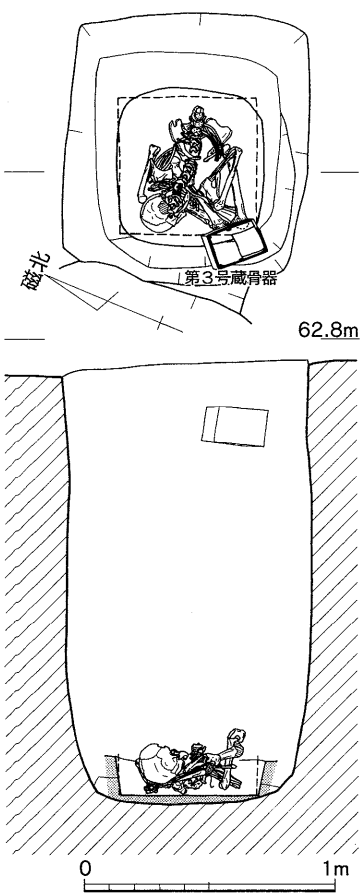
墓域の北西側、第５４号墓の東側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面108×97cm・底面75×72cm・深さ177cmを測る。棺は56×55cmの正方形縦棺である。棺内には銭６が副葬され、墓壙内から多量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は南西向きの立膝座葬である。墓壙内南西角の上位に第3号蔵骨器が出土した。

第５６号墓（第113・128図、図版105－①～③）

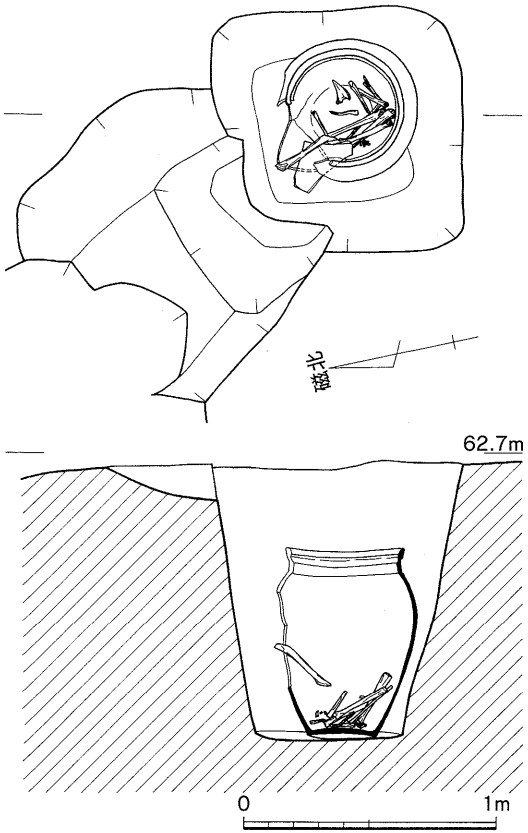
墓域の北西側、第５５号墓の北東側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面97×93cm・底面58×57cm・深さ112cmを測る。棺は胴径55.5cmの甕棺である。北西側、第５７号墓との間に改葬壙が掘られており、それに対応して甕の北西側口辺から胴部にかけてが割れていた。人骨の残りはあまり良くないが、葬位は立膝座葬である。



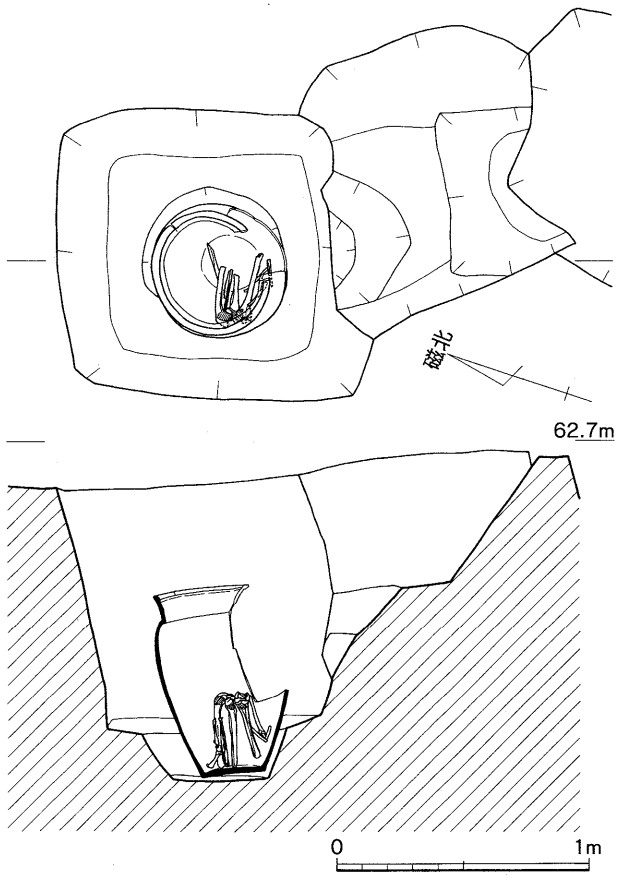
第127図　原田第41号墓地　第51～54号墓実測図（S=1/30）



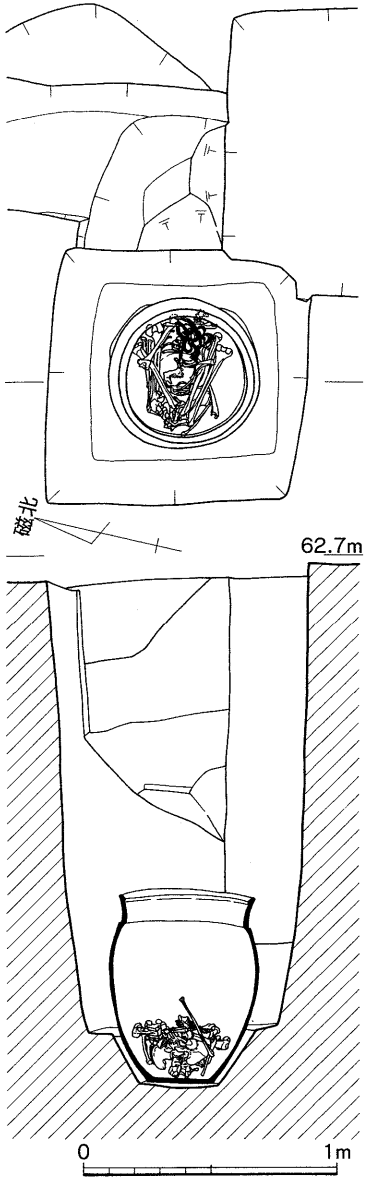
第55号墓



第56号墓



第57号墓



第58号墓

第128図　原田第41号墓地　第55～58号墓実測図（S=1/30）

第５７号墓（第113・128図、図版105－③～⑥）

墓域の北西端寄り、第５６号墓の北西側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面114×109cm・底面84×80cm・深さ100cmを測る。底面には上面58×50cm・深さ19～21cmを測る円形の穴を掘り、棺を据えている。棺は胴径53.8cmの甕棺である。墓壙の南東側に改葬壙があり、それに対応して甕の南東側口辺から胴部にかけてが割れていた。人骨の残りはあまり良くないが、葬位は立膝座葬である。

第５８号墓（第113・128図、図版106－①～③）

墓域の北西側、第５７号墓の西側に位置する。南東側で第６８号墓と重複するが、新旧関係は不明である。墓壙は方形を呈し、上面103×102cm・底面75×69cm・深さ185cmを測る。底面には上面60×57cm・深さ19～22cmを測る円形の穴を掘り、棺を据えている。棺は胴径58.1cmの甕棺である。墓壙の東側に改葬壙が掘られている。棺内には銭２・櫛１が副葬され、布片・ネット状布片も出土した。人骨は棺底に崩れ落ちていたが、葬位は西向きの立膝座葬である。毛髪も残っていた。

第５９号墓（第113・129図、図版106－④⑤）

墓域の北西端、第５８号墓の北側に位置する。北側から南西側にかけては重機によって削られていた。墓壙は方形を呈し、上面80×76cm・底面63×61cm・深さ167cmを測る。南東角には改葬に伴う幅35cmの横穴が掘られている。棺は37×36cmの正方形縦棺である。棺内に銭６・ガラス瓶１・土製おはじき４４・玉１が、棺外にも玩具（手持ち小太鼓１・不明鉄製品１）が副葬されていた。また、墓壙内からやや少量の鉄釘が出土した。人骨の残りは良くないが、葬位は西向きの座葬と考える。

第６０号墓（第113・129図、図版107－①②）

墓域の最北西端、第５９号墓の北側に位置する。西側半分は重機によって削られている。墓壙は方形を呈し、上面104×74cm・底面63×53cm以上・深さ173cmを測る。棺は48×48cmの正方形縦棺で、深さ32cmを残す。墓壙内から玉状のもの１３と籾殻および多量の鉄釘が出土した。人骨は棺底に崩れ落ちていたが、葬位は西向きの立膝座葬と考える。毛髪も残っていたが、その出土状況から頭部から自然に抜け落ちたものとは考えにくく、あらかじめ断髪して納められた疑いがある。

第６１号墓（第113・129図、図版107－③④）

墓域中央の東寄り、第４４号墓の南東側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面105×103cm・底面75×73cm以上・深さ182cmを測る。北西角と西側に改葬壙があるが、本墓の改葬は北西角からである。棺は49×46cmの桶棺である。棺内には鈴１が副葬され、墓壙内からやや小量の鉄釘が出土した。人骨の残り悪く、葬位は不明である。

第６２号墓（第113・129図、図版107－⑤⑥）

墓域東辺の北端に位置する。南側で第６３号墓と接するが、新旧関係は不明である。墓壙は方形を呈し、上面98×98cm・底面85×83cm以上・深さ115cmを測る。棺は48×47cmの正方形縦棺である。墓壙内から多量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は西向きの立膝座葬である。毛髪も残っていた。

第６３号墓（第113・129図、図版108－①②）

墓域東辺の北側、第６２号墓の南側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面115×105cm・底面67×57cm以上・深さ97cmを測る。棺は明確ではないが、64×58cmの桶棺と考え、深さ32cmを残す。墓壙内から棺底の横木と考える木片が出土したが、鉄釘は出土していない。人骨の出土状態から、葬位は西向きの立膝座葬である。

第６４号墓（第113・130図、図版108－③）

墓域中央の南側、第２８号墓の東側に位置する。南側で第７２号墓と重複するが、新旧関係は不明である。墓壙は方形を呈し、上面110×109cm・底面86×84cm以上・深さ260cmを測る。東西側に改葬壙がある。棺は検出できなかった。墓壙内から少量の鉄釘が出土した。人骨の残り悪く、葬位は不明である。

第６５号墓（第113・129図、図版108－④）

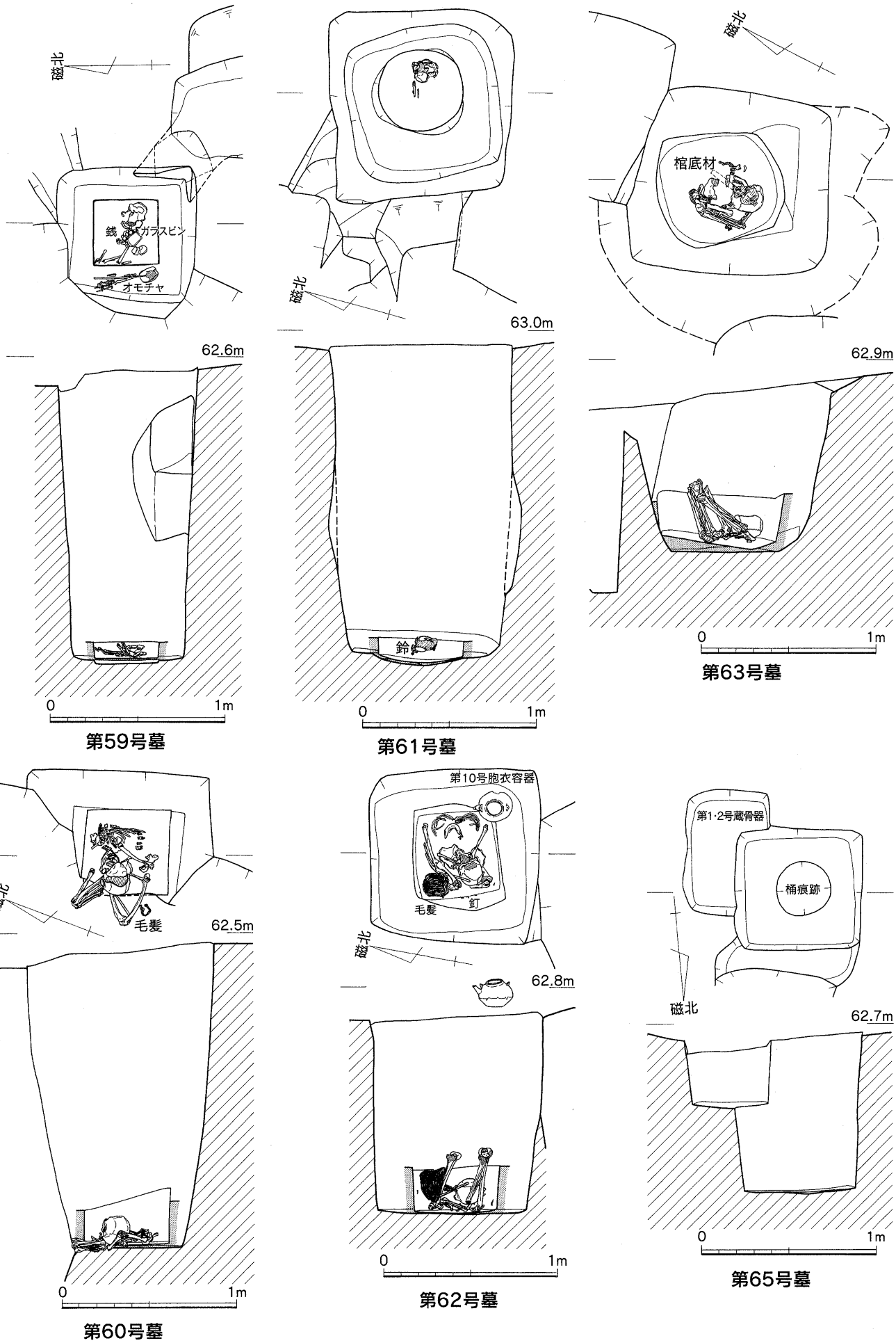
墓域の南端中央、第１５号墓の南側に位置する。南東側で第１・２号蔵骨器の埋納土壙と重複し、本墓が古い。墓壙は方形を呈し、上面72×70cm・底面62×60cm以上・深さ92cmを測る。北側に改葬壙が掘られている。墓壙底面の圧痕から、棺は31×30cmの桶棺と考える。墓壙内から少量の鉄釘が出土した。人骨は残っておらず、葬位は不明である。

第６６号墓（第113・115図、図版87－④、108－⑤）

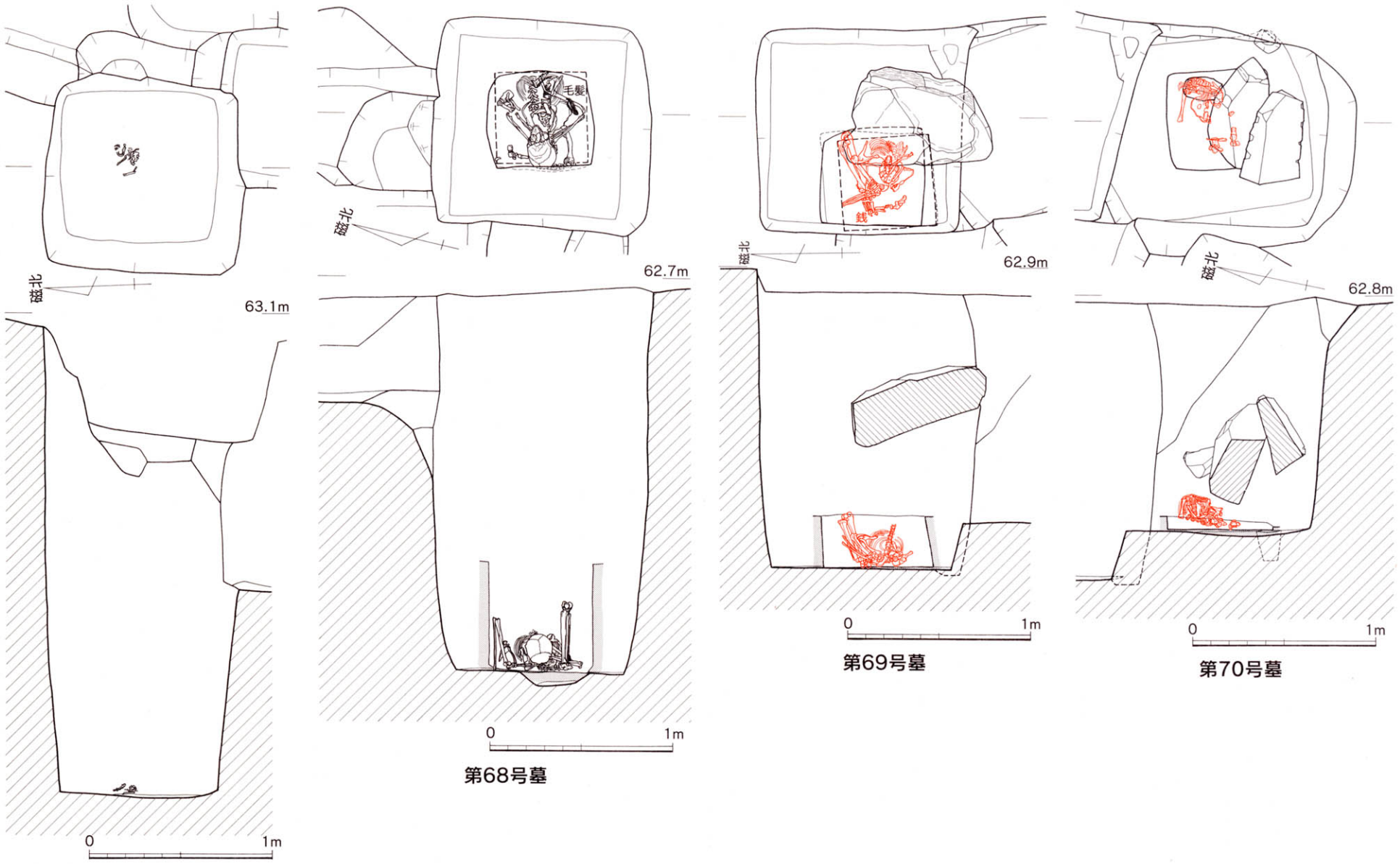
墓域の南西端、第４号墓の南側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面116×115cm・底面111×105cm・深さ182cmを測る。底面には上面85×66cm・深さ８cmを測る不正形の穴がある。棺は胴径58.2cmの甕棺であるが、改葬によって著しく破壊され第4号墓の墓壙内に廃棄されていた。墓壙内から少量の鉄釘が出土した。人骨は残っておらず、葬位は不明である。

第６８号墓（第113・130図、図版109－①②）

墓域の北西側、第５８号墓の南東側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面120×114cm・底面96×91cm・深さ213cmを測る。底面には上面40×38cm・深さ５～８cmを測る略方形の穴があり、棺の位置と一致する。棺は50×50cmの正方形縦棺で、深さ60cmを残す。墓壙の北西側に改葬壙が掘られている。棺内には銭６が副葬され、墓壙内から多量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は西向きの立膝座葬である。毛髪も残っていたが、頭部から離れた位置に束ねた状態で出土しており、あらかじめ断髪したものを納められたと考える。



第129図　原田第41号墓地　第59～63・65号墓実測図（S=1/30）



第130図　原田第41号墓地　第64・68～70号墓実測図（S=1/30）

第６９号墓（第113・130図、図版109－③～⑤）

墓域東辺の南側、第２６号墓の東側に位置する。南側で第７０号墓と重複するが、新旧関係は不明である。墓壙は方形を呈し、上面114×112cm・底面100×96cm以上・深さ164cmを測る。改葬時に落とし込まれたと考える、花崗岩の平石（82×42cm・厚さ26cm）が墓壙内から出土した。棺は60×51cmの正方形縦棺であり、人骨の出土状態から一辺45～50cmの正方形と考える。棺内には銭６・金具付皮製品片１が副葬され、墓壙内から多量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は西向きの立膝座葬である。

第７０号墓（第113・130図、図版109－⑥）

墓域東辺の南側、第６９号墓の南側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面118×108cm・底面110×96cm・深さ132cmを測る。改葬時に落とし込まれたと考える、花崗岩の大石（60×23cm・厚さ19cm）と小石（21×８cm・厚さ６cm）および第６４号墓石が墓壙内から出土した。棺は57×55cmの正方形縦棺である。墓壙内からやや多量の鉄釘が出土した。人骨の残りはあまり良くなく、葬位は西向きの座葬である。

第７１号墓（第113・131図、図版112－④）

墓域の南東側、第１８号墓の西側に位置する。南西側で第７２号墓と重複するが、新旧関係は不明である。墓壙は方形を呈し、上面86×81cm・底面56×54cm・深さ62cmを測る。西側と北側に改葬壙があるが、本墓の改葬は北側からと考える。棺は検出できず、遺物・人骨の出土も無いため、土葬墓としては疑わしいが、一応墓壙として扱った。

第７２号墓（第113・131図、図版110－①）

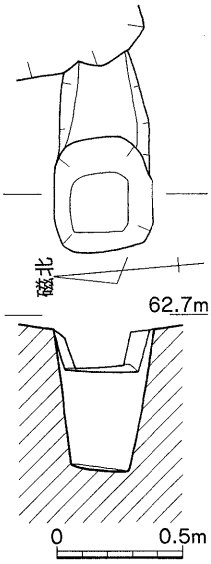
墓域の中央南側、第７１号墓の南西側に位置する。南側で第７５号墓と重複するが、新旧関係は不明である。墓壙は方形を呈し、上面90×83cm・底面71×68cm・深さ146cmを測る。北東側に改葬壙がある。棺は検出できず、遺物・人骨の出土も無い。

第７３号墓（第113・131図、図版110－②③）

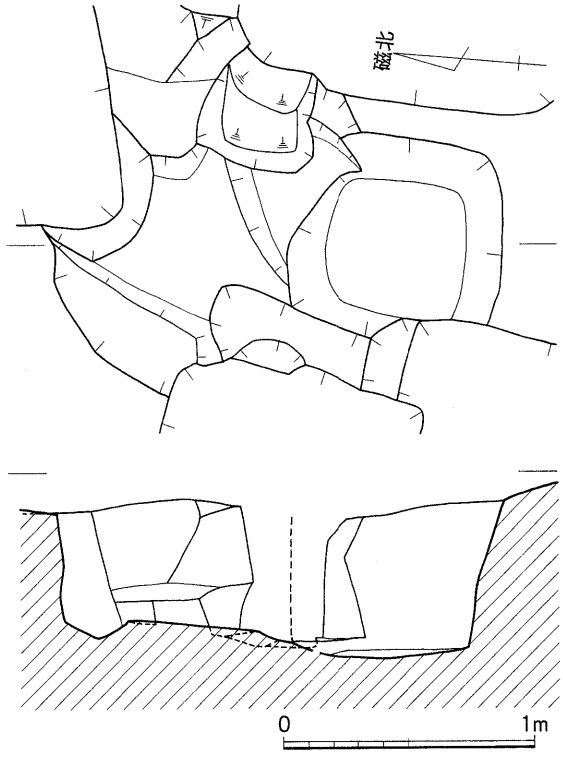
墓域南側の中央、第７２号墓の南西側に位置する。東側で第７５号墓と重複し、本墓が古い。墓壙は方形を呈し、上面103×69cm以上・底面73×58cm以上・深さ151cmを測る。西側、第１０号墓との間に改葬壙がある。棺は検出できなかった。墓壙内から少量の鉄釘が出土した。人骨の残りは悪いが、葬位は西向きと考える。

第７４号墓（第113・131図、図版110－④⑤）

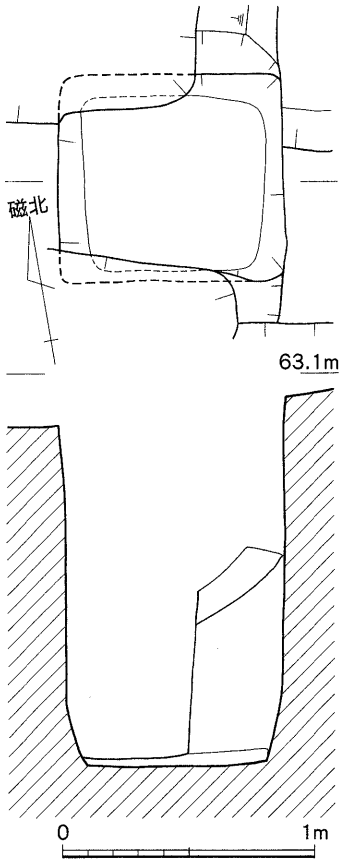
墓域の南東側、第１９号墓の西側に位置する。西側で第７５号墓と重複し、本墓が古い。墓壙は本墓地唯一の長方形を呈し、上面114×74cm以上・底面97×62cm以上・深さ191cmを測る。底面南側には上面32以上×33cm・深さ3cmを測る浅い楕円形の窪みがあり、人骨の出土位置と一致する。棺は検出できなかった。墓壙内からやや小量の鉄釘が出土した。人骨の残りは悪いが、葬位は西向きと考える。



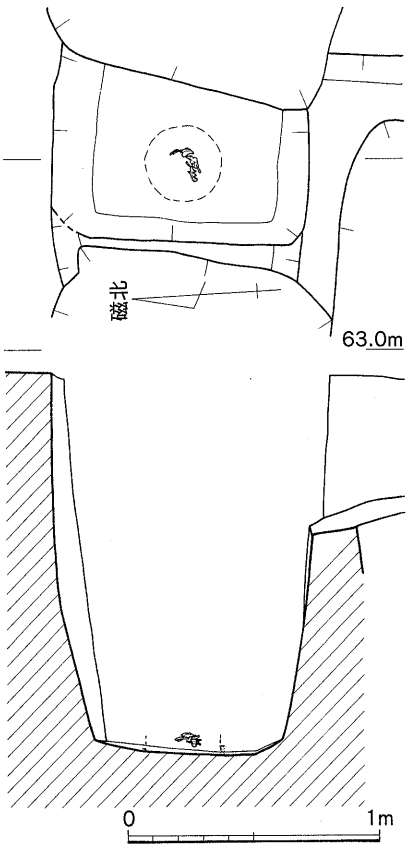
第67号墓



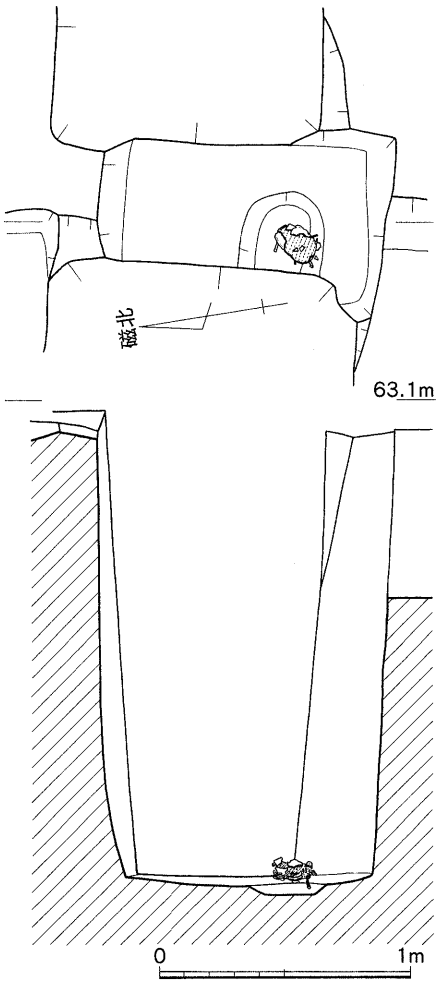
第71号墓



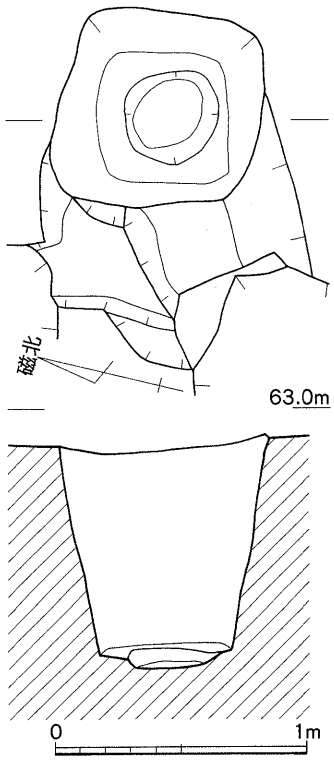
第72号墓



第73号墓



第74号墓



第77号墓

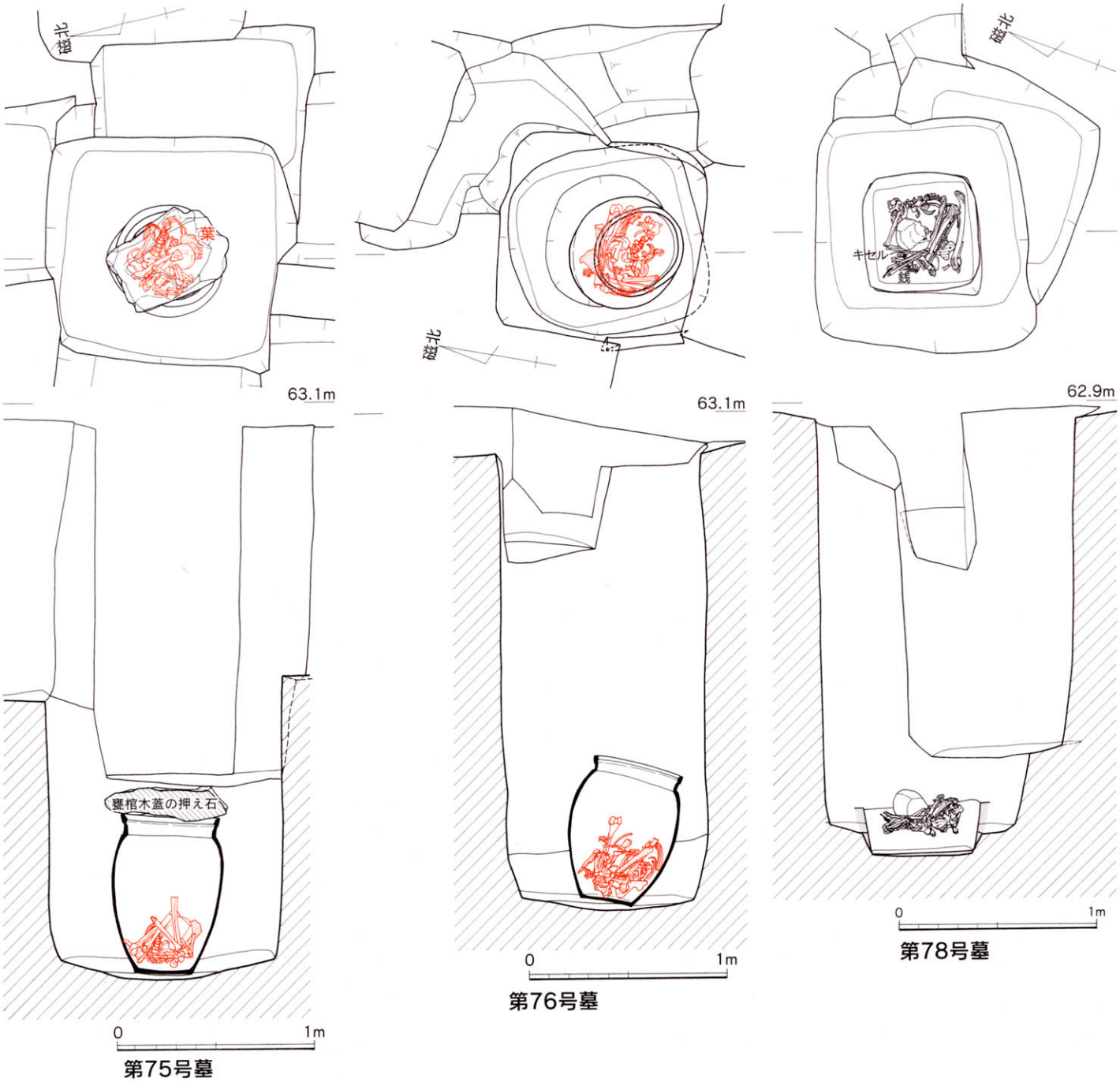
第131図　原田第41号墓地　第67・71～74・77号墓実測図（S=1/30）

第７５号墓（第113・132図、図版111－①②）

墓域南側の中央、第７４号墓の西側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面127×113cm・底面108×102cm・深さ276cmを測る。底面には上面57×50cm・深さ3cmを測る円形の浅い窪みがあり、棺の位置と一致する。棺は胴径55.9cmの甕棺であり、木蓋の押え石と考える花崗岩の平石（59×41cm・厚さ11～16cm）が載っている。棺内には木葉が詰められており、布片が出土した。墓壙内からやや多量の鉄釘が出土した。人骨の出土状態から、葬位は西向きの立膝座葬である。

第７６号墓（第113・132図、図版111－③）

墓域の中央南寄り、第３９号墓の南側に位置する。墓壙は方形を呈し、上面102×100cm・底面



第132図　原田第41号墓地　第75・76・78号墓実測図（S=1/30）

84×79cm・深さ226cmを測る。底面には上面66×64cm・深さ４cmを測る円形の浅い窪みがあり、棺の位置と一致する。北西角に改葬壙がある。棺は胴径57.5cmの甕棺であり、南側へ傾いていた。人骨の出土状態から、葬位は北西向きの立膝座葬である。

第７７号墓（第113・131図、図版111－④）

墓域南西側、第２号墓の南東側に位置する。第７・８号胞衣容器を埋納した土壙と重複し、本墓が古い。墓壙は方形を呈し、上面80×80cm・底面52×52cm・深さ84cmを測る。底面には上面41×37cm・深さ３～７cmを測る円形の穴がある。棺は検出できなかった。遺物・人骨の出土はない。

第７８号墓（第113・132図、図版111－⑤⑥）

墓域の中央、第４０号墓と重複して位置する。墓壙は方形を呈し、上面115×107cm・底面92×90cm・深さ214cmを測る。底面には上面59×59cm・深さ11cmを測る方形の穴があり、棺の位置と一致する。棺は50×49cmの正方形縦棺である。棺内には銭７・煙管１・煙管入れ１が副葬され、火打石と火打金１組・足袋はぜが出土した。墓壙内からやや多量の鉄釘が出土した。人骨は棺底に崩れ落ちていたが、葬位は西向きの立膝座葬である。

３．その他の遺構（第113・121・122・131～134図、図版112～116）

第４１号墓地では、墓壙番号を付しながら通常の土葬墓としては疑わしい遺構が3基ある。また、胞衣容器番号を付しながら容器が出土しなかった小土壙2基と、改葬壙に投げ込まれていた容器２がある。これに加え、蔵骨器（３）・および胞衣容器（１１）を埋納した土壙、火葬に関係すると考える焼土壙2基を検出した。

第２５号墓（第113・121図、図版112－①）

墓域南辺の東端、第２０号墓の東側に位置する。当初土葬墓と考えていたが、第２０号墓の改葬壙である。土壙は不整の長方形を呈し、上面87×69cm・底面58×47cm・深さ54cmを測る。底面は第２０号墓に向かって下っている。改葬後、第６３号墓石が落とし込まれていた。

第３２号墓（第113・122図、図版112－②）

墓域の東辺南端、第３１号墓の北東側に位置する。土壙は長方形を呈し、上面86×48cm・底面53×45cm・深さ69cmを測る。底面には上面41×37cm・深さ５cmを測る円形の穴が掘られている。当初土壙底面の円形の穴を桶棺の痕跡と考え土葬墓としていたが、人骨の出土無く断定できない。また、土壙内下位に31×26cm・厚さ８～14cmの花崗岩が出土しており、土壙の規模から胞衣の埋納土壙の可能性もある。土壙内から白磁紅皿１が出土した。

第６７号墓（第113・131図、図版112－③）

墓域の北西側、第６８号墓の西側に位置する。当初土葬墓としていたが、最終的には胞衣埋納土

壙と考える。土壙は方形を呈し、上面45×40cm・底面23×23cm・深さ56cmを測る。

第１号胞衣容器（第113・120・133図、図版112－⑤）

墓域南辺の東端、第２０号墓に位置する。第２０号墓の南辺中央の地表から出土した。容器は胴径17.5cmの陶器土瓶であり、上位が潰れていた。土壙は円形を呈するが、残り悪く、上面21.2×17cm・深さ2.8cmを測るのみである。北側で第２０号墓と重複するが、本容器が新しい。

第２号胞衣容器（第113・133図、図版112－⑥）

墓域の南東側、第２０号墓の北側に位置する。容器は胴径17.0cmの素焼きの短頸壷であり、南西側に傾いて出土した。土壙は略円形を呈し、上面26.7×25cm・底面19.8×17.7cm・深さ8.2～11.4cmを測る。底面は南西側に傾斜している。

第３号胞衣容器（第113図、図版113－①）

墓域の南東側、第１８号墓に位置する。第１８号墓の墓壙の一辺と重複して出土したが、写真撮影後に崩壊したため、正確な位置と土壙形態は不明である。容器は胴径18.8cmの蓋付きの陶器土瓶である。標識と考える花崗岩2石が載っていた。

第４号胞衣容器（第113・118図、図版113－②）

墓域の南側中央、第１２号墓に位置する。第１２号墓の墓壙内東辺の中央の地表から出土した。写真撮影後に崩壊したため、正確な土壙形態は不明である。容器は胴径16.5cmの陶器土瓶である。標識と考える花崗岩１石が載っていた。

第５号胞衣容器（第113・118図、図版113－③）

墓域の南側中央、第１０号墓に位置する。第１０号墓の墓壙内東辺のやや北寄りの地表から出土した。写真撮影後に崩壊したため、正確な土壙形態は不明である。容器は胴径13.1cmの磁器急須である。

第６号胞衣容器（第113・115図、図版113－④）

墓域の南西端、第５号墓に位置する。第５号墓の墓壙内南辺西寄りの、上位に鉄瓶が、地表近くに陶器蓋が出土した。写真撮影後に崩壊したため、正確な土壙形態は不明である。容器は底径14.7cmの鉄瓶であるが、上位の陶器蓋との関係は不明である。

第７・８号胞衣容器（第113・133図、図版113－⑤）

墓域の南西端、第７７号墓と重複して位置する。第７７号墓の中央から南西側にかけて掘られた、第３号墓に対する改葬壙である。土壙は略楕円形を呈し、上面81.3×57.2cmを測る。底面は3段であり第３号墓に向かって低くなっている。それぞれの深さは、1段目6.4～10.0cm、2段目6.8～9.0cm、3段目5.6cmを測る。改葬時に投げ込まれたと考える胞衣容器２が底面より浮いた状態で出土した。容器は、胴径18.8cmの蓋付きの陶器土瓶と、胴径15.7cmの蓋付きの素焼きの短頸壷

である。

第９号胞衣容器（第113・126・133図、図版113－⑥）

墓域の北側中央、第４７号墓に位置する。第４７号墓の墓壙内北辺やや東寄りの地表近くに出土した。容器は、胴径15.9cmの蓋付きの陶器土瓶であり、上位は破損していた。埋納土壙は確認できなかったが、出土状況からここに埋納された胞衣容器と考える。

第１０号胞衣容器（第113・129・133図、図版114－①）

墓域の東辺の北端、第６２号墓に位置する。第６２号墓の墓壙内南東角の地表に出土した。容器は、胴径18.3cmの陶器土瓶であり、東側胴部が若干欠損していた。埋納土壙は確認できなかったが、出土状況からここに埋納された胞衣容器と考える。

第１１号胞衣容器（第113・133図、図版114－②③）

墓域の中央東側、第３６号墓の南東側に位置する。埋納土壙は略円形を呈し、上面44.0×39.0cm・底面23.8×16.8cm・深さ15.4cmを測る。容器は、胴径18.6cmの陶器土瓶であるが、土壙より浮いて割れた状態で出土した。

第１２号胞衣容器（第113・134図、図版114－④⑤）

墓域の北東側、第４１号墓の北側に位置する。遺構名を胞衣容器としたが、容器は出土しなかった。土壙は円形を呈し、上面35.0×35.0cm・底面19.5×18.2cm・深さ22.4cmを測る。東側に幅31.8cm・深さ11.5cmの土壙があるが、別と考える。土壙地表には標石と考える花崗岩の平石（21.2×20.0cm・厚さ4.5cm）が水平な状態で出土した。本土壙は胞衣埋納土壙と考える。

第１３号胞衣容器（第113・134図、図版115－①②）

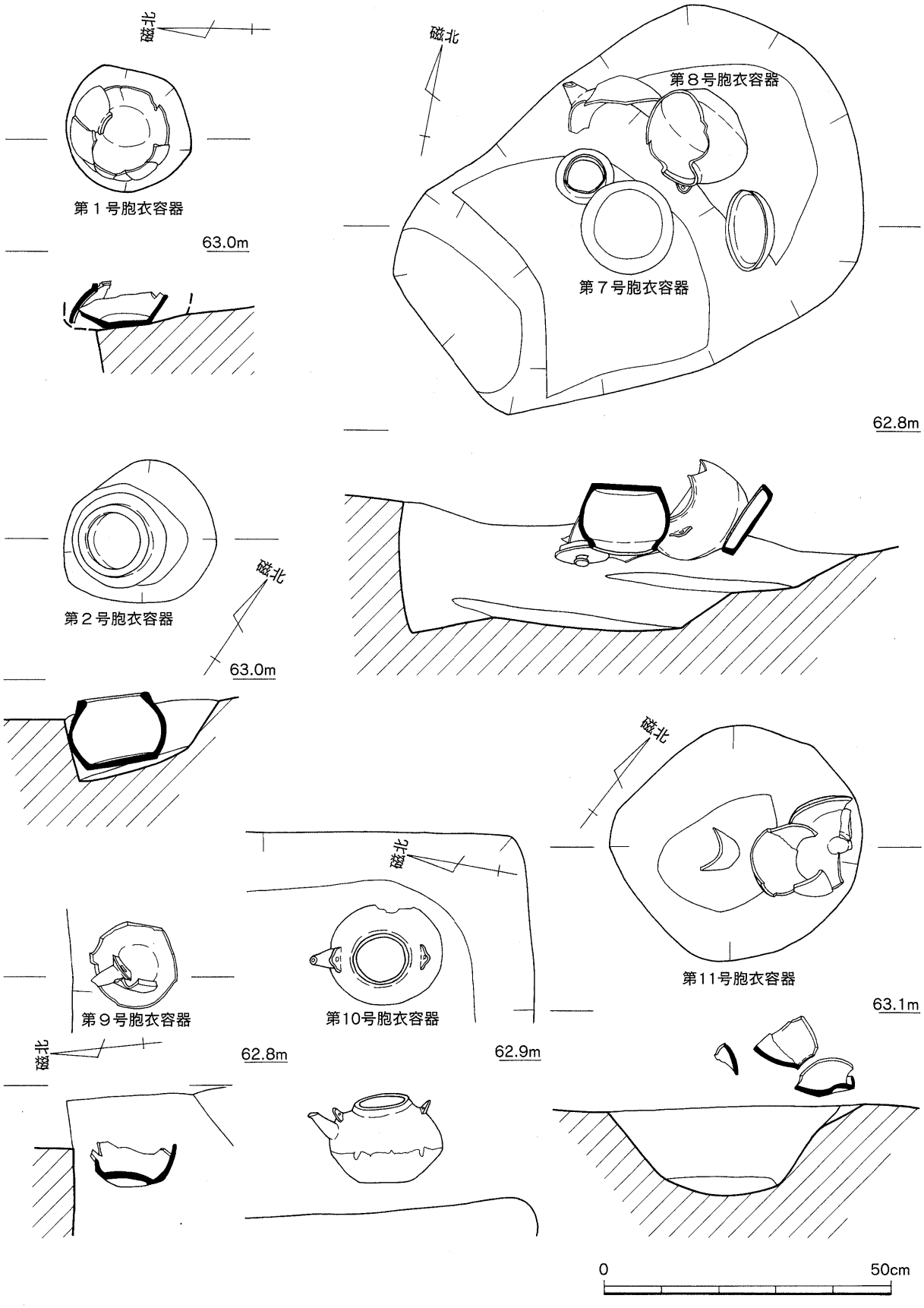
墓域の中央、第３９号墓の西側に位置する。遺構名を胞衣容器としたが、容器は出土しなかった。土壙は楕円形を呈し、上面55.8×35.8cm・底面31.6×16.8cm・深さ18.0cmを測る。底面南側には25.5×19.6cm・深さ6.5～11.5cmを測る略楕円形の穴がある。土壙内には花崗岩（37.0×21.3cm・厚さ15.0cm）が立った状態で出土した。本土壙は胞衣埋納土壙と考える。

第１４号胞衣容器（第113・134図、図版115－③④）

墓域の中央南寄り、第７６号墓に位置する。第７６号墓の墓壙内南東角と重複し、第７６号墓より新しい。土壙は楕円形を呈し、上面31.2×25.0cm・底面23.2×17.0cm・深さ18.0cmを測る。容器は胴径18.7cmの陶器土瓶であり、潰れて斜位に出土した。標石と考える花崗岩の平石（18.0×16.0cm・厚さ５～9.5cm）が容器と同じく斜位に重なって出土した。土壙内に37.0×21.3cm・厚さ15.0cmを測る花崗岩が立った状態で出土した。

第１５号胞衣容器（第113・120・134図、図版115－⑤）

墓域の南東側、第１９号墓に接して位置する。第１９号墓の墓壙内東辺中央で重複し、第１９号

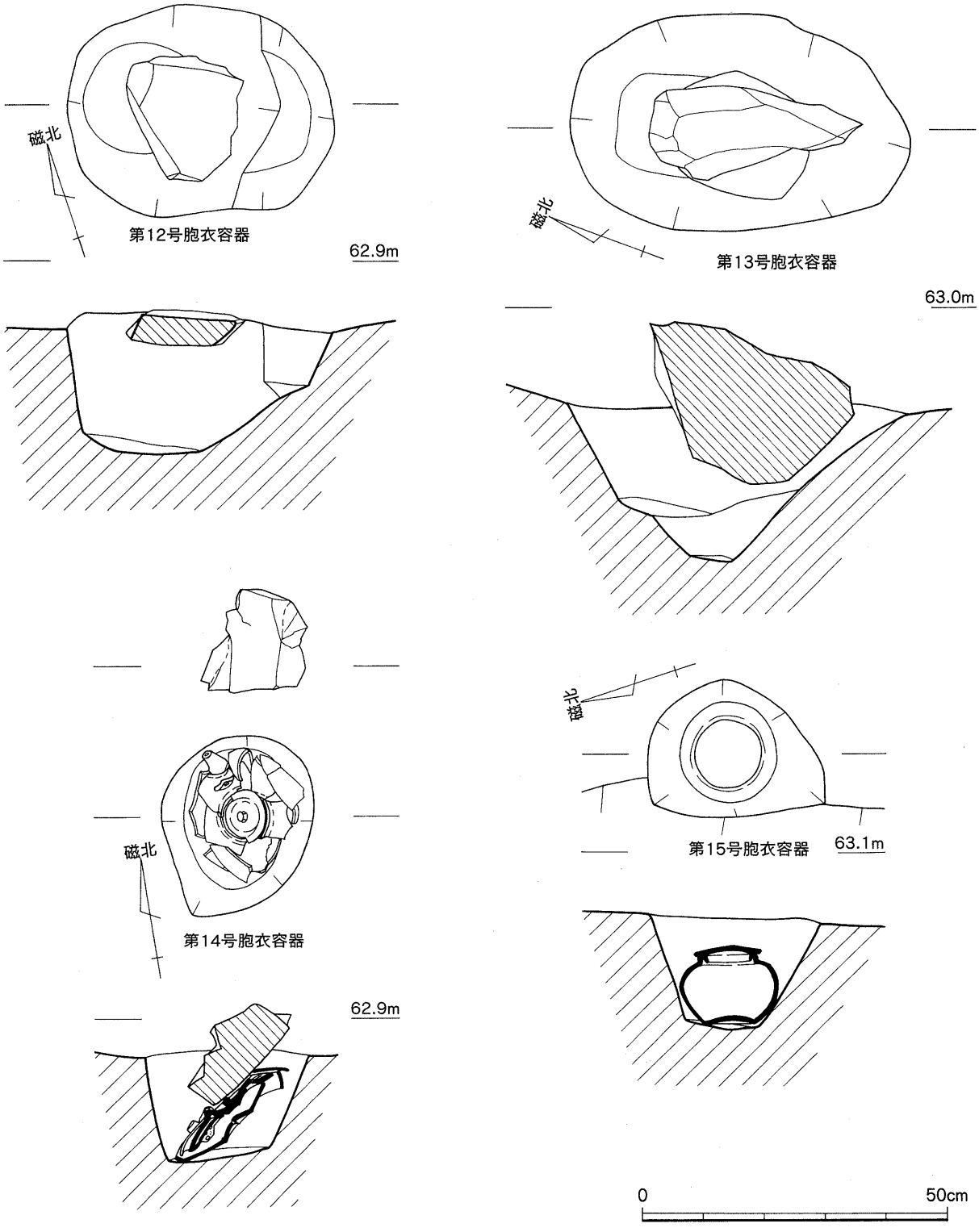


第133図　原田第41号墓地　第１・２・７～11号胞衣容器出土状態実測図（S=1/10）

墓より新しい。土壙は略円形を呈し、上面29.0×23.0cm以上・底面15.0×11.0cm・深さ18.3cmを測る。容器は胴径15.6cmの蓋付の素焼きの短頸壷であり、土壙底面に納められていた。

第１・２号蔵骨器（第113・128・135図、図版116－①～④）

墓域の南端中央、第６５号墓の南東側に位置する。北西側で第６５号墓と重複し、第６５号墓よ



第134図　原田第41号墓地　第12～15号胞衣容器(12･13号は容器無し)出土状態実測図（S=1/10）

り新しい。土壙は長方形を呈し、上面70.0×47.0cm以上・底面61.0×43.0cm・深さ37.0cmを測る。土壙には2個の蔵骨器が納められている。北側の第１号蔵骨器は胴径32.0cmの陶器甕と考えられ、上位が欠損している。南側の第２号蔵骨器は胴径31.4cmを測る蓋付きの素焼きの短頸壷である。両蔵骨器とも火葬骨・炭が充満していた。

第３号蔵骨器（第113・128・135図、図版116－⑤⑥）

墓域の北西側、第５５号墓に位置する。第５５号墓の墓壙内南角の上位に出土した。埋納土壙は確認できなかった。容器はプラスチック製の長方形の箱であり、縦19.1cm・横13.7cm・深さ14.0cmを測る。中には火葬骨・炭が充満していた。小口の一面に墓碑銘を記したプレートが貼付されており、

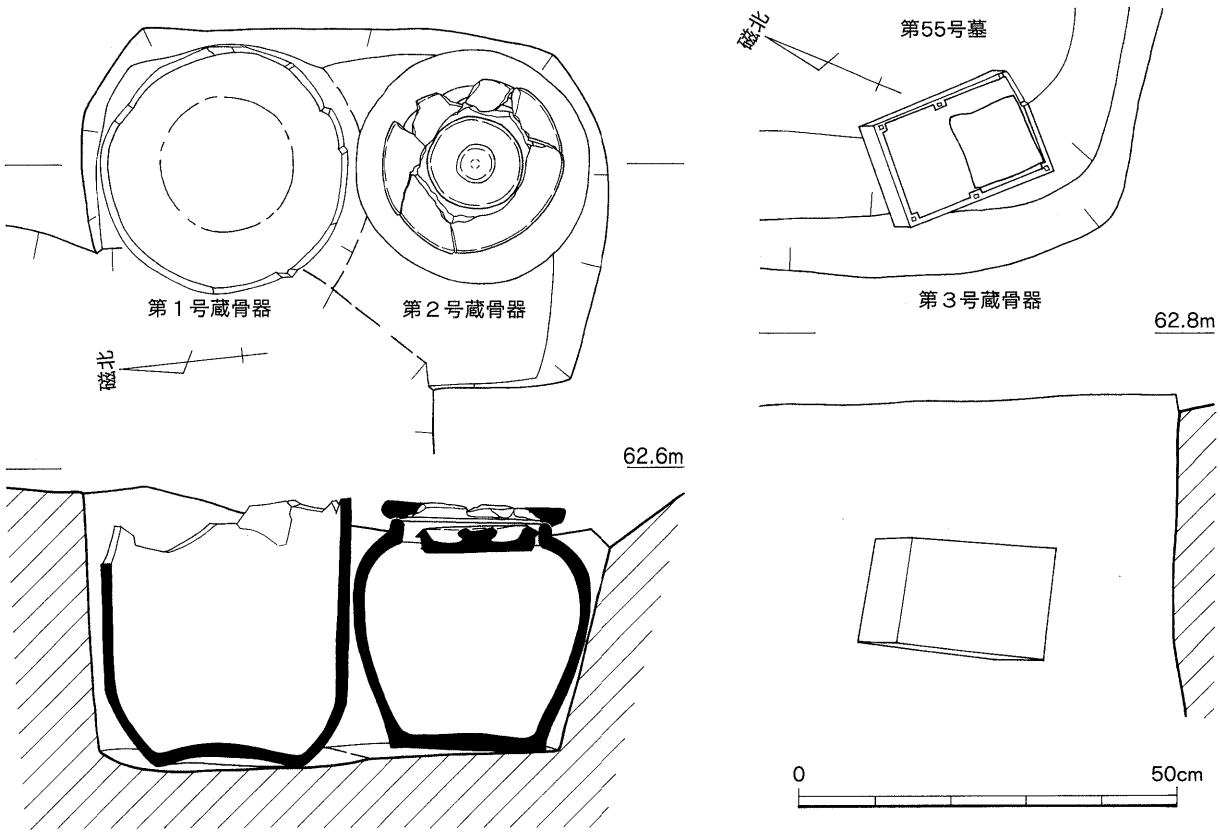
YUKIO　YAMAUCHI
１８９６－－－１９４６　　とある。

第１号焼土壙（第113・136図）

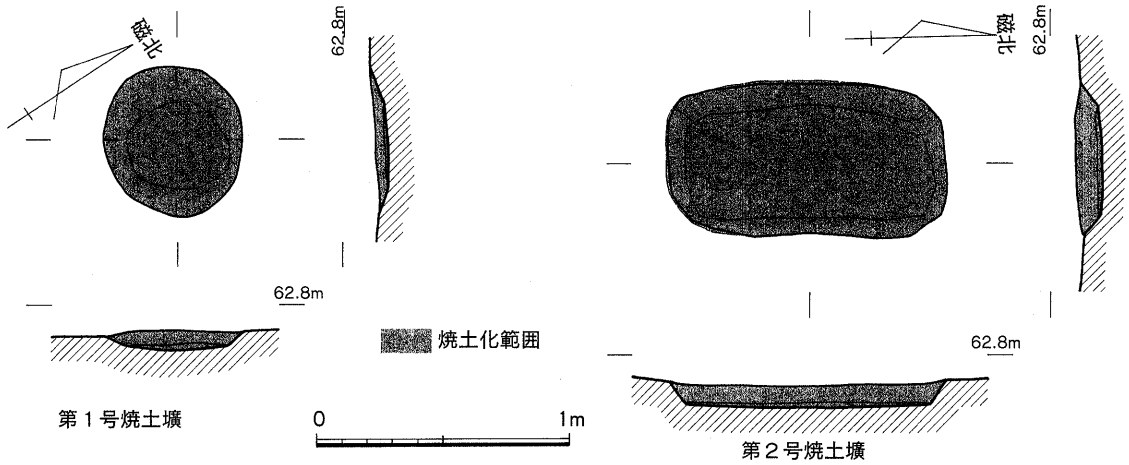
墓域の最南西端に位置する。土壙は円形を呈し、上面60.0×55.0cm以上・底面40.0×34.0cm・深さ8.0cmを測る。内面は熱を受けており、全面赤色硬化（焼土化）している。

第２号焼土壙（第113・136図）

墓域の南西端、第１号焼土壙の北側に位置する。土壙は隅丸の長方形を呈し、上面109.0×58.0cm以上・底面97.0×44.0cm・深さ11.0cmを測る。内面は熱を受けており、全面焼土化している。



第135図　原田第41号墓地　第１～３号蔵骨器出土状態実測図（S=1/10）



第136図　原田第41号墓地　第１・２号焼土壙実測図（S＝1/30）

４.『墓籍地図』・『墓籍』の調査（第137・138図、第７表）

『墓籍地図』・『墓籍』のうち、原田第４１号墓地の標記には

第４１号
所 在 地　筑前国御笠郡原田村2628番地　字岩ノ狩倉
面　　積　２畝９歩
持　　主　原田村共有総代　山内伊七郎
　　山内孫九郎
　　山内喜三　とあり、

本墓地は、個人所有ではなく、原田村の共同墓地である。

『墓籍地図』（137図）は横位の図であり、手前に西を表記している。８辺の枠で囲んだ墓域であり、原図では南北33.0cm、東西26.0cmを測る。墓標および墓標番号はすべて西向きであり、標記文字と同じ向きに表記されている。図示された墓標は墓標番号１～７５の７５基で、墓標の種類は木標４４基、石標３１基である。

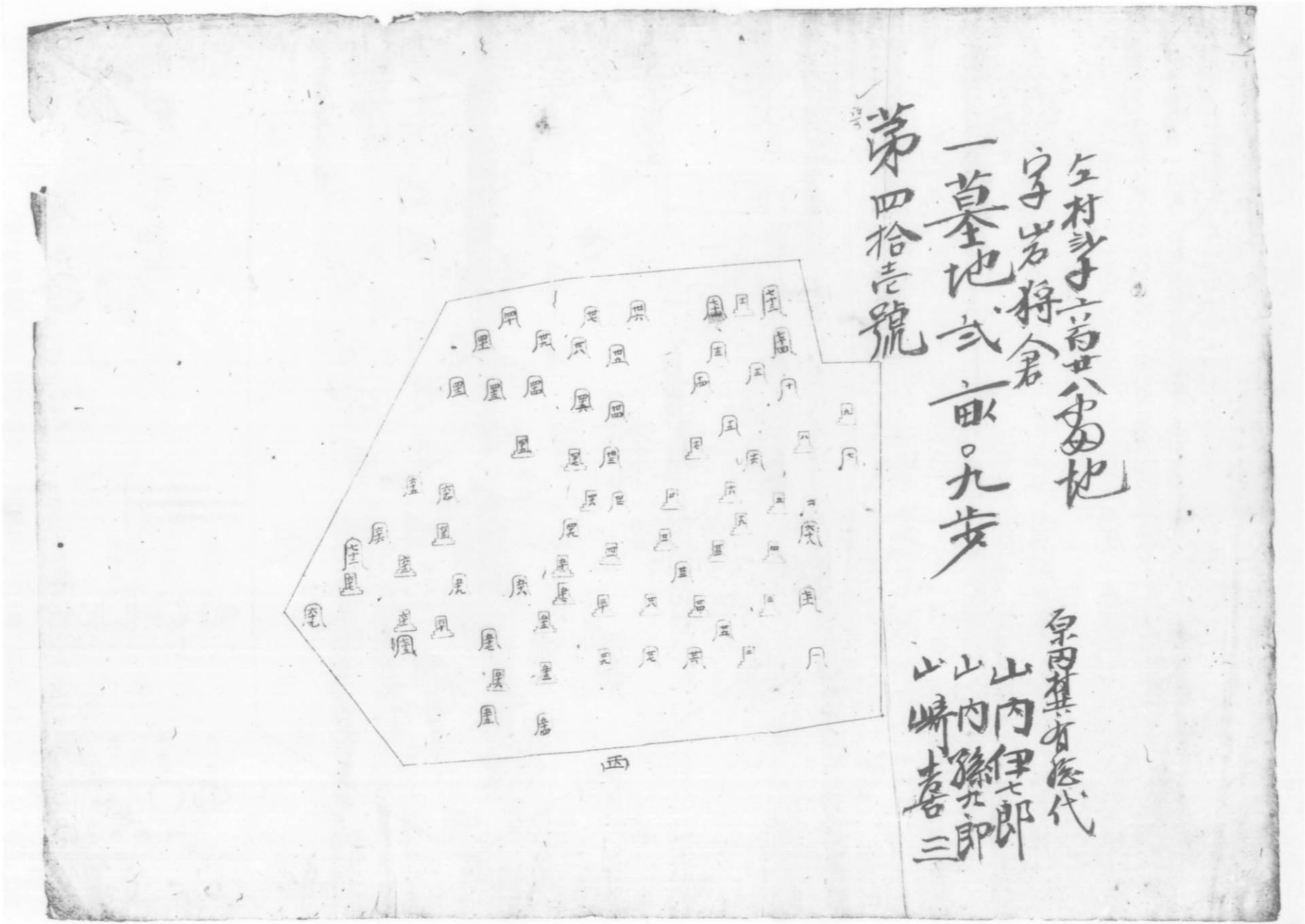
『墓籍』には１～８４の墓標番号が付されている。このうち、６６番は『墓籍地図』には図示されているが、『墓籍』には記載が無く欠番である。また、７０番は一度記載した墓籍を抹消し、後に改めて別人の墓籍を７０番（枝番２？）として次の欄に記載している。実質８３基の墓標の種類は、木標５４基、石標２９基である。

１～６７番（６６番は欠番）の６６基は作成時の記載で死亡年月日は順不同であり、木標３７基、石標２９基である。残り６８～８４番の１７基は順次追記のもので、すべて木標である。

死者姓名の表現から５組の夫婦、１組の親子、１組の祖母孫関係が把握できる。

作成時判読できなかったものもあり、死亡年月日不詳のもの１５基と死者姓名不詳のもの１４基がある。

墓地の祭主としては、本墓地は村の共同墓地であるが、村持は１基も無い。『墓籍』には１６名の祭主者が記載されており、性別では山内姓１０名、平山・松口・山崎・永川・岡藤・鶴田姓が各１名である。



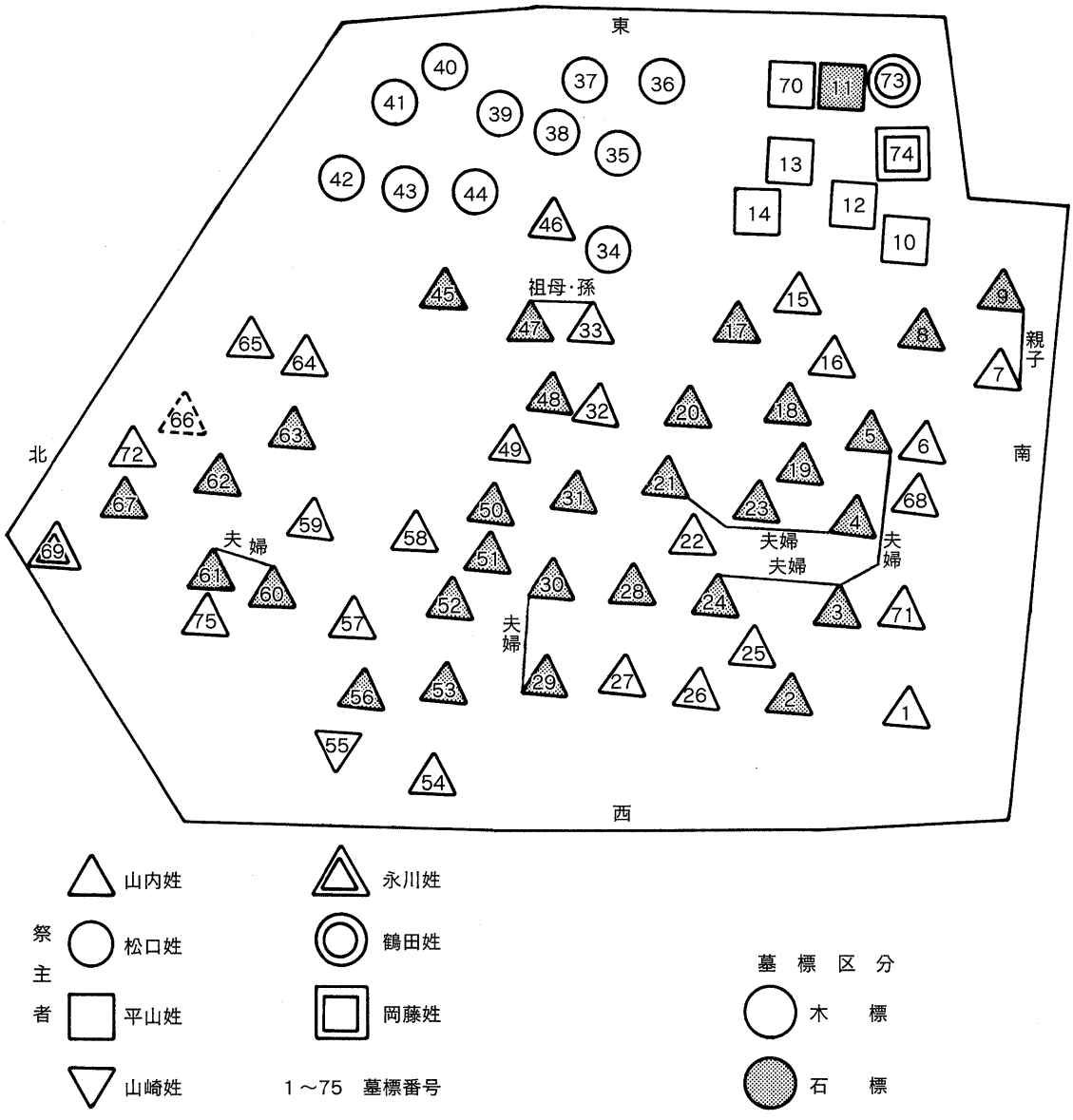
第137図　原田第41号墓地　『墓籍地図』（原図のS=1/3）

『墓籍』に記載された内容を整理し、死亡年月日の古い順に並べたものが第７表である。

天正12（1584）年７月13日死亡の山内半右エ門（墓標番号２０）から大正８（1919）年２月18日死亡の山内正幸までの８３名の墓籍である。最も古いとした墓標番号２０の石標は、現地調査において第１７号墓石（第98図）として確認できたが、石標の地下には墓壙は検出できなかった(第96図)。また、本墓石の形態および墓碑銘も他の墓石とは異なり、銘の年号も他より著しく古いものである。これらのことから、第１７号墓石は通常の土葬墓に伴う石標とは性格が異なるものと考える。

『墓籍地図』の墓標を祭主者の姓別に区分した図が第138図である。

これを概観すると、姓別（家）ごとで祭主する墓にまとまりがあることがわかる。図示された７５基のうち、山内姓祭主墓は最も多い５４基を数え、墓域の西側半分以上を占めている。次に多い松口姓祭主墓は墓域の北東側にまとまって、１１基を数える。平山姓祭主墓は墓域の南東側にまとまって、６基を数える。他の祭主者は１基づつである。



第138図　原田第41号墓地　『墓籍地図』祭主別墓標分布図

第７表　原田第41号墓地　『墓籍』記載内容一覧表

	西暦	死亡年月日	被葬者氏名・関係		備考		祭主	坪数	墓標	墓石	墓壙
江戸以前	1584	天正12. 7.13	山内半右エ門		天正12歳7.23　隼人		山内善九郎	4尺4方	20 (石)	17	
江戸中期	1777	安永 6. 4. 5	松口善五郎				松口磯吉	2尺4方	34 (木)		
	1787	天明 7. 3. 2	松口スキ				同人	2尺4方	39 (木)		
江戸後期	1805	文化 2.10.19	山内ツカ				山内善九郎	2尺4方	23 (石)		
	1807	4. 9. 6	山内善四郎妻		1806文化3.9.6		山内大助	2尺4方	48 (石)	31	
	1816	13. 8.12	山内久次妻				山内善九郎	2尺4方	21 (石)	38	
		13.10.20	平山卯一	夫婦			平山兵蔵	2尺4方	14 (木)		
	1825	文政 8. 3.12	山内十平				山内太助	2尺4方	31 (石)	19	
	1826	9. 3. 2	山内久次		文政9.1.2　久治	夫婦	山内善九郎	2尺4方	4 (石)	不19	
		9. 4. 5			岩吉		同人	2尺4方	18 (石)	不1	
	1829	12.12.20	山内十平次妻		文政12.2.10？　十平~~次~~妻		山内大助	2尺4方	52 (石)	30	
	1832	天保 3. 7.16	山内又六妻				山内善九郎	2尺4方	5 (石)	7	
	1833	4. 8.14	山内善七	夫婦	天保4.8.17		同人	2尺4方	28 (石)	不18	
		4.10.19	山内キク		天保4.10.15　又右エ門女子　キヌ		同人	2尺4方	17 (石)	不11	
	1835	6. 8.19	山内又六妻	夫婦	山内又六女房		同人	2尺4方	24 (石)	不16	
	1836	7. 3.24	山内又六				同人	2尺4方	3 (石)	不17	
		7. 7.26	山内弥平妻				山内弥七郎	2尺4方	45 (石)	28	49
		17. 4. 7	松口善七		天保17年はない		松口磯吉	2尺4方	42 (木)		
	1846	弘化 3.10. 8			弘化3.7.8　治平母		山内弥吉	2尺4方	62 (石)	不6	
	1851	嘉永 4. 1. 6	山内弥太郎				同人	2尺4方	63 (石)		
	1852	5. 1. 5	山内利作				山内善次郎	2尺4方	59 (木)		
	1854	7. 4. 7	松口イ子				松口磯吉	2尺4方	35 (木)		
		7. 6.27	山内ツル				山内弥七郎	2尺4方	46 (木)		
	1855	安政 2. 8.19	山内助七妻				山内チイ	2尺4方	8 (石)	不8	
	1856	3. 4.11	松口久五				松口磯吉	2尺4方	44 (木)		
		3.12. 7	山内又右エ門		1855安政2.12.7		山内善九郎	3尺4方	2 (石)	3	3
	1857	4. 2.12	平山マツ				平山兵蔵	2尺4方	13 (木)		
	1863	10. 6. 4	山内善吉		1859安政6年羊6月7日　釋善吉墓		山内弥吉	3尺4方	67 (石)	不12	
	1860	万延 1. 9.19	山内又作女子		万延1.9.29　志き		山内善九郎	2尺4方	19 (石)	不5	
	1863	文久 3. 3.14	山内ハナ				同人	2尺4方	27 (木)		
		3. 7.29	山内幸次郎後妻		文久3.10.29　山内幸治郎後妻	親子	山内弥吉	2尺4方	61 (石)	65	
		3.12.26	松口トリ				松口磯吉	2尺4方	38 (木)		
明治	1870	明治 3.12.17	平山善市				平山兵蔵	2尺4方	10 (木)	64	
	1871	4.10.27	山内芳平		明治4.10.26		山内大助	2尺4方	53 (石)	24	
	1873	6. 1. 9	山内又作	夫婦			山内善九郎	2尺4方	1 (木)		
		6.10.17	山内茂市妻		明治6.10.27		山内太助	2尺4方	29 (石)	21	
	1874	7. 8.15	山内キン	夫婦	明治7.7.12　山内きん	夫婦	山内チイ	2尺4方	15 (木)	62	
	1877	10. 2.20	平山安太郎				平山兵蔵	2尺4方	11 (石)	9	
		10. 4. 8	山内久太郎				山内善九郎	2尺4方	6 (木)		
	1878	11. 1.29	山内茂市				山内太助	2尺4方	30 (石)	20	
		11. 7.28	山内又三郎祖母		山内カメ		山内弥七郎	2尺4方	47 (石)	27	44
	1881	14. 9. 2	山内キク		芳平妻キク		山内大助	2尺4方	54 (木)	23	
		14.10.18	山崎夕子		大助妻なみ		山崎茂一郎	2尺4方	55 (木)	33	
	1882	15. 3. 2	平山ヲソ	祖母・孫			平山兵蔵	2尺4方	12 (木)		
		15.10. 4	山内幸次郎				山内弥吉	3尺4方	60 (石)	不13	
	1883	16. 1. 9	山内久良				山内善九郎	2尺4方	26 (木)		
	1884	17.12.18	山内清一郎				山内大助	2尺4方	49 (木)		
	1885	18. 1.18	松口ハル				松口磯吉	2尺4方	43 (木)		
		18. 1.30	山内ミ子ヲ				山内善九郎	2尺4方	25 (木)		
	1886	19.11. 3	山内又三郎				山内弥七郎	2尺4方	33 (木)	不2	
	1888	21. 4.10	松口卯七				松口磯吉	2尺4方	36 (木)		
	1895	28. 4.13	山内岩吉		明治28.3.20		山内善次郎	3尺4方	68 (木)	不3	
		28.10.22	永川ハツ				永川定平	3尺4方	69 (木)		
	1896	29. 8. 8	岡藤才蔵				平山兵蔵	3尺4方	70 (木)		
	1897	30. 7.13	山内コマ				山内善九郎	3尺4方	71 (木)		
	1899	32.11. 8	山内十平				山内初次郎	3尺4方	72 (木)		
		32.11.13	岡藤兵吉		明治32.10.11　平山兵吉		岡藤ハル	3尺4方	73 (木)	8	
	1900	33. 3.24	岡藤ヒサ		明治33.2.24　平山ヒサ女		鶴田常治郎	3尺4方	74 (木)	不10	
	1903	36. 9. 7	山内弥吉		明治36.7.16		山内幸次郎	3尺4方	75 (木)	不15	
	1911	44. 5.17	山内シカノ				山内善九郎	3尺4方	76 (木)		
		44. 5.23	山内コマ				同人	3尺4方	77 (木)	不14?	
大正	1913	大正 2. 4.26	山内信男		山内末次郎長男信男		同人	3尺4方	78 (木)	不9	
	1914	3. 3.21	山内ムラ				同人	3尺4方	79 (木)		
	1915	4. 5.26	山内八重子				同人	3尺4方	80 (木)		
	1917	6. 3. 8	山内イセ				山内幾次郎	3尺4方	81 (木)	43	
		6. 9.27	山内善九郎				山内末次郎	3尺4方	82 (木)		
	1918	7.11. 3	山内善次				同人	3尺4方	83 (木)		
	1919	8. 2.18	山内正幸				山内幾次郎	3尺4方	84 (木)	不4	
		不詳	山内又七	親子	1885明治18年酉8月11日		山内チイ	2尺4方	7 (木)	63	
		〃	山内又七女子				同人	2尺4方	9 (石)		
		不明	不詳				山内善九郎	2尺4方	16 (木)		
		不詳	〃				同人	2尺4方	22 (木)		
		不明	〃				山内太助	2尺4方	32 (木)		
		不詳	松口林平				松口磯吉	2尺4方	37 (木)		
		〃	不詳				同人	2尺4方	40 (木)		
		〃	〃				同人	2尺4方	41 (木)		
		不明	〃				山内大助	2尺4方	50 (木)		
		〃	〃				同人	2尺4方	51 (木)		
		不詳	〃				同人	2尺4方	56 (石)		
		〃	〃				同人	2尺4方	57 (木)		
		〃	〃				同人	2尺4方	58 (木)		
		不明	〃				山内弥吉	2尺4方	64 (木)		
		〃	〃				同人	2尺4方	65 (木)		
					1856安政3.4.29　山内たみ					不7	
					1868慶応4.12.27　山内又作母					61	
					1896明治29.6.29　平山才吉					40	
					1896明治29.10.27　草野作八					5	
					1899明治32.11.8　山内半次郎					47	
					1918大正7.1.6　山内信子　幸次郎妻					45	
					年四才女					26	
					年六才女					32	
					筑紫官・筑紫氏系の家紋					34	51
					法号釈道了　山内又七□					41	
										6	10
										11	

鶴田・岡藤姓の祭主墓の位置は平山姓の祭主墓のまとまりに近い。『墓籍』には、1896年死亡の岡藤才蔵の祭主者は平山兵蔵とある。また、1900年死亡の岡藤ヒサの祭主者は鶴田常次郎とある。この墓の位置と『墓籍』の記載内容から、鶴田・岡藤姓祭主墓は平山姓の系統に属すると考える。このことは、墓石の調査でも岡藤兵吉と岡藤ヒサの墓石の墓碑銘には「平山」姓で銘記されていることからも肯ける。

山崎・永川姓祭主墓は、その位置から山内姓の系統に属すると考えるが、『墓籍』の記載内容に根拠無く、断定できない。

５．まとめ（第96・139図、第７・８・10・11表）

以上の第４１号墓地の調査内容を踏まえて、本墓地について気づいたことを記述する。

① 墓碑銘を有する墓石４７基を調査した。うち４０基が自然石であり、７基が切石である。自然石のうち２基は変成岩であり、他は花崗岩である。

② 自然石の墓石の墓碑銘は、一段彫り窪めたもの２９基と、そうでないもの１１基があり、前者が多い。

③ 切石の墓碑面と形態を対比してみると、墓碑銘を一段彫り窪めた墓石の頂部形態は様々であるが、堀窪めない墓石の頂部は方錐形を呈するものだけである。

④ 切石の墓石で最も古いものは、明治１５(1882)年銘のものである。

⑤ 戒名と本名については、江戸期は戒名で、明治・大正期は本名を正面に記したものが大半である。ただ、江戸期のもので、３文字の戒名を上位に三角形に配し、その下中央に本名あるいは続柄を記したものが２基ある。

⑥ 正面に本名を記した最も古い墓石は安政３(1856)年銘の自然石のもので、戒名を記した最も新しい墓石は明治１１(1878)年銘の自然石である。

⑦ ９７基の遺構を検出・調査した。その内訳は、土葬墓７５基・胞衣容器１１基・小土壙４基・蔵骨器・焼土壙２基・改葬壙２基である。

⑧ 土葬墓の墓壙形態は、正方形７４基・長方形１基である。唯一の長方形墓壙も小規模のものであり、改葬によって調査できなかった墓壙を考慮したとしても、本墓地の墓壙の主体は座棺用の正方形である。

⑨ 正方形墓壙の棺形態の内訳は、正方形縦棺２９基・甕棺２４基・桶棺１１基・不明１０基である。

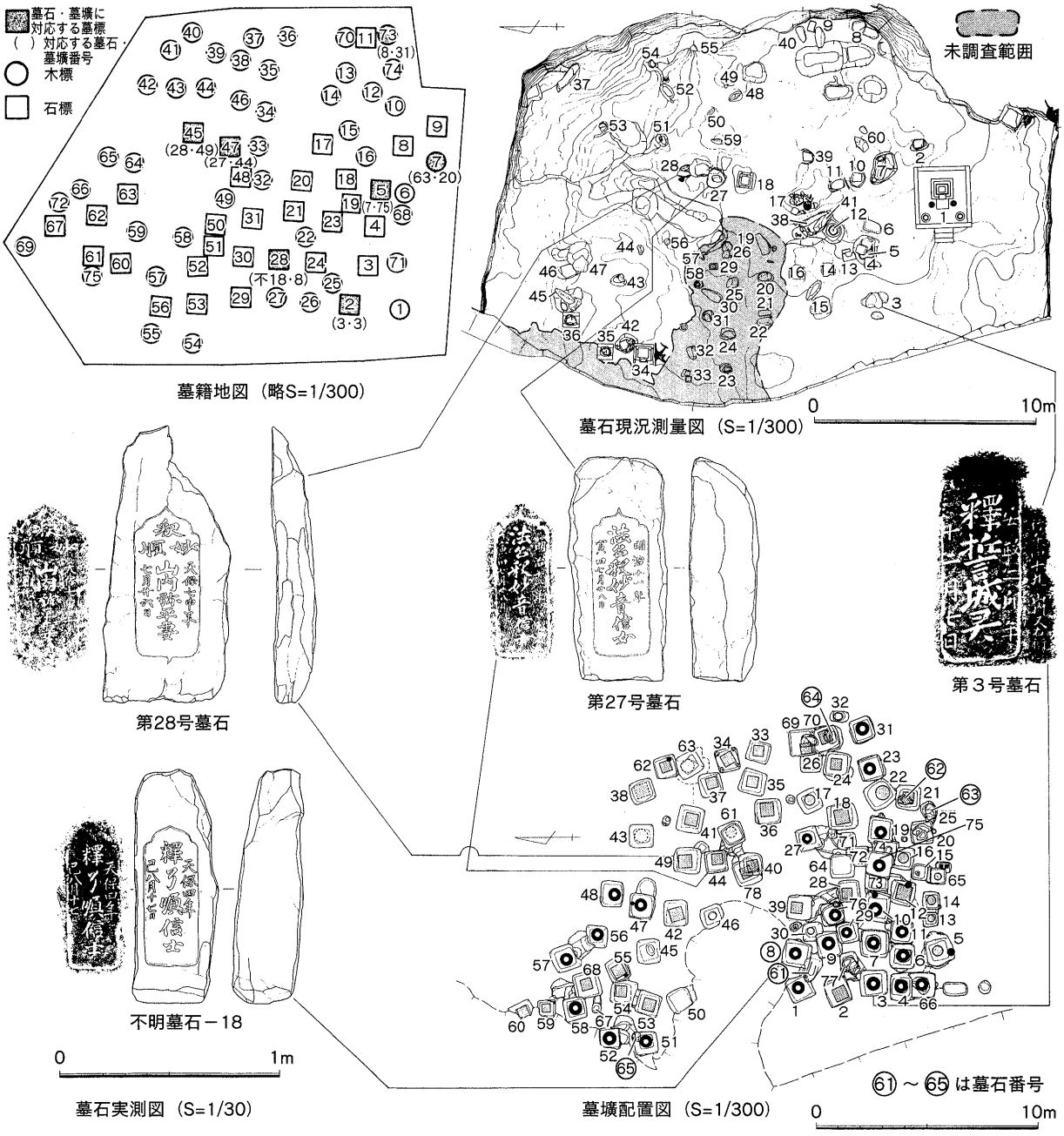
⑩ 棺形態の配置（第113図）と祭主別墓標分布（第138図）を対比してみる（第139図）と、大半の甕棺の配置は山内姓祭主の墓標分布内であり、墓域の北東側一画を占める松口姓祭主の墓標分布内には甕棺は無い。

⑪ 本墓地の使用開始時期については、調査した墓石および『墓籍』とも、天正12(1584)年銘の第１７号墓石が最も古い。しかし、この年号は、2番目に古い墓石とは222年、『墓籍』で2番目に古い墓標とは193年の開きがあり、著しく古い。また、本墓石の地下には墓壙は無く、本墓石が本墓地の開始時期を示すものとは考えにくい。『墓籍』の2番目に古い年号から、本墓地の開始時期は18世紀第４四半期頃と考える。

⑫　調査した墓碑銘のある墓石は４７基で、４箇所の墓地の中で最も多かったが、事業以前の改葬と調査時の不手際で、墓壙と対比させられる墓石は少なかった。

⑬　原位置が確実な墓石（基壇・基礎石を除く）３基（第３・27・28号墓石）と、ほぼ確実な墓石5基（第７・８・41・45・63号墓石）の計８基が、地下の墓壙と結びついた(第8表)。また、不明墓石でありながら、甕棺蓋石の墨書銘から墓壙と結びついた墓石1基（不明墓石－１８）もあった。

⑭　対比できる資料が少なく断定すべきではないが、⑩の祭主別墓標と棺形態との対比を考慮すると、本墓地の土葬墓は当初から座棺であり、その棺形態は桶棺と正方形縦棺とが併用され、天保期頃に甕棺も加わり併用されて来たと考える。



第139図　原田第41号墓地　墓石・墓壙・『墓籍地図』対比図

第８表　原田第41号墓地　墓石・墓壙・『墓籍』対比表

（○番号は推定）

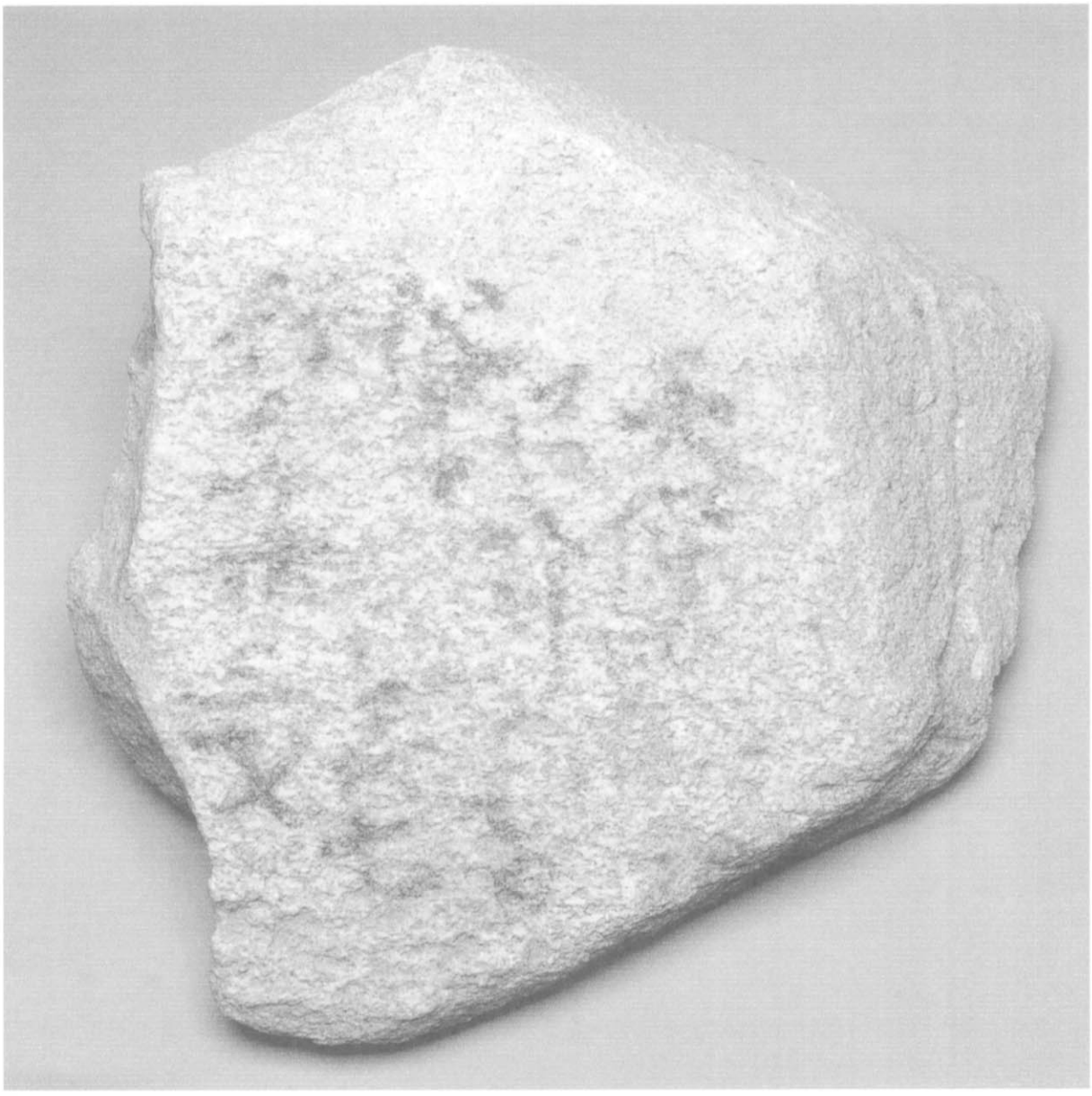
墓石			墓壙				『墓籍』	
番号	死亡年月日	戒名	番号	墓壙	棺	人骨	番号	死者姓名
17	天正12．7.23	山内半右衛門尉 辻根元 同名隼人					20	山内半右エ門
31	文化 3．9．6	釋妙願信女					48	山内善四郎妻
38	文化13．8.12	法名釋尼妙障信女					21	山内久次妻
19	文政 8．3.12	釋源乗					31	山内十平
不19	文政 9．1．2	釈正音信士					4	山内久次(治)
不1	文政 9．4．5	釈幻如童子					18	不詳(岩吉)
30	文政12．2.10	釋妙誓					52	山内十平次妻(十平妻)
7	天保 3．7.16	釋妙諦信女	㉕	方形	甕棺	○	5	山内又六妻
不18	天保 4．8.17	釋了順信士	8	方形	甕棺	○	28	山内善七
不11	天保 4.10.15	釋連梦童女					17	山内キク(ヌ？)
不16	天保 6．8.19	釈妙喜信女					24	山内又六妻
不17	天保 7．3.24	釈僧忍信士					3	山内又六
28	天保 7．7.26	妙 釈　山内弥平妻 順	49	方形	正方形縦棺	○	45	山内弥平妻
不6	弘化 3．7．8	釈妙善灵					62	不詳
不8	安政 2．8.19	釈妙空灵					8	山内助七妻
3	安政 2.12．7	釋誓城灵	3	方形	甕棺	○	2	山内又右エ門
不7	安政 3．4.29	山内たみ墓						
不12	安政 6．6．7	釈善吉墓					67	山内善吉
不5	萬延 1．9.29	釋妙円					19	山内又作女子(志き)
65	文久 3.10.29	妙 釈　幸治郎後妻 順	㊶ ㊷	方形 方形	甕棺 甕棺	○ ○	61	山内幸次(治)郎後妻
61	慶應 4.12.27	法名釋妙念信女	①-⑨	方形	甕棺	◎		
64	明治 3.12.17	平山善市墓	㊾-㊿	方形	正方形縦棺	◎	⑩	平山善市
24	明治 4.10.26	法名釈善浄					53	山内芳平
21	明治 6.10.27	法名釈妙善					29	山内茂市妻
62	明治 7．7.12	山内きん墓	㉑-㉒	方形	正方形縦棺・桶棺	◎	⑮	山内キン
9	明治10．2.20	釋誓城信士	㊾-㊿	方形	正方形縦棺	◎	11	平山安太郎
20	明治11．1.29	釈朵翁壽山信士					30	山内茂市
27	明治11．7.28	法名釈妙音信女	44	方形	正方形縦棺	○	47	山内又三郎祖母(山内カメ)
23	明治14．9．2	法名釈妙戒信女					㊹	山内キク
33	明治14.10.18	法名釈妙光信女					㊺	山崎夕子(大助妻なみ)
不13	明治15.10．4	山内幸次郎墓					㊿	山内幸次郎
63	明治18．8.11	山内又七墓	⑳	方形	正方形縦棺？	○	⑦	山内又七
不2	明治19.11．3	山内又三郎之墓					㉝	山内又三郎
不3	明治28．3.20	山内岩吉墓					㊽	山内岩吉
40	明治29．6.29	平山才吉						
5	明治29.10.27	草野作八墓						
8	明治32.10.11	平山兵吉墓	㉛	方形	甕棺	○	㊸	岡藤兵吉
47	明治32.11．8	山内半次郎墓	㊻-㊼	方形	甕棺	◎		
不10	明治33．2.24	平山ヒサ女墓					㊹	岡藤ヒサ
不15	明治36．7.16	山内弥吉墓					㉕	山内弥吉
不9	大正 2．4.26	山内信男之墓					㉘	山内信男
43	大正 6．3．8	山内イセ之墓					㉛	山内イセ
45	大正 7．1．6	山内信子之墓	㊽	方形	正方形縦棺	○		(幸次郎妻)
不4	大正 8．2.18	山内正幸之墓					㉞	山内正幸
不14	(明治44.5.23)	山内コマ之墓					㊼	山内コマ
41		法号釈道了	㊶	方形	甕棺	○		
34	基壇	「丸に隅立四ツ目」家紋	51	方形	甕棺	○		
26		年四才女						
32		年六才女						
6	基礎石		10	方形	甕棺	○		
11								
29	石仏							

⑮　『墓籍』に記載された石標２９基に対し、調査で出土した墓碑銘ある墓石４７基のうち２４基を同一石標と認定できた。また、『墓籍』作成時木標であった墓標が後世に石標に変わったもの１５基が確認できた。

⑯　『墓籍』には記載されていない墓石が調査において１０基出土し、そのうち４基は『墓籍』作成の明治２２年より新しい年号の墓石である。

⑰　墓石から新たに２組の夫婦と１組の親子関係が確認できた（第７表）。

⑱　墓石の調査から、『墓籍』の記載内容に２２箇所の誤りが判明しており、第７表の備考欄で訂正している。



原田第41号墓地第８号墓出土墨書銘石

第Ⅴ章　遺構調査の総括

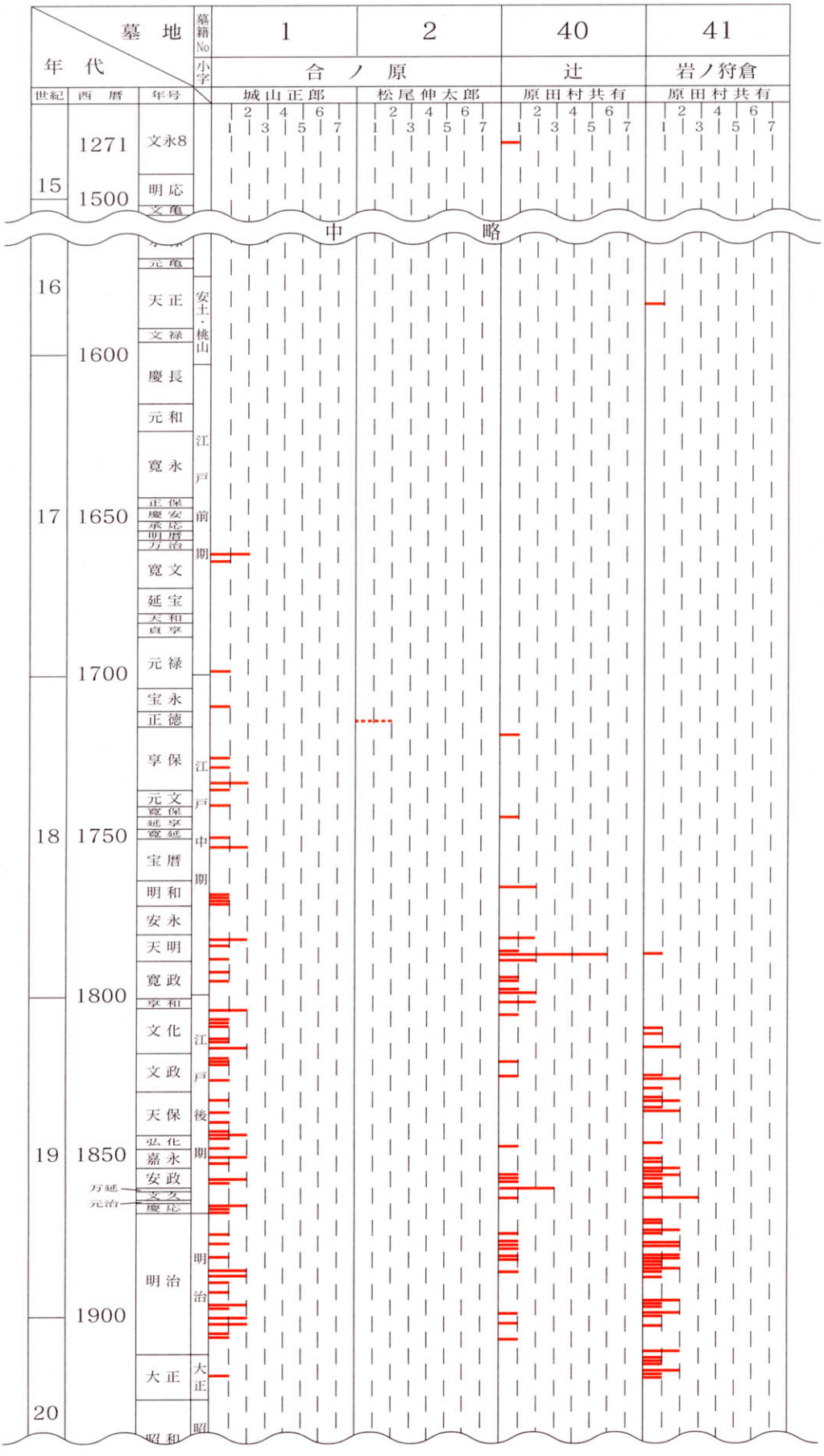
以上、墓地調査の概要を述べたが、4箇所の墓地調査で検出した遺構と人骨の数は第９表の通りであるが、先に公表した『筑紫野市史』（註１）に掲載した数値は誤りであり、本書の第９表をもって訂正する。

第９表　原田第１・２・40・41号墓地遺構内訳一覧表

墓壙	遺跡名（旧名） 棺形態・他	原田第１号墓地 (BH40)		原田第２号墓地 (BH42)		原田第40号墓地 (BH2615)		原田第41号墓地 (BH2628)		計
正方形	甕棺	51	12	3	1	62	3	74	24	40
	正方形縦棺		29		1		24		29	83
	桶棺		0		0		19		11	30
	不明		10		1		16		10	37
長方形	正方形縦棺	1	0	4	1	22	1	1	0	2
	長方形横棺(長)		0		0		1		0	1
	長方形横棺(短)		1		1		15		0	17
	不明		0		2		5		1	8
円形墓壙・棺不明		0		0		1		0		1
楕円形墓壙・棺不明		0		0		2		0		2
その他	壷棺	12	0	3	0	6	1	22	0	1
	小土壙		5		3		3		4	15
	胞衣容器		5		0		2		11	18
	蔵骨器		2		0		0		3	5
	焼土壙		0		0		0		2	2
	改葬壙		0		0		0		2	2
合計		64		10		93		97		264
人骨		42		6		48		61		157
有銘墓石		29		2		25		47		103

次に、第10表は『墓籍』の記載内容から4箇所の墓地の被葬者の推移状況を表したものであり、この表から各墓地の使用期間がおおよそ把握できる。

第10表　『墓籍』による原田第１・２・40・41号墓地被葬者数推移対比表



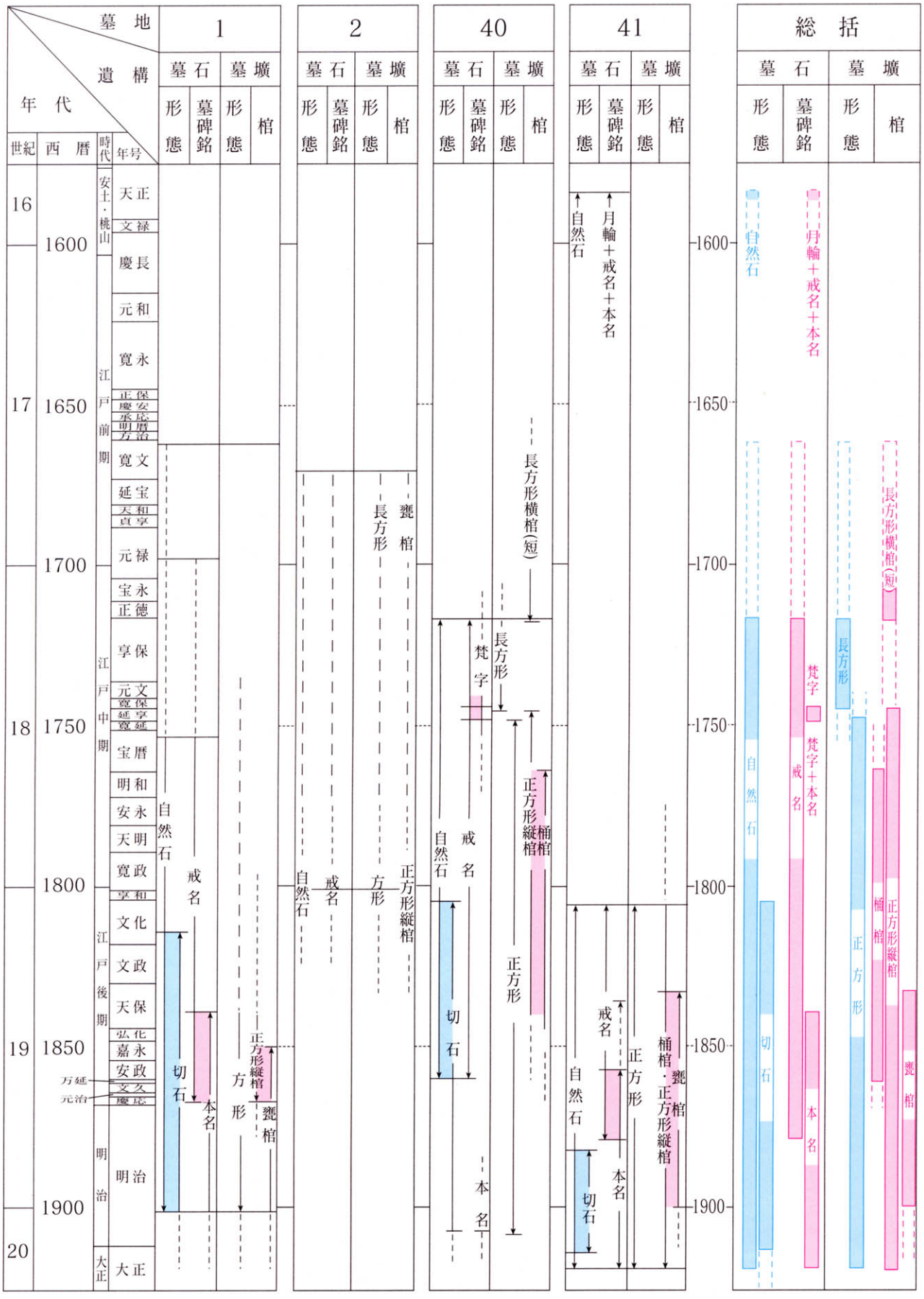
① 第2号墓地の使用期間を考えるには、本墓地の墓石・『墓籍』だけでは困難である。
② 第2号墓地を除いた3箇所の墓地の中では第1号墓地が最も古く、17世紀第3四半期頃から使用開始され、かつ長く使用されている。
③ 第４０・４１号墓地は同一丘陵に位置するが、先ず中腹に立地する第４０号墓地が18世紀第1四半期頃から使用され始め、18世紀第４四半期から本格的に使用されている。これに対し、頂部に立地する第４１号墓地は18世紀第４四半期に少し使用されているが、本格的には19世紀に入ってからである。(註２)
④ 第２号墓地は短期間の使用と考えるが、他の3箇所の墓地は18世紀後半から20世紀いっぱい共存している。

第Ⅳ章で述べた各墓地の調査内容―特に墓石と墓壙－についてのまとめを第10表に重ねたものが、第11表であり、4箇所を総括したものを右側に表示した。原田地区44箇所のうち4箇所だけの資料で、原田地区の墓地を語ることは危険であるが、墓石・墓壙についてのおおよその変化が把握できたので、最後に調査の総括として述べる。

⑤ 墓石は、花崗岩を主体とする自然石が古くから使用されており、19世紀に入ってから切石も使用され始め、以後併用されている。
⑥ 墓碑銘－特に戒名と本名－についてはおおよそ江戸期には戒名が、明治以降には本名が主体である。本名の使用は19世紀第２四半期頃から始まっているようである。
⑦ 墓碑面に梵字を記したものも18世紀中頃に僅かながら認められ、以後確認できない。
⑧ 墓石の形態と墓碑銘の関係については、「自然石には戒名、切石には本名」とは一概には言えない。
⑨ 墓壙の形態は、18世紀中頃に、短い長方形から正方形に変わる。
⑩ これに伴い、埋納される棺は、短い長方形横棺から座棺へと変わっている。この18世紀中頃は、埋葬形態が横位から縦位に変化する葬位の変革期と位置付けできる。
⑪ 座棺については、正方形縦棺と桶棺とは最初から併用されている感があるが、断定できない。
⑫ 甕棺の本格的な使用は、19世紀第２四半期頃と考える。
⑬ 第2号墓地の７基の土葬墓の墓壙・棺形態は、長方形（屈葬の寝棺）から正方形（座棺）への過渡的状況がみられ、第１１表の全体的な推移（総括）と対比させると、本墓地は18世紀第２四半期から第３四半期頃かと考える。
⑭ 最後に墓地の向きについては、建立された墓石の向きと人骨の埋葬状態から、かなり西を意識している。特に第40号墓地は丘陵東側斜面上に造成されており、見晴らしの良い開放された東側には背を向け、逆に壁状に高い西側に正面を向けていることでも窺える。

註１　森山栄一　「原田地区遺跡群の近世墓地」『筑紫野市史』資料編（上）考古資料編　2001.3
註２　註１の文献　463頁の内容が誤っており、本書で訂正する。

第11表　原田第１・２・40・41号墓地　墓石・墓壙推移対比表

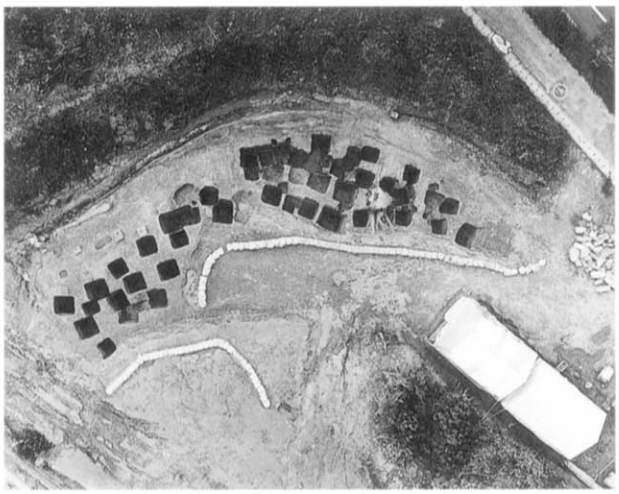


写　真　図　版

図版１　原田第１号墓地



① 墓石現況（真上から）



② 墓壙配置状況（真上から）



③ 墓石現況（南東から）



④ 墓壙配置状況（南東から）



⑤ 墓石現況（南西から）



⑥ 墓壙配置状況（南西から）

図版２　原田第１号墓地



①　墓石現況（南西から）



②　表土除去後の墓石出土状況（南西から）



③　表土除去後の墓石出土状況（北東から）



④　上段墓石出土状況（東から）

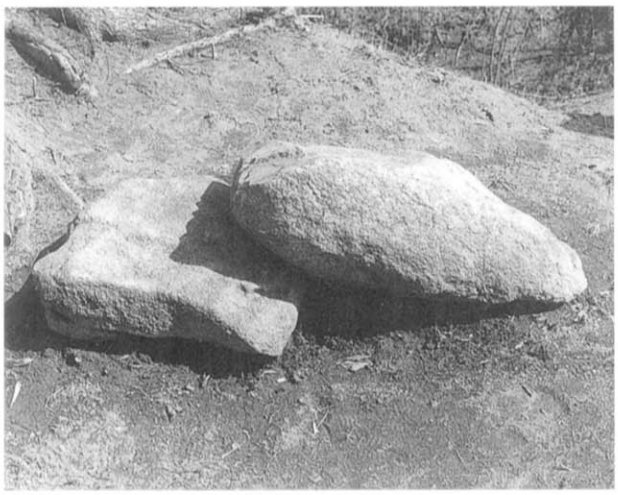


⑤　下段墓石出土状況（南東から）



⑥　下段墓石出土状況（南西から）

図版３　原田第１号墓地



①　第１号墓石（北西から）



②　第２号墓石（南西から）



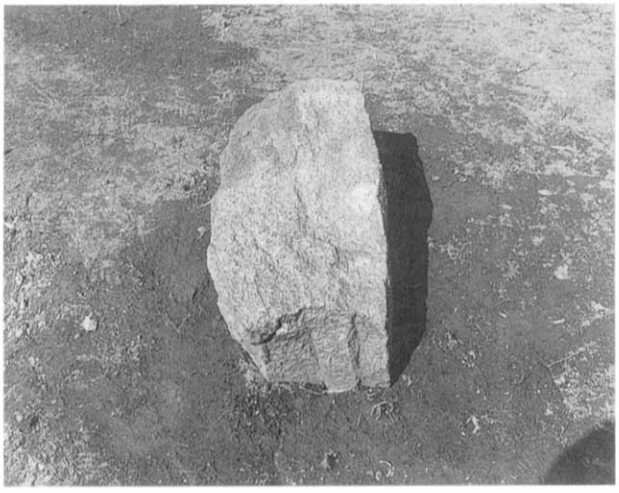
③　第３号墓石（北西から）



④　第３号墓石（南西から）



⑤　第３号墓石（南東から）



⑥　第４号墓石（南西から）

図版４　原田第１号墓地



①　第５号墓石（北西から）



②　第５号墓石（南西から）



③　第６号墓石（北西から）



④　第６号墓石（南西から）



⑤　第６号墓石（南東から）



⑥　第７号墓石（北西から）



⑦　第７号墓石（南西から）



⑧　第７号墓石（南東から）

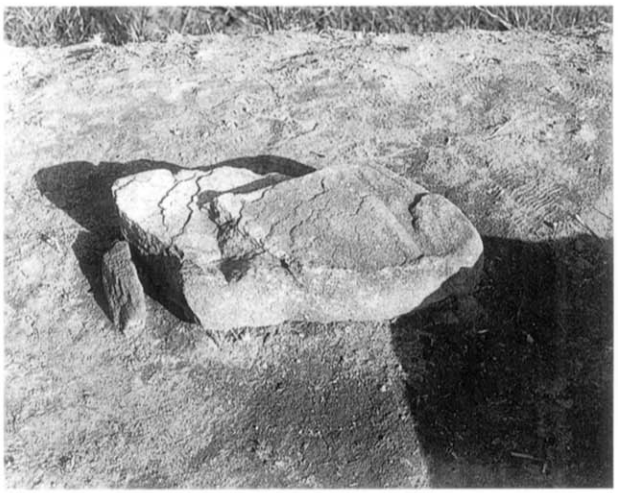
図版５　原田第１号墓地



①　第８号墓石（北西から）



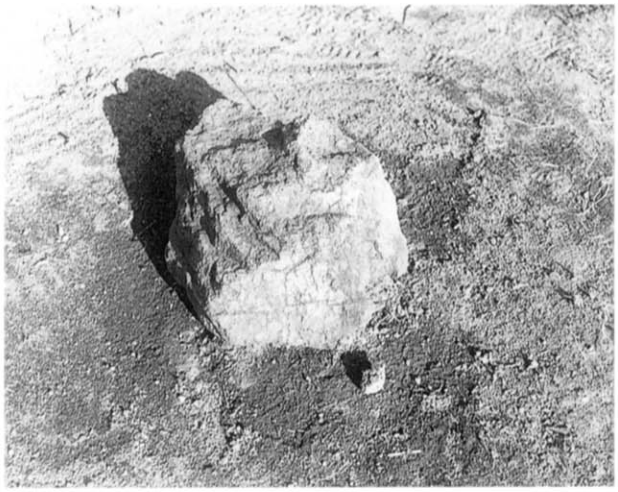
②　第９号墓石（南西から）



③　第10号墓石（北西から）



④　第11号墓石（北西から）

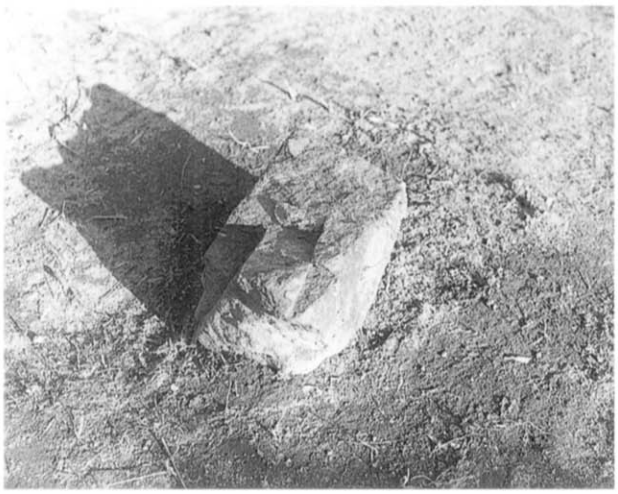


⑤　第12号墓石（北西から）

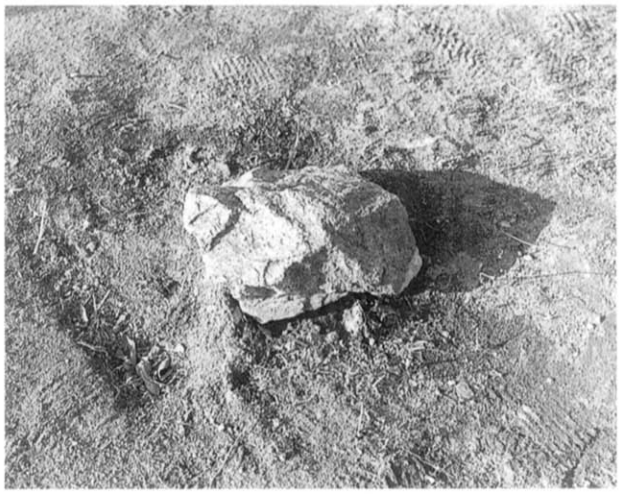


⑥　第13号墓石（南西から）

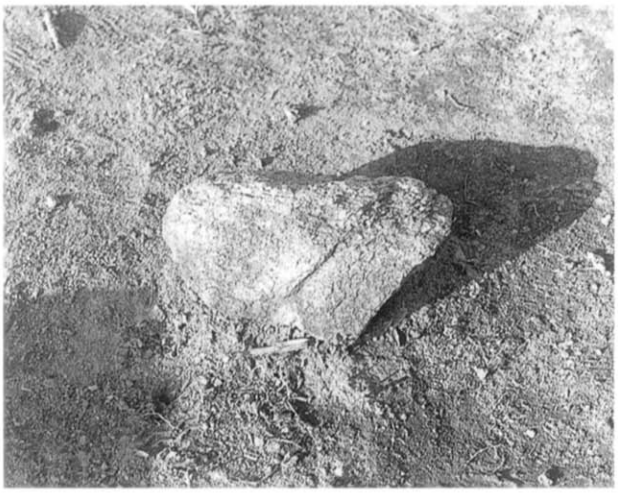
図版６　原田第１号墓地



①　第14号墓石（北西から）



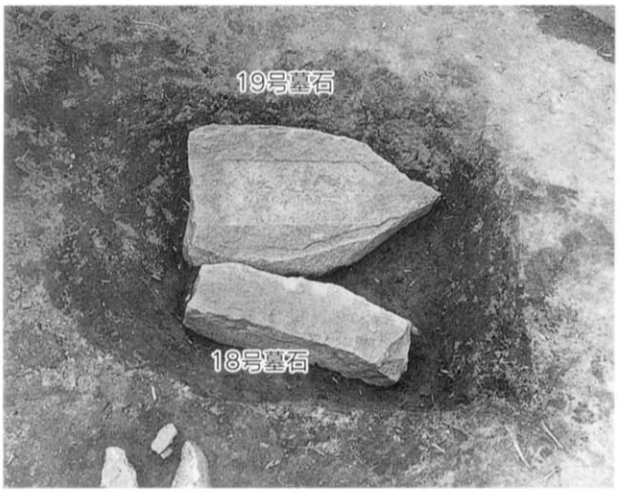
②　第15号墓石（南西から）



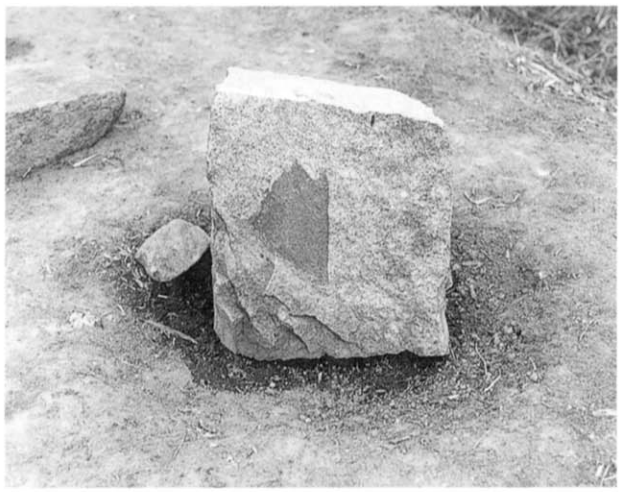
③　第16号墓石（南西から）



④　第17号墓石（南西から）



⑤　第18・19号墓石（南から）



⑥　第20号墓石（西から）

図版７　原田第１号墓地



①　第21・22号墓石（南西から）



②　第22号墓石の台石（南西から）



③　第23号墓石（南西から）



④　第23号墓石（南東から）



⑤　第24号墓石（南西から）

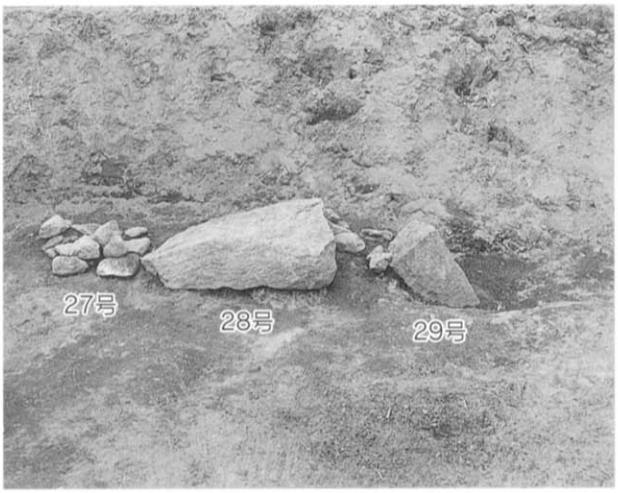


⑥　第25号墓石（南西から）

図版８　原田第１号墓地



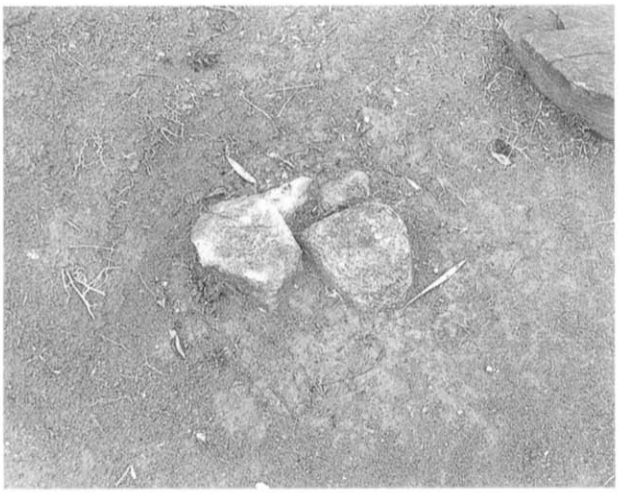
① 第26号墓石（南西から）



② 第27～29号墓石（南東から）



③ 第30号墓石（南西から）



④ 第31号墓石（南西から）



⑤ 第32号墓石（西から）



⑥ 第33号墓石（南西から）

図版９　原田第１号墓地



① 第１号墓と改葬跡（南西から）



② 第１号墓と改葬跡（南東から）



③ 第２号墓と改葬壙（南西から）



④ 第２号墓　甕棺と人骨（西から）



⑤ 第３号墓（南西から）



作業風景（墓壙の発掘）

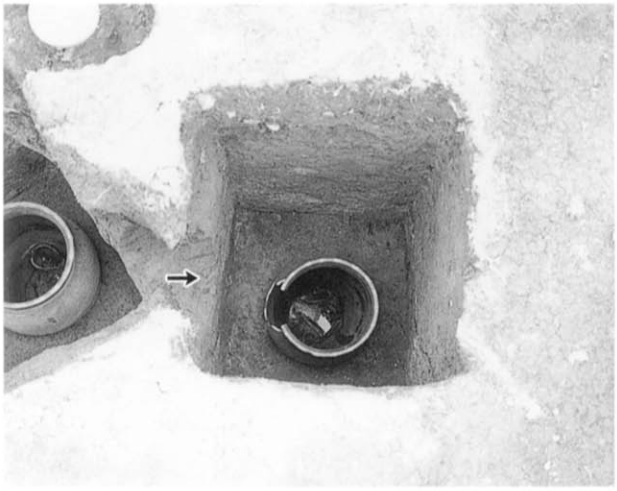
図版10　原田第１号墓地



①　第４号墓（西から）



②　第４号墓　棺内副葬品出土状況（西から）



③　第５号墓（西から）



④　第５号墓　改葬跡（北から）



⑤　第６号墓（西から）



⑥　第６号墓　改葬跡（南から）

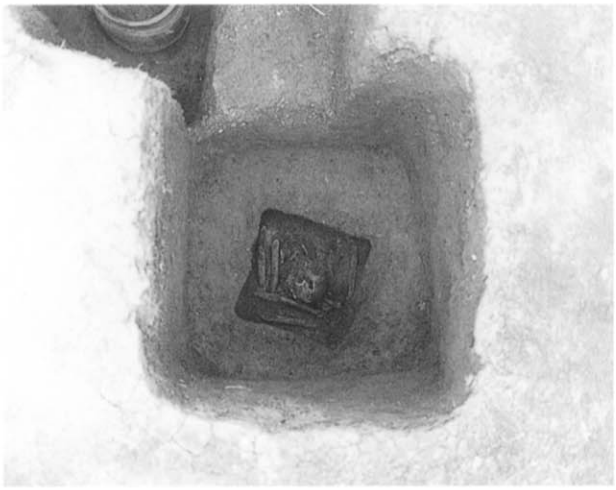
図版11　原田第１号墓地



①　第７号墓（西から）



②　第７号墓　棺内副葬品出土状況（南東から）



③　第８号墓（南西から）



④　第８号墓　正方形木棺跡と人骨（東から）



⑤　第９号墓（南西から）

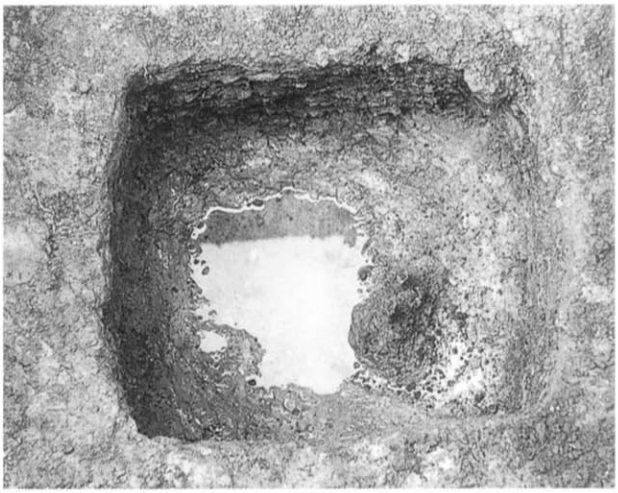


⑥　第９号墓　甕棺と人骨（南西から）

図版12　原田第１号墓地



①　第10号墓（南西から）



②　第10号墓　正方形木棺跡と人骨（南西から）



③　第11号墓（南西から）



④　第11号墓　改葬跡（南西から）



⑤　第12号墓（南西から）



⑥　第12号墓　甕棺と人骨（南西から）

図版13　原田第１号墓地



① 第13号墓（南西から）



② 第13号墓　正方形木棺跡と人骨（南西から）



③ 第14号墓（西から）



④ 第14号墓　人骨（南西から）



⑤ 第15号墓（南西から）

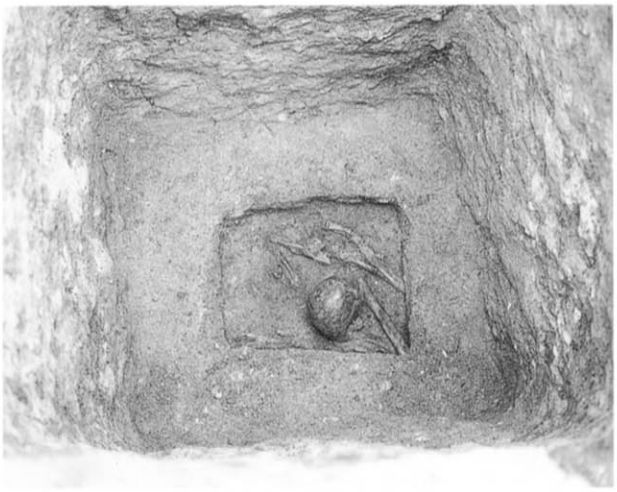


⑥ 第15号墓　副葬品出土状況（北東から）

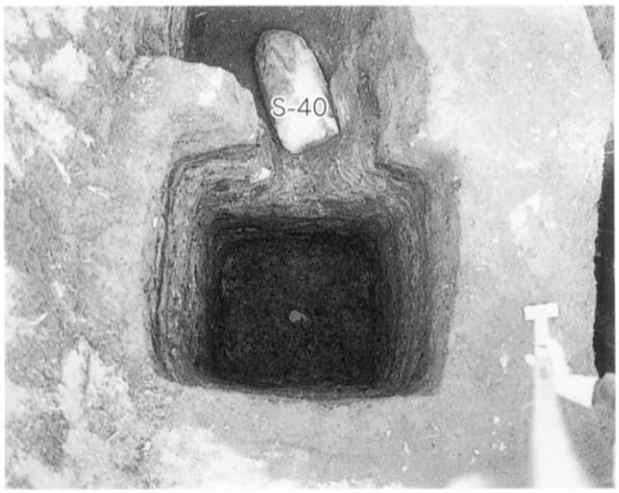
図版14　原田第１号墓地



① 第16号墓（西から）



② 第16号墓　正方形木棺跡と人骨（西から）



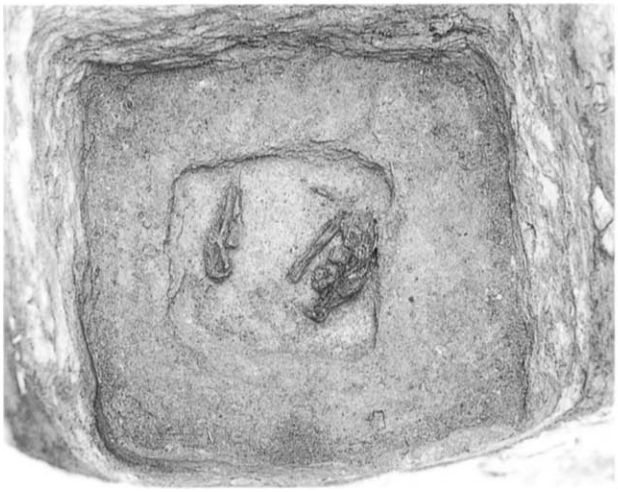
③ 第17号墓と第40号墓石（西から）



作業風景（墓壙の発掘）

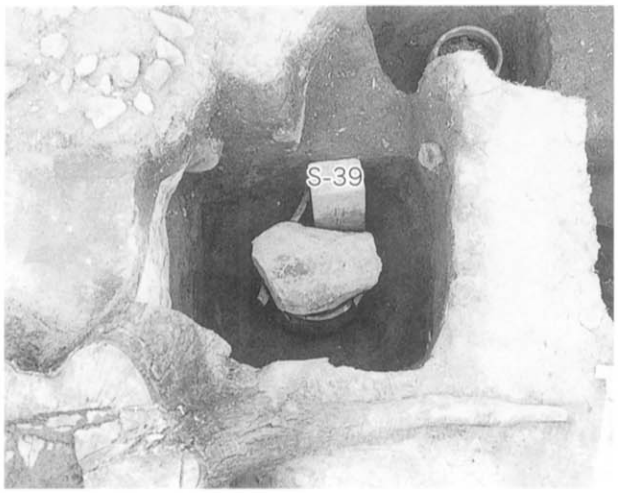


④ 第18号墓（西から）



⑤第18号墓　人骨（西から）

図版15　原田第１号墓地



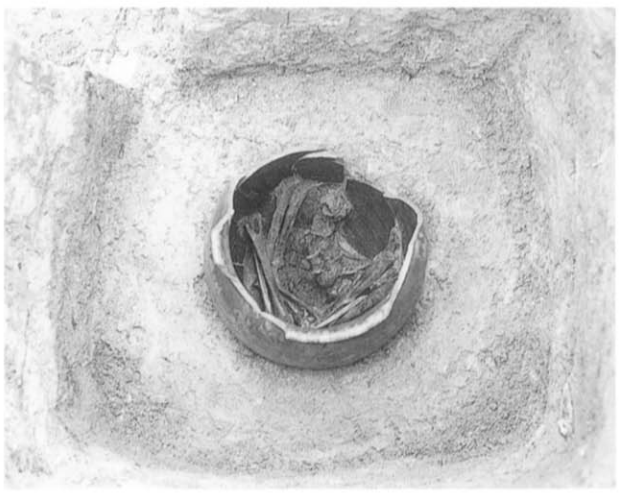
①　第21号墓と第39号墓石（西から）



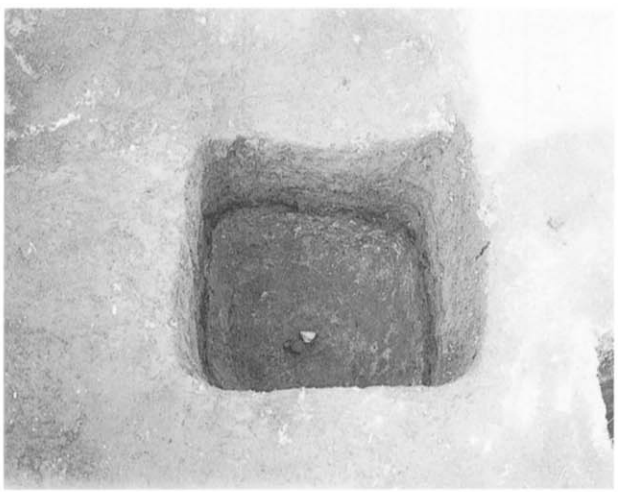
②　第21号墓　甕棺の蓋石（西から）



③　第21号墓　墓石と蓋石撤去後（西から）



④　第21号墓　蓋石撤去後の甕棺と人骨（西から）



⑤　第22号墓（南西から）



⑥　第22号墓　副葬品出土状況（南西から）

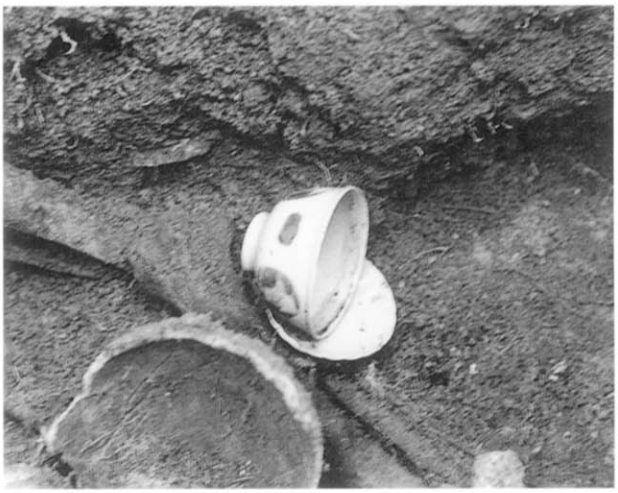
図版16　原田第１号墓地



①　第23号墓（南西から）



②　第23号墓　正方形木棺跡と人骨（西から）



③　第23号墓　副葬品出土状況（東から）



④　第23号墓　副葬品出土状況（西から）



⑤　第24号墓（南西から）



⑥　第24号墓　正方形木棺跡と人骨（南西から）

図版17　原田第１号墓地



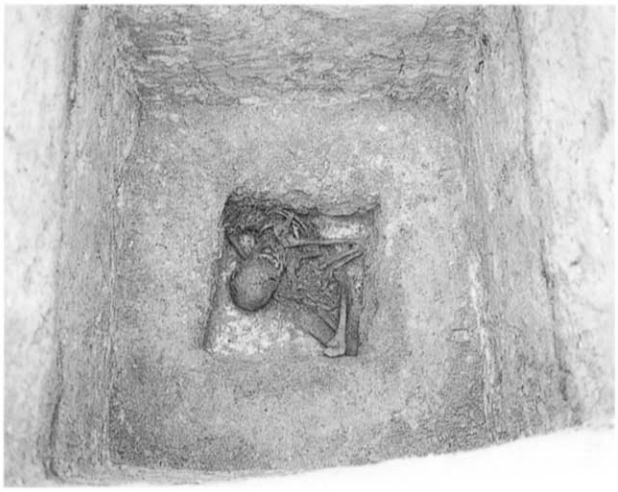
① 第25号墓（南西から）



② 第25号墓　正方形木棺跡と人骨（南西から）



③ 第26号墓（南西から）



④ 第26号墓　正方形木棺跡と人骨（南西から）



⑤ 第27号墓（南西から）

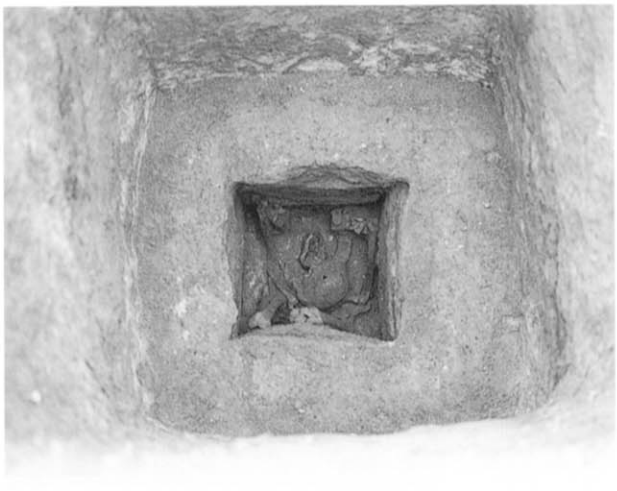


⑥ 第27号墓　正方形木棺跡と人骨（南西から）

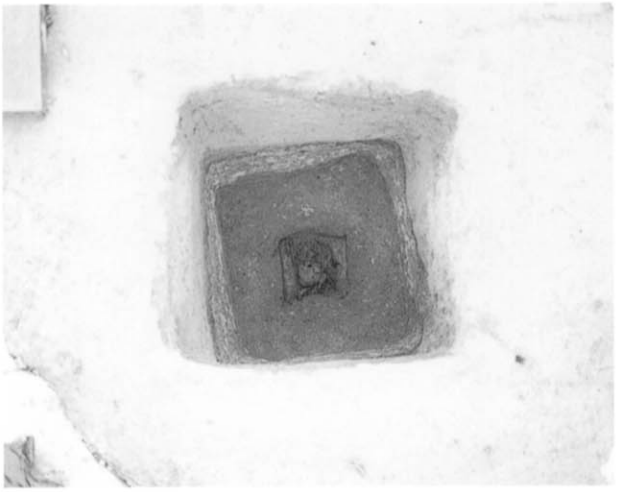
図版18　原田第１号墓地



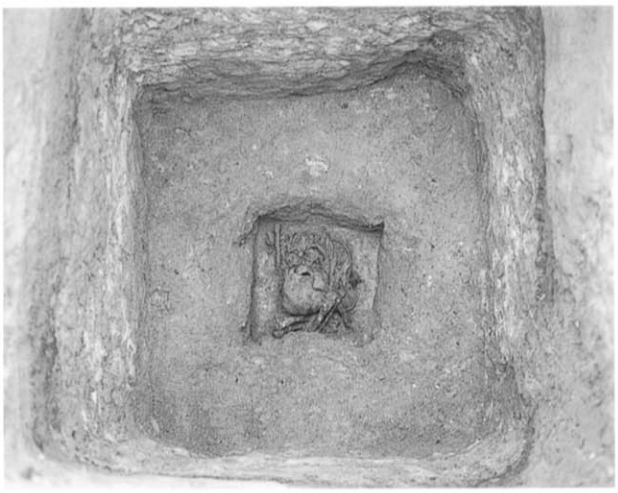
①　第28号墓（南西から）



②　第28号墓　正方形木棺跡と人骨（南西から）



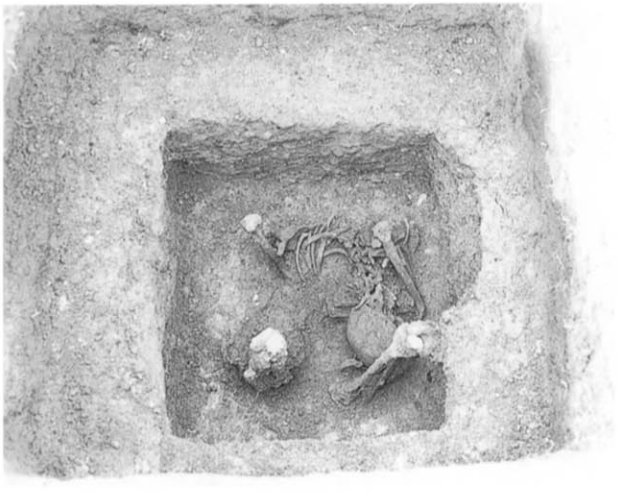
③　第29号墓（南西から）



④　第29号墓　正方形木棺跡と人骨（南西から）

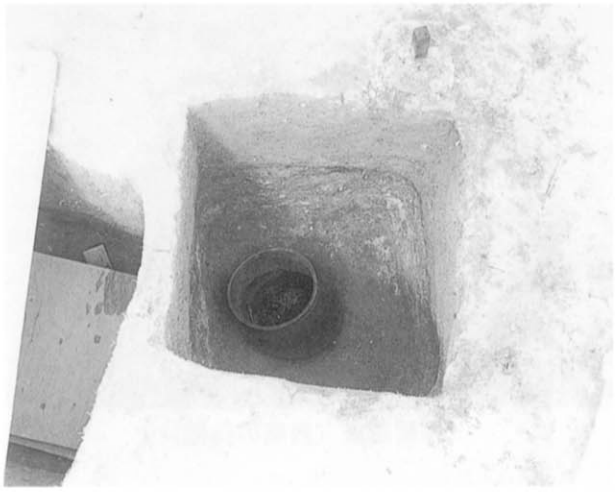


⑤　第30号墓（南西から）



⑥　第30号墓　正方形木棺跡と人骨（南西から）

図版19　原田第１号墓地



①　第31号墓（南西から）



②　第31号墓　甕棺と人骨（南西から）



③　第32号墓（南西から）



④　第32号墓　正方形木棺跡と人骨（南西から）

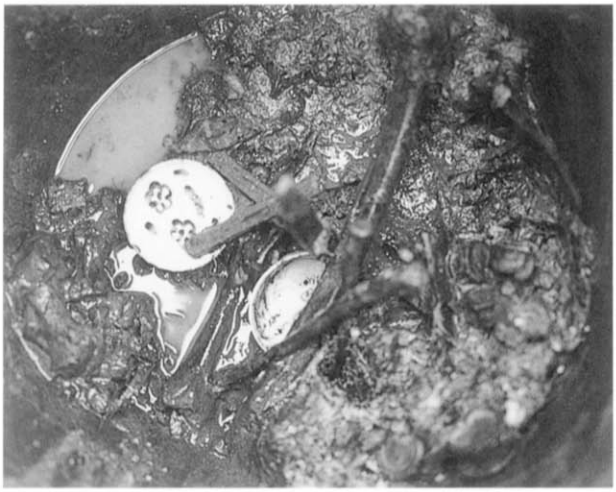


⑤　第33号墓（南西から）



⑥　第33号墓　甕棺と人骨（南西から）

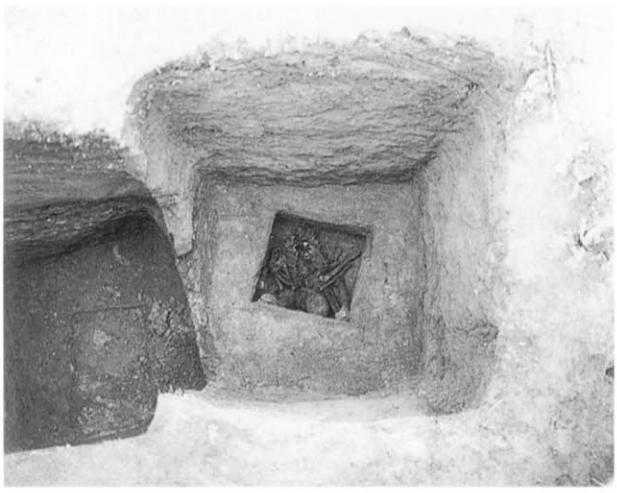
図版20　原田第１号墓地



①　第33号墓　棺内副葬品出土状況（南西から）



作業風景（墓壙の発掘）



②　第34号墓　甕棺と人骨（南西から）



③　第34号墓　正方形木棺跡と人骨（南西から）



④　第35号墓（南西から）

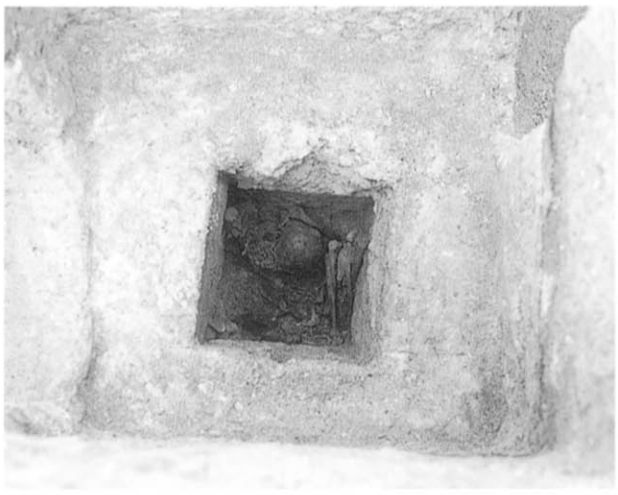


⑤　第35号墓　正方形木棺跡と人骨（南西から）

図版21　原田第１号墓地



① 第36号墓（南西から）



② 第36号墓　正方形木棺跡と人骨（南西から）



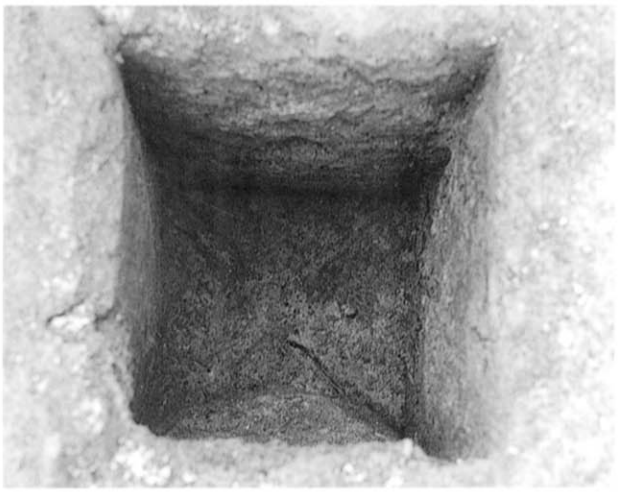
③ 第37号墓と第38号墓石（西から）



④ 第37号墓　正方形木棺跡（西から）



⑤ 第38号墓と第38号墓石（西から）



⑥ 第38号墓　正方形木棺跡（西から）

図版22　原田第１号墓地



①　第39号墓（北西から）



②　第39号墓　正方形木棺跡と人骨（北西から）



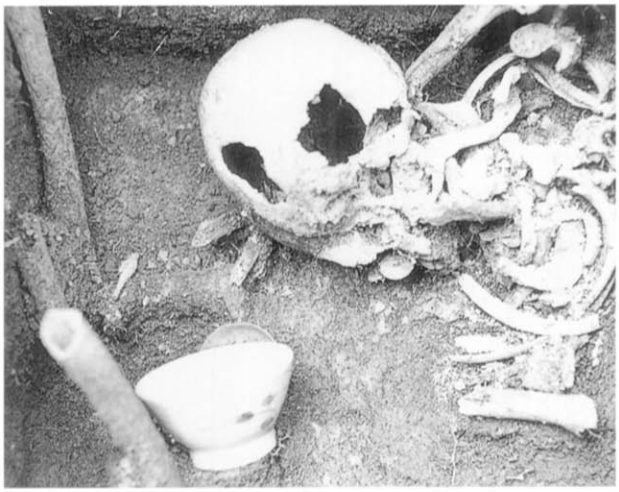
③　第40号墓（南西から）



④　第40号墓　正方形木棺跡と人骨（南西から）



⑤　第41号墓（西から）



⑥　第41号墓　棺内副葬品出土状況（東から）

図版23　原田第１号墓地



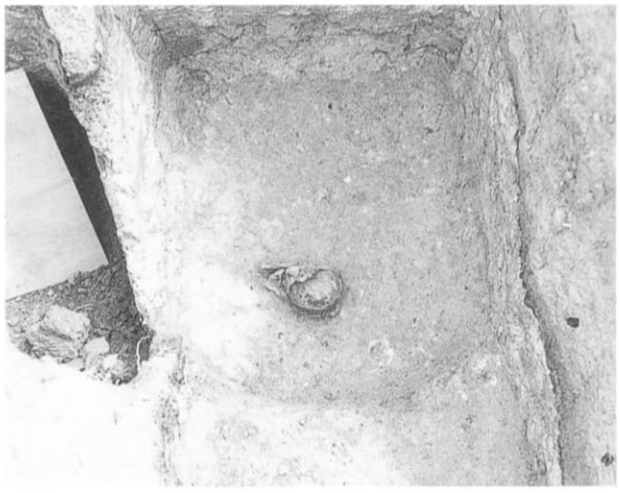
①　第42号墓（西から）



②　第42号墓　正方形木棺跡と人骨（西から）



③　第34号墓壙内の第43号墓人骨（南西から）



④　第43号墓人骨の集骨状況（南西から）



⑤　第43号墓（南西から）



⑥　第43号墓人骨と第34号墓内の集骨（南東から）

図版24　原田第１号墓地



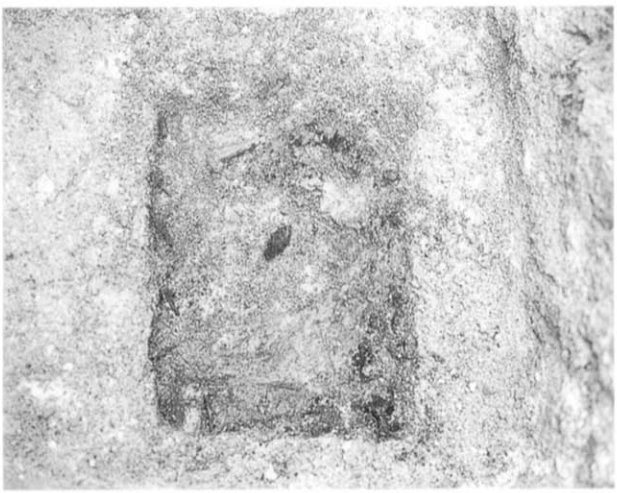
①　第41号墓壙内の第44号墓人骨（西から）



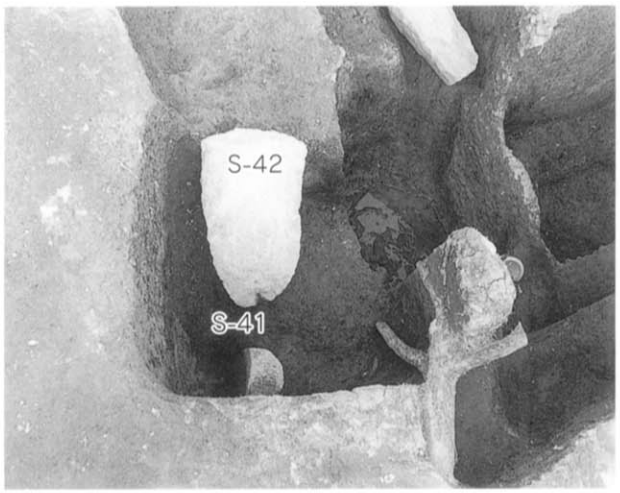
②　第44号墓（西から）



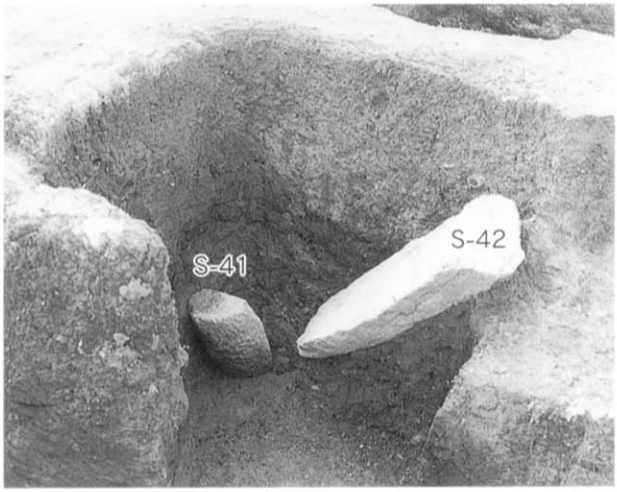
③　第45号墓（西から）



④　第45号墓　長方形木棺跡と釘（西から）



⑤　第46号墓壙内の第41・42号墓石（西から）



⑥　第46号墓壙内の第41・42号墓石（南東から）

図版25　原田第１号墓地



①　第46号墓（西から）



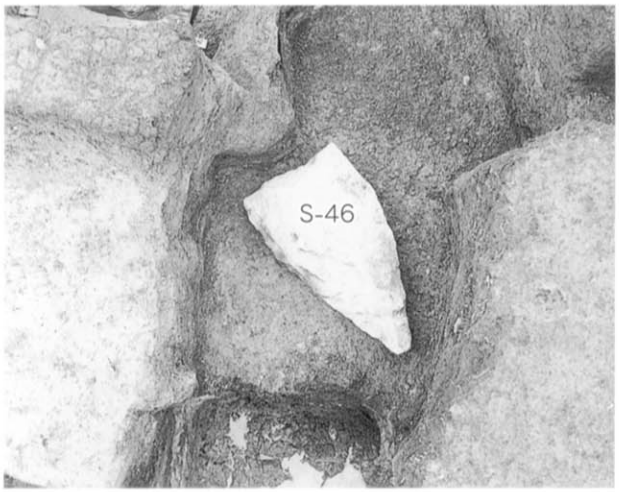
②　第46号墓　正方形木棺跡と人骨（西から）



③　第47号墓（西から）



作業風景（墓壙の発掘）



④　第49号墓壙内の第46号墓石（西から）



⑤　第49号墓　第46号墓石撤去後（西から）

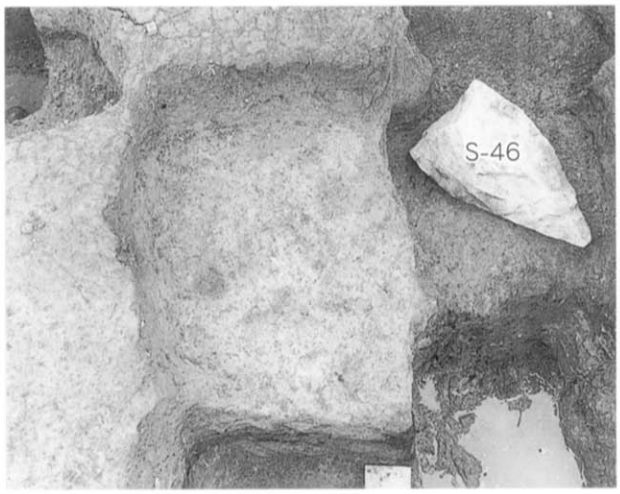
図版26　原田第１号墓地



①　第50号墓（南西から）



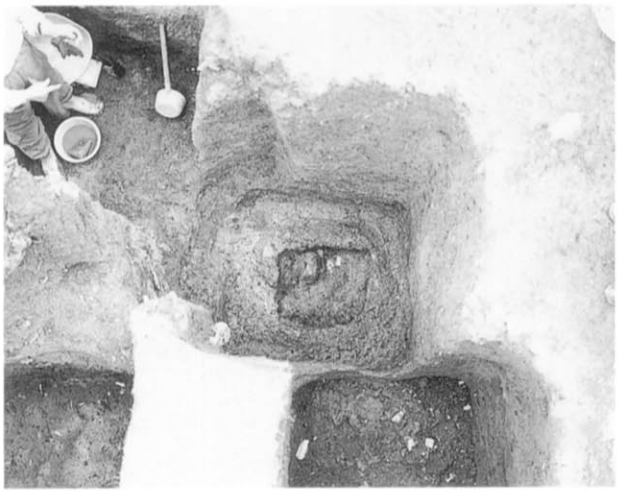
②　第50号墓　正方形木棺跡と人骨（南西から）



③　第52号墓（南西から）



作業風景（写真撮影の準備）



④　第54号墓（西から）



⑤　第54号墓　正方形木棺跡と人骨（西から）

図版27　原田第１号墓地



①　第55号墓（南西から）



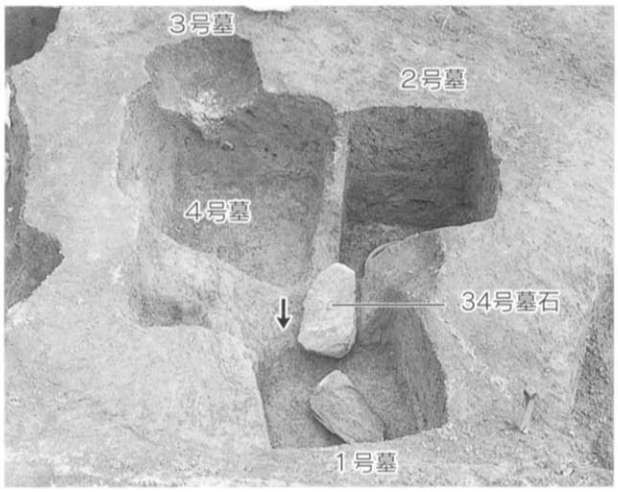
②　第55号墓　甕棺と人骨（南西から）



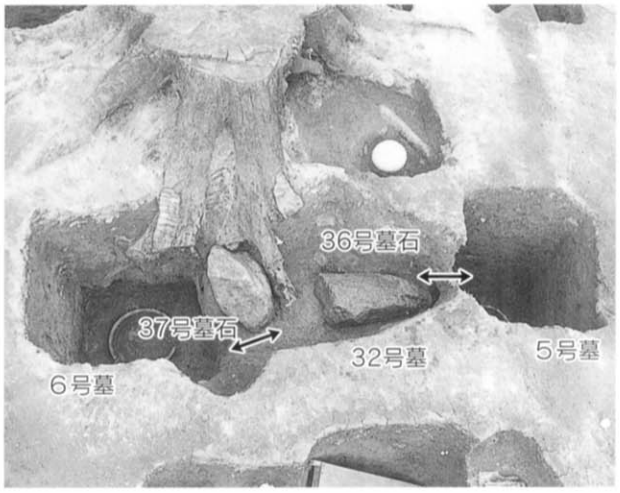
③　第58号墓（南から）



④　第58号墓　甕棺と人骨（南西から）



⑤　第１～４号墓と第34号墓石（北から）



⑥　第5･6･32号墓と第36･37号墓石（南西から）

図版28　原田第１号墓地



①　第19号墓（南西から）



②　第51号墓（南西から）



③　第53号墓（北から）



④　第56号墓（南西から）



⑤　第57号墓（西から）

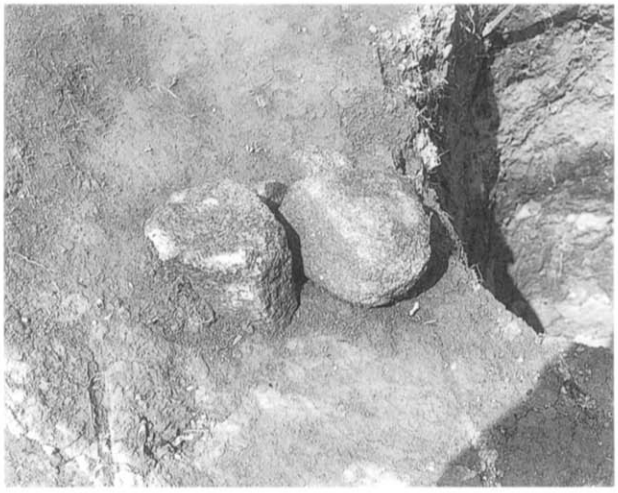
図版29　原田第１号墓地



①　第１号胞衣容器（南西から）



②　第２号胞衣容器（西から）



③　第３号胞衣容器上の標石（南西から）



④　標石撤去後の第３号胞衣容器（西から）



⑤　第４号胞衣容器（南東から）



⑥　第５号胞衣容器（南東から）

図版30　原田第１号墓地



①　第20号墓内の第１号蔵骨器（西から）



②　第47号墓内の第２号蔵骨器（南西から）



③　第59号墓（西から）



④　第59号墓内蔵骨器出土状況（西から）

図版31　原田第２号墓地



①　墓石現況（真上から）



②　墓壙配置状況（真上から）



③　墓石現況（北西から）



④　墓壙配置状況（北西から）



⑤　墓石現況（北東から）



⑥　墓壙配置状況（北東から）

図版32　原田第２号墓地



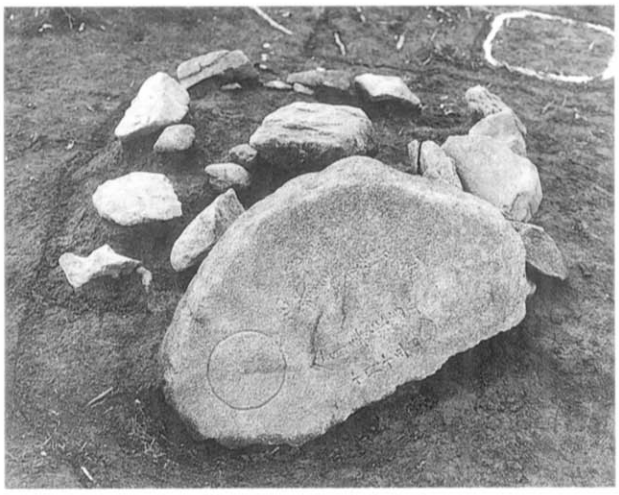
①　墓石現況（北西から）



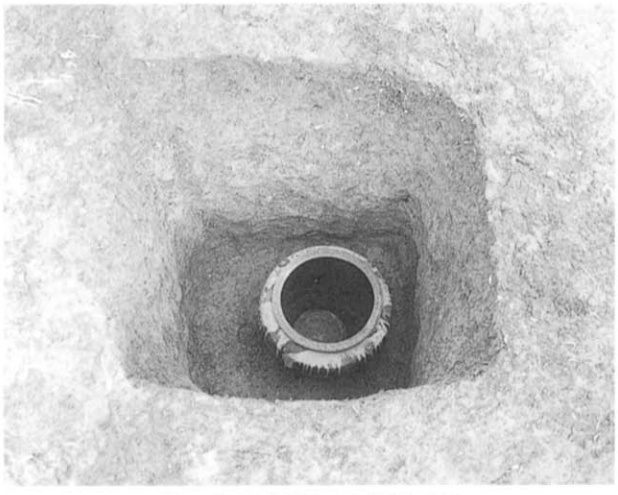
②　墓壙検出状況（北西から）



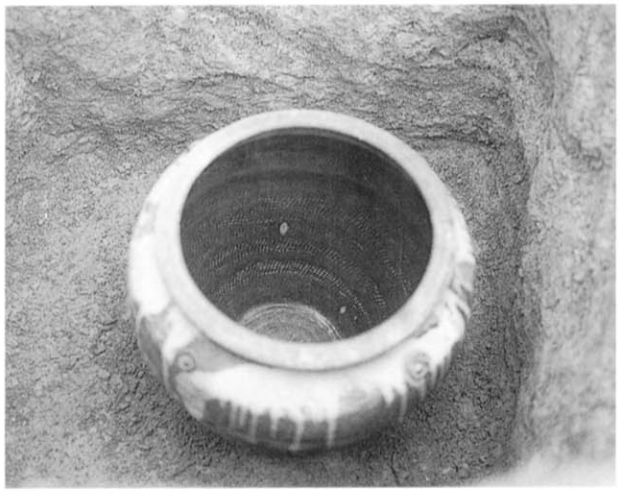
③　第１号墓石（北西から）



④　第１号墓石（北東から）

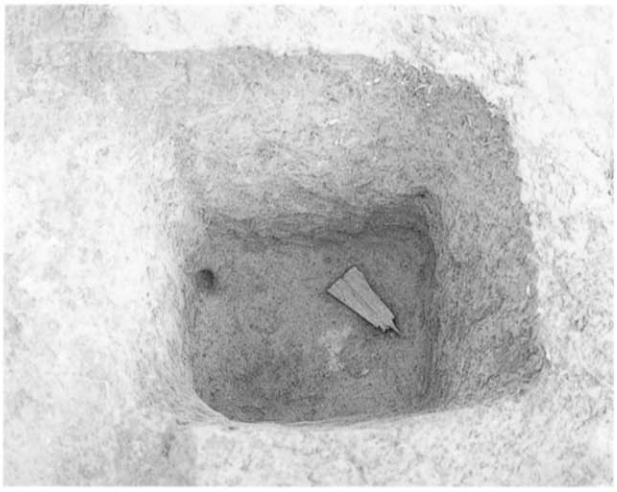


⑤　第１号墓（南西から）

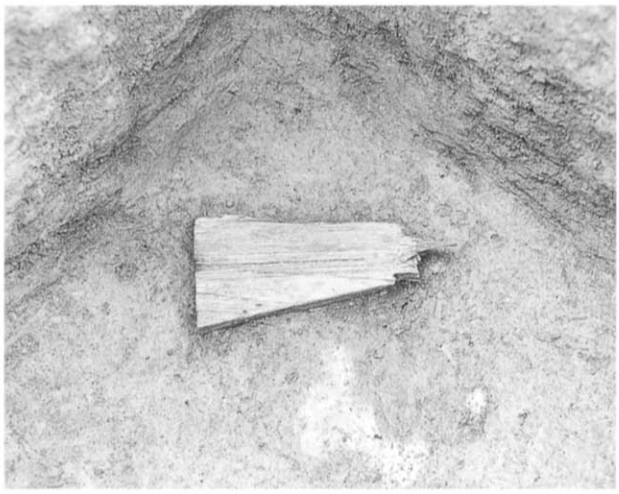


⑥　第１号墓　甕棺（南西から）

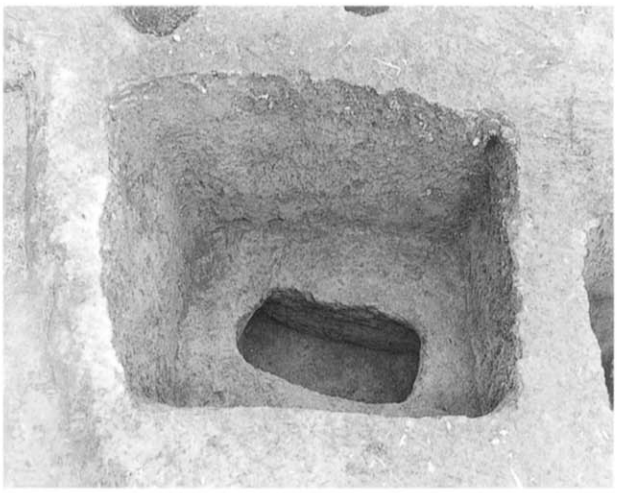
図版33　原田第２号墓地



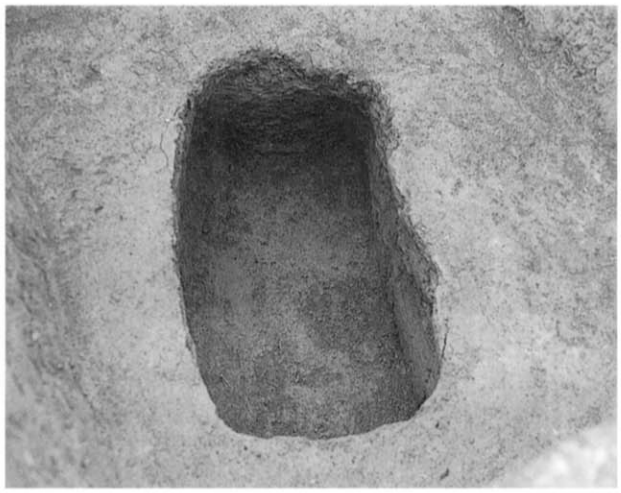
①　第１号墓　棺外副葬品出土状況（南西から）



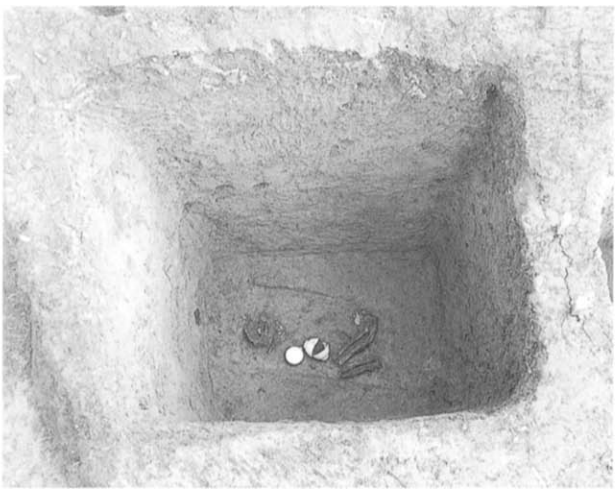
②　第１号墓　棺外副葬品出土状況（西から）



③　第２号墓（南西から）



④　第２号墓　木棺痕跡（南から）



⑤　第２号墓　棺内人骨・副葬品（南西から）

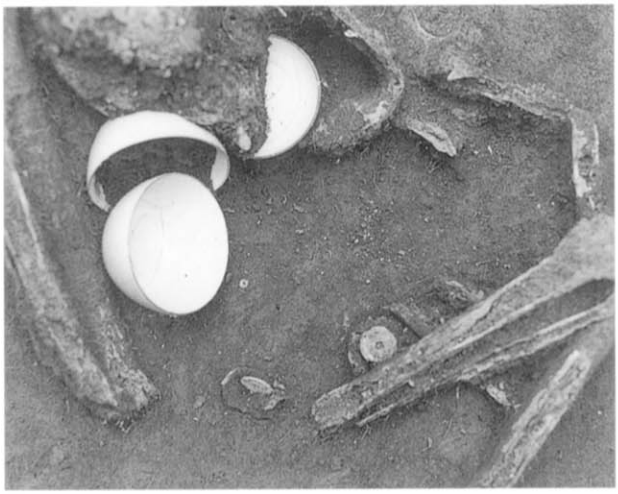


⑥　第２号墓　棺内副葬品出土状況（南から）

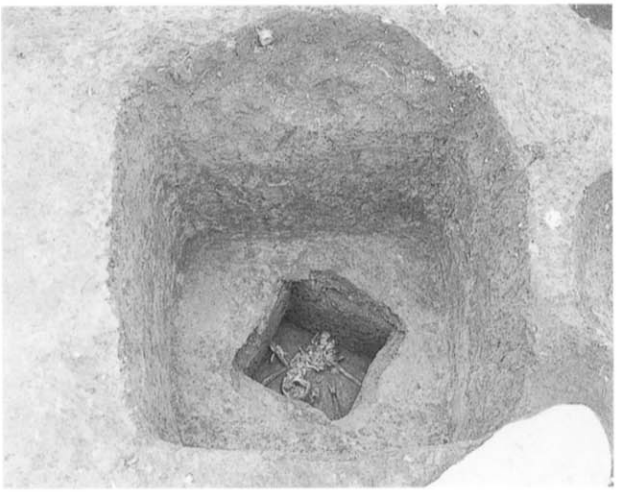
図版34　原田第２号墓地



①　第３号墓（南西から）



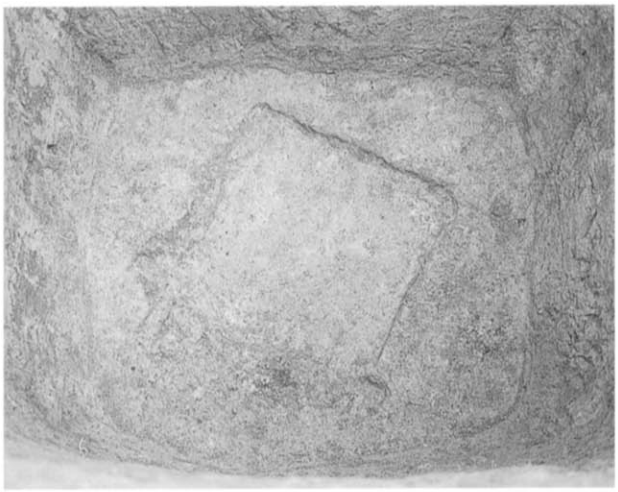
②　第３号墓　副葬品出土状況（南西から）



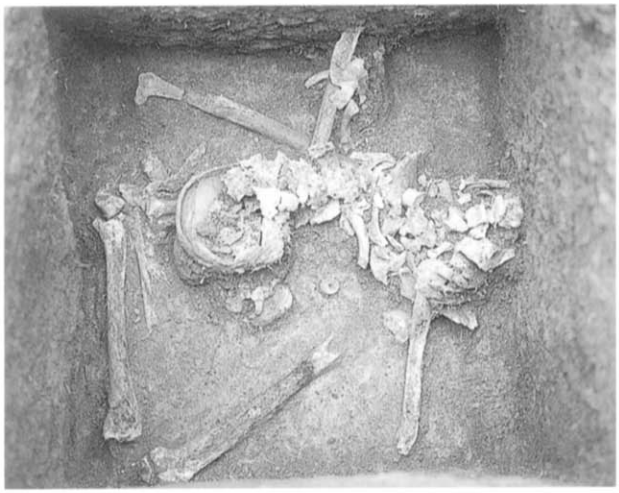
③　第４号墓（南西から）



④　第４号墓　人骨出土状況（南西から）

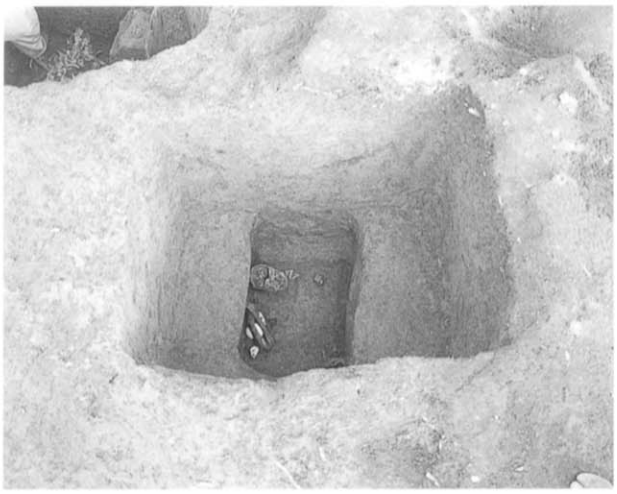


⑤　第４号墓　木棺底痕跡（南西から）

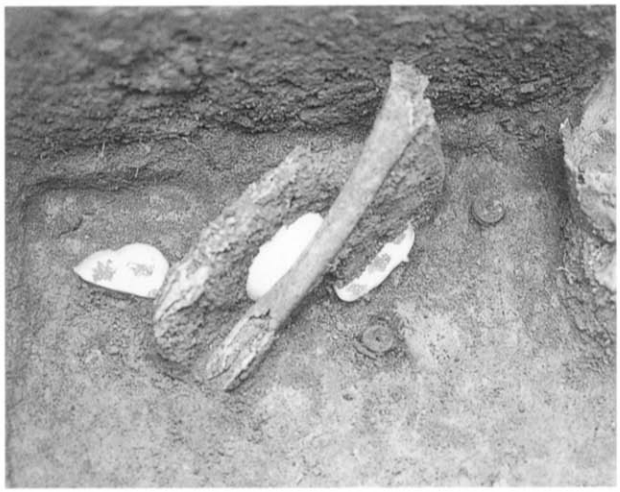


⑥　第４号墓　副葬品出土状況（南から）

図版35　原田第２号墓地



①　第５号墓（西から）



②　第５号墓　棺内副葬品出土状況（南から）



③　第５号墓　木棺底痕跡と棺外副葬品（西から）



④　第５号墓　棺外副葬品出土状況（西から）

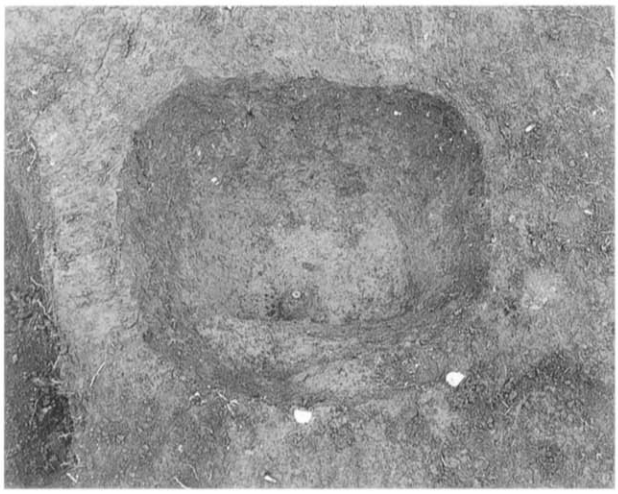


⑤　第５号墓　棺外副葬品出土状況（西から）



⑥　第５号墓　棺外副葬品出土状況（西から）

図版36　原田第２号墓地



① 第６号墓（西から）



② 第６号墓　副葬品出土状況（東から）



③ 第７号墓（南西から）



④ 第８号墓（南西から）



⑤ 第９号墓（南から）

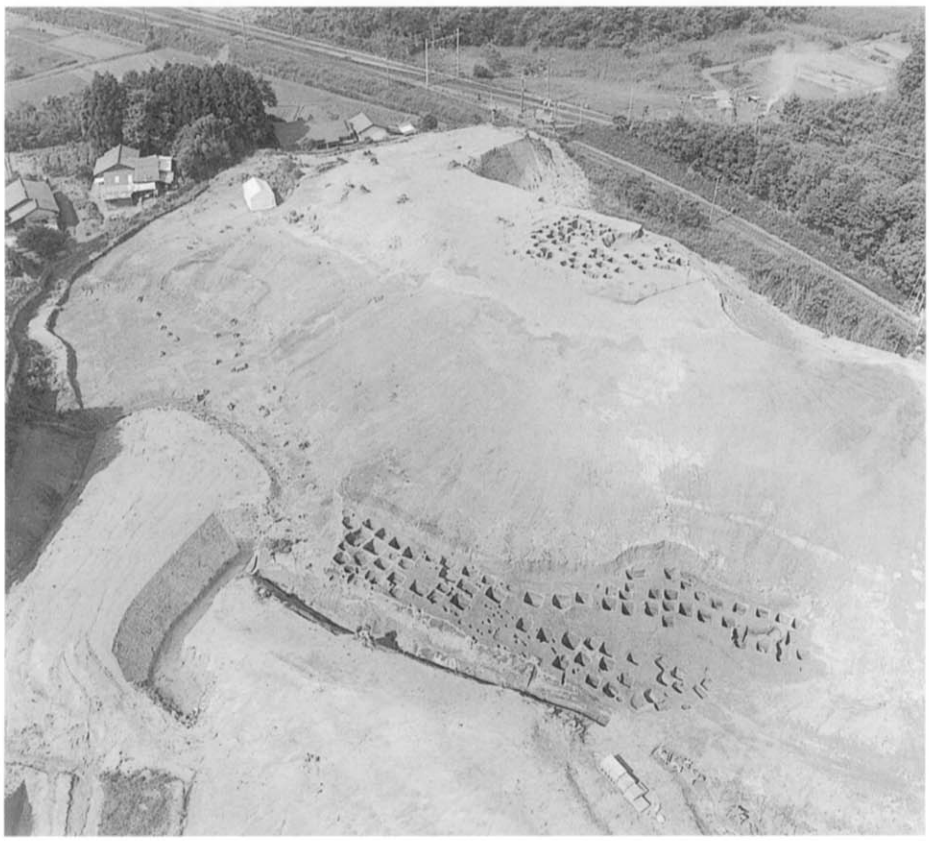


⑥ 第10号墓（北西から）

図版37　原田第40・41号墓地

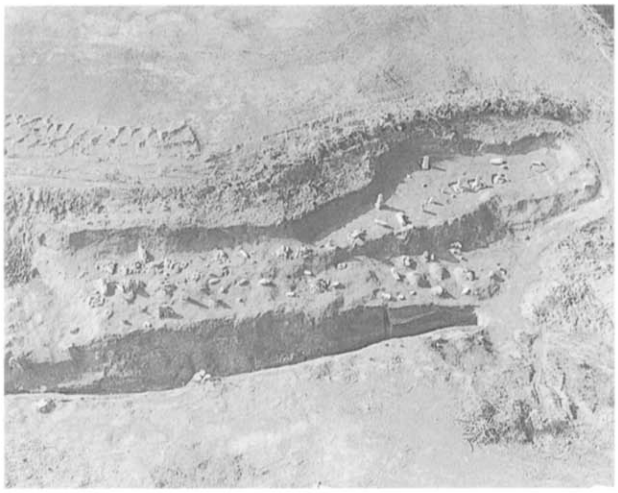


①　遠景（西から）

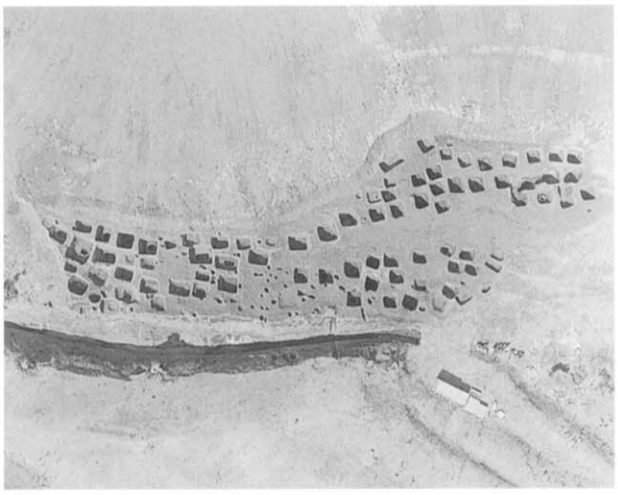


②　遠景（北東から）

図版38　原田第40号墓地



①　墓石現況（東から）



②　墓壙配置状況（東から）



③　墓石現況（南から）



④　墓壙配置状況（南から）



⑤　墓石現況（北から）



⑥　墓壙配置状況（北から）

図版39　原田第40号墓地



①　南側墓石現況（東から）



②　中央墓石現況（東から）



③　北側墓石現況（東から）



④　北側墓石現況（北から）

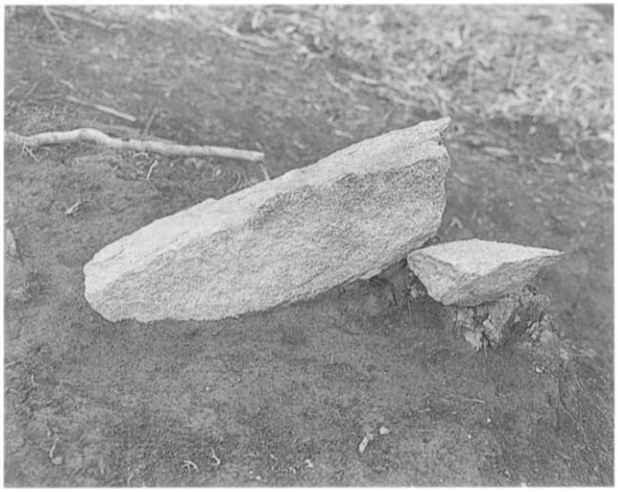


作業風景（墓石の検出）

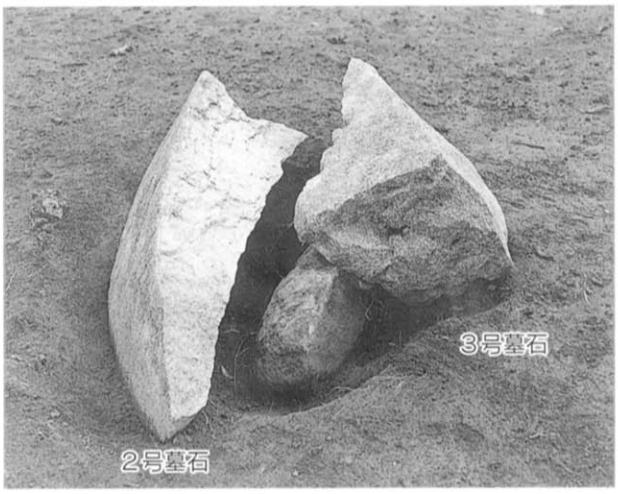


作業風景（墓石の検出）

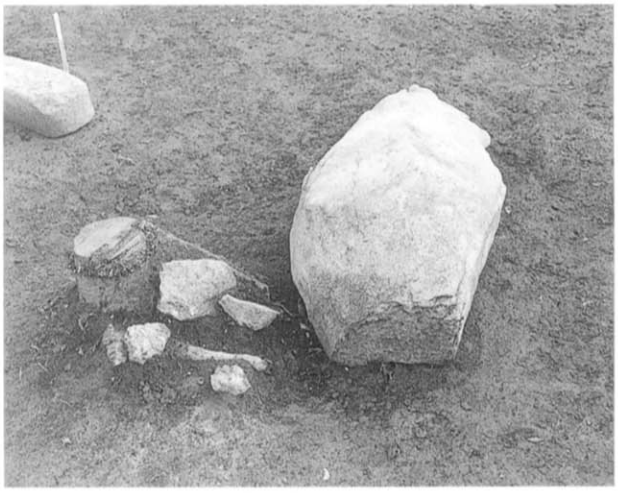
図版40　原田第40号墓地



① 第１号墓石（南から）



② 第2・3号墓石（北から）



③ 第４号墓石（北から）



④ 第５号墓石（南西から）



⑤ 第６号墓石（南西から）



⑥ 第７号墓石（南西から）

図版41　原田第40号墓地



① 第８号墓石（南西から）



② 第９号墓石（南東から）



③ 第10号墓石（南西から）



④ 第11号墓石（南東から）



⑤ 第12号墓石（西から）

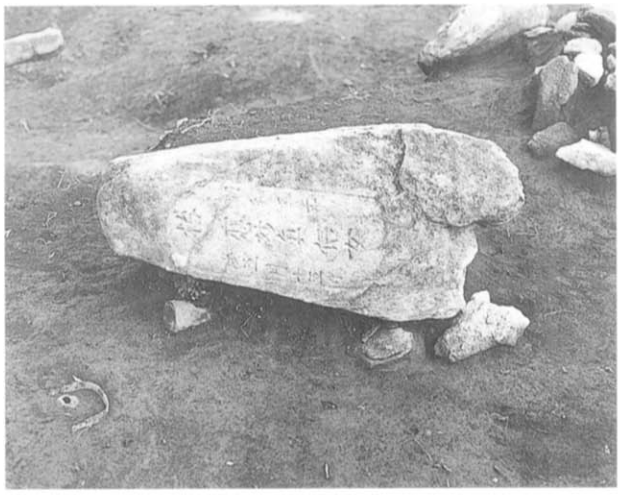


⑥ 第13号墓石（南東から）

図版42　原田第40号墓地



① 第14号墓石（南西から）



② 第15号墓石（西から）



③ 第16号墓石（南西から）



④ 第17号墓石（南西から）



⑤ 第18号墓石（南から）

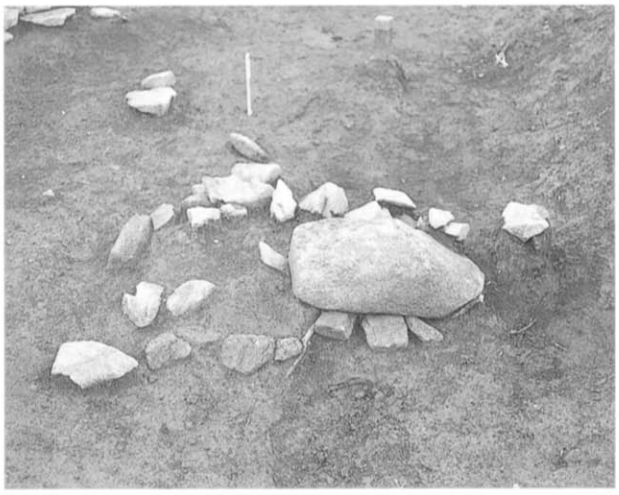


⑥ 第19号墓石（南から）

図版43　原田第40号墓地



① 第20号墓石（南西から）



② 第21号墓石（北西から）



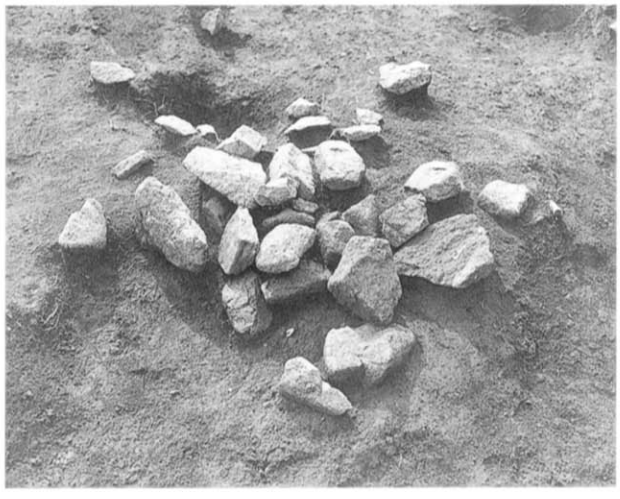
③ 第22号墓石（南西から）



④ 第23号墓石（南西から）



⑤ 第24号墓石（南西から）



⑥ 第25号墓石（北西から）

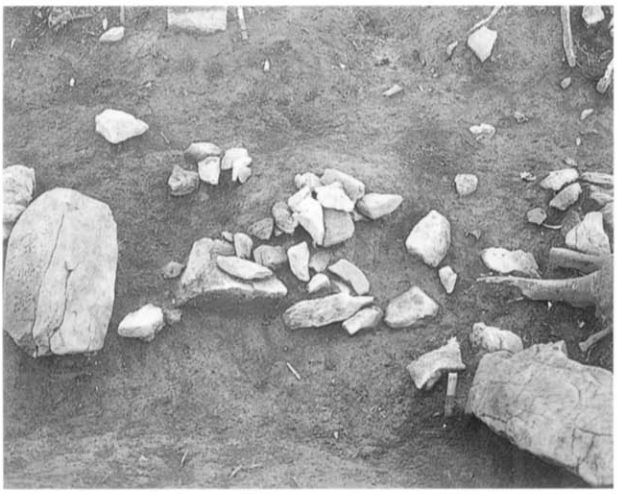
図版44　原田第40号墓地



① 第26号墓石（北西から）



② 第26・27・28・34・35・36号墓石



③ 第28号墓石（南西から）



④ 第29号墓石（西から）



⑤ 第30号墓石（西から）



⑥ 第31号墓石（南西から）

図版45　原田第40号墓地



① 第32号墓石（南西から）



② 第33号墓石（西から）



③ 第34号墓石（東から）



④ 第35号墓石（東から）

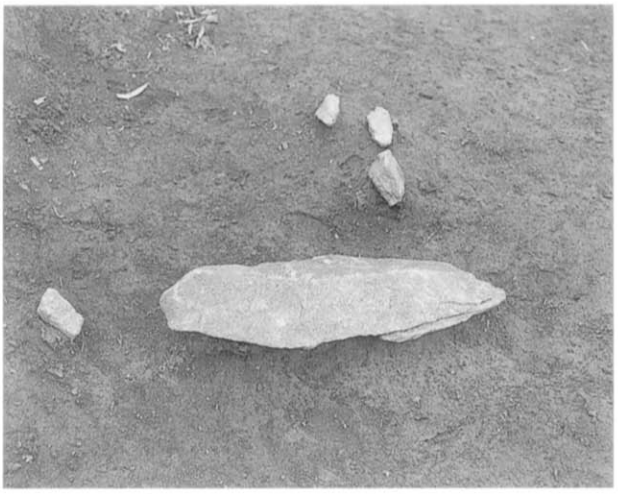


⑤ 第37号墓石（南から）

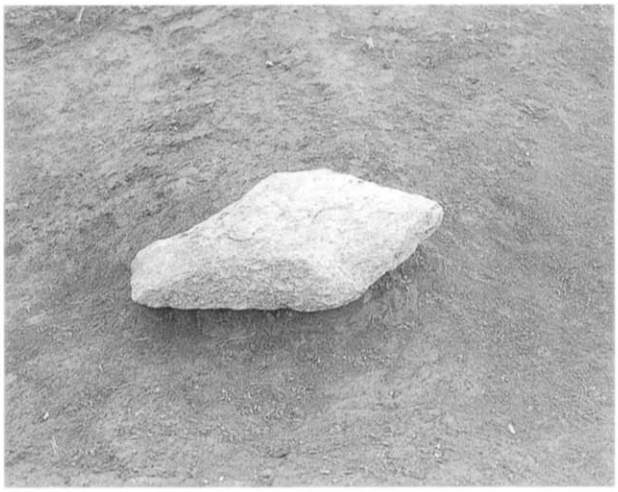


⑥ 第38号墓石（北西から）

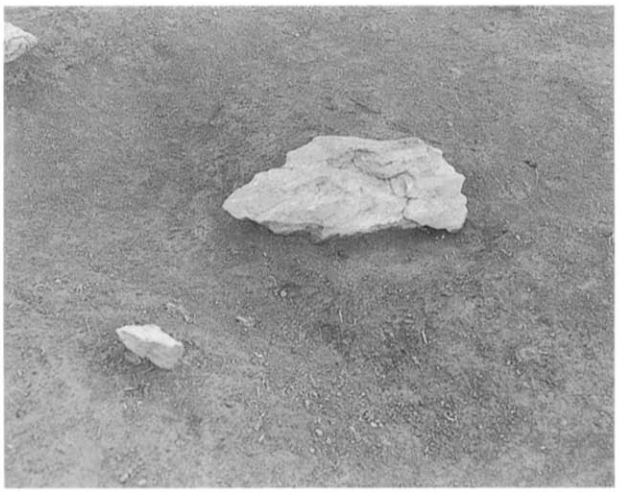
図版46　原田第40号墓地



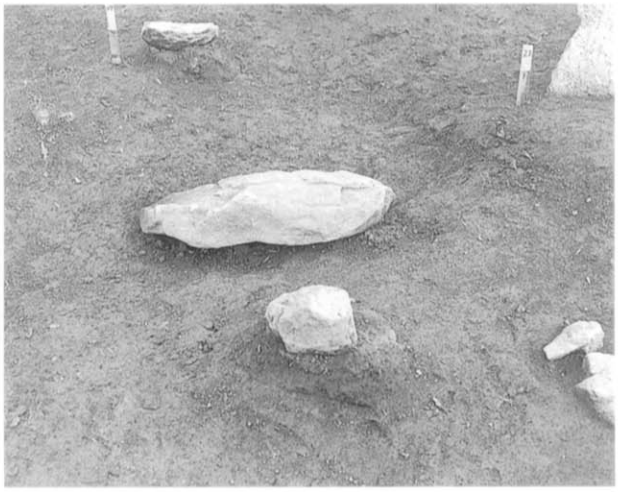
① 第39号墓石（南東から）



② 第40号墓石（南西から）



③ 第41号墓石（南西から）



④ 第42号墓石（南西から）



⑤ 第43号墓石（南東から）



⑥ 第44号墓石（北西から）

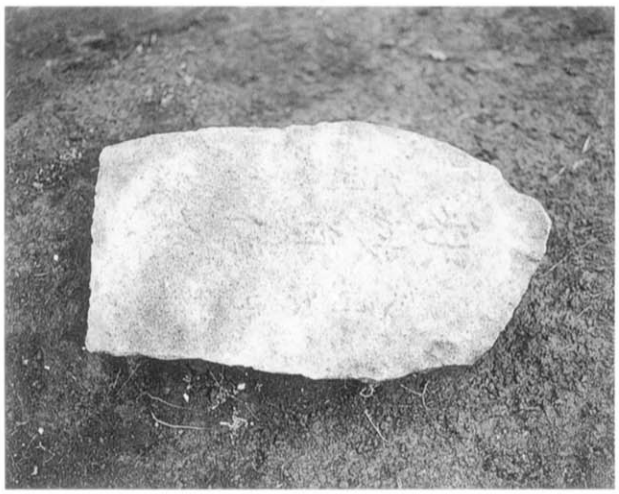
図版47　原田第40号墓地



① 第45号墓石（南西から）



② 第46号墓石（南西から）



③ 第47号墓石（南西から）



④ 第47号墓石（北東から）



⑤ 第48号墓石（北西から）



⑥ 第48号墓石（北東から）

図版48　原田第40号墓地



① 第49号墓石（南東から）



② 第49号墓石（南西から）



③ 第50号墓石（南西から）



④ 第51号墓石（南から）



⑤ 第52号墓石（南東から）



⑥ 第53号墓石（西から）

図版49　原田第40号墓地



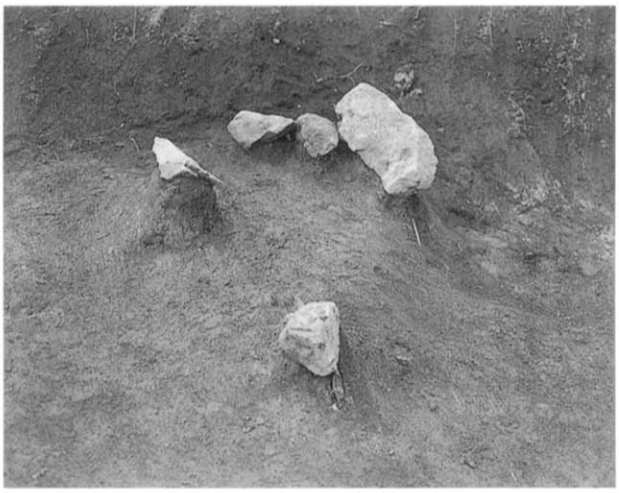
① 第54号墓石（西から）



② 第55号墓石（西から）



③ 第56号墓石（北西から）



④ 第57号墓石（北東から）



⑤ 第58号墓石（南西から）



⑥ 第62号墓石（南東から）

図版50　原田第40号墓地



① 第63号墓石（南東から）



② 第64号墓石（北西から）



③ 第65号墓石（北西から）



④ 第66号墓石（南東から）



⑤ 第67号墓石（北から）

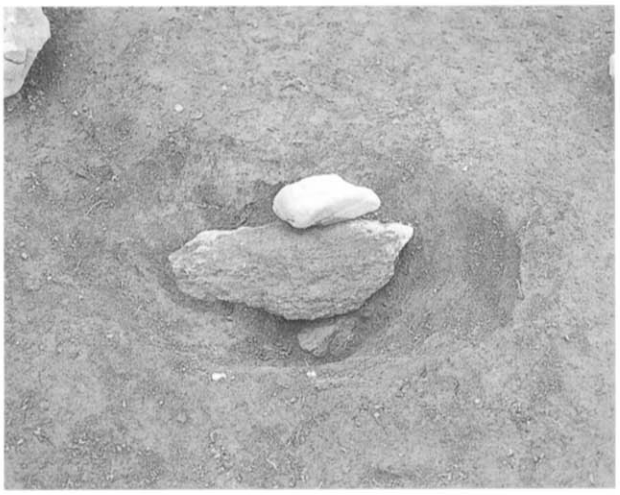


⑥ 第68号墓石（南から）

図版51　原田第40号墓地



① 第69号墓石（南西から）



② 第71号墓石（北から）



③ 第72号墓石（北西から）



作業風景（墓石の検出）



作業風景（樹根の撤去）



作業風景（樹根の撤去）

図版52　原田第40号墓地



① 第45号墓　盛土（北から）
（第60号墓石）



② 第57号墓　盛土（北西から）
（第59号墓石）



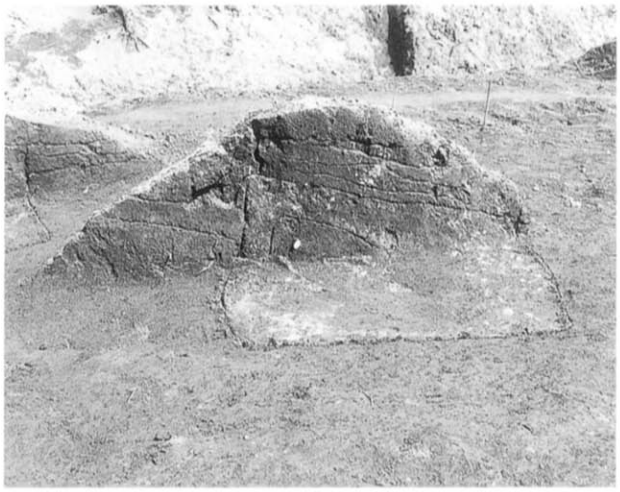
③ 第59号墓　盛土断面（西から）
（第48号墓石）



④ 第44号墓　盛土断面（西から）
（第49号墓石）

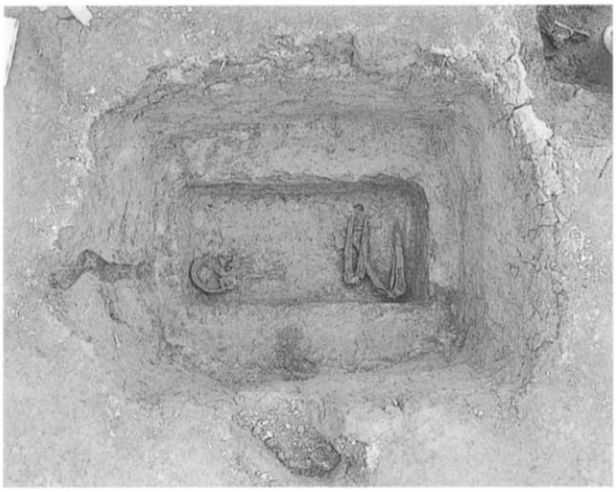


⑤ 第57号墓　盛土断面（西から）
（第59号墓石）



⑥ 第45号墓　盛土断面（西から）
（第60号墓石）

図版53　原田第40号墓地



① 第１号墓（南西から）



② 第２号墓（南西から）



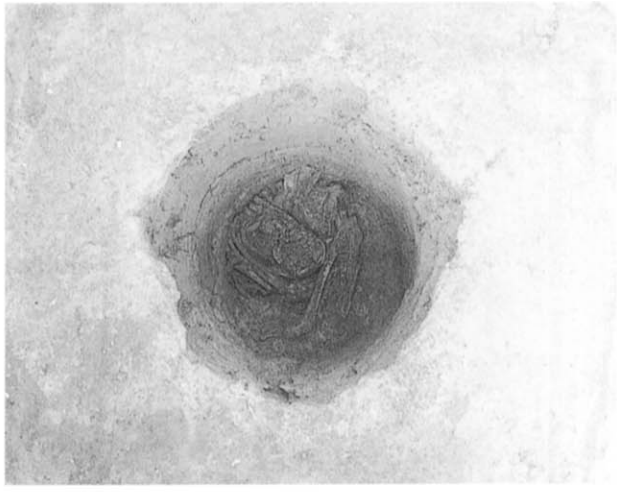
③ 第３号墓（南西から）



④ 第４号墓（南西から）



⑤ 第５号墓（西から）



⑥ 第５号墓　桶棺跡と人骨（西から）

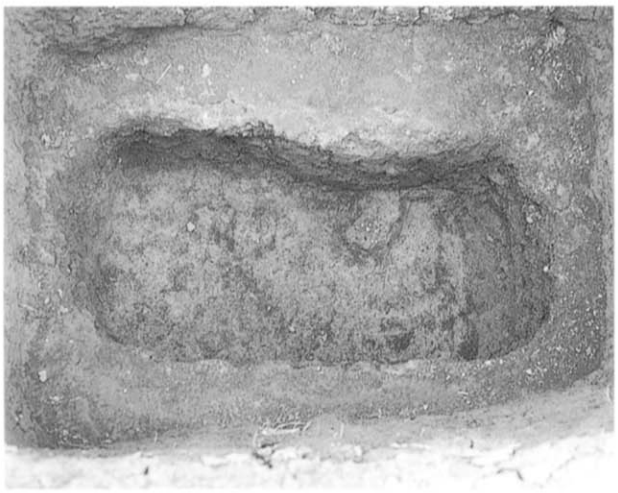
図版54　原田第40号墓地



① 第６号墓（西から）



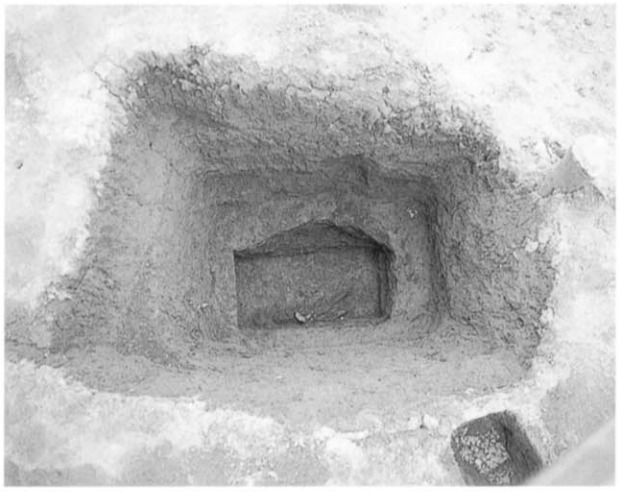
② 第７号墓（西から）



③ 第７号墓　短い長方形木棺跡（東から）



④ 第７号墓　棺内副葬品出土状況（北から）

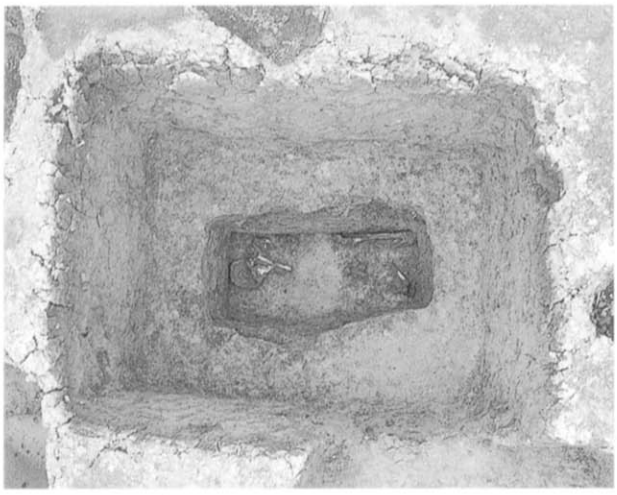


⑤ 第８号墓（西から）

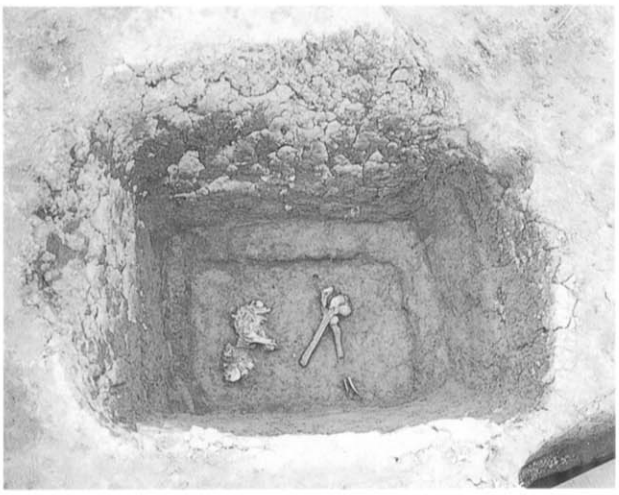


⑥ 第９号墓（西から）

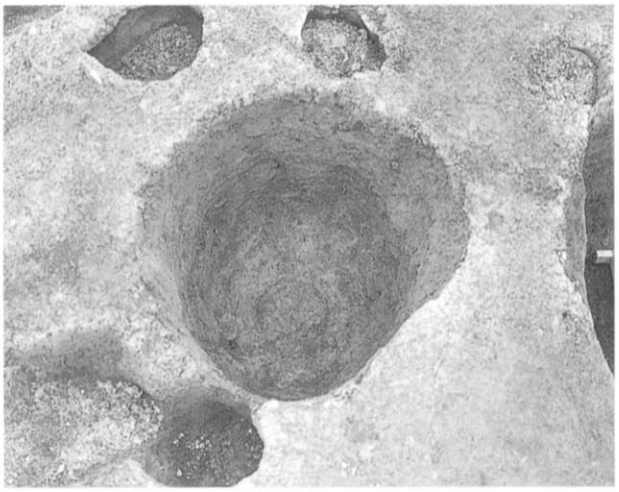
図版55　原田第40号墓地



① 第10号墓（南西から）



② 第11号墓（北西から）



③ 第12号墓（西から）



④ 第13号墓（西から）

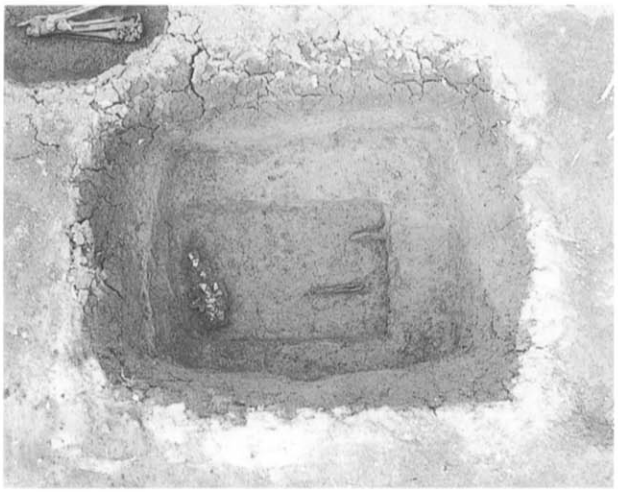


⑤ 第13号墓　正方形木棺跡と石（西から）

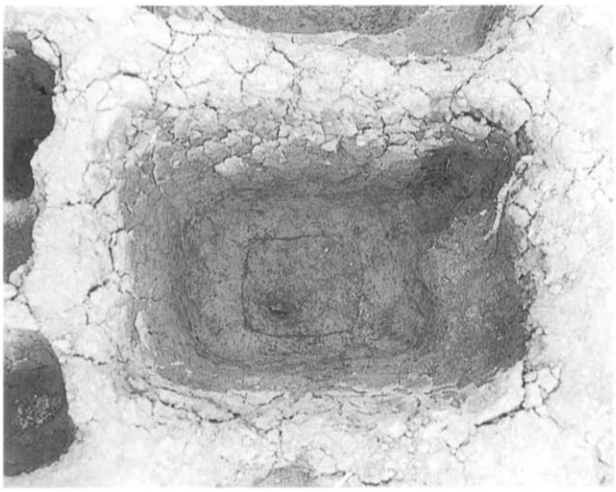


⑥ 第13号墓　石撤去後の状態（西から）

図版56　原田第40号墓地



① 第14号墓（南西から）



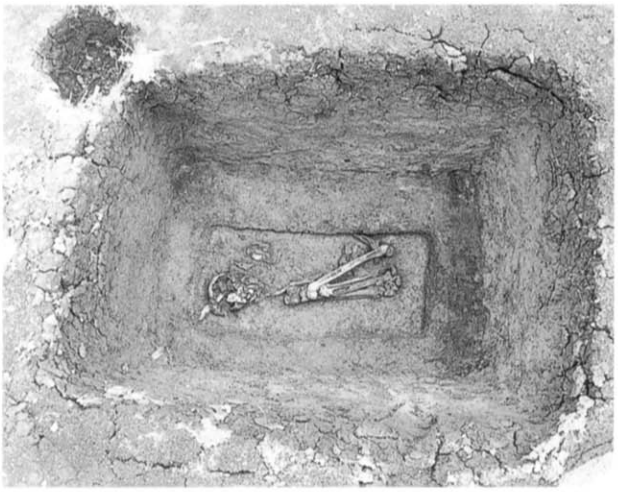
② 第15号墓（西から）



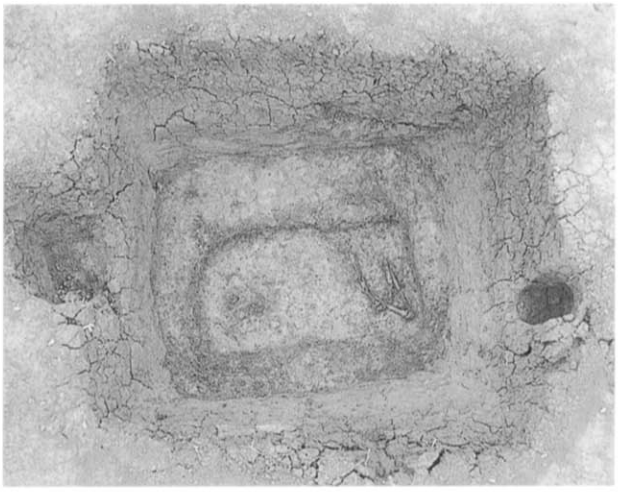
③ 第16号墓（南西から）



④ 第16号墓　短い長方形木棺跡と人骨（南東から）

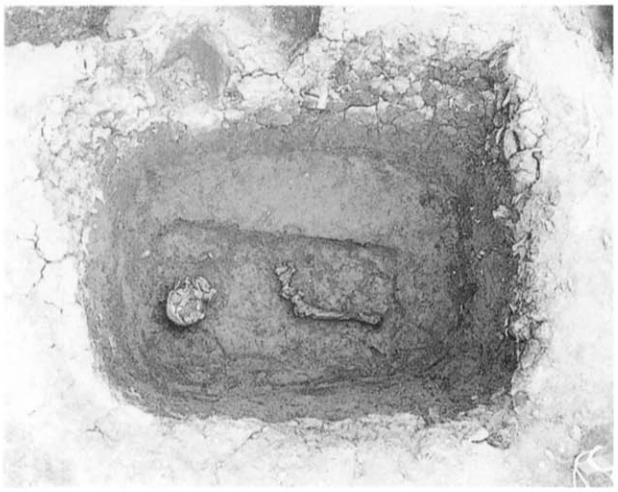


⑤ 第17号墓（西から）



⑥ 第18号墓（南西から）

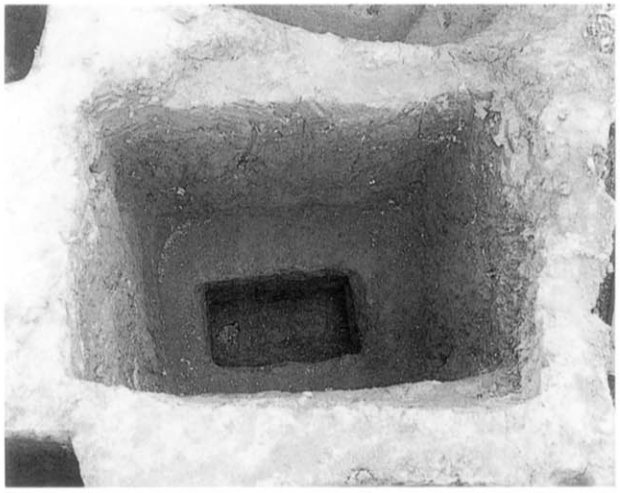
図版57　原田第40号墓地



① 第19号墓（西から）



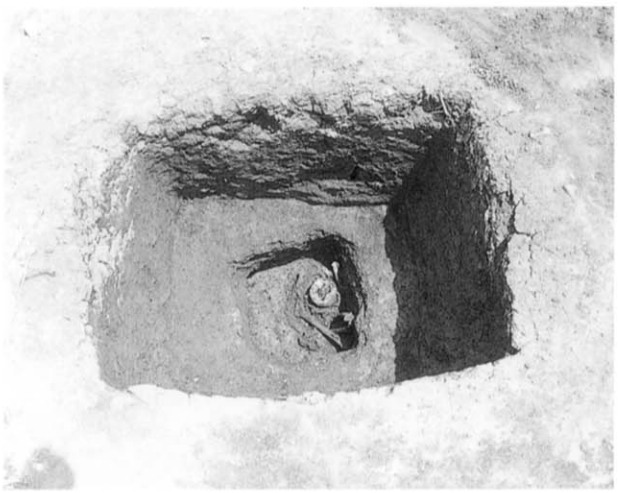
② 第20号墓（西から）



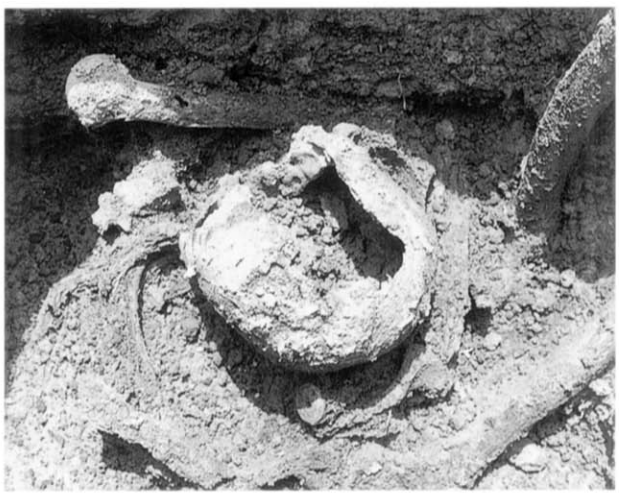
③ 第21号墓（西から）



④ 第21号墓　短い長方形木棺跡と人骨（西から）



⑤ 第22号墓（南西から）

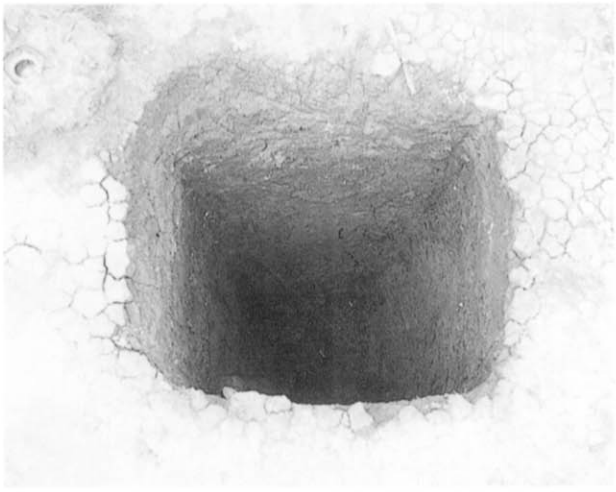


⑥ 第22号墓　棺内副葬品出土状況（北西から）

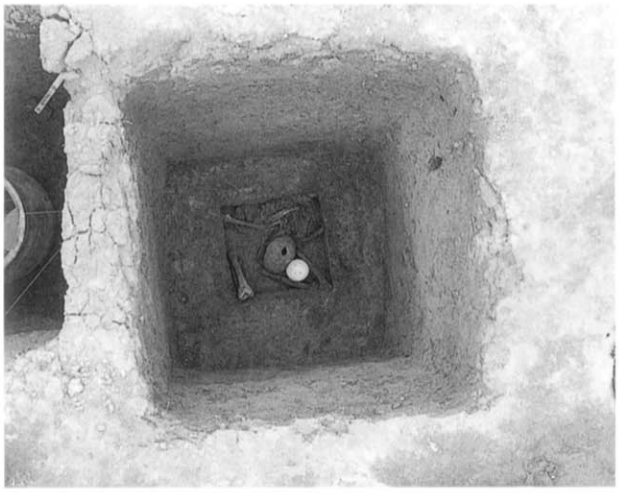
図版58　原田第40号墓地



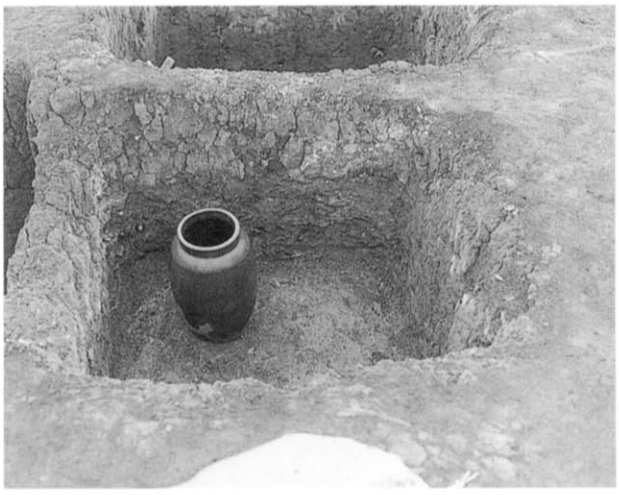
① 第23号墓（南西から）



② 第24号墓（南西から）



③ 第25号墓（南西から）



④ 第25号墓内の第１号壷棺（南西から）



⑤ 第26号墓（西から）



⑥ 第27号墓（南西から）

図版59　原田第40号墓地



①　第27号墓　棺内副葬品出土状況（北東から）



②　第28号墓（南西から）



③　第29号墓（南西から）



④　第29号墓　棺内副葬品出土状況（南西から）



⑤　第30号墓（西から）

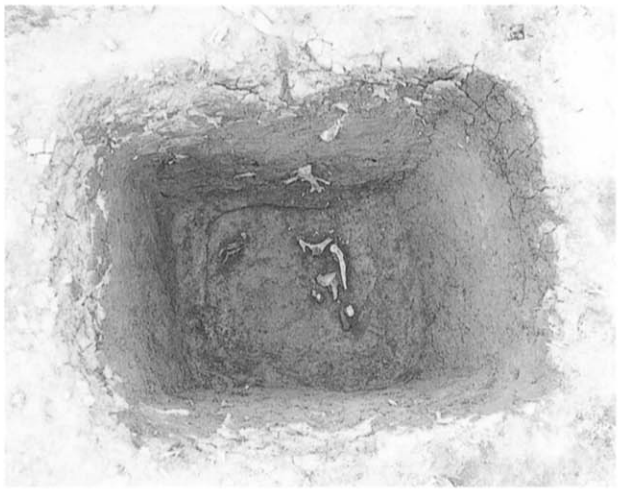


⑥　第31号墓（南西から）

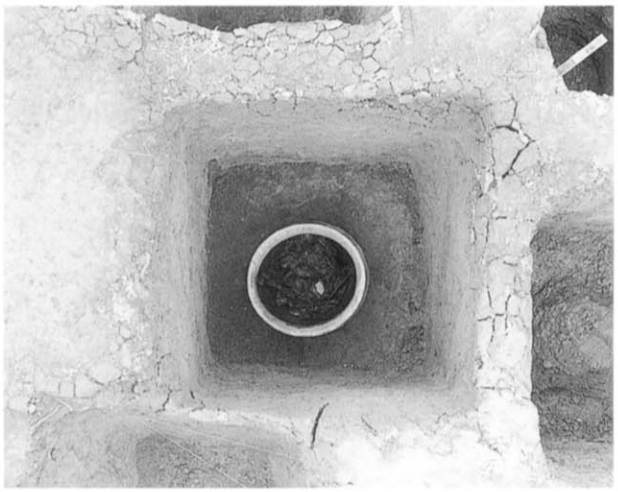
図版60　原田第40号墓地



① 第32号墓（西から）



② 第33号墓（西から）



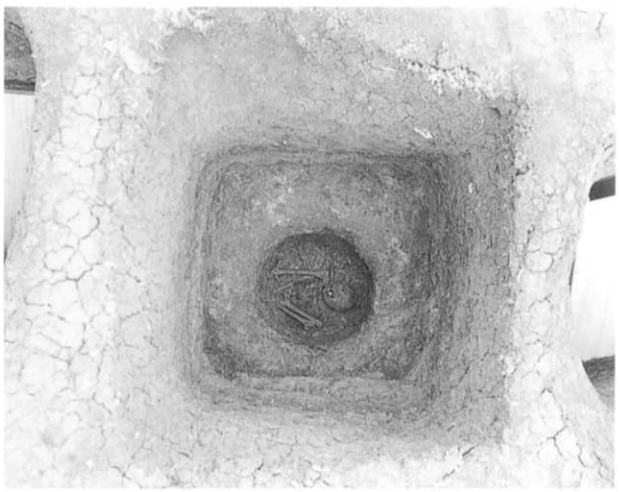
③ 第34号墓（南西から）



④ 第34号墓　甕棺と人骨（南西から）

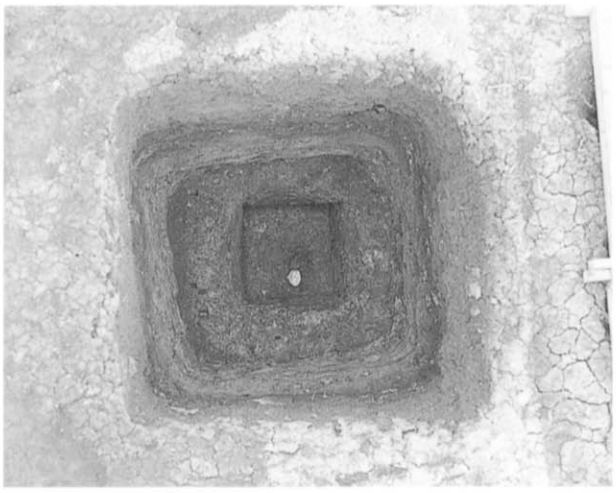


⑤ 第35号墓（西から）

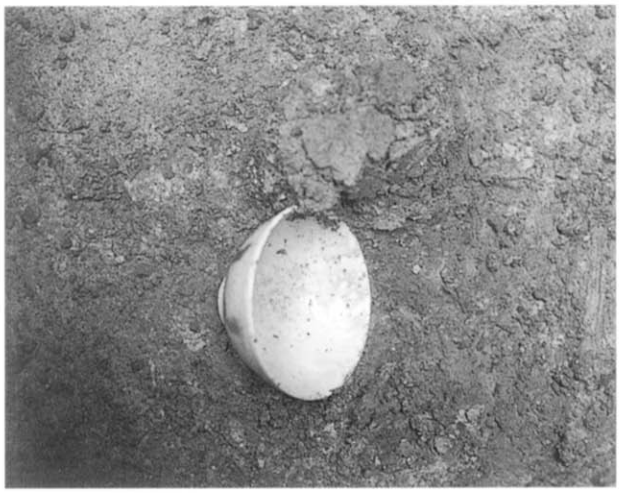


⑥ 第36号墓（南西から）

図版61　原田第40号墓地



①　第37号墓（南西から）



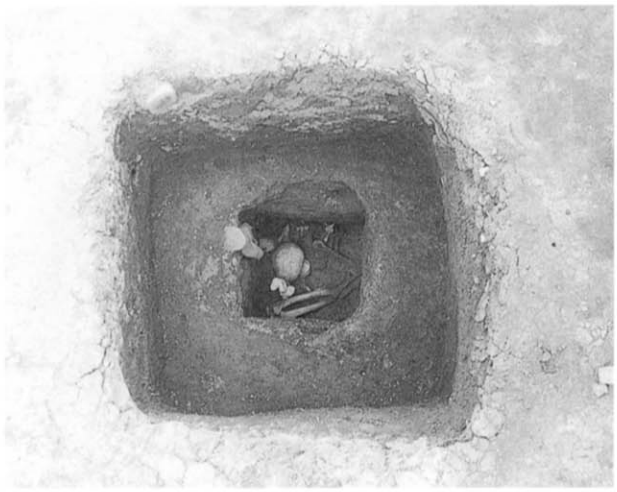
②　第37号墓　棺内副葬品出土状況（南西から）



③　第38号墓（南西から）



④　第38号墓　正方形木棺と人骨・副葬品（南西から）



⑤　第39号墓（西から）



⑥　第39号墓　棺内副葬品出土状況（西から）

図版62　原田第40号墓地



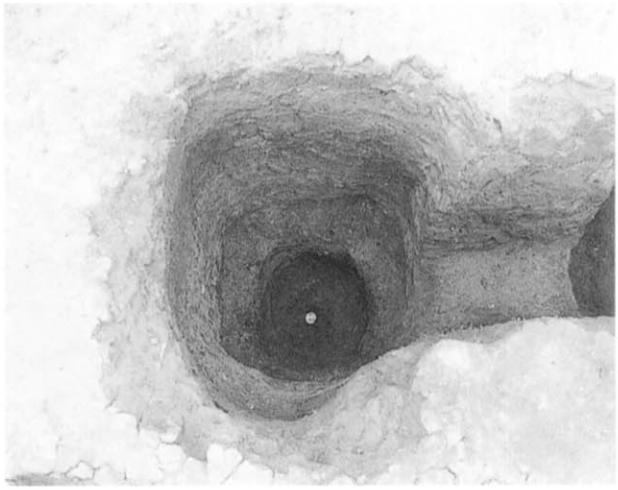
① 第40号墓（南西から）



② 第40号墓　棺内副葬品出土状況（南西から）



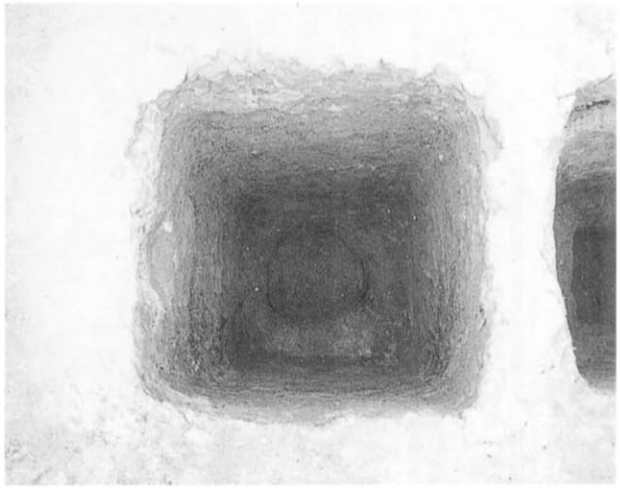
③ 第41号墓（西から）



④ 第42号墓（南西から）

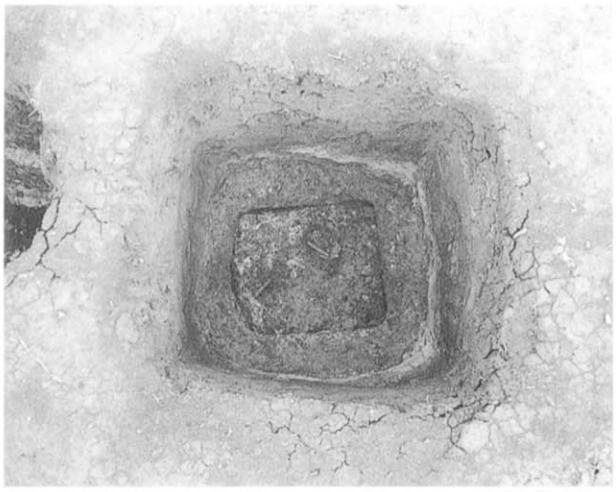


⑤ 第42号墓　棺内副葬品出土状況（南西から）



⑥ 第43号墓（西から）

図版63　原田第40号墓地



① 第44号墓（南西から）



② 第45号墓（西から）



③ 第46号墓（西から）



④ 第46号墓　棺内副葬品出土状況（東から）

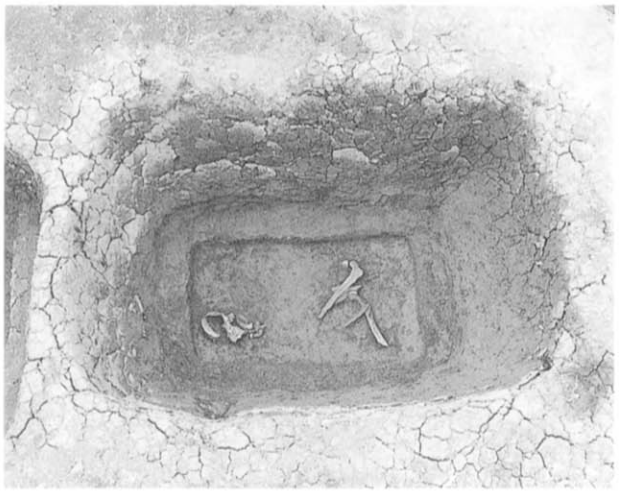


⑤ 第47号墓（南西から）

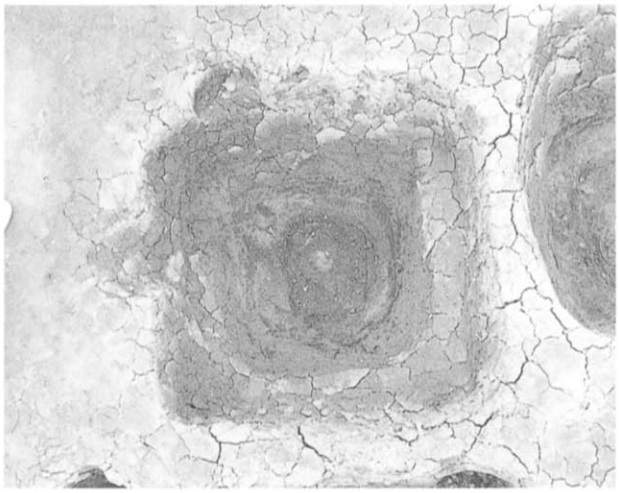


⑥ 第48号墓（西から）

図版64　原田第40号墓地



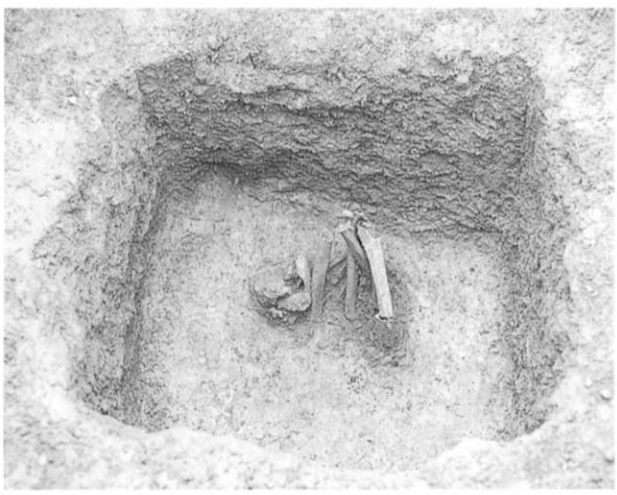
①　第49号墓（西から）



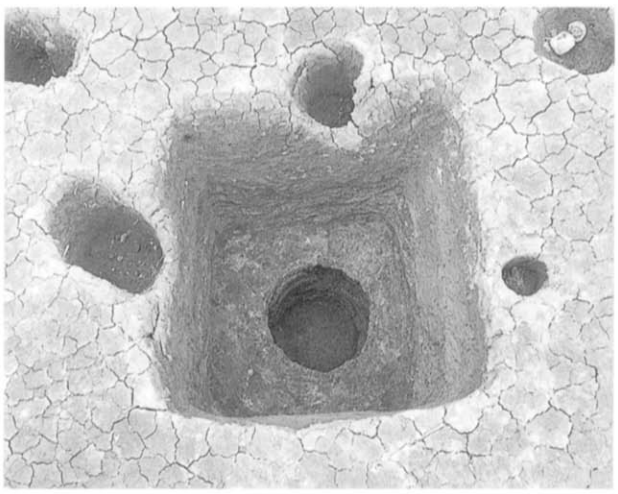
②　第50号墓（西から）



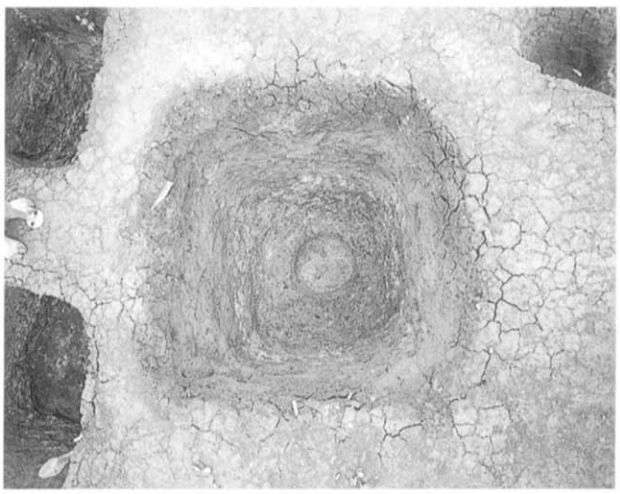
③　第52号墓（西から）



④　第52号墓　正方形木棺跡と人骨（東から）

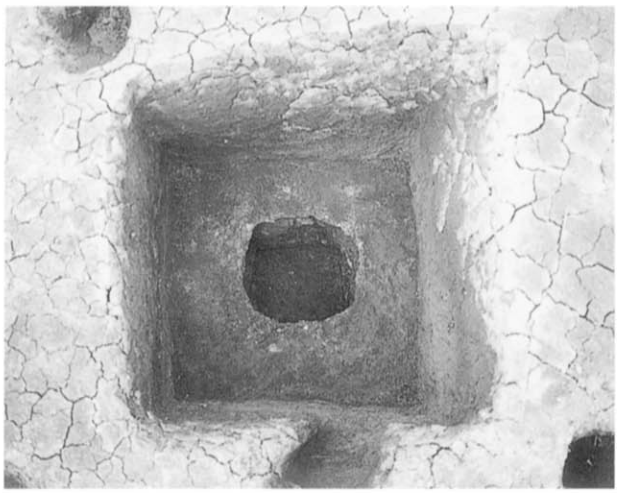


⑤　第53号墓（南西から）



⑥　第54号墓（西から）

図版65　原田第40号墓地



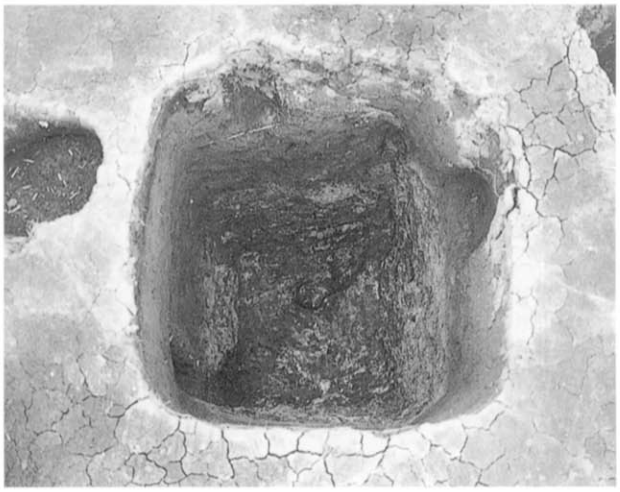
① 第55号墓（西から）



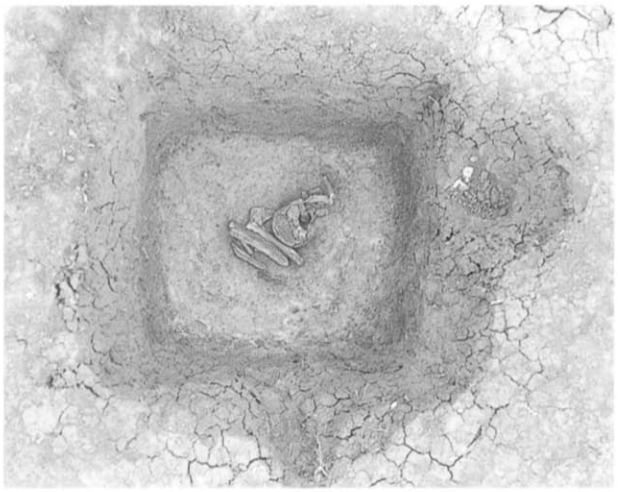
② 第56号墓（西から）



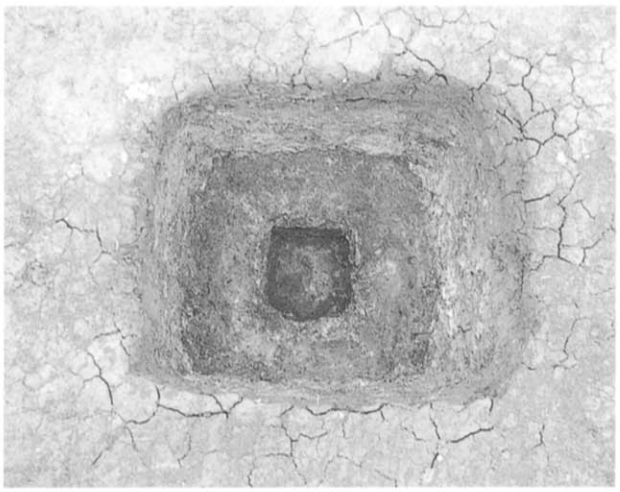
③ 第57号墓（南西から）



④ 第58号墓（西から）



⑤ 第59号墓（南西から）



⑥ 第60号墓（南西から）

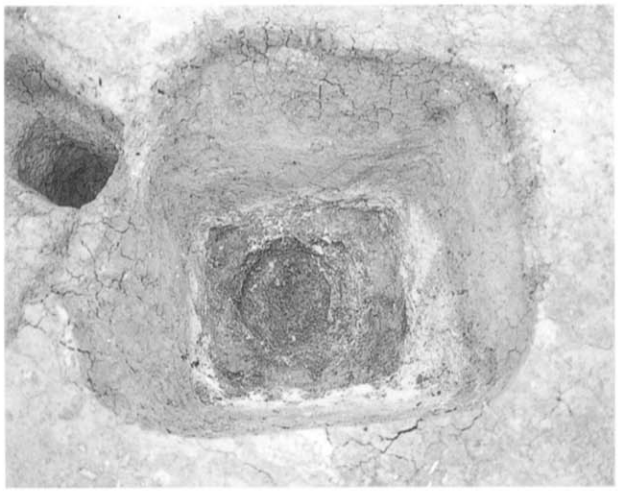
図版66　原田第40号墓地



① 第61号墓（西から）



② 第61号墓　棺内副葬品出土状況（南西から）



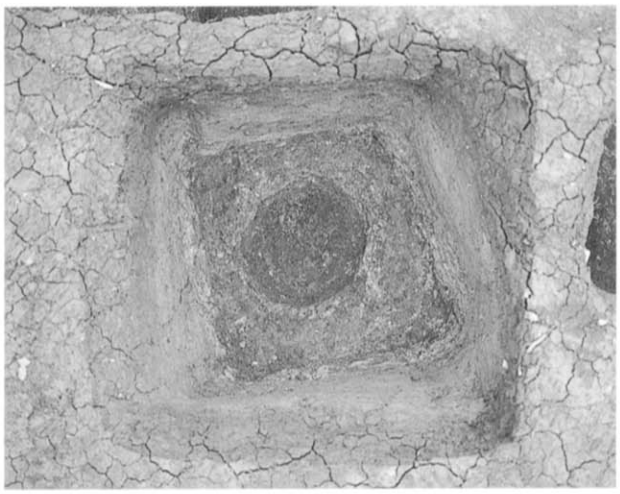
③ 第62号墓（西から）



④ 第63号墓（南西から）

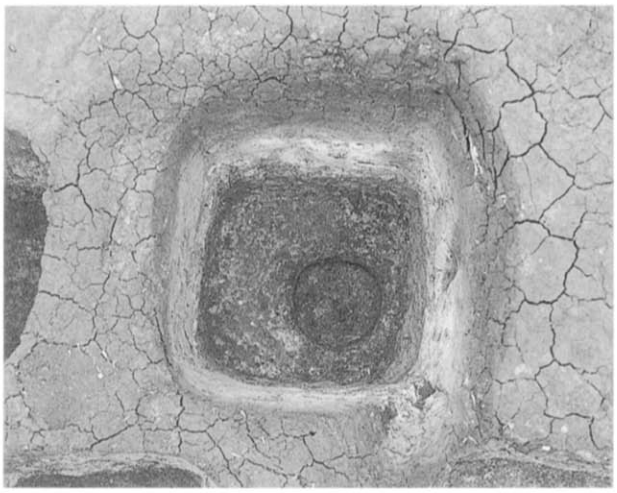


⑤ 第64号墓（西から）

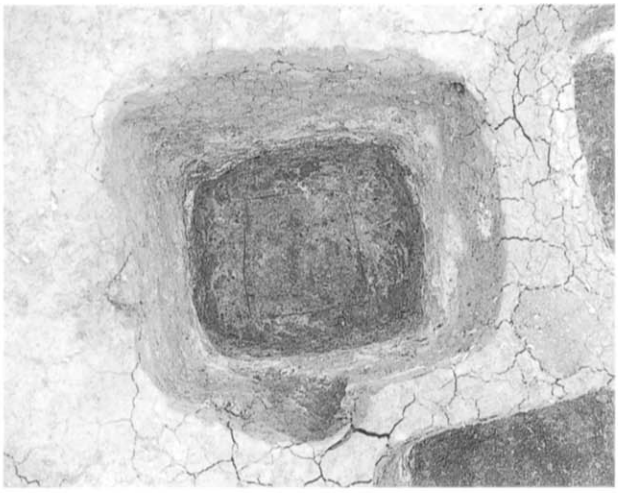


⑥ 第65号墓（南西から）

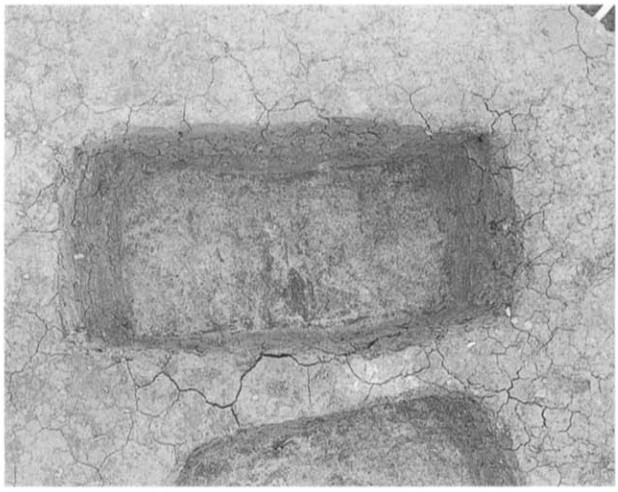
図版67　原田第40号墓地



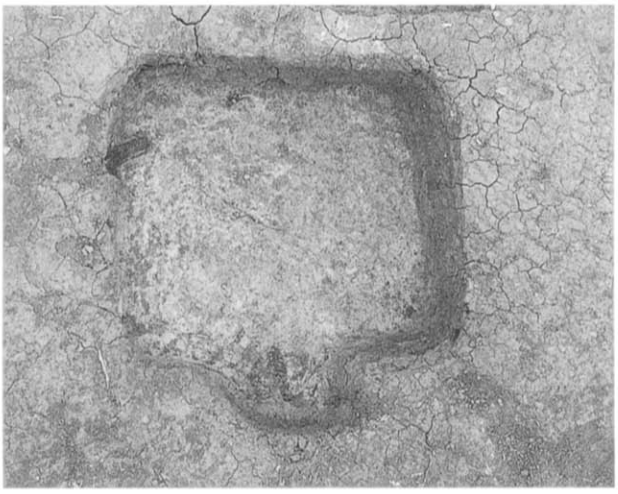
①　第66号墓（西から）



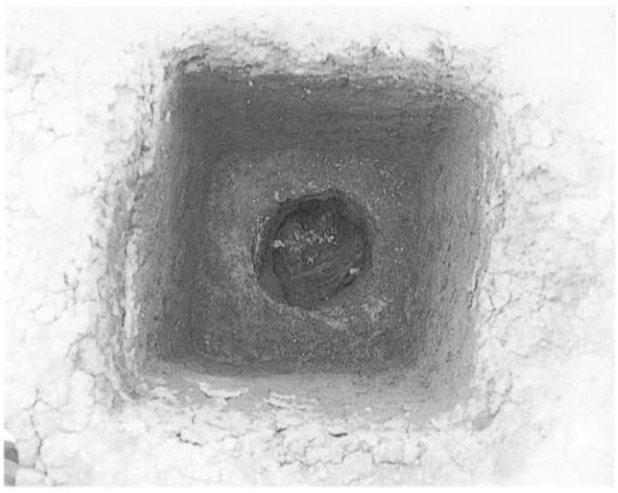
②　第67号墓（西から）



③　第68号墓（西から）



④　第69号墓（西から）



⑤　第71号墓（南西から）



⑥　第71号墓　棺内釘出土状況（南西から）

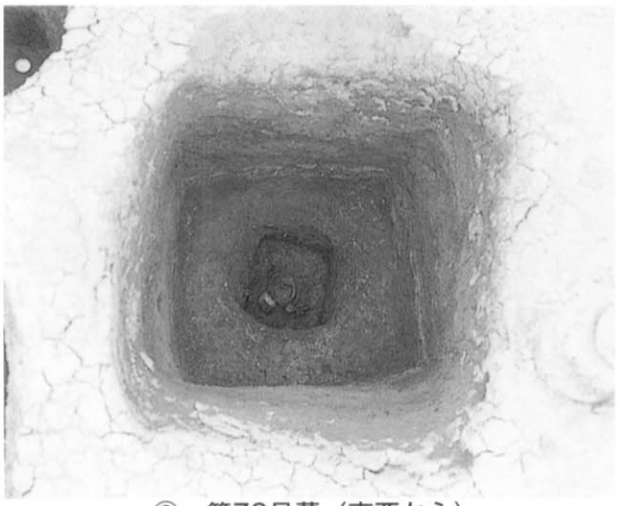
図版68　原田第40号墓地



① 第72号墓（南西から）



② 第72号墓　棺内副葬品出土状況（南西から）



③ 第73号墓（南西から）



④ 第73号墓　棺内副葬品出土状況（南西から）

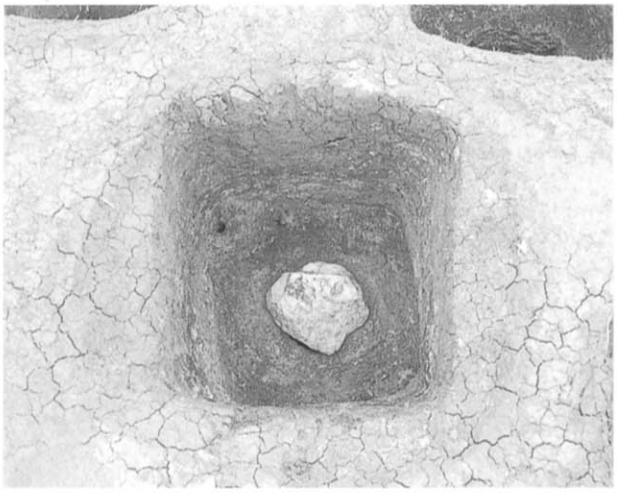


⑤ 第74号墓（南西から）

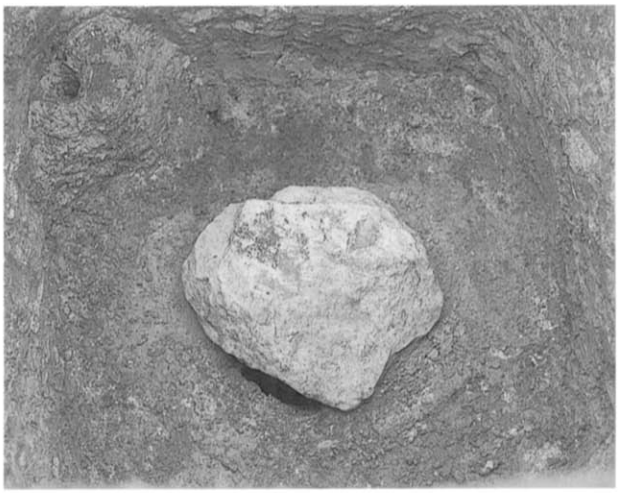


⑥ 第74号墓　棺内副葬品出土状況（南西から）

図版69　原田第40号墓地



① 第75号墓（南西から）



② 第75号墓　甕棺木蓋の押さえ石（南西から）



③ 第75号墓　押さえ石撤去後（南西から）



④ 第75号墓　押さえ石撤去後の甕棺（南西から）

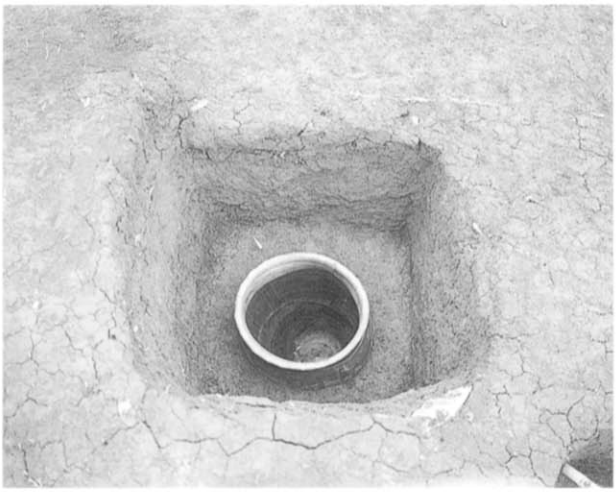


⑤ 第75号墓　甕棺に残存する木蓋の釘（西から）

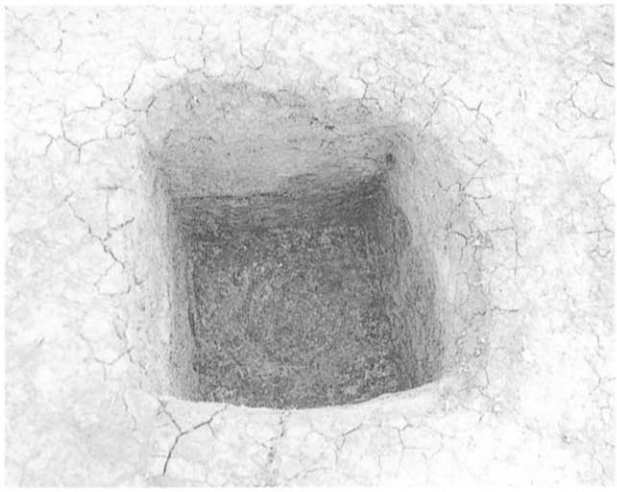


⑥ 第75号墓　棺内副葬品出土状況（南西から）

図版70　原田第40号墓地



① 第76号墓（南西から）



② 第77号墓（南西から）



③ 第78号墓（南西から）



④ 第79号墓（南西から）



⑤ 第80号墓（南西から）



⑥ 第81号墓（西から）

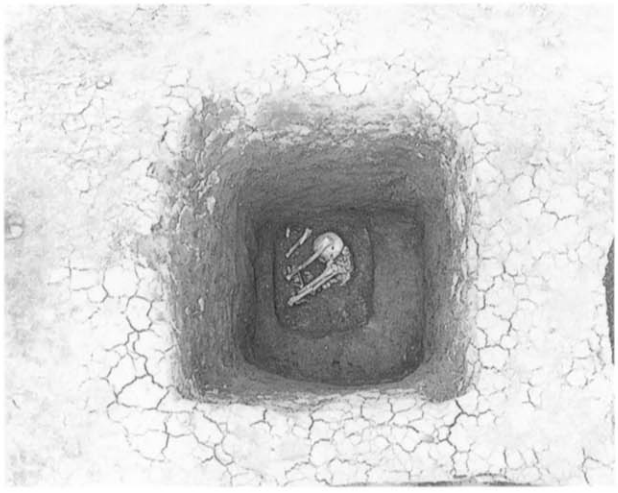
図版71　原田第40号墓地



① 第82号墓（南西から）



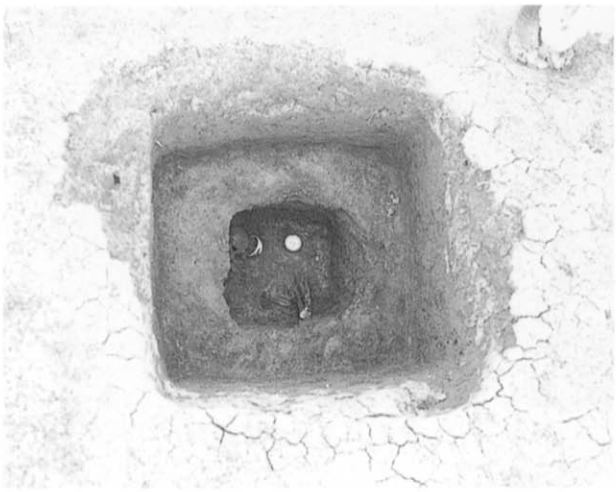
② 第82号墓　副葬品出土状況（南東から）



③ 第83号墓（南西から）



④ 第83号墓　棺内副葬品出土状況（南西から）

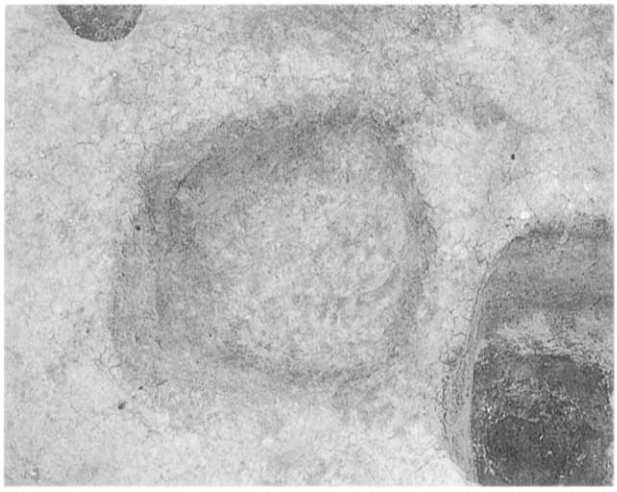


⑤ 第84号墓（南西から）

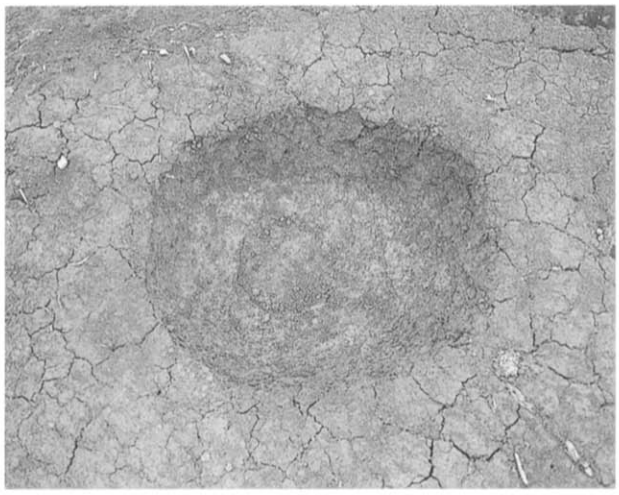


⑥ 第84号墓　棺内副葬品出土状況（南西から）

図版72　原田第40号墓地



① 第85号墓（北から）



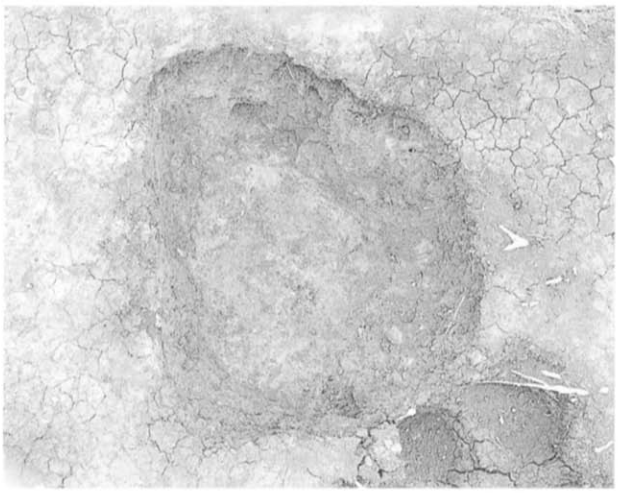
② 第86号墓（西から）



③ 第87号墓（南西から）



④ 第88号墓（西から）



⑤ 第89号墓（南西から）



作業風景（墓壙の発掘）

図版73　原田第40号墓地



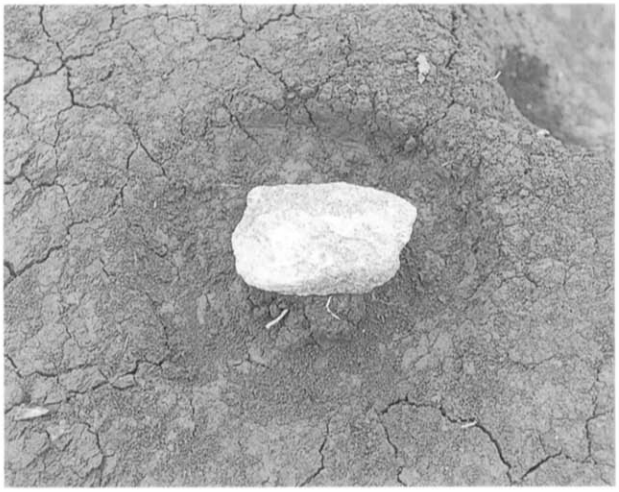
① 第51号墓（東から）



② 第70号墓（南西から）



作業風景（胞衣容器の発掘）



③ 第１号胞衣（？）埋納土壙（西から）



④ 第２号胞衣容器（北東から）



⑤ 第３号胞衣容器（北西から）

図版74　原田第41号墓地



① 墓石現況（真上から）



② 墓壙配置状況（真上から）



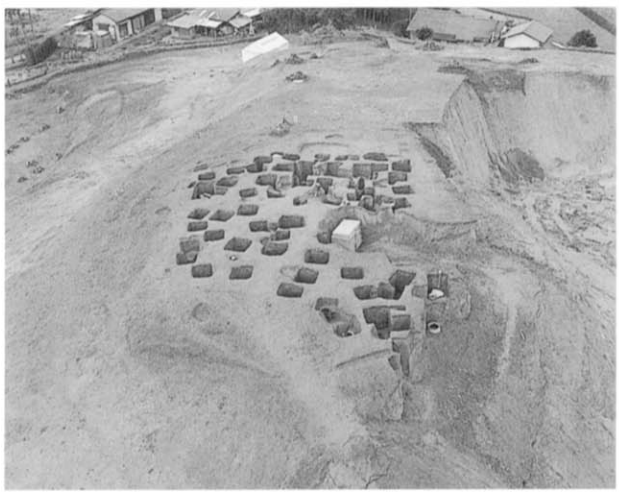
③ 墓石現況（西から）



④ 墓壙配置状況（西から）



⑤ 墓石現況（北から）



⑥ 墓壙配置状況（北から）

図版75　原田第41号墓地



① 墓石現況（東から）



② 墓石現況（南から）



③ 墓石現況（北から）



④ 墓石現況（西から）



⑤ 墓石現況（西から）



⑥ 墓石現況（南西から）

図版76　原田第41号墓地



① 第１号墓石（西から）



② 第２号墓石（南から）



③ 第３号墓石（西から）



④ 第４号墓石（西から）



⑤ 第５号墓石（北から）



⑥ 第６号墓石（西から）

図版77　原田第41号墓地



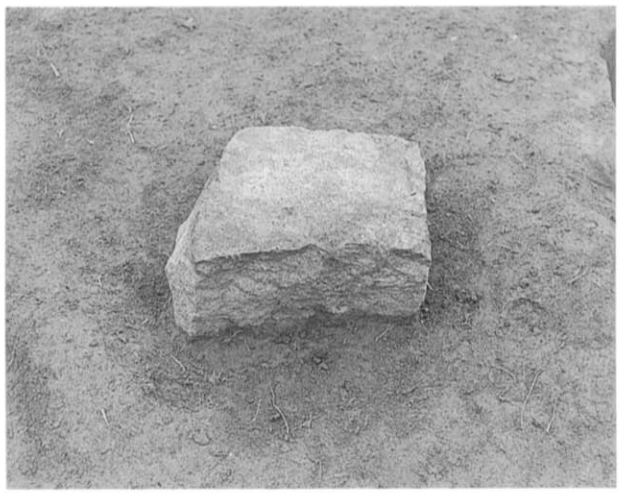
① 第７号墓石（南から）



② 第８号墓石（西から）



③ 第９号墓石（西から）



④ 第10号墓石（西から）

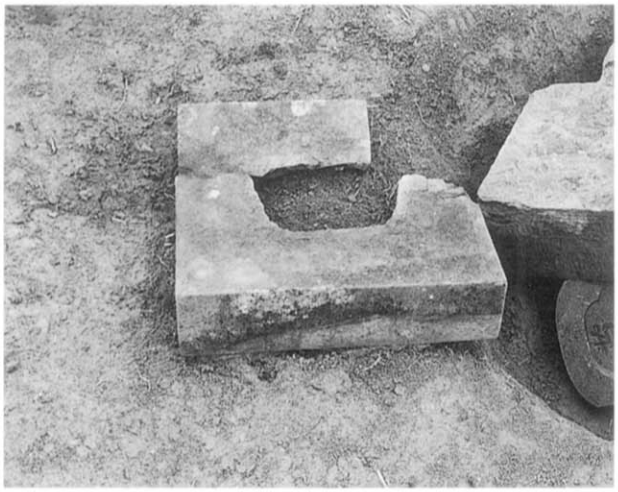


⑤ 第11号墓石（西から）



⑥ 第12号墓石（西から）

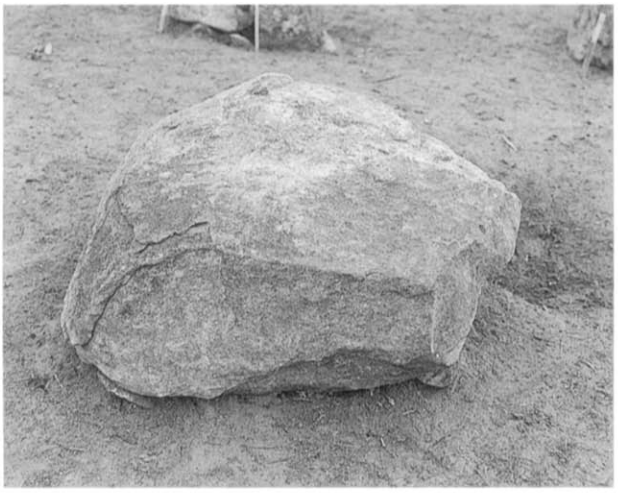
図版78　原田第41号墓地



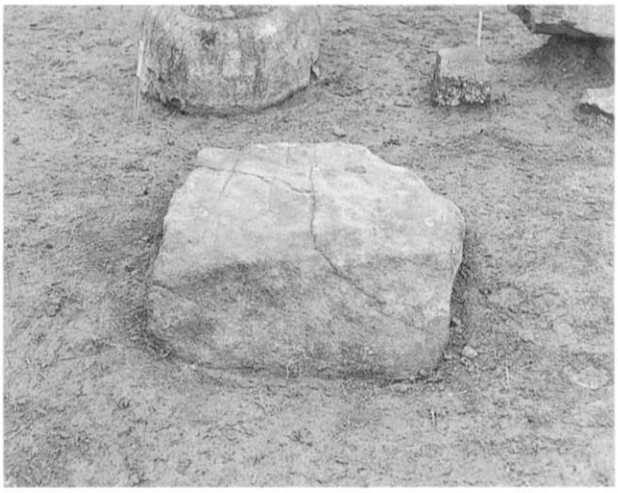
① 第13号墓石（西から）



② 第14号墓石（南から）



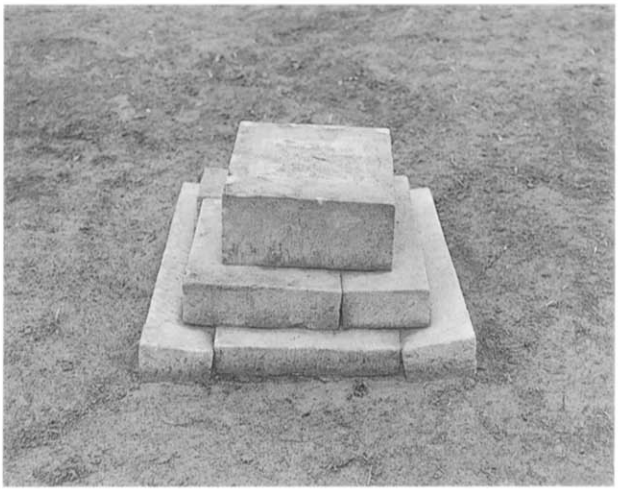
③ 第15号墓石（南から）



④ 第16号墓石（南から）

⑤ 第17号墓石（西から）





⑥ 第18号墓石（西から）

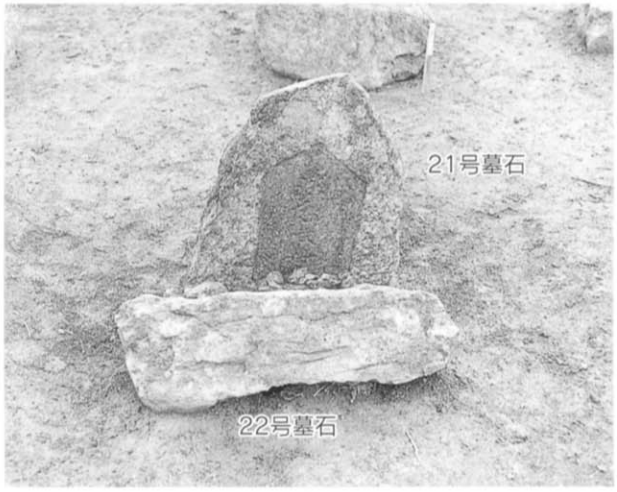
図版79　原田第41号墓地



① 第19号墓石（西から）



② 第20号墓石（西から）



③ 第21・22号墓石（西から）



④ 第23号墓石（西から）



⑤ 第24号墓石（西から）



⑥ 第25号墓石（南から）

図版80　原田第41号墓地



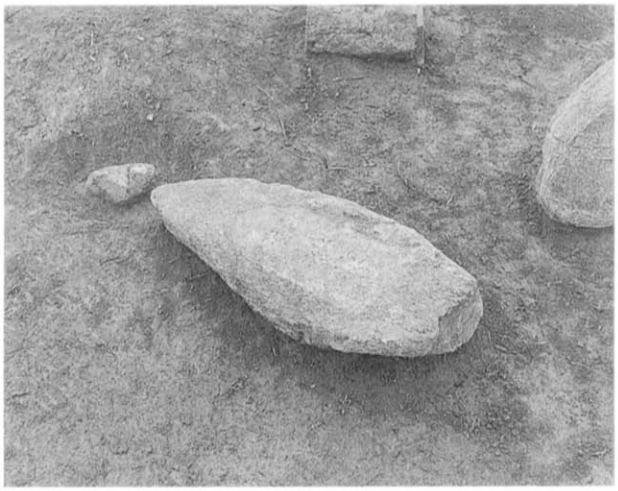
① 第26号墓石（西から）



② 第27号墓石（西から）



③ 第28号墓石（西から）



④ 第30号墓石（西から）



⑤ 第29号墓石（北から）



⑥ 第29号墓石（西から）

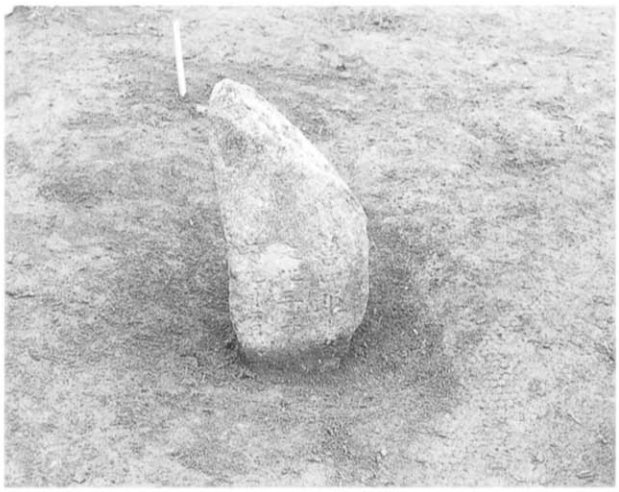


⑦ 第29号墓石（南から）

図版81　原田第41号墓地



① 第31号墓石（西から）



② 第31号墓石（南から）



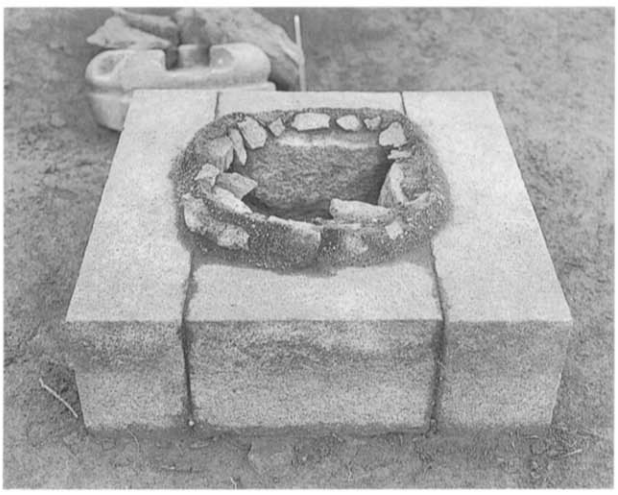
③ 第32号墓石（北から）



④ 第33号墓石（西から）



⑤ 第34号墓石（西から）



⑥ 第35号墓石（北から）

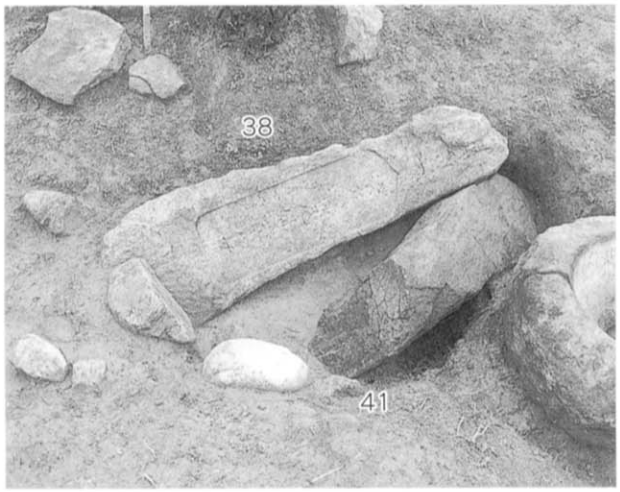
図版82　原田第41号墓地



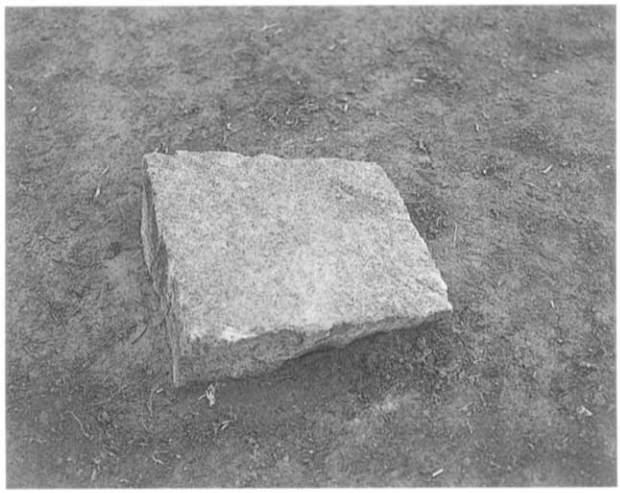
① 第36号墓石（西から）



② 第37号墓石（南から）



③ 第38・41号墓石（西から）



④ 第39号墓石（西から）

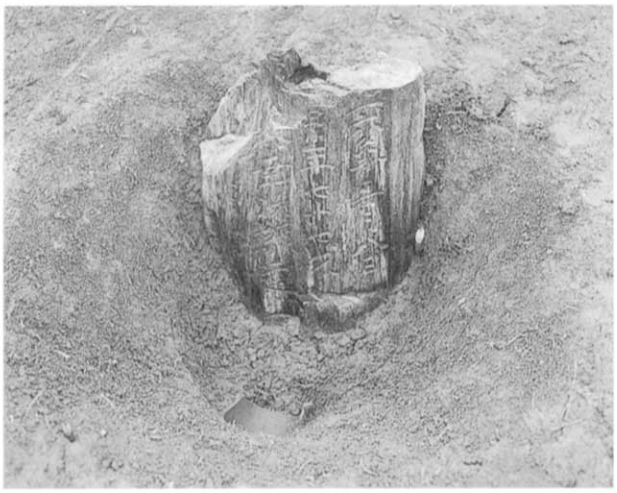


⑤ 第40号墓石（西から）



⑥ 第42号墓石（西から）

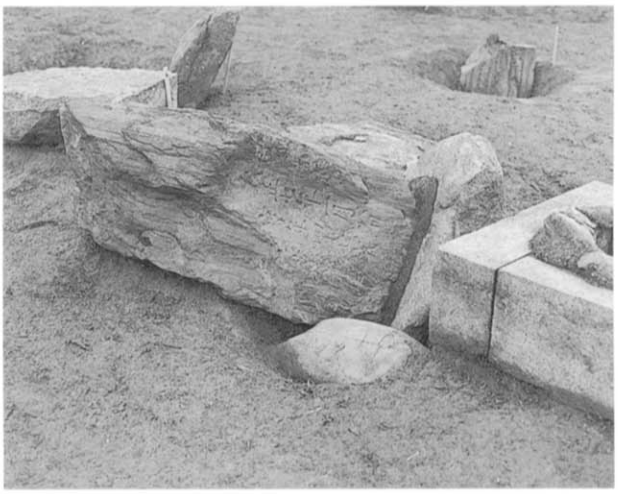
図版83　原田第41号墓地



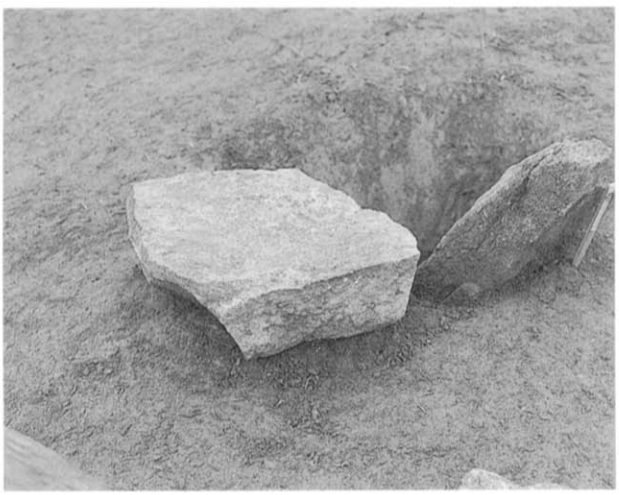
① 第43号墓石（北西から）



② 第44号墓石（南から）



③ 第45号墓石（北西から）



④ 第46号墓石（西から）



⑤ 第47号墓石（北東から）



⑥ 第48号墓石（西から）

図版84　原田第41号墓地



① 第49号墓石（南から）



② 第50号墓石（南西から）



③ 第51号墓石（西から）



④ 第52号墓石（西から）



⑤ 第54号墓石（南東から）



⑥ 第55号墓石（南から）

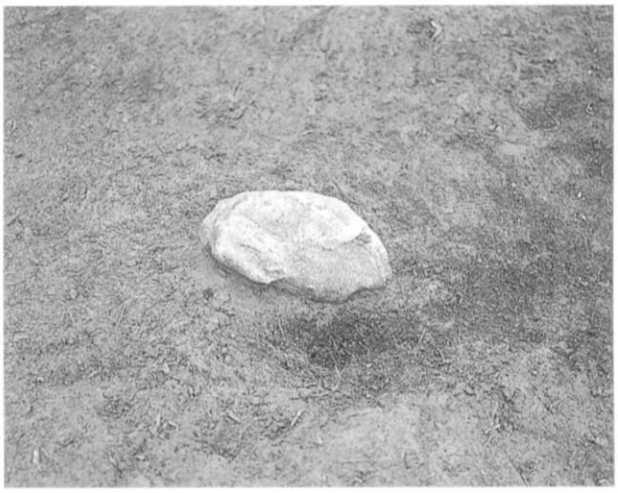
図版85　原田第41号墓地



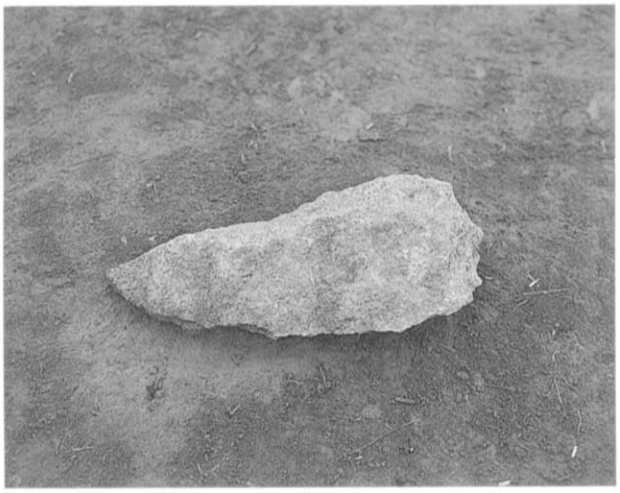
① 第56号墓石（西から）



② 第57号墓石（北から）



③ 第58号墓石（西から）



④ 第59号墓石（西から）

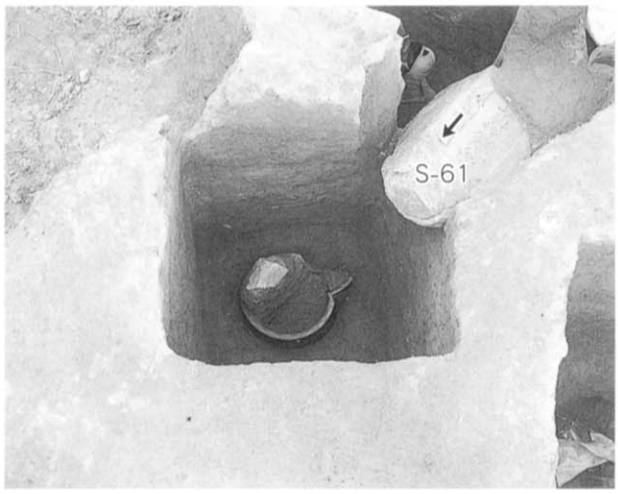


⑤ 第60号墓石（南から）

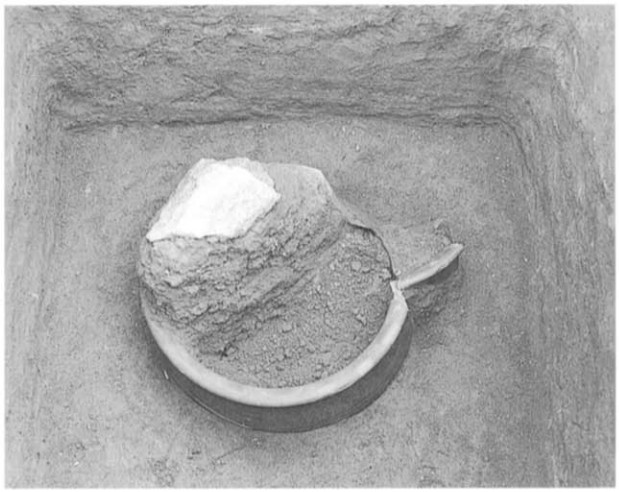


作業風景（雪の中での遺構検出）

図版86　原田第41号墓地



①　第１号墓と改葬壙（南西から）



②　第１号墓　甕棺と蓋押さえ石（南西から）



③　第１号墓　甕棺と人骨（南西から）



④　第１号墓　棺内副葬品出土状況（南西から）

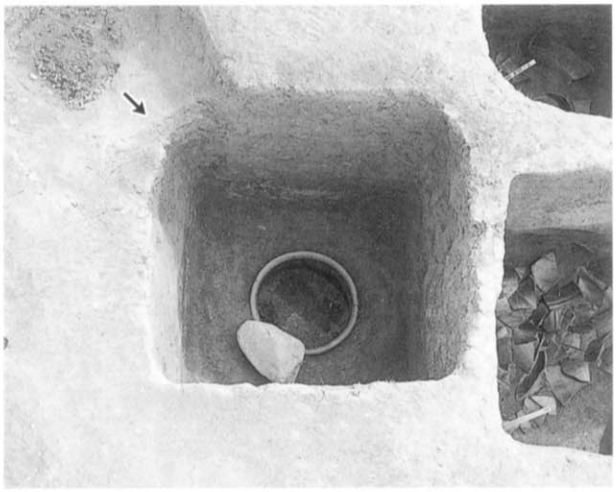


⑤　第２号墓（南西から）



⑥　第２号墓　人骨出土状態（南西から）

図版87　原田第41号墓地



① 第３号墓と改葬壙（西から）



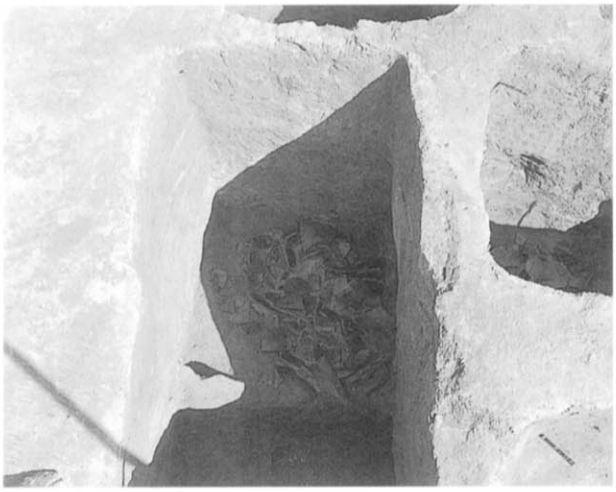
② 第３号墓　甕棺と蓋押さえ石（西から）



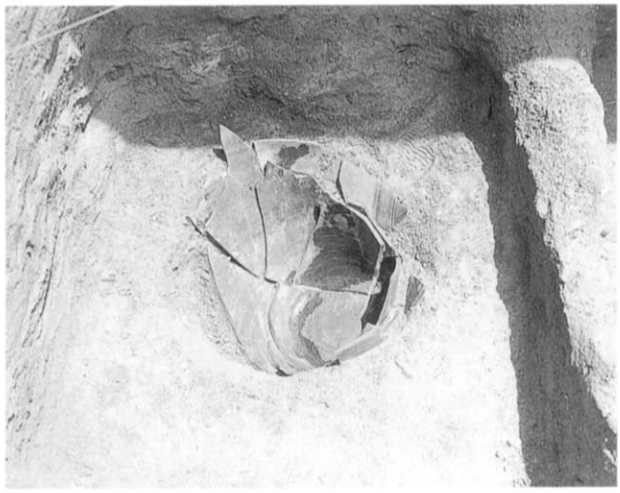
③ 第３号墓　甕棺と人骨（西から）



④ 第4・66号墓（西から）



⑤ 第４号墓　甕棺破砕状況（南から）



⑥ 第４号墓　下位甕棺底部出土状況（西から）

図版88　原田第41号墓地



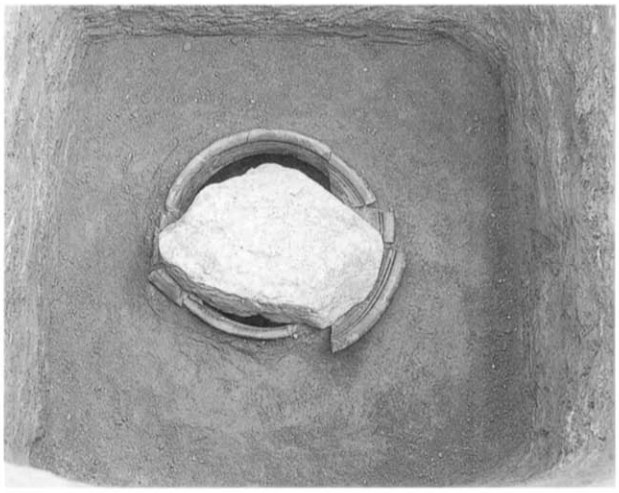
① 第５号墓（西から）



② 第６号墓（西から）



③ 第７号墓（西から）



④ 第７号墓　甕棺と蓋押さえ石（西から）



⑤ 第７号墓　押さえ石撤去後の甕棺（西から）

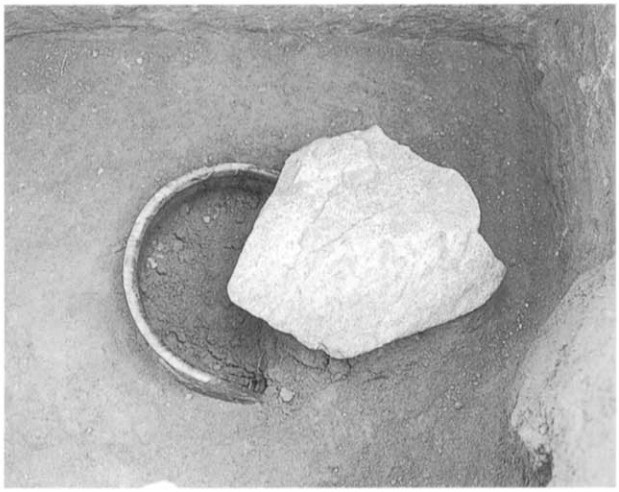


⑥ 第７号墓　甕棺と人骨（西から）

図版89　原田第41号墓地



① 第８号墓と改葬壙（北西から）



② 第８号墓　甕棺と蓋押さえ石（北西から）



③ 第８号墓　甕棺と蓋押さえ石の墨書（北西から）



④ 第８号墓　甕棺と人骨（北西から）

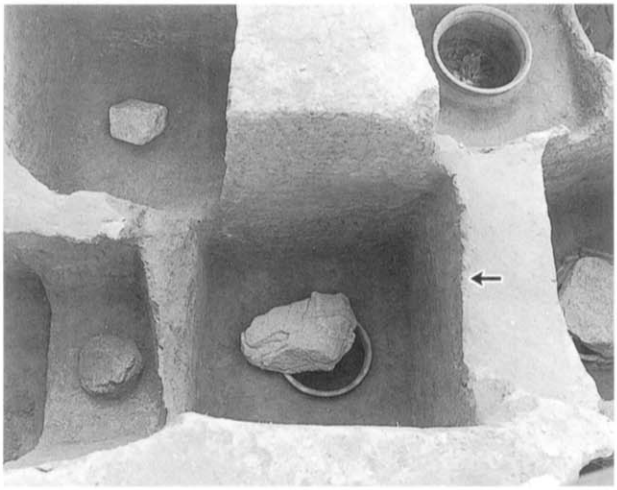


⑤ 第９号墓（西から）

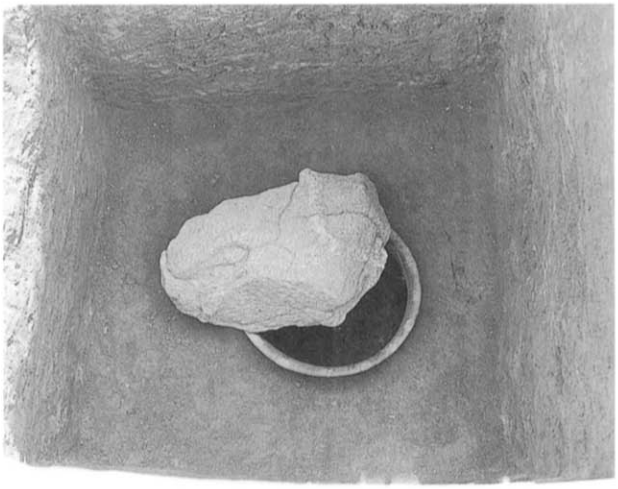


⑥ 第９号墓　甕棺と人骨（西から）

図版90　原田第41号墓地



① 第10号墓と改葬壙（北東から）



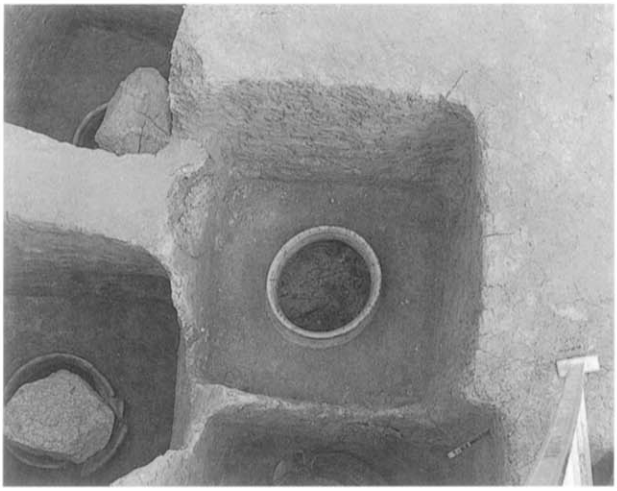
② 第10号墓　甕棺と蓋押さえ石（北東から）



③ 第10号墓　甕棺と人骨（北西から）



作業風景（墓壙の発掘）

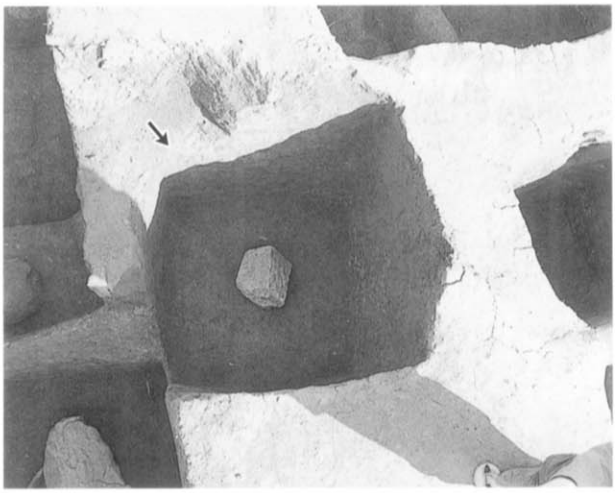


④ 第11号墓と改葬壙（西から）



⑤ 第11号墓　甕棺と人骨（西から）

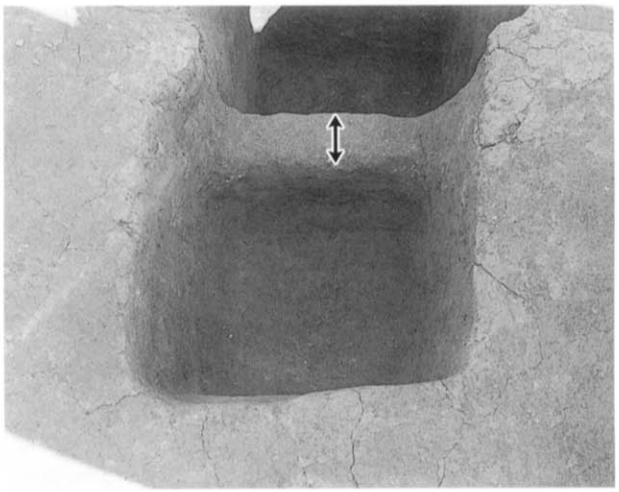
図版91　原田第41号墓地



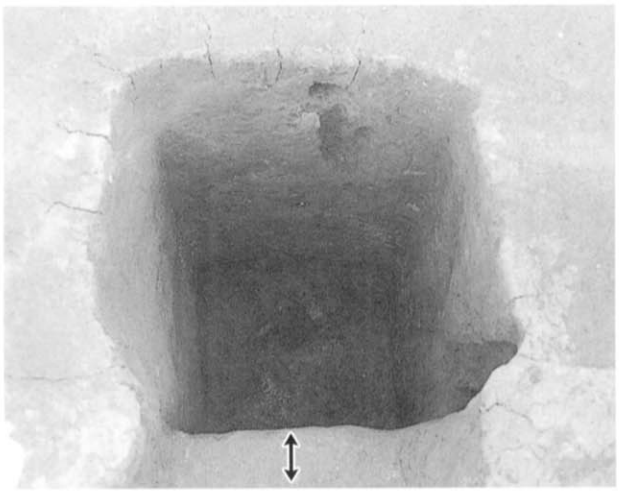
① 第12号墓と改葬壙（北西から）



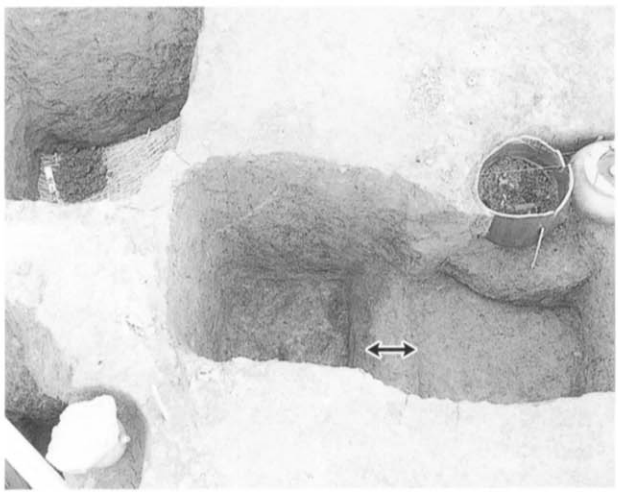
② 第12号墓　正方形木棺跡と人骨（北西から）



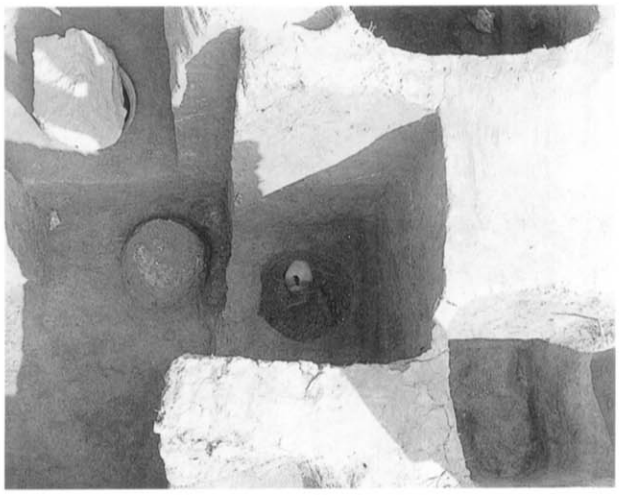
③ 第13号墓と改葬壙（西から）



④ 第14号墓と改葬壙（西から）

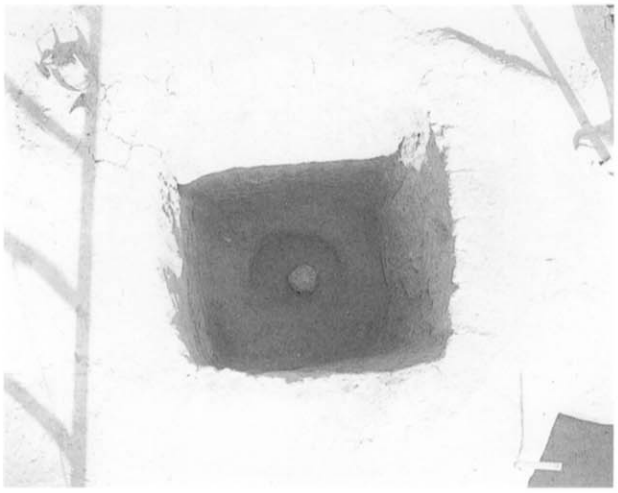


⑤ 第15号墓と改葬壙（西から）



⑥ 第16号墓（西から）

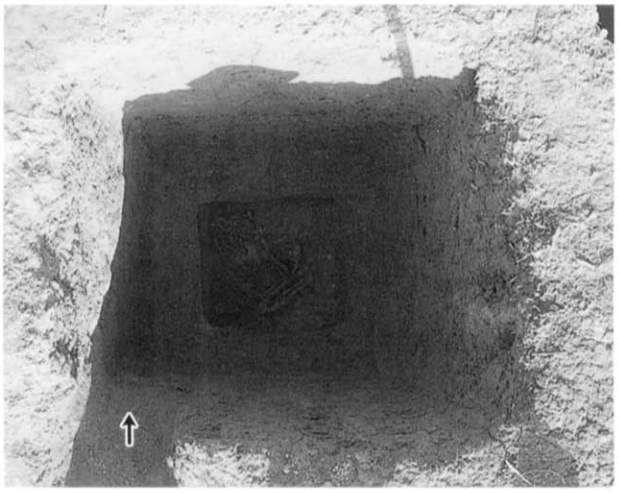
図版92　原田第41号墓地



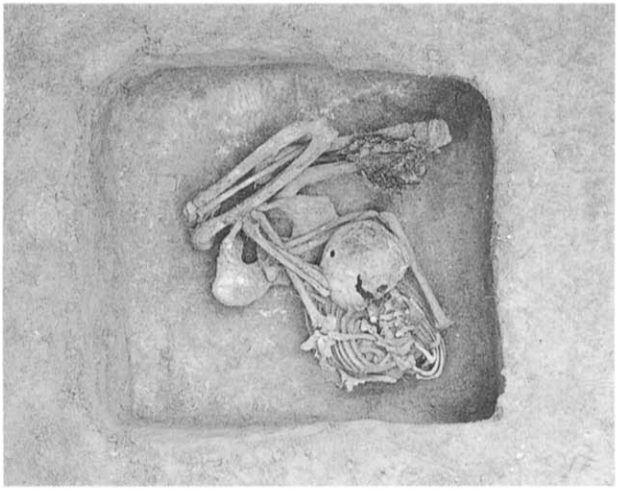
① 第17号墓（南西から）



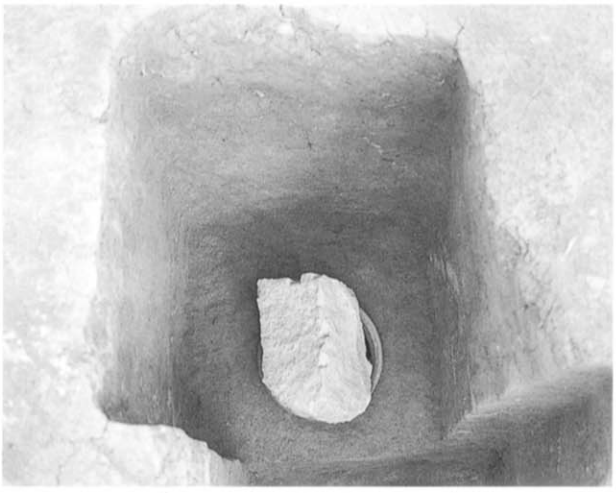
② 第17号墓　副葬品出土状況（南西から）



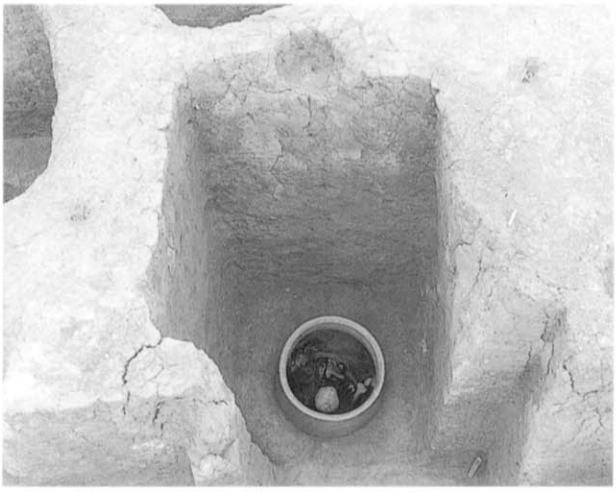
③ 第18号墓と改葬壙（西から）



④ 第18号墓　正方形木棺跡と人骨（西から）

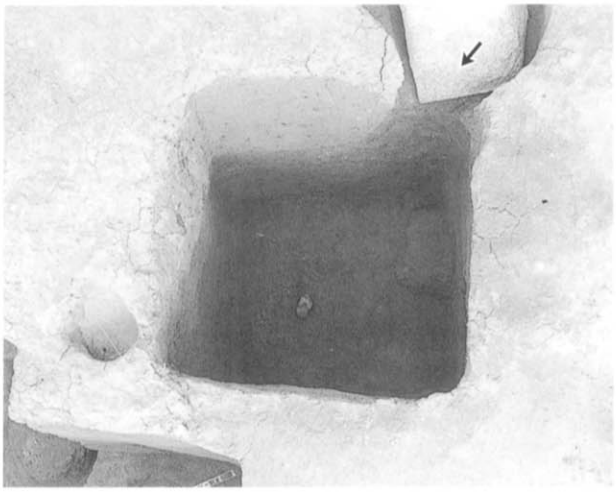


⑤ 第19号墓（北西から）



⑥ 第19号墓　甕棺と人骨（北西から）

図版93　原田第41号墓地



① 第20号墓と改葬壙（西から）



② 第20号墓　人骨出土状況（南から）



③ 第21号墓（西から）



④ 第21号墓　正方形木棺跡と人骨（西から）

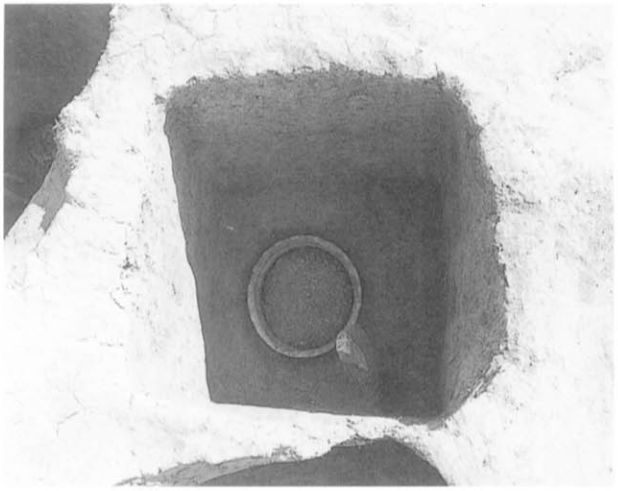


⑤ 第22号墓（南西から）



⑥ 第22号墓　桶棺跡と人骨（南西から）

図版94　原田第41号墓地



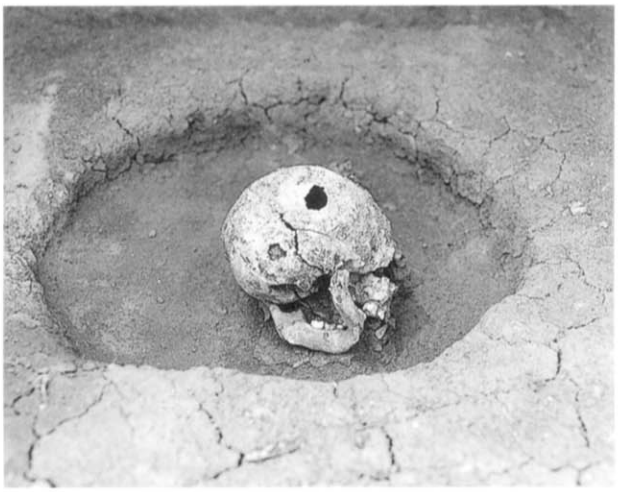
① 第23号墓（南西から）



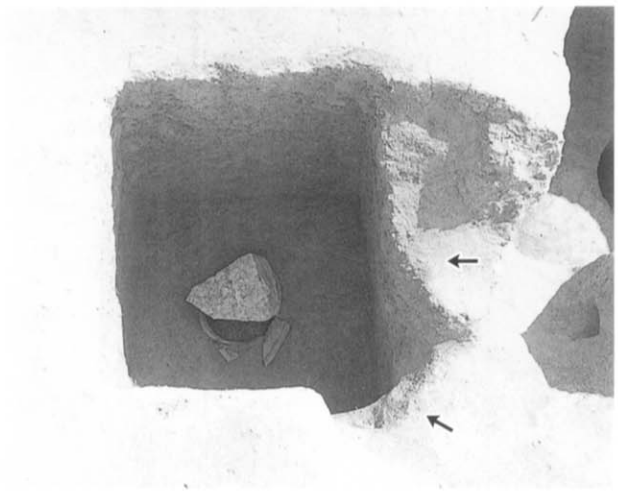
② 第24号墓（北西から）



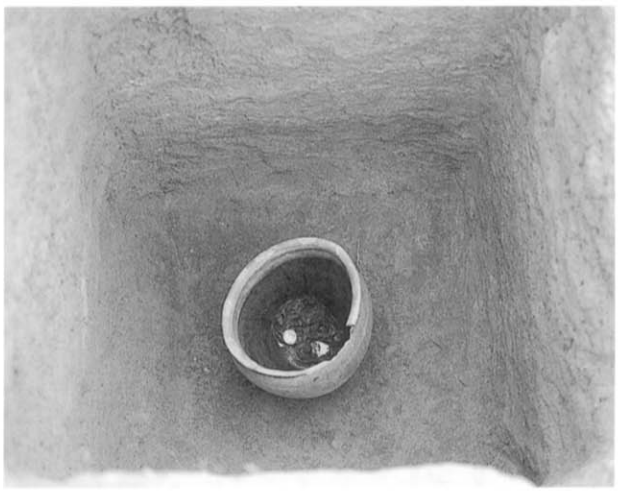
③ 第26号墓（東から）



④ 第26号墓　人骨出土状況（東から）



⑤ 第27号墓と改葬壙（西から）



⑥ 第27号墓　押さえ石撤去後の甕棺（西から）

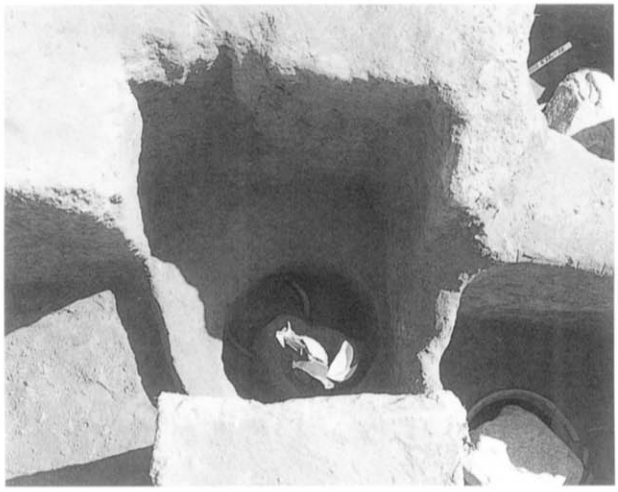
図版95　原田第41号墓地



① 第28号墓と改葬壙（西から）



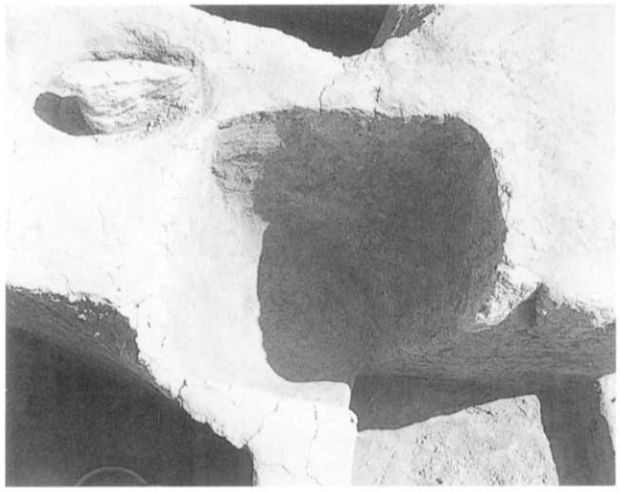
② 第28号墓　副葬品出土状況（東から）



③ 第29号墓と胞衣容器（西から）



④ 第29号墓　甕棺と人骨（西から）

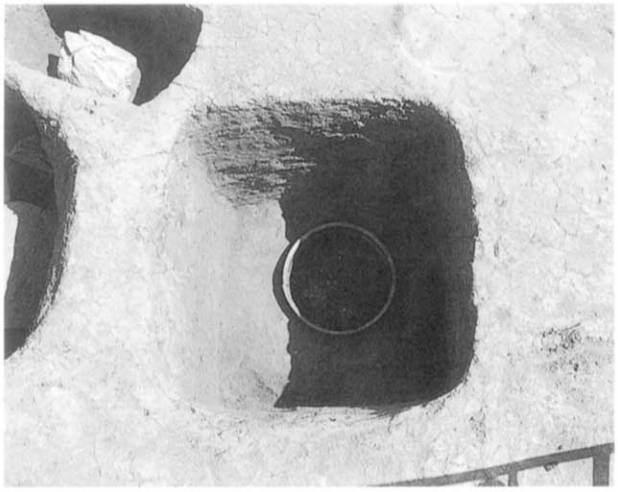


⑤ 第30号墓（西から）



作業風景（墓壙の発掘）

図版96　原田第41号墓地



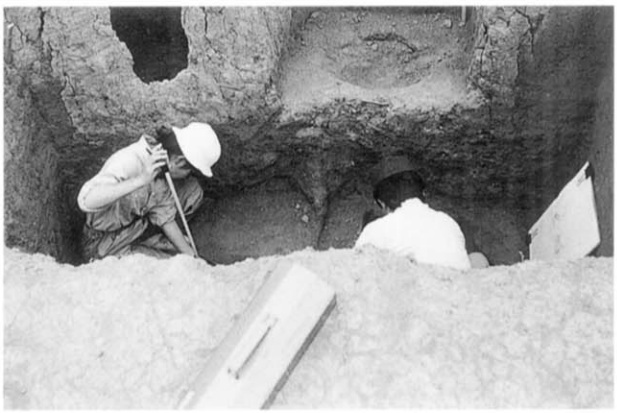
① 第31号墓（南西から）



② 第31号墓　甕棺と人骨（北東から）



③ 第31号墓　棺内足袋はぜ出土状況（西から）



作業風景（人骨の調査）



④ 第33号墓（北西から）

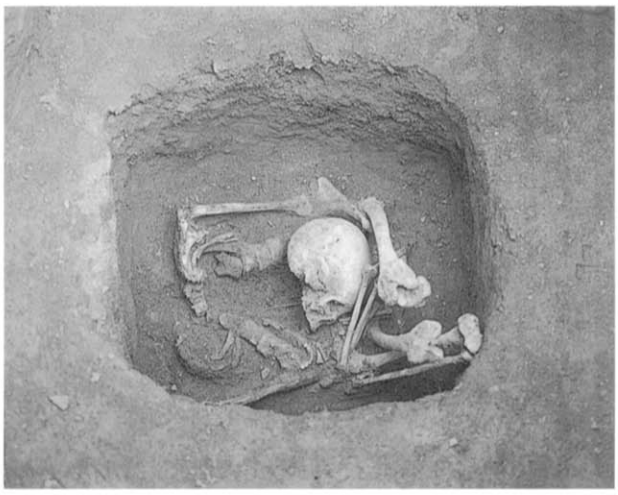


⑤ 第33号墓　正方形木棺跡と人骨（北西から）

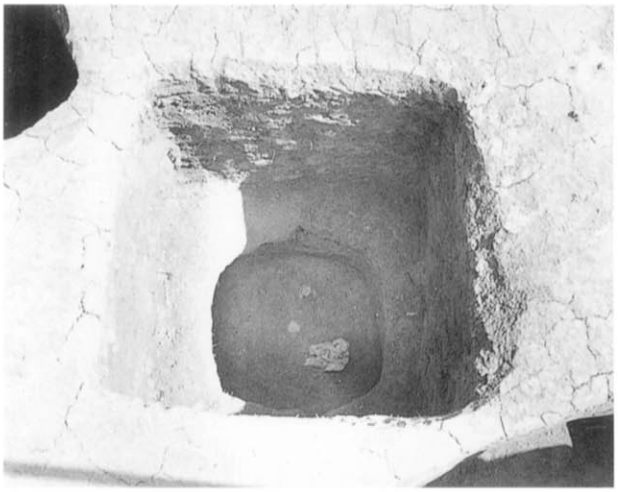
図版97　原田第41号墓地



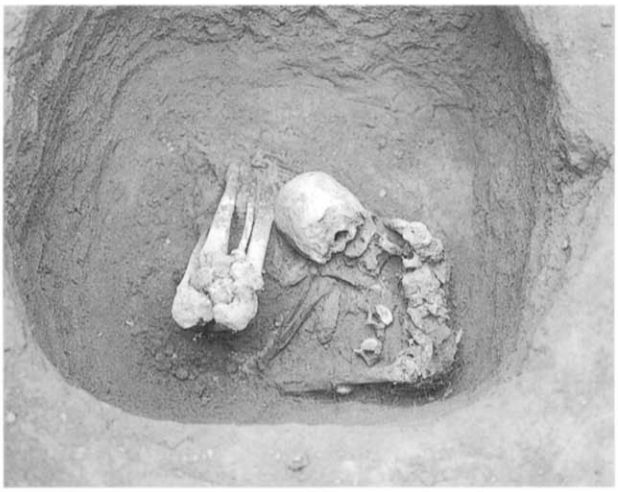
① 第34号墓（西から）



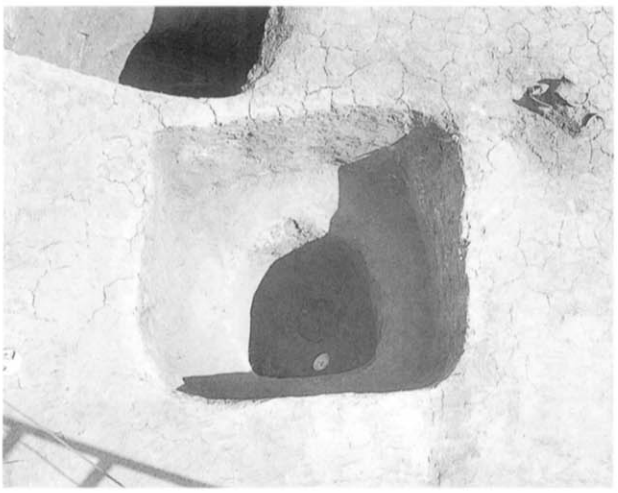
② 第34号墓　正方形木棺跡と人骨（南西から）



③ 第35号墓（北西から）



④ 第35号墓　正方形木棺跡と人骨（南西から）

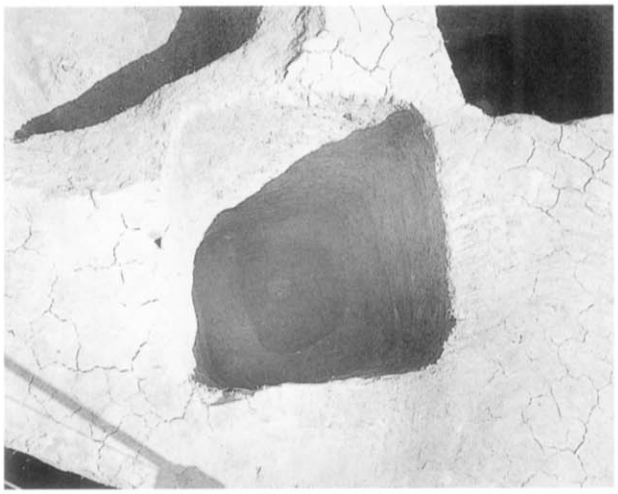


⑤ 第36号墓（西から）

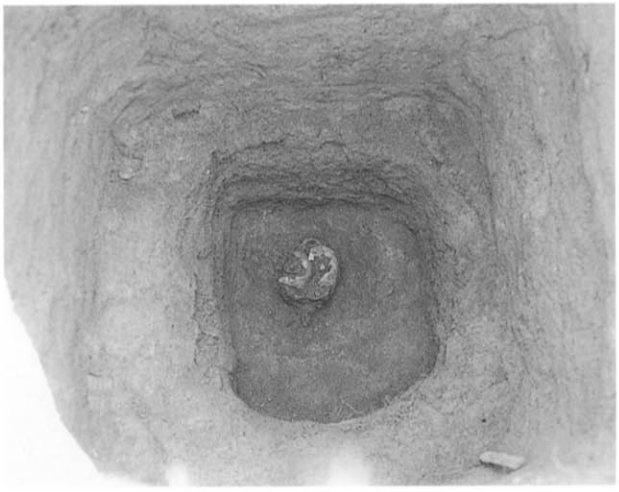


⑥ 第36号墓　正方形木棺跡と人骨（西から）

図版98　原田第41号墓地



① 第37号墓（西から）



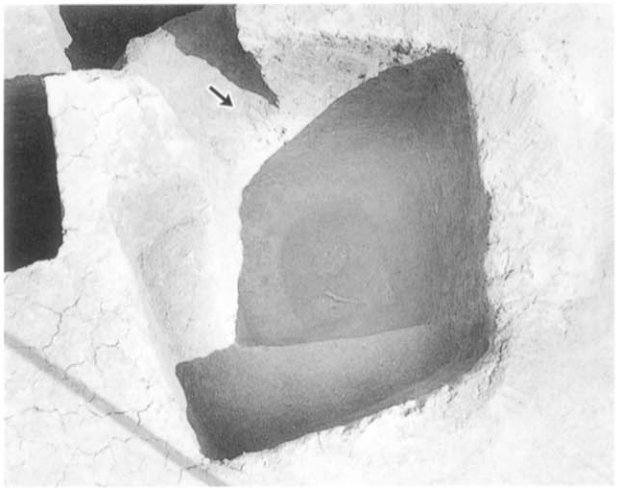
② 第37号墓　人骨出土状況（西から）



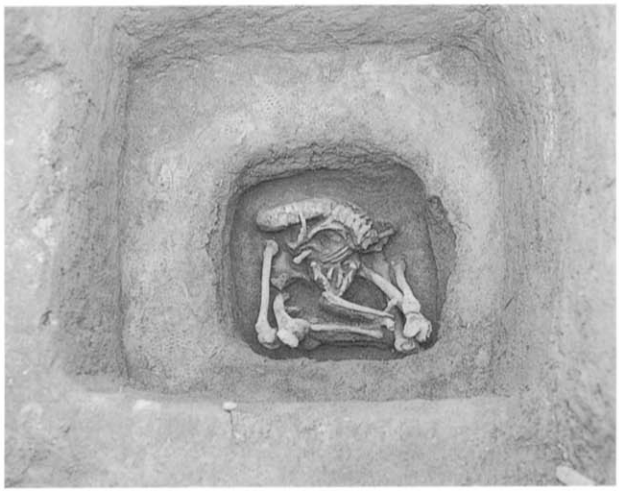
③ 第38号墓（南西から）



④ 第39号墓と改葬壙（北西から）



⑤ 第40号墓と改葬壙（西から）

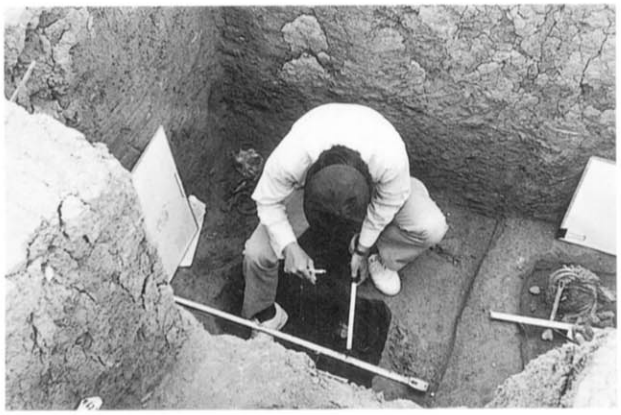


⑥ 第40号墓　正方形木棺跡と人骨（西から）

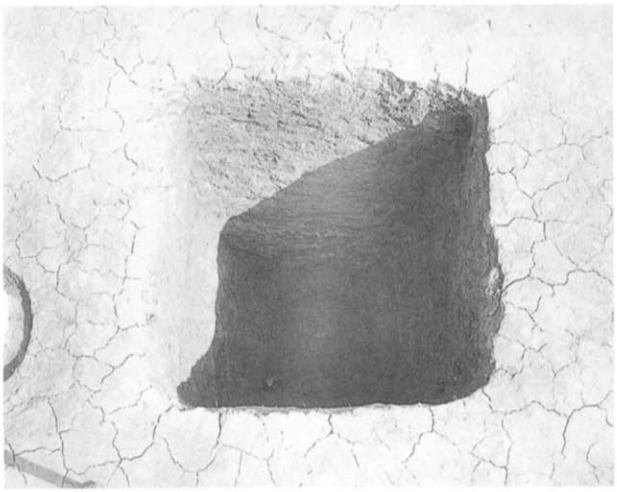
図版99　原田第41号墓地



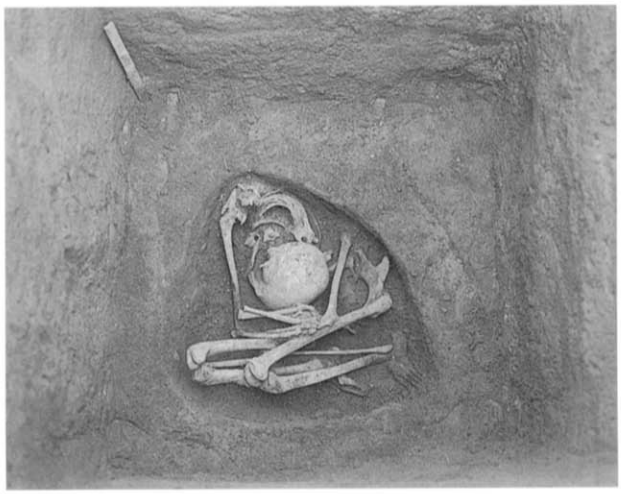
① 第40号墓　棺内副葬品出土状況（東から）



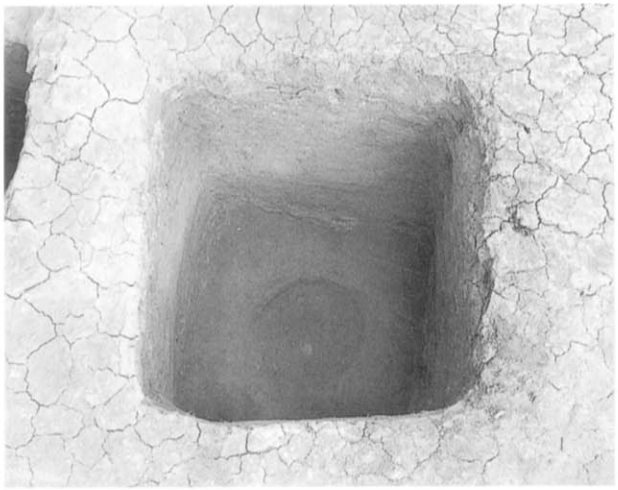
作業風景（人骨の調査）



② 第41号墓（北西から）



③ 第41号墓　人骨出土状況（北西から）

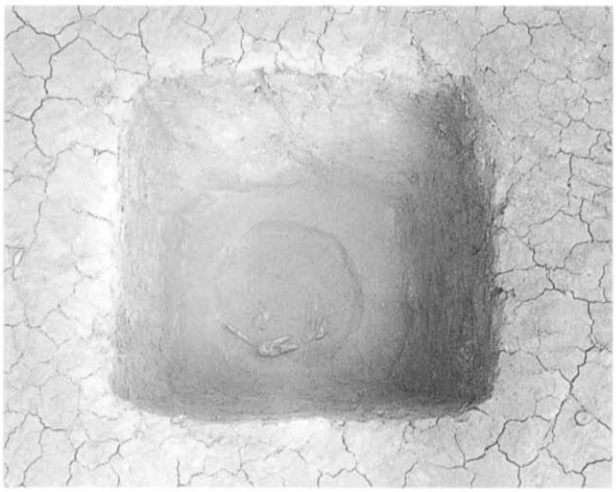


④ 第42号墓（西から）



⑤ 第42号墓　人骨出土状況（西から）

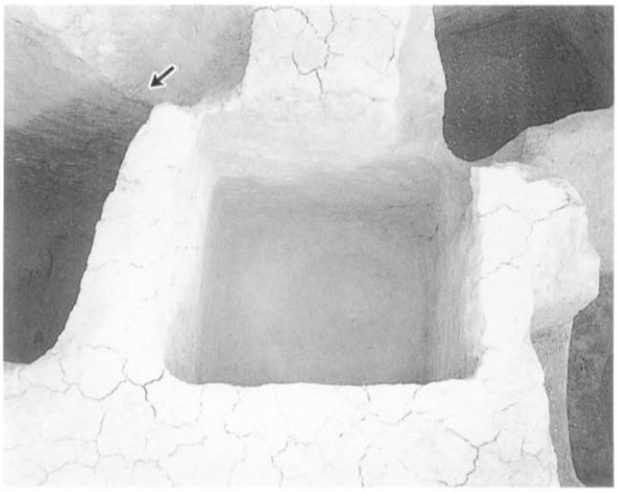
図版100　原田第41号墓地



① 第43号墓（西から）



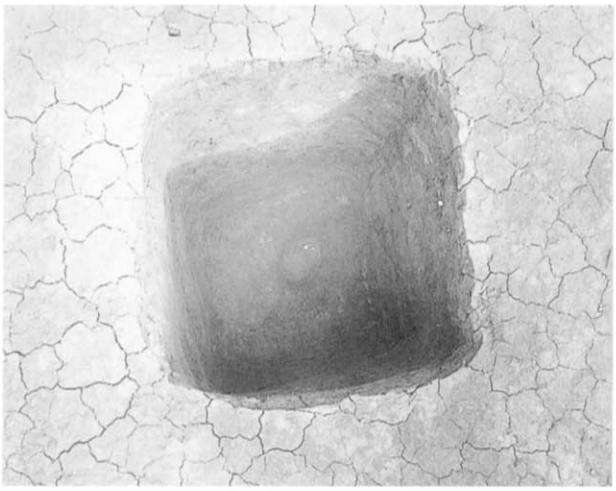
② 第43号墓　人骨出土状況（西から）



③ 第44号墓と改葬壙（西から）



④ 第44号墓　正方形木棺跡と人骨（西から）



⑤ 第45号墓（西から）



⑥ 第45号墓　副葬品出土状況（東から）

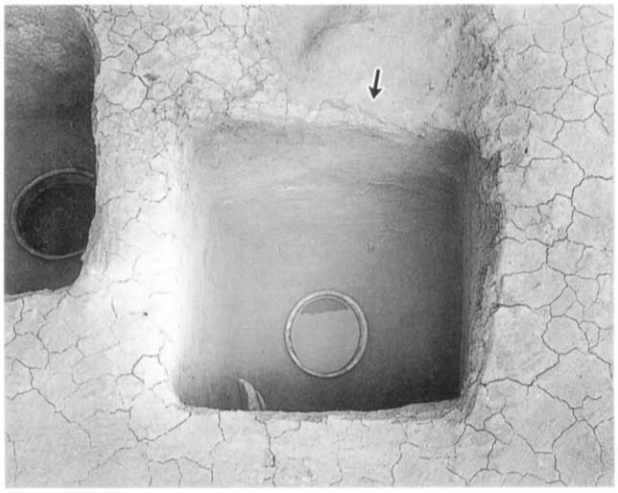
図版101　原田第41号墓地



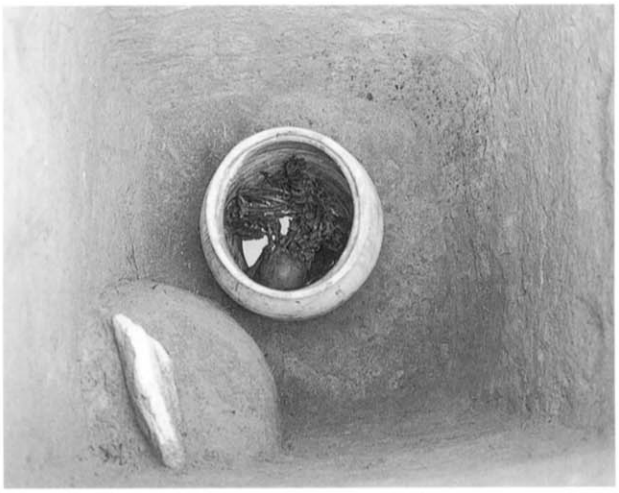
① 第46号墓と改葬壙（南西から）



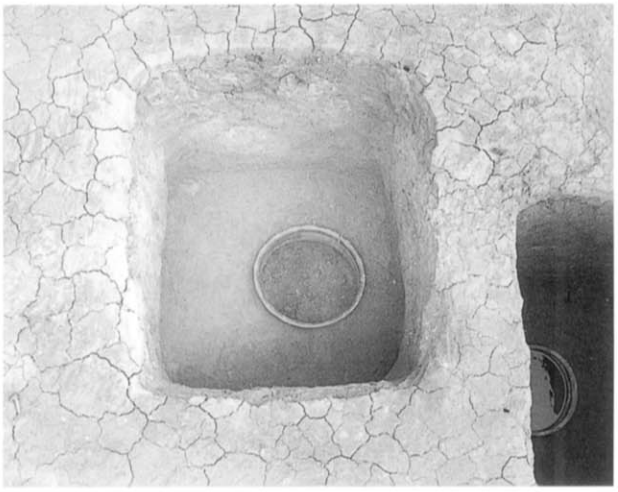
作業風景（墓壙の発掘）



② 第47号墓と改葬壙（西から）



③ 第47号墓　甕棺と蓋押さえ石？（西から）

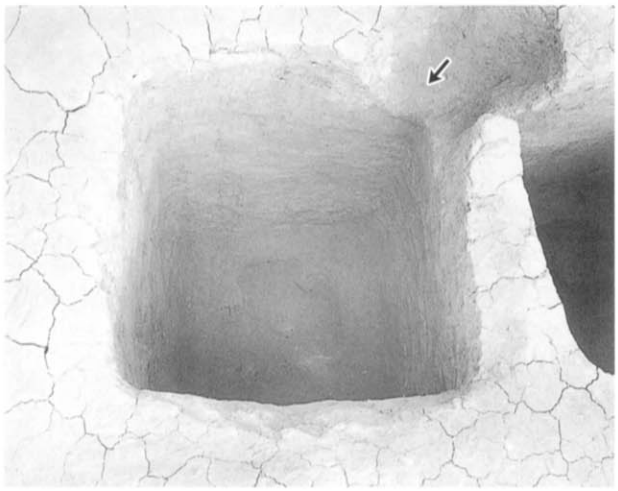


④ 第48号墓（西から）



⑤ 第48号墓　甕棺と人骨（西から）

図版102　原田第41号墓地



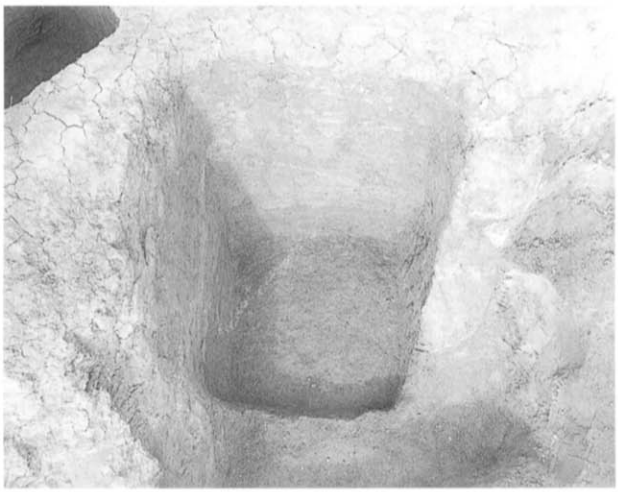
① 第49号墓と改葬壙（西から）



② 第49号墓　人骨出土状況（西から）



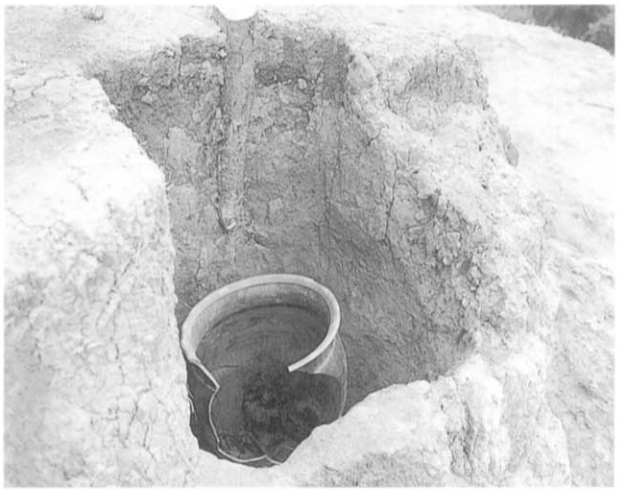
③ 第49号墓　副葬品出土状況（南から）



④ 第50号墓と改葬壙（南西から）



⑤ 第51号墓と改葬壙・墓石（東から）

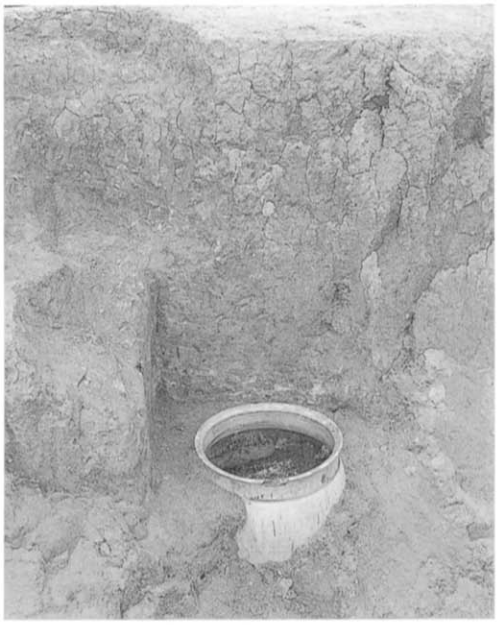


⑥ 第51号墓　甕棺の改葬跡（北東から）

図版103　原田第41号墓地



① 第52号墓と改葬壙（東から）



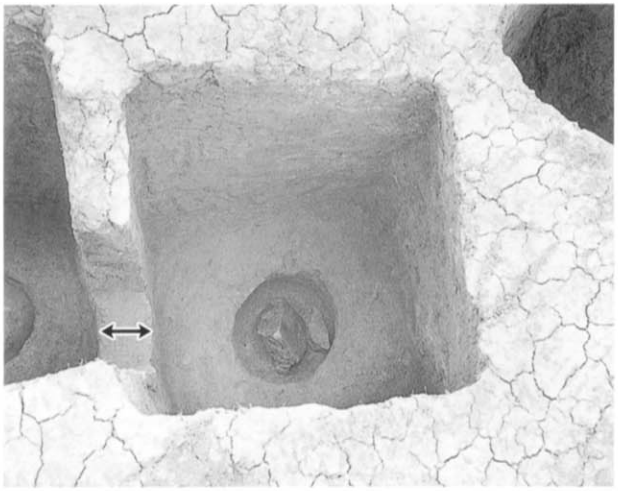
② 第52号墓（西から）



③ 第52号墓　甕棺と人骨（東から）



作業風景（人骨の検出）



④ 第53号墓と改葬壙（北西から）



⑤ 第53号墓　墓壙内石出土状況（北西から）

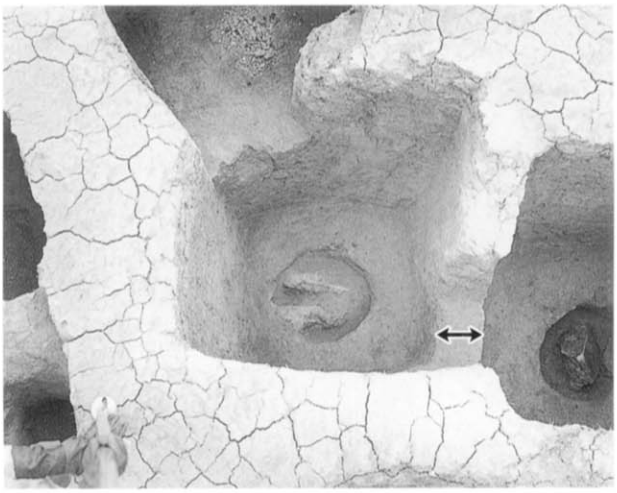
図版104　原田第41号墓地



① 第53号墓　正方形木棺跡と人骨（北西から）



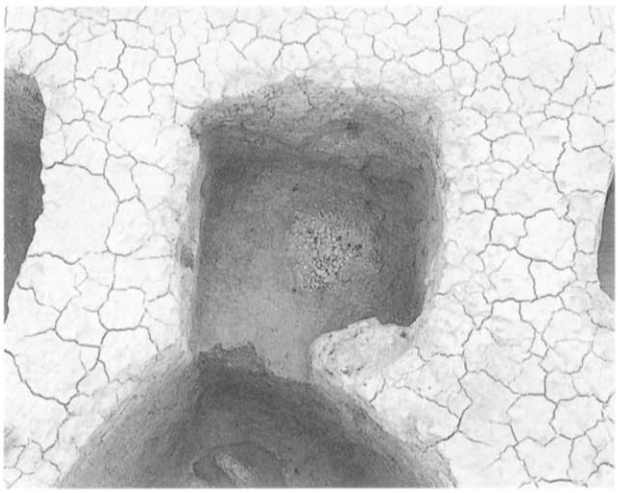
② 第53号墓　棺内副葬品出土状況（北西から）



③ 第54号墓と改葬壙（北西から）



④ 第54号墓　正方形木棺跡と人骨（西から）



⑤ 第55号墓（南西から）



⑥ 第55号墓　正方形木棺跡と人骨（南西から）

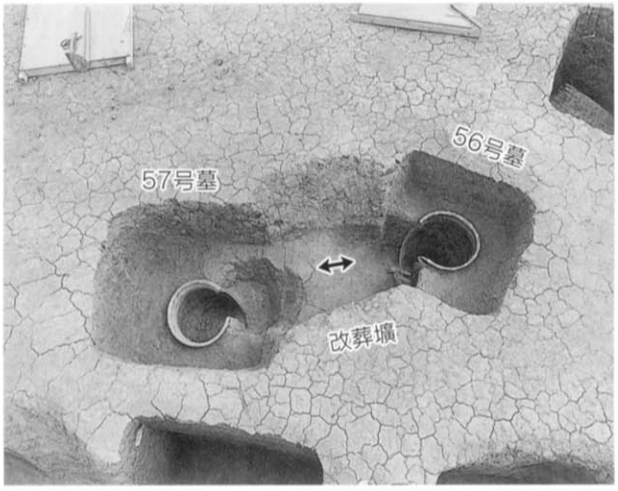
図版105　原田第41号墓地



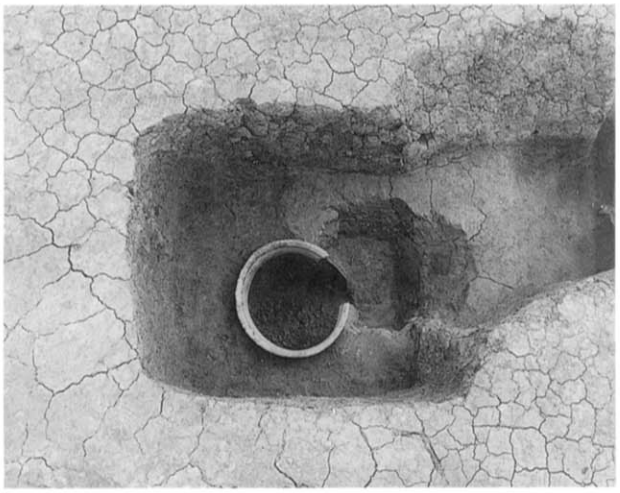
① 第56号墓と改葬壙（西から）



② 第56号墓　甕棺の改葬跡（北西から）



③ 第56・57号墓と改葬壙（南西から）



④ 第57号墓と改葬壙（南西から）



⑤ 第57号墓　甕棺の改葬跡（南東から）



⑥ 第57号墓　甕棺と人骨（東から）

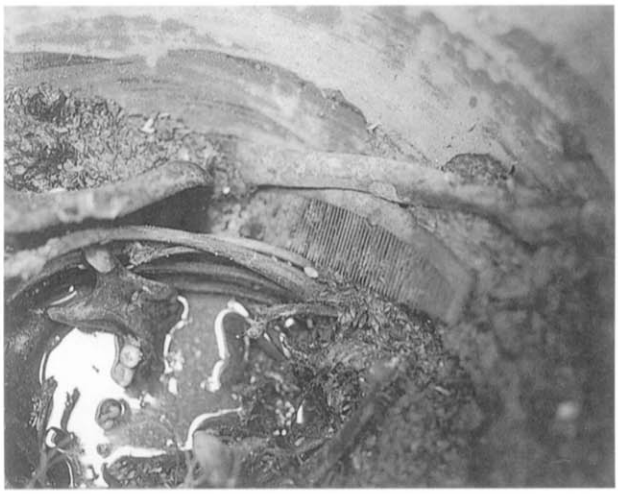
図版106　原田第41号墓地



① 第58号墓と改葬壙（北西から）



② 第58号墓　甕棺と人骨（北西から）

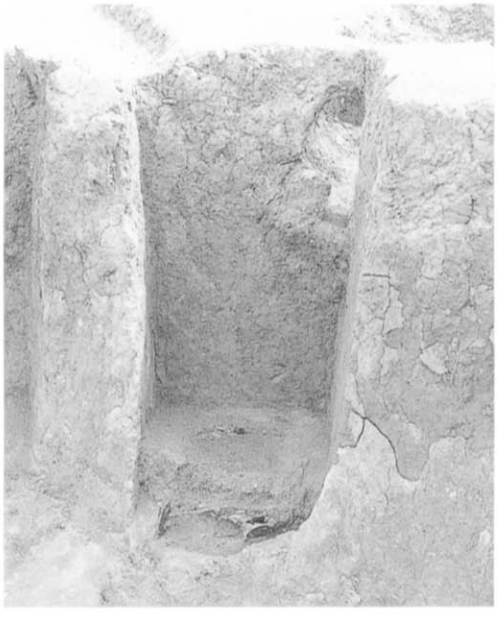


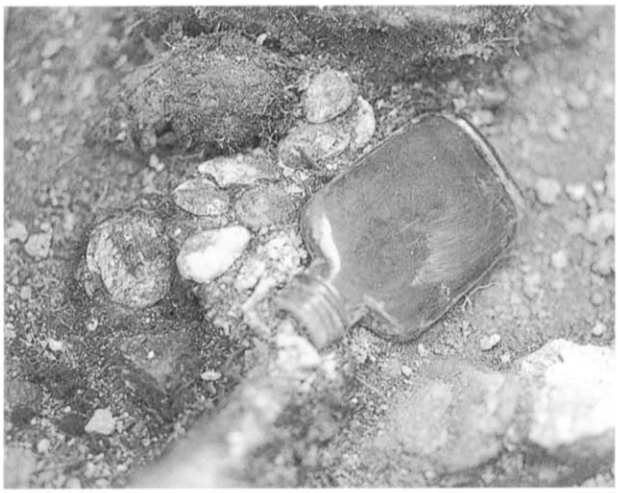
③ 第58号墓　棺内副葬品出土状況（南東から）



作業風景（人骨の調査）

④ 第59号墓（西から）





⑤ 第59号墓　棺内副葬品出土状況（西から）

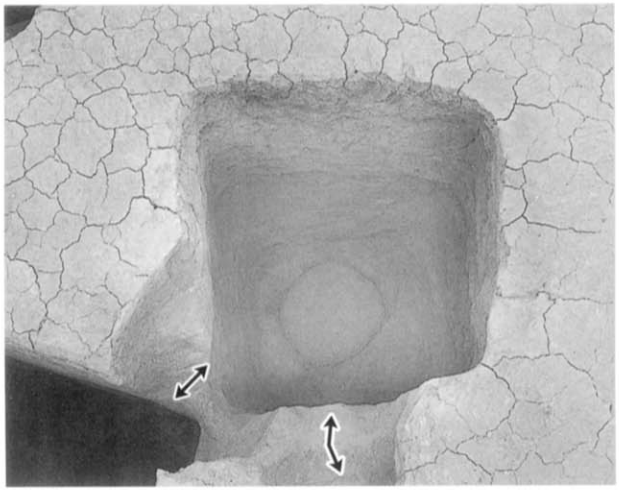
図版107　原田第41号墓地

① 第60号墓（南西から）

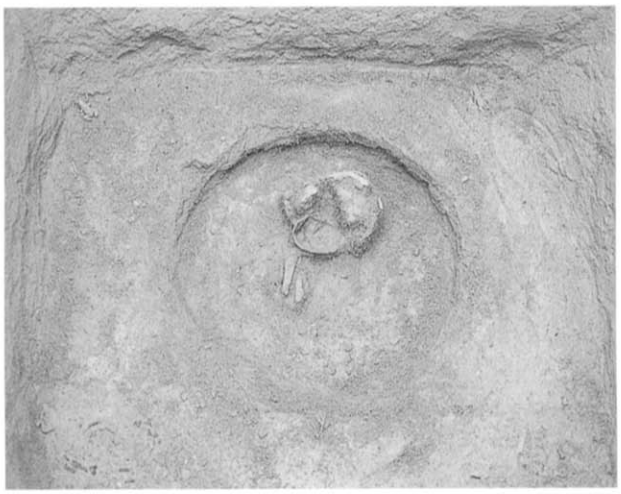




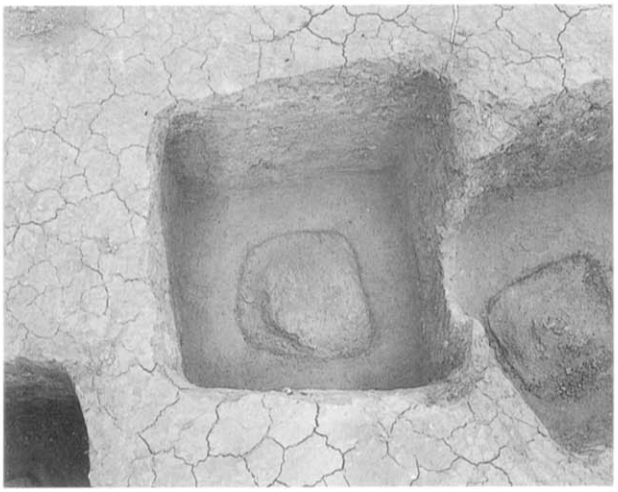
② 第60号墓　正方形木棺跡と人骨（南西から）



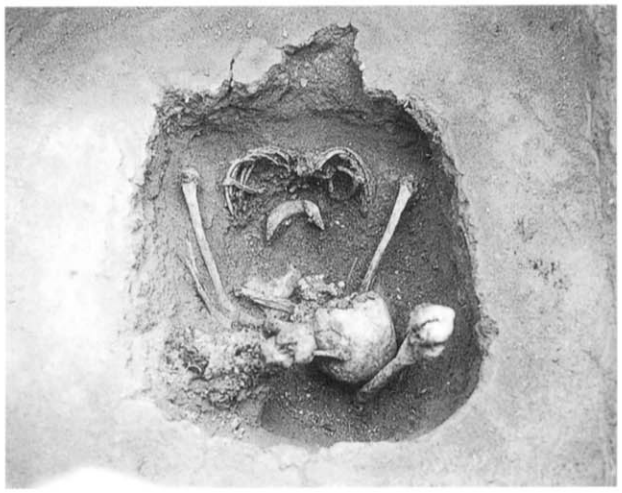
③ 第61号墓と改葬壙（南西から）



④ 第61号墓　人骨出土状況（南西から）

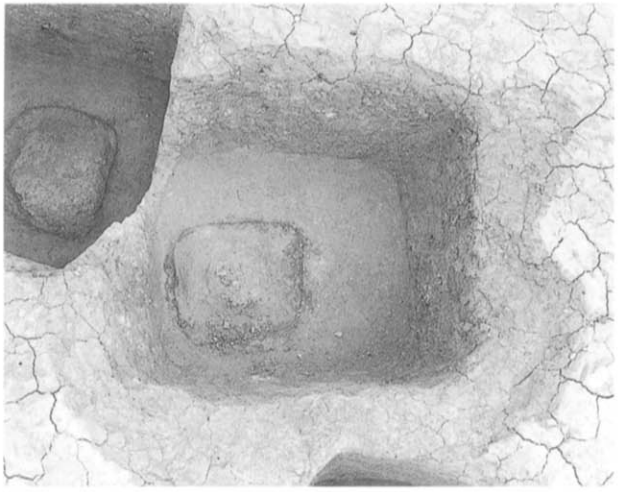


⑤ 第62号墓（西から）

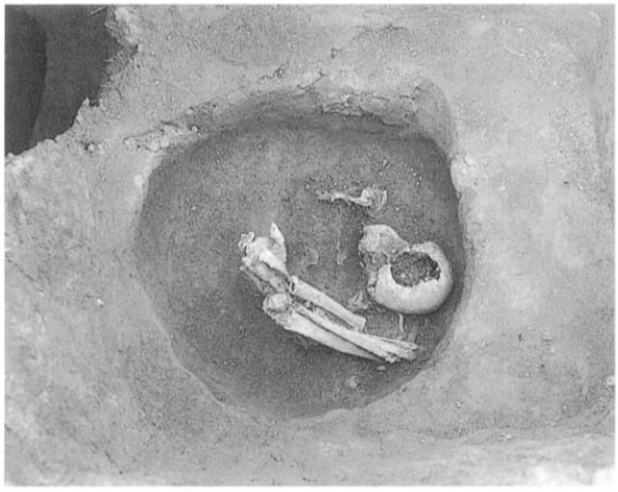


⑥ 第62号墓　正方形木棺跡と人骨（西から）

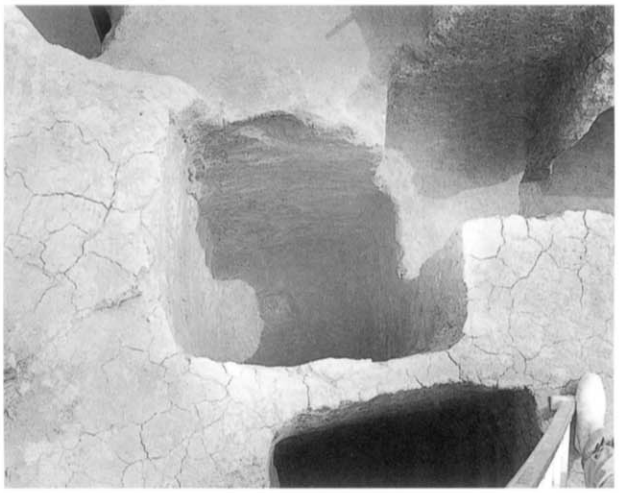
図版108　原田第41号墓地



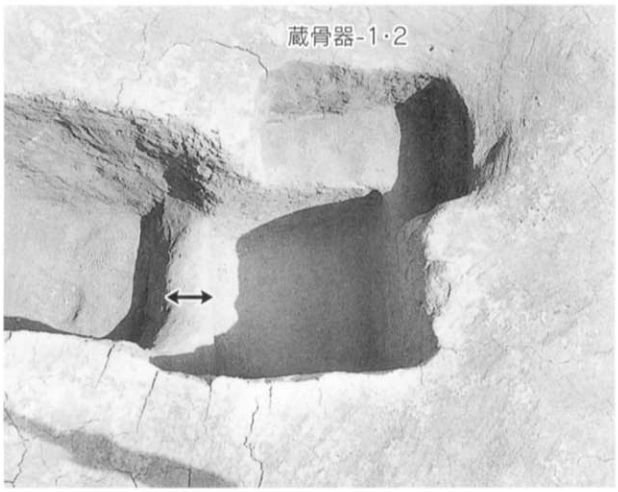
① 第63号墓（南西から）



② 第63号墓　人骨出土状況（南西から）



③ 第64号墓（西から）



④ 第65号墓と改葬壙（西から）

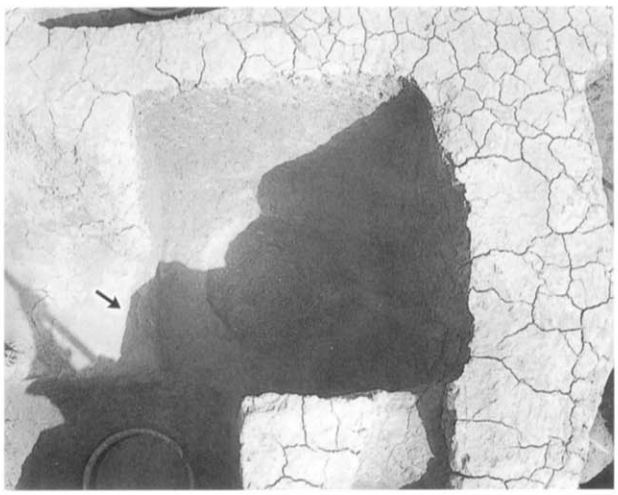


⑤ 第66号墓（西から）



作業風景（墓壙の発掘）

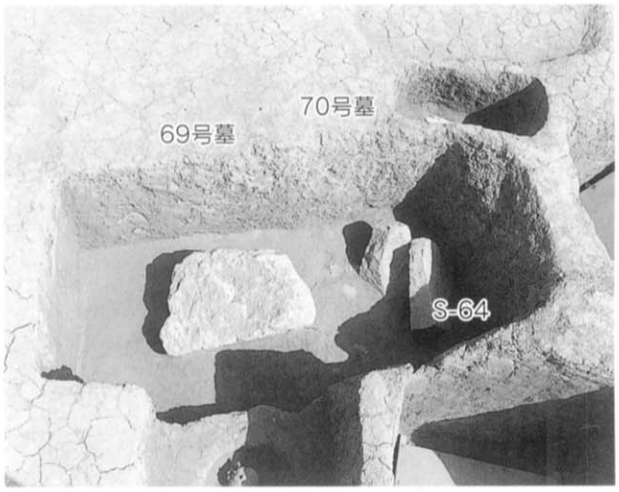
図版109　原田第41号墓地



① 第68号墓と改葬壙（南西から）



② 第68号墓　正方形木棺跡と人骨（南西から）



③ 第69・70号墓（西から）



④ 第69号墓（西から）

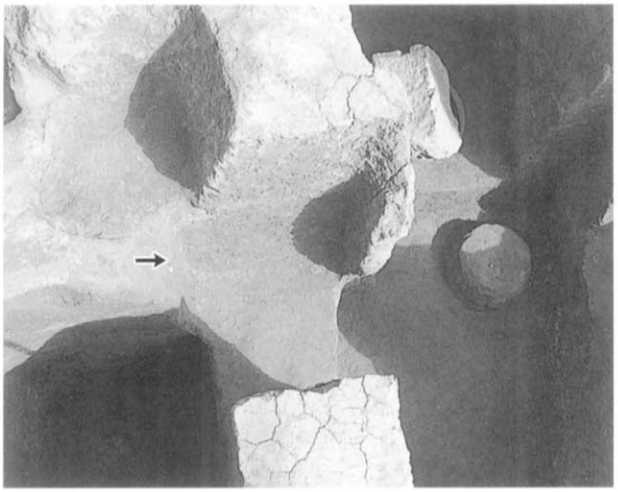


⑤ 第69号墓　棺内副葬品出土状況（東から）



⑥ 第70号墓（西から）

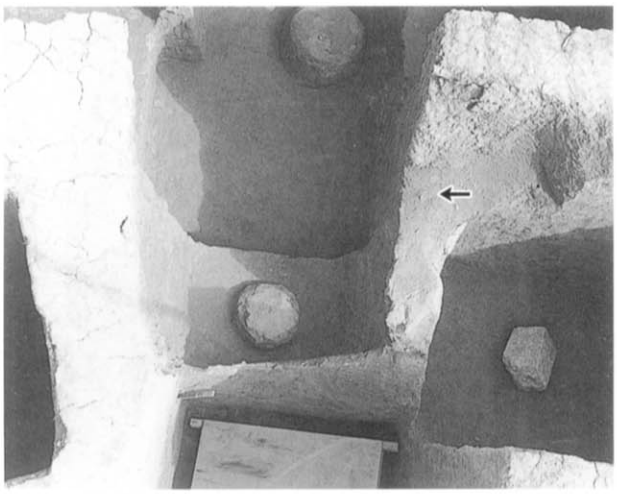
図版110　原田第41号墓地



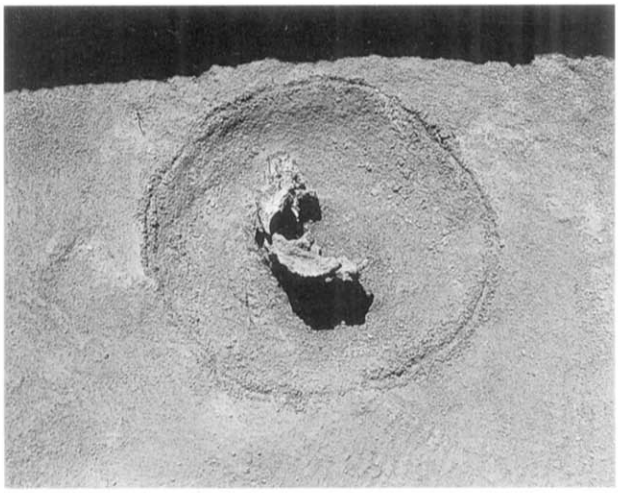
① 第72号墓と改葬壙（西から）



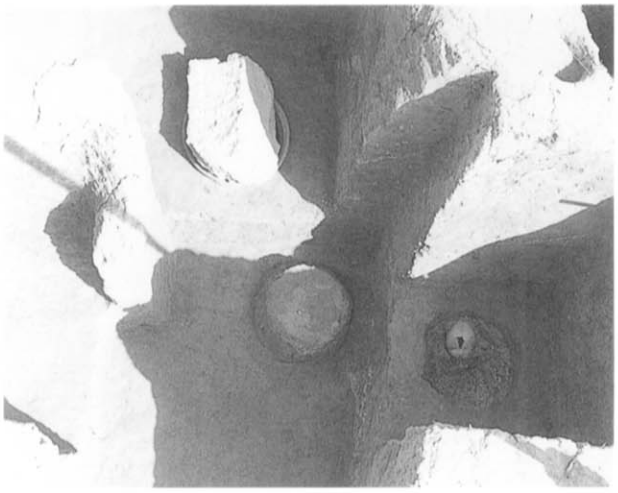
作業風景（写真撮影の準備）



② 第73号墓と改葬壙（西から）



③ 第73号墓　人骨出土状況（西から）

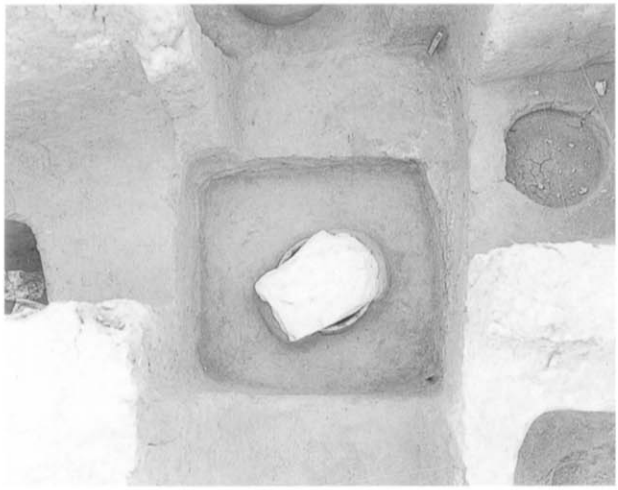


④ 第74号墓（西から）



⑤ 第74号墓　人骨出土状況（南西から）

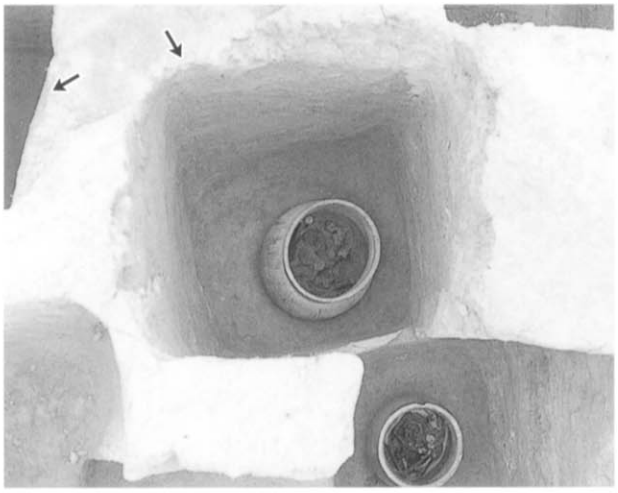
図版111　原田第41号墓地



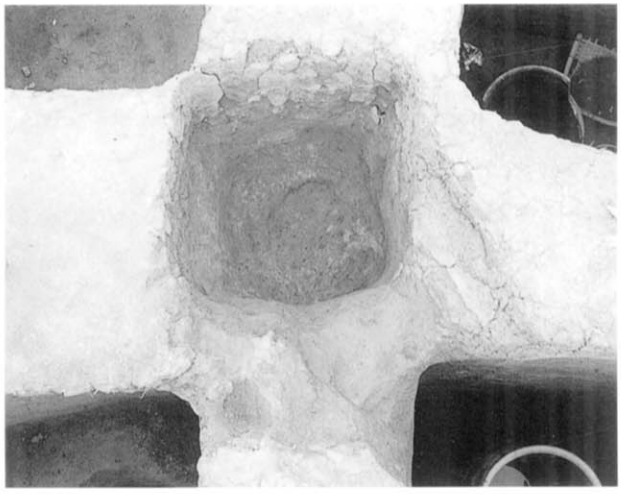
① 第75号墓（北西から）



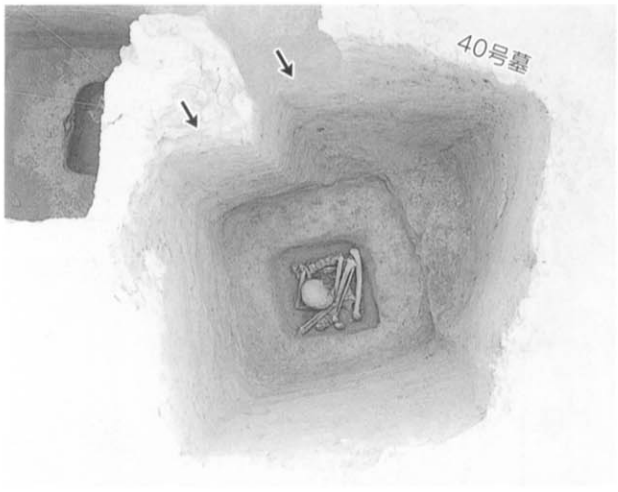
② 第75号墓　甕棺と人骨（北西から）



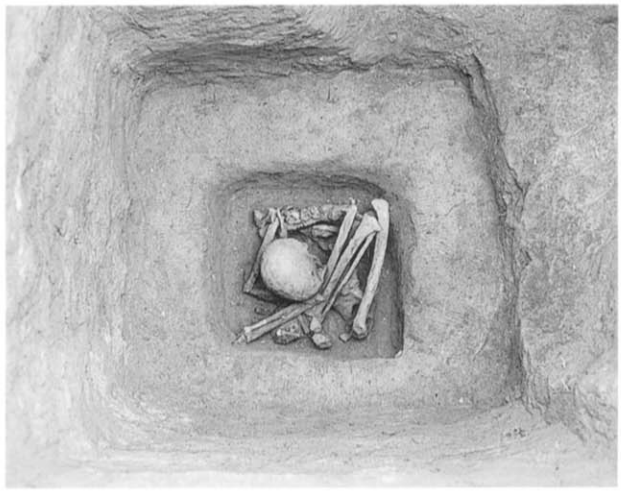
③ 第76号墓と改葬壙（西から）



④ 第77号墓と改葬壙（南西から）

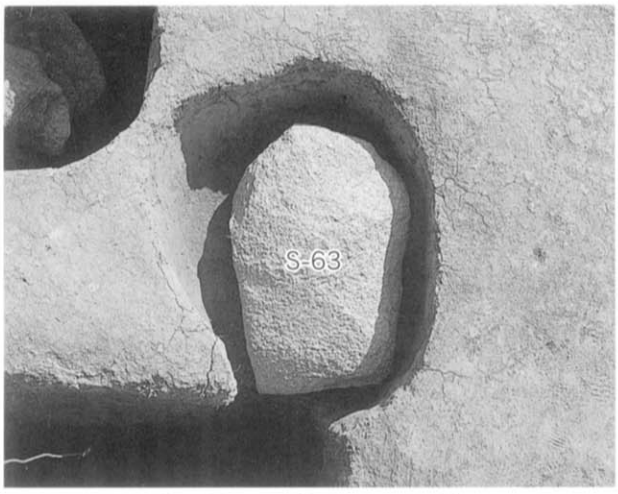


⑤ 第78号墓と改葬壙（南西から）



⑥ 第78号墓　正方形木棺跡と人骨（南西から）

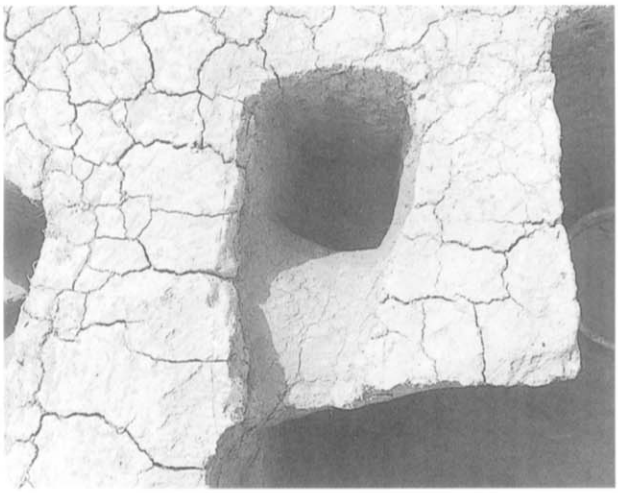
図版112　原田第41号墓地



① 第25号墓？（西から）



② 第32号墓？（西から）



③ 第67号墓？（東から）



④ 第71号墓？（西から）

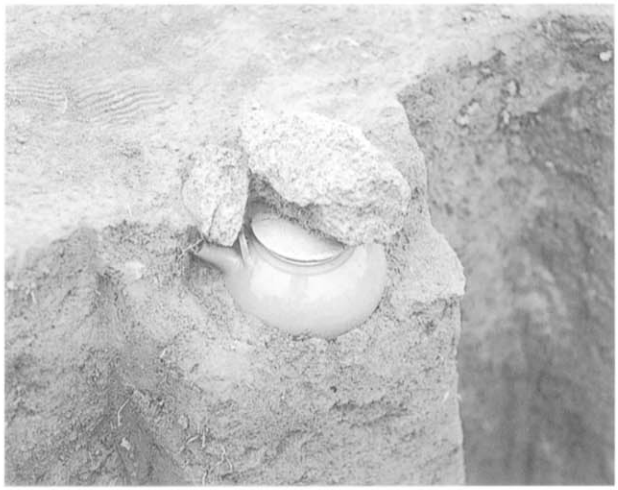


⑤ 第１号胞衣容器（西から）



⑥ 第２号胞衣容器（南東から）

図版113　原田第41号墓地



①　第３号胞衣容器



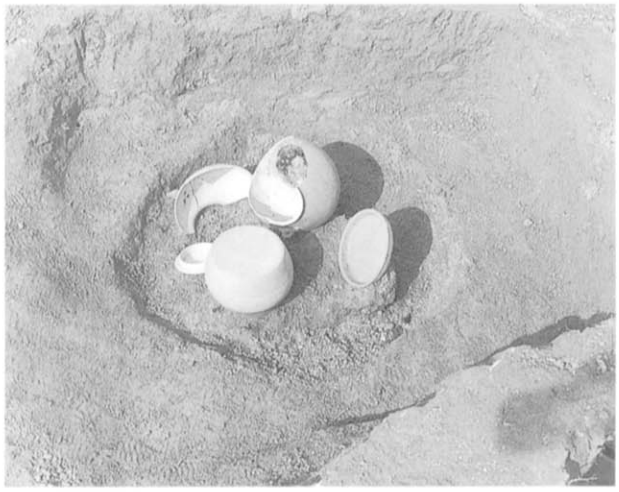
②　第４号胞衣容器（南東から）



③　第５号胞衣容器（北から）



④　第６号胞衣容器（北から）



⑤　第7・8号胞衣容器（南東から）



⑥　第９号胞衣容器（南から）

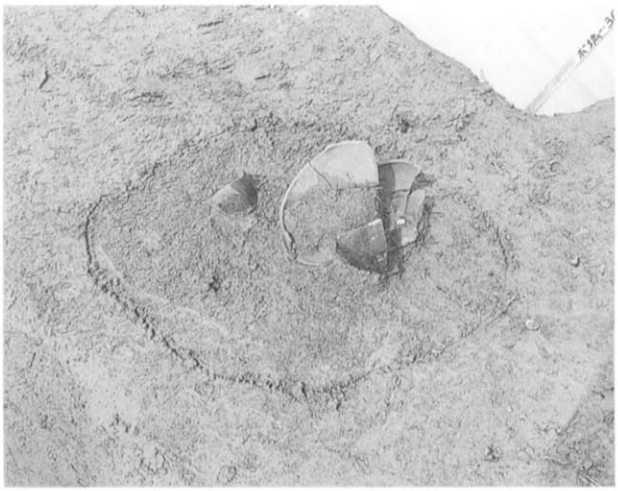
図版114　原田第41号墓地



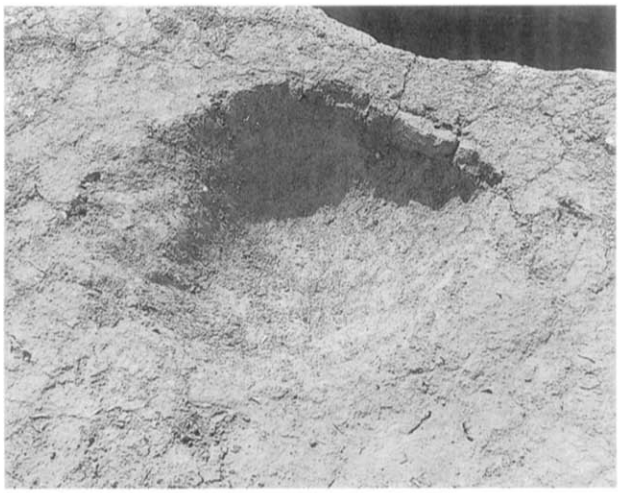
① 第10号胞衣容器（北西から）



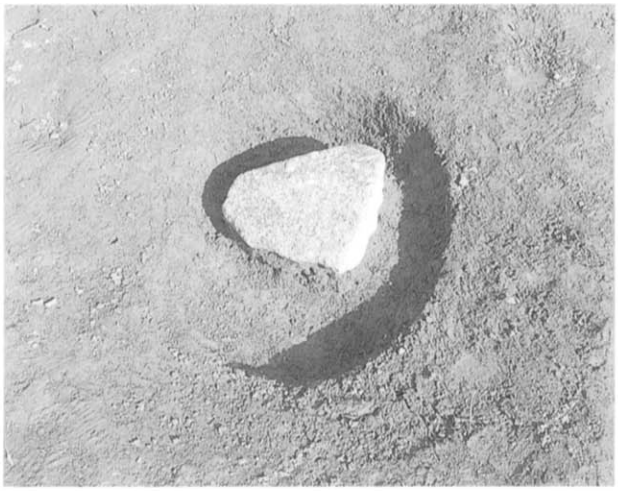
作業風景（写真撮影の準備）



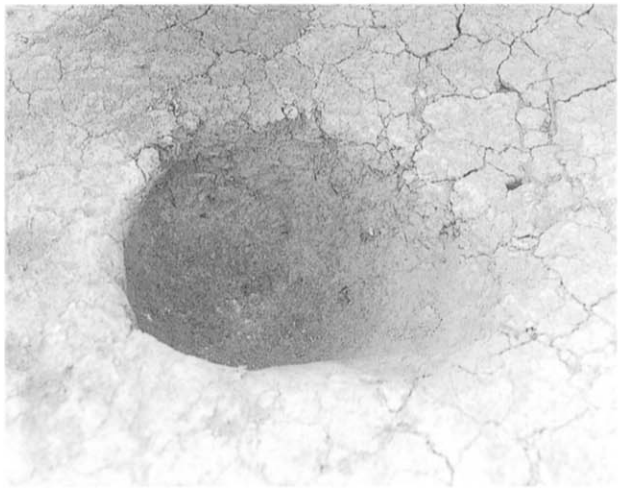
② 第11号胞衣容器（南東から）



③ 第11号胞衣容器　完掘状況（南東から）



④ 第12号胞衣容器？（西から）

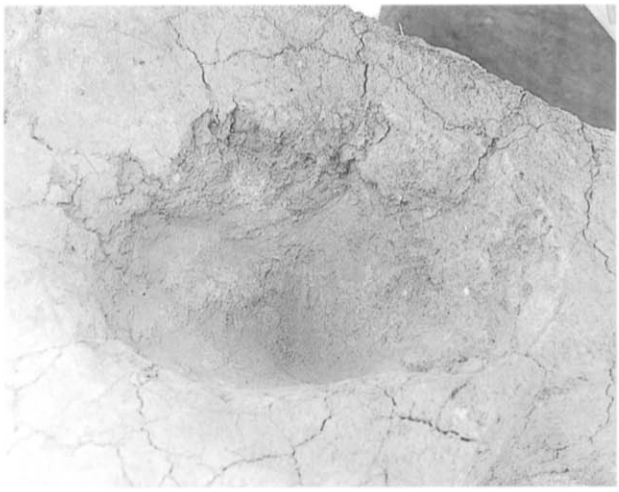


⑤ 第12号胞衣容器？　完掘状況（北から）

図版115　原田第41号墓地



① 第13号胞衣容器？（南西から）



② 第13号胞衣容器？（南西から）



③ 第14号胞衣容器（南から）



④ 第14号胞衣容器　標石撤去後（西から）

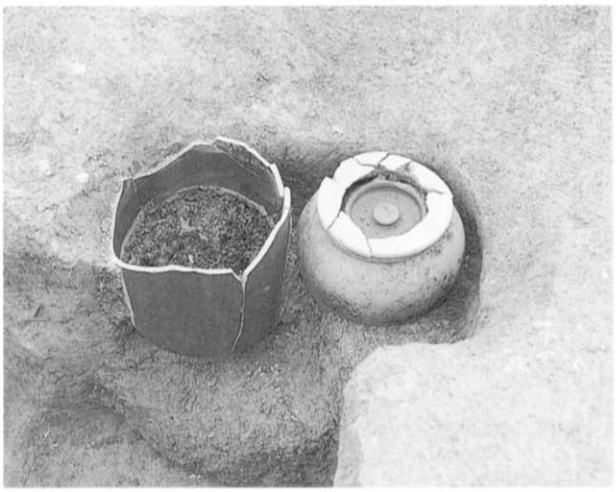


⑤ 第15号胞衣容器（西から）



⑥ 第29号墓壙内の胞衣容器（北から）

図版116　原田第41号墓地



① 第1・2号蔵骨器（西から）



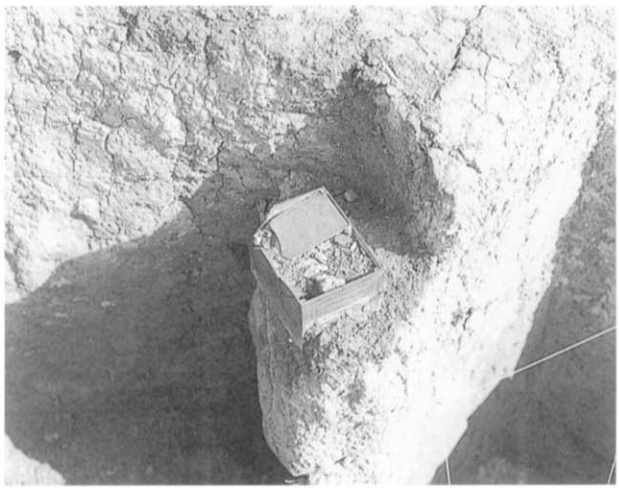
② 第1・2号蔵骨器（南から）



③ 第１号蔵骨器（西から）



④ 第２号蔵骨器（西から）



⑤ 第３号蔵骨器（北から）



⑥ 第３号蔵骨器（北東から）

報告書抄録

ふりがな	はるだだい1·2·40·41ごうぼち　じょうかん
書名	原田第1·2·40·41号墓地　上巻
副書名	原田駅前土地区画整理事業地内埋蔵文化財発掘調査報告
巻次	1
シリーズ名	筑紫野市文化財調査報告書
シリーズ番号	第77集
編著者名	森山栄一
編集機関	筑紫野市教育委員会
所在地	〒818-8686　福岡県筑紫野市二日市西1丁目1番1号
発行年月日	平成15年8月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 ° ′ ″	東経 ° ′ ″	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
原田第1号墓地	福岡県	402176		33°27′18″	130°32′39″	1989.2 ～1991.7	148	原田駅前土地区画整理事業
原田第2号墓地	筑紫野市 大字原田			33°27′18″	130°32′37″	1989.2 ～1990.12	67	
原田第40号墓地	40　番地			33°27′23″	130°32′23″	1988.11 ～1989.10	403	
原田第41号墓地	42　〃 2615　〃 2628　〃			33°27′22″	130°32′21″	1988.12 ～1989.10	349	

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
原田地区遺跡 第40·41地点	墓地	江戸 明治	墓石 土葬墓	陶磁器 銭貨 煙管 数珠玉 かんざし　他	人骨157体 義歯3 義眼1 毛髪

原田第1・2・40・41号墓地
上　巻

—原田駅前土地区画整理事業地内埋蔵文化財発掘調査報告１—

筑紫野市文化財調査報告書　第　77　集

平成15年８月31日

発　行　　筑紫野市教育委員会
〒818-8686　福岡県筑紫野市二日市西１丁目1—1

印　刷　　株式会社　三光
〒812-0015　福岡県福岡市博多区山王１丁目14—4
TEL　092-475-6271
FAX　092-475-6274

